松浦市文化財調査報告書　第２集

# 松浦市鷹島海底遺跡

平成13・14年度

鷹島町神崎港改修工事に伴う緊急調査報告書

２００８

長崎県松浦市教育委員会

松浦市文化財調査報告書　第2集

# 松浦市鷹島海底遺跡

平成13・14年度
鷹島町神崎港改修工事に伴う緊急調査報告書
平成20年3月31日発行

本書に誤りがありました。お詫びを申し上げ、下記のとおり訂正します。

## 正誤表

| ページ・行・項目 | | | | 誤 | 正 |
|---|---|---|---|---|---|
| p.3 | 10行目 | | | することなり | することとなり |
| p.62 | 16行目 | | | 呼鈴と用い | 呼鈴として用い |
| p.81 | 31行目 | | | 漆蟇 | 漆膜 |
| p.143 | 遺物番号 | 21-b | 接合関係 | No.33b | No.33d |
| | | 28-b | 挿図番号 | 空欄 | 26図18 |
| p.144 | 遺物番号 | 51 | 接合関係 | No.14・135b・140 | No.14a・135b・140 |
| | | 77 | | No.57・159c・168b・247a・RC221 | No.57a・159c・168b・247a・RC221 |
| | | 80 | | No.25・42・243b・H21a | No.25a・42・243b・H21a |
| p.145 | 遺物番号 | 135-b | 接合関係 | No.14・51・140 | No.14a・51・140 |
| | | 137-a | | No.105・158b・RC83 | No.105a・158b・RC83 |
| | | 140 | | No.14・51・135b | No.14a・51・135b |
| p.146 | 遺物番号 | 158-b | 接合関係 | No.105・137a・RC83 | No.105a・137a・RC83 |
| | | 159-c | | No.57・77・168b・247a・RC221 | No.57a・77・168b・247a・RC221 |
| | | 168-b | | No.57・77・159c・247a・RC221 | No.57a・77・159c・247a・RC221 |
| p.148 | 遺物番号 | 243-b | 接合関係 | No.25・42・80・H21a | No.25a・42・80・H21a |
| | | 244 | | No.152a・154a・705c・716・809・810a・811 | No.152・154・705c・716・809・810a・811 |
| | | 247-a | | No.57・77・159c・168b・RC221 | No.57a・77・159c・168b・RC221 |
| p.150 | 遺物番号 | 435 | 接合関係 | No.98 | No.98b |
| | | 442-b | | No.96 | No.96a |
| p.151 | 遺物番号 | 479 | 挿図番号 | 空欄 | 32図61 |
| | | 483 | 接合関係 | No.478・503b | No.478b・503b |
| | | 495-b | 挿図番号 | 空欄 | 30図45 |
| | | 498 | | 空欄 | 26図18 |
| | | 503-b | 接合関係 | No.478・483 | No.478b・483 |
| | | 536 | | 空欄 | No.54b・158i・721・727 |
| | | 537 | | No.37 | No.37a |
| p.152 | 遺物番号 | 539 | 接合関係 | No.416 | No.416a |
| p.155 | 遺物番号 | 809 | 接合関係 | No.716・810a・811・152・154・705c | No.716・810a・811・152・154・705c・244 |

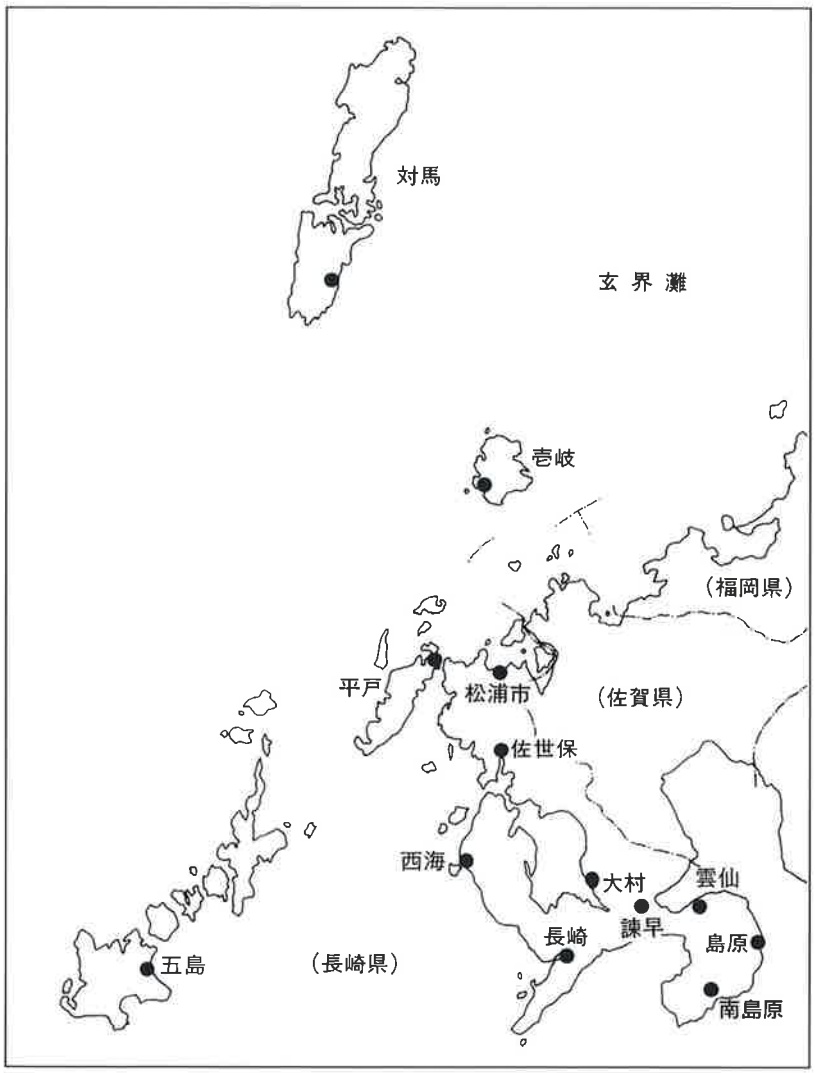
| ページ・行・項目 | | | | 誤 | 正 |
|---|---|---|---|---|---|
| p.155 | 遺物番号 | 810-a | 接合関係 | No.716・809・811・152・154・705c | No.716・809・811・152・154・705c・244 |
| | | 811 | | No.716・809・810a・152・154・705c | No.716・809・810a・152・154・705c・244 |
| p.156 | 遺物番号 | 843-a | 接合関係 | 空欄 | No.843と接合 |
| | | 864-a | | 杭状の木製品684aとつながる | 杭状の木製品1144とつながる |
| | | 871 | | 空欄 | No.1170・1450・1735・1742・RL2と同型品 |
| | | 877 | 挿図番号 | 空欄 | 31図54 |
| p.161 | 遺物番号 | 1170 | 接合関係 | 空欄 | No.871・1450・1735・1742・RL2と同型品 |
| p.163 | 遺物番号 | 1331 | 接合関係 | No.28b・498 | 空欄 |
| | | 1335 | | 空欄 | No.28b・498 |
| p.164 | 遺物番号 | 1404 | 接合関係 | No.1676 | 空欄 |
| p.165 | 遺物番号 | 1450 | 接合関係 | 空欄 | No.871・1170・1735・1742・RL2と同型品 |
| | | 1487 | | 空欄 | No.1488が付着 |
| | | 1488 | 挿図番号 | 空欄 | 60図3 |
| p.166 | 遺物番号 | 1654 | 接合関係 | No.29・526a | 空欄 |
| | | 1656 | | No.61a・73a・243d | 空欄 |
| | | 1661-b | | No.1664 | No.157c・445・723a・725b |
| | | 1665 | | 空欄 | No.1661a |
| p.167 | 遺物番号 | 1735 | 接合関係 | 空欄 | No.871・1170・1450・1742・RL2と同型品 |
| | | 1742 | | 空欄 | No.871・1170・1450・1735・RL2と同型品 |
| | | 1744-c | | No.1693 | 空欄 |
| | | 1747 | | 空欄 | No.1689 |
| p.168 | 遺物番号 | 1762 | 接合関係 | 空欄 | No.951と接合 |
| p.170 | 遺物番号 | RC52 | 接合関係 | No.99・474-a・RC52 | No.99-b・474-a |
| | | RC60 | | No.479-a・924 | No.479・924 |
| p.171 | 遺物番号 | RC83 | 接合関係 | No.105・137-a・158-b | No.105-a・137-a・158-b |
| p.172 | 遺物番号 | RC143 | 挿図番号 | 空欄 | 31図54 |
| p.173 | 遺物番号 | RC221 | 接合関係 | No.57・77・159-c・168-b・247-a | No.57-a・77・159-c・168-b・247-a |
| p.176 | 遺物番号 | H31-c | 接合関係 | 空欄 | No.931 |
| p.265 | 上段左 | | | 第48図11　青銅製擬宝珠　(No.794) | 第48図41　青銅製擬宝珠　(No.794) |
| 例言 | 2.(加筆・訂正)「特に海底での写真撮影は同協会専属の水中写真家山本祐司氏のご協力を賜っている。」を挿入。「…方にご協力を賜った。」の次に上記文書が記載できておりませんでした。改めての加筆・訂正をお許し下さい。 | | | | |

松浦市文化財調査報告書　第２集

# 松浦市鷹島海底遺跡

平成13・14年度

鷹島町神崎港改修工事に伴う緊急調査報告書




2008

長崎県松浦市教育委員会

鉄製冑（No.974）

「てつはう」

# 発刊にあたって

長崎県松浦市は、長崎県本土北部に位置し、伊万里湾を介して松浦市・北松浦郡福島町・同鷹島町の一市二町で、平成18年１月１日に合併した県内で11番目の市です。市の面積は130.13㎢、人口規模は約28,000人で、県内でも最も人口が少ない市となっています。年齢別人口をみると、65歳以上の老年人口が25.3％となるなど長崎県平均の20.8％を上回る高齢化率となっています。平成27年における総人口の目標を若年層の人口流出が合併後長崎県並に抑制されることを前提として、15歳から24歳の６年目以降の社会移動率を県全体の水準に設定して約24,000人としています。

松浦市は、海を挟み朝鮮半島や中国をはじめとしたアジア地域にも近い位置にあることから古くから大陸との交流が盛んでありました。それは、市内各地に所在する遺跡からの出土品が物語っています。特に鷹島町には海底遺跡もあります。

本報告書は、旧鷹島町で平成13年度と14年度に実施した神崎港改修工事に伴う鷹島海底遺跡発掘調査の報告書です。これまで調査の概報は刊行されていましたが、諸般の事由により本報告はなされていませんでした。

松浦市教育委員会では、鷹島海底遺跡は文永・弘安の役（元寇）の蒙古襲来に関連した遺跡であること及び国内はもとより世界的にも注目されている遺跡であり、鷹島海底遺跡の国の史跡指定及び出土遺物の重要文化財指定を目指して取組むためにも本報告書の刊行は必要不可欠のものであるとの認識から、文化庁のご理解と承認を得て国庫補助事業の一環としていただくことができました。

本報告書の作成にあたっては、平成18年度から文部科学省科学研究費補助金基盤研究（Ｓ）「長崎県北松浦郡鷹島周辺海底に眠る元寇関連遺跡・遺物の把握と解明」の代表者である琉球大学池田榮史教授には多大なご協力をいただきました。ここに記して感謝申し上げます。また、長崎県教育委員会、鷹島海底遺跡調査指導委員会をはじめ多くの関係者の方々のご協力により本報告書を刊行することができましたことに対し、心から感謝を申し上げます。

最後になりましたが、本報告書が埋蔵文化財保護への理解と認識を深める一助となり、学術研究の資料として広く活用されることを願って発刊のご挨拶といたします。

平成20年３月31日

長崎県松浦市教育委員会

教育長　**松　尾　　紘**

# 例　言

1．本書は、長崎県県北振興局田平土木事務所の委託を受けて旧鷹島町教育委員会が調査主体となり平成13年度と平成14年度に実施した鷹島町神崎港改修工事に伴う鷹島海底遺跡の緊急発掘調査の報告書である。その成果は概報として平成14年３月・平成15年３月にそれぞれ刊行している。本書の作成は、平成18年１月１日に１市２町で合併し、松浦市教育委員会生涯学習課が主体となって平成19年度の国庫補助事業として実施した。

2．調査にあたっては、文化庁及び長崎県教育庁学芸文化課をはじめ九州・沖縄水中考古学協会（現特定非営利活動法人アジア水中考古学研究所等多くの方にご協力を賜った。

3．遺物の実測及び写真撮影等については文部科学省科学研究費補助金基盤研究（Ｓ）（以下「科研費」という。）の代表者である琉球大学法文学部池田榮史教授に全面的ご協力・ご支援をいただいている。ここに記して感謝を申し上げます。

4．本書で使用した図面・写真の記録類については、市立鷹島埋蔵文化財センターで保管している。

5．本書で報告した遺物のうち一部は、松浦市立鷹島歴史民俗資料館及び埋蔵文化財センターで展示公開している。

6．遺物の写真撮影は、科研費で行った調査分と金沢大学大学院博士課程考古学専攻の小川光彦氏撮影分、生涯学習課課長補佐兼文化財室文化財係長兼社会教育係長の中田敦之撮影分がある。なお、図版の縮尺は統一していない。

7．本書の執筆は、琉球大学池田榮史教授が第Ⅲ章２の球状土製品・４～８、早稲田大学客員准教授山本信夫氏が第Ⅲ章２陶磁器、11その他の遺物、第Ⅴ章を、第Ⅰ章及び第Ⅲ章１・３・９・10と11の一部を中田が、第Ⅱ章と第Ⅲ章12を同課学芸員松尾昭子があたった。なお、第Ⅳ章１～３の出土遺物の保存処理の報告は、平成17年度・18年度の特定非営利活動法人文化財保存支援機構から提出された『鷹島海底遺物を中心とした引き上げ遺物の保存と活用　平成18年度事業報告書』に一部加筆して掲載した。第Ⅳ章４樹種同定の項は、京都大学名誉教授伊東隆夫氏より玉稿をいただいた。陶磁器に関しては、山本信夫氏より玉稿をいただき中田が一部編集を行い掲載した。記して感謝申し上げます。なお、本文中の遺物説明では図版との関係で同じ箇所で説明していないことを予めご了承下さい。

8．出土状況図作成後に取り上げた遺物と、出土位置の確認を行った遺物は、通し番号で１から1900まで「Ｎｏ.」を付し、リフトからの遺物については、その出土順に陶磁器は「ＲＣ」(Retrieved Ceramics)、金属製品は「ＲＭ」(Retrieved Metal Objects)、木製品は「ＲＷ」(Retrieved Wooden Artifacts)、漆製品は「ＲＬ」(Retrieved Lacquer Wares)、骨は「ＲＢ」(Retrieved Bones) の種別略号に分けて番号を付して遺物に注記をした。なお、通し番号では543～600と1507～1600までは整理の都合上欠番としている。

（例）海底出土遺物・・・・「ＫＺＫ　01　Ｎｏ.１」　2001年(平成13)　海底出土遺物番号

　　リフト出土陶磁器・・「ＫＺＫ　02　ＲＣ６」　2002年(平成14)　リフト出土陶磁器番号

9．本書の編集は、中田があたった。

# 本　文　目　次

第Ⅰ章　はじめに

1．鷹島海底遺跡の調査 …… 1

2．床浪地区での調査 …… 3

3．遺跡内の範囲確認調査 …… 10

4．神崎地区での調査 …… 11

第Ⅱ章　平成13・14年度の調査

1．調査に至る経緯 …… 21

2．調査方法 …… 22

3．報告書作成に至る経緯 …… 26

4．調査関係者・協力者 …… 27

第Ⅲ章　出土遺物について

1．出土状況について …… 29

2．陶磁器・球状土製品 …… 32

3．石製品 …… 57

4．金属製品（青銅製品・鉄製品） …… 62

5．漆製品 …… 82

6．木製品 …… 89

7．骨製品 …… 90

8．船材及び木材 …… 94

9．磚・瓦 …… 130

10．綱・縄 …… 138

11．その他の遺物 …… 138

12．遺物台帳 …… 143

第Ⅳ章　出土遺物の理化学的分析について

1．出土金属製遺物の保存処理（平成17年度実施） …… 177

2．出土有機質遺物の保存処理（平成17年度実施） …… 185

3．出土遺物の保存処理（平成18年度実施） …… 189

4．出土木製品の樹種同定 …… 193

5．遺物のＸ線撮影 …… 231

第Ⅴ章　出土陶磁器について …… 233

第Ⅵ章　調査の成果と今後の課題 …… 234

# 挿　図　目　次


第１図　松浦市管内図（１/150,000）…… 1
第２図　鷹島海底遺跡調査地点位置図（１/45,000）…… 2
第３図　床浪地区出土遺物①…… 5
第４図　床浪地区出土遺物②…… 5
第５図　床浪地区出土遺物③…… 5
第６図　床浪地区出土遺物④（１/４）…… 6
第７図　床浪地区出土遺物⑤（１/４）…… 7
第８図　床浪地区出土遺物⑥（１/６）…… 8
第９図　床浪地区出土遺物⑦（１/６）…… 9
第10図　床浪地区出土遺物⑧（１/４）…… 10
第11図　神崎港周辺における年度別調査区域図（１/20,000）…… 11
第12図　神崎地区出土遺物①（１/40）…… 12
第13図　神崎地区出土遺物②（１/30）…… 13
第14図　神崎地区出土遺物③（１/６）…… 14
第15図　神崎地区出土遺物④…… 15
第16図　神崎地区出土遺物⑤（１/６）…… 16
第17図　神崎地区出土遺物⑥…… 19
第18図　調査区域と周辺の地形図（１/1,000）…… 23
第19図　陶磁器出土状況図（１/20）…… 30
第20図　出土遺物釣窯系陶磁（１/３）…… 31
第21図　出土遺物白磁（１/３）…… 32
第22図　出土遺物青磁①（１/３）…… 33
第23図　出土遺物青磁②（１/３）…… 34
第24図　出土遺物陶器①（１/３）…… 36
第25図　出土遺物陶器②（１/３）…… 38
第26図　出土遺物陶器③（１/３）…… 39
第27図　出土遺物陶器④（１/３）…… 40
第28図　出土遺物陶器⑤（１/３）…… 42
第29図　出土遺物陶器⑥（１/３）…… 43
第30図　出土遺物陶器⑦（１/３）…… 44
第31図　出土遺物陶器⑧（１/４）…… 47
第32図　出土遺物陶器⑨（１/３）…… 48

第33図　出土遺物陶器⑩（1/3）…… 49
第34図　出土遺物陶器⑪（1/3）…… 50
第35図　出土遺物陶器⑫（1/4）…… 51
第36図　出土遺物陶器⑬（1/4）…… 52
第37図　「てつはう」出土状況図（1/20）…… 54
第38図　出土遺物「てつはう」①（1/3）…… 55
第39図　出土遺物「てつはう」②（1/3）…… 56
第40図　石製品出土状況図（1/20）…… 58
第41図　出土遺物石製品①（1/4）…… 59
第42図　出土遺物石製品②（1/1）…… 60
第43図　出土遺物石製品③（1/2）…… 60
第44図　金属製品出土状況図（1/20）…… 61
第45図　出土遺物青銅製品①（1/2）…… 63
第46図　出土遺物青銅製品②（1/2）…… 64
第47図　出土遺物青銅製品③（1/2）…… 65
第48図　出土遺物青銅製品④（1/2）…… 66
第49図　出土遺物青銅製品⑤（1/2）…… 67
第50図　出土遺物銅銭（1/1）…… 68
第51図　出土遺物鉄製品①（1/4）…… 71
第52図　出土遺物鉄製品②（1/4）…… 72
第53図　出土遺物鉄製品③（1/4）…… 73
第54図　出土遺物鉄製品④（1/4）…… 74
第55図　出土遺物鉄製品⑤（1/4）…… 75
第56図　出土遺物鉄製品⑥（1/4）…… 76
第57図　出土遺物鉄製品⑦（1/4）…… 77
第58図　出土遺物鉄製品⑧（1/4）…… 78
第59図　出土遺物矢束①（1/3）…… 79
第60図　出土遺物矢束②（1/3）…… 80
第61図　出土遺物矢束③（1/4）…… 81
第62図　漆製品出土状況図（1/20）…… 83
第63図　出土遺物漆製品①（1/3）…… 84
第64図　出土遺物漆製品②（1/3）…… 85
第65図　出土遺物漆製品③（1/3）…… 86
第66図　出土遺物漆製品④・木製品①（1/2）…… 87

第67図　出土遺物木製品②・角製品（1/2）…… 88
第68図　木製品出土状況図（1/20）…… 91
第69図　出土遺物木製品③（1/40）…… 92
第70図　出土遺物木製品④（1/16）…… 93
第71図　隔壁板出土状況図（1/30）…… 95
第72図　出土遺物木製品⑤（1/16）…… 96
第73図　出土遺物木製品⑥（1/16）…… 97
第74図　出土遺物木製品⑦（1/8）…… 98
第75図　出土遺物木製品⑧（1/8）……101
第76図　出土遺物木製品⑨（1/8）……102
第77図　出土遺物木製品⑩（1/8）……103
第78図　出土遺物木製品⑪（1/4）……104
第79図　出土遺物木製品⑫（1/4）……105
第80図　出土遺物木製品⑬（1/4）……106
第81図　出土遺物木製品⑭（1/4）……107
第82図　出土遺物木製品⑮（1/8）……108
第83図　出土遺物木製品⑯（1/8）……111
第84図　出土遺物木製品⑰（1/4）……112
第85図　出土遺物木製品⑱（1/4）……113
第86図　出土遺物木製品⑲（1/8）……114
第87図　出土遺物木製品⑳（1/4）……115
第88図　出土遺物木製品㉑（1/12）……116
第89図　出土遺物木製品㉒（1/4）……117
第90図　出土遺物木製品㉓（1/3）……119
第91図　磚出土状況図（1/20）……120
第92図　出土遺物磚①（1/4）……121
第93図　出土遺物磚②（1/4）……122
第94図　出土遺物磚③（1/4）……123
第95図　出土遺物磚④（1/4）……124
第96図　出土遺物磚⑤（1/4）……125
第97図　出土遺物磚⑥（1/4）……126
第98図　出土遺物磚⑦（1/4）……127
第99図　出土遺物磚⑧（1/4）……128
第100図　出土遺物磚⑨（1/4）……129

第101図　出土遺物磚⑩（1/4）……130
第102図　出土遺物磚⑪（1/4）……131
第103図　出土遺物磚⑫（1/4）……134
第104図　出土遺物瓦①（1/4）……135
第105図　出土遺物瓦②（1/4）……136
第106図　出土遺物瓦③（1/4）……137
第107図　その他の遺物出土状況図（1/20）……139
第108図　出土遺物縄①（1/4）……140
第109図　出土遺物縄②（1/4）……141
第110図　その他の遺物①（1/3）……141
第111図　その他の遺物②（1/3）……142

付図　鷹島海底遺跡遺物出土状況図

# 表　目　次

表1　出土銅銭一覧表 …… 69
表2　出土磚計測表 ……132
表3　出土遺物一覧表 ……143

# 図　版　目　次

図版1　鷹島海底遺跡・遠景調査風景① ……237
図版2　調査風景② ……238
図版3　調査風景③ ……239
図版4　調査風景④ ……240
図版5　出土遺物陶磁器① ……241
図版6　出土遺物陶磁器② ……242
図版7　出土遺物陶磁器③ ……243
図版8　出土遺物陶磁器④ ……244
図版9　出土遺物陶磁器⑤ ……245
図版10　出土遺物陶磁器⑥ ……246
図版11　出土遺物陶磁器⑦ ……247
図版12　出土遺物陶磁器⑧ ……248

図版13　出土遺物陶磁器⑨ ……249
図版14　出土遺物陶磁器⑩ ……250
図版15　出土遺物陶磁器⑪ ……251
図版16　出土遺物陶磁器⑫ ……252
図版17　出土遺物陶磁器⑬ ……253
図版18　出土遺物陶磁器⑭ ……254
図版19　出土遺物陶磁器⑮ ……255
図版20　出土遺物陶磁器⑯・「てつはう」① ……256
図版21　出土遺物「てつはう」② ……257
図版22　出土遺物「てつはう」③・石製品① ……258
図版23　出土遺物石製品② ……259
図版24　出土遺物青銅製品① ……260
図版25　出土遺物青銅製品② ……261
図版26　出土遺物青銅製品③ ……262
図版27　出土遺物青銅製品④ ……263
図版28　出土遺物青銅製品⑤ ……264
図版29　出土遺物青銅製品⑥ ……265
図版30　出土遺物鉄製品① ……266
図版31　出土遺物鉄製品② ……267
図版32　出土遺物漆製品① ……268
図版33　出土遺物漆製品② ……269
図版34　出土遺物漆製品③・木製品① ……270
図版35　出土遺物木製品②・角製品 ……271
図版36　出土遺物木製品③ ……272
図版37　出土遺物木製品④ ……273
図版38　出土遺物木製品⑤ ……274
図版39　出土遺物木製品⑥ ……275
図版40　出土遺物木製品⑦ ……276
図版41　出土遺物磚① ……277
図版42　出土遺物磚② ……278
図版43　出土遺物瓦①・縄 ……279
図版44　出土遺物その他の遺物① ……280
図版45　出土遺物その他の遺物② ……281

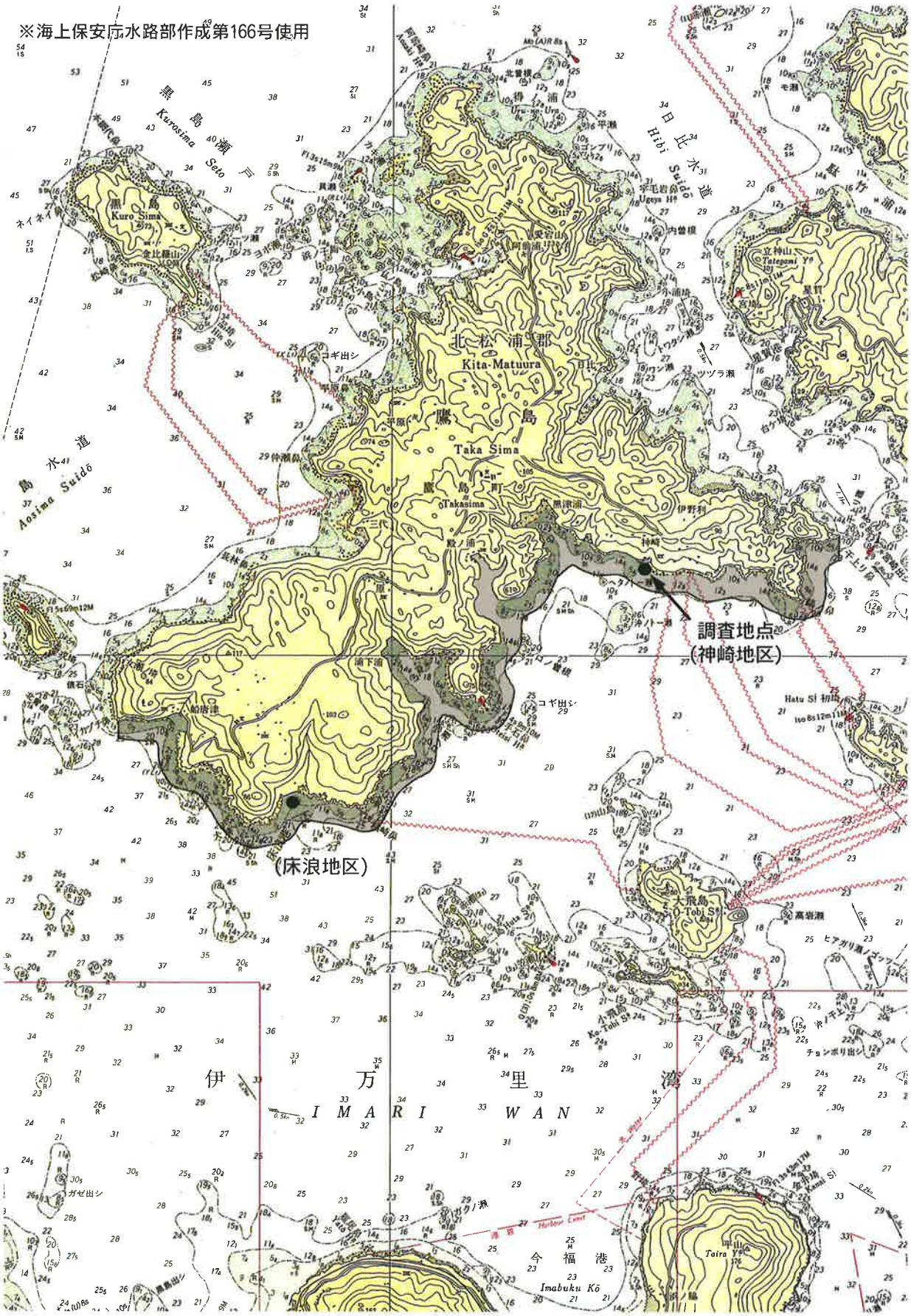
# 第Ⅰ章　はじめに

## 1．鷹島海底遺跡の調査

鷹島海底遺跡は、長崎県松浦市鷹島町南岸の東側に位置する干上鼻から西側の雷岬までの約7.5km、汀線から沖合約200mまでの範囲、約150万㎡の海域に所在している。鷹島海底遺跡として昭和56年に周知されるようになったことから、当該範囲内におけるあらゆる開発行為は文化財保護法によって規制されることになり、各種開発の前には事前に発掘調査が必要となっている。

鷹島海底遺跡の発見に至った要因は、昭和55年度から３カ年計画で総括研究代表者であった江上波夫東京大学名誉教授を中心として、文部省科学研究費特定研究「古文化財に関する保存科学と人文・自然科学」の一部として「水中考古学に関する基礎的研究」による実験調査地として長崎県北松浦郡鷹島町が選ばれたことに起因している。この調査では音響測探機のソノストレーター及びサイド・ス

第１図　松浦市管内図（1/150,000）




第２図　鷹島海底遺跡調査地点位置図（１/45,000)（アミ掛けは遺跡範囲）

キャン・ソナーを使用した海底下の情況調査やダイバーによる碇石・石製砲弾・陶器片等の遺物が引き上げられ、その特徴・年代からこの伊万里港湾に元の大軍が襲来し、台風を避けて鷹島の南岸に避難したものの、その大半が壊滅した場所であることとの史実が考古学的知見によって確認されたことによる。遺跡内には、地方港湾である床浪港・神崎港、56条港湾の三里港・原港がある。

## 2．床浪地区での調査

○昭和58年７月25日～９月23日

床浪港における防波堤建設工事は遺跡が周知される以前から計画があり、遺跡の保存のための協議が長崎県港湾課と長崎県県北振興局田平土木事務所と長崎県教育委員会及び旧鷹島町教育委員会の間で行われた。しかし、工事の中止や設計変更は困難であることから工事区域内の緊急発掘調査を実施することなり、調査は旧鷹島町教育委員会が主体となり荒木伸介埼玉大学講師を代表とする床浪海底遺跡発掘調査団によるものである。この調査で出土した遺物は調査面積に比べて稀少であったが、蠣殻等の付着物も無く、摩滅も認められないことから早い段階で包含層である細粒砂層に埋没したことが予想されている。

**第３図～第５図**はこの緊急発掘調査で出土した遺物である。

１は壷の胴部から底部にかけての破片である。中世の陶磁器の可能性は薄い。２は舶載の雑器で浅鉢の口縁部である。口縁部は厚く、内側に落し蓋のためか一段凸起のかかりを有している。３は朝鮮系の青磁碗の底部である。４は青磁で陰刻蓮弁文碗である。整形や陰刻も雑で器形にゆがみがみられる。色調は黄褐色に変化しており、青磁本来の色調は胴部の一部に見られる程度である。５～７は褐釉の瓶と壷である。５は褐釉瓶で色調は暗茶褐色である。口縁部は短く、肩は張らず胴部中央からゆるやかに上下に内反している。口縁部と底部はほぼ同径である。外面底部は回転ヘラ削りである。６は黒褐釉壷で、内面が黒茶褐色、外面が暗茶褐色で、一部灰茶褐色を呈している。口縁部は短く、口唇部は水平に仕上げているがやや凹みがみられる。肩部から胴部にかけてはゆるやかな張りをみせ、底部にかけてすぼまっている。外面底部には回転ヘラ削りが認められる。７も黒褐釉壷である。色調は黒茶褐色で釉は全面にかけられている。整形はやや雑で、器形にゆがみがみられる。５は12世紀後半から13世紀前半のもの。６・７は元代の雑器類であろう。

○昭和63年７月25日～９月23日

床浪港の防波堤建設に続く一連の工事として護岸工事に伴う一部海岸埋立てと浚渫工事に伴う試掘調査を実施している。調査は旧鷹島町教育委員会が事業主体となり県教育委員会が調査主体で行っている。調査では、包含層をエアーリフトで精査し、工事予定区域内の1,400㎡に遺物の埋蔵が推定されたことから本調査の必要性が改めて指摘されている。

○平成元年６月８日～８月６日

床浪港改修工事埋立て・浚渫に伴う緊急発掘調査を実施している。この調査では、地層探査機で異物の反応があった地点を併せて潜水調査で確認するという方法がとられている。また、海底のシルト

層をエアーリフトにより吸い上げる排土作業を伴った本格的な発掘調査となっている。調査区の海底下シルトの中でも遺物の移動があっており、さらに時期的に新しい遺物に蠣殻が付着せずに本来下層にある古い遺物に蠣殻が付着している例があることから海底下のシルトの堆積が一様ではなく、時にはかなり攪乱状態にあったことを推測させることとなった。

**第６図～第９図**はこの緊急発掘調査で出土した遺物である。

**８～10**は青磁碗である。**８**は口径16.6cm、器高７cm、底径5.8cmを測る。見込みに重ね焼きの砂目跡が付着している。**９**は口径16cm、器高6.5cm、底径6.5cmを測る。外面にロクロ整形の痕跡を残している。一部高台まで施釉されている。高台部分は回転ヘラ削りである。**10**は鎬蓮弁文で釉は暗黄緑褐色を呈している。ただし釉の表面には気泡があり、貫入も一部見られる。**11**は白磁皿である。口径15.2cm、器高4.9cm、底径6.5cmでやや高い高台を有している。施釉は全面に施されているが見込み部分は蛇ノ目釉ハギである。**12**は白磁碗である。口径15.5cm、器高6.55cm、底径5.4cmを測る。内面口縁部直下に一条の沈線を有する。口縁端部が釉ハギされ、見込み部分も蛇ノ目釉ハギである。**13**は白磁小皿である。口径8.9cm、器高3.2cm、底径4.1cmの完形品である。内面口縁部直下に沈線を有する。施釉は口縁部から胴部下位まで施され、下位から高台部分にかけては無釉で、底部は砂目を有する。**14**も白磁小皿である。外面口縁直下には凸帯白線の平行線が巡り、内外面は二重白線で器形を６区画に分けている。口縁端部は釉ハギで、内面にヘラによる調整痕を有している。

**15～35**は褐釉壷・瓶類である。

**37**は高麗系青磁の小壷である。

**第８図～第９図**は舶載陶磁器以外の出土遺物である。

**１～６**は縄文土器である。**１**は器表面に３条のミミズばれ状の微隆起線を貼付した轟Ｂ式に比定される深鉢の口縁部である。**２**も深鉢の口縁部である。器表面には右斜め下方向に、内面には横方向の短い凹線を施文し、口唇部には楕円形の刺突を施している。**３**も深鉢の口縁部で、器表面には縦方向の浅い沈線を施し、内面には横方向の凹線を巡らしている。**２**と**３**は曽畑式に比定される。**４**は鉢の口縁部である。胴部から急速に内湾する器形である。器表面には凹位の平行沈線を施している。口唇部は肥厚させ、２条の平行沈線を巡らしている。鐘ヶ崎式に比定される。**５・６**は晩期の深鉢の底部である。**７～９**は粗製深鉢の口縁部で、胎土に貝殻を含んでいる。**７・８**の内外面には荒い貝殻条痕が施されている。**９**の内面はナデ調整である。**10**は弥生中期末から後期にかけての弥生土器の壷口縁部である。**11**は土師器で如意形口縁を呈し、胴部がやや膨らむ器形である。11世紀頃の製塩土器と思われる。**12・13**は８世紀から９世紀の土師器の甕である。**14**は８世紀後半頃の土師器の坏身である。**15**は黒色土器Ｂ類である。**16**は土師器の坏で11世紀前後に比定されている。**17**も土師器の坏で12世紀前後に比定されている。**18**は瓦器埦である。**19**は土師器坏で底部は回転糸切りである。**20**は陶器である。**21**は体部が八角形をした瓦器の鉢である。**22**は陶器の捏鉢である。**20**と**22**は舶載資料の可能性がある。**23～30**は方形をした煉瓦状の磚である。形状により３タイプに分類できる。**23・24**のように幅が８cm前後と狭く、厚さが６cm程と方形に近い厚みを有するタイプ、**25～28**のように幅が15cm以上で、

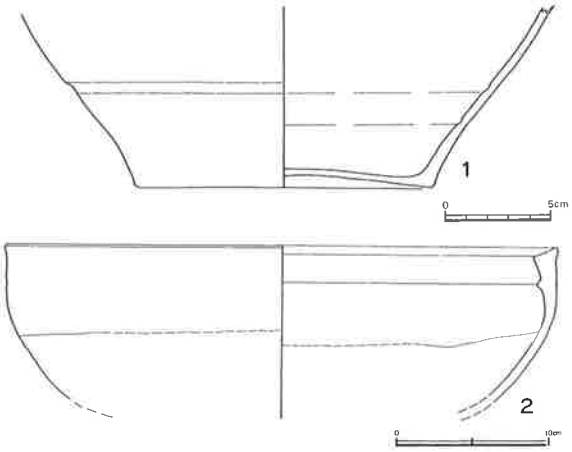
厚さも５cmから６cm程のタイプ、**29・30**のように幅が10cmから15cmの中間で、厚みが３cmから4.5cmの厚みを有するタイプに分けられる。**31～33**は石弾である。**34**は用途不明の玄武岩製の丸底を呈する石製品である。**35**は長さ52cm、幅20.7cm、厚さ10.4cm、重量25.4kgを測る碇石である。**36**は２箇所に耳がついた片口の乳鉢である。**37・38**は石製の竈である。**39**は石臼。**40**は日乾し竈であろう。

その他では鉄製品・銅製品・木製品が若干出土している。

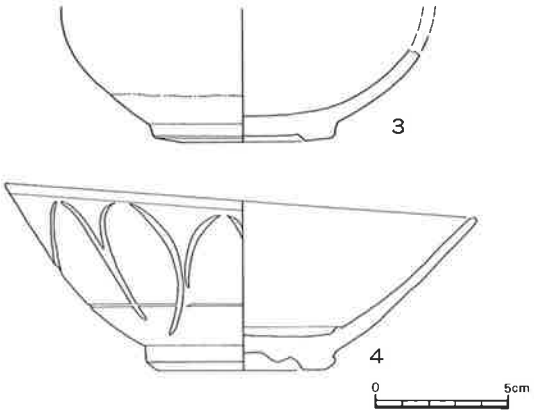
○平成４年７月20日～９月５日

床浪港改修工事（護岸）に伴う緊急発掘調査を実施。

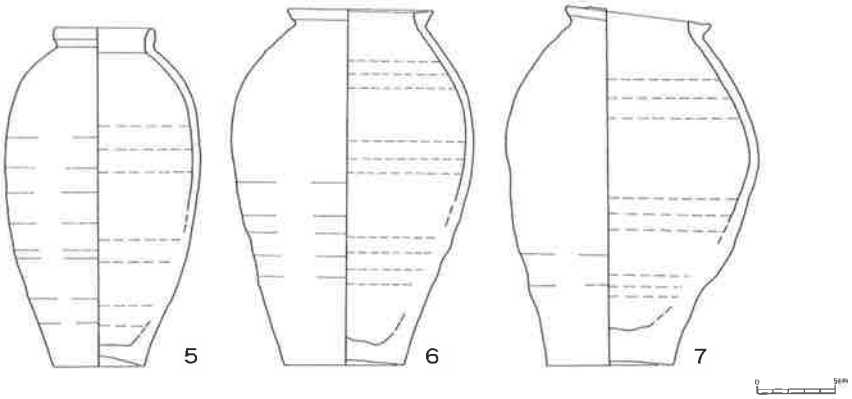
この調査では、水深25mから26mの地点から縄文時代早期の遺物包含層を確認した。この深さでの縄文早期の遺物の検出は日本でも初めてのことであり、鷹島は水中考古学にとって元寇関係遺物ばかりでなく、縄文の遺跡までも海底に包括する「鷹島海底遺跡」として知られることとなった。**第10図**はこの調査で出土した遺物である。488点の出土遺物のうち縄文土器は251点で、時期的には早期232点・前期３点・晩期１点である。早期の資料では、押型文が多く出土土器全体の73％を占めている。押型文土器でも楕円文土器が約50％、山形文土器が約20％、格子目文土器が約２％であった。**１～４**は山形文、**５～８**は楕円文、**９・10**は撚糸文である。**11**は前期後半の前葉頃の曽畑Ⅱ式土器で、外面は上位に横引きの沈線施文後に２本の沈線を山形状に押し引いている。中位には数条の沈線による三角組み合わせ文が施されている。胎土には結晶片岩粒を多く含



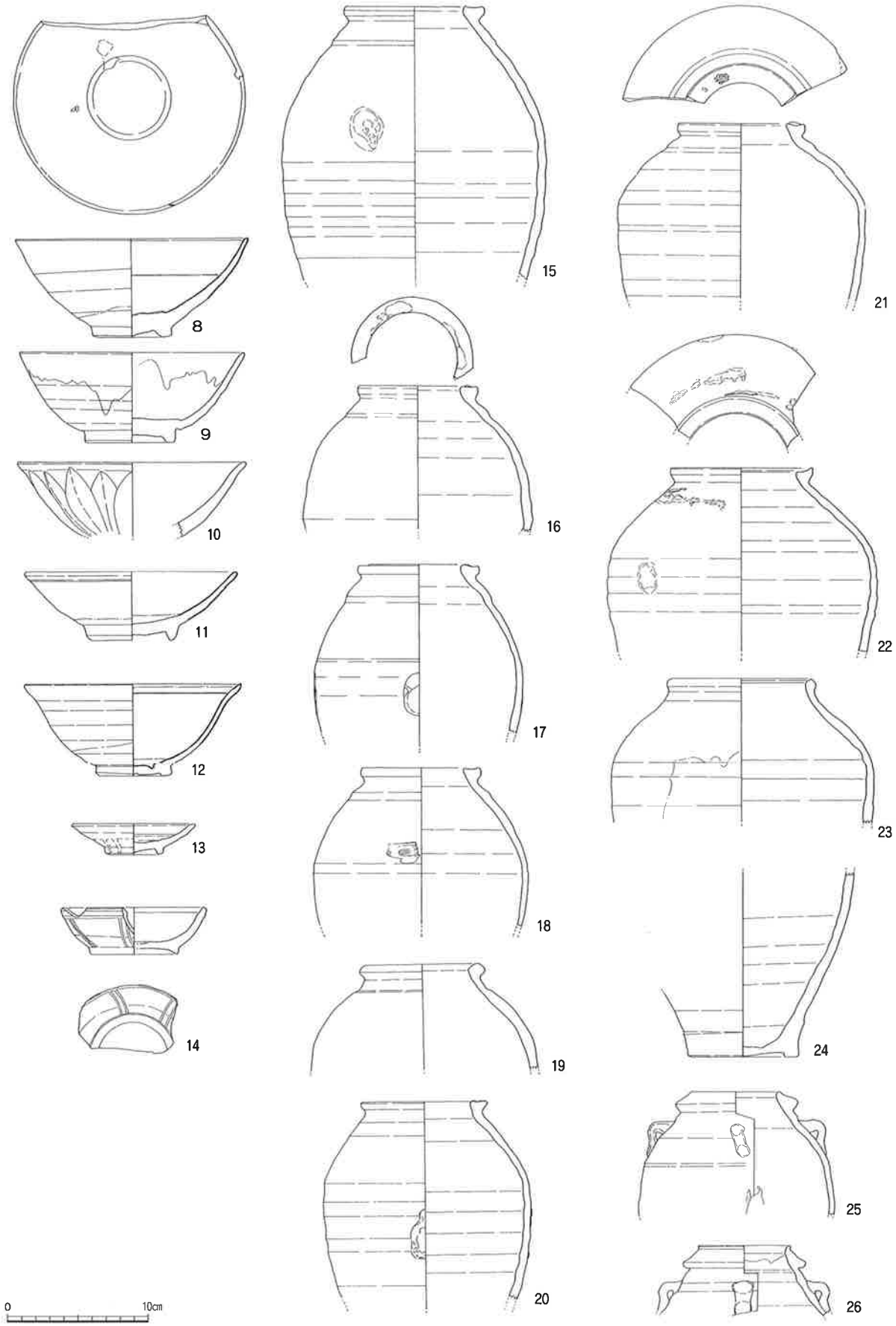

**第３図　床浪地区出土遺物①**



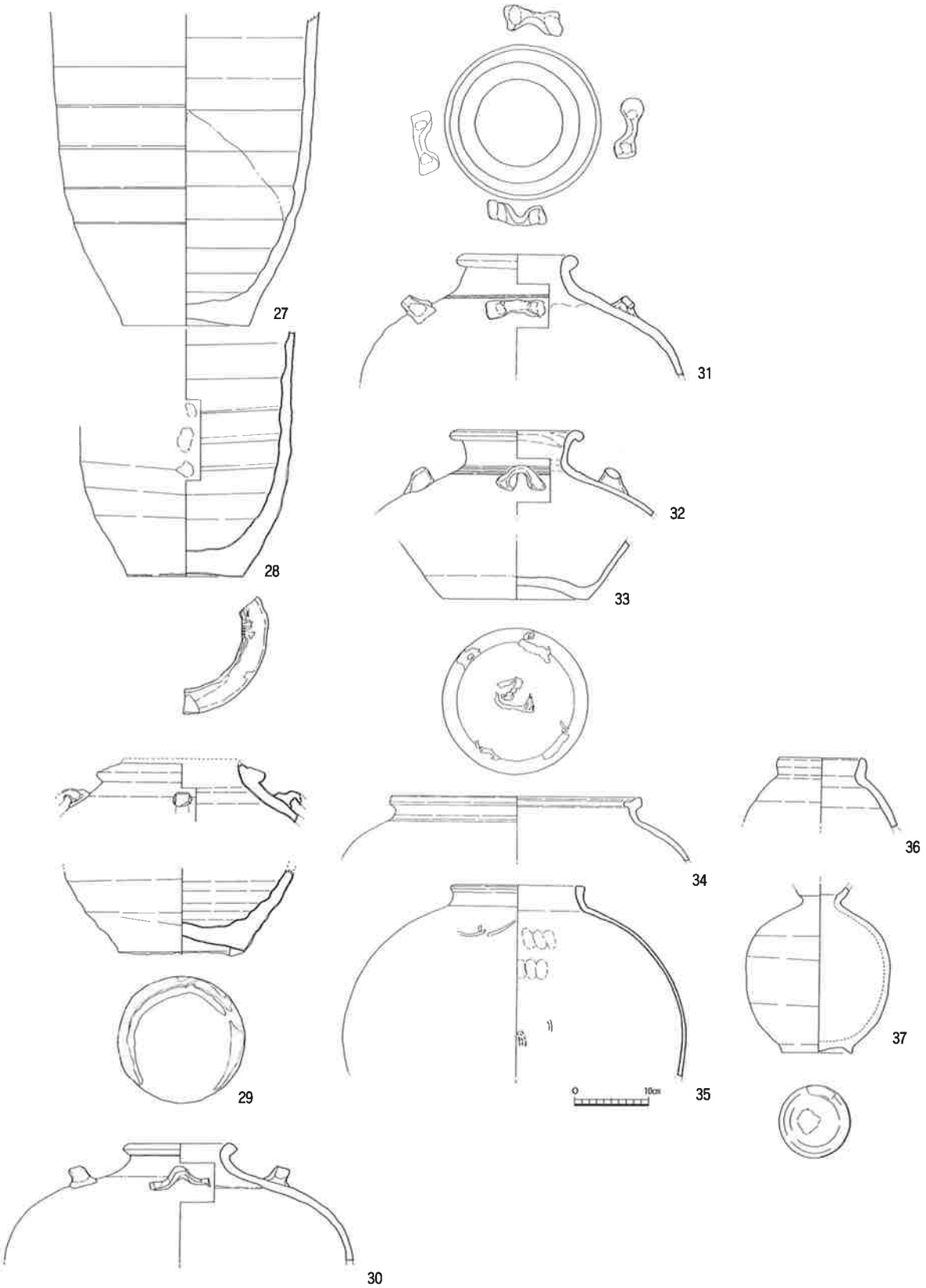

**第４図　床浪地区出土遺物②**



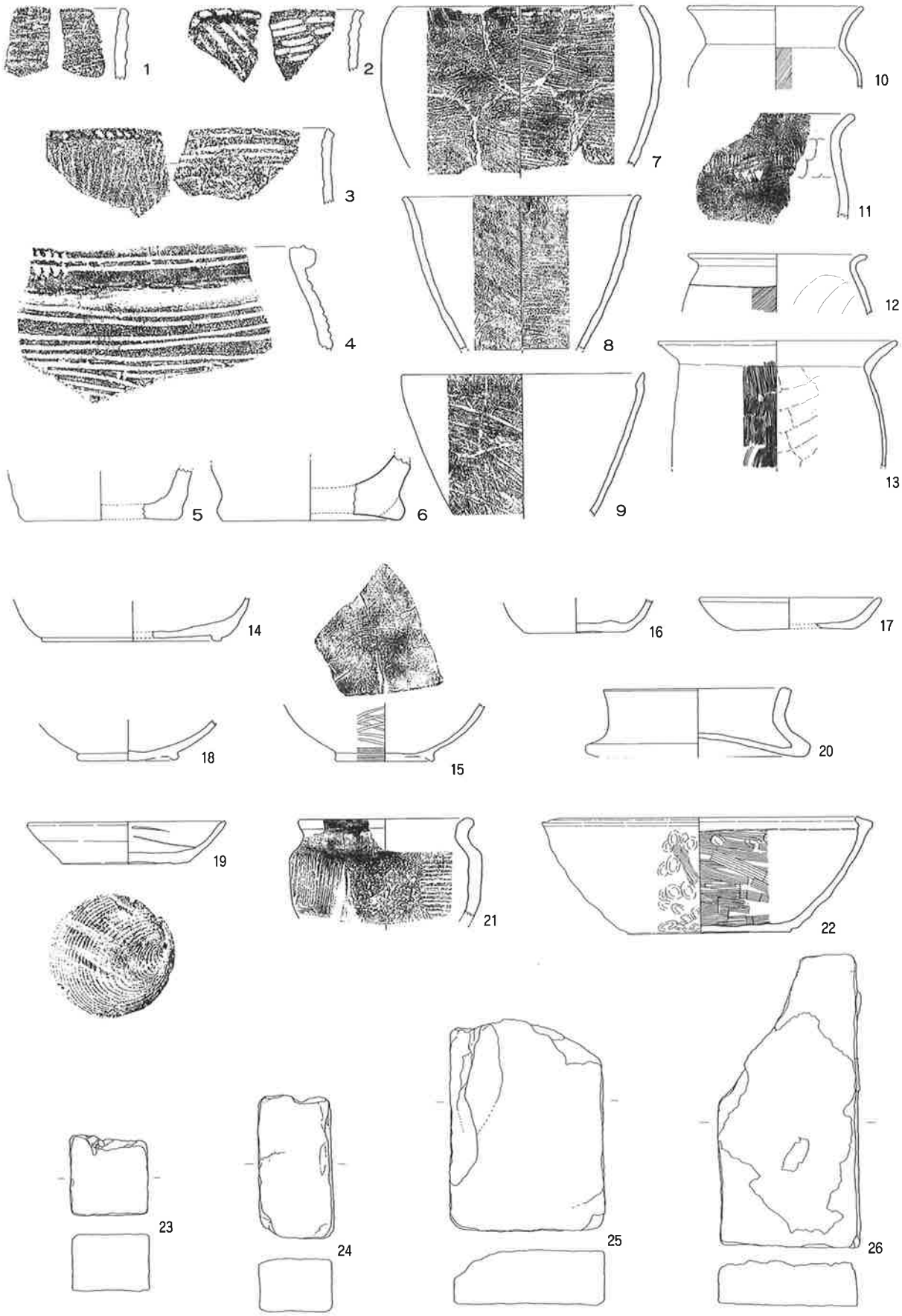

**第５図　床浪地区出土遺物③**



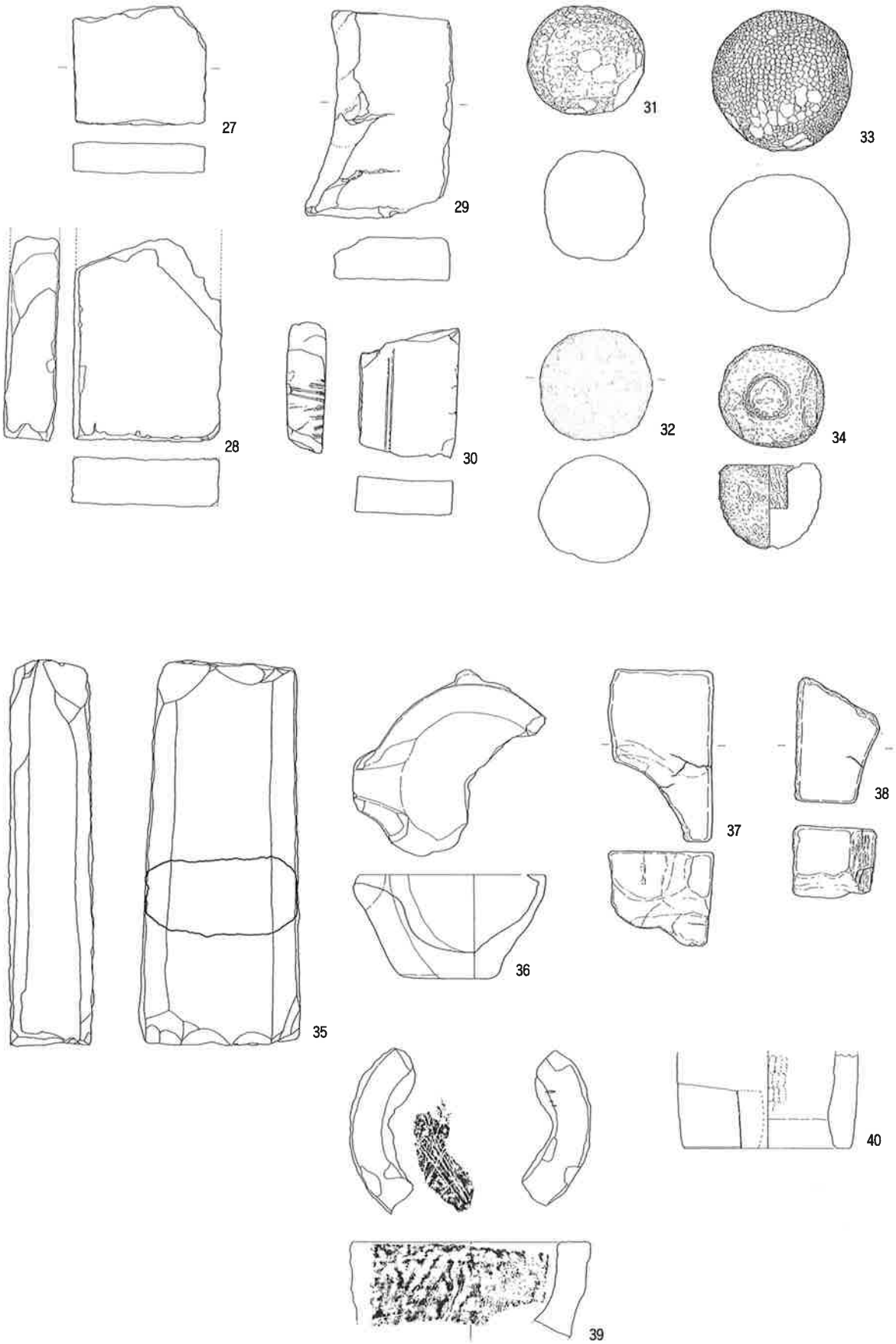

第６図　床浪地区出土遺物④（1/4）



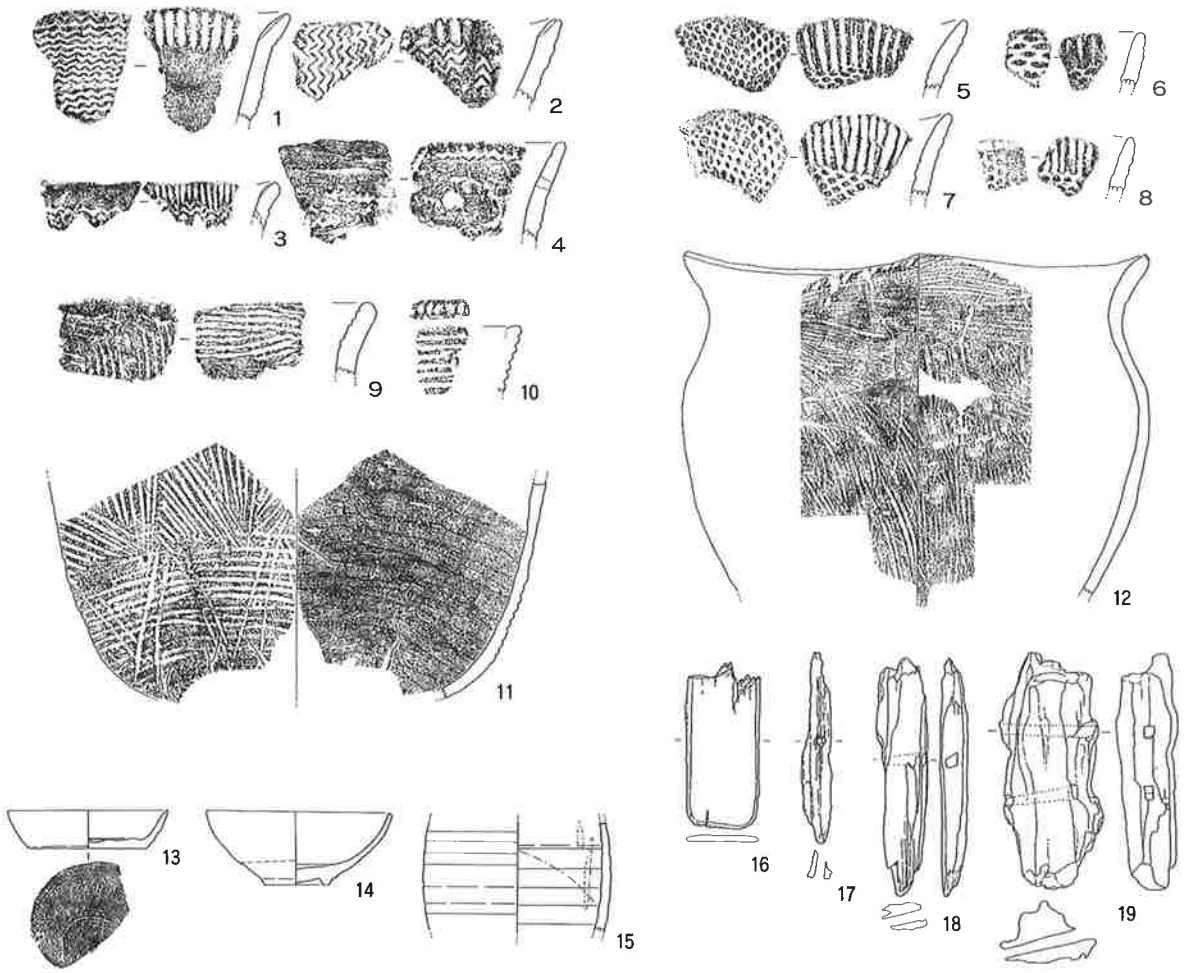

第７図　床浪地区出土遺物⑤（1/4）(34・35は1/8)




第８図　床浪地区出土遺物⑥（1/6）（1～6と14～21は1/4）




第９図　床浪地区出土遺物⑦（１/６）(35～38は１/８、39・40は１/12)




**第10図　床浪地区出土遺物⑧（1/4）（12から19は6/1）**

んでいる。12は晩期前半の前葉から中葉にかけての粗製深鉢である。器面の調整は全て貝殻腹縁による条痕文で、口唇部には刻み目を有している。そのほかの遺物では、13の回転糸切底の土師器坏。14は13世紀末頃の天目碗である。15は黄褐釉壷の胴部で、13世紀後半から14世紀初頭の時期のものである。16～19は木製品で、17～19には四角の釘目を有している。

## 3．遺跡内の範囲確認調査

以上のように鷹島海底遺跡に関しては、床浪地区を中心に試掘調査・緊急調査が行われ次第に遺跡の性格等が明らかになってきた。このような状況下において旧鷹島町教育委員会では文化財包蔵地内の規模・範囲や性格、元寇に関する遺物の有無を確認するため発掘を伴わない海底の目視による潜水調査を町単独事業で行うこととし、調査地点は、昭和55年から57年まで行われた調査で多数の遺物が引き上げられた神崎地区を中心に九州・沖縄水中考古学協会の協力を得て神崎港周辺から島の南東、遺跡の東側に位置する「南ケ崎」までの海域で平成４年度から11年度まで実施している。その後、平成12年度からは国庫補助事業として神崎港での確認調査を平成17年度まで実施している。

## ４．神崎地区での調査（第11図）

○平成４年６月27日・６月28日

神崎地区で目視による範囲確認調査。遺物の確認はできなかった。

○平成５年７月23日～７月25日（町単独事業）

神崎地区で目視による範囲確認調査。施釉陶器の壷片・鉢片を確認。

○平成６年７月22日～7月23日（町単独事業）

神崎地区で目視による範囲確認調査。欠損した２本の碇石を確認。

○平成７年６月30日～７月２日（町単独事業）

神崎地区で目視による範囲確認調査。褐釉陶器四耳壷を検出。

○平成８年６月28日～６月30日（町単独事業）

神崎地区で目視による範囲確認調査。用途・年代が不明の石製品を検出。

○平成９年10月24日～10月26日（町単独事業）

神崎地区で目視による範囲確認調査。碇石と褐釉陶器を検出。

○平成10年７月17日～７月20日（町単独事業）

神崎地区で目視による範囲確認調査。青磁碗・陶器と磚を検出。磚は浅い水深で検出。

○平成11年７月16日～7月18日（町単独事業）

神崎地区で目視による範囲確認調査。黒釉碗・褐釉壷と磚を検出。肥前系染付碗も検出。

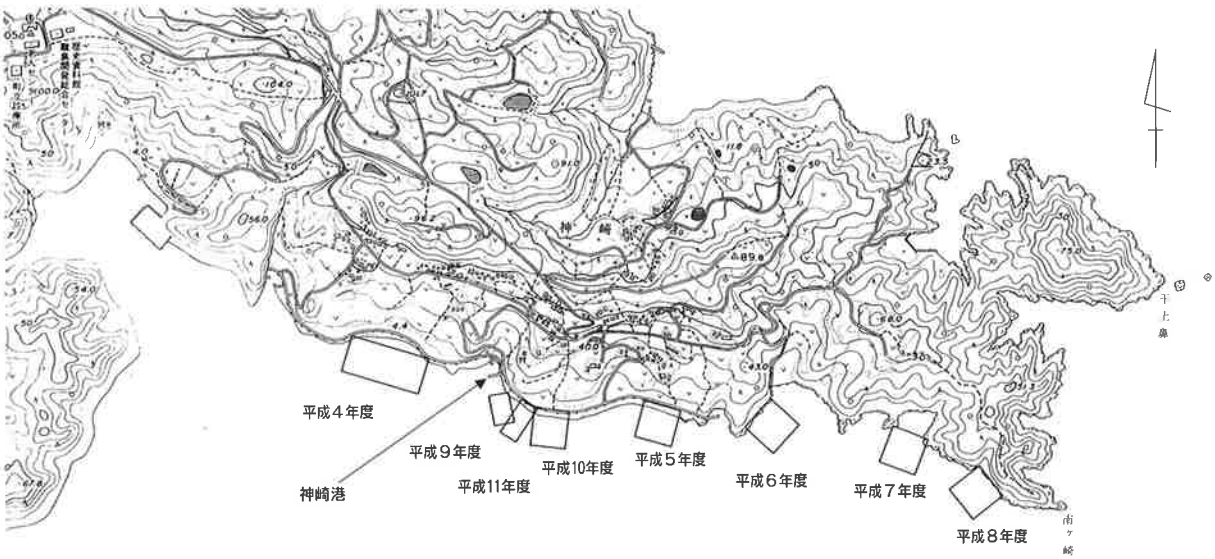
○平成12年７月29日～８月７日（国庫補助事業）

神崎地区で神崎港の改修工事に先駆けて範囲確認調査。磚・褐釉陶器が出土。

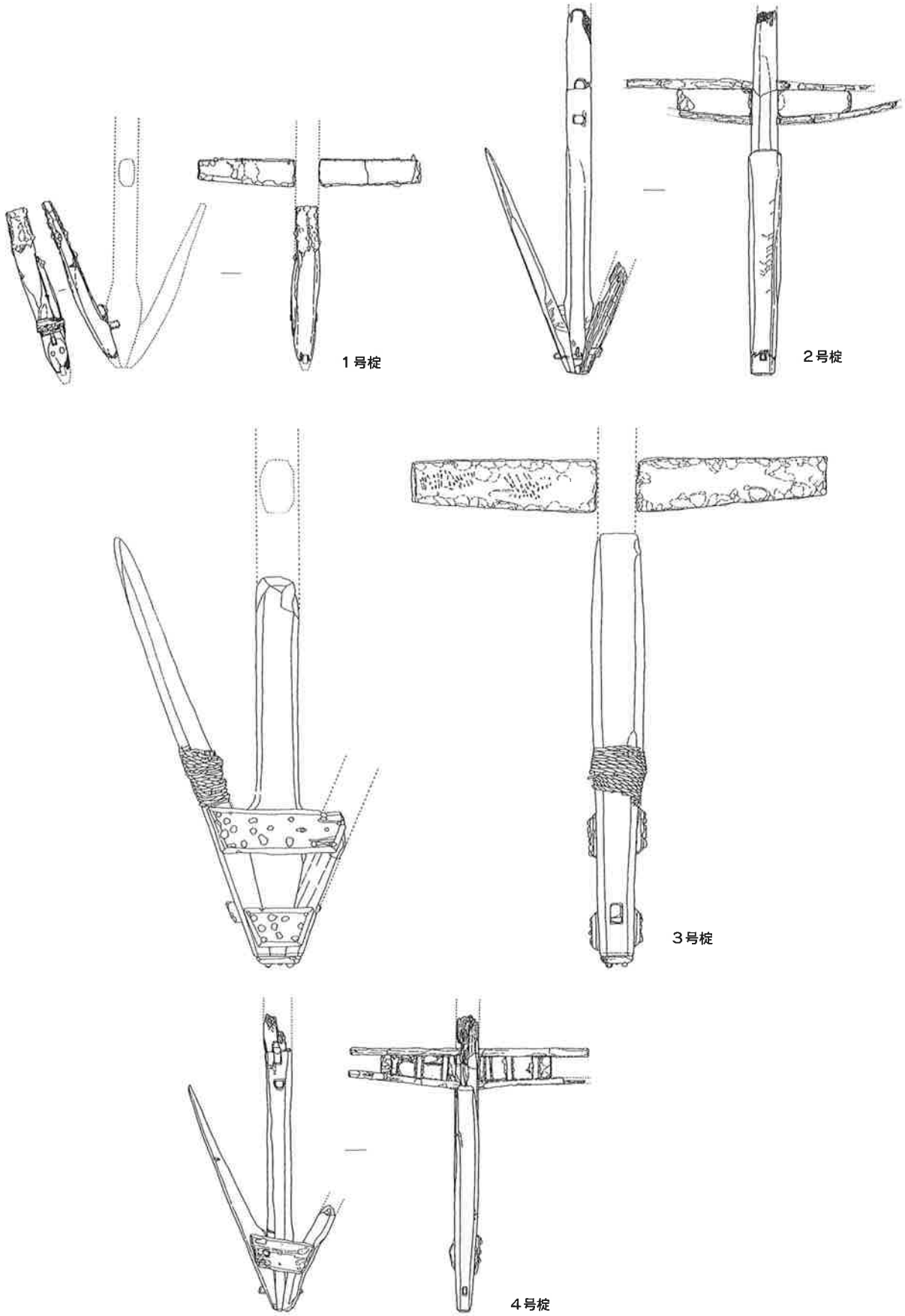
○平成13年８月１日～８月10日（国庫補助事業）

神崎地区で範囲確認調査。褐釉四耳壷・矢束等が出土。

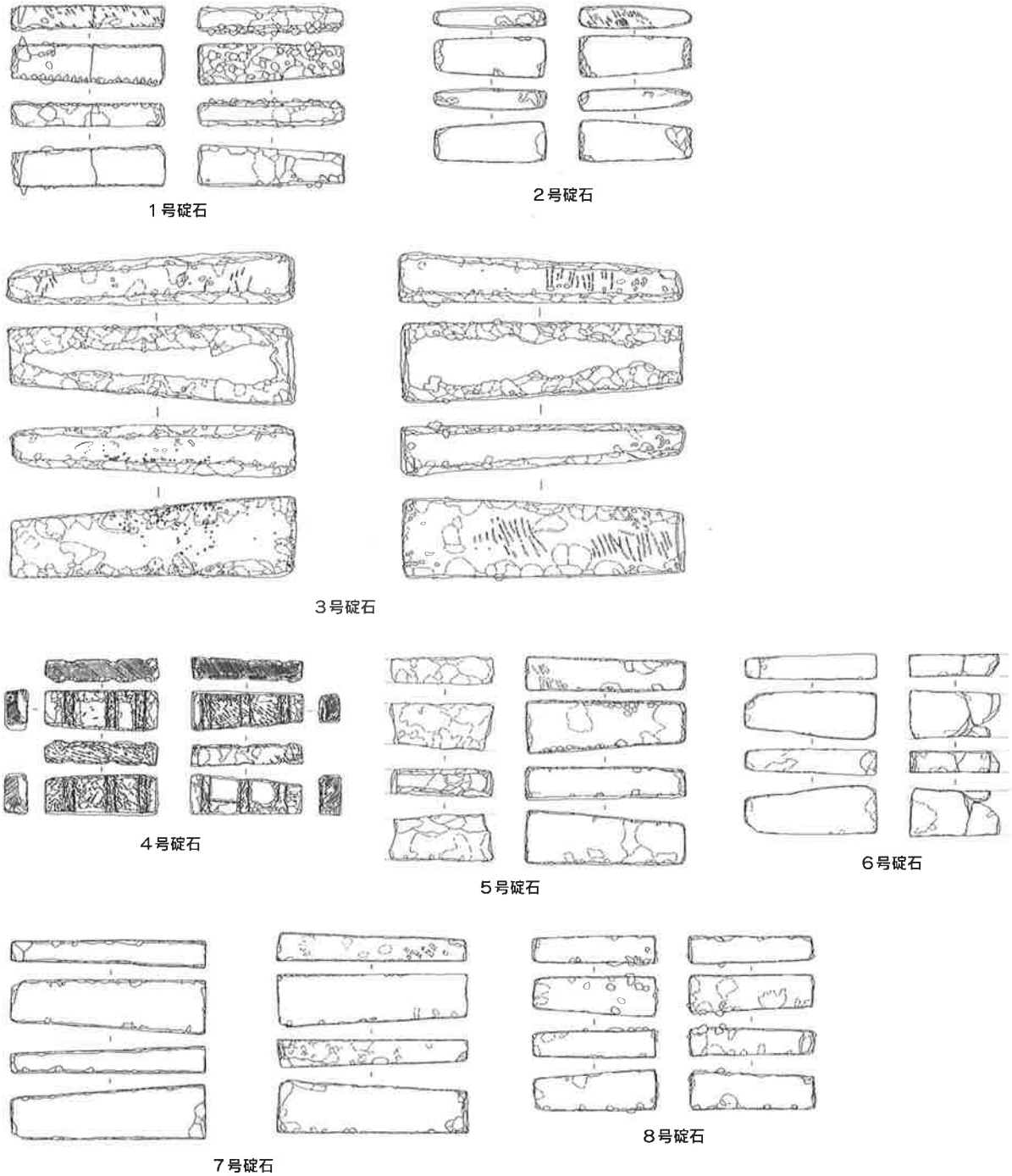
○平成14年12月９日～12月20日（国庫補助事業）




**第11図　神崎港周辺における年度別調査区域図（１/20,000）**




第12図　神崎地区出土遺物①（1/40）




**第13図　神崎地区出土遺物②（1/30）**

神崎地区で範囲確認調査。漆椀・銅銭・縄・鞘等が出土。

○平成15年７月19日～８月６日（国庫補助事業）

神崎地区で範囲確認調査。船の部材・褐釉陶器壷・磚・縄等が出土。

○平成16年７月17日～８月７日（国庫補助事業）

神崎地区で範囲確認調査。隔壁板・褐釉陶器・縄・鉄製冑・人骨等が出土。

○平成17年10月31日～11月６日（国庫補助事業）

神崎地区で範囲確認調査。船材・木製品・弓の先端部が出土。

平成６年度から神崎地区においても床浪地区と同様に神崎港で緊急調査を実施している。

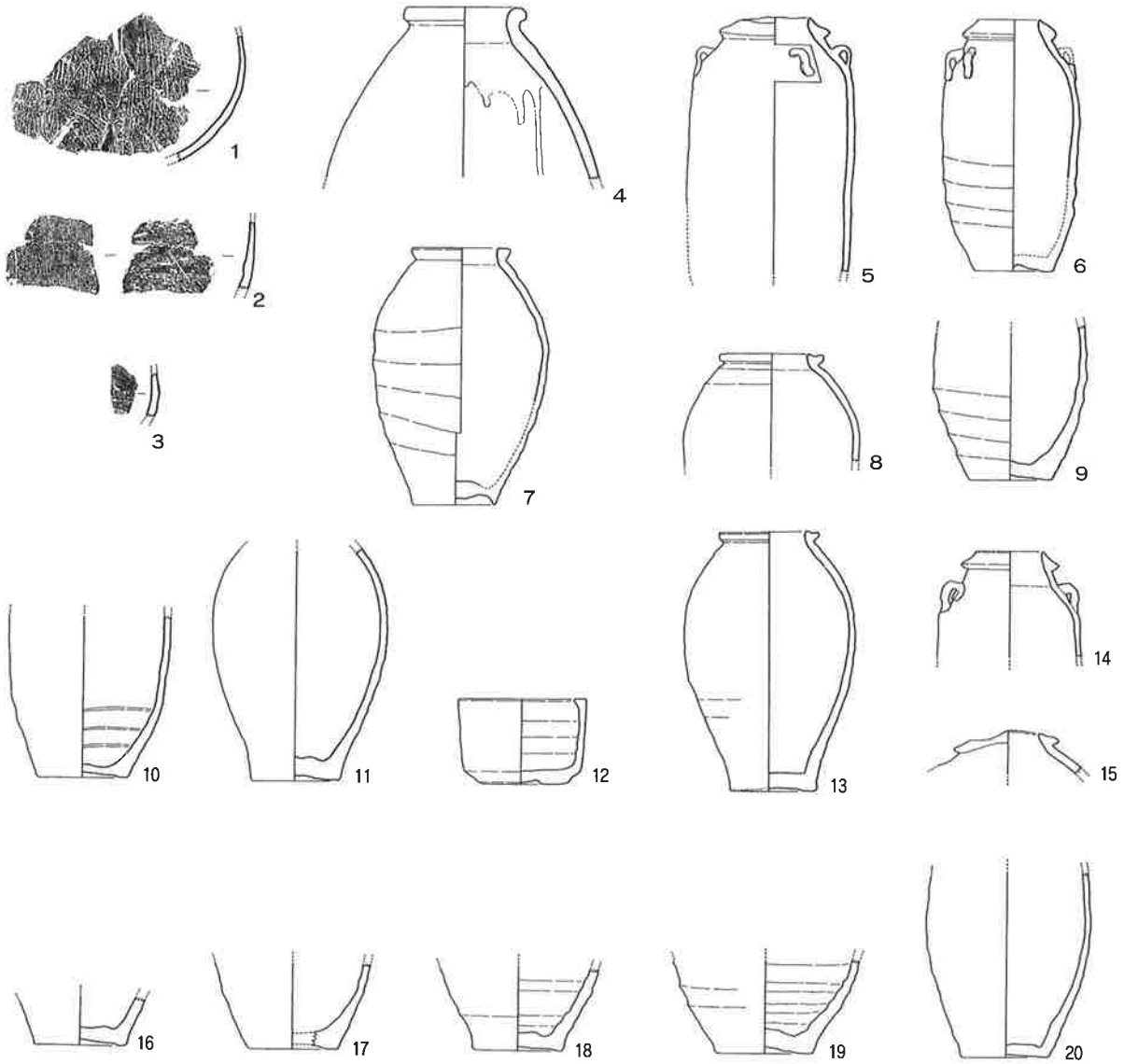
○平成６年11月３日～12月12日

神崎港防波堤建設工事に伴う緊急発掘調査。木製碇と碇石をセットで検出。碇の構造が判明。

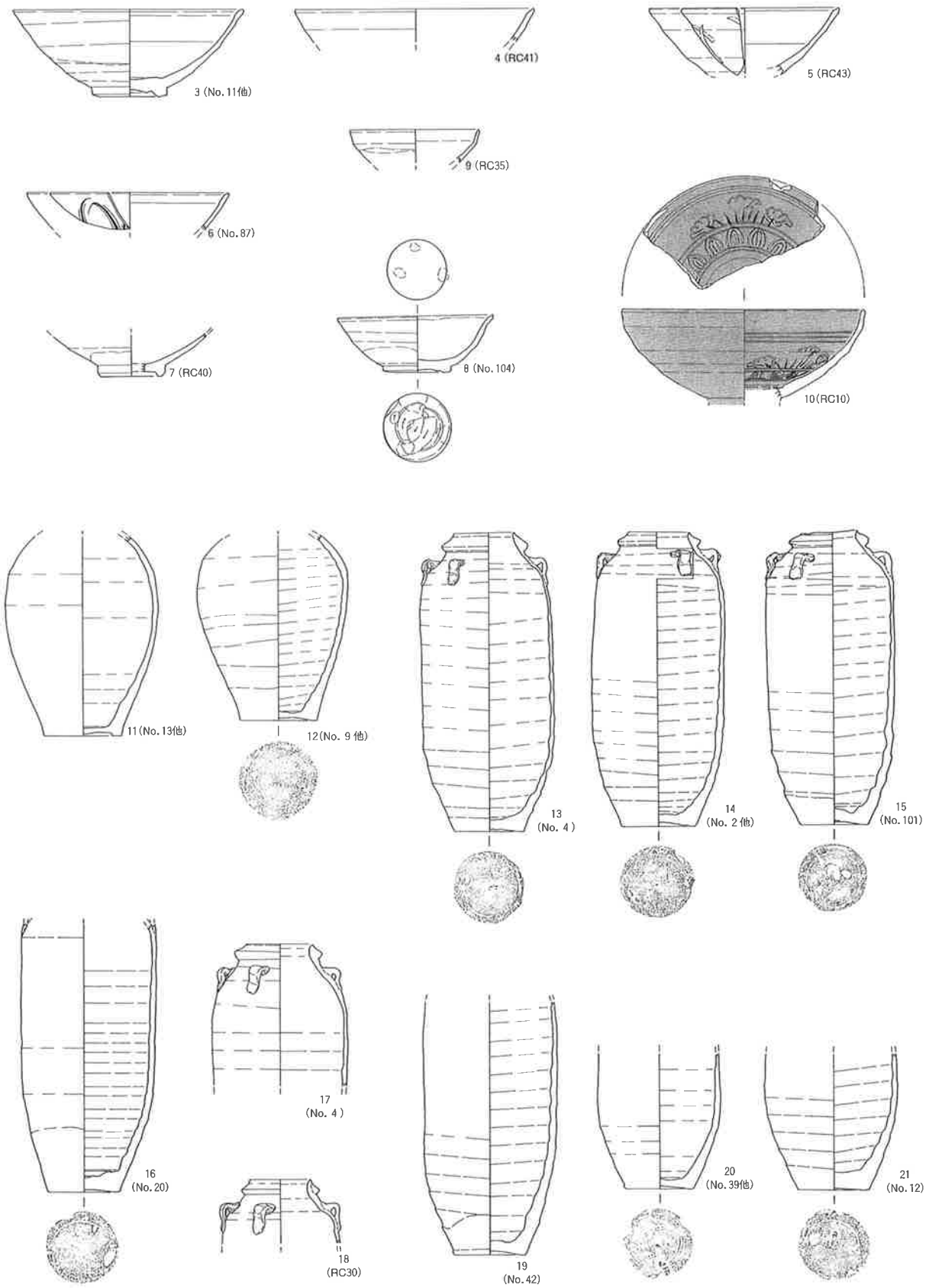
○平成７年７月17日～９月７日

神崎港防波堤建設工事に伴う緊急発掘調査。船材の可能性がある板材を検出。

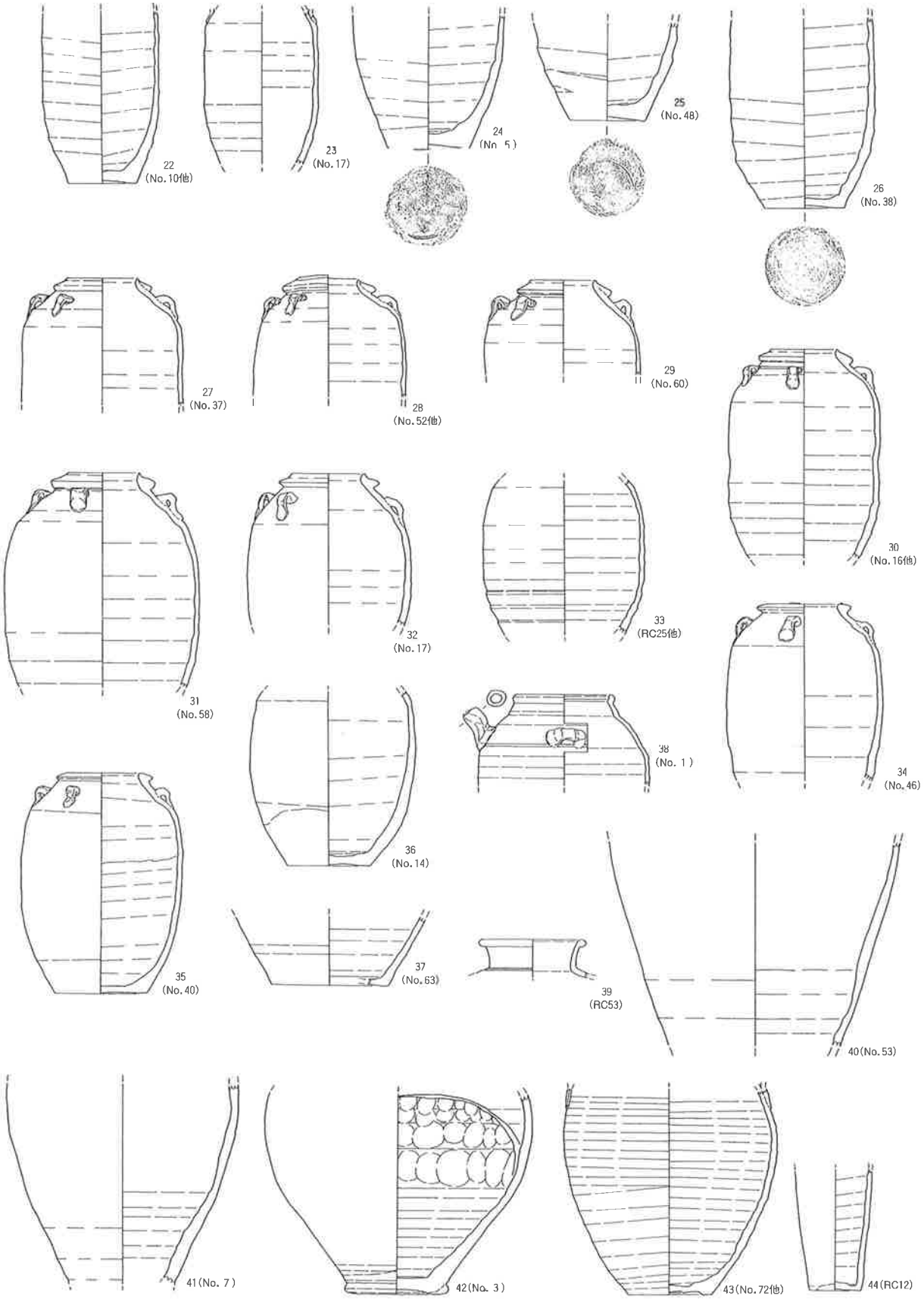
第12図は平成６年度に行った緊急調査で検出した碇である。調査では、碇４門がほぼ列をなして水面下20～22mの地点で検出している。この４門とも主軸方向はほぼ南北をさしている。碇の構造は碇身とその先端につけられた２本の碇歯及び碇歯と直交する方向で碇身の中ほど左右に取り付けられた碇石２個によって構成されている。ただし、船舶とその間を結ぶ綱（竹索）を碇に取り付ける碇身部上端が欠損しており、残っていなかった。小型の１・２・４号は、現存の碇身はそれぞれ120cm・260cm・210cmを測り、これに２号及び４号碇では長さ52cm、１号碇には長さ約70cmの碇石が２個ずつ取




**第14図　神崎地区出土遺物③（1/6）**




第15図　神崎地区出土遺物④（3～10は1/4.5、他は1/6）




**第16図　神崎地区出土遺物⑤（1/6）**

り付けられている。椗の歯先方向や検出状況から想定すればこれらの椗は椗と鷹島海岸線までの間に停泊していた船舶が沖合いに打つ椗として投下したものと考えられる。しかし、４門の椗は細部においても違いがあるため、これを基に椗を投下した船舶数を推定することは困難である。

３号椗は大型で椗身（アカガシ亜属）・椗歯・椗擔・椗石・竹索からなり、椗身は一辺30cmの角材で、椗身の長さは274cmが残存していた。この椗身の両側に長さ130cm余りの椗石をほぼ左右対称になるように１個ずつ取り付けている。椗身と椗歯の接合部分は上下二段に幅80cm×100cm、厚さ４cmと幅25cm×50cm、厚さ５cmの台形状の板材（クスノキ）を両側から鉄釘で固定している。椗歯の先端部には枘穴を通し、楔（アカガシ亜属）や棍で固定している。更に楔の部分には竹索を巻いて補強している。

**第13図**は調査で検出した椗石で、合計16個ある。この調査で椗身の両側には２個の椗石を取り付け、その上下に直径４～５cmの丸太材を通して椗石を縛って固定しているため、従来の博多湾等から見つかっている長さ２～３ｍの角柱状の椗石と区別するため「鷹島型椗石」と呼ばれるようになっている。なお、１号椗の椗石の長さは70.5cmと68cm、２号椗の椗石の長さは52.5cmと52cm、３号椗の椗石の長さは132cmと131cm、４号椗の椗石の長さは52cmと52.5cm、５号椗の椗石の長さは47cmと74.5cm、６号椗の椗石の長さは62cmと42cm、７号椗の椗石の長さは90cmと87.5cm、８号椗の椗石の長さは57cmと57cmである。

**第14図**は平成６年度と７年度の緊急調査で出土した遺物で、褐釉陶器・青磁及び土師器である。これらの中で大半を占めるのが褐釉陶器である。**１**は土師質土器、**２**は土師器の甕の胴部である。**12**は青磁筒形香炉で、その他は全て褐釉陶器である。**４**は短く外反する口縁部で、内面に釉薬がたれている。**５・６・14・15**は四耳壷である。**６**は口縁部の一部と四耳の一つを欠くがほぼ完形品である。器高21.5cm、口径5.2cm、胴部最大径12.1cm、底径7.1cmを測る。筒形の胴部から口縁部が短く細く、断面が三角形状を呈している。胴部下位はヘラ削りによる調整痕を有している。**13**は完形の壷で、器高22.1cm、口縁外径8.3cm、内径6.1cm、胴部最大径14.7cm、底径7.6cmを測る。器形は楕円形の胴部に逆三角形状の口縁部と上げ底気味でやや厚めの底部からとなっている。**９～11**は壷の胴部から下位の底部にかけての資料である。**16～20**は底部である。

○平成12年10月15日～11月21日

神崎港改修工事（護岸）に伴う緊急発掘調査。大型木製品（船材？）・真鍮製帯金具等が出土。

**第15図～第17図**はこの調査で出土した195点のうちの遺物である。ただし、19世紀の前半の肥前系磁器染付網目文小坏と19世紀から幕末の波佐見徳利は除いている。

**33～44**は舶載陶磁器で、**３～10**以外は貯蔵用の褐釉陶器壷で、**38**は水注、**44**は長胴壷か瓶である。**３～５**は青磁碗で、**６～８**は白磁碗である。**６**は外面に叉状工具による蓮弁文を有している。**８**は口縁端部の釉を削り取った口禿げの小碗で内面見込みと高台にそれぞれ３箇所に目跡を残している。**９**は黒褐釉の天目碗である。**10**は高麗青磁で象嵌蓮花文碗である。蓮花文の茎のみ黒土で他は白土の象嵌が施されている。**11**は胴部中位に最大径を持ち底部の高台を削りだしている。**12**は最大径を肩部に

持ち胴部中位から底部にかけてはヘラ削りである。13～36は口縁部が外下方に張り出し、断面が三角形を呈する縁帯を持つ四耳壷である。全体の器形や口縁部の形態・耳の取り付け方・外面の調整等に共通するものがある。縦の四つの耳は直交する位置ではなく、近接した二つの耳を対置させている。胴部の器肉は薄く、肩部から胴部中位にかけてはナデ調整を行い、胴部下位から底部付近にかけては粗くヘラ削りを施している。13～26は長い胴部を持ち、器高30cm前後で、口径は6cm前後、底径は7cmのものが多い。27～36は13～26に比べて器高は低く、胴径が大きい資料である。34は口唇部を平坦に丸く仕上げている。38は横位の耳を有する水注である。口縁は「く」の字状に外反し、耳は注口から90度の位置にあり、下位に一条の沈線を有している。39～43は比較的大型の壷である。45は長方形の磚である。全長26.0cm、幅8.4～8.6cm、厚さ4.4cm、重量1840gの完形品である。この磚は付着している漆喰の状況から竈の資材として使用されたものと考えられている。46はクスノキを使用した現存長195.0cm、現存幅61.5cm、現存厚29.0cmある船体の部材の一部と考えられている。47もクスノキを使用した船体の部材の一部で、現存長184.0cm、現存幅47.0cm、現存厚21.0cmを有する。材の中軸線上に削り出しによる突起を持ち、断面が方形を呈する穿孔が施されている。突起の幅は10cm内外で幅は28.5cmを有する。方形の穿孔は7cm×8cmのやや隅丸の長方形で明瞭な擦痕が確認できる。現在この部材は複材刳舟中央船底材の船尾側の一部である可能性が高いと考えられている。48は板材の一部で、49は構造船の隔壁材端部付近の一部と考えられている。いずれの材もクスノキである。

50～56は黄銅製帯金具である。50・54は鉸具と言われるバックルに相当する帯金具である。51・56は釚・鐶、52は帯鉤、53は蛇尾、55は刺金の一部と思われる部分が現存しており、鉸具の一部と思われる。57～67は鉄製品である。57～63は鉄製品集中区より出土しているうちの7点である。64・65は形状から鏃と思われる。

○平成13年8月17日～10月25日（本報告）

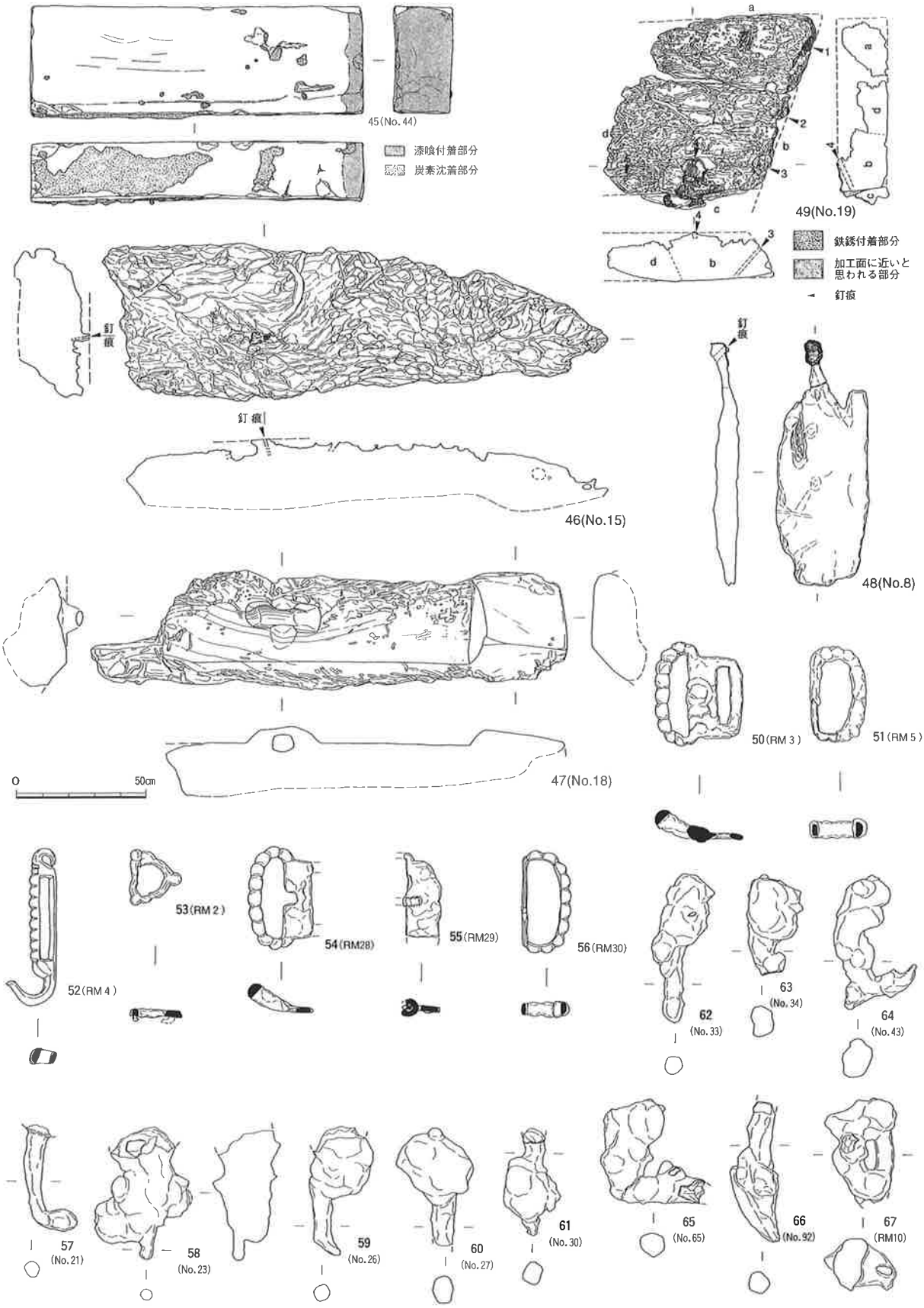
神崎港改修工事（船着場・浚渫）に伴う緊急発掘調査。船材・隔壁板・碇石・てつはう・陶磁器・銅銭等多くの遺物が出土。

○平成14年7月8日～12月10日（本報告）

神崎港改修工事（防波堤・荷揚げ場）に伴う緊急発掘調査。

大型船の隔壁板・「王百戸」銘墨書青磁碗・漆椀・鉄製冑・矢束・朱塗櫛等多くの遺物が出土。

上記以外では、平成元年度から3カ年計画で九州大学西谷正教授を中心に文部省科学研究費補助金（総合研究A）による「鷹島海底における元寇関係遺跡の調査・研究・保存方法に関する基礎的研究」の学術調査が行われている。




第17図　神崎地区出土遺物⑥(45は1/4.5、46・47は1/22.5、48・49は1/15、50～56は1/3、57～67は1/6)

参考文献

上記に関しては、以下の報告書を参考にし、一部引用して掲載している。


床浪海底遺跡　床浪港改修工事に伴う緊急発掘調査報告書
鷹島町教育委員会・床浪海底遺跡発掘調査団　1984

鷹島海底遺跡　床浪港改修工事に伴う緊急発掘調査報告書
長崎県鷹島町教育委員会　1992

鷹島海底遺跡Ⅱ　床浪港改修工事に伴う緊急発掘調査報告書
長崎県鷹島町教育委員会　1993

鷹島海底遺跡Ⅲ　鷹島町神崎港改修工事に伴う緊急発掘調査報告書
長崎県鷹島町教育委員会　1996

鷹島海底遺跡Ⅳ　鷹島海底遺跡内容確認発掘調査報告書１
長崎県鷹島町教育委員会　2001

鷹島海底遺跡Ⅴ　鷹島町神崎港改修工事に伴う緊急発掘調査報告書②
長崎県鷹島町教育委員会　2001

鷹島海底遺跡Ⅵ　鷹島海底遺跡内容確認発掘調査報告書２
長崎県鷹島町教育委員会　2002

鷹島海底遺跡Ⅶ　鷹島町神崎港改修工事に伴う発掘調査概報
長崎県鷹島町教育委員会　2002

鷹島海底遺跡Ⅷ　鷹島町神崎港改修工事に伴う発掘調査概報②
長崎県鷹島町教育委員会　2003

鷹島海底遺跡Ⅸ　鷹島海底遺跡内容確認発掘調査報告書３
長崎県鷹島町教育委員会　2003

鷹島海底遺跡Ⅹ　鷹島海底遺跡内容確認発掘調査報告書４
長崎県鷹島町教育委員会　2004

鷹島海底遺跡Ⅺ　鷹島海底遺跡内容確認発掘調査報告書５
長崎県鷹島町教育委員会　2005

松浦市内遺跡確認調査（１）　松浦市文化財調査報告書　第１集　鷹島町内遺跡確認調査報告
長崎県松浦市教育委員会　2007

# 第Ⅱ章　平成13・14年度の調査

## 1．調査に至る経緯

鷹島南岸の海底からは以前より地元の漁師によって壺類や碗類、碇石等の遺物が数多く引き揚げられており、また当地は以前から蒙古襲来におけるいわゆる「弘安の役」の際の暴風雨によって元軍の大部分の軍船が沈没遭難した場所であるとの通説があった。

昭和55年から昭和57年にかけて行われた、文部省の科学研究費特定研究「古文化財に関する保存科学と人文・自然科学」（総括研究代表者：故江上波夫東京大学名誉教授）の一部である「水中考古学の基礎的研究―水中遺構・遺物等の探査および保存に関する研究―」（代表者：茂在寅男東海大学教授）の実験調査地として鷹島が選ばれ※、その結果、鷹島南岸東側の干上鼻から西側の雷岬までの延長約7.5km、汀線より沖合に200mに至る約150万㎡の範囲が、元寇関係遺物を包蔵する周知の遺跡として昭和57年に遺跡台帳に登録された。遺物が採集される範囲は鷹島南岸全域にわたっており、汀線から沖合200mというのは開発工事が及ぶと予想される海岸からの距離であり、水深は20～30mほどのラインである。以来、当該地における各種の開発に伴う緊急の発掘調査を行ってきた。

ちなみに調査を実施した神崎港付近には、昭和49年春、地元神崎免の迎国市氏が貝掘り中に、元軍が所持していた青銅製の「管軍総把印」と印面にパスパ文字で刻まれた印鑑を採集した地点がある。

調査は、地元の強い要望により実施された神崎地区の漁港の改修工事に伴う緊急調査として始まり、これまでに、本報告をあわせて３回の改修工事が行われたのに伴い、発掘調査を実施してきた。

最初に長崎県県北振興局田平土木事務所により神崎港の改修工事（離岸堤建設）の計画が提出され、長崎県教育庁文化課（当時）、鷹島町教育委員会（当時）の３者で協議を行い、周知の遺跡の範囲でもあることから、発掘調査を行うこととなった。まず平成２年の浦下浦での地質調査の結果をもとに、平成６年に2,000㎡の区域の地層探査を行い、反応地点を確認するため浚渫作業を慎重に行い、元寇関係遺物を確認した場合には浚渫を中止してエアーリフトによる発掘調査を行うという方法をとった。このときの地層探査の結果は、現海底面から１～２ｍ下に異常反応が４箇所認められたが、それまでの調査知見では元寇関係の遺物包含層はゆるいシルト層から更に数ｍ下であると考えられていた。その後、浚渫作業中に現海底下１～２ｍのシルト層から碇石と木片が発見されたことにより認識が改められ、大型の木製椗等が発見されている。この調査では、探査による地層の状況は一致したが、異常反応ポイントと実際の遺物の出土地点とは必ずしも重ならないという結果となってしまった。このときの調査は、次年度の平成７年の２ヵ年にわたって調査を実施しているが、6,000㎡という広大な調査対象区域のうち浚渫作業ができたのが1,200㎡、そのうち発掘調査ができた面積が900㎡にとどまり、残りの部分を全面発掘できずに、平成９年に離岸堤建設の実施に至ったことは、非常に残念であり、筆舌に尽くし難いものがある。

次に調査を行ったのは、平成12年である。このときは、この沖合の離岸堤を東側に延長する計画であり、長崎県県北振興局田平土木事務所と鷹島町教育委員会（当時）との協議においても、平成６年

から７年にかけて行った調査の結果からも元寇関係遺物を包蔵していることが十分に予想されるため、事前の調査が必要であるという結論に達した。このときの調査では、前回の調査の結果を踏まえ、発掘元寇関係遺物の包含層を的確に捉えることができたことが、大きな成果の一つといえる。また、構造船の一部と見られる部材や、それまでバラストとして積載されていたと考えられていた磚が、カマドの材料として使用されていたことが判明し、史に兵士が身に着けていたベルトのバックル、武器である矢束等が出土してきたことなどで、船の構造だけでなく兵士の姿や船上での具体的な生活が見えはじめたことが、成果として挙げられる。

次に、今回報告する調査は、神崎港の主体部分である船揚場、荷揚場及び防波堤工事に伴う発掘調査である。長崎県県北振興局田平土木事務所と鷹島町教育委員会（当時）との協議において、前年度の離岸堤の延長工事に伴う発掘調査の範囲の北側に接する範囲も含まれることから、前年度（H12）の調査結果からも元寇関係遺物の出土が予想されたため、発掘調査を行うこととなった。当初、平成13年度内に調査を終了し、引き続き工事が着手される予定であったが、予想を上回る遺物の質と量であったために、予定していた期間を延長して調査を行った。そして、引き続き次年度の平成14年に調査を実施することとなった。

調査期間

平成13年度調査　　平成13年８月17日から10月25日まで

平成14年度調査　　平成14年７月11日から12月７日まで

※「松浦党」研究者である伊万里市出身の故古賀稔康氏により江上先生に鷹島が紹介されたことが契機となった。

参考文献


１．図録　鷹島　蒙古襲来・そして神風の島　鷹島町教育委員会　2001

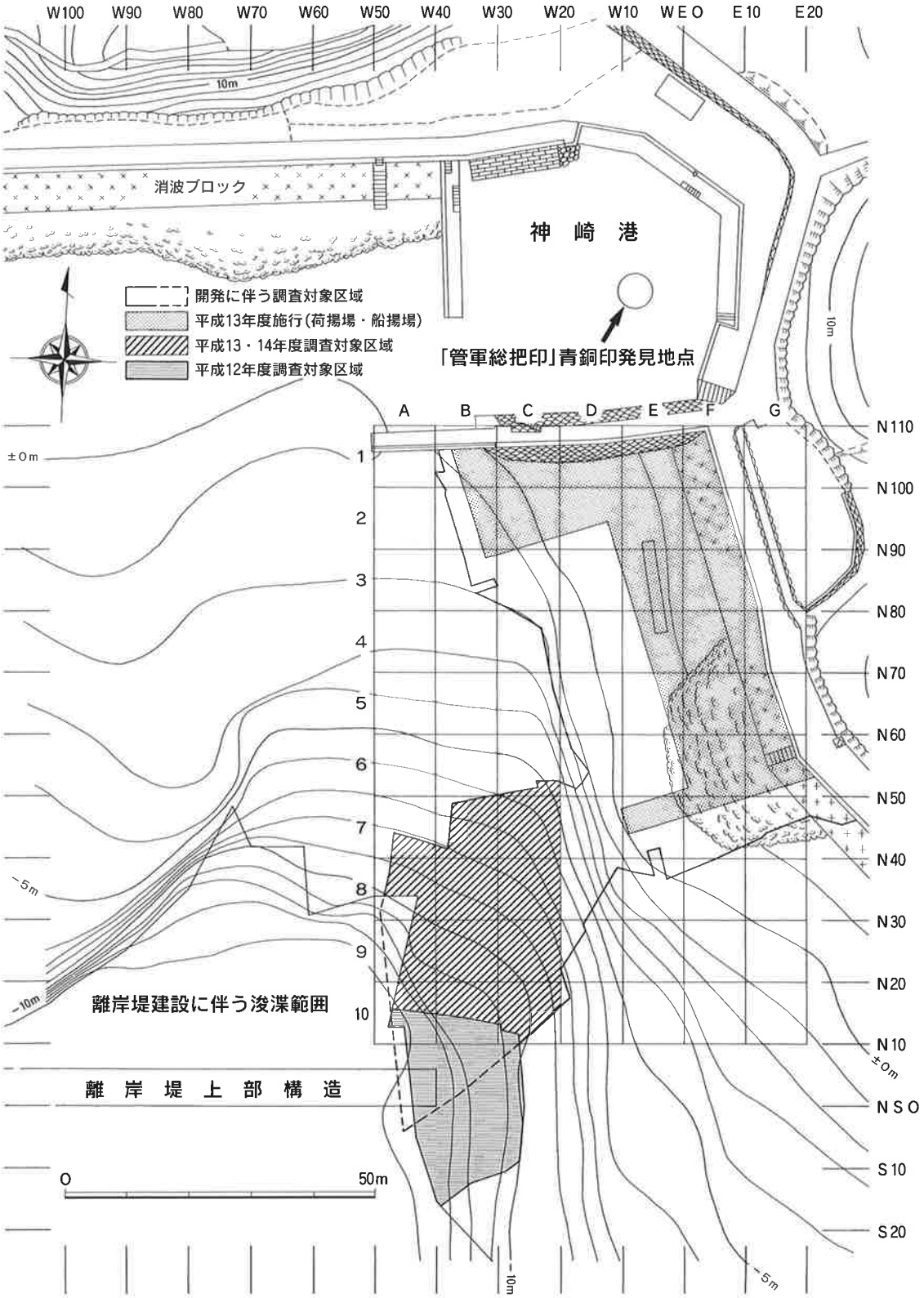
２．鷹島町文化財調査報告書　第２集　鷹島海底遺跡Ⅲ　―長崎県北松浦郡鷹島町神崎港改修工事に伴う緊急発掘調査報告書―　1996　長崎県鷹島町教育委員会

３．鷹島町文化財調査報告書　第４集　鷹島海底遺跡Ⅴ　―長崎県北松浦郡鷹島町神崎港改修工事に伴う緊急発掘調査報告書②―　2001　長崎県鷹島町教育委員会

４．鷹島町文化財調査報告書　第６集　鷹島海底遺跡Ⅶ　―長崎県北松浦郡鷹島町神崎港改修工事に伴う発掘調査概報―　2002　長崎県鷹島町教育委員会


## ２．調査方法

今回の調査は船揚場、荷揚場部分となる潮間帯区域の調査と防波堤部分にあたる海底区域とに分けて行った。潮間帯区域については、幅２ｍ×長さ15ｍのトレンチを設定して調査した。このトレンチ調査では、遺物の包含層の無いことを確認するにとどまり、汀線から沖にむかっての層序を掴むには至らなかった。本来であれば、汀線から沖合に向かってのトレンチ設定が理想である。しかし、０ｍ




第18図　調査区域と周辺の地形図（1/1,000）

地点より標高の高い範囲の調査は比較的容易であるが、逆に低い範囲は大潮の干潮時以外は水没している状況にあるため、常に波の影響を受ける環境にある。矢板を打ち込み、海水の浸入をストップさせての調査も積極的に考慮すべきであった。

海底区域については調査区を設定するにあたり、調査区域のグリッド表示は、離岸堤の上部構造南縁（沖側）を基準線とする、平成６年以来の表示法を踏襲し、これに基づき調査区域の設定を行った。前回の離岸堤延長工事に伴う発掘調査では、水深が深いのでエアーリフト[1)]を使用したが、今回の海底での発掘はサンド・ポンプを利用したドレッジ（水中掘削機）－サンド・ポンプリフト[2)]を使用した。調査中に視界が不良となり遺物の確認が困難な場合や、遺物が小さく軽量な場合には、誤って遺物を吸い込むこともあるが、リフトの排水口は海上の筏に設置して回収可能であり、遺物の回収が確認された時点で、吸口側の作業ダイバーとの水中有線電話による連絡で、おおよその出土位置と水深を確認できる。

発掘は堆積層の確認をしながら掘り進めたが、これまでの出土状況より、堆積層の上部からの遺物出土はほとんど無く、砂層中では層内に含まれる貝殻破片が大きくなり、礫混じりの貝層に移行しはじめるところから遺物が出土する傾向にあるため、それより上の部分の層については、効率的に掘削を進めた。出土した遺物は、出土位置を保持するため速やかにピンポールや砂を入れた土嚢で保護し、調査員による確認の後、遺物の周辺部を慎重に掘り進めている。更にナンバーリングの後、出土状況をカラーネガフィルム、カラーポジフィルム、デジタルカメラ、デジタルビデオカメラで記録撮影し、遺物の集中して出土した地点では、25cm間隔でメッシュを入れた２ｍ×２ｍの鉄製枠をグリッド表示に対応する位置で水平に固定して写真測量用写真を撮影し、出土状況平面図の作成とレベリングを行った。水中では陸上に比べて平衡感覚が鈍るため、測点用のピンポールと標尺（スタッフ）には、縦付け式の水平器を取り付けて使用した。その他の散発的に確認された遺物は、出土位置、標高の数値確認後に回収を行った。海底における標高については、サンドポンプリフトからの遺物に関しては、10cm間隔で表示される圧力感知式の水深計（ダイバーズウオッチ）と、離岸堤に設置した潮位確認用の標尺の数値から標高を算出し、海底出土の遺物に関しては、予め海底に打ち込んだ鋼管へ移動した標高を利用し、任意の標高で水糸に通した可動式簡易水平器と標尺（スタッフ）を使用し、求めたものである。なお、海底で出土状況図の作成を行った遺物と、出土位置の数値の記録を行った遺物に関しては、遺物の種別にかかわらず、通し番号で「No.」を付し、サンドポンプリフトからの遺物については、その出土順に陶磁器は「ＲＣ」、金属製品は「ＲＭ」、木製品は「ＲＷ」、漆製品は「ＲＬ」、骨は「ＲＢ」の種別略号に分けて番号を付した。

平成13年度は、調査対象面積と調査期間を考慮すると全範囲を完掘するのは困難であると予想されたため、潜水時間との関係で、水深が浅く効率の良い陸側の７－Ｃ区・８－Ｃ区・９－Ｃ区を中心に進め、その後沖側のＮ40ラインに沿って東西方向のトレンチ調査を行い、Ｎ25ライン及びＮ45ラインにおいても東西方向のトレンチで出土状況の確認を行い次年度の調査につなげた。

平成13年度において一旦、調査を終了する際に、フナクイムシやキクイムシ等の海中生物から木製

品を保護するため、遺物に銅製の網をかぶせて砂を入れた土嚢で押さえて終了した。その後、汀線付近のトレンチ調査の結果、荷揚場・船揚場区域及び防波堤の一部については遺物包含層が無いものと判断して建設工事がなされたが、浚渫工事の際に舞い上がったシルトが海底の調査区域にも10～30cmの厚さで再堆積していた。次年度に発掘調査を再開したときは、この再堆積シルトの除去から始まったが、海底の表層に含まれていたビニールなどのゴミが多く含まれており、これらがサンドポンプのスクリュー部に絡まるために、再堆積シルトの除去には予想外の時間を費やす結果となった。

７－Ｃ区・８－Ｃ区・９－Ｃ区は、前年度の調査で陶磁器を中心とする遺物が多数出土したが、検出面の遺物を回収した後、再度掘削を行い検出面の下位からの遺物出土の有無を確認するまでには至らなかったため、まず、７－Ｃ区・８－Ｃ区・９－Ｃ区とＮ25・Ｎ40・Ｎ45の３つの東西トレンチに再堆積していたシルトを除去した後、W30南北ラインの堆積層断面の観察記録を行い、次いでＮ25東西ラインとＮ40東西ラインの堆積層断面の観察のため、現海底面での幅約３ｍ、検出面での幅約５ｍ前後のベルトを残して残りの区域の掘削を暫時行い、２本のベルトの断面観察と記録の後、調査区全体を検出面まで掘削した。砂層を堆積層とする調査区域の東半分（陸側）は、ドレッジによる掘削も容易で、出土遺物も陶磁器を中心とする遺物に限られる傾向にあるため、発掘作業も順調であったが、西半分（沖側）は粘着性を持ち比較的締まった砂質シルトが主体になる上に、陶磁器をはじめ、加工木材、鉄製品、銅製品、漆製品等が面的に検出されたため、掘削時間の多くを西側調査区に費やした。

遺物出土状況の記録は、陶磁器、鉄製品の点在する東側調査区においては、位置と標高の数値の記録にとどめて、遺物出土状況の実測は西側調査区を中心に行ったが、調査に終盤は時間的な制約もあり、７－Ｂ区では最初に実測を行った大型木製品（№601）と隔壁梁材（№1439・1440）周辺を除いて実測は行わず、また、最終的に残った７－Ａ区は、ほとんどの遺物は出土地点の記録のみに終始し、大型の木製品のみ、遺物の数箇所の位置を計測し、回収後に遺物出土状況の実測図を補足した。

水中の遺跡調査では、海底での活動時間が制限されるため、遺物出土状況の実測などには陸上に比べてはるかに時間を要する。今回は、その実測時間の短縮を目的に、写真測量による図化の導入を積極的に試みたが、鷹島海底遺跡は透明度が低いため、狭い範囲しか撮影できないことや、一般の撮影用のカメラで撮影した写真は、引き伸ばしたときの歪みを修正することができないので、写真実測を行うには測量用の大型のカメラが必要であり、水中での撮影のために更にそのカメラのハウジングを製作しないといけないなど、多くの問題が生じ、今のところ、人力による実測にはおよばない結果となった。しかし、このような透明度の低い海域での写真測量は今後の研究課題でもある。

註　１）海底の吸口直径15cmのホースに、台船上から空気を送り込み、圧力差と空気の浮力による膨張作用を利用して、海底の土砂を海水ごと吸い上げる掘削用の機材。

２）モーターでスクリューが回転することにより吸引力が発生することを利用して、海底の土砂を海水ごと吸い上げる掘削用の機材。原理は掃除機と同じ。

参考文献

1．鷹島町文化財調査報告書　第２集　鷹島海底遺跡Ⅲ　―長崎県北松浦郡鷹島町神崎港改修工事に伴う緊急発掘調査報告書―　1996　長崎県鷹島町教育委員会

2．鷹島町文化財調査報告書　第４集　鷹島海底遺跡Ⅴ　―長崎県北松浦郡鷹島町神崎港改修工事に伴う緊急発掘調査報告書②―　2001　長崎県鷹島町教育委員会

引用文献

1．鷹島町文化財調査報告書　第６集　鷹島海底遺跡Ⅶ　―長崎県北松浦郡鷹島町神崎港改修工事に伴う発掘調査概報―　2002　長崎県鷹島町教育委員会

2．鷹島町文化財調査報告書　第７集　鷹島海底遺跡Ⅷ　―長崎県北松浦郡鷹島町神崎港改修工事に伴う発掘調査概報②―　2003　長崎県鷹島町教育委員会

## ３．報告書作成に至る経緯

鷹島海底遺跡の発掘調査は、長崎県県北振興局田平土木事務所から鷹島町が委託を受けて、鷹島町教育委員会が調査を実施した。

当初は、平成13年度で調査が終了する予定であったので、当然、報告書にかかる印刷代、人件費なども予算に含まれていた。そのため、平成13年度調査報告書の刊行については、調査は終了していないが、調査の状況を広く知ってもらうために概報を刊行することとなった。

平成14年度調査の報告書については、13年度分とまとめて本報告をする方向で協議を進めたが、開発事業者である長崎県県北振興局田平土木事務所側を説得できなかった。出土した遺物の量と質を考えると、12月の初旬に調査を終了して、２ヵ年分の資料を年度内に整理を終えて本報告書を刊行することはとても無理であったので、次年度１年間の整理期間をいただいて、概報ではなく、本報告書を刊行できるようにお願いをしたところであったが、事業計画が平成14年度で終了するため、次年度に報告書を刊行する予算は確保できないとの回答であり、報告書は年度内に刊行してもらいたいとの回答であった。また、年度内に報告書を刊行するには、概要報告しかできず、学術的な報告書としての詳細な報告ができないため、再度、次年度の予算確保をお願いしたが、田平土木事務所では概要報告で充分であるとの回答であった。当時の町の財政状況では、単独予算を確保しての報告書の刊行はできない状況にあり、やむなく、概要報告にとどまった。新年度に入った時点で鷹島町のほうから田平土木事務所へ本報告書刊行の予算確保のお願いをしたが、概要報告書の刊行を持って事業の完結とみなし、神崎港の改修工事の事業も完了をしているので、予算計上はできないとの回答であった。（これまでにも何度か報告書刊行のための予算計上のお願いをしたが、同様の回答であった。）

平成18年に合併し松浦市となって、今回、文化庁の保存活用事業により報告書刊行の運びとなったことは、偏に文化庁、松浦市をはじめ、関係者皆様の深いご理解の賜によるものと信じている。

## 4．平成13・14年度の調査関係者・協力者　（所属名は当時のもの）

| | | |
|---|---|---|
| 調査主体 | 鷹島町教育委員会 | |
| | 教育長 | 安部恭一（平成13年度） |
| | 教育長 | 小田嘉和（平成14年度） |
| | 事務局長 | 門畑　勉（平成13年度） |
| | 事務局長 | 神田　稔（平成14年度） |
| 調査担当 | 学芸員 | 松尾昭子 |
| 調査主任 | 林田憲三 | 九州・沖縄水中考古学協会会長 |
| 調査員 | | 小川光彦・横田　浩・山本祐司・加藤隆也・本田浩二郎・野上建紀・林原利明　（以上　九州・沖縄水中考古学協会会員） |
| | 片桐千亜紀 | 沖縄県立埋蔵文化財センター調査課専門員 |
| 調査補助員 | 木村　淳 | 東海大学文学部史学科学生 |
| 調査指導 | 西谷　正 | 九州大学名誉教授 |
| | 荒木伸介 | 跡見学園女子大学教授 |
| | 池田榮史 | 琉球大学法文学部教授 |
| | 太田弘毅 | 東北女子大学教授 |
| | 鎌田泰彦 | 長崎大学名誉教授 |
| | 佐伯弘次 | 九州大学文学部助教授 |
| | 中島楽章 | 九州大学文学部助教授 |
| | 山形欣哉 | 日本海事史学会理事 |
| | 石原　渉 | （財）日本習字教育財団 |
| | 田川　肇 | 長崎県教育庁学芸文化課文化財指導監 |
| | 高野晋司 | 長崎県教育庁原の辻遺跡調査事務所長 |
| | 折尾　學 | 福岡市教育委員会文化財部埋蔵文化財課鴻館調査担当課長 |
| | 塩屋勝利 | 福岡市埋蔵文化財センター所長 |
| | 柳田純孝 | 福岡市教育委員会文化財部長 |
| 調査作業 | 小野田康久・石本　清・三浦清文・越智正明・福寿健太郎・福島憲樹・岩永憲樹・西畑　徹・清岡智行・武藤隆史・嶋田克海・新家弘晃・岩永　勝・土井国廣・町村　剛・堤　一哲・松元清人・中村　一・溝上弘志・森山良雄・山口秀明・橋本宗春・松尾忠雄・松尾　洋・松本政広・梶村末吉・金子　守・近藤己喜男・近藤ミチエ・坂ミチヨ・坂　米七 | |
| 整理作業 | 靏井香織・内田比加里 | |

報告書作成（平成19年度）

| | | |
|---|---|---|
| 調査主体 | 松浦市教育委員会 | |
| | 教育長 | 松尾　紘 |
| | 生涯学習課長 | 神田　稔 |
| | 課長補佐 | 中田敦之（兼社会教育係長・兼社会教育主事・兼学芸員） |
| 報告書作成担当 | 文化財係長 | 中田敦之　学芸員　松尾昭子 |
| 報告書作成庶務 | 文化財係 | 木村大輔 |
| 整理補助員 | | 宮崎朝美・吉野貴子 |

最後に、平成13・14年度の２ヶ年間にわたって実施した発掘調査の結果、予想以上に多くの遺物が出土したため概報として報告していた。その整理に５年間を費やし報告書の刊行となった。しかし、まだ一部の遺物に保存処理が終了していないという課題がある。そのため、松浦市教育委員会では、文化庁の協力及び承認を得て、平成19年度からの国庫補助事業の一環として鷹島海底遺跡調査指導委員会に保存処理専門部会を設置して、遺物の処理方法について専門的な立場から指導・助言を得て最良な方法で保存処理にあたっている。

今回の調査報告書作成にあたっては、文化庁・長崎県教育庁学芸文化課・独立行政法人国立文化財機構九州国立博物館・独立行政法人国立文化財機構奈良文化財研究所埋蔵文化財センター・（財）元興寺文化財研究所・琉球大学法文学部池田榮史教授をはじめ多くの関係機関及び関係各位には、多大な尽力とともに親身なご指導・ご鞭撻を賜りました。ここに記して謝意を申し上げます。

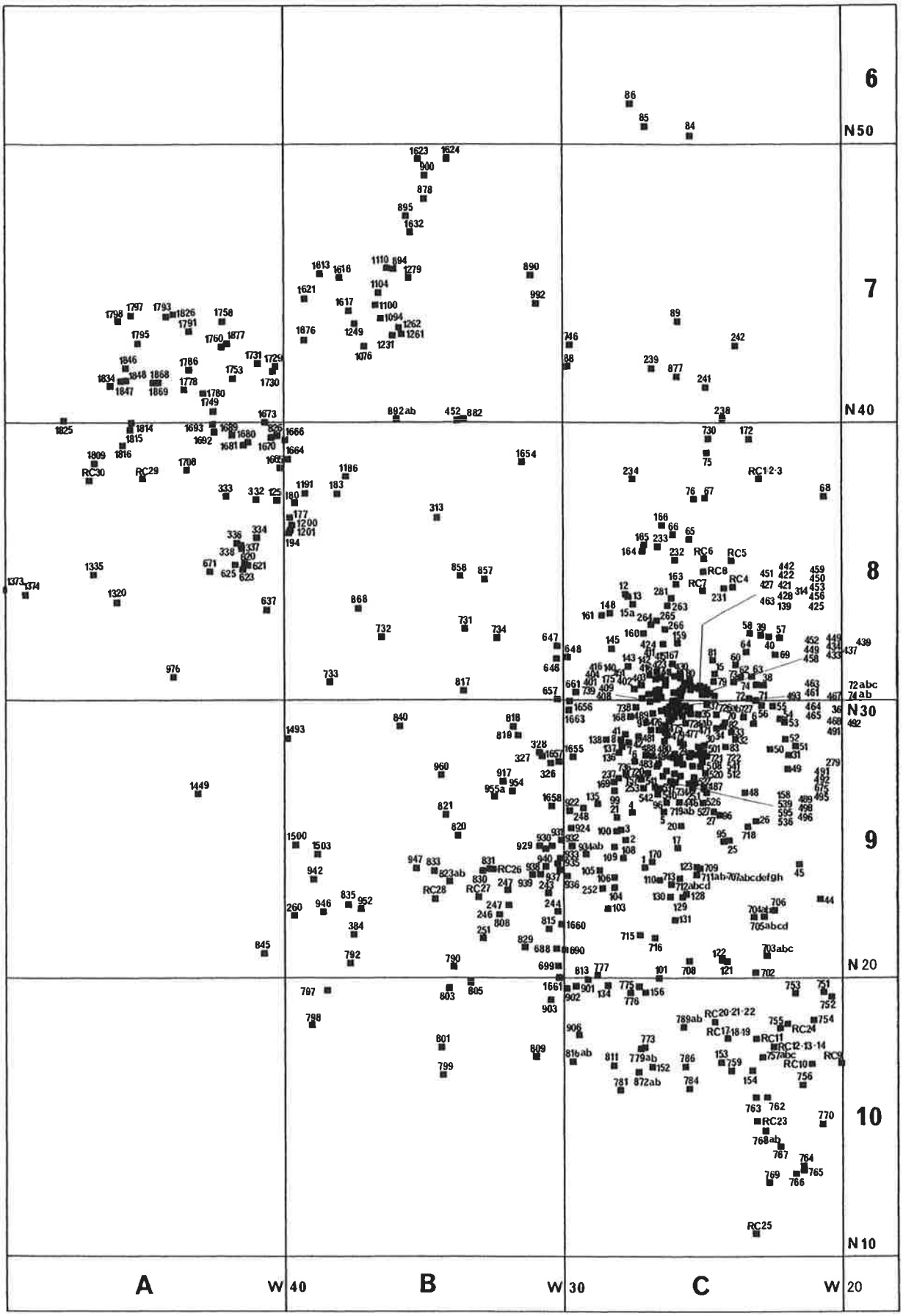
# 第Ⅲ章　出土遺物について

## 1．出土状況について

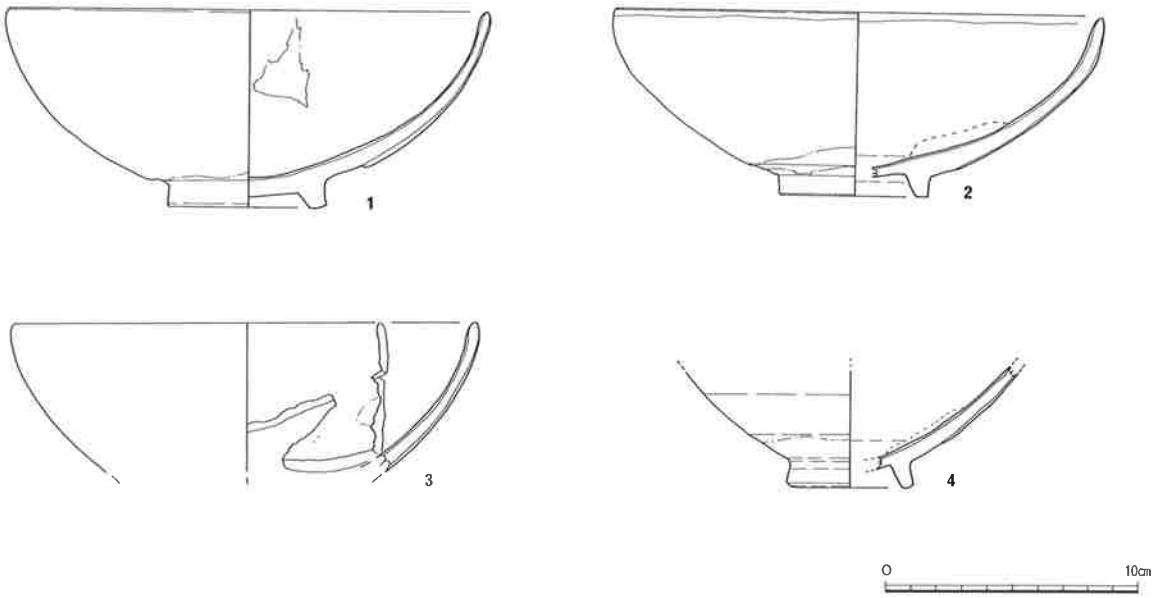
平成13年度の調査では、N40東西トレンチのW35付近において、堆積層が砂層から砂質シルト層に変化することを確認し、14年度の調査では２箇所の堆積層断面において、砂層（第Ⅱ層）と砂質シルト層（第Ⅲ層）との関係を確認することができた。N40ラインにおいては、W35付近で第Ⅱ層の砂層が立ち上がり、第Ⅲ層の砂質シルトへと移行する。また、N25ラインにおいては、W41.5付近において同様の堆積状況が確認された。この両層の境界は判然としないものの、急な角度で立ち上がりを見せており、一般的な自然堆積とは様相を異にしている。神崎付近の海岸部では、砂粒を移動させるほどの潮流の動きは無く、陸側の砂層の堆積は波の影響によるものと思われ、この２箇所で確認した砂層の立ち上がりは、同海域で発生した最大の波の痕跡をとどめている可能性がある。

調査区域東側の汀線付近から落ち込む埋没谷の斜面は、遺物検出面よりさらに深く続いている。しかし、遺物検出面より下位の砂層（第Ⅱ′層）では遺物の出土は無く、砂層下部の遺物検出面は、そのまま砂質シルト下部の遺物検出面へと続いている。13年度の調査で陶磁器・鉄製品を中心とする遺物が多く出土した７－Ｃ区・８－Ｃ区・９－Ｃ区は埋没谷斜面の旧地形に近い傾斜を反映しており、同区域で細片化した陶磁器が多量に出土するのは、非日常的な波の作用で打ちよせられ、駆け上がり斜面の下方で集積した結果と考えられる。同区域で砂層下位に死貝層が形成されているのも同様な自然条件によるものであろう。陶磁器以外では、鉄製品が多く見られるが、これらの多くは船材に使用されていた鉄釘が、木質部が海中生物の蚕食を受けた結果、金属部位のみが遺存したものと思われる。W30ライン付近より西側では、厚い死貝層の形成はないものの、ラミナ状の堆積が確認された９－Ｂ区で出土した外板**（第69図７・８）**は明らかに砂層中の出土であるが、遺物の取り上げ時にその下位から遺物の形状の範囲で、砂質シルトの痕跡が確認されている。これは、本来砂質シルト中に埋没していた遺物が、波の作用で陸側に移動した際に、遺物の底面に付着していた砂質シルトが遺存したものと考えられる。しかし、比較的早い時期に砂層中に埋没した木製品と違い金属部の銹の進行が進んでおり、その分、蚕食の影響が少なく、比較的形状を保っているものと思われる。

堆積層漸変ラインより西側は、砂質シルトの堆積範囲であり、木製品の遺存状況が比較的良好で、甲葉（小札）も含めて漆製品のほとんどは、砂質シルト層からの出土である。金属製品の腐食の進行も砂層中とは違いが見られ、砂層中出土のものは赤錆の状態であるのに対して、砂質シルト中では酸素供給量の違いからか灰色を呈し、銹の進行も砂層中出土のものに比べれば進んでいない。木製品の出土状況で興味深いことは、規則性が見受けられることである。木製品の殆どは細長い形状を呈しているが、その長軸方向が堆積層の漸変ラインと一致している。このことは、砂質シルト中の遺物出土状況の評価に深く関係するものと思われる。前述のとおり、砂層中では非日常的な波の影響により、現在に至るまでに撹乱を受けており、縄文土器から近世陶磁器までが混在している状態であるが、砂質シルト中では元寇関連と思われる遺物がほとんどである。問題は、砂質シルト中の遺物検出状況が、




第19図　陶磁器出土状況図（1/20）



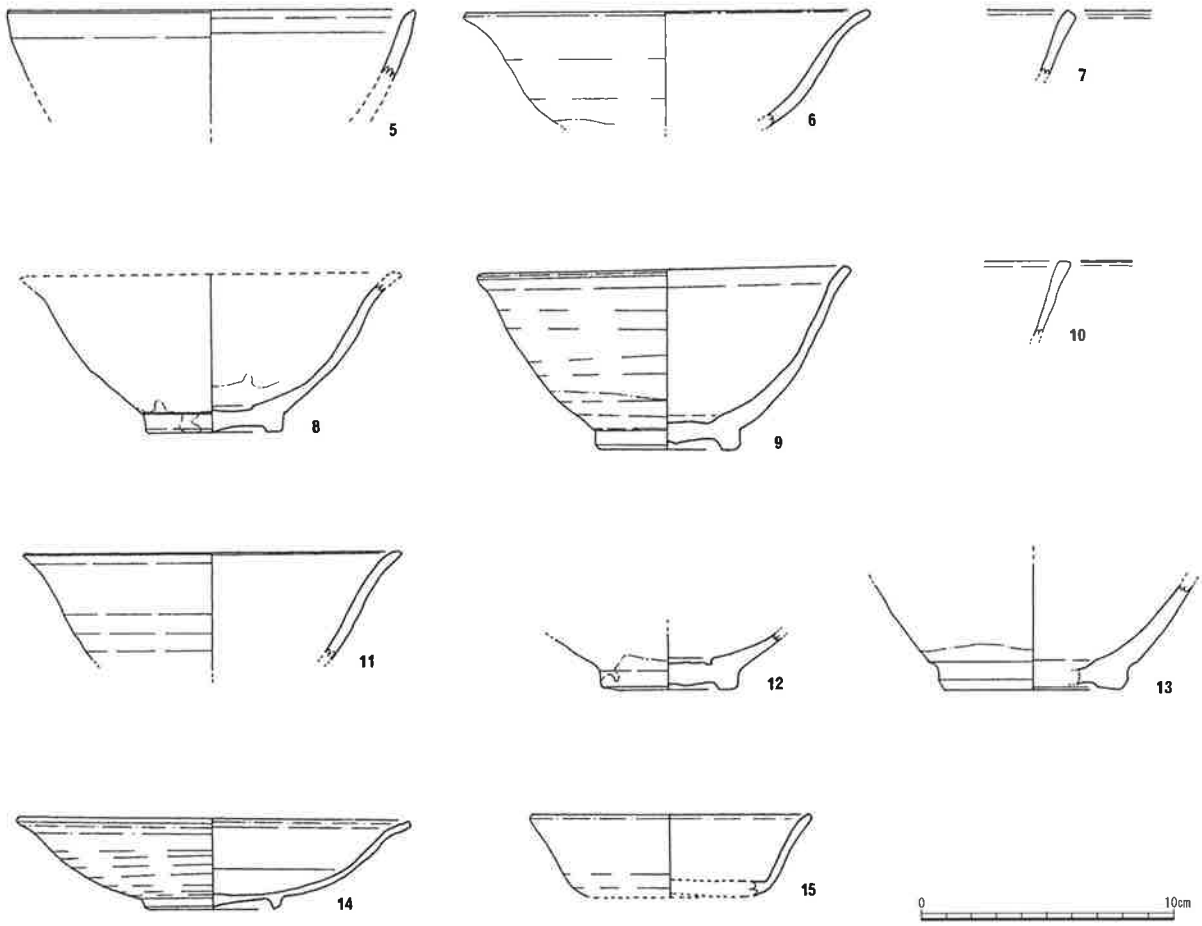

**第20図　出土遺物釣窯系陶磁（1/3）**

「弘安の役」当時の暴風雨直後の状態を維持しているかどうかである。

**第71図**は砂質シルト中出土の大型構造船の部材であり、南東側が船底方向である。**第69図２**と**第69図１**の二つの板材が多数の鉄釘で固定されていた様子が確認できるが、２つの材は若干開いた状態で検出している。また、外板と接触していた斜めの小口面には、一部の鉄釘は遺存するが、釘の穴の痕跡のみを遺すものが多い。鉄釘の腐食が進行した後であれば、釘は容易に折れていたものと推測されるため、２材の開き及び外板の遊離とそれに伴う鉄釘の抜けは、これらの鉄釘の腐食が進行する前に生じたものと想定できる。**第69図２**の南西側には、さらに船底に近い側の隔壁梁材と結合させていた鉄釘が遺存しているが、この材との遊離も鉄釘の腐食の進行以前に生じたものと思われる。したがって、この隔壁梁材の検出状況は、少なくとも鉄釘の腐食進行以前の状態を示すものであり、「弘安の役」の暴風雨直後から、鉄釘の腐食が進行するまでの期間に限定することが可能である。よって、北北東－南南西方向に規則性を持って検出された木製品やその他の遺物も、同様な埋没条件が想定されることから、堆積層漸変ラインより西側の砂質シルト中出土の遺物に関しては、「弘安の役」直後の状態に比較的近い時期の埋没状況を保持している可能性が高いものと考える。

なお、８－Ａ区の南西部と９－Ａ区の西半部は離岸堤の建設に伴い浚渫を受けており、浚渫船のバケットの加圧のために破砕した陶磁器や、折れた木製品、バケットで直接切断された縄など、人為的な撹乱を受けている遺物も、検出状況から明瞭に区別が可能であった。

海底出土で「No.」を付した遺物は、１つの「No.」で複数の遺物を取り上げたものがあるため13年度の調査では676点、14年度の調査では1,328点である。これに、ＳＰリフトを通して、筏上で確認された遺物と海底面で採集した遺物及び浚渫の際に出土した遺物を含めると緊急調査時における総遺物点数は2,423点である。この調査で出土した遺物は、一覧表を作成しているのでそれぞれの遺物に関しては、一覧表を参照していただきたい。出土遺物は多岐にわたり、陶磁器や武器類以外にも、船材




**第21図　出土遺物白磁（1/3）**

をはじめ漆椀や櫛、文字資料が出土している。多くの遺物がまだ保存処理中であり、詳細な観察や分析は継続調査中であるが、以下、種別ごとに概要を述べることとする。

## 2．陶磁器・球状土製品（第21図～第39図）

以下に示す分類記号及び編年については次の文献によるものとする。

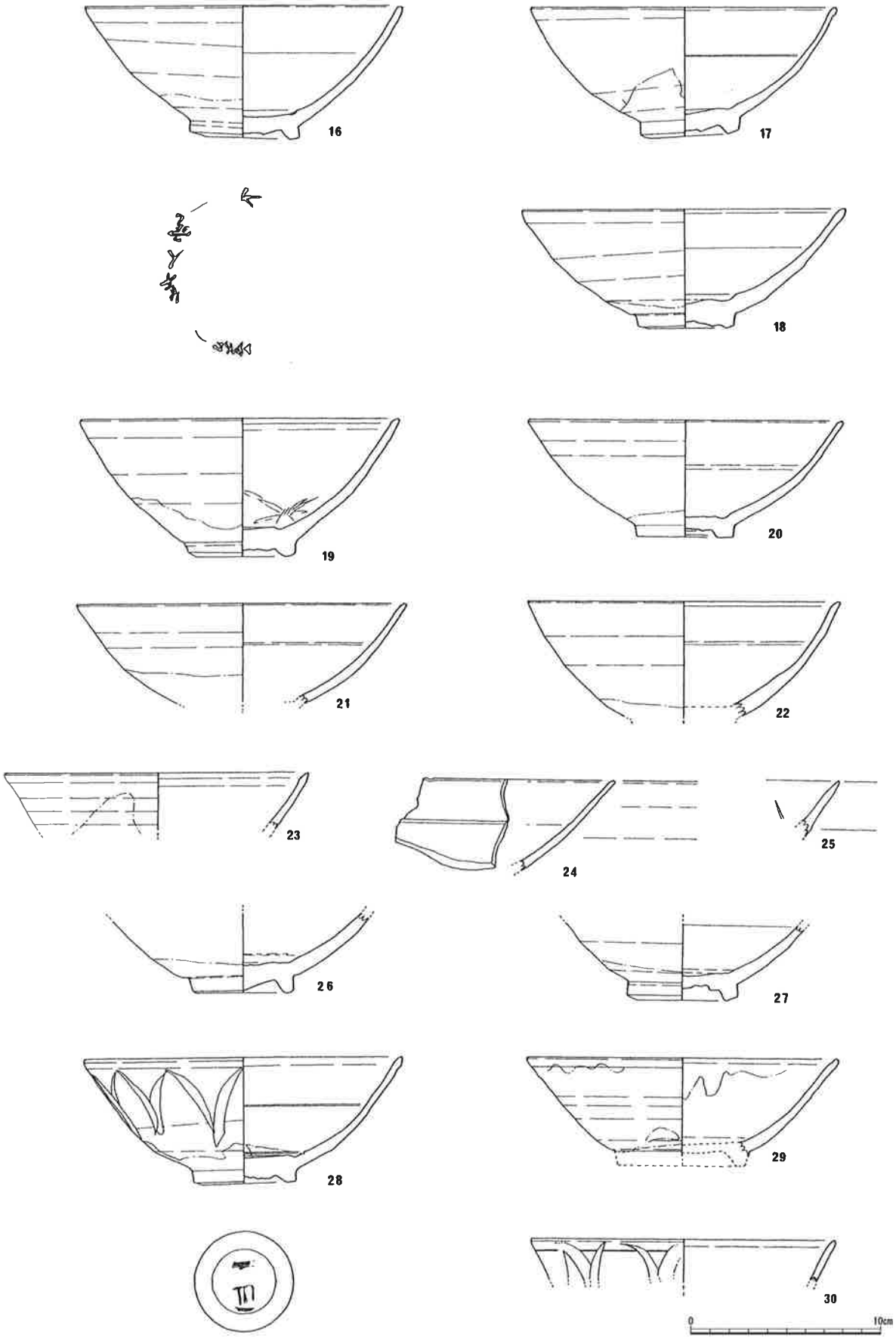
（1）山本信夫ほか「大宰府条坊跡XV　陶磁器分類編」『大宰府の文化財第29集』　2000
　　太宰府市教育委員会　8世紀後半～14世紀前半の貿易陶磁、型式分類と編年。

（2）森田勉「14～16世紀の白磁の分類と編年」『貿易陶磁研究No. 2』　1982
　　白磁14～16世紀、A～E群の分類、時代順にA・B・C・D・Eの5群に分類。

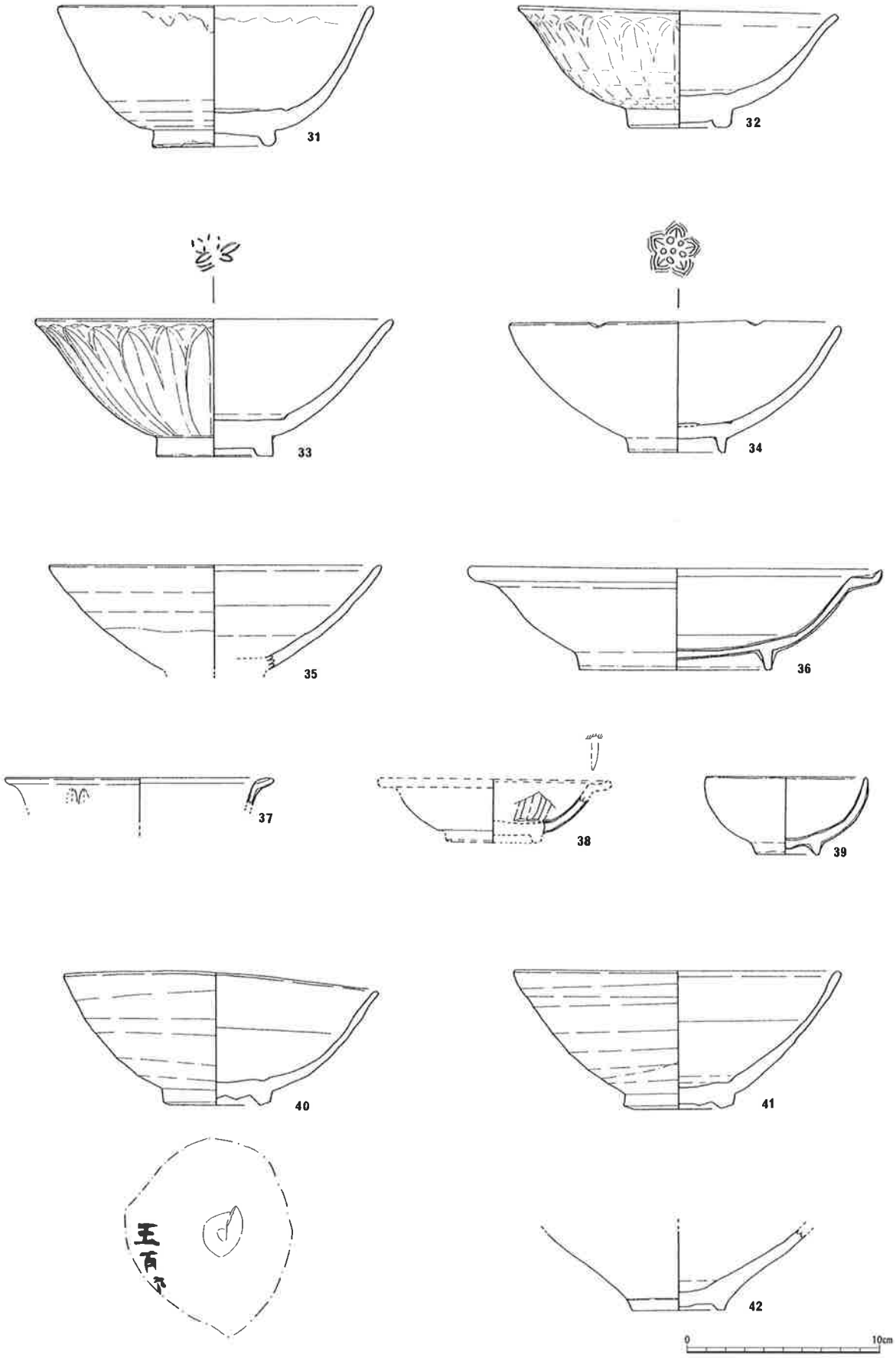
白磁（第21図）

碗（5～13）

6～12は口縁部を掻き取る碗Ⅸ類に属し、6・8・9・12は体部下位以下が露胎となるⅨ-2類である。胎土は灰色味を帯びてやや粗く少量の黒斑を含むものが多い。釉は不透明で灰褐、灰黄、灰緑などやや濁った色調である。7・9・10の口縁断面は薄くならず、肥厚して角ばる例で鈍化傾向が見




第22図　出土遺物青磁①（1/3）




第23図　出土遺物青磁②（1／3）

られる。高台は断面方形で畳付は水平となる。**8・9・12**の内面見込みには一段窪む段や深い圏線が入る。**9**は内底に目跡が3個付く。

**13**は幅の広い高台を持つ。体部は直線的で下位が肉厚となり、内面見込みが凹む。胎土は淡灰褐色で気孔が多い。内面から外面下位まで施釉され釉は灰色味が強い。Ⅸ-2類または元タイプかと思われる。**5**は森田C類の口縁部である。

皿（14・15）

**15**は皿Ⅸ-2ｃ類。底部外面は露胎である。**14**は青白磁系の皿で森田B′類に近い。他の白磁に比べて一段上質である。釉は淡黄灰色味で全面に薄く施釉され、口縁部と高台畳付の釉を掻き取る。胎土は淡黄灰色でややざらつき、体部は器肉が薄い。

龍泉窯系青磁（第23図）

碗（31～34）

**31**はⅠ-1ａ類、**32**はⅡ-ｂ類、33はⅡ-ｃ類で内底に細線の陽刻印花文がある。この手のⅡ-ｃ類は一般的には陰刻文が多い。**34**はⅢ類の中では作行が鈍く、高台畳付がやや広めの平坦面をなし器肉は厚めで施釉がやや薄い点で典型的なⅢ類とは異なり、Ⅲ′-1Ａｂ類に分類される。口縁は6輪花で内底は圏線を有し浅く段状になる。中央に貼花文がある。胎土は淡茶灰色でやや粗い。釉色はオリーブ色に近く下半は茶色味が強いことからいわゆる米色系の釉と見る意見もある。

小碗（39）

**39**は全面施釉後口縁部と高台畳付の釉を掻き取る。**34**と同様にやや鈍化傾向の見られるⅢ類で、Ⅲ′-1Ａ類に分けられる。器肉は厚く釉色がやや劣り、高台畳付が平坦面をなす。

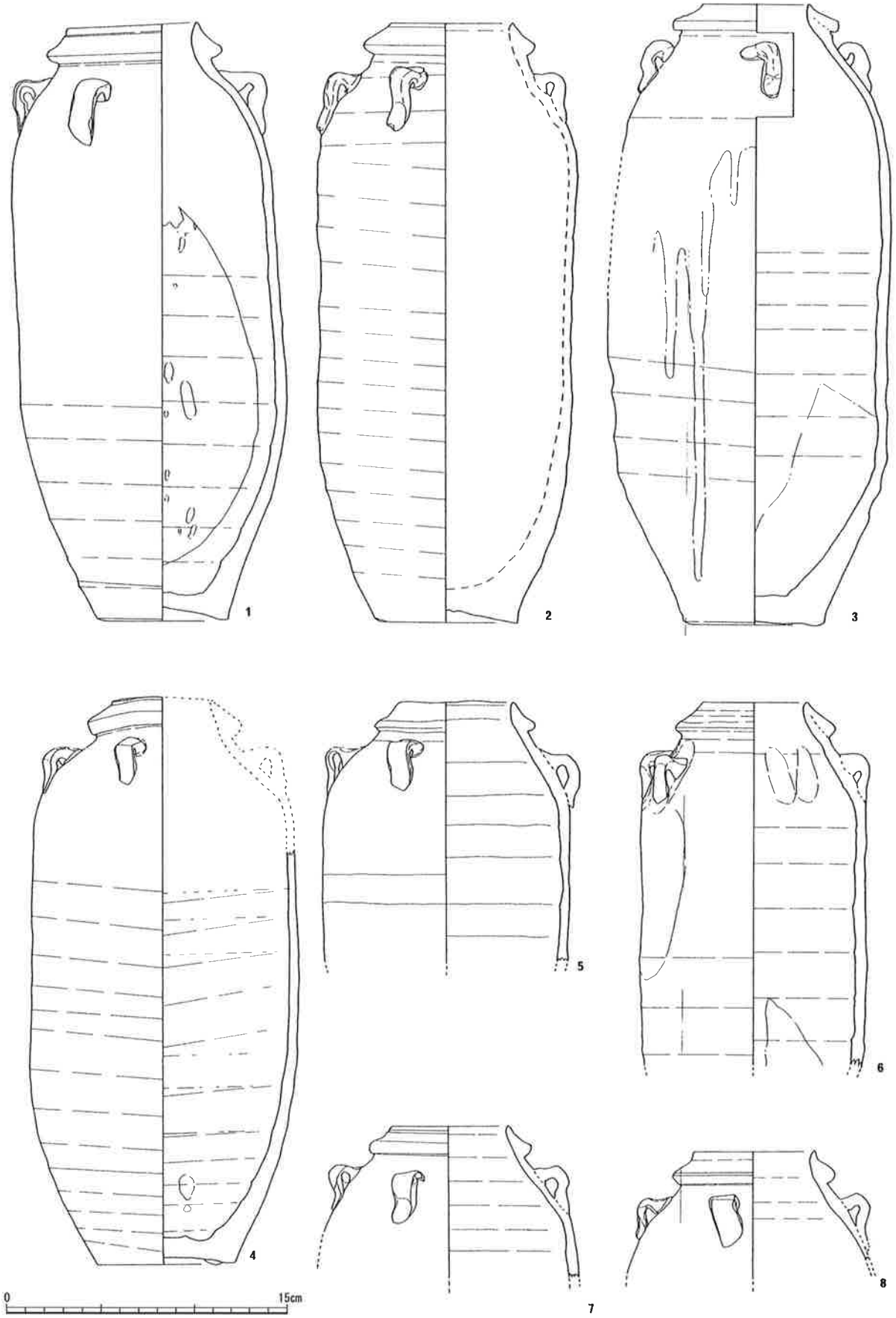
坏、盤（36～38）

**38**は坏Ⅳ類の体部と思われ、胎土は淡灰色、釉は水色味のある淡緑色でⅣ類の中では良質といえる。器肉、釉の厚いタイプに属する。外面は無文、内面には幅広のヘラ彫りによる凹面の花弁状文を入れる。**37**は坏または大坏のⅢ-3ｂ類で内面に**38**と同様の花弁状文を有す。**36**は上記の小型坏と相似形をなす大形のもので口径は21.4cmあり、小盤Ⅲ類に分ける。無文で発色は良く、鋭利な作りである。

福建省産青磁（第22・23図）

碗（16～30・35・40・41）

**16～30、35・40・41**は従来名称の同安窯系青磁に属するものであるが、櫛描文を多用した例は見当たらず後出型を含むことから、より広く福建省産とする方が適切であろう。胎土は粘性が強く緻密であるがやや軟質のものが多く、色調は淡灰色、淡黄灰色である。釉は淡灰緑色、黄灰色など色味がやや薄く、体部外面下半は露胎となる。体部下半は内湾気味であるが上半は直線的に開く。体部外面には口縁部近くまで回転ヘラケズリの痕跡が見られる。口縁端部は断面方形または鋭角の三角形状で、外反するものはない。内面見込みには高台幅と同じかやや径の小さい太い圏線状の段を持つ。高台は低く粗雑で、高台を削り出した後に見込み中央部を再度削るものが多い。**17・40**などはⅠ-1ａ類との区別がやや困難であるが、口縁部処理方などⅠ類とは異なる点もある。また、口縁部はⅡ、Ⅲ類と




第24図　出土遺物陶器①（1/3）

も類似するが外反せず、類は特定し難い。総じてⅠ、Ⅱ類の退化形として把握される類である。

16、40は体部外面下位に墨書が見られる。40は「王百戸」と記される。28・30は体部外面に粗くヘラ彫りの蓮弁文が入る。28の高台内には墨書が残る。25は青磁または白磁の椀で灰白色の緻密な胎土に緑灰色の透明釉が掛かる。内面にヘラ彫りまたはクシ描き文のようなものがみられるが小片で詳細が不明なため文様とは断定できない。

鈞窯系陶磁（第20図）

碗（１～４）

１～４は鈞窯系の澱青釉陶器の大碗（鉢）である。口径に比べて浅形で、体部上位は内湾味が強く全体に丸みを持つ。体部の器肉は厚く口縁端部断面は丸味を持つ。底部内面見込み部分が凹面をなすのも特徴的で高台内を深く削るため底部の器肉が薄くなる。高台は高く断面台形で内側が斜行する。端部の削りは丁寧で鋭利さを持つ。胎土は灰白色で緻密だがやや粉味または粘性があり、わずかに黒斑が混入する例もある。釉は厚く外面高台付近まで施釉される。色調は青紫を基調とするが青白色や黄濁化した部分が多い。１～３には内面に紫紅斑文が見られる。

高麗青磁（第23図）

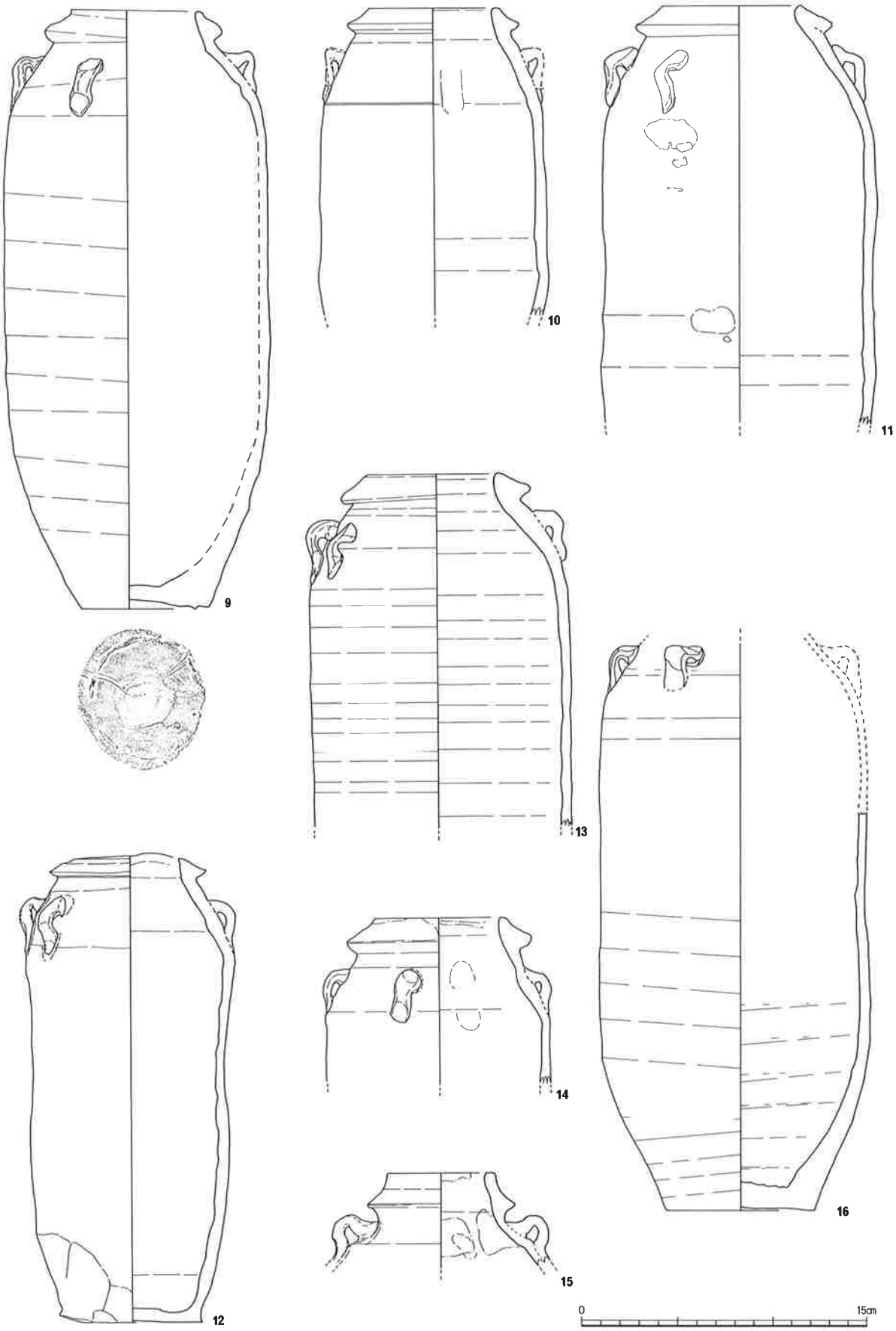
碗（42）

42は粗質の高麗青磁の碗と思われる。胎土は淡橙灰色でやや粗く白色砂粒が少量混入する。釉は濁化した淡黄緑色を呈し、薄くムラがある。全面に施釉され高台畳付は露胎で釉を掻き取った可能性がある。内面見込みが一段窪む。

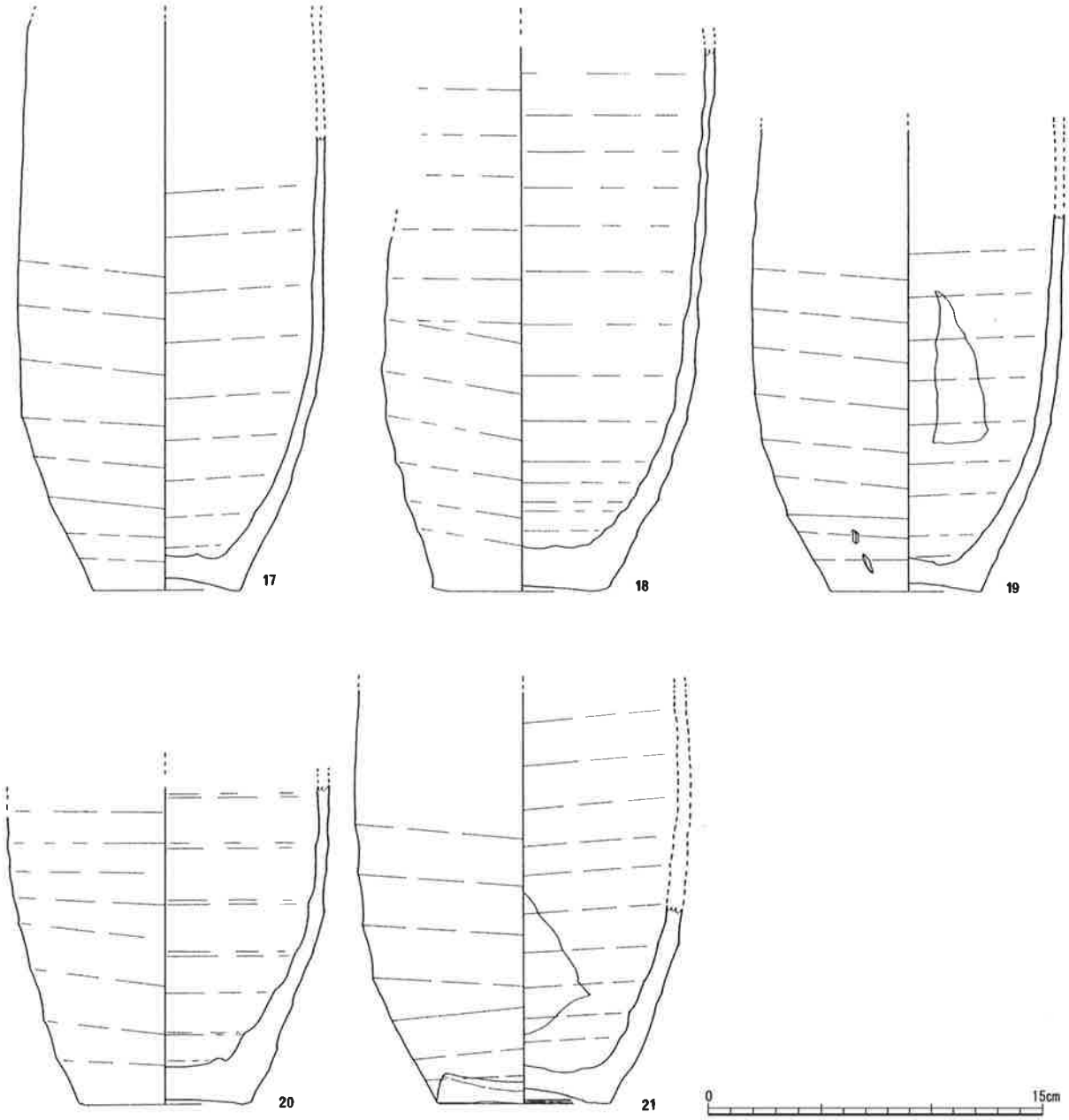
陶器（第24図～第36図）

壷

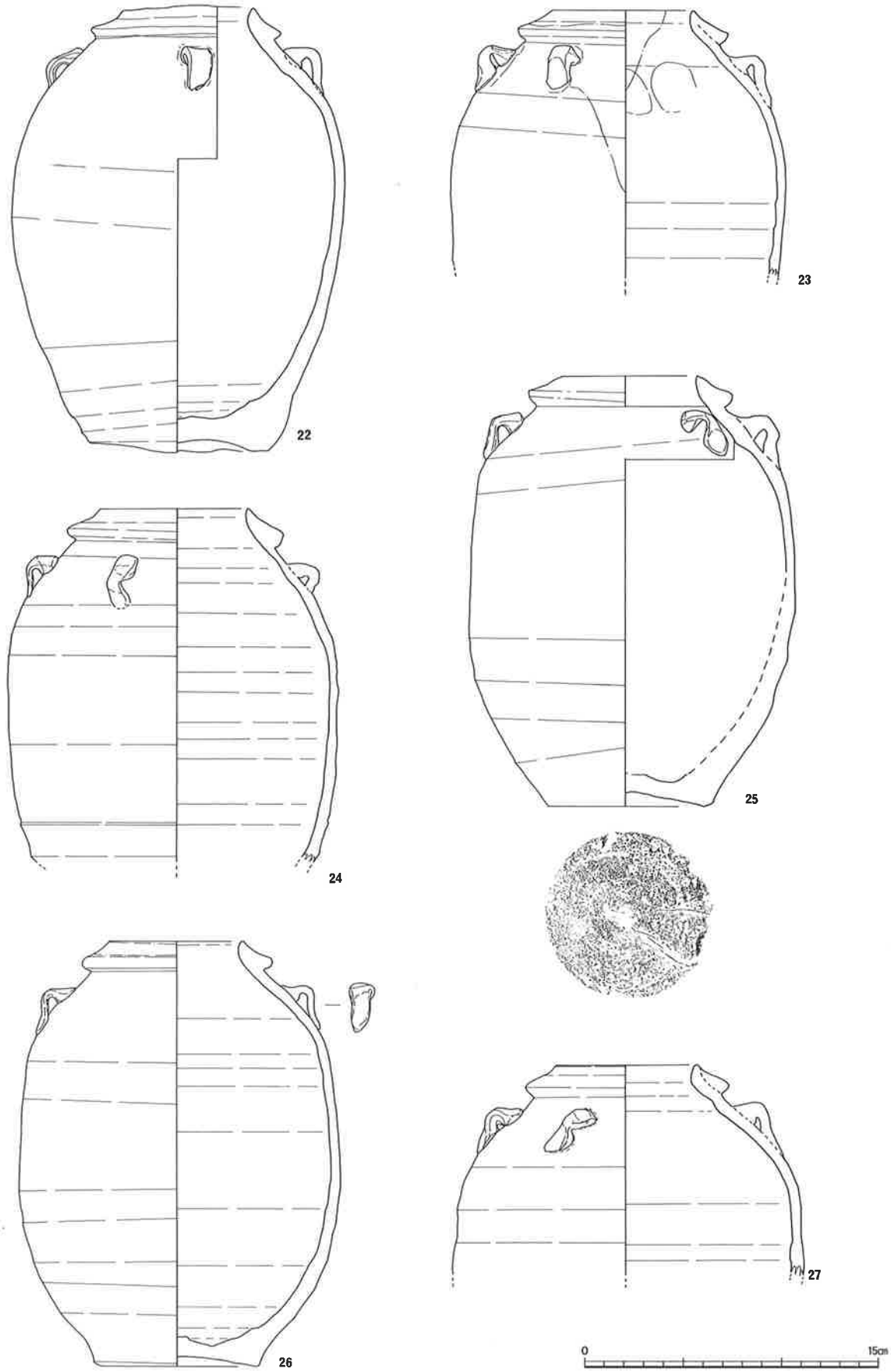
38～41、43～47、63、70、72、73、75、76はＢ群に属する。47は口縁部で、内外面に施釉されるが黄濁化している。胎土は淡灰色で黒色粒、白色粒を少量含む。「く」字形の口縁で作りは鈍く、Ⅳ類の後出するタイプと考えられる。76はⅣ－１類の底部である。器肉は厚く歪みが生じている。底部外面を除く内外面に灰緑色釉が掛かる。72・73・75はⅣ－３ｂ類の底部と思われるが、他の類である可能性もある。73・75は削り出しの輪高台を持つ。75は内外面全体に暗茶色の釉が薄く掛かり、高台畳付には目土が付着する。胎土は橙灰色で褐色粒を含む。73は内外面に薄く暗茶色の釉が掛かる。72は底部をわずかに高台状に削り出す。全面に黒茶色の釉が掛かり、胎土は暗茶色で褐色粒子が混入する。38～41、43～45はＶ類の亜種であるが比較的精製されている典型的なＶ類に比べて一歩鈍い感じがある。ただし上記した同様な平底を持つⅣ類よりは丁寧な作りである。今回の調査でまとまりのある点数が得られているため、仮にＶ′－１、２類に分類しておく。Ｖ′－１類は口縁上面が丸みを帯び、外端部はやや下方に引き出される特徴を有しており、44・45がその例である。口縁端部は水平に近い形状で胴部中央よりやや上に最大径を持つ。Ｖ′－２類は口縁部上面が平坦面をなし断面三角形状となるもので、38～41・43がこれに該当する。ただし40は口縁上面が凹面をなすためⅣ－３類の可能性もある。胴部はＶ－１、２類よりも短胴で樽形に近い。




第25図　出土遺物陶器②（1/3）




第26図　出土遺物陶器③（1/3）



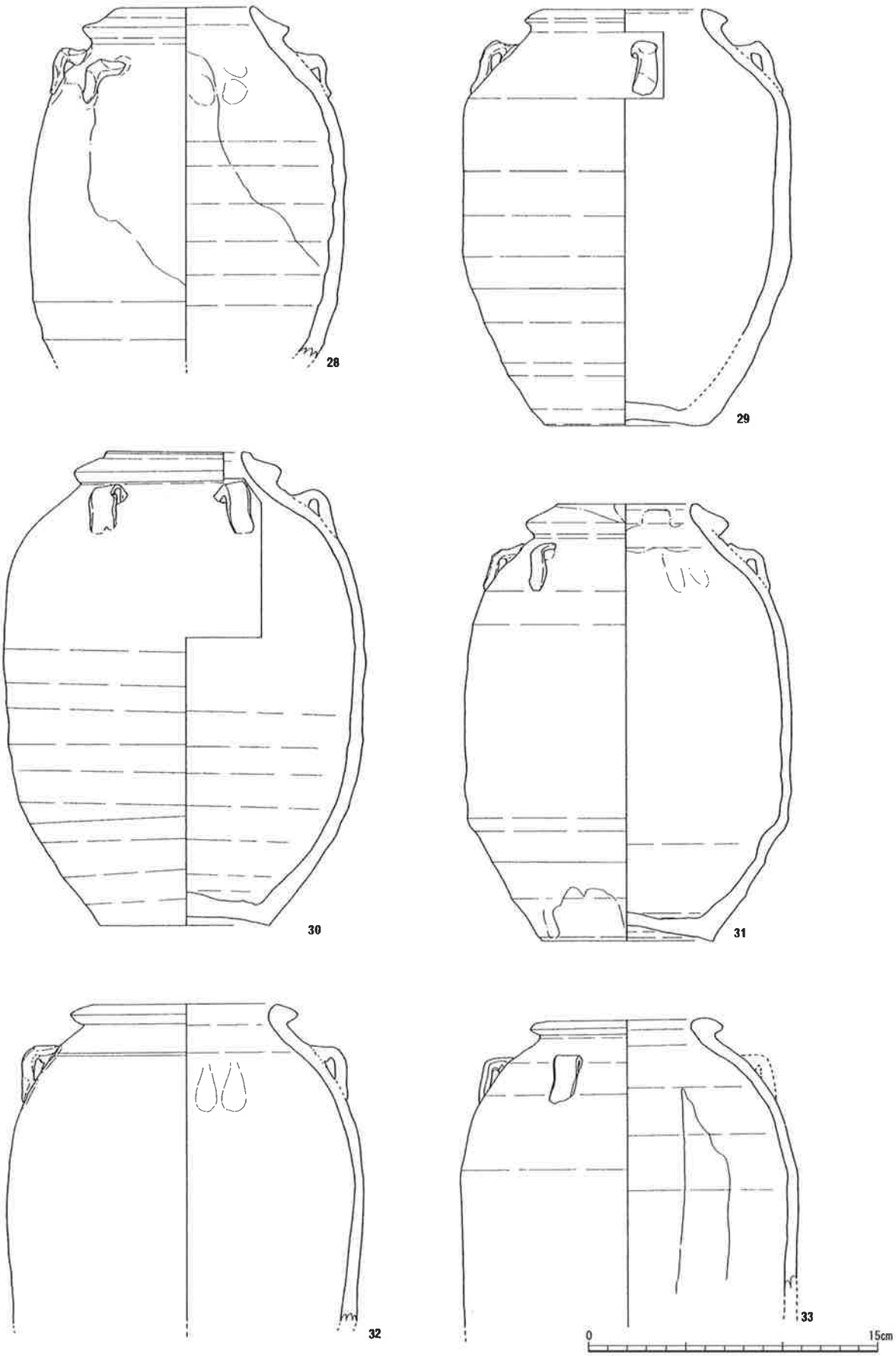

第27図　出土遺物陶器④（1/3）

43は黒灰釉が全体に掛かり、良色である。胎土は灰色で黒色粒を含む。41は暗茶色の釉が全面に薄く掛かり、胎土は灰色で黒色粒を含む他、白色粒が少量混入する。39の胎土はやや粗く、黒色粒の他白色粒が若干混入する。38は内外に施釉され、内面は濁灰茶色、外面は濁灰色から濁灰緑色に発色する。40は光沢のない黒褐色の釉が内外面に掛かる。胎土は風化して淡茶色となるがもとは灰色であったと思われる。茶褐色粒が多く混入する。44・45は胴部中央付近に最大径を持つ。44は灰緑色の薄い釉が内外面に掛かり、胎土は緻密で灰色を呈し黒色粒を含む。45は上げ底気味の平底で底部外周囲に大きく３～４個の目跡が残る。底部外面を除く内外面に薄く暗茶釉が掛かる。胎土は44と同様の特徴を有す。63・70はⅣ類またはⅤ類の体部と考えられる。底部は上げ底または上げ底気味で３～４箇所に目跡が残る。底部外面を除く内外面に施釉される。63は暗茶色の釉が薄く掛かり、胎土は粘質で黄灰色を呈し黒色粒が混入する。70は茶灰釉が薄く掛かるがほとんど剥落している。胎土は緻密で灰白色を呈し、黒色粒が混入する。

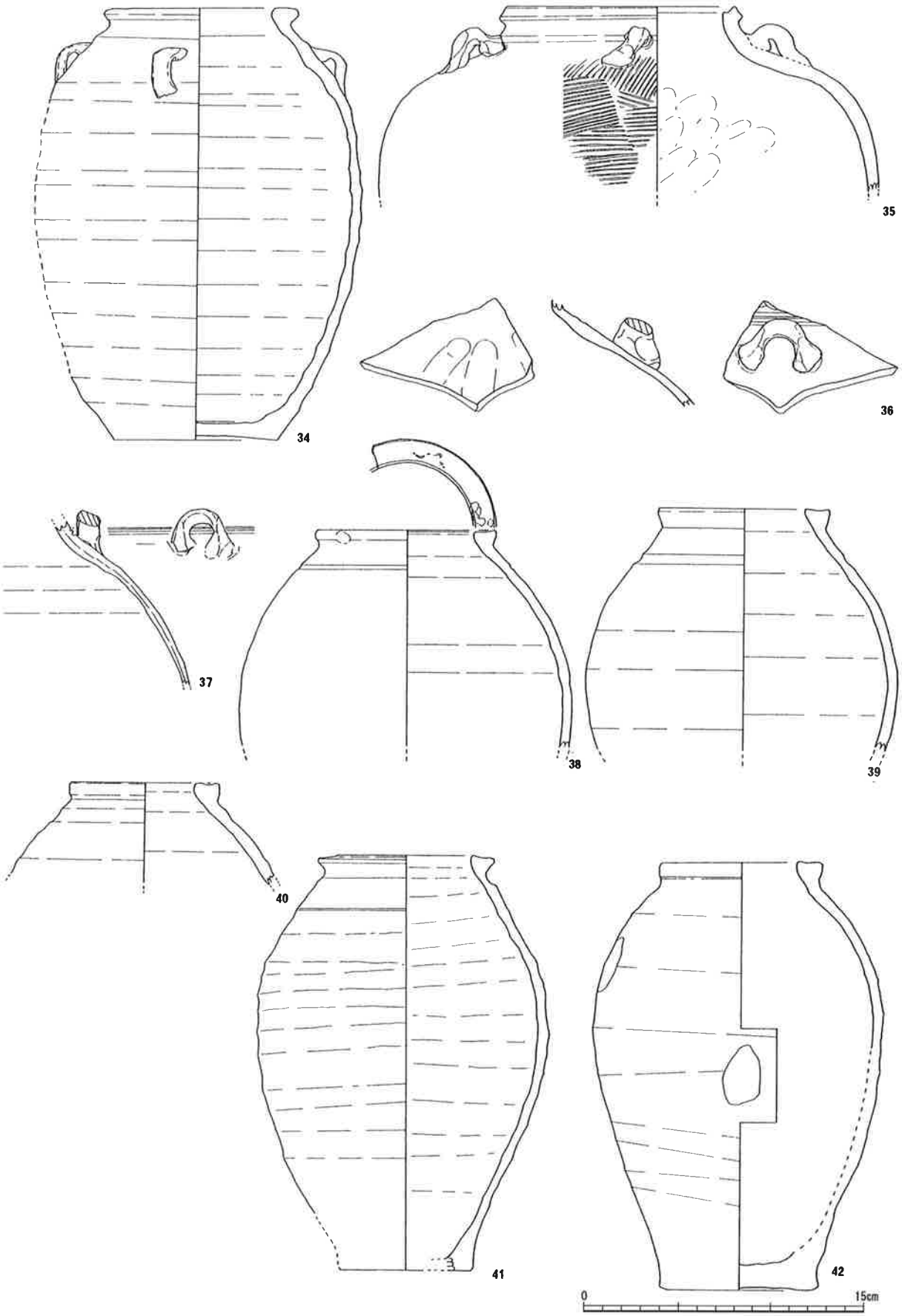
81はＡ－２群の小壷または水注と思われる。頸部内面に黒茶色の釉が掛かり、外面には黄褐色の釉がわずかに残存する。胎土は緻密で濃赤褐色を呈す。46はＢ群の小壷で幅の狭い高台を削りだす。内面から外面下位まで灰褐色の釉が掛かる。胎土は粘質で淡橙色を呈し、赤褐色粒が多く混入する。65は光沢のある黒褐色の釉がやや厚く均一に掛かり、体部外面下位は露胎である。胎土は明黄灰色を呈し黒色粒、茶褐色粒が若干混入する。焼成はやや甘い。類例に乏しく、中国華南産かと考えるが不明である。

77～80はＣ群の壷で、博多分類では小口瓶に相当し「大宰府条坊跡XV」では（仮）XV類とした類である。底径は5.0cm程度、体部は細長く肩が張り、口径は2.0cm程度と狭い。底部は上底気味の平底でケズリ後底面全体または一部にナデ調整を加える。施釉は局部的で、口縁部内面から肩部外面上位の狭い範囲に黒茶色で艶のない釉が掛かり、以下は露胎とする。内面には横ナデによる細かい凹凸が顕著に見られる。器肉は薄く、胎土は緻密で粘性が強く淡灰色を呈し、黒色の細粒がやや多く混入する。

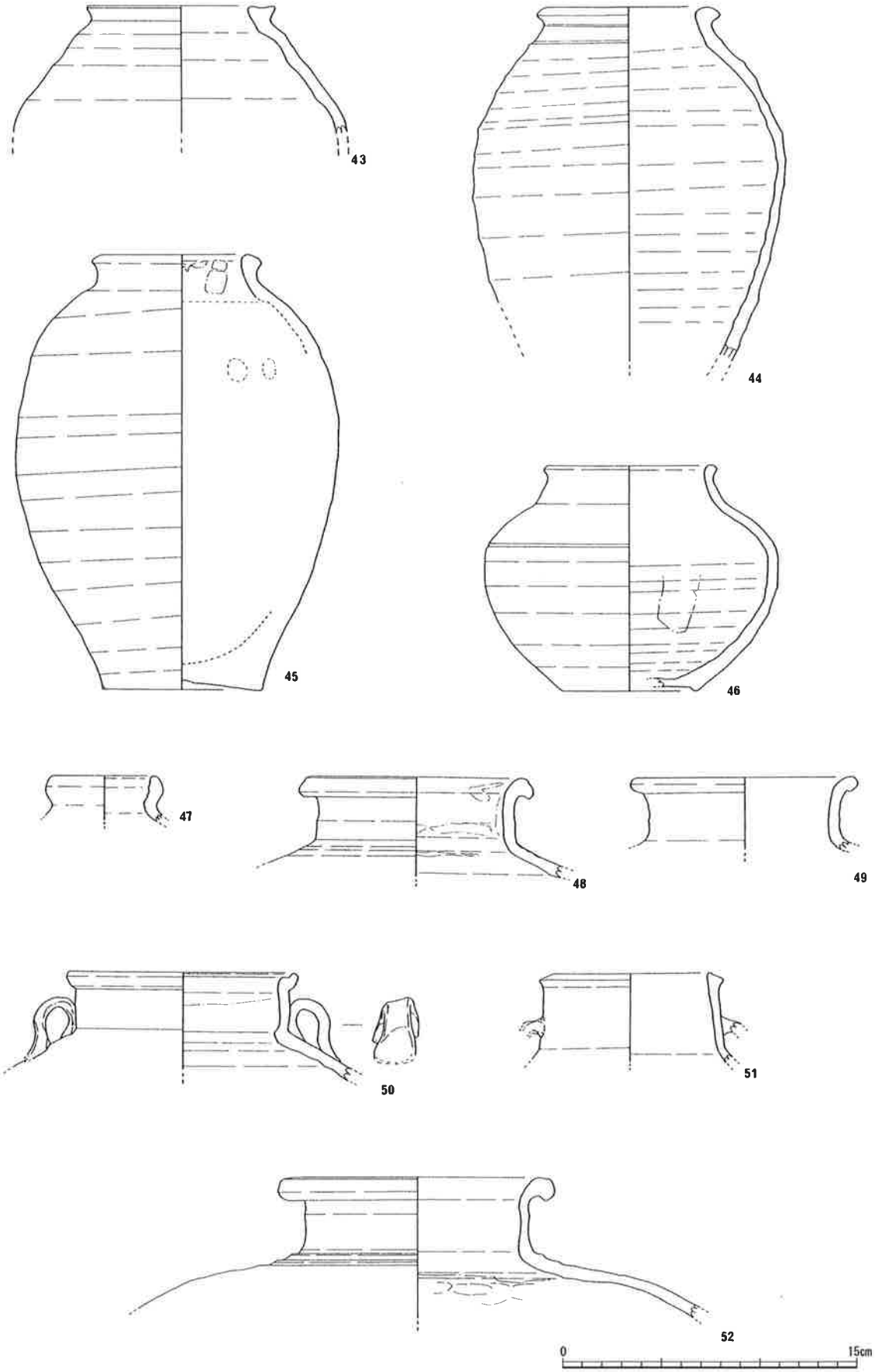
53・54・57・58は胴部が膨らむ厚手の中型壷で、54・57・58はＣ群に近い。53は内面中位から外面下位まで黄褐色の釉が掛かり、胎土は硬質で小豆色を呈し白色粒が多く混入する。肩部上位に水平方向の重ね焼き痕が見られる。底部は上底気味の平底で外面に砂が溶着する。57は内面から外面下位までやや光沢のある茶褐色釉が掛かる。胎土は黄灰色で粗く、白色粒、黒色粒がやや多く混入する。肩部に沈線、口縁部と体部の境に段を有し、口縁端部は外に折り曲げ角ばった縁帯をなし、上面は凹面をなす。後述する35（Ｃ群耳壷XI）の口縁と類似する。底部は上げ底で端部がわずかに外に張り出し円盤状をなす。胴部内面に楕円形に窪んだ当て具痕が残る。58は内面から外面下位まで暗黄茶色の釉が掛かる。胎土は黄灰色で粗く白色粒、黒色粒がやや多く混入する。肩部に沈線、体部と口縁部の境に鈍い段を有す。底部は上げ底で端部が外に張り出し円盤状をなす。胴部内面に円形の当て具痕が残る。54は口縁部内面から外面に暗黄緑褐色の釉が掛かる。胎土は灰色で粗く、白色粒を多く含む他黒色粒が混入する。肩部上位に沈線、体部と口縁部の境に鈍い段を有す。体部外面に平行タタキ痕が残




第28図　出土遺物陶器⑤（1/3）




第29図　出土遺物陶器⑥（1/3）




第30図　出土遺物陶器⑦（1/3）

る。55は群外で、内外面に暗灰緑色で鈍い光沢のある釉が掛かる。胎土は淡灰色～灰色で、黒色粒を含む他少量の白色粒が混入する。体部と口縁部の境に鈍い段を有し、口縁端部は肥厚して断面三角形をなし、角が外に突き出る。内外面の器表には不明瞭な円形の凹凸が見られ、タタキ痕と思われる。

耳壷

1～28・30・31・60～62・64・68・69は耳壷XⅢ－２類である。器形や釉調に差は少ないが胎土により２分され、１・２・４・５・８・９・15～20・64・68及び７は大宰府分類A－２群と同質でXⅢ－２A類とする。３・６・10～14及び21～28・30・31・60～69はB群に属しXⅢ－２B類とする。XⅢ－２A類は体部が細長く上半は薄手で口縁部は肥厚する長い縁帯を有す。口縁上端は尖り気味となる。底部は上げ底または上げ底気味の平底である。暗茶色の釉が底部外面を除く全面に薄く掛かり底部外面にも釉が回る例が多く、はみ出た釉をなで付けた痕跡がある。底部外面は外周に円形の剥離痕が見られ、その径は口径とほぼ等しい。胎土は緻密で暗茶色や暗紫灰色を呈し白色の細粒が混入する。口縁下には２個を一対とする縦耳が２箇所に付き四耳となる例が多い。32～34は下部のみ残存するが胎土から見て同類と考えられる。

XⅢ－２B類は精粗にばらつきはあるが全般にA－２群よりも質が落ち、胎土は灰色、橙灰色などを呈し白色粒、黒色粒が混入する。器形にはXⅢ－２A類と同様の長胴形の他に短胴形のものがある。22～28・30・31・60～62は短胴形で、体部は樽形をなし暗茶色の釉が底部外面を含む全面に掛かる。底部は上げ底または上げ底気味の平底で、XⅢ－２A類と同じく外面には底径より一回り径の小さい輪状の剥離痕が残ることが多い。耳は縦耳で２個を１対とし２箇所対称に付く。23・27の口縁断面では接合痕が観察され、肥厚部は粘土帯を別に貼り付けて製作したことが分かる。

３・６・10～14・21・69はXⅢ－２A類と同形の長胴形で、耳の付き方も同じである。暗茶色の釉が底部外面を含む全面に薄く掛かり、胎土は灰色、暗茶色などで白色粒を含む他黒色粒をやや多く含む。３は茶灰色の釉を二度掛けしている。内面の一部は釉が回らず露胎となっている。12は他に比して一段小型であり、そのためか三耳となっている。底部は平底で外面の一部が露胎となる。口縁端部には目跡がある。21・69は体部下半のみ残存するが同類のものである。

29・32・34は壷V′－１類の口縁と類似し、それに耳をつけた形状でB群に属する。暗茶色の釉が全体に薄く掛かり、底部外面は釉をなで付けする。胎土は灰褐色、暗紫色、淡橙灰色などで黒色粒が混入する。口縁端部外面を外に引き出し、上面は平らに近いがやや丸みを持つ形状となる。２個を一対とする縦耳が２箇所に付く。34は底部外面に３個の目跡が残る。

35・48～50・52・71・93はC群の耳壷である。48・50・52はⅣ類で、48・52は口縁部を外に折り曲げ、端部は肥厚して丸みを持つ。外面に条線及び低い凸線が入る。頸部内面から外面にかけて施釉され、52の内面頸部以下は釉を拭き取る。釉は48が濃茶色、52は暗黄緑色に発色する。胎土はやや硬質で灰色を呈し、白色粒、黒色粒が混入する。肩部内面上位に円形の当て具痕が見られる。50の口縁部は48・52と異なり端部を上向きに作る。濁黄灰色の釉が口縁部内面から外面にかけて掛かるが、外面の釉は剥落している。胎土はやや軟質で灰色を呈し、黒色粒がやや多く混入する。耳は１個のみ残存

するが双耳と思われる。

35・49・71・94はXI類で無釉陶器の一群であるが、一部には化粧土の見られるものもある。IV類の胎土は焼成不良のため軟質で淡橙色を呈し、黒色粒が混入する。35は四耳壷で肩が張り、口縁部は断面が角ばり上面は凹面をなす。口縁部内面から外面にかけて薄く化粧土が掛かり、茶色味に発色する。胎土は軟質で灰色を呈し白色粒、黒色粒が混入する。体部内面に円形当て具痕、外面に平行タタキ痕が残る。71の胎土は粘性があり淡橙色を呈す。白色粒、黒色粒を含み、大粒のものも見られる。94の外面には体部下位まで薄く化粧土が掛かり、黄茶色に発色する。胎土は淡橙色で大粒の白色粒が疎らに混入する。外面の一部に平行タタキ痕がある。

51は双耳壷または水注で内外面に暗茶褐色の釉が掛かる。胎土はやや軟質で灰色を呈し、黒色粒が多く混入する。器肉は薄く、口縁部は小さく鋭利である。B群とC群の中間的特徴を有し区別し難いが、C群により近い。

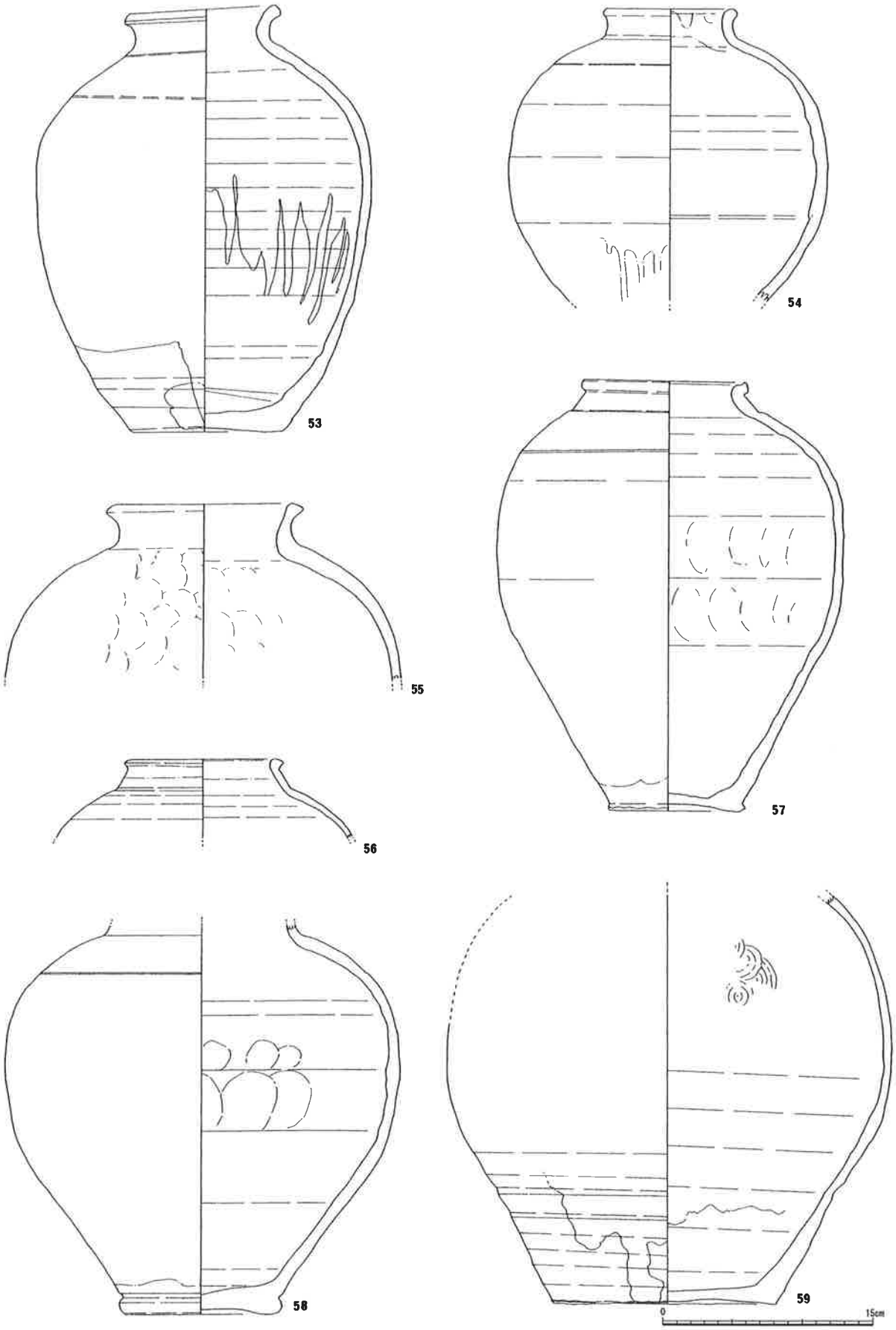
水注

56・95・96は水注である。56はA－2群の水注VI類または耳壷XIV類に相当し、体部形及び口径から見て水注VI類になる可能性がより高い。耳の有無については破片のため明らかでない。口縁部内外面を除き暗茶色の釉が掛かる。胎土は茶褐色で白色の細粒が混入する。

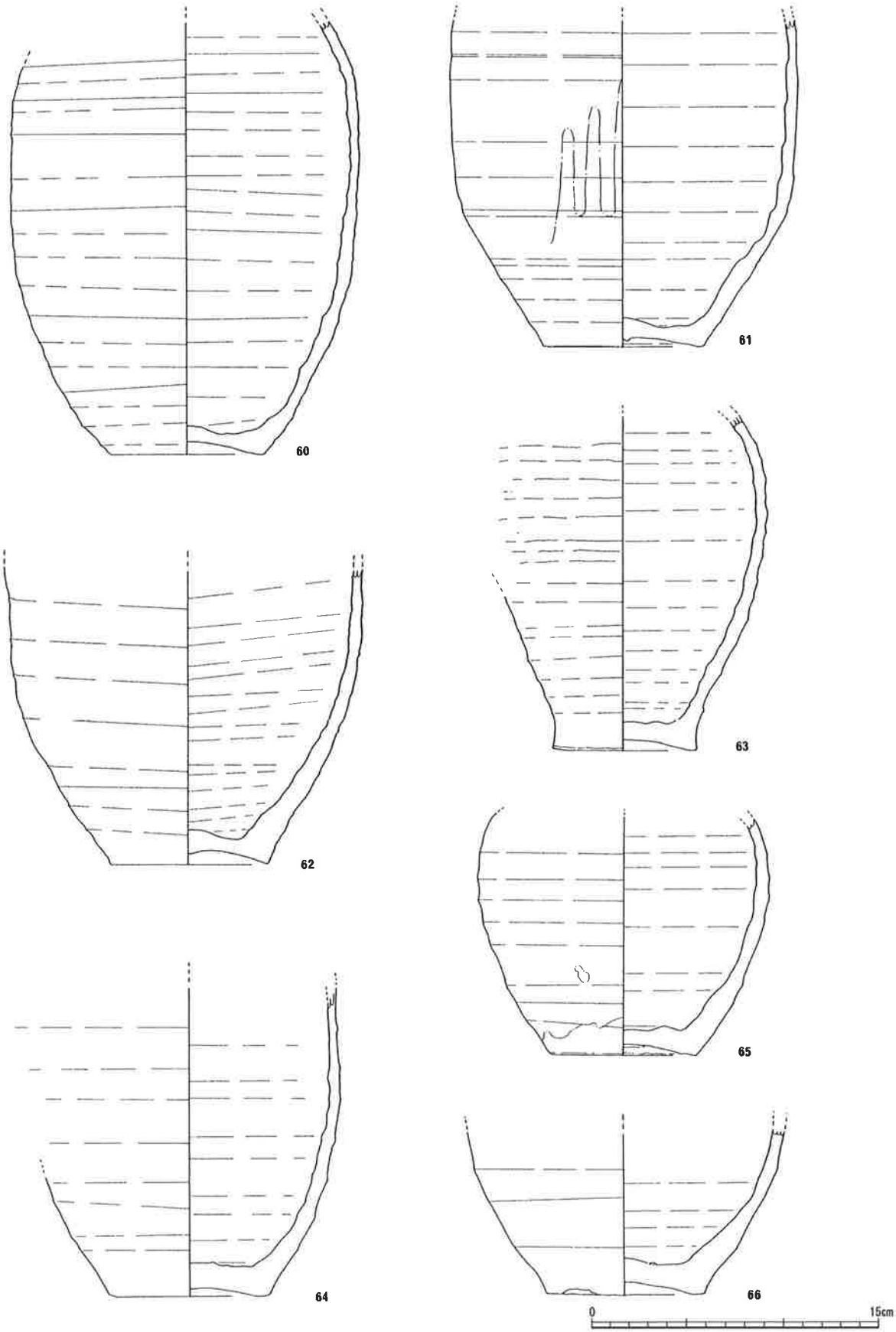
96はB－3群の小形水注VIII類である。内外面に暗灰褐色の釉が薄く掛かる。胎土は茶灰色で黒色粒が混入する。口縁部は「く」字形に外反し、内面は凹面をなす。横耳が2箇所に付き、欠損しているが把手が付くと思われる。95はC－2群に属する水注で、未分類である。注口は欠損している。内面から外面下位に暗茶黄色の釉が掛かり、以下を露胎とする。胎土は暗灰色から黒紫灰色を呈し白色粒の他少量の黒色粒が混入する。肩部上位に段を有す。縦耳が2箇所に付く。把手はないが内面体部の把手位置相当部分には指2本を押さえつけた突起があり、本来把手をつけようとしたものと考えられる。

鉢

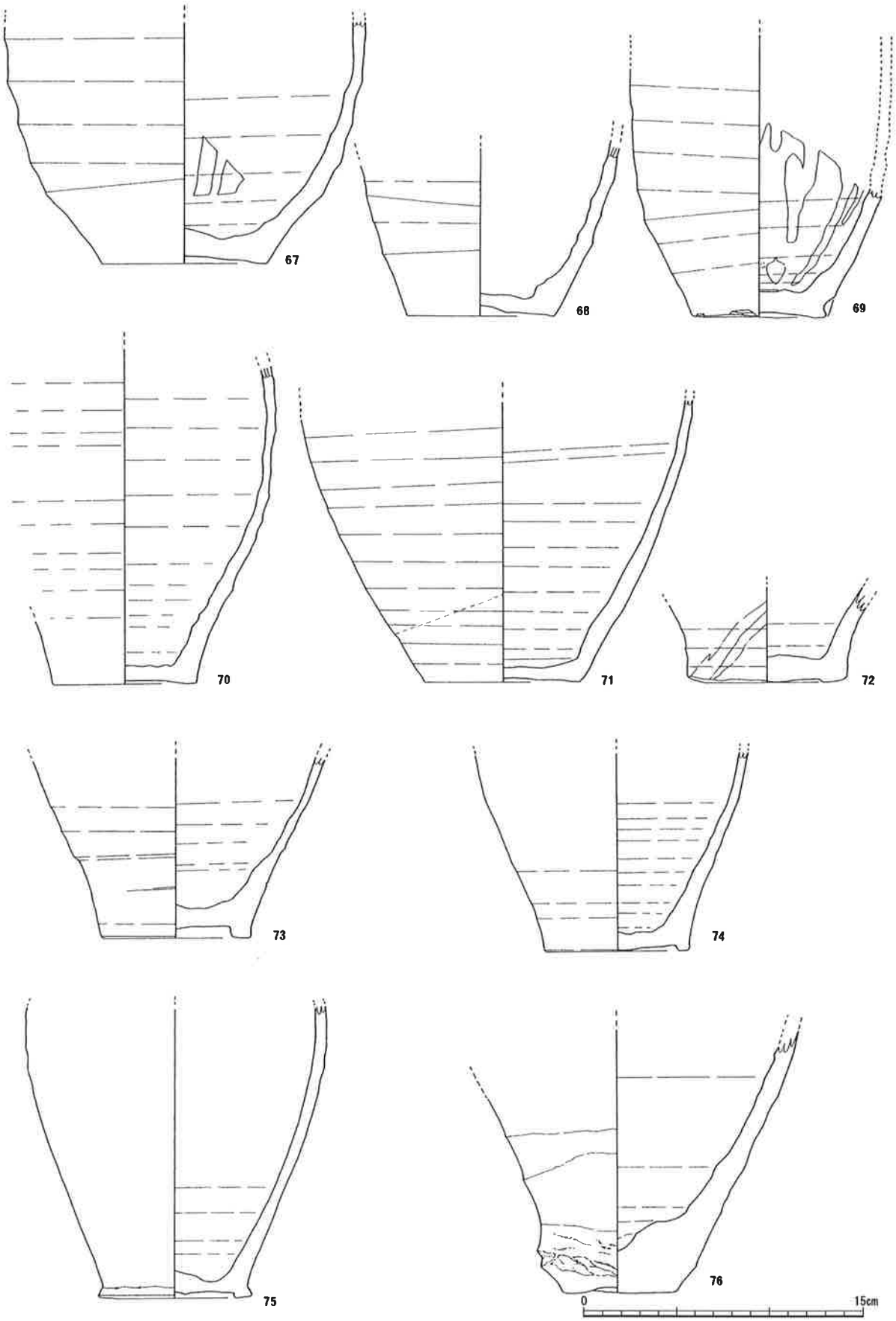
85・87・88は鉢である。85は胎土及び釉調からA－2群に属すると思われる。内面口縁部下から外面に暗灰緑茶色の釉が掛かるが、口縁部内外面は釉を拭き取ったためか黄白濁化している。胎土は暗茶色で白色粒が混入する。口縁部は「く」字状に屈曲し、端部はやや肥厚して角ばり、平らな端面を持つ。88は大形のもので胎土はB群に近似するが、平底で器形はA群に近い。内外面に茶色の釉が掛かるがほとんど剥落している。体部上位に黒釉が装飾的に掛けられている。胎土は粘質で橙灰色から灰色を呈し、黒色粒が混入する。口縁端部は肥厚して上端は水平となり、白色の目跡が残る。口縁部外面は中央に凹線のある縁帯状となる。体部上位に沈線を有し、ここに2個を一対とする縦耳が2箇所対称に付き四耳となる。87はA－2群のIV類に属する。口縁部内面から体部外面中位に暗茶黄色の釉が掛かる。胎土は赤灰色で白色粒が混入する。体部上位は内湾し口縁端部は玉縁状となる。口縁部下に沈線を有し、ここに縦耳が付くが耳の数は不明である。



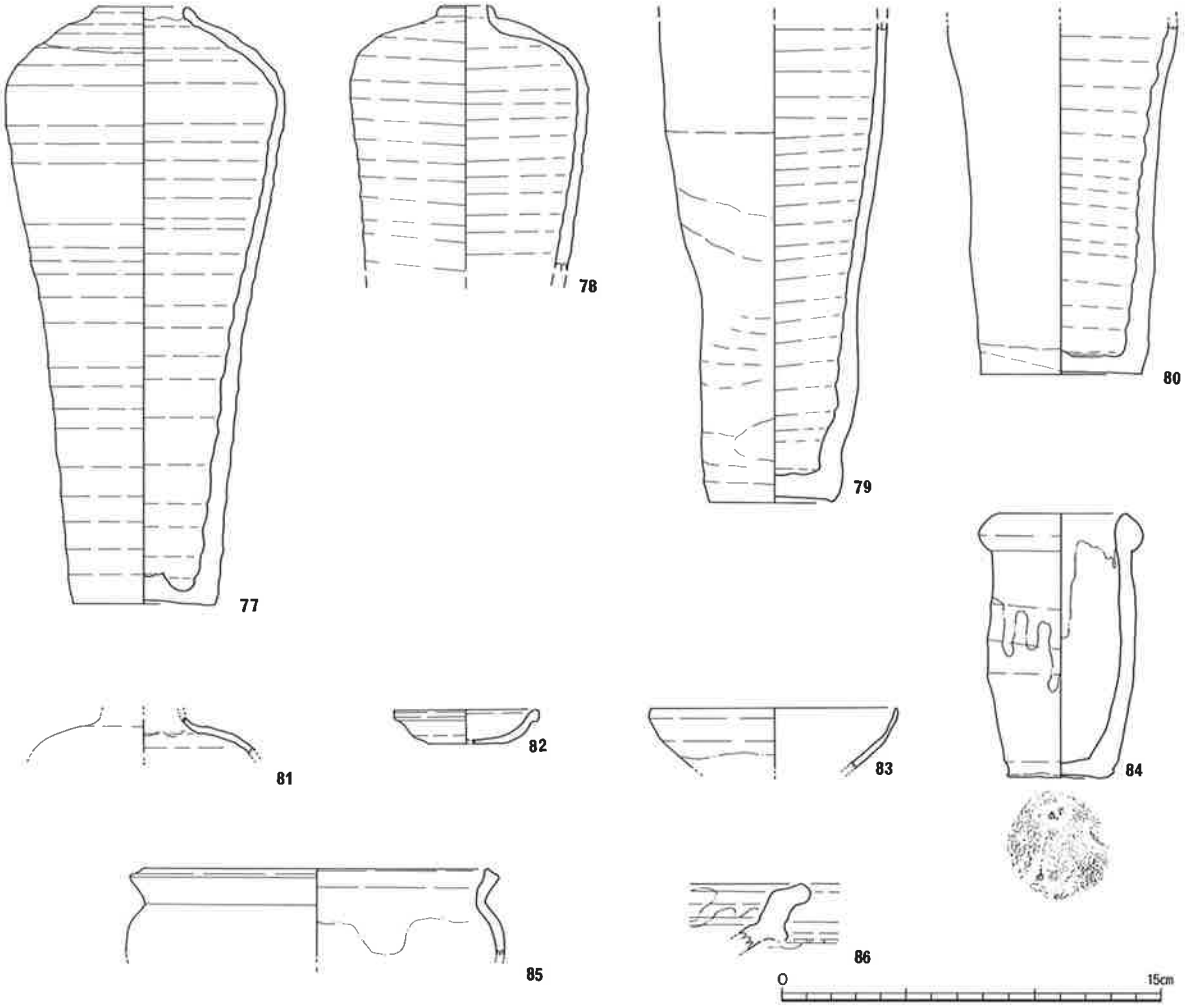

第31図　出土遺物陶器⑧（1/4）



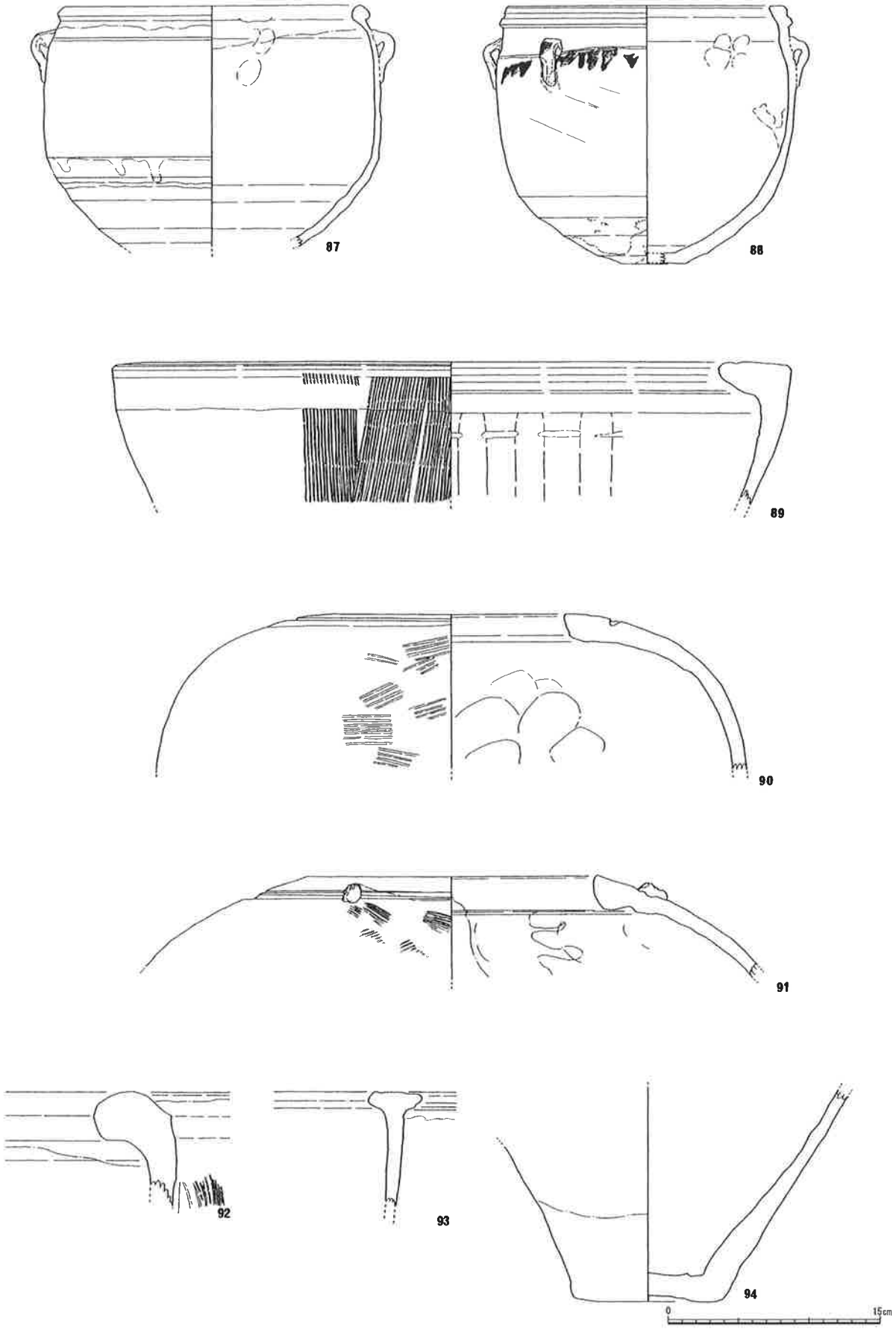

第32図　出土遺物陶器⑨（1/3）



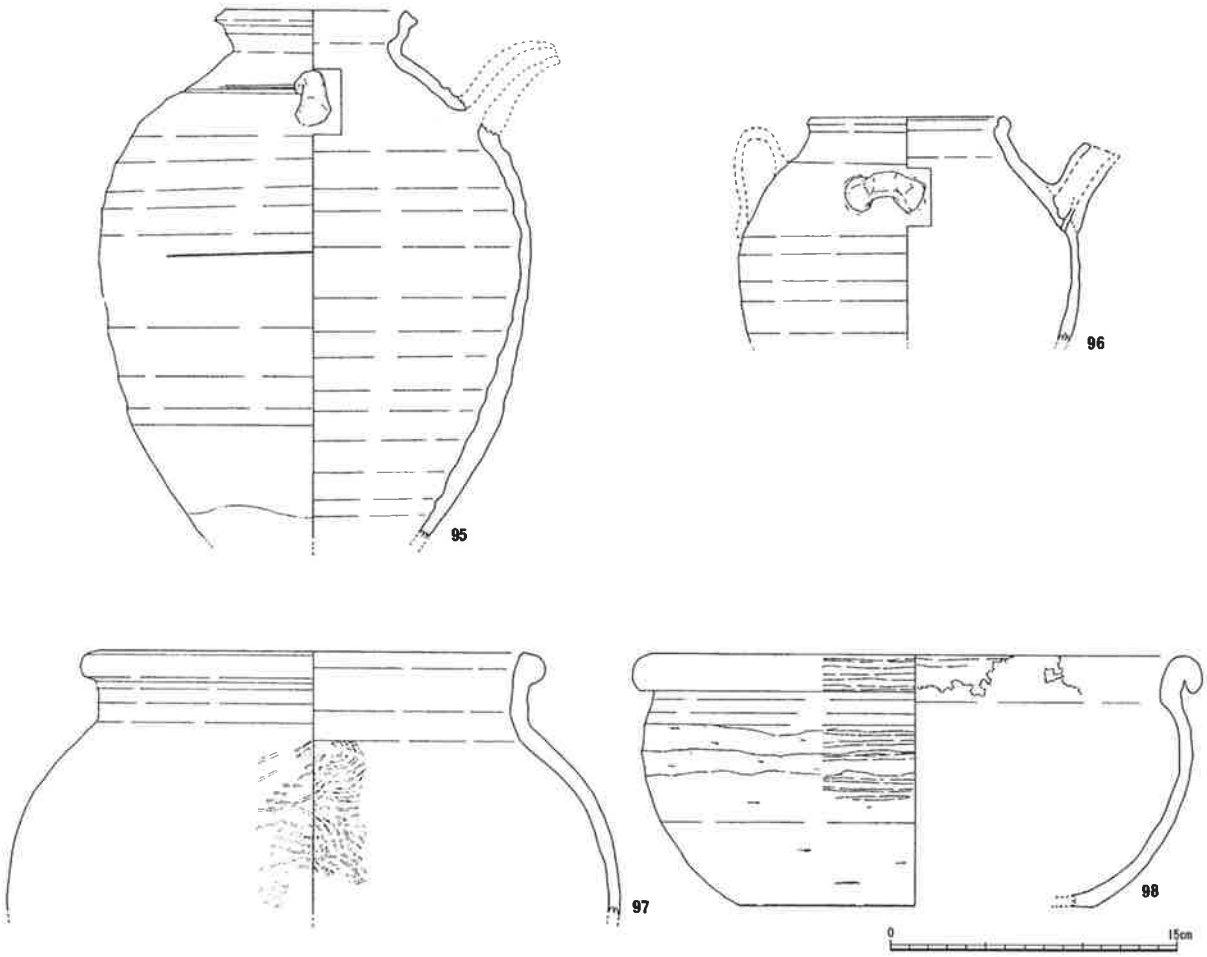

第33図　出土遺物陶器⑩（1/3）




第34図　出土遺物陶器⑪（1/3）




第35図　出土遺物陶器⑫（1/4）




第36図　出土遺物陶器⑬（1/4）

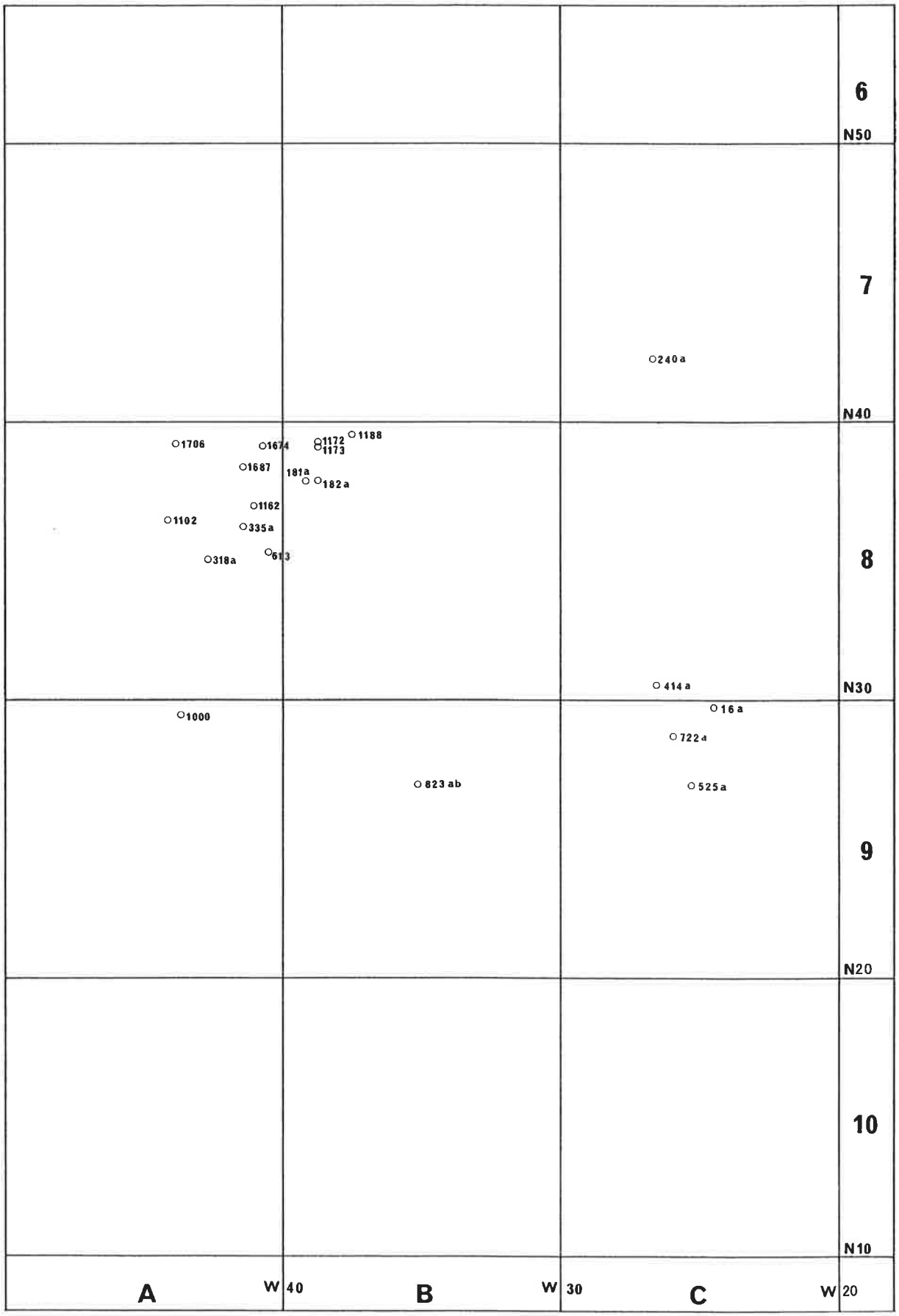
甕

89～93は甕である。92はⅠ類の小片で内外面に施釉されるが黄灰濁化している。胎土は黒褐色で白色の砂粒が多く混入する。口縁部は内湾し外面に稜線を有す。外面口縁部下にハケ状の調整痕が残る。89はⅡ類の亜種と考えられる。内外面に暗茶褐色味の釉が掛かるが黄濁化している。胎土は粗く黒灰色を呈し白色の小礫が混入する。口縁部は内側に屈曲し上面がほぼ水平となる。内外面口縁部以下にタタキ痕が残り、内面は不明瞭であるが青海波状と思われ、外面は縦条線状に叩き板の痕跡が残る。90・91はⅣ類で、体部から口縁部にかけて急に内湾する無頸形の甕である。大形壷に分類されることもある。91は外面口縁部以下に暗黄緑色の釉が掛かる。胎土はやや粗く茶灰色を呈し、白色粒が少量混入する。内面に円形の当て具痕、外面に平行タタキ痕が残る。欠損しているが耳の痕跡があり、個数は不明である。90は暗黄緑色の釉が口縁部内面から外面に掛かり、口縁部外面の釉は拭き取る。胎土は茶灰色から灰色で白色粒を多く含む他黒色粒が混入する。内面に円形当て具痕、外面に平行タタキ痕が残る。93はⅤ類である。釉は剥落しているため不明で、胎土は茶色から灰色を呈し白色粒を多く含む他黒色粒が混入する。口縁部断面はT字形をなす。内外面に張り出し上面はほぼ水平となる。59は口縁部付近が欠落するため確定できないが甕Ⅴ類の可能性がある。内面上位に釉または化粧土状の痕跡が残るが他は露胎で、無釉または剥離した可能性がある。胎土は灰色から暗灰茶色で白色粒、黒色粒がやや多く混入する。内面上位に青海波状の当て具痕が残る。

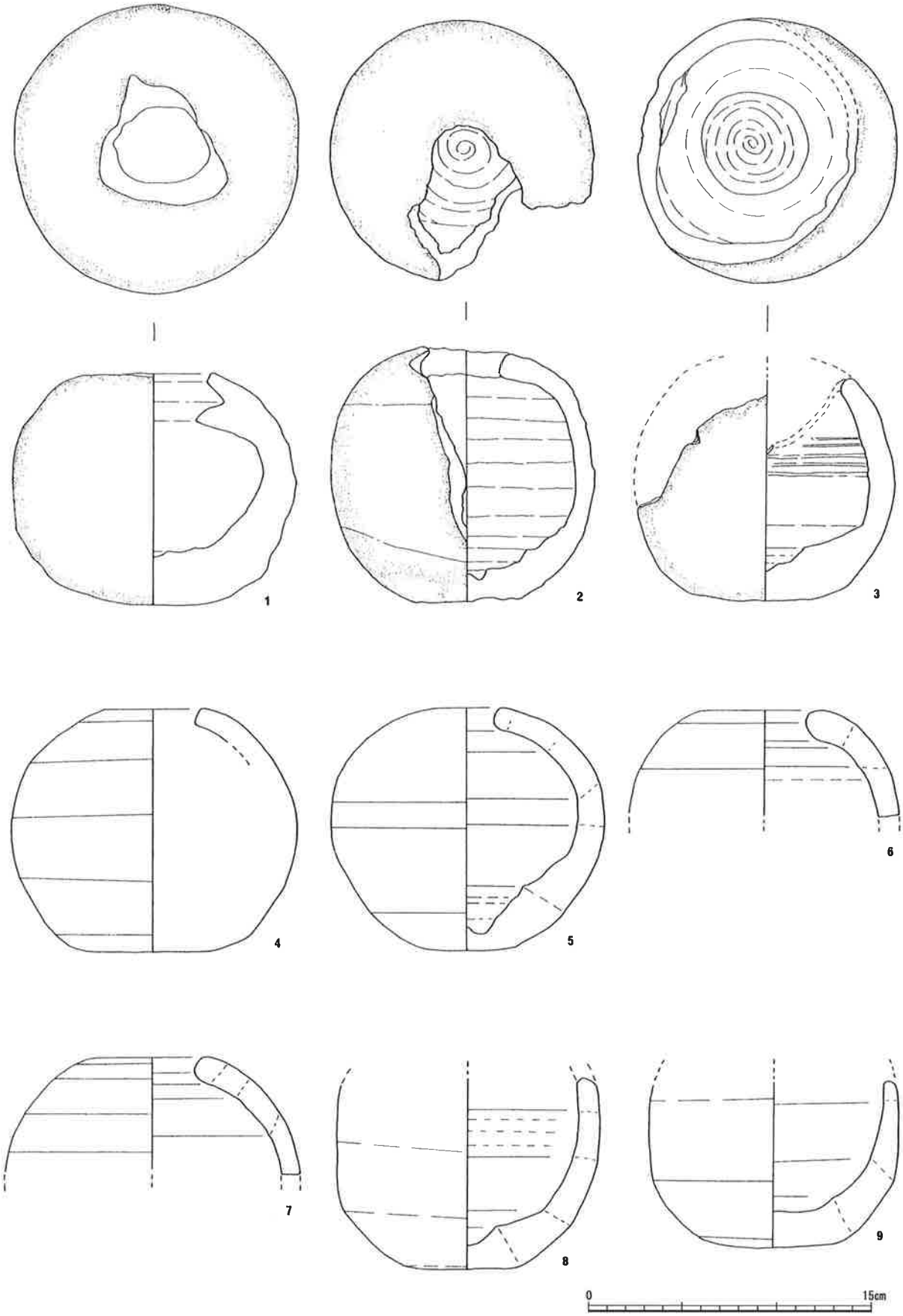
その他の陶器

98は琉球大の池田教授によると高麗時代のチャペギ（鍋）の一種である。胎土は灰色で粘性が強く、混入物を含まない。本来黒色であったと思われるが被熱のため変色している。内面口縁部と体部の境に段を有し口縁端部を外に丸く折り曲げる。内面の調整は劣化のため不明であり、外面は体部下半が回転ヘラケズリ、上半が手持ちヘラケズリで、口縁部内面から体部外面上半を回転ヘラミガキで再調整する。97は朝鮮製と考えられる陶器の甕または壷で内外面に暗茶褐色の釉が薄く掛かる。胎土は灰紫茶色で白色粒が多く混入する。肩の張りは弱く、頸部は外反気味に直立する。口縁端部は外面が肥厚する玉縁状となる。体部内面に青海波状の当て具痕、外面に平行タタキ痕が残る。

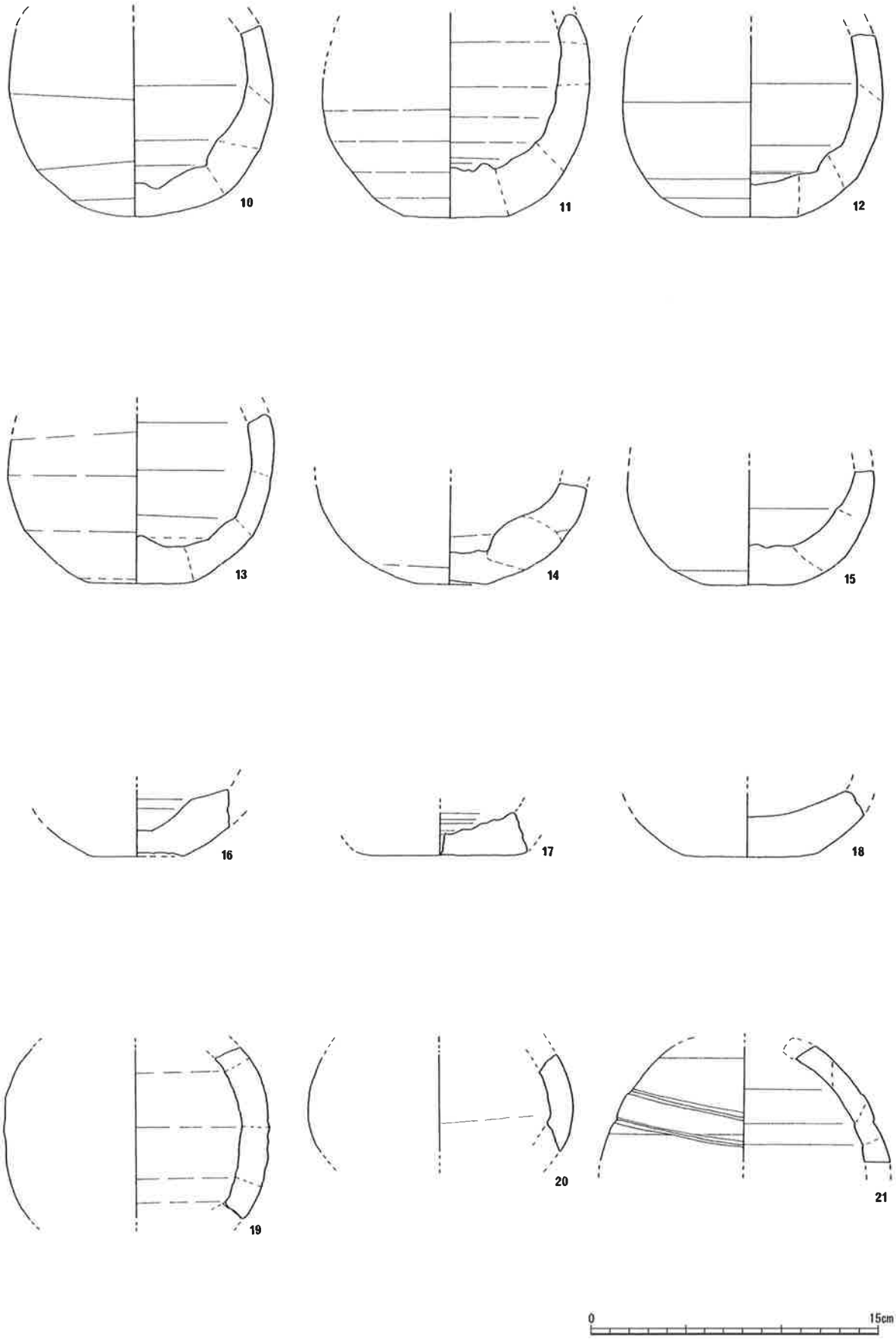
82～84は小型の中国陶器である。83は皿形をなし、灯皿の一種と考えられる。内面から外面中位に施釉され、光沢のない茶色釉の上に緑灰色の釉が掛かる。器肉は薄く、胎土は緻密で赤褐色を呈し混入物は見られない。A－2群に近いが類例は乏しい。82はC群の壷蓋と思われ、内面のみに淡黄緑色の釉が掛かる。胎土は硬質で淡黄灰色から黄灰色を呈し、黒灰色の細粒が少量混入する。口縁部外面は中央に凹線のある縁帯状となる。外面に横ナデの痕跡が残る。84は作りの粗い小形坏で、完形品である。口縁部から釉が流し掛けされ、釉は灰白色化している。胎土には白色粒、黒色粒が混入する。体部はコップ形で口縁は外面が肥厚する玉縁状となる。底部外面は一方向のケズリ、他は回転（ヨコ）ナデで調整する。




第37図　「てつはう」出土状況図（1/20）




第38図　出土遺物「てつはう」①（1/3）



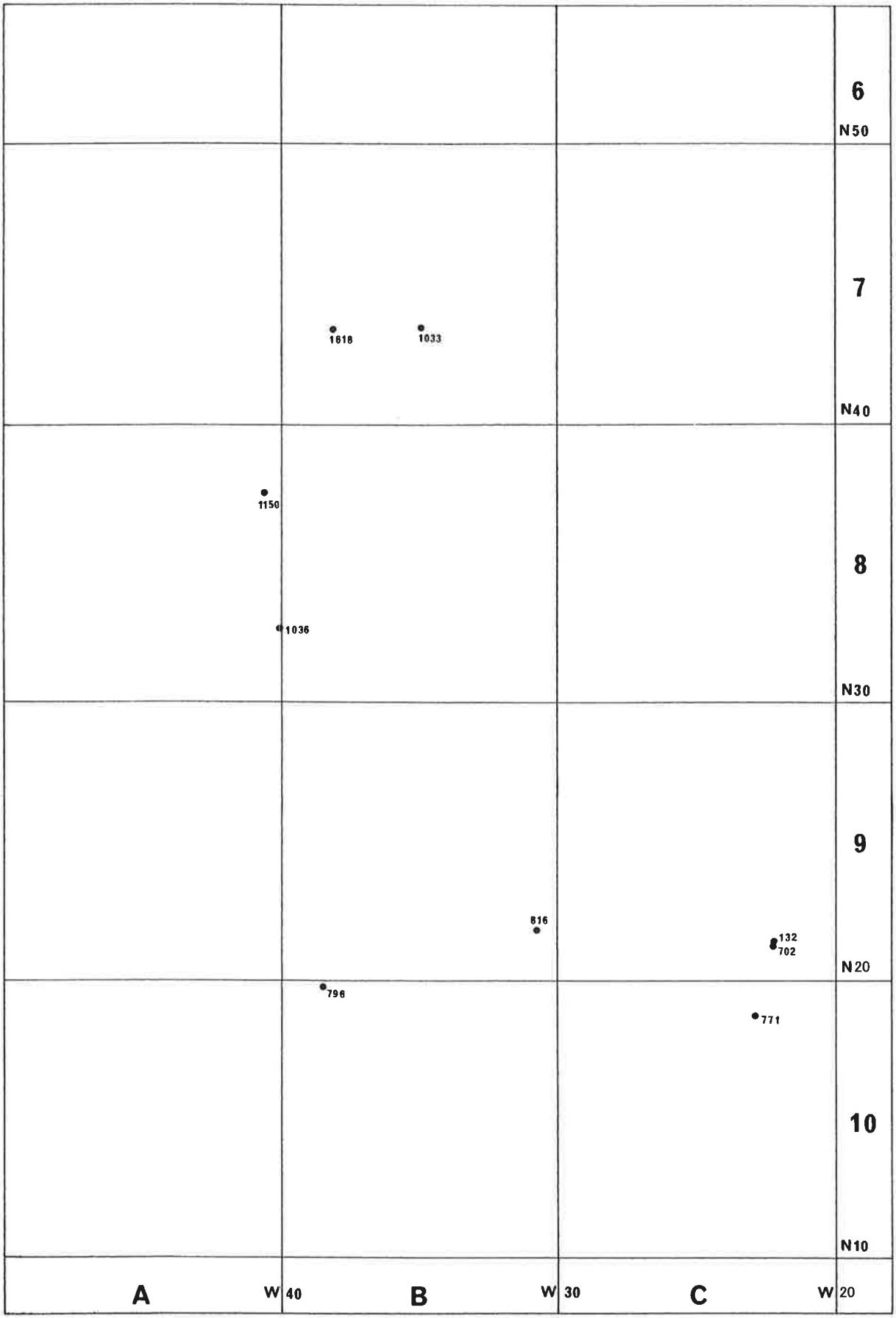

第39図　出土遺物「てつはう」②（1/3）

球状土製品（第38図・第39図）

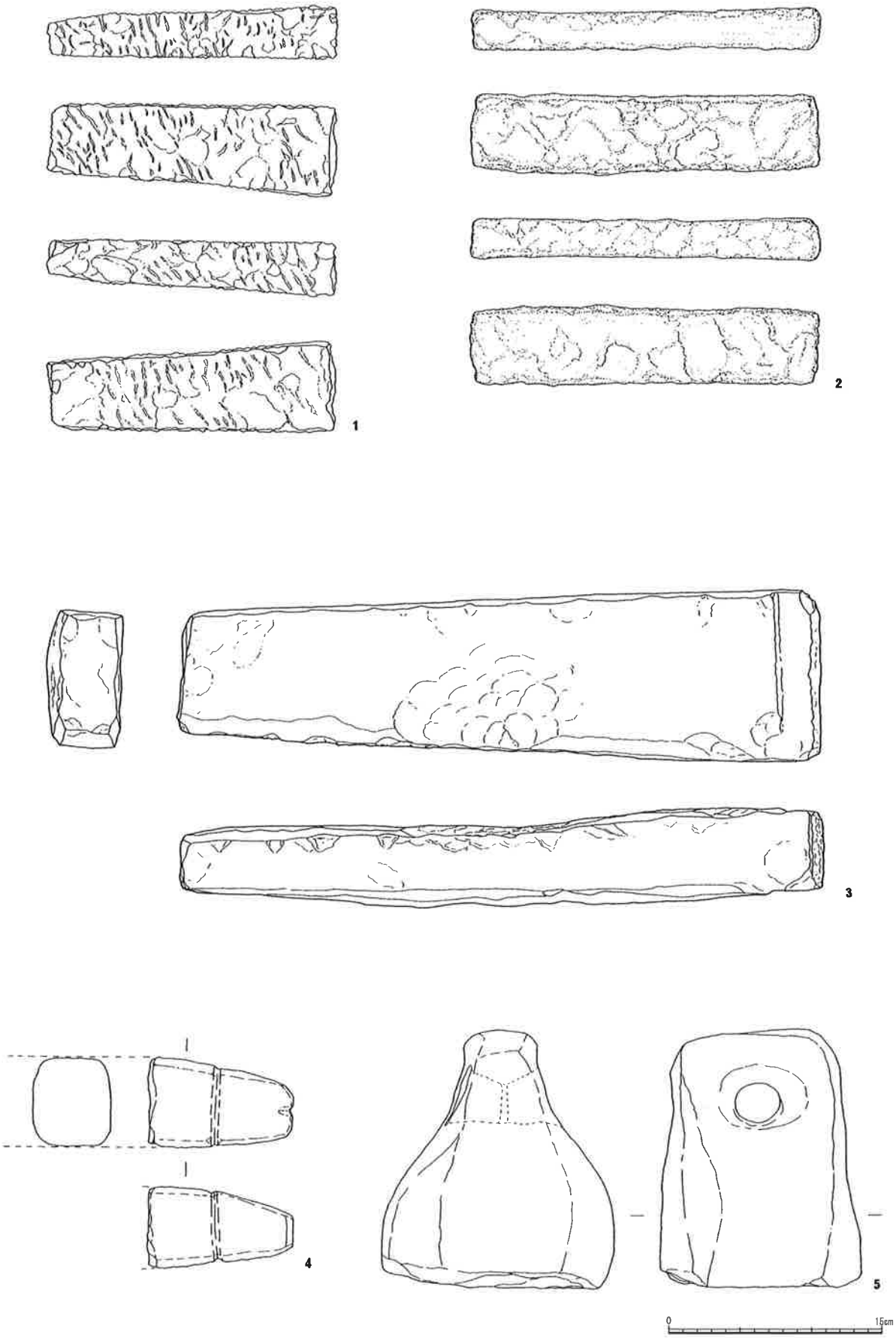
概報では『蒙古襲来絵詞』に描かれた「てつはう」と推測した資料である。ここでは破片資料を含め、21点を図化した。この中に、ほぼ完全な形で残存したものが３点ある。**第38図４**は高さ12.8cm、最大径15.1cm、**第38図５**は高さ12.8cm、最大径15.6cm、**第38図１**は高さ12.2cm、最大径15.0cmを測ることからすれば、高さ13cm、径15cmほどが平均的な大きさであったと考えられる。ほぼ球状をなすが、１ケ所に穴を開け、ここから内部にものを詰める。製作の際には基本的に粘土紐を輪積みして成形し、最後に穴の部分を作る。器表面は回転を利用したナデ仕上げするが、仕上げは雑である。器壁は厚く、平均すると1.5cmほどであるが、底部近くでは３cmほどに作るものもある。やや厚めの底部から次第に厚みを減じ、開口部の厚みを１cm程に作るものが一般的である。開口部が残る資料をみると、穴の大きさは最小で**第38図５**の直径３cm、平均すると直径4.5cm前後（**第38図４・６・７**）、最大で直径6.0cm（**第38図１**）のものがある。開口部は端部に丸みを持たせて仕上げるのが一般的であるが、直径6.0cmの資料は口縁部断面を二枚舌状に作る。開口部の残る資料が少ない中、今のところ他に類例はない。どちらの開口部が一般的であったか、断言はできない。胎土は粗く、黒色粒を多く含み、気泡が弾けたようなアバタ状のざらつきが見られる。焼成温度は低いと見られるが、器表面の焼き上がりはしっかりしている。

## ３．石製品（第41図～第43図）

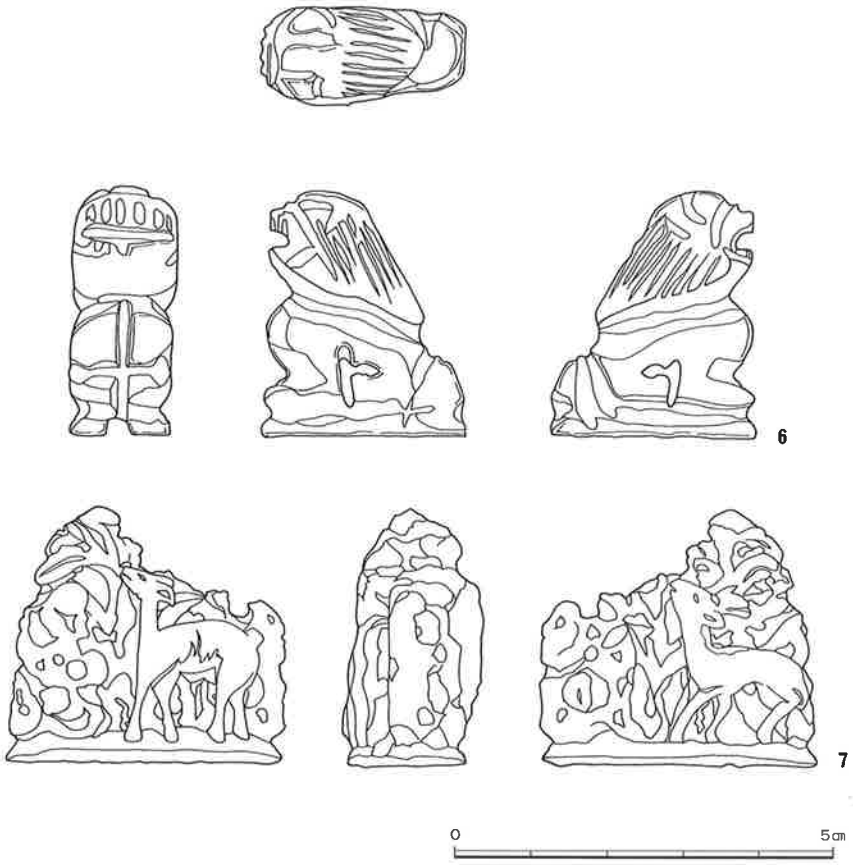
**第41図１**は碇石で９－Ｃ区の表層の緩いシルト層から出土。碇石は長さ90.5cm、中央部の厚さ24cm×13cm、先端部は16.5cm×8.2cm、装着部の深さ0.5cm、残存幅は６cmで、分離型である。**第41図２**は砂岩の石碇で、長さ48.6cm、幅10.5cm、厚さ6.0ｇ、重さ5910ｇを測る。部分的な加工を施して長方形に整形している。**第41図３**も碇石で、長さ40.6cm、幅12.6cm、厚さ7.6cm、重さ5900ｇを測る。全面にノミ状工具による加工が施され、断面は長方形を呈している。**第41図４**は石碇の端部片で、現存長20.4cm、幅12.3cm、中程に紐をかけるための幅１cmの溝が切られている。**第41図５**は花崗岩製の石製錘である。器高36cm、幅28.2cm、重さ42.7kgを測る。幅5.5cmの穿孔が両側から施されている。加工は粗く、側面は平面を意識して加工している。**第42図６**は白玉製の獅子像である。器高3.3cm、幅2.7cm、厚さ1.3cm、重さ16ｇを測る。石材は玉髄に類するものであろうか。獅子をモチーフにする置物で、頭部背面に直線的な沈線による鬣を表現している。底面は平坦で、中央には「U」字状の溝を掘り込んでいる。**第42図７**は青玉製の雌雄の鹿像である。器高3.45cm、幅1.6cm、厚さ1.8cm、重さ18ｇを測る。鹿をモチーフにした置物で、底面は平坦に仕上げている。部分的に断面円錐形状の小さな穿孔が残されている。素材の数箇所に穿孔をした施した後に精緻な透かし彫りの加工を行って両面にそれぞれ樹下の牡鹿と牝鹿を削りだしている。**第43図８**は硯で、長さ11.15cm、幅7.2cm、厚さ2.3cm、重さ338ｇを測る。海部は長軸に沿って擦過状の傷が認められる。陸部は海部に比べて丁寧に磨きが施されている。**第43図９**も硯で**第43図８**より小型である。長さ7.3cm、幅4.7cm、厚さ1.3cm、重さ93ｇを測る。側面・裏面は丁寧に面取りが施されている。



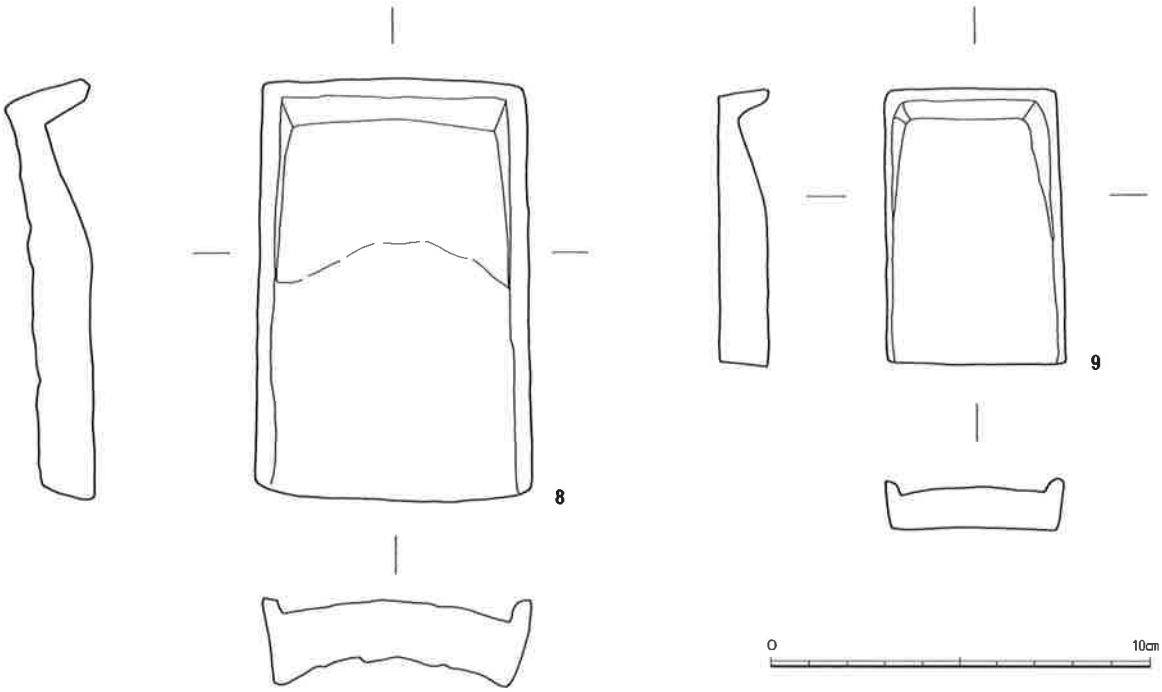

第40図　石製品出土状況図（1/20）



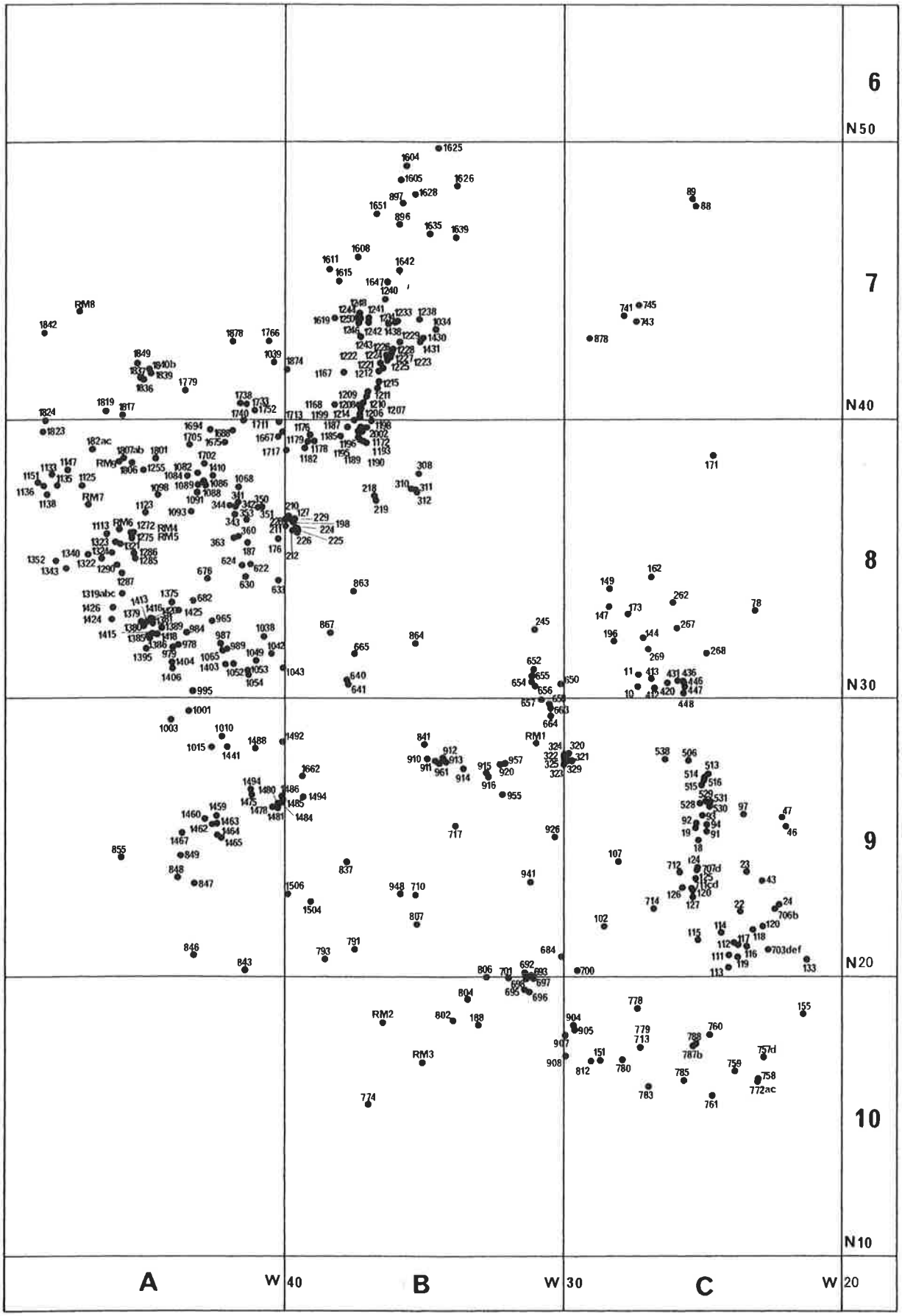

第41図　出土遺物石製品①（1/4）




第42図　出土遺物石製品②（1/1）




第43図　出土遺物石製品③（1/2）




第44図　金属製品出土状況図（1/20）

## ４．金属製品（第45図～第61図）

### 青銅製品

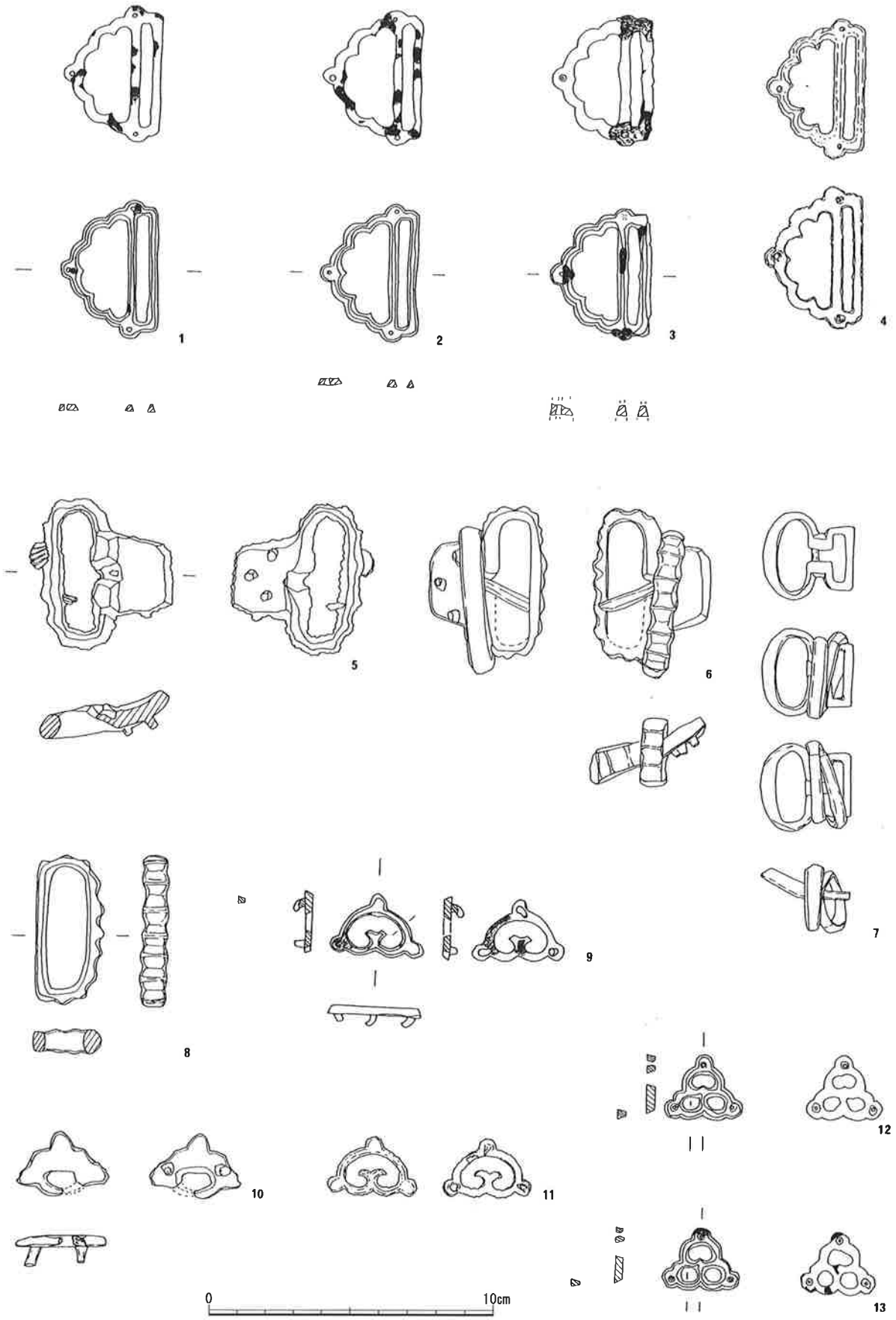
青銅製品には武器・武具の付属品と考えられる金具類（絞具や飾金具など）と、鈴をはじめとする装飾（日用）具、匙などの食器、船舶や船舶の中に設えられた調度品に施されていたと考えられる飾金具、銭貨である銅銭がある。

この中でもっとも多いものは武器・武具の付属品と考えられる金具類である。大きさは４cmほどのものから、10cmに及ぶものがある。同一形状のものが複数認められることからすれば、鋳造製品と考えられる。基本的に３mmほどの厚さを持った平たい製品と、やや肉厚の丸みをもった製品に二分される。平たい製品にはのっぺりとした面と周縁を削り落として装飾的な加工を施した面が見られる。縁辺部分に小孔を穿ったものが多いことからすれば、加工を施した面が表面であり、縁辺部の小孔にリベット状のものを打ち込んで、他の素材に装着されていたと考えられる。やや肉厚の丸みをもった製品は一定の幅を持ったベルトに装着されたと考えられる。これらの金具類は胡禄や刀剣などの武具、あるいはこれを身体に装着するための帯紐、腰帯などに着けられた絞具や留め金、吊り金具と考えられる。多くの金具に施された文様モチーフは唐草文様の変形したものであるが、なかには八弁花の中に龍と思われる透かしを施したもの**（第47図30）**も認められる。

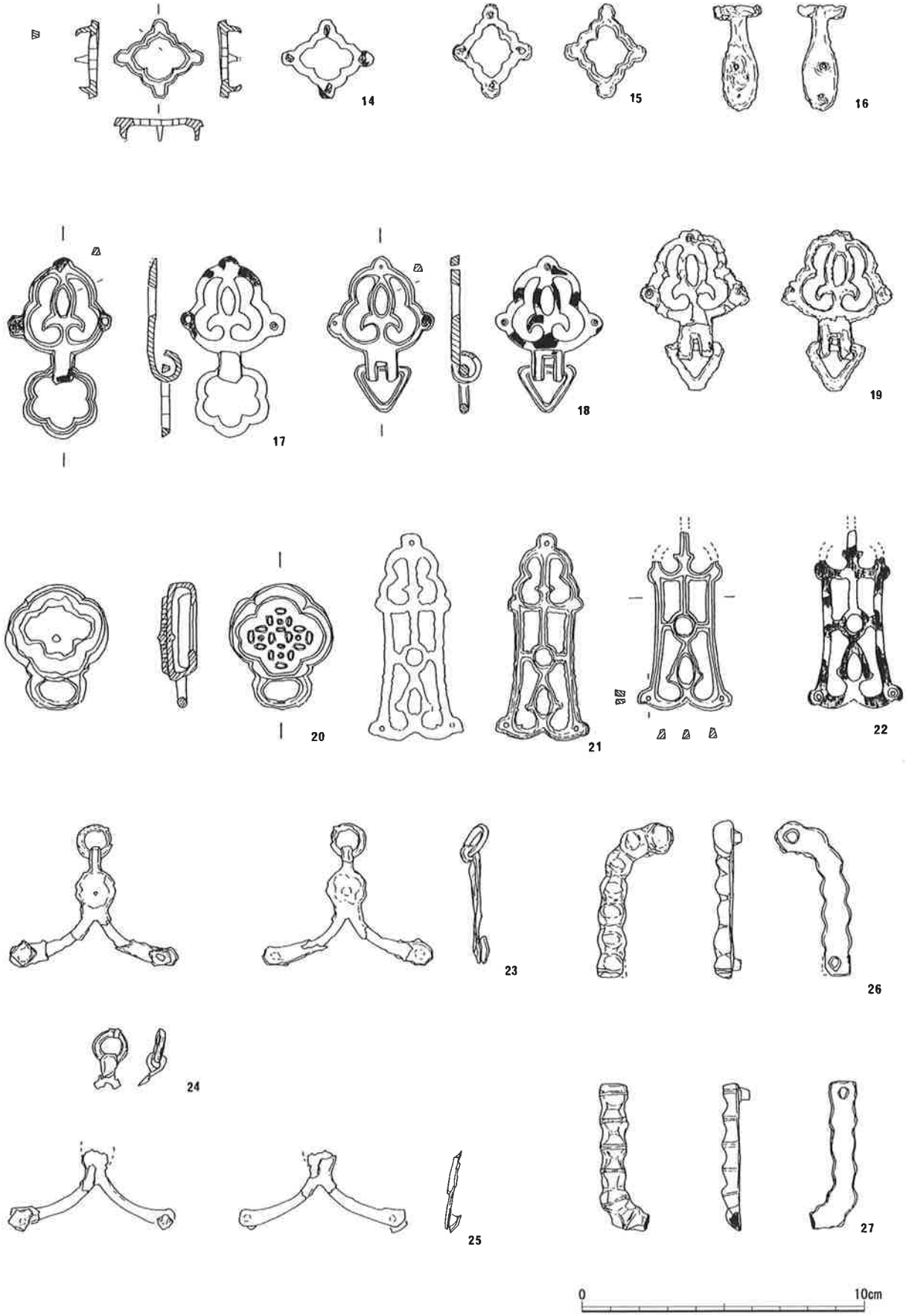
鈴は武器・武具類の装飾具として用いられる他、日常生活の中での呼鈴と用いられた可能性がある。直径３～５cmほどのものがいくつか**（第47図34・35）**検出されている。上半部と下半部を別作りし、内部に鈴玉を入れて接合する。上半部には吊り手の孔が施された突出部があり、下半部には鈴の音色を出すための切り込みが認められる。この他、装身具と考えられる製品に鏡があり、円鏡**（第47図37）**と多角鏡**（第58図32）**が見られる。共に破損しているが、円鏡には鏡背の紐部分が残り、直径８cmほどに復元される。多角鏡とした製品は破損と錆膨れが激しい。あるいは鏡ではないかもしれない。

食器の匙**（第49図43～45）**は長さ約20cmほどであり、把手部は幅約１cm、匙部の長さ約６cm、幅最大部で3.2cm、厚さ２mm程度である。匙部分の長さがやや長めの印象を持つ。把手端部に小孔を穿ち、銅環を付したものもある。この他、食器と思われる資料には銅椀（胡銅器、佐波理、さはり）の口縁部破片**（第49図46）**がある。口径約15cmを測り、口縁端部を丸く滑らかに仕上げる。器体の厚さは１mmほどである。また、厚さ1～２mmほどの彎曲し、内湾した銅板の破片**（第48図42・第49図46）**もいくつか得られているが、これらについては本来の形状が良く解らない。破片からすれば、銅鍋の破片とも考えられる。

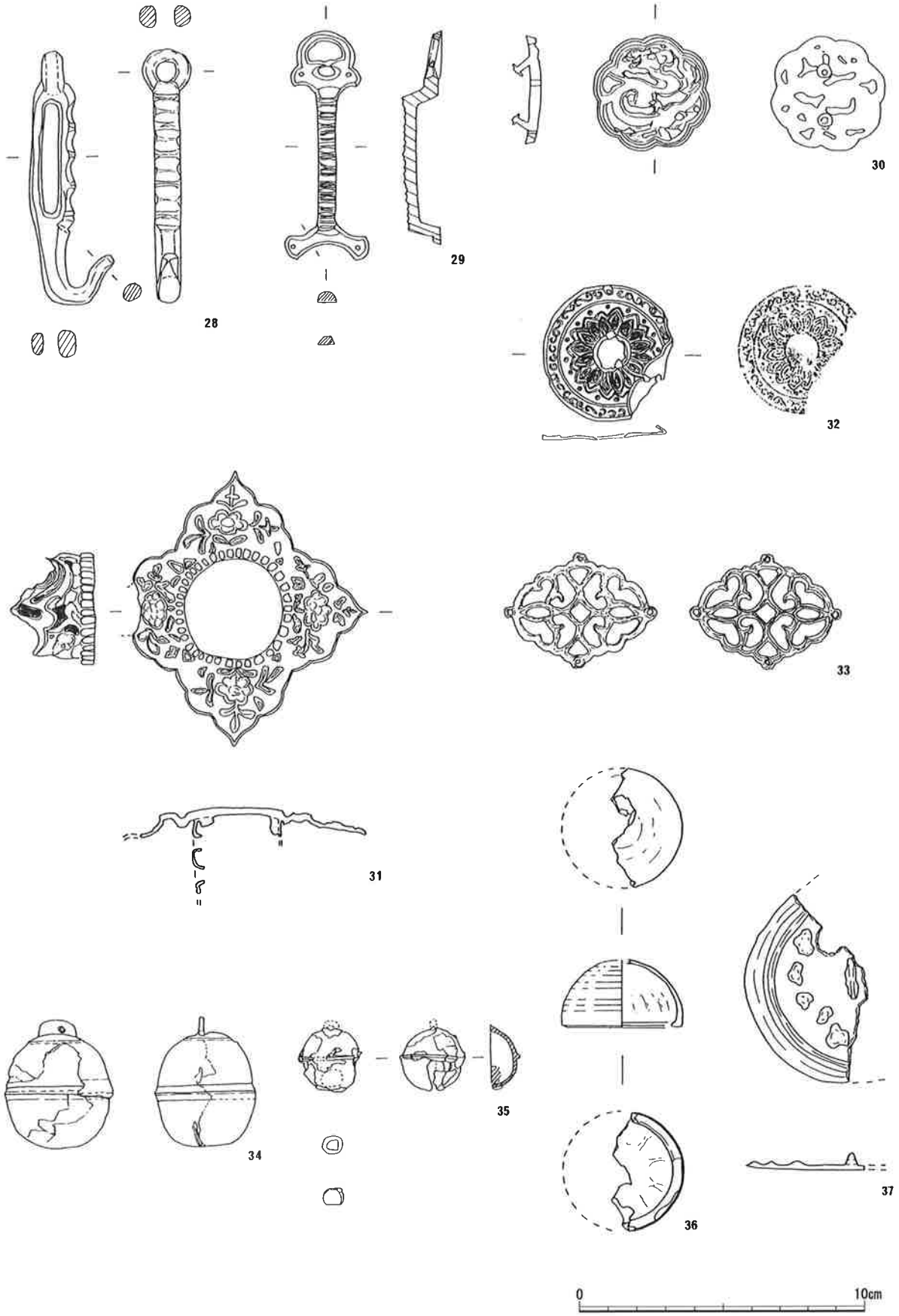
調度品の飾金具と考えられる製品には数点がある。１点**（第47図31）**は周縁部分を花弁状に加工した一辺７cmほどの方形銅板の中央部裏面に直径3.5cmほどの円筒部分を組み合わせて鋳造した製品である。厚さは方形板の中央部分で３mm、周縁部と円筒部で１mmほどを測る。円筒部分を取り付けていない方形銅板の表面には四つの角部に向かって花卉文が施される。また、裏面に付された円筒部分の表面にも何らかの文様が鋳出されているが、図柄については良く解らない。円筒の部分は空洞であり、内面には鋳造の際のバリが残る。したがって、ここに木材などを挿入して用いていたものではない可



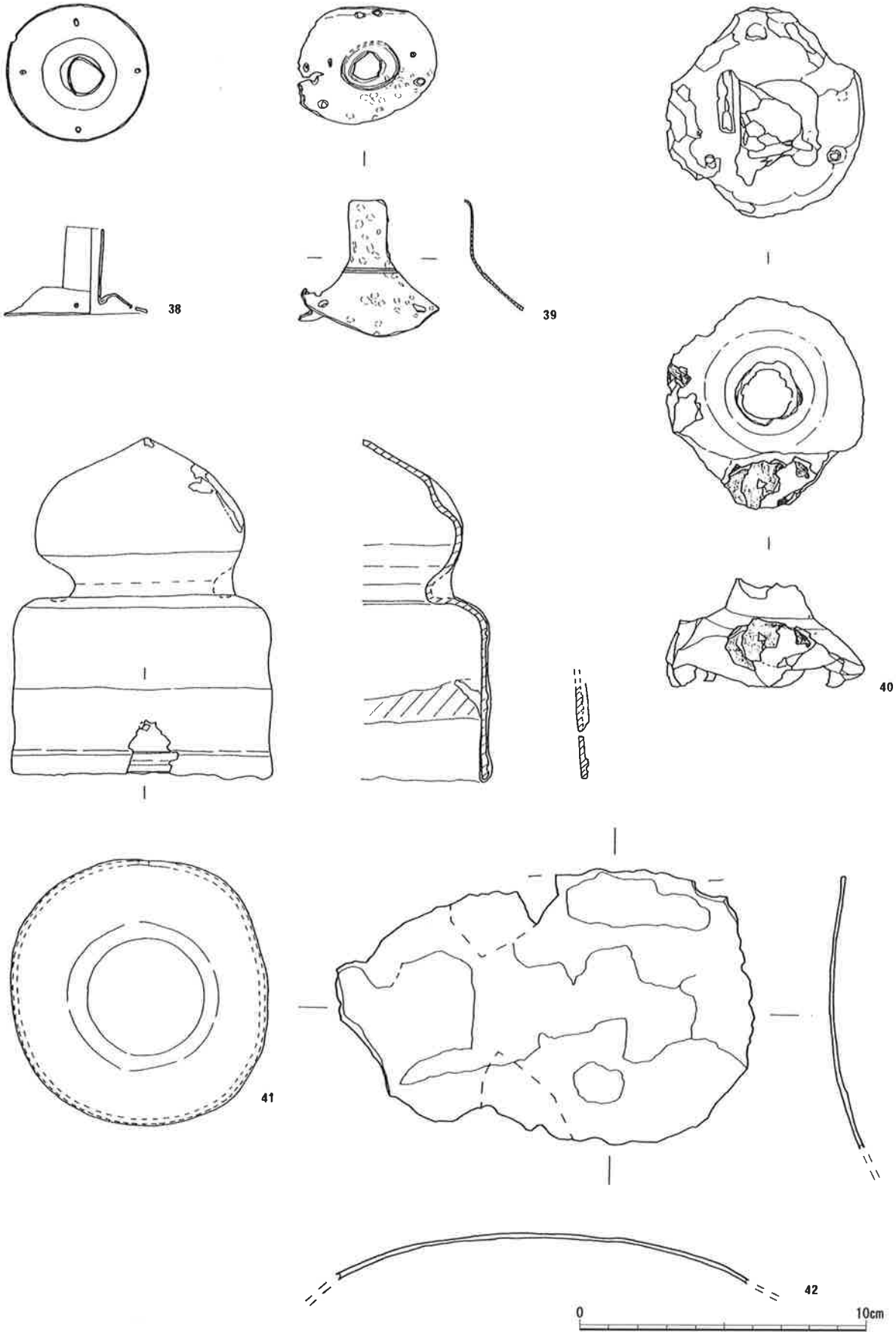

第45図　出土遺物青銅製品①（1/2）



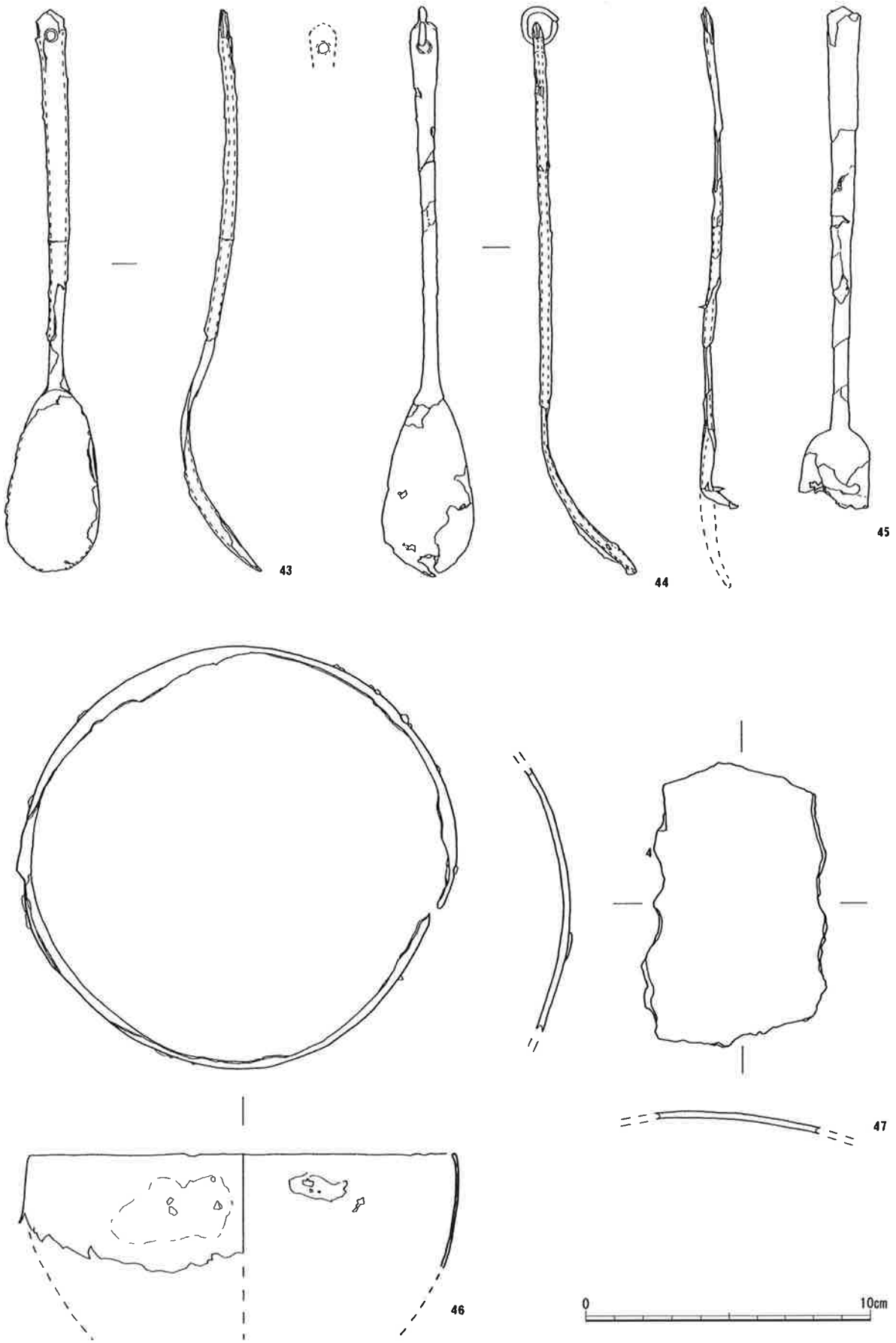

第46図　出土遺物青銅製品②（1/2）




第47図　出土遺物青銅製品③（1/2）

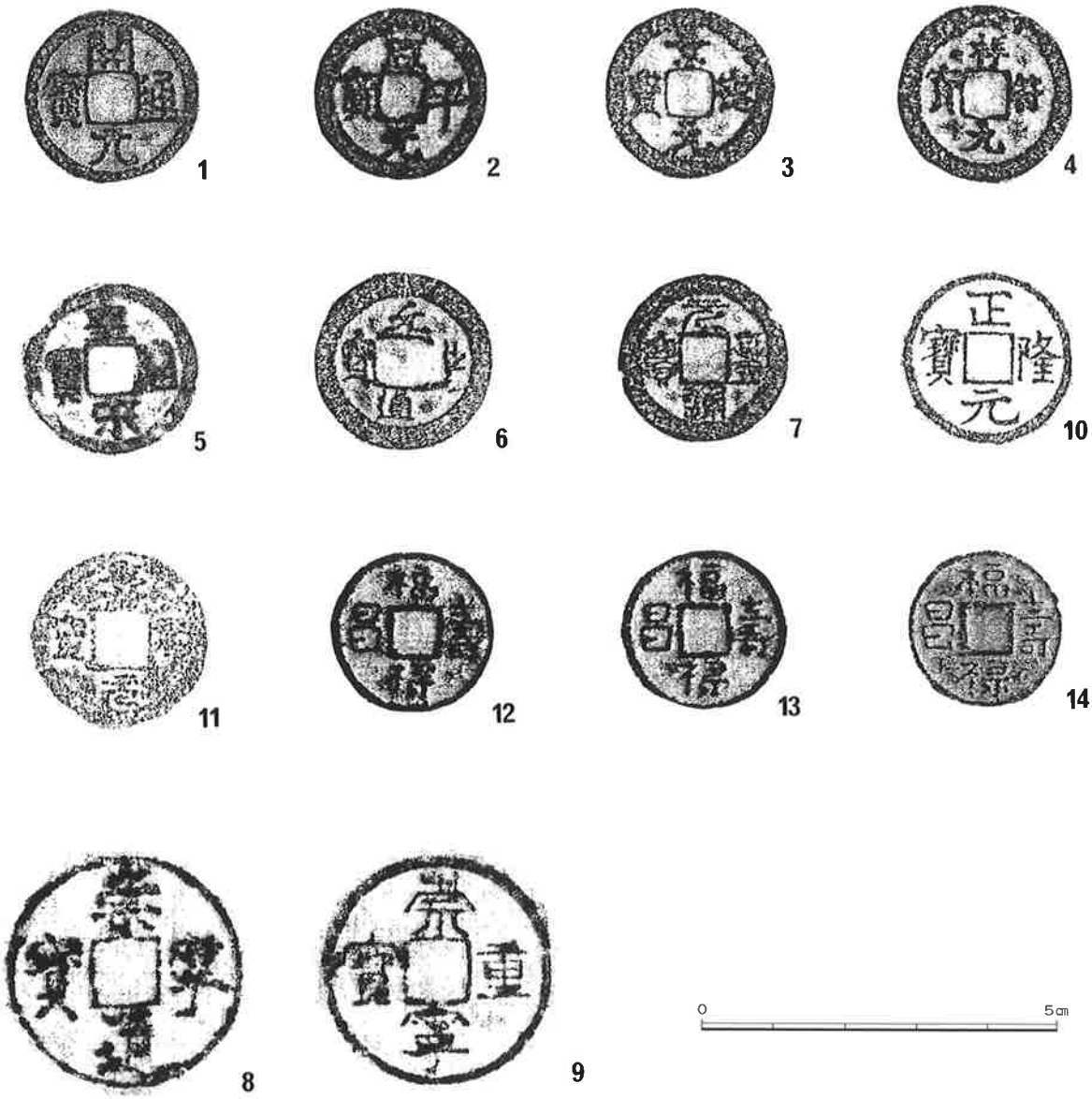



第48図　出土遺物青銅製品④（1/2）




第49図　出土遺物青銅製品⑤（1/2）

能性が高い。その他には、直径５cmほどの円盤状製品（**第47図32**）がある。厚さ１mmほどで、中央部分に直径８mmほどの穴が開いており、周縁の一部が折れ曲がっている。穴の周縁に打ち出し加工によると考えられる蓮華文とその花弁部に１mmほどの珠文が施される。蓮華文の外周に円圏を二重に巡り、この間に雲文とも見える円文が打ち出されている。また、高さ12cm、下端部直径9.3cm、宝珠部直径7.5cm、厚さ２mmを測る内部空洞の疑宝珠状製品（**第48図41**）がある。外面下端部には二段の輪条突帯が観察され、同様な輪状突帯は宝珠を支える基部の中央と上端部にも施されていた様相が観察される。しかし、表面腐蝕と砂粒付着のため、明確ではない。基部に２mmほどの小孔が穿たれており、ここを釘留めして固定したものと考えられる。船に設えた欄干などの飾りであろう。




**第50図　出土遺物銅銭（1/1）**

銅銭

銅銭には大銭の崇寧通寶（北宋1102年）および崇寧重寶（北宋1103年）と平銭の開元通寶（唐銭）、咸平元寶（北宋998年）景徳元寶（北宋1004年）、祥符元寶（北宋1008年）、皇宋通寶（北宋1038年）、元豊通寶（北宋1078年）、正隆元寶（金1157年）などと厭勝銭の福禄壽昌がある。大銭の崇寧通寶**（第50図８）**および崇寧重寶**（第50図９）**は当十銭であり、宋銭の当十銭では崇寧重寶の検出例がもっとも多いという。開元通寶**（第50図１）**は唐代の銭貨であり、宋代以降にも多く用いられたことが知られている。咸平元寶**（第50図２）**、景徳元寶**（第50図３）**、祥符元寶**（第50図４）**、元豊通寶**（第50図６・７）**は総べて北宋代に鋳造された銭貨であり、南宋でも広く用いられた。出土した銅銭のなかで１点であるが金の正隆元寶**（第50図10）**がある。

厭勝銭の福禄壽昌**（第50図12～14）**は実用銭ではなく、中国において、縁起物や護符とする銭である。日本ではこれまでに鷹島海底遺跡のみから出土している。

この他、直径５㎝、高さ４㎝前後のロートを伏せたような形状の青銅製品**（第48図38・39）**がある。素材銅板の厚さは１㎜程度で、径１㎝ほどの筒状部の下にラッパ状の裾部分が広がる。ラッパ状の裾部分に二つを１単位、あるいは単独の小孔が三方あるいは四方に施されており、この小孔によって別の素材に作り着けられていたものと考えられる。筒状部分が空洞となっていることからすれば、兜の頂部に着けられた飾りの留金具とも考えられる。

**表１　出土銅銭一覧表**　（単位㎜）

| 挿図番号 | 遺物番号 | 銅銭名 | 初鋳年 | 銭径(A)／銭径(B)（左右） | （上下） | 内径(C)／内径(D)（左右） | （上下） | 銭厚 | 量目（g） | 出土地区 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 第50図１ | 1088-c | 開元通寶 | 621 | 24.7 | 24.7 | 21.0 | 20.6 | 1.3 | 3.39 | ８－A | 唐 |
| 第50図２ | 1255 | 咸平元寶 | 998 | 24.5 | 24.5 | 19.3 | 19.0 | 1.1 | 2.81 | ８－A | 北宋 |
| 第50図３ | 1088-b | 景徳元寶 | 1004 | 24.5 | 24.5 | 18.9 | 18.9 | 1.2 | 3.59 | ８－A | 北宋 |
| 第50図４ | 1088-d | 祥符元寶 | 1009 | 25.5 | 25.5 | 19.3 | 19.5 | 1.3 | 3.62 | ８－A | 北宋 |
| 第50図５ | ＲＭ６ | 皇宋通寶 | 1038 | 24.3 | 24.3 | 19.6 | 19.6 | 1.5 | 3.58 | ８－A | 北宋 |
| 第50図６ | 1642 | 元豊通寶 | 1078 | 25.5 | 25.6 | 18.1 | 19.0 | 1.1 | 2.58 | ７－B | 北宋 |
| 第50図７ | 1088-a | 元豊通寶 | 1078 | 24.5 | 24.5 | 18.5 | 18.9 | 1.2 | 3.68 | ８－A | 北宋 |
| 第50図８ | ＲＭ９ | 崇寧通寶 | 1102 | 33.3 | 33.0 | 30.7 | 31.0 | 2.5 | 10.22 | ８－A | 北宋 |
| 第50図９ | 1823 | 崇寧重寶 | 1103 | 33.0 | 33.2 | 29.8 | 30.5 | 2.5 | 8.83 | ８－A | 北宋 |
| 第50図10 | ＲＭ８ | 正隆元寶 | 1157 | 24.3 | 24.1 | 21.8 | 21.8 | 1.1 | 2.06 | ７－A | 金 |
| 第50図11 | ＲＭ７ | □□元寶 | 1241？ | 25.0 | 25.0 | 20.4 | 20.4 | 1.2 | 3.19 | ８－A | 淳祐？ |
| 第50図12 | 1148-a | 福禄壽昌 | | 23.9 | 23.8 | 21.1 | 20.5 | 1.4 | 3.19 | ８－A | |
| 第50図13 | 1148-b | 福禄壽昌 | | 23.8 | 23.5 | 21.1 | 20.5 | 1.2 | 3.24 | ８－A | |
| 第50図14 | 176-a | 福禄壽昌 | | 23.4 | 23.4 | 21.0 | 20.4 | 1.2 | 3.32 | ３－A | |

鉄製品

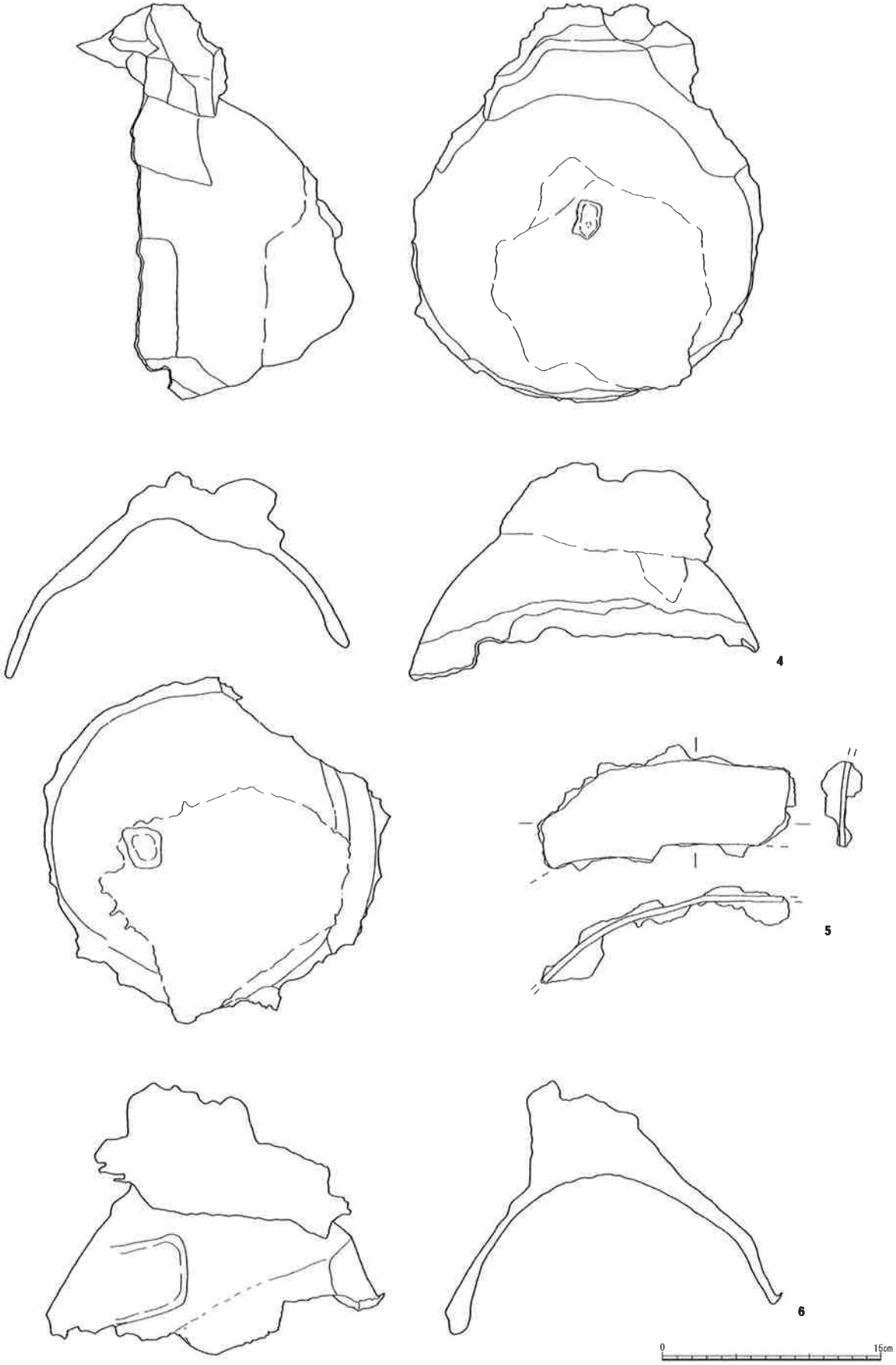
鉄製品には刀剣や矢束、冑などの武器・武具類と、鎖や釘などの工具類がある。刀剣は鞘や柄に装着された状態、冑は皮革や繊維製品と組み合わせて実用に耐える状態、矢束は矢柄に装着され胡録などの収納具に納められた状態、鎖や釘はそれぞれの用途に応じて実際に使用された状態で海底に没したものと考えられる。しかしながら、調査によって海底で検出された時点では、海水による鉄の腐蝕が進行したことに加えて、鉄錆と海底の砂泥が溶着し、本来の形状を保持しているものはほとんどない状況であった。また、調査による引揚げ後、保存処理方法の検討のために、鉄成分の残存状況を確認することを目的として磁石を用いた磁性の有無の確認を行なったが、ほとんどの資料では磁性反応が全くなかった。加えて、X線写真の撮影を試みた結果でも、ほとんど鉄成分は残存していない。このため、本来の形状を復元できたのは、刀剣類が装着されていた鞘や柄の木質が残っている例や、これに施された漆の残存状況が確認される例がある場合が多かった。また、冑の場合には、周辺に付着した砂泥が鉄錆と反応して硬化した状態で検出されており、この硬化状況から本来の形状を窺い知ることとなった。したがって、ここで実測図を掲載した鉄製品については、良好に残存した鉄製品本体を実測したのではなく、これに付属していた他の素材や腐蝕の過程で付着して砂泥の存在によって、鉄製品と判断される形状について、復元的に実測した例が多いことを予め断っておきたい。

武器・武具の中で、刀剣類には直刀、太刀、その他がある。直刀は全形を窺い知ることができる3例があり、現況で86cm、83cm、85cmを測る。前二者は柄尻を素環頭に作り、残りの一例は柄部分を茎に作る。これらの直刀に鞘と柄を装着すれば、90cm前後の拵えになると推測される。現存長さ86cmの素環頭直刀**（第54図８）**は素環頭部分が径６cm前後、茎部分の長さ18cm、幅３cm、厚さ１cm前後、刀身部分の長さ62cm、幅５cm、峰幅８mm前後と推測されるが、錆膨れが激しく、判然としない。柄部分の形状はあまり観察できないが、ここに着装のための部材が作り付けられていた形跡が残る。もう一本の現存長83cmの素環頭直刀**（第55図10）**は環頭部分の環が観察され、やや横長となる。幅７cm、長さ６cmほどで、茎部分は長さ15cm前後、幅３cmほどである。刀身部分は幅５cm、長さ63cmほどであり、鋒部が方形に残ることからすれば、鞘尻が残存しているのかもしれない。全体に錆で被われており、細部については不詳である。柄部分を茎に作る現存長85cmの直刀**（第56図15）**は、茎部分の長さ13cm、幅３cmほどで、茎尻が確認できる。刀身部分は長さ70cm、身幅５cmほどで、鋒部の反りが観察される。ただし、峰幅などについては良くわからない。

全形が確認できる太刀は１振**（第53図７）**あり、全長95cmほどを測る、柄の長さ約15cm、幅４cmほどで、目釘らしい２個所の釘痕が観察される。刀身は柄に近い部分は比較的直線的で、鋒に近づくほど次第に反りを増す。鋒部は方形となることからすれば、やはり鋒を被う形で鞘尻が残っているものと考えられる。刀身部分の幅は柄部近くで５cm、鞘尻部分で４cmを測る。柄部分の錆膨れが大きいことからすれば、ここに着装のための部材があったことも考えられる。この他の刀剣類と考えられる資料については、錆膨れが激しく、細かい観察が難しい。

その他としたものは、漆塗の木質部分やこれに装着された金具の一部が観察される製品である。直

第51図　出土遺物鉄製品①（1/4）

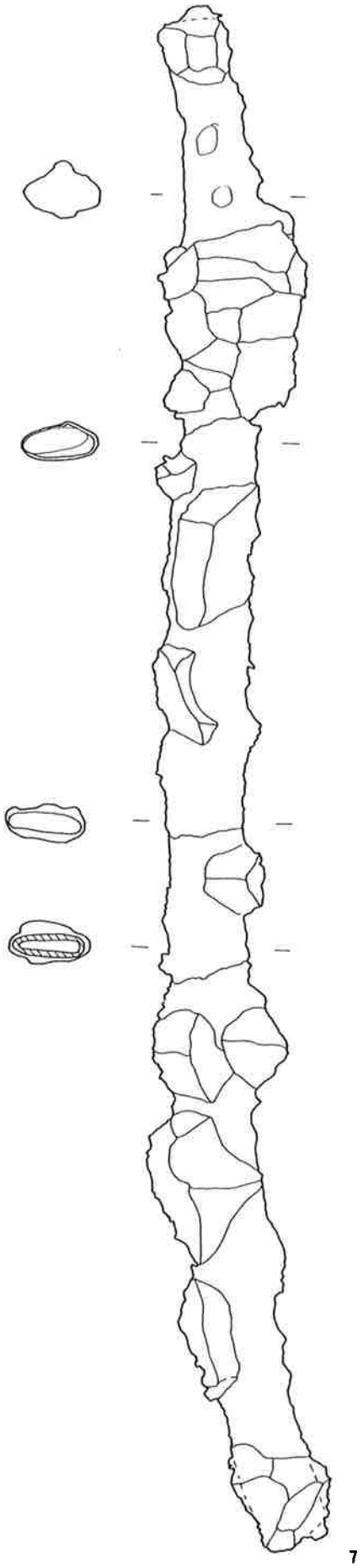



第52図　出土遺物鉄製品②（1/4）

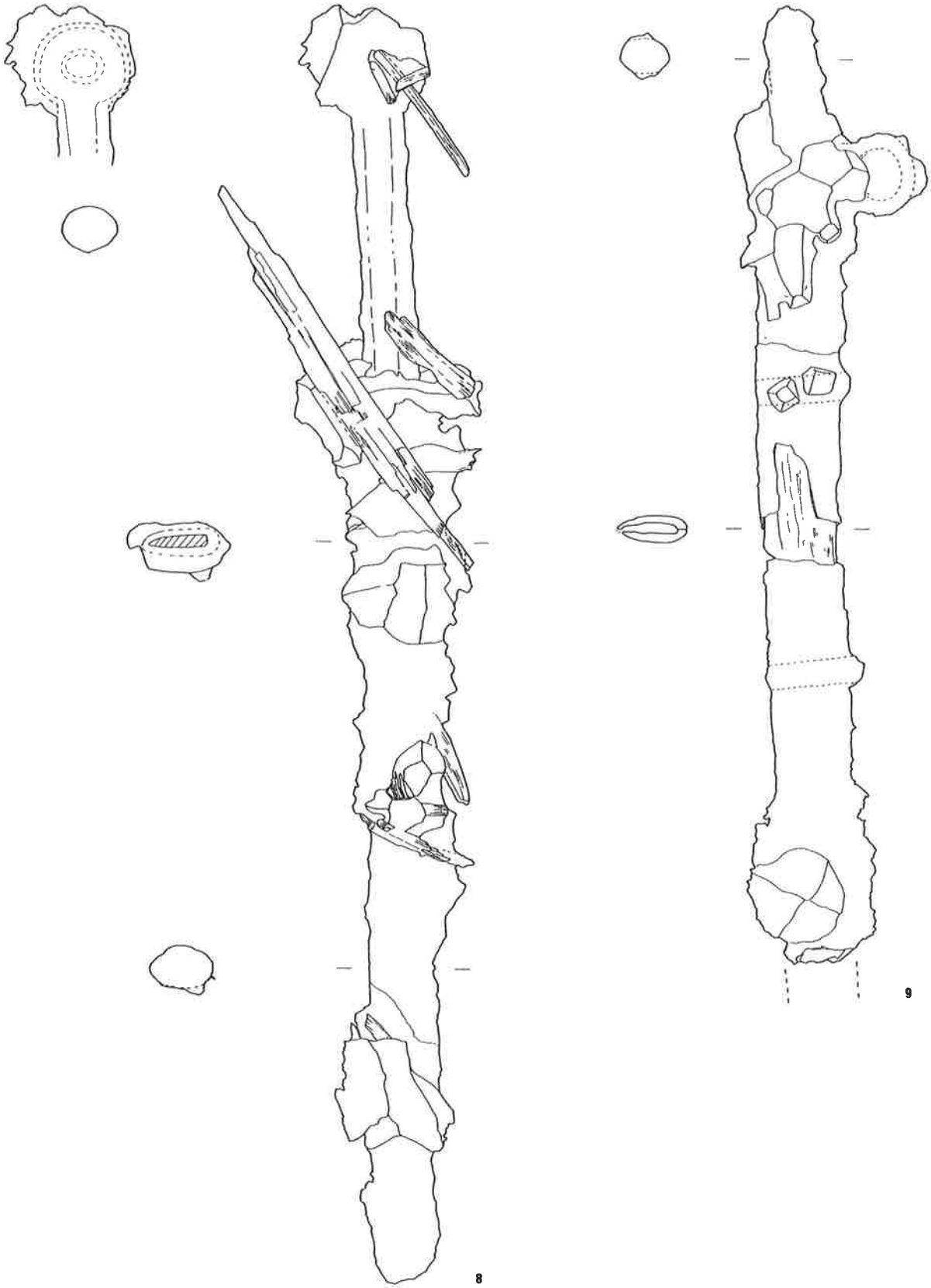
刀や太刀ではなく、あるいは細長いサーベルのような武器の鞘および鞘金具とも考えられるが、残存状況からは良くわからない。１点（**第63図６**）は現存長27cmほどで、幅3.7cmから2.0cmへと次第に幅を減じる。もっとも細くなった部分に幅３cmの錫または銅製の金具が被っており、太くなった部分の途中にも幅８mmほどの金具が見られる。また、長軸方向に沿って、幅５mmほどの金属板が施される状況も観察される。木質の表面には部分的に黒漆が残る。木質部断面に空洞は見られないことからすれば、鞘ではない他の用途も考えられる。他の１点（**第56図18**）も木質部の一部に黒漆が残り、これに金具の痕跡が観察できる資料である。現存長33cmほどで細長く、幅は５cmから３cmへと次第に細くなる。幅広い端部から５cmほどの位置に幅１cmほどの金具が巻かれ、ここから長軸に沿って幅１cmほどの金属板が施される。鞘状にも見えるが、やはり他の用途に用いられたものかもしれない。もう１点（**第55図11**）は現存長37cmの内部に鉄身をもつ鞘状の資料であるが、内部の鉄身の断面が長方形状を呈しており、刃部は観察できない。幅は５cmから３cmへと次第に細くなる点では前者に類似する。また、中ほどに金具が巡り、ここから長軸に沿って金属板が取り着けられていることも類似する。しかし、用途についてはやはり不詳である。

### 冑

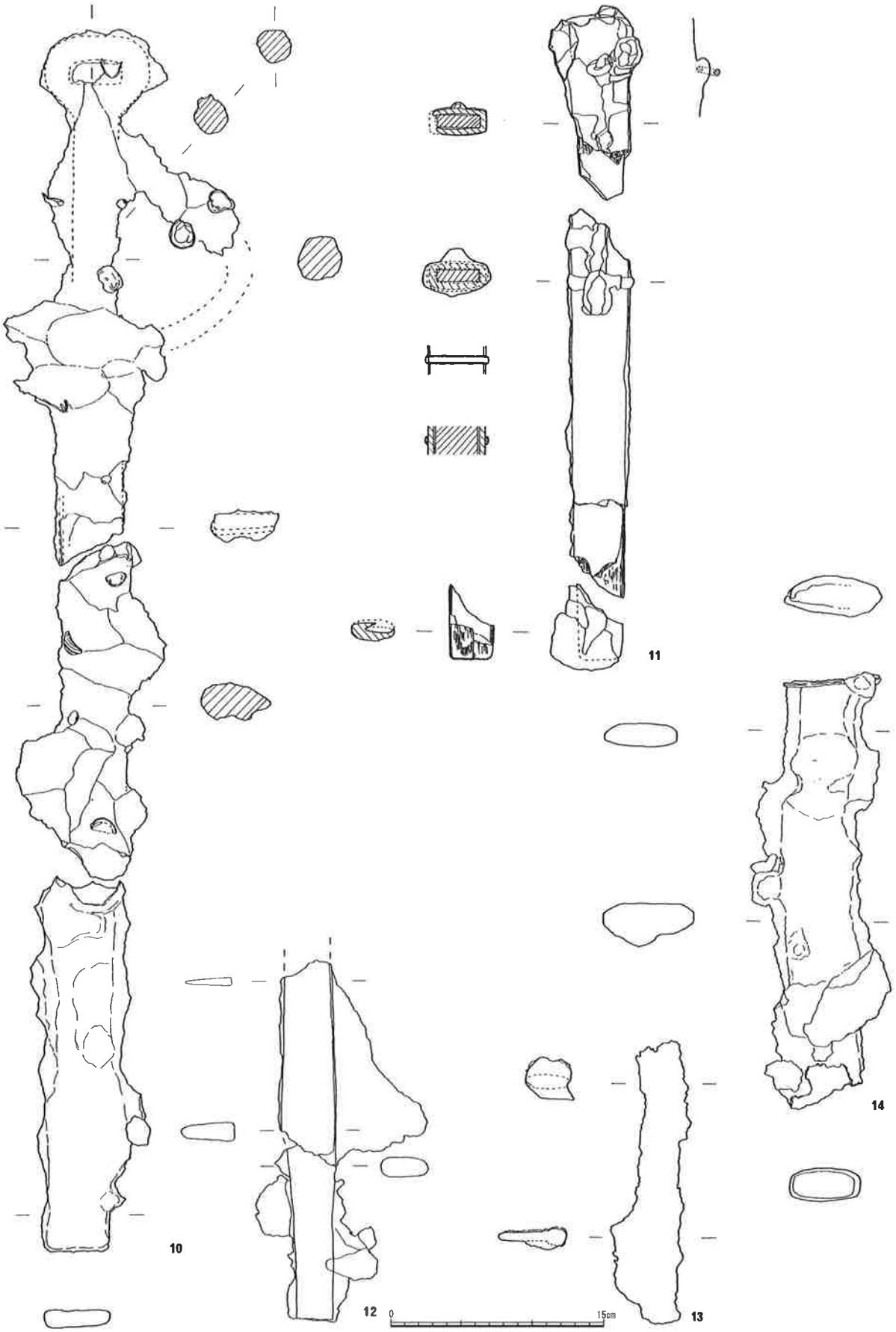
冑は５例とその他の破片および部材について図化した。冑は現況で半球状を呈し、直径23～23cm、高さ12～15cmを測り、その頂部に突起部がある。突起部は高さ4.5cmほどで、錆膨れしたものが多い。冑の内部は当然のことながら空洞となる。冑の周縁部分を見ると、下端部を浅く台形状に切り上げたように見える部分を持つ例（**第51図１・第52図４・５**）があり、ここが冑の前面である可能性が考えられる。その場合、この中の１例（**第52図４**）では後頭部に当たる位置に幅12cm、長さ５cmほどの張り出し部分が認められる。しかし、このような張り出し部



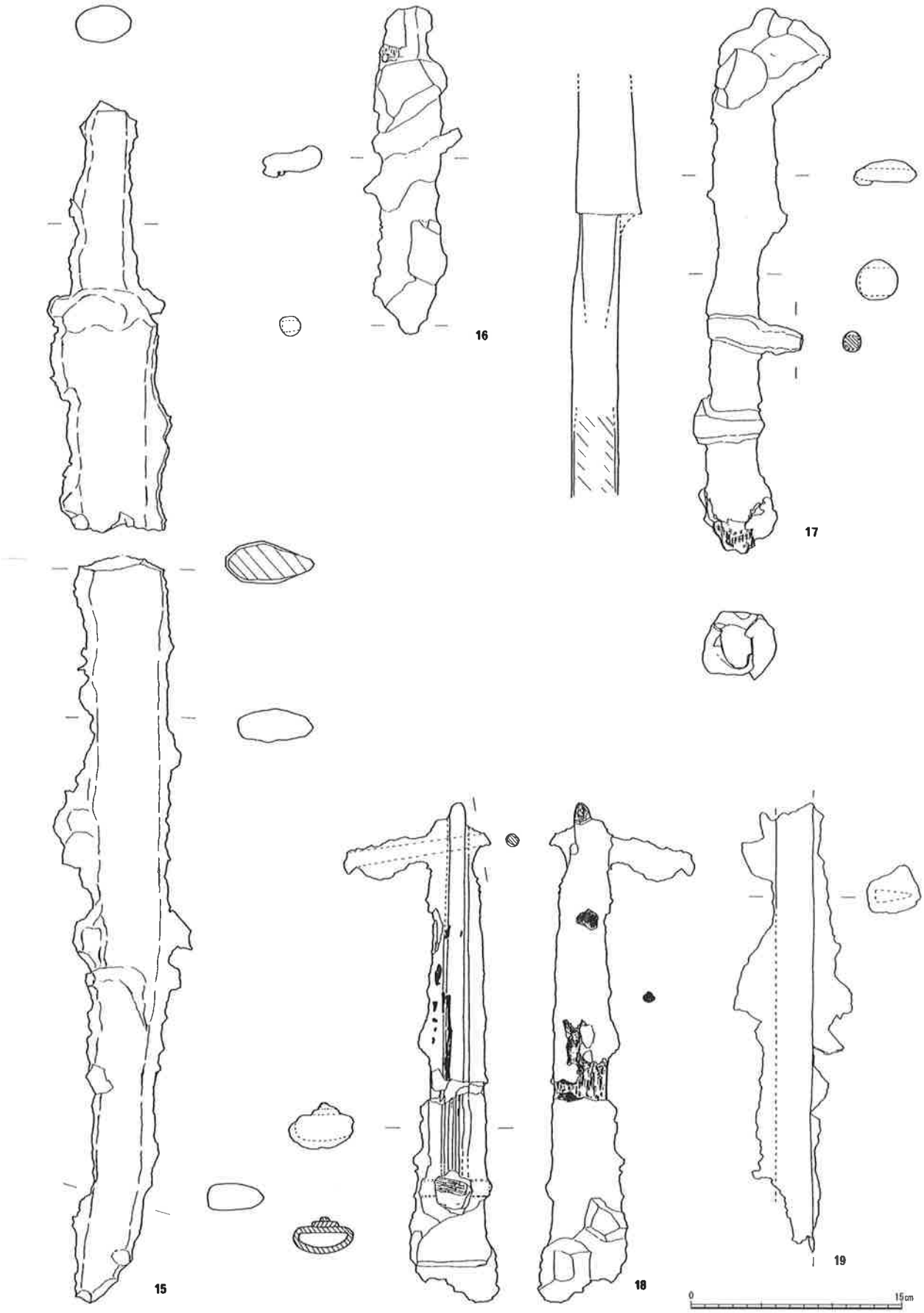

**第53図　出土遺物鉄製品③（1/4）**



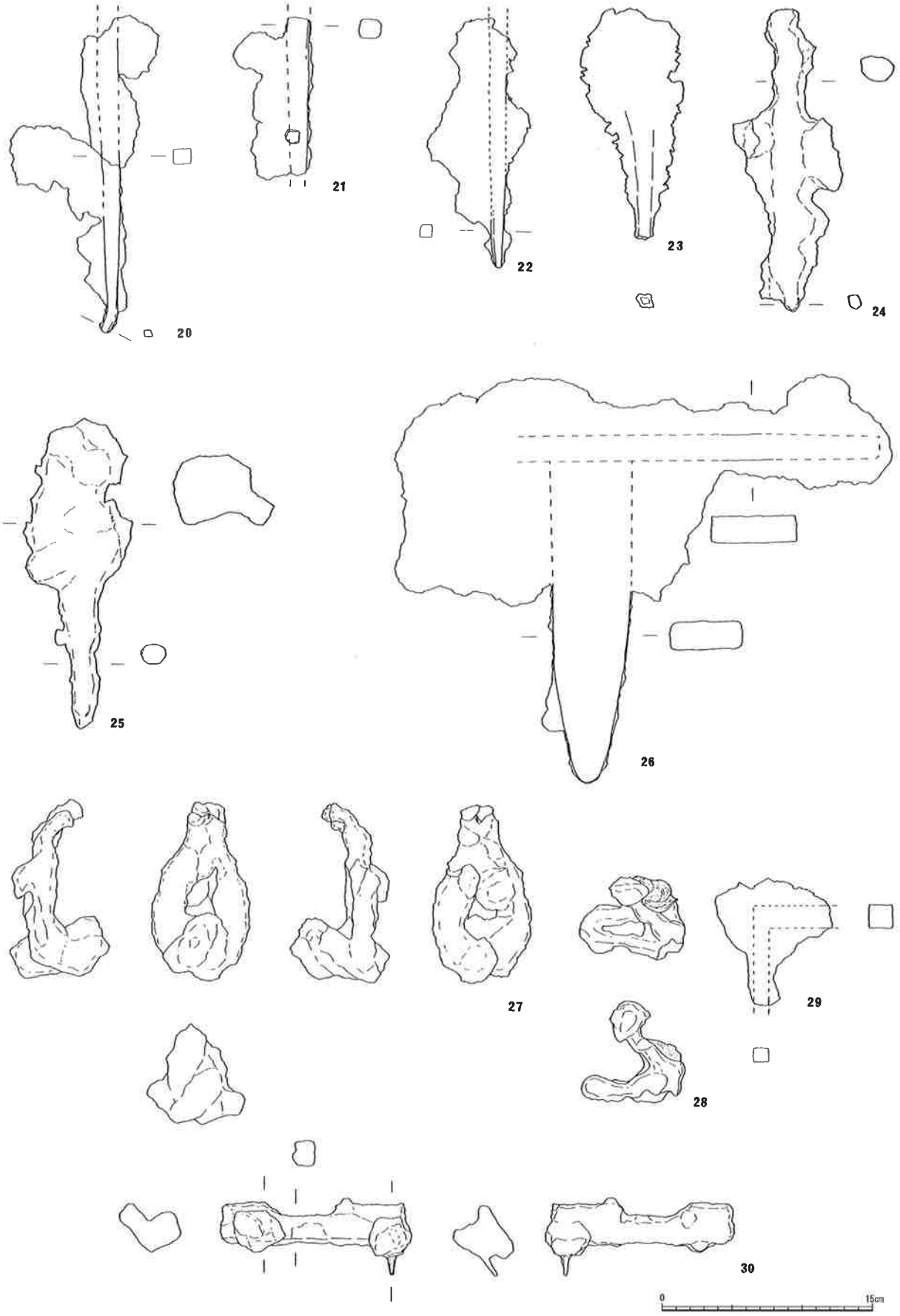

第54図　出土遺物鉄製品④（1/4）



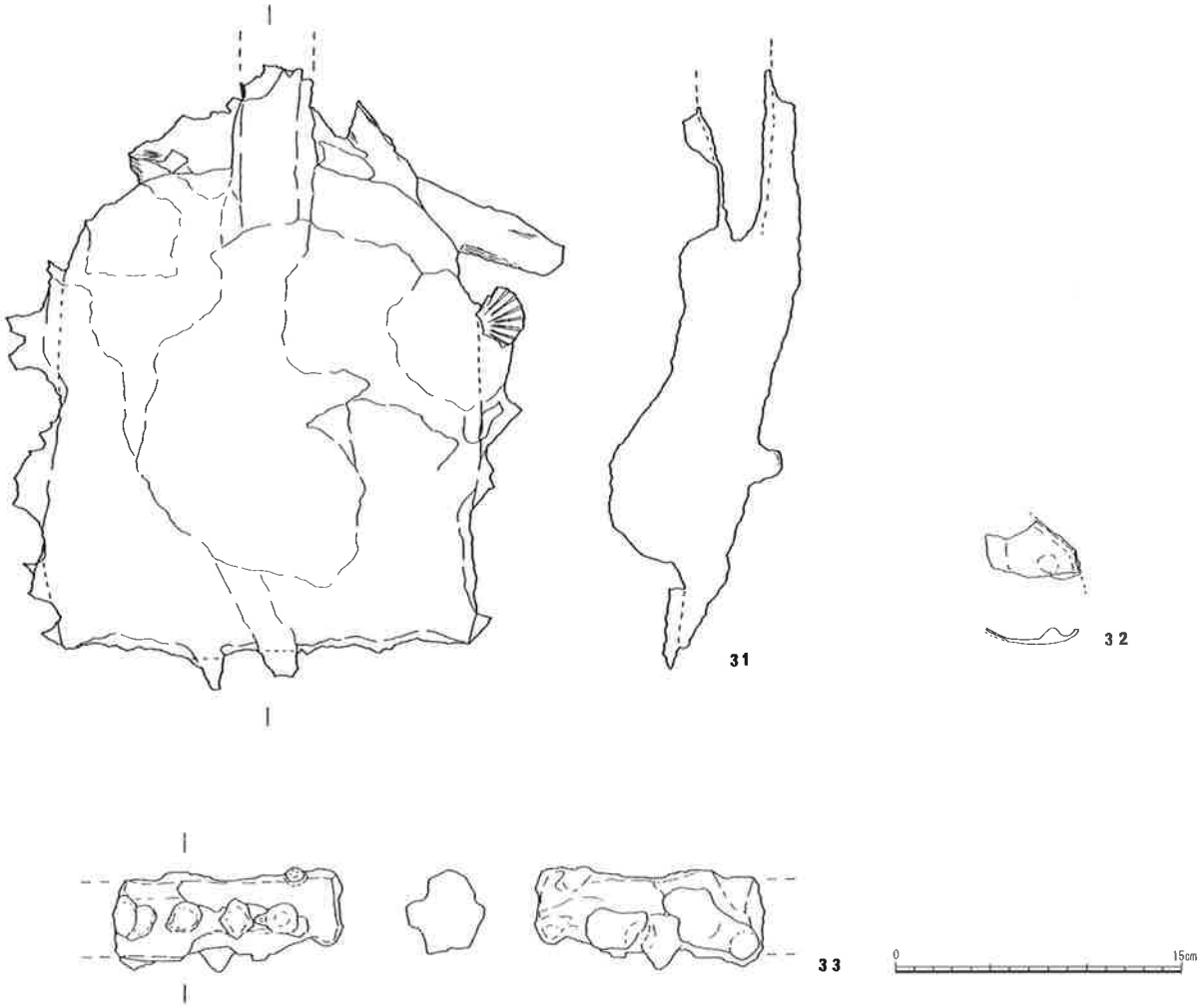

第55図　出土遺物鉄製品⑤（1/4）




第56図　出土遺物鉄製品⑥（1/4）



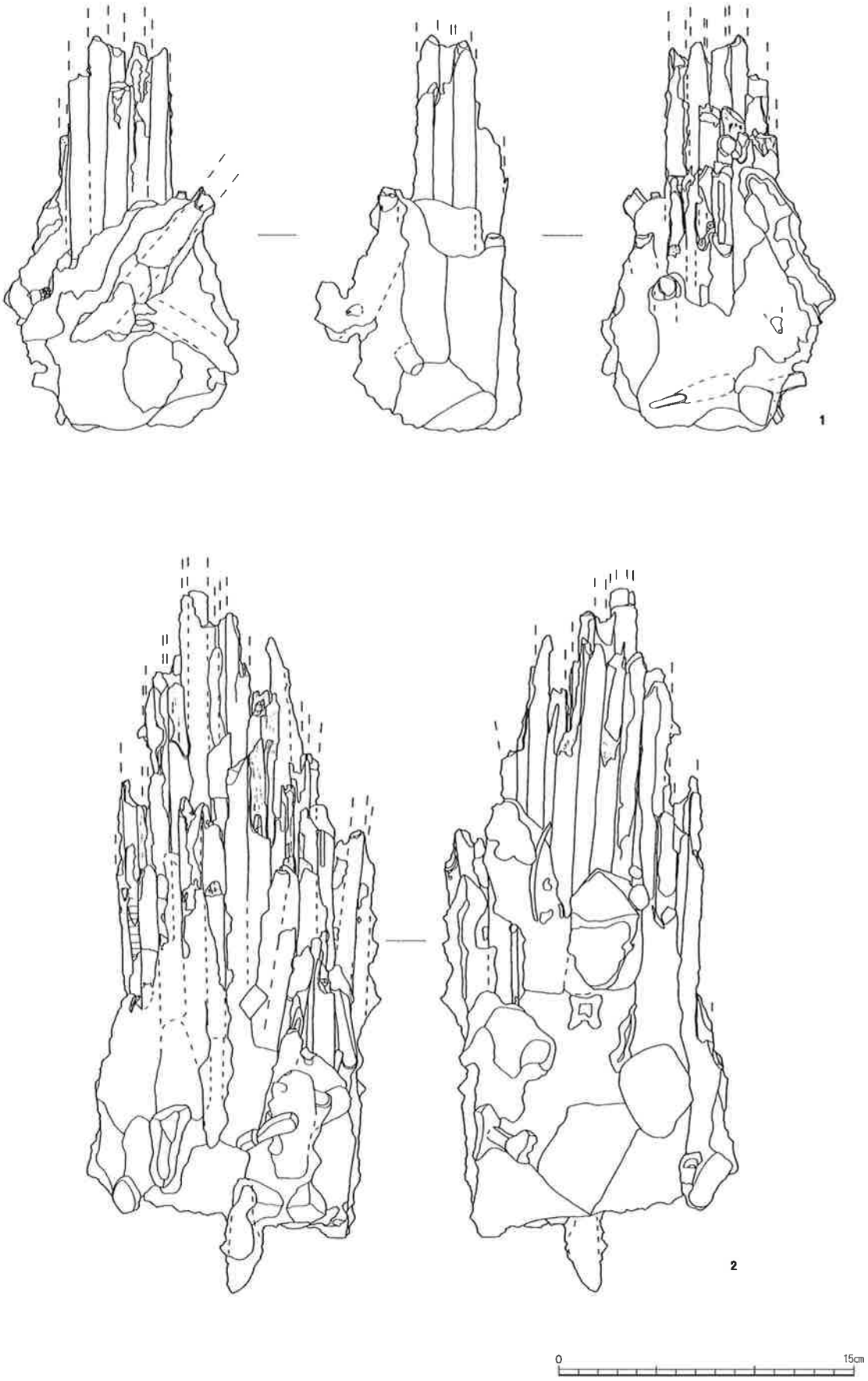

第57図　出土遺物鉄製品⑦（1/4）



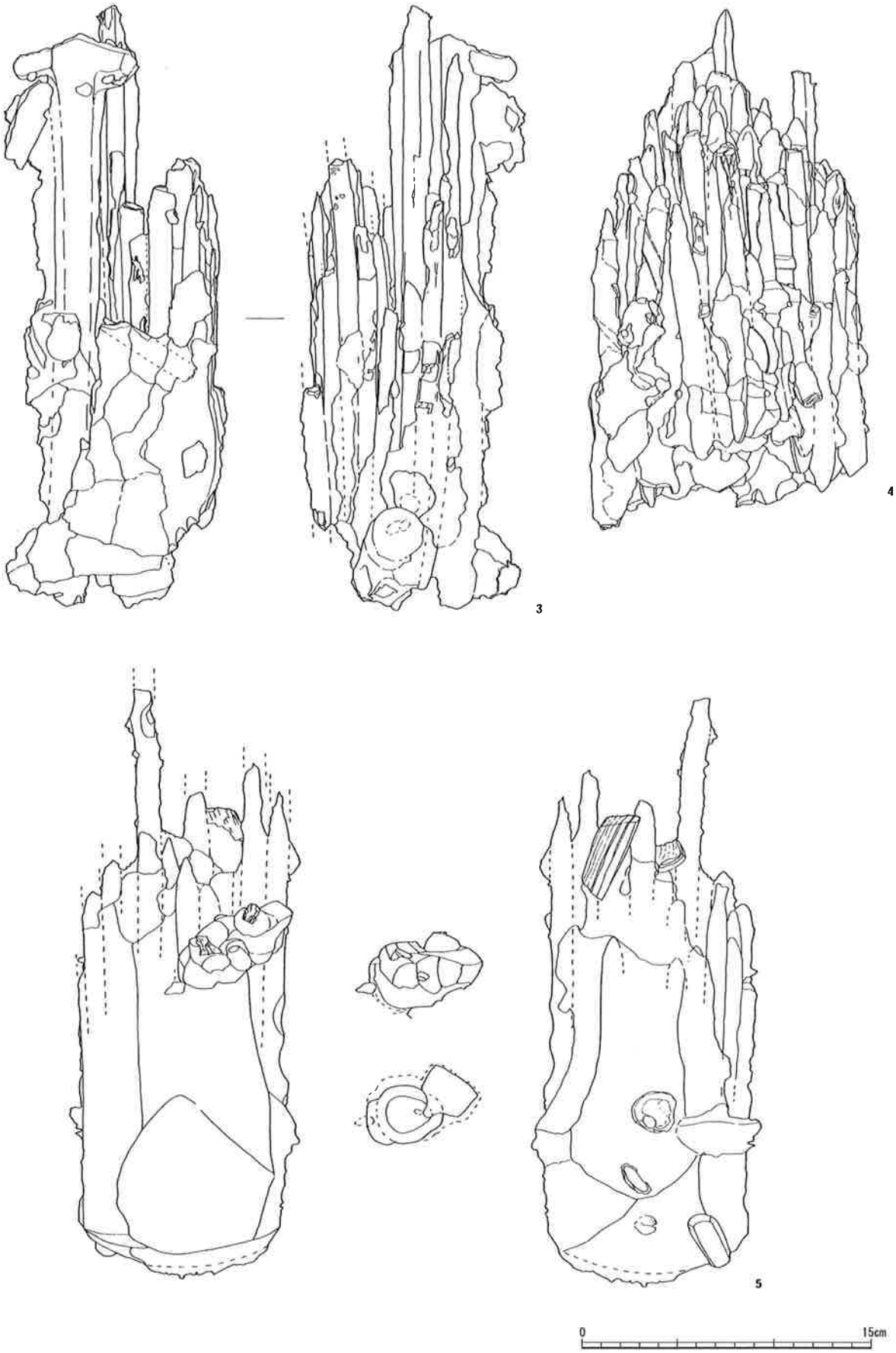

**第58図　出土遺物鉄製品⑧（1/4）**

分は、他の冑には認められない。また、実測したそれぞれの冑について、原況で観察される冑周縁部分を目安に据えてみると、冑頂部の突起部分が冑の円球中心部からずれるものがある。したがって、錆膨れした現況を前提として、冑の構造を推測することにはかなり無理が認められる。なお、後頭部に張り出しが見られた１例（**第52図４**）については、九州国立博物館においてＸ線ＣＴスキャン装置による解析を行なった。この結果、後頭部の張り出しについてはしっかりとした構造であることが確認された。また、頂部の突起についても逆ロート状の部材を接合したものであることが確認されている。実測図を掲載したもう一つの破片（**第48図40**）は、逆ロート状の鉄製品であり、冑頂部の破片と考えられる。直径７cmほどの円盤状をなし、中央部分が突出するが、現況では折れて径２cmほどの穴が開いているのみである。現存高４cmほどを測る。内面にリベットの先端が残っており、これによって冑頂部に取り付けられていたと考えられる。しかし、内面を見ると、絞具の辻金具のような構造に見えないこともなく、その可能性もすてられない。今後のＸ線ＣＴスキャン装置による分析を含めた詳細調査が望まれる。

鎖や釘等の工具類も大量に出土している。しかし、錆膨れや砂泥の付着によって、全体の形状が判




第59図　出土遺物矢束①（1/3）

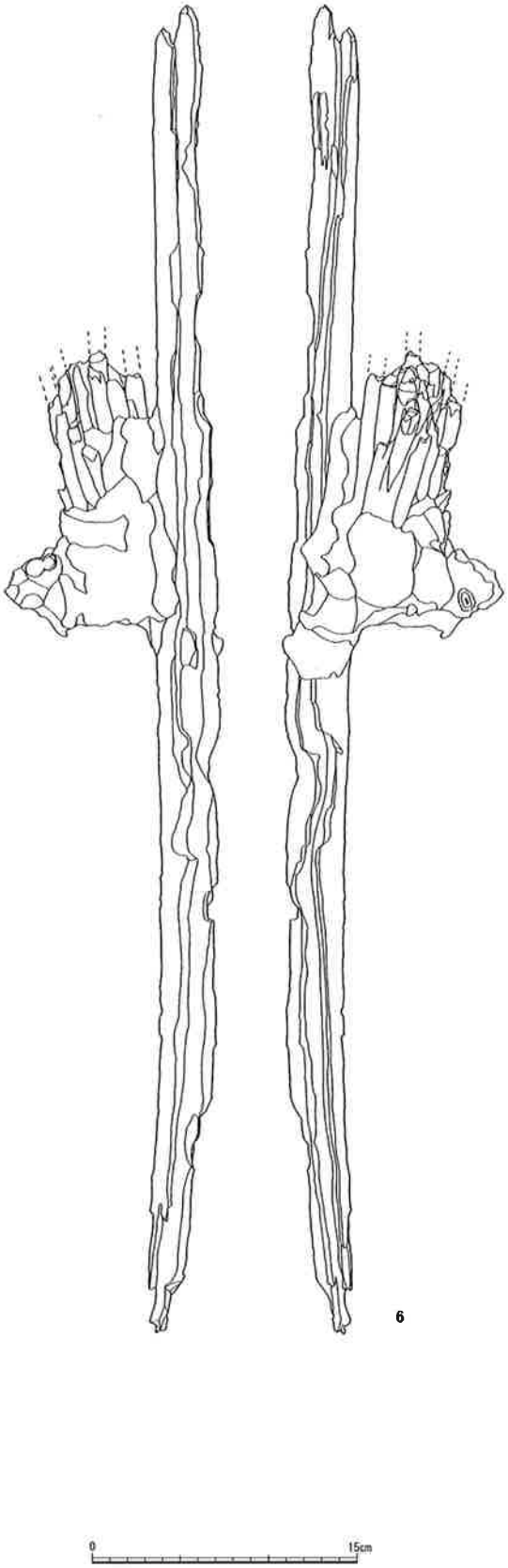



第60図　出土遺物矢束②（1/3）

別できる例や使用部位が確認できる例は少ない。ここでは形の判別がある程度可能な例を図化した。鎖と考えられる例は２点（**第57図27・28**）あり、ともに環状を呈する。環径はそれぞれ７cm、９cmほどであるが、かなり折れ曲がっている。兵庫鎖の一部かと考えられる。その他の工具では鉋（やりがんな）あるいは槍先と考えられる例（**第56図16**）がある。長さ23cm、幅４cmほどに復元される。他には幅６cm、厚さ２cm余りの平たい鉄板にほぼ同様の鉄板を直角に交差させて接合し、先端を尖らせた例（**第57図26**）がある。接合部の状況や本来の形状が不明であり、その用途についても良くわからない。方柱状鉄材を直角に折り曲げた例（**第57図29**）は方柱の一辺が太い部分で1.7cm、細い部分で1.0cmほどとなる。鎹かと思われる。鉄釘と思われる例（**第57図20・22・24・25・30**）は基本的に方柱状の釘であり、釘先部分に向けて次第に細くなる状況が観察されるが、途中で欠損しているものが多く、全体形を把握できない。ただし、２例（**第57図20・22**）については、先端部分の状況が良く観察できる。

矢束

矢束は数十本を束とする矢の鏃部分が溶着したものである。やはり大量に出土するが、錆膨れの上に、砂泥が多く付着し、保存処理前および保存処理後においても安定した位置に固定して実測することが難しいため、ここでは比較的保存状況の良い数例を図化した。大量の鏃が溶着し、矢束となって出土すること、また、中には矢束の外側を被う漆幕が認められる資料（**第60図４**）が見られることなどから、これらを携帯する容器に入れられていたことが確認できる。このような出土状況と『蒙古襲来絵詞』に見ら




**第61図　出土遺物矢束③（1/4）**

れる絵画を踏まえれば、これらの矢束は鏃部分を下にして収納する胡録に入れた状態で海底に沈み、鏃部分が錆びて溶着したものと推測される。矢束の外側に環状の金具らしきものが付着して観察される例（**第59図２・第61図６・第60図５**）があり、これらは人が胡録を着用する際の部材である可能性を持つ。矢の個体については、鉄鏃部分の長さが15cmほどであり、この中で矢柄に挿入する茎部は10cmに近いことが看取される。また、鏃頭は柳葉あるいは圭頭で、その最大幅は1.0～1.5cm程度と考えられる。茎が挿入された矢柄の部分には漆を塗った可能性が認められる例（**第59図２**）もある。なお、矢束の中には、矢だけではなく、「丁」字状の鉄製品が入っている例（**第60図３**）がある。これについては、胡録の中には矢だけでなく、弓や弩の調整を行なうための工具を入れていた可能性が考えられる。矢束について、九州国立博物館で実験的に行なったＸ線ＣＴスキャン装置による断層データ（**第60図４**）では、一塊の矢束の中に、60本ほどの矢柄に装着された茎や、平面三角形状を呈する鏃の先端部、幅の狭い菱形の先端部断面などの映像が確認される。これによって、この胡録には50～60本ほどの矢が収納されていたことが知れるが、その他の多くの矢束については、実測化あるいはＸ線ＣＴスキャン装置による解析を行なった例が少なく、今後の作業の進捗が望まれる。

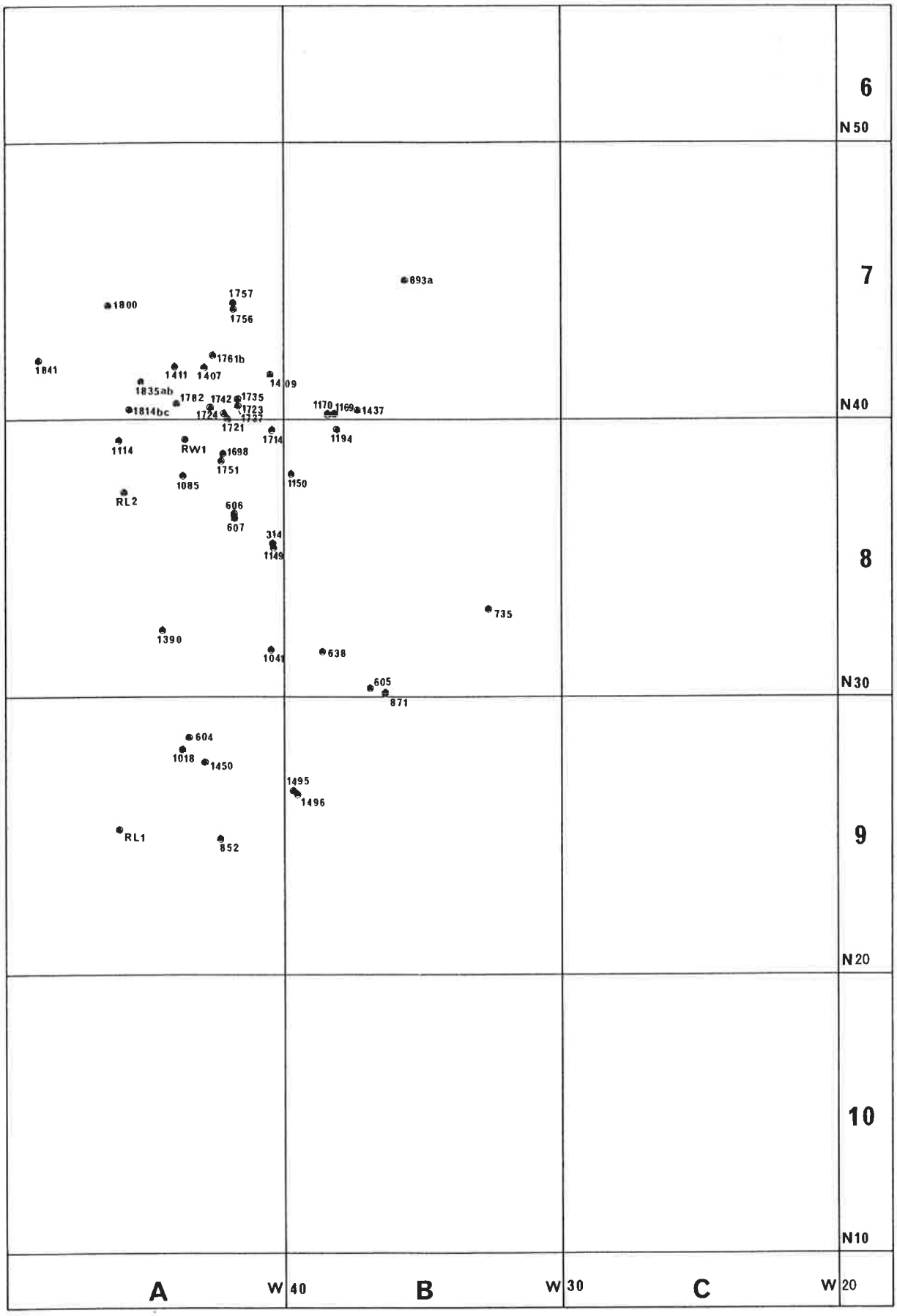
## ５．漆製品（第63図～第66図）

漆製品には多くの資料が検出されている。しかし、漆製品であったにもかかわらず、生地をなしていた木素材や鉄素材、皮革素材が船喰い虫による侵食や海水による腐蝕などによって失われ、破片化した漆膜となったものが大半を占める。海底調査時には一定のまとまりをもって確認され、本来の製品の形状が推測されたものもあったが、取り上げ後では砕片化した漆膜を接合することは極めて難しい。このため、本報告書ではこれらの資料を除き、現況で実測が可能な資料、およびすでに保存処理が終了して実測が可能となった資料について、実測図を作成した。

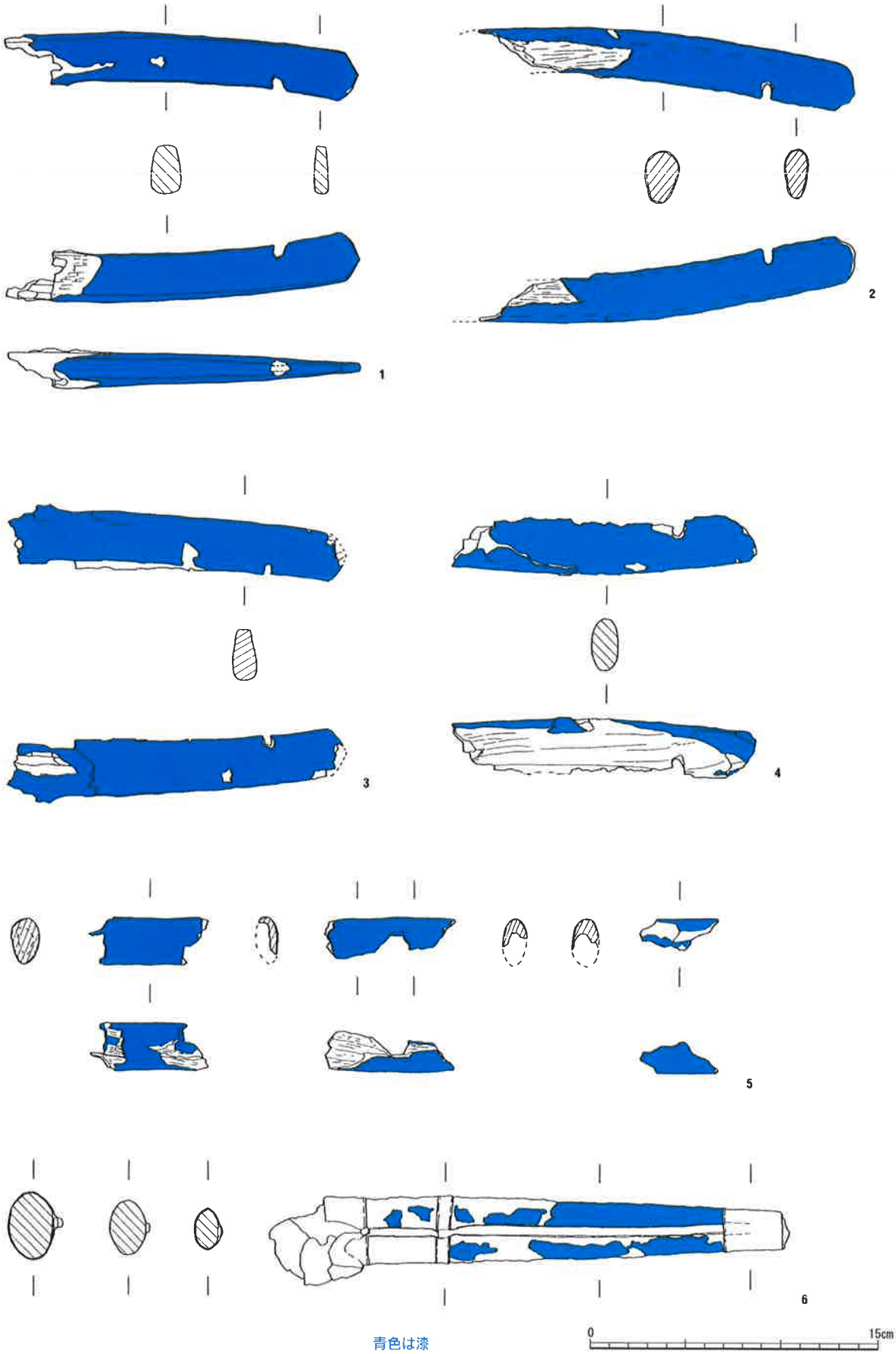
このような選択によって、実測できた漆製品には食器の漆椀、装身具の櫛、用途不詳の漆塗木板、武器の弩あるいは弓と考えられる木製品がある。

食器漆椀は３点を実測した。口縁部が残る１点（**第66図12**）は口径約19cm、器高７cm程度、高台外径７cm、高台高９mmを測る。ほぼ直立する高台に腰部から口縁部にかけてやや内湾気味に立ち上がり、口唇部を外反気味に作る。口縁部は一部が破損しており、ほぼ完存する底部との間は接合できない。しかし、出土状況によって同一個体であることが確認される。漆は下地に黒漆を塗り、口唇部と高台内を除いて朱漆を塗り重ねる。なお、高台内には朱書き文字があり、さらにその左右に線刻で書き加えた「張」と思う一文字が刻まれている。概報では「張」を除く朱書き文字とその後に書き加えた線刻の一文字について、花押とする。他の２点は底部のみの破片で、それぞれ高台外径６cm、８cmほどに復元される。前者（**第66図10**）は黒漆を塗った高台内に赤みの強い朱漆で「辛酉四明諸二郎造」、後者（**第66図11**）はやはり黒漆を塗った高台内に朱漆で「庚□・・南如・・」の銘が書かれている(註)。

装身具の櫛は３点を掲げた。１点（**第66図13**）は一部を欠くが、ほぼ完形に近い。最大幅10.4cm、高さ5.4cmの蒲鉾形を呈している。1.4cmほどの幅で台部がめぐり、厚みは８mmほどで、虫害の影響に

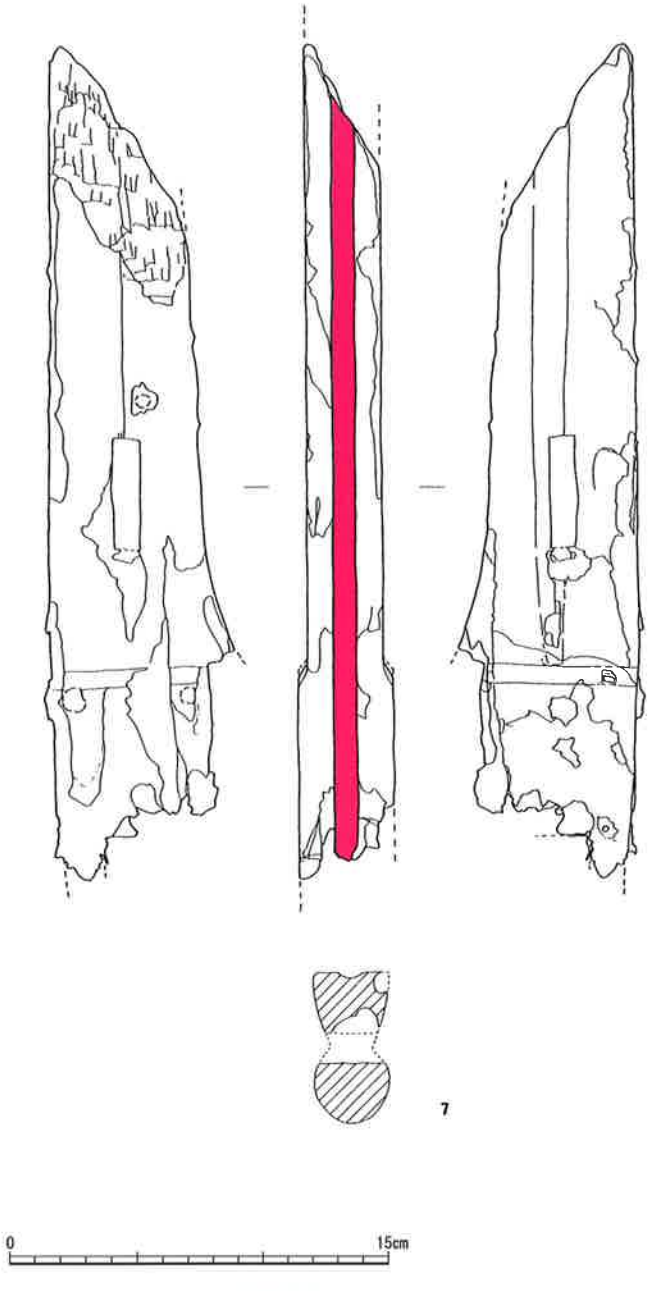



第62図　漆製品出土状況図（1/20）




第63図　出土遺物漆製品①（1/3）

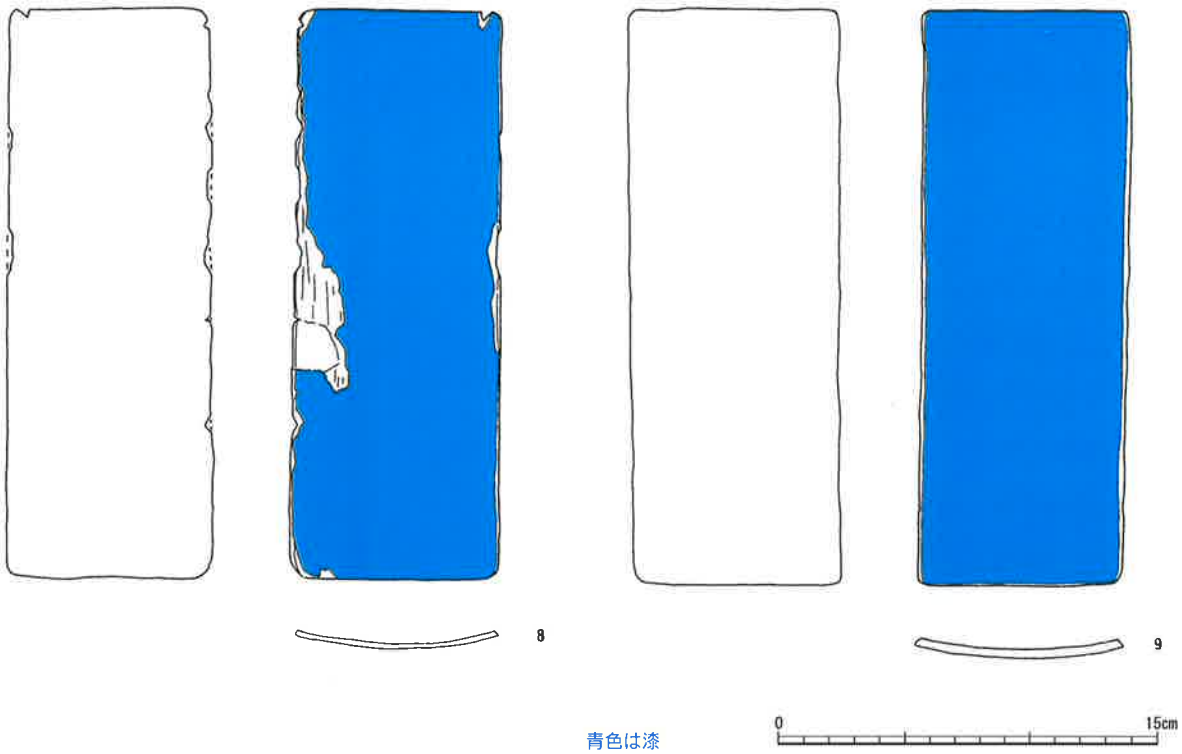
より保存処理時に収縮している。また、台部と櫛歯の間にめぐる沈線が留めとなり、櫛歯が表方向からと、裏方向から削り出されていることがわかる。１点（**第66図14**）は二つに折れている。腰高の蒲鉾形を呈し、最大幅10cm、高さ4.9cmを測る。蒲鉾形の周縁部に幅1.5cmほどの台部が巡り、ここから２mmおきに櫛歯が削り出される。台部の厚みは８mmほどで、背は丸みをもって仕上げられ、台部と櫛歯との間には沈線が巡る。台部から櫛歯にかけては逆二等辺三角形状に細まる。折れた１/３部分の櫛歯はすべて欠損する。漆は朱色であり、木地の樹種同定はツブラジイとされている。もう１点（**第66図15**）は大型品であるが、一部を欠く。現存幅11.4cm、高さ6.3cmであり、復元幅は13.5cmほどであると考えられる。やはり全体の形状は蒲鉾形をなすが、大型品であることから、周縁部に幅１cmほどのやや丸みをもつ台部を巡らすとともに、櫛歯の削り出し位置を歯先と平行に揃え、直線状に作る。したがって歯の長さはほぼ4.5cmに揃うことになる。台部の厚さは1.1cmほどで、丸い背の部分から歯先に向かって次第に厚みを減じる。櫛歯は先端部分が所々欠けるものの、台部近くはほぼ残存している。樹種同定によれば、木地は散孔材とされる。（この資料は当初、漆製品としていたが、その後の詳細な調査の結果、漆が塗られていないことが判明している。）




赤色は朱塗

**第64図　出土遺物漆製品②（1/3）**

用途不明の漆塗木板は２枚（**第65図８・９**）あり、ほぼ同じ大きさである。長方形を呈し短辺8.3cm、長辺22.8cm、厚さ４mmを測る。短辺をなす木口をみると、ともにやや湾曲しており、これは当初からの状態であったと考えられる。表面に黒漆が塗られており、他の部材と組み合わせるための釘穴

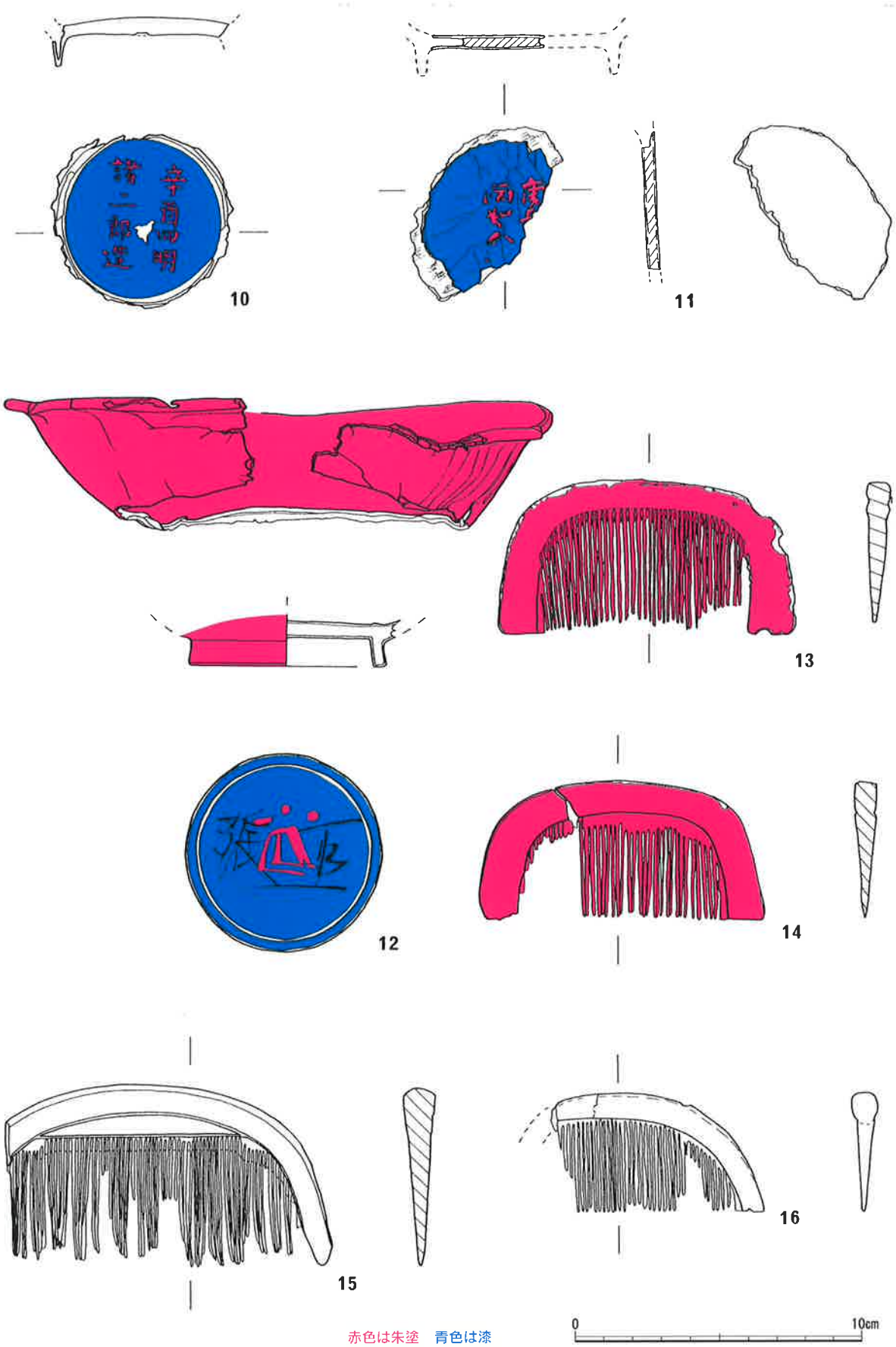



**第65図　出土遺物漆製品③（1/3）**

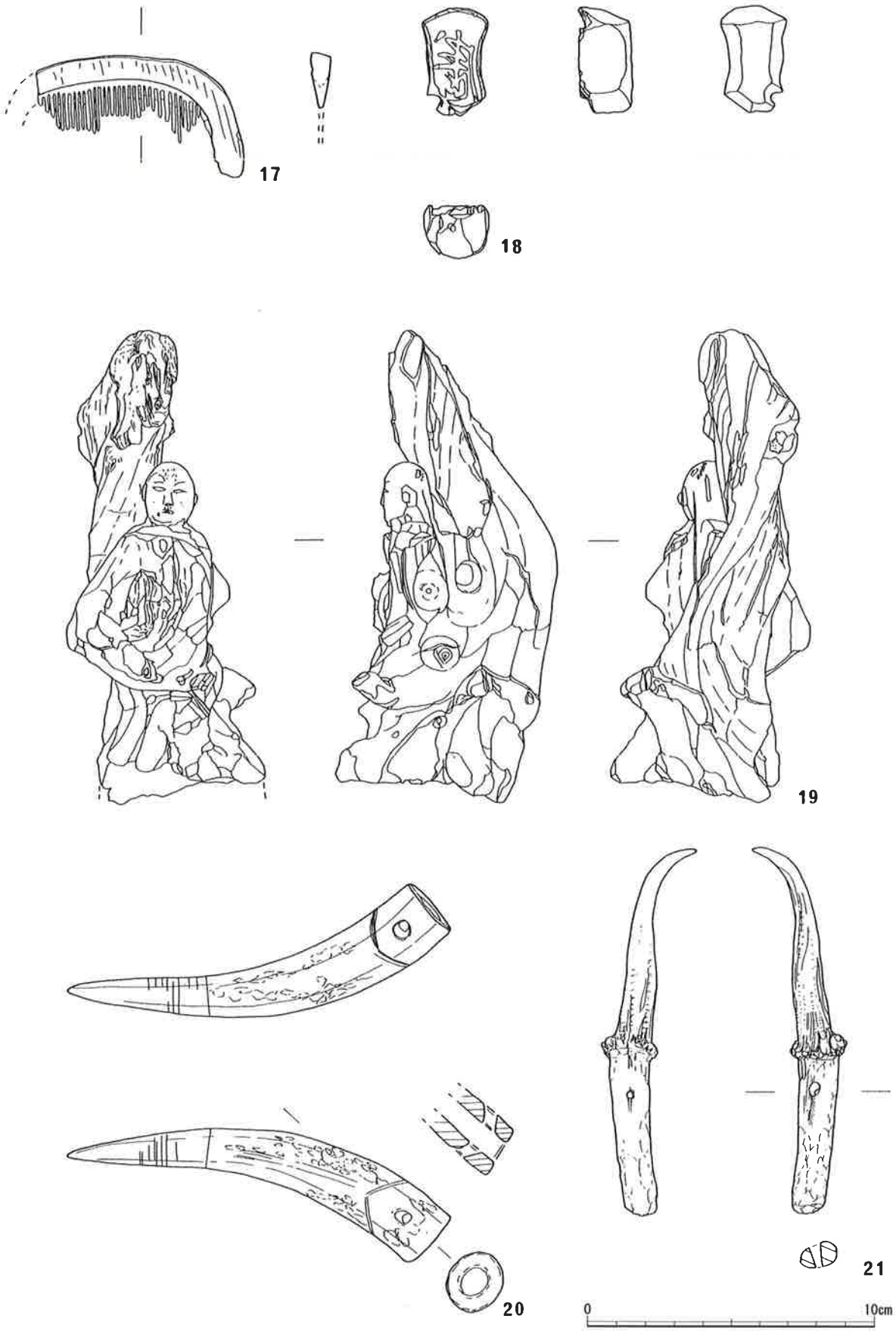
などは認められない。したがって、単独で一つの完成品をなし、複数で何らかの機能を果したと考えられるが、その用途については現在のところ、不詳である。今後の課題としたい。

武器である弓の破片と考えられる漆塗り木製品片は、長さ４cmから20cmほどまでのものがある。端部を三角形に仕上げた素材の上から黒漆を塗る。端部に近い部分の断面は幅約2.5cm、厚さ９mmほどの長方形で、次第に厚みを増し、厚さ1.5～2cmほどの小判状あるいは角ばった卵状を呈する。また、すべての資料は反りを持つ。資料端部が観察できる破片（**第63図１～４**）では、反りを持った内湾部分の端部から３cmほどの位置に幅５mm、深さ５～８mmほどの抉り込みが施されており、ここが弓の弦を番える部分と想定される。そうであるとすれば、これらの弓は内反り部分を逆に外反りさせて、反発を強くし、ここに弦を番えていたこととなる。このことは端部に近い部分に施された抉り込みの方向がやや斜めであることからも首肯される。

弩の部材と考えられる資料も多く出土しているが、ここでは３点を図面化した。一つはまず断面長方形の板状素材１/４ほどについて、断面を逆さテルテル坊主状に成形し、漆を塗った破片（**第64図７**）である。現存長約34cm、幅逆さテルテル坊主状部分で６cm、その最大残存部で7.5cm、厚さは逆さテルテル坊主部分で３cm、長方形状部分で４cmほどを測る。この境目の部分は段差をなして広がり、ここに釘が打たれていることからすれば、別の部材が作り付けられていたものと推測される。逆さテルテル坊主の頭部と裾部を分けて紐で括った部分に当たる位置に、縦幅１cm、横幅4.5cmの穴が穿たれ、断面長方形を呈する残存部分の端にも長方形の穴の一部が残る。これと先の釘の存在からすれば、この部分に弩の発射装置が作り付けられていたことが考えられる。また、断面長方形の短辺となる平




第66図　出土遺物漆製品④・木製品①（1/2）




第67図　出土遺物木製品②・角製品（1/2）

坦面には、長軸に沿って幅１cmの雨樋状溝が一直線に施されている。これは矢を番える際の溝と考えられる。全面に黒漆が塗布されるが、雨樋状溝部分には朱漆が施される。樹種同定によれば、心材はニレ科であり、船喰い虫による侵食が激しく、漆膜の剥離も進行しつつある。

他の２点は同じような破損部分が残る。それぞれ幅3.2cmと４cm、縦幅7.2cmと８cm、現存長はともに21.5cmを測る。前述した資料と同じように、途中に厚さを減じる部分があり、前者（**第89図２**）は幅３cm、後者（**第89図１**）は幅3.2cmとなる。幅が厚い部分にそれぞれ縦幅3.5cm、４cmの長方形穴、薄い部分に縦幅１cmの長方形穴の一部が残り、そこで両端が折れている。やはり釘を打った痕が見られ、この部分に弩の発射装置が作り付けられていたものと推測される。前者には断面長方形の短辺となる上端面に、幅１cmほどの雨樋状溝が施され、ここが矢を番える部分であると考えられる。また、この部分に朱漆が残る。その他の部分については、漆膜がほとんど確認できないが、本来は漆が塗布されていたものと考えられる。

（註）　漆器に記された文字については、概報に諸情報が紹介されているので、これを参考にしていただきたい。

## ６．木製品（第66図～第90図）

木製品には木像と木印、櫛、曲物の底部、小判状に加工した木製品などがある。なお、船体の部材については、船材及び木材として別に一稿を設けている。

木像（**第67図19**）は自然木のねじれた部分を用いて坊主頭の人物像を刻み込んだものであり、金属の刃物で切断、あるいは面取りされた部分と、自然な木目が残る部分がある。また、船喰い虫によるものと思われる穴が各所に求められる。平成18年度に保存処理が終っており、アクリル製台座に据えられた木像は高さ16.5cm、最大幅７cm、奥行き7.8cmを測る。自然木の残存状況を踏まえながら、樹木の根元に安座する仏僧の姿を意識して掘られたものと考えられるが、仏僧の頭部と肩部から右腕部にかけてはかなり細かい細工が認められるものの、左腕部と腹部および下半身部分については自然木の形状をそのまま残している。木造のほぼ中央に位置し、人物像の背中に当たる部分に径１cmほどの穴が穿たれており、穴の周辺には紐ズレのような磨耗が見られる。このことからすれば、この穴に紐状の素材を通して別の部材に固定されていた、あるいは紐で垂下されていたことが想像される。

木印（**第67図18**）も平成18年度に保存処理を終えている。印面下端の一部を欠くが、半円状の木素材の左右を分銅形に削ぎ落としたような形状を持つ。印面は平らであるが、背面は船底状の丸味を持つ。現存長軸長3.7cm、最大幅2.4cm、最短幅1.9cm、厚さ1.8cmほどであるが、概報に記された数値より１mmずつほど縮んだ数値となっている。印面には文字があるが解読はできていない。樹種同定ではツゲ属とされている。

櫛は1/4を欠くものが２点見られる。櫛には漆塗りの製品もあるが、この２点には漆を塗った痕跡が認められない。ともに、半円形を呈し、１点（**第66図16**）は現存幅7.2cm、高さ4.2cmで、本来は

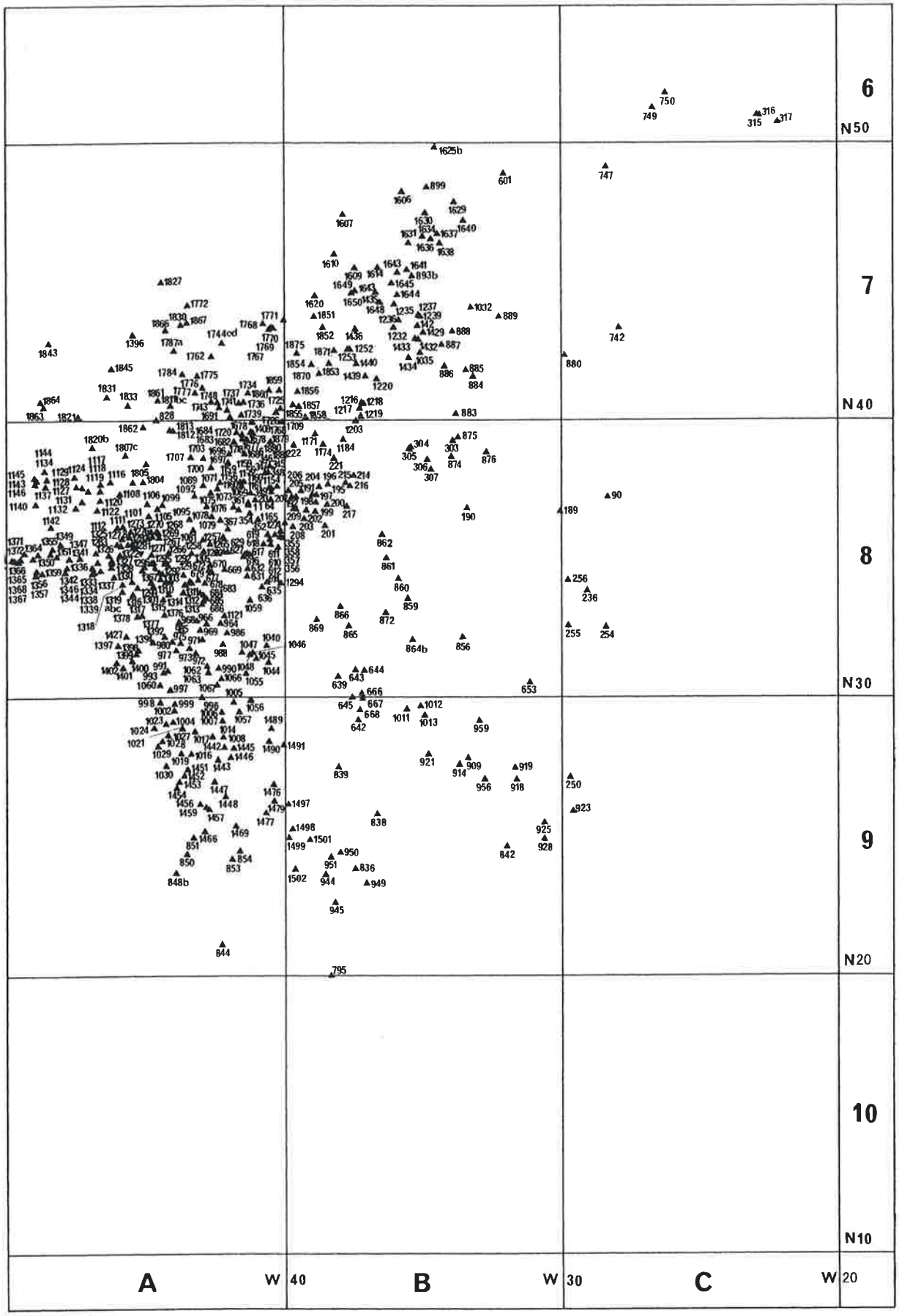
9.5cmほどの幅を持つ櫛であったと考えられる。半円弧をなす周縁１cmほどの台部から、約２mm間隔で櫛歯が削り出される。台部の厚みは９mmほどで、角を丸く仕上げる。台部から櫛歯先までは断面二等辺三角形状をなして、次第に厚みを減じる。櫛歯はかなりよく残っている。樹種同定ではツゲ属という結果が提示されている。もう１点（**第66図17**）は半円形というより、断面蒲鉾形に近い。現存幅7.3cm、高さ4.3cmを測る。本来の櫛幅は8.5cmほどと考えられる。やはり周縁１cmほどの台部から約２mmごとに櫛歯を削り出すが、歯のほとんどは折れて現存しない。台部の厚みは７mmほどで、ここから櫛歯先まで逆二等辺三角形状に厚みを減じる。

曲物の底部（**第90図６**）は円形の底部１/２ほどが残る。現存部分から推測して、直径17.2cmほどに復元される。周縁部分が少し斜に削り落とされていることから、やや広めになった面を内底部と判断した。底板の厚さは1.3mmほどである。桶状製品の底板と考えられる。樹種は針葉樹とのみ同定されている。

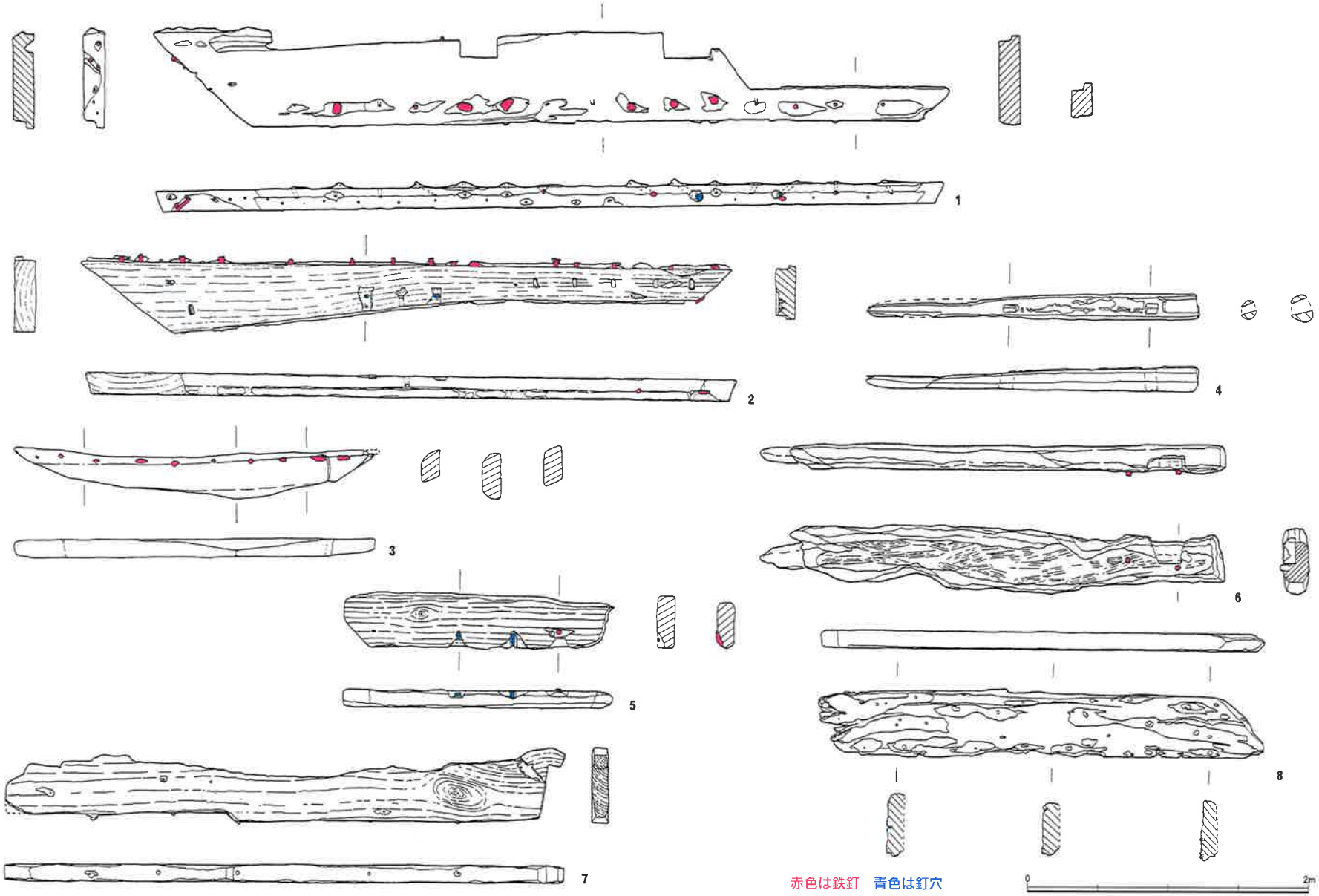
小判状木製品は２点（**第89図３・４**）あり、長軸約１cm、短軸約７cm、厚さ約２cmを測る。ともに平面の中央やや上部に穴が穿たれており、１点（**第89図４**）には平面中央下部にもう一つの穴が穿たれていた痕跡が残る。船舶では多くの紐（縄）が用いられるが、小判状製品はこのような紐の締緩に関わる部材と推測される。

## ７．骨製品（第67図）

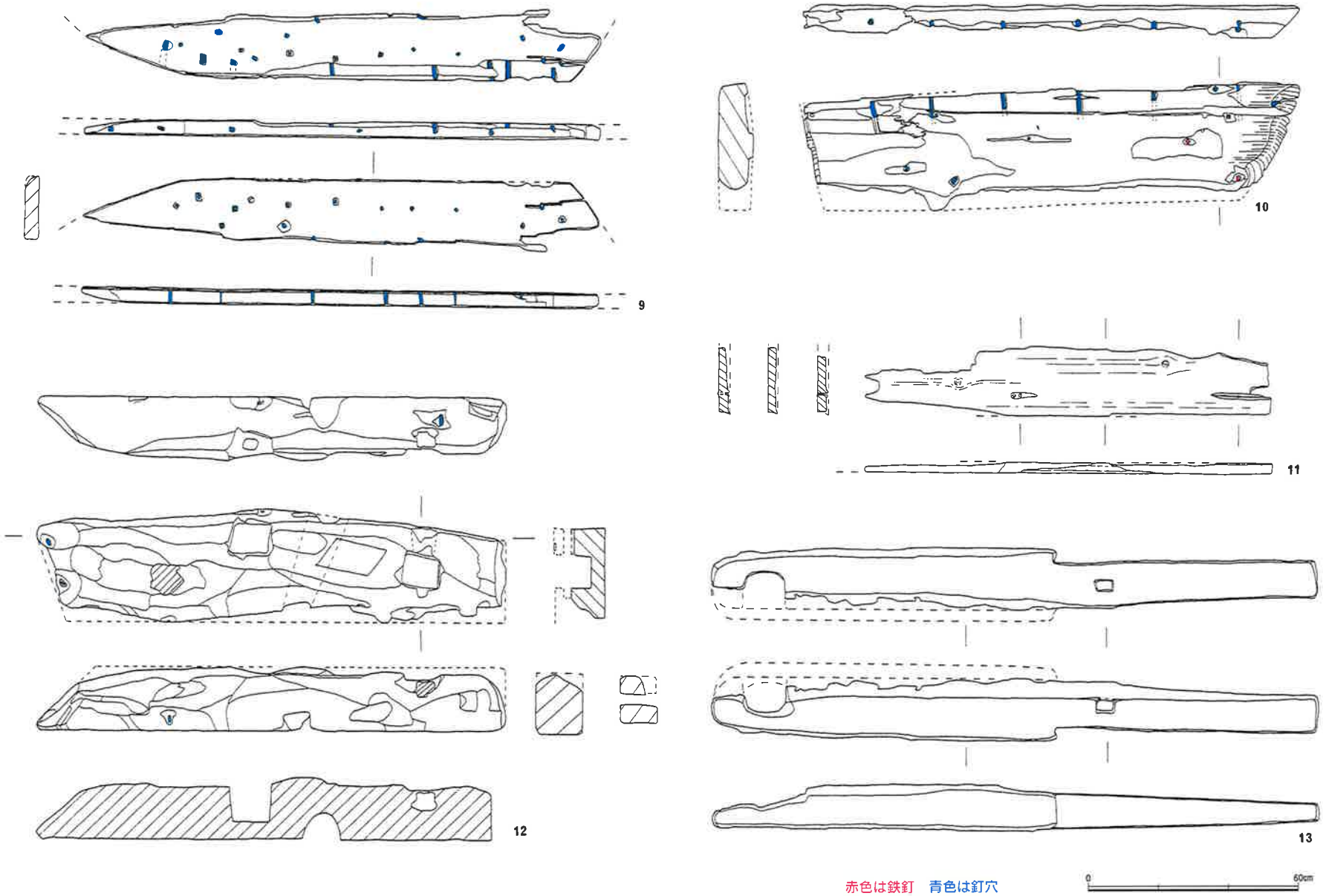
**第67図20**は湾曲する長さ13.5cmほどの鹿角製品である。鹿角の次第に細く尖る角先部分を利用して作られる。尖った先端部分は丹念に磨かれており、輪状の擦痕状に見える部分もある。角の切断面が見える根元部分には鹿骨表面のざらつき目が少し残る。切断分から２cmほどの位置に沈線が切られており、この沈線と切断部分との間に径５cmほどの孔が穿たれている。沈線と小孔を横から観察すれば、鯉のぼりの鰓と目玉を象徴化したようにも見える。概報では中国において、腰に帯び、紐などの結び目を解くために用いたケイである可能性を指摘している。**第67図21**は鹿の角製の柄である。長さ13.1cm、重量20.5ｇを測る。取っ手の部分には加工を施さず、本体に加工をしている。中央には止め釘のための細かい径0.5cmの穿孔があり、刀子の刃はこの本体部に差し込むように作られたと思われる。




第68図　木製品出土状況図（1/20）




第69図　出土遺物木製品③（1/40）




第70図　出土遺物木製品④（1/16）

## 8．船材及び木材（第69図～第88図）

鷹島海底遺跡からは大量の船の部材が出土している。しかし、現在までに船体が完全な状態で検出された例はない。海底での部材の分布状況とこれまでの調査成果を見る限り、船が沈没する際に船体が壊れ、部材がばらばらとなって漂流する中で海底に沈み、その時の位置や潮の流れ、さらには海底地形の条件などによってさまざまに堆積し、現在に至ったものと考えられる。とすれば、調査で検出される船の部材は、複数の船体のいろいろな部位に用いられた部材が寄せ集まった状況にあると考えられる。釘や木組みによる連結が強固に行なわれていた部材は別として、これまでの調査で得られた部材をジグソーパズルのように組み合わせ、いくつかの船体に組み立てて復元することは、将来的にもかなり難しいと考えられる。そこで、ここでは調査で引揚げられた部材について、明らかに船材と考えられる部材を中心に取り上げ、図化した。なお、概報の段階では、船の構造を前提として、出土した船材の使用部位を想定し、隔壁材、外板材、マストステップなどの固有部位名称を用いていた。これらの事情に鑑み、図化した船材については、大きく板材、角材、丸太材として例示し、概報段階での部位名称を踏まえながら、それぞれの部材の位置付けについて検討を加えておく。

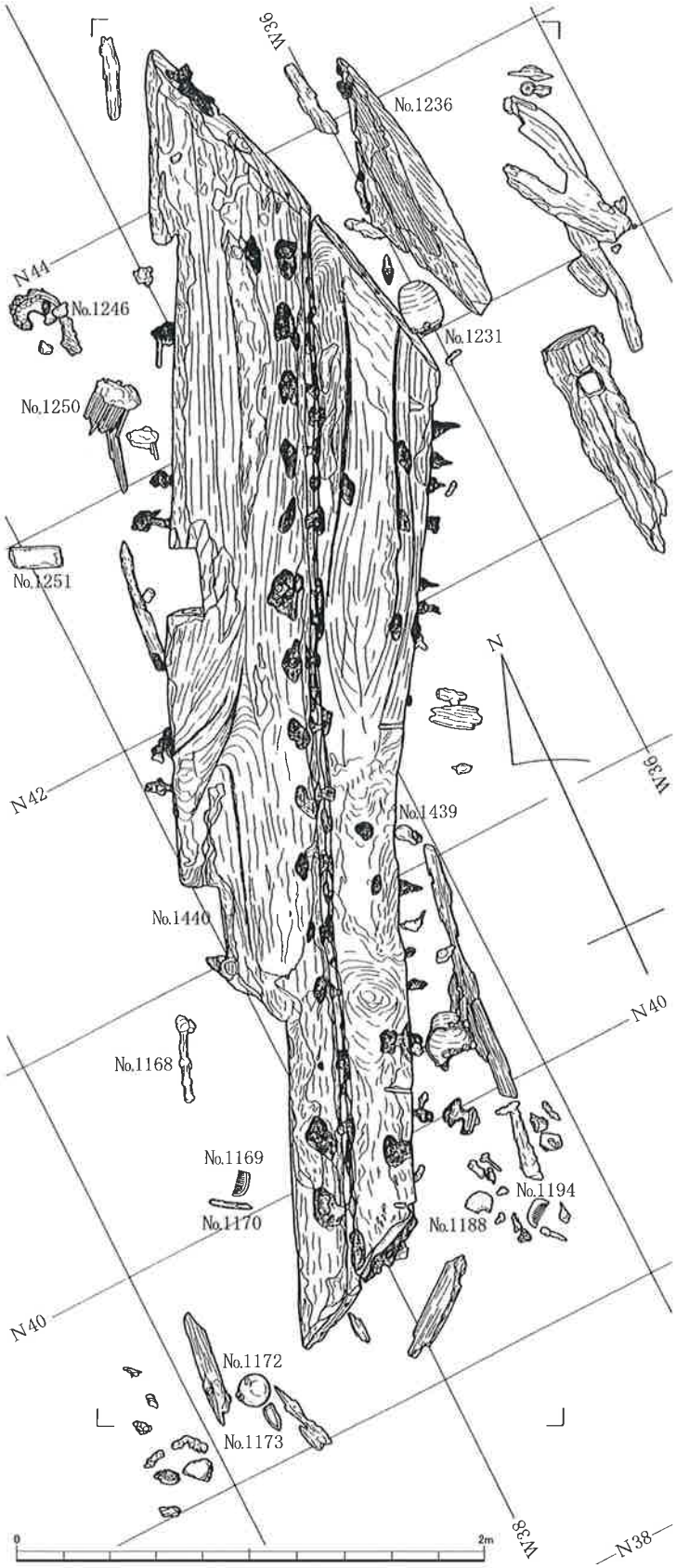
板材

まず、板材とした部材は木材を平たく加工したものを呼ぶ。樹木は基本的に垂直方向へ伸びることから、細長く作った板材を考える場合、幅が狭い木口部分を横幅および厚さとし、細長い方向を縦と呼ぶべきであろうが、船舶の場合、横方向に細長い板材を用いることが一般的である。そこで、本稿では細長い板材を横に据えた状態を前提とし、長軸を横、短軸を縦、板材の厚みを厚さとして標記する。なお、このようにして検討してみると、検出された板材は破損や腐蝕によって長さや縦幅は定量的な観察が難しいものの、その厚さについては、18cm、15cm、12cm、９cm、６cmの前後にまとまりを持つことが看取される。そこで、ここでは板の厚さを基にして、実測した板材の例示を行なうこととする。

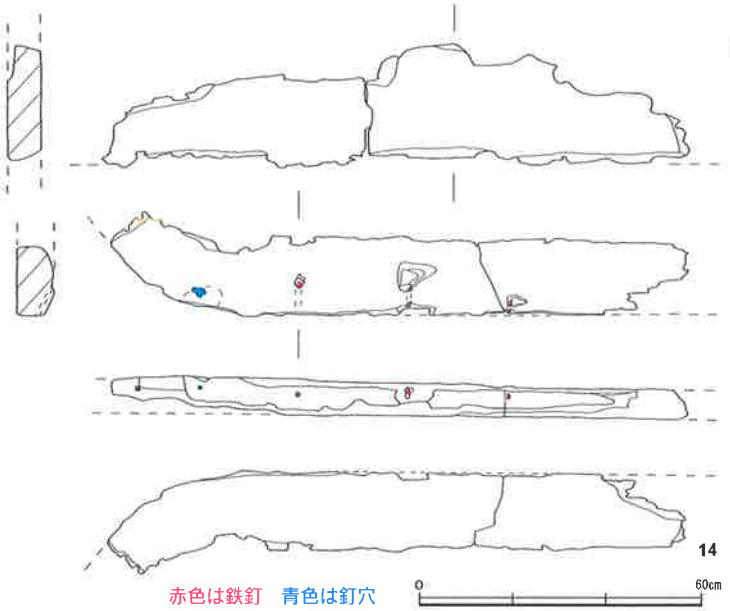
もっとも厚みを持つ18cm前後の板材には、２点（**第69図６・第73図20**）がある。１例（**第69図６**）は現存長331cm、縦最大部で45cmほどを測る。短軸の一方が欠損していることからすれば、本来はもっと長い板材であったことが知れる。加工痕が残る一方の木口は上から見るとやや斜に加工されている。また、横から見ると、一辺が短く、台形状を呈する。長辺側を上にして見ると、下辺に向かって約80度の角度で切り落とされている。この下辺の角から25cmほどの位置に台形状の凹みが作られる。凹みは下端幅25cm、上端幅17cmで、深さ９cmである。この数値は板材の厚みと板幅のそれぞれ半分に及ぶ。凹みの近くには釘が２本打たれている。使用にあたっては、凹みのある短辺側を上にして用いた可能性も考えられる。他の１例（**第73図20**）は現存長150cm、縦45cmで、木目の走りによって、表面の一部が磨耗し、丸みを持つ。長軸両端の一方が直角に切り落とされているのに対して、もう一端は約65度の角度をもって斜に切り落とされる。また、斜に切り落とされた一端を上からみると、長軸に対して40度近い角度を持って加工されている。下辺部や木口部に釘の痕が残る。15cm前後の厚さをもつ板材には４点（**第69図１・２・第73図17・第86図65**）を上げた。このうちの２例（**第69図１・２**）は釘

留された状態で確認され、概報では隔壁材として報告している。隔壁材として用いた場合、上位に位置する板材（**第69図１**）は現存長567cm、縦幅最大部で70cmを測る。欠損した端部を復元すれば、上辺で610cmほどの長さをもつ逆台形板材となる。逆台形板材の上辺近くに幅27cmと33cmの長方形凹みが斬り込まれており、概報ではこれを船舶構造用語でいう「川口」としている。これが板材をくり抜いた穴状であったか、上辺からの抉り込みであったかについては、上辺部が欠損しているため不詳である。板材の上辺から下辺にかけては約45度の角度で逆台形状に狭くなるだけでなく、上部から見ると約70度の角度で斜に切り落とされる。本板材が隔壁材であれば、その外側から打ち付けられる外板材も斜に打ち付けられていたこととなる。

この板材の下に釘留めされていた板材（**第69図２**）も逆台形状を呈していたと考えられるが、下辺部が斜に欠けており、全形は不詳である。残存部分で計測すれば、約35度の角度で切り落とされており、上位の板材より角度が鋭角となる。下辺部の欠けた部分は木目に沿っており、ここを釘留した痕跡が残る。このことからすれば、一枚作りであった板材が木目に沿っ




**第71図　隔壁板出土状況図（1/30）**

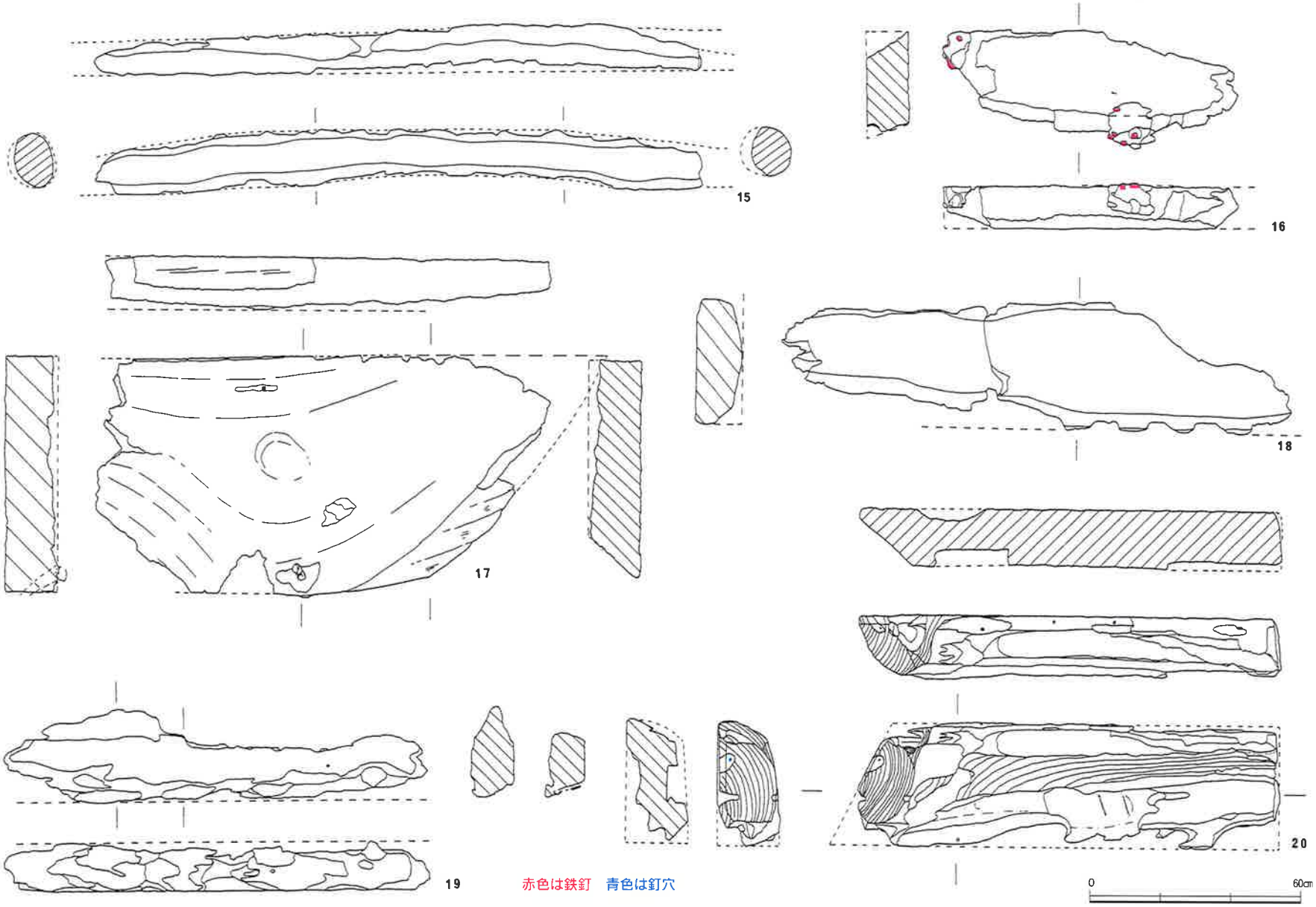



**第72図　出土遺物木製品⑤（1/16）**

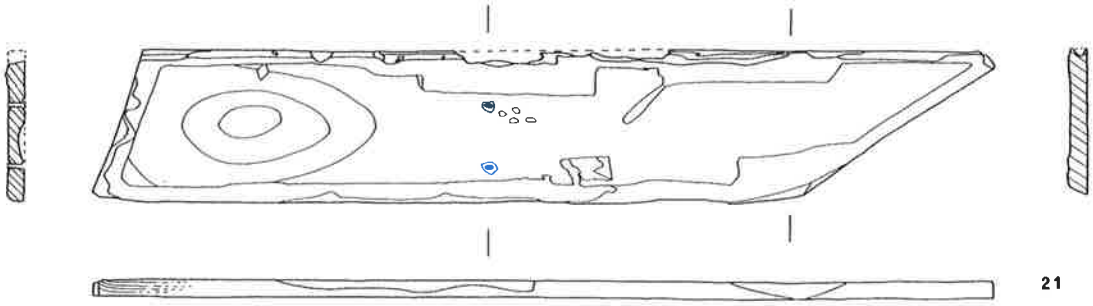
て割れたため、これを数カ所で釘留めして、そのまま用いていたものと考えられる。現存上辺長は463cm、縦最大幅55cmを測る。現存する縦幅を前提として、下辺部での長さを推測すれば、345cmほどとなる。本板材も上からみると、長軸に対して約70度の角度で斜に切り落とされている。本板材**（第69図２）**と上部板材**（第69図１）**の間は、それぞれの接合部分を板材の厚さに対して2/3程度ずつ、5cmほどの深さで削り落として段を設け、互い違いに組み合わせるよう加工されている。その上で、上板材から釘を打って固定していたことから、接合が強固で沈没の際にも遊離しなかったと考えられる。なお、概報では両板材を上部からみた場合、長軸に対して斜に切り落とされた角度が上部材では30度、下部材では20度であるとし、これを手掛かりとして、両板材が用いられた場所を船首に近い側の隔壁（梁）材とする。また、上部板材に設けられた「川口」の位置当たりが船底から約2mの高さとなると考え、ここに船底から数えて二層目の下層甲板があった船舶の構造を想定している。

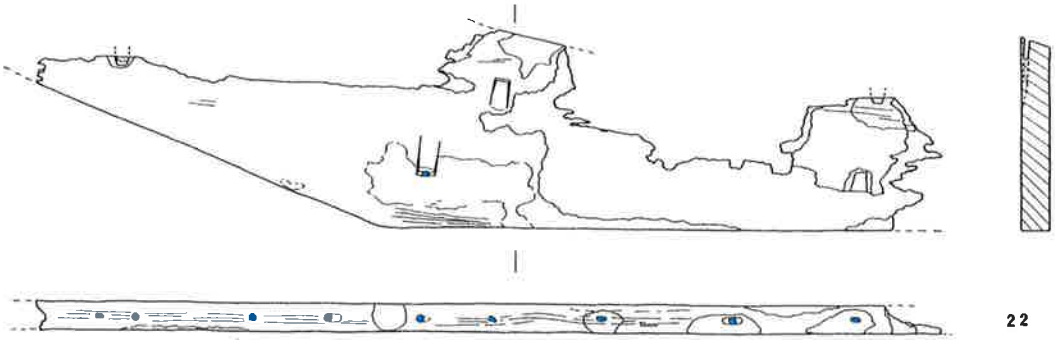
厚さ15cmの他の1例は、三角形状**（第73図17）**を呈する。三角形板材の角部を下にしてみた場合、現存長128cm、縦幅68cmである。本来は横長の板材を台形状に加工していたものが、使用材木の木目に沿って周辺が欠損、磨耗した結果、三角状となったものである。台形状に切り落とされた端部の一方が三角形の一辺をなす。この部分の上辺から下辺への切り落とし角度は約55度である。また、これを上から見ると、長軸に対して約50度の角度をもつ。原況が比較的残っていると考えられる上辺と下辺の一部は平らに加工されており、ここに釘の痕跡がいくつか見られる。もう1例**（第86図65）**は直角状に加工された痕跡が残る部材で、現存長36cm、縦幅22cmを測る。欠損部が多く、原形は不明である。

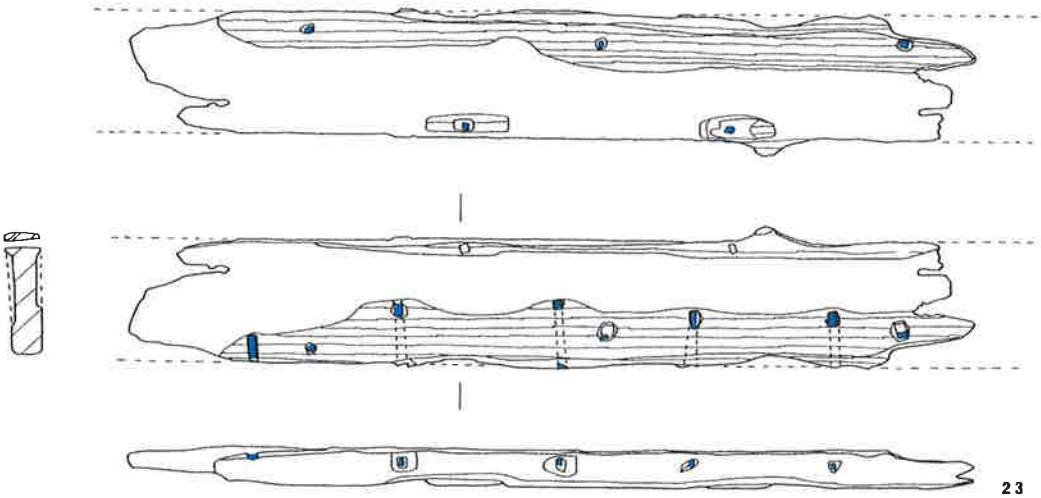
厚さ12cm前後の板材は12例**（第69図３・５・７・８・第73図16・18・19・第76図30・34・第82図48・49・第83図51）**を図示した。この中で、比較的全体が残っている1例**（第69図７）**は、現存長400cm、

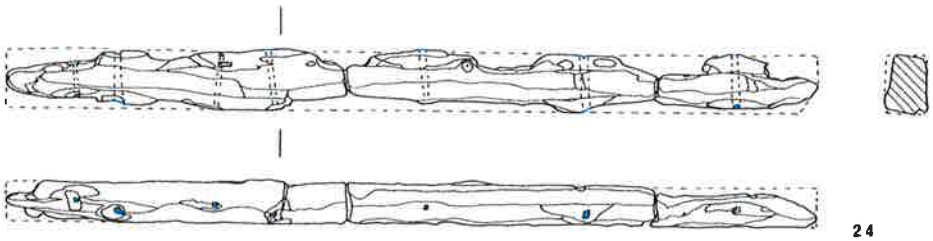



第73図　出土遺物木製品⑥（1/16）




青色は釘穴

0 20cm

第74図　出土遺物木製品⑦（1/8）

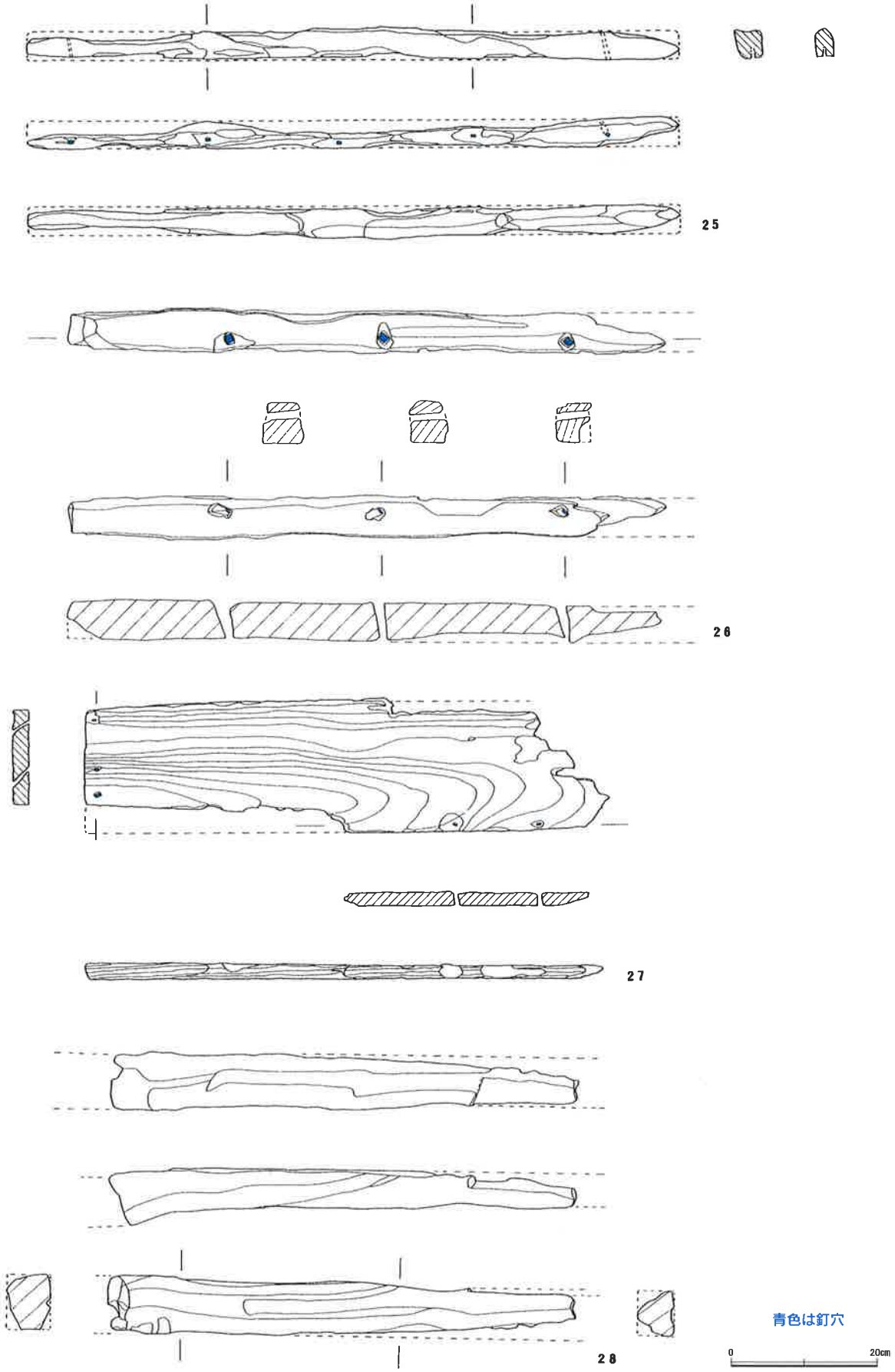
現存最大幅54cmである。折れているが、端部が突起状に張り出した部分を上辺とすると、上辺部はかなり損傷が激しいものの、突起部分を含めて、両端部に段を設けるなどの加工痕跡が観察できる。また、下辺部はほぼ完全に残っており、下辺1/3ほどを6cmほど切り落として、縦幅を減じている。現存部材で下辺幅は380cmとなる。上辺に見られた突起は19cm突出しており、幅は先端部分で10cmほどである。しかし、上辺が磨耗しているため、本来の上辺の形状は良くわからない。突起部の下方は切断面が良く残っており、上辺が下辺と平行であったとすれば、ほぼ80度の角度で切り落とされている。なお、この部分の長軸面に対する角度は直角である。上辺にあった突起部が上辺の左右双方にあったかどうかについては、一方が欠損しているために判断が難しい。しかし、残存部分を見る限り、突起を持たない側の木口部分における上辺からの切り下ろし角度は、直角に近いものであったことが推測される。このことや下辺部が幅を減じていたことなどを考えあわせると、本板材は左右相似形ではなく、突起は一方にのみ設けられていた可能性が考えられる。なお、上辺と下辺には釘痕が認められる。概報では天地を逆にした写真を掲載し、「外板」材とした上で、突起部については「漆喰が遺存し、横方向の別材との接合のため、段加工がなされている」とした。その他の1例**（第69図8）**は、現存長317cm、残存部最大幅47cmを測る。端部の一方は比較的良好に残存するが、他方は欠損している。残存状況の良い方の端部は台形に仕上げられており、逆台形状に板材を据えた状態で見ると、上辺から下辺に向けて約45度の角度をなす。また、この面は板材の長軸平面に対しても約60度の角度に加工されている。上辺には厚さの半分ほどを削り落として段差を付け、ここに組み合わせる部材と互い違いに組み合わせた痕跡が一部に残る。下辺部部分は平である。上辺と下辺の周辺に本板材の上下材を連結させるための釘痕が多数認められるほか、平面中央にも釘留をした痕跡が多く残っている。概報では構造船の船首部か船尾側の外板としている。横からみるとブーメラン状を呈する板材**（第69図3）**もある。周縁が磨耗しているものの、原形を良く残している。長さ25cm、縦幅最大部で32cmである。弧状をなす部分を下辺とすると、上辺側に釘の痕跡が20～30cmおきに認められる。上辺の両端部から下辺に向かって約30度の角度で斜めに切り落とされており、下辺の一方には斜に削り落とした部分に接して浅い抉り込み加工と平面の切り込みが見られる。使用の際に調整を加えたものと考えられる。周辺が磨耗するが、釘痕が比較的良く残る例**（第69図5）**は、現存長193cm、縦幅約38cmを測る。左右両端の一方が比較的よく残る。やはり斜めの切断が見られ、横にして逆台形に据えた場合、下半部が約45度の角度をなす。平面長軸に対する角度は直角である。また、上辺、下辺とも平坦に仕上げる。下辺近くに30～40cmの間隔を空けて、本板材から下へ向けて釘が打たれたと思われる痕跡が残る。この場合、下辺から6cmほどの位置まで、台形形の抉り込みを施し、その上に別の逆U字の繰り抉り込みを施して、ここと先の台形上の抉り込みとの間をトンネル状に刳り貫いて、この部分を釘留する技法が観察される。直角の抉り込みが施された痕跡が残る1例**（第82図48）**は現存長70cm、縦幅31cmを測る。本来、横長の板材であったと考えられ、一部に上下辺いずれも平らな面が残る。直角の抉り込みはここから施されており、深さ11cmに及ぶ。しかし、抉り込みの幅については、欠損のため、不詳である。現存長146cm、縦幅35cm測る1例**（第73図18）**は、周縁がかなり磨耗するが、長軸

の一辺に原況で幅６㎝、深さ３㎝どの抉り込みが10㎝おきに連続して施された状況が観察される。その他の６例（**第83図51・第73図19・16・第82図49・第77図34・第76図30**）は、それぞれ現存長70㎝、幅33㎝、現存長120㎝、幅26㎝、現存長84㎝、幅32㎝、現存長74㎝、幅27㎝、現存長41㎝、幅42㎝、現存長78㎝、幅22㎝を測る。それぞれに板材の四辺の一部が残り、釘留をした痕跡が見られるが、破損のため、詳細については不詳である。

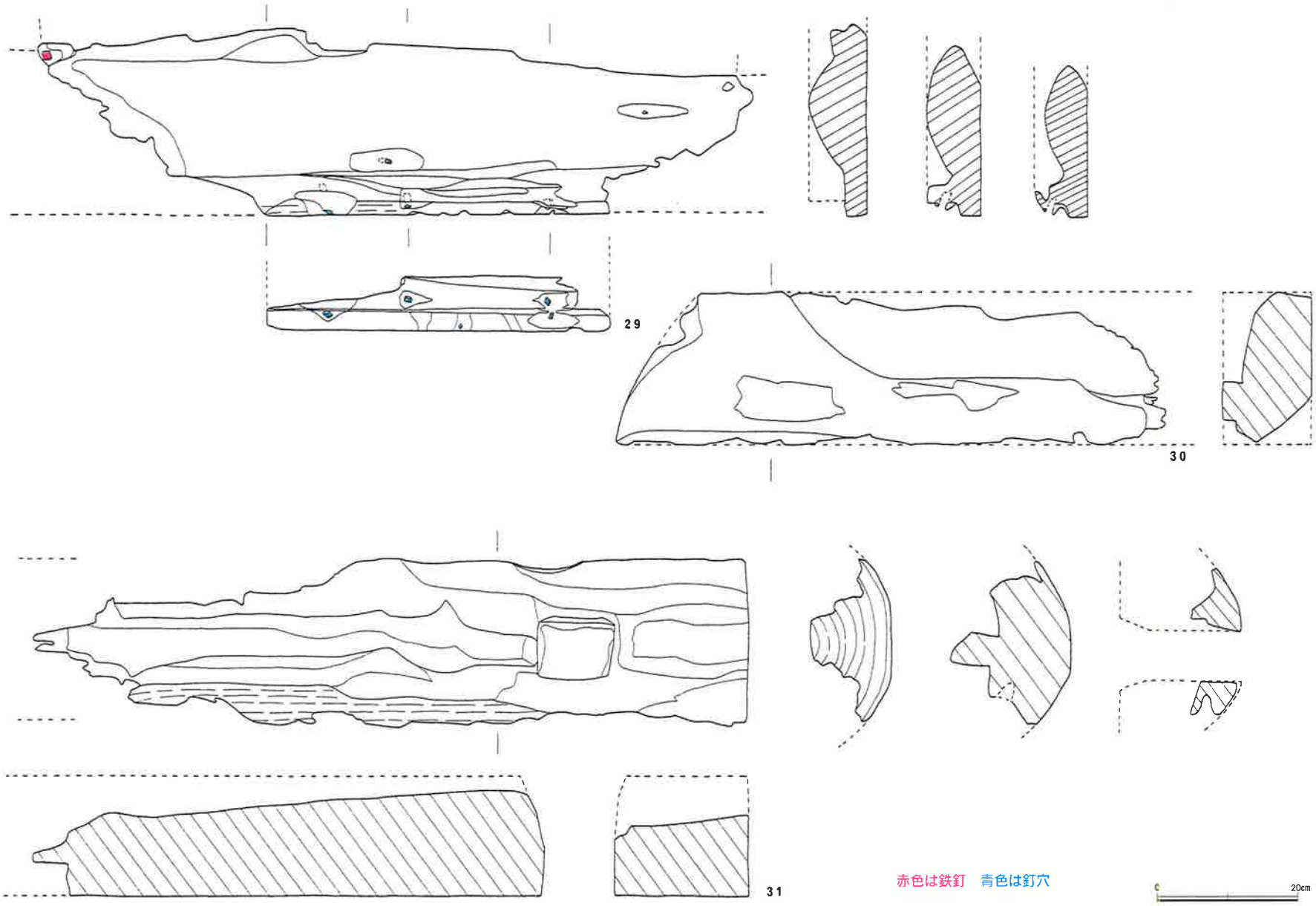
厚さ９㎝前後の板材は３例（**第76図29・第79図39・第70図10**）を図化した。１例目（**第76図29**）は現在長102㎝、現存最大幅27㎝を測る。台形状に残った板材であるが、台形の上辺に当たる部分に本来の加工面が認められる。およそ50㎝が残り、板材の厚さの半分を２㎝の深さで切り取り、段を設ける。この部分に10～20㎝の間隔で釘が打たれている。また、平らな面にも数本の釘が打たれた痕が観察される。２例目（**第79図39**）は現存長44㎝、縦幅17㎝を測る。周辺の一辺をやや丸みを持って仕上げるが、その他の縁辺部分が欠損している。縦幅からすれば、後述する角材に入れた方が良いかもしれない。やや丸みを持って仕上げた一辺は、縦方向に対して約65度の角度を持って平面が作られている。この面を下に据えた場合、船底に接した部材の可能性が高いと考えられる。３例目（**第70図10**）は現存長141㎝、縦幅30㎝を測る。両端部の一方に切断された痕跡が残り、もう一方は抉り込みを設けた部分で折れている。仮に一辺が長い方を上辺としてみると、切断された端部はやや丸みを持ちながら65度の角度を示す。また、この部分を上面から見ると約50度の角度を持つ。もう一方の抉り込みで折れた端部では、端部長21㎝であり、そのうちの半分が下辺からの抉り込み部分である。抉り込み部分で折れているため、どの程度の幅で抉り込まれたものか、また同じ板材に何ケ所の抉り込みがあったのかは不詳である。上辺平面に約20㎝おきの釘の痕が見られ、上部の板材と釘留されていたことが知れる。また、平らな面にも上辺に平行するような２列の釘痕が見られる他、端部の斜に切り落とされた部分にも釘が残る。また、平らな面に打たれた釘と端部の斜に切り落とされた部分に打たれた釘の周辺には漆喰らしきものが付着している。

厚さ６㎝前後の板材は２例（**第84図59・第72図14**）がある。前者（**第84図59**）は一方の木口部が残る板材で、現存長23㎝、木口部幅15㎝余りの小破片である。板を貫通する釘痕が２本観察される。後者（**第72図14**）はいくつかに割れた部材が同じ番号にまとめられている。図示したのはその一部で、現存長123㎝、幅22㎝を測る。板材の一端について、緩やかな段を付けながら湾曲気味に仕上げる。段の施し方からすれば、本部材が隔壁材であり、緩やかな段の単位ごとに外板を打ち付けていた可能性が高い。平らに仕上げられた下辺部平面に、約20㎝おきに打たれた釘の痕が残る。釘は板材の中ほどから。下方に向けて打ち込まれている。

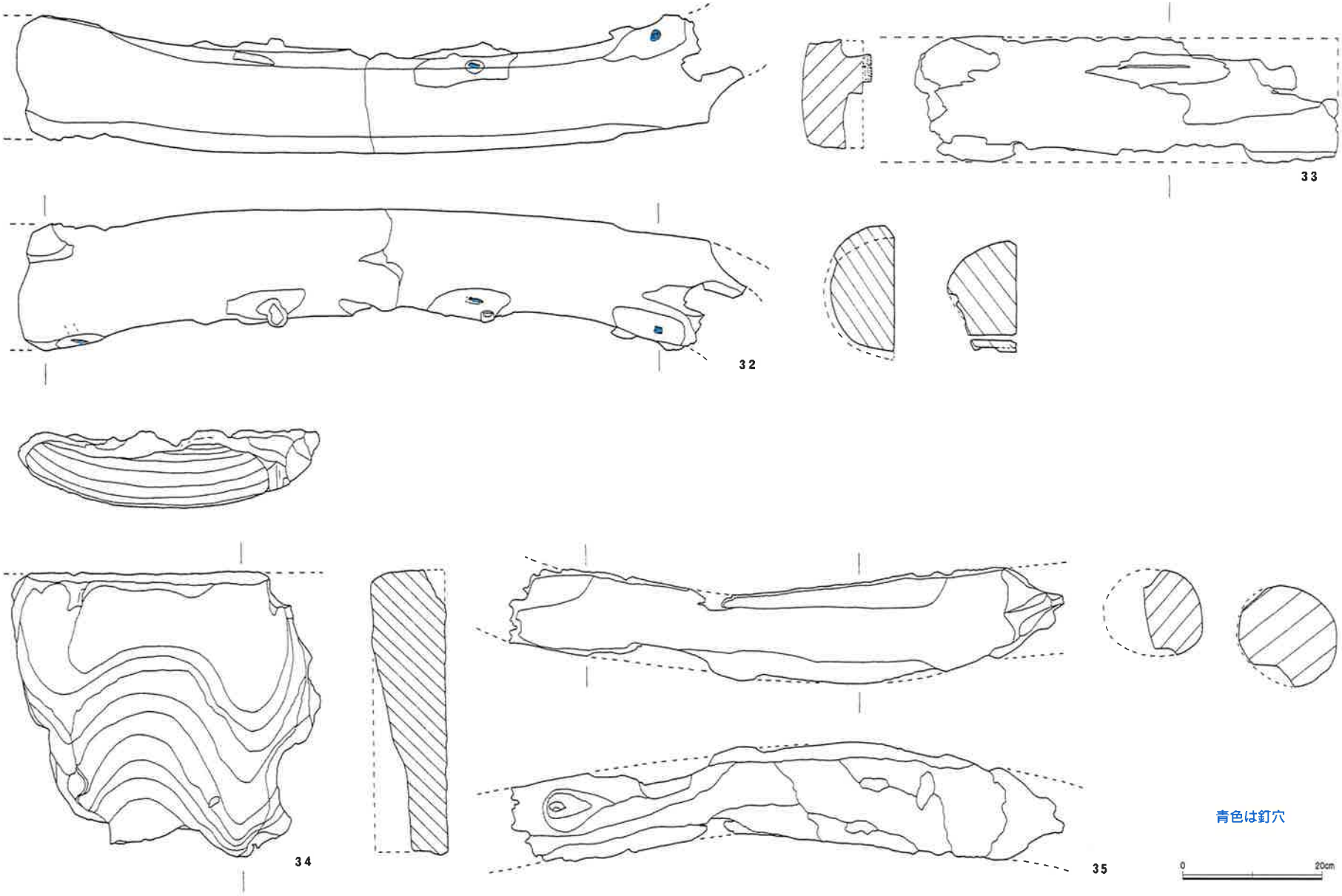
厚さ３㎝前後の板材として８例（**第70図９・11・第74図22・第81図44・第80図41・第74図21・第75図27・第74図23**）を図化した。この中で、全体の形状がよく残る（**第70図９**）は現存長146㎝、最大幅18㎝、板材の厚さは４㎝を測る。船を横から見たような形状で、船底と船首、船尾に当たる部分は本来の加工痕を持ち、甲板に当たる部分は板材の割れ目となる。釘痕が多く残っており、これらは船に見立てた場合に船首を左に向きに置いた面から打たれたと考えられる。釘痕である釘穴の中には板



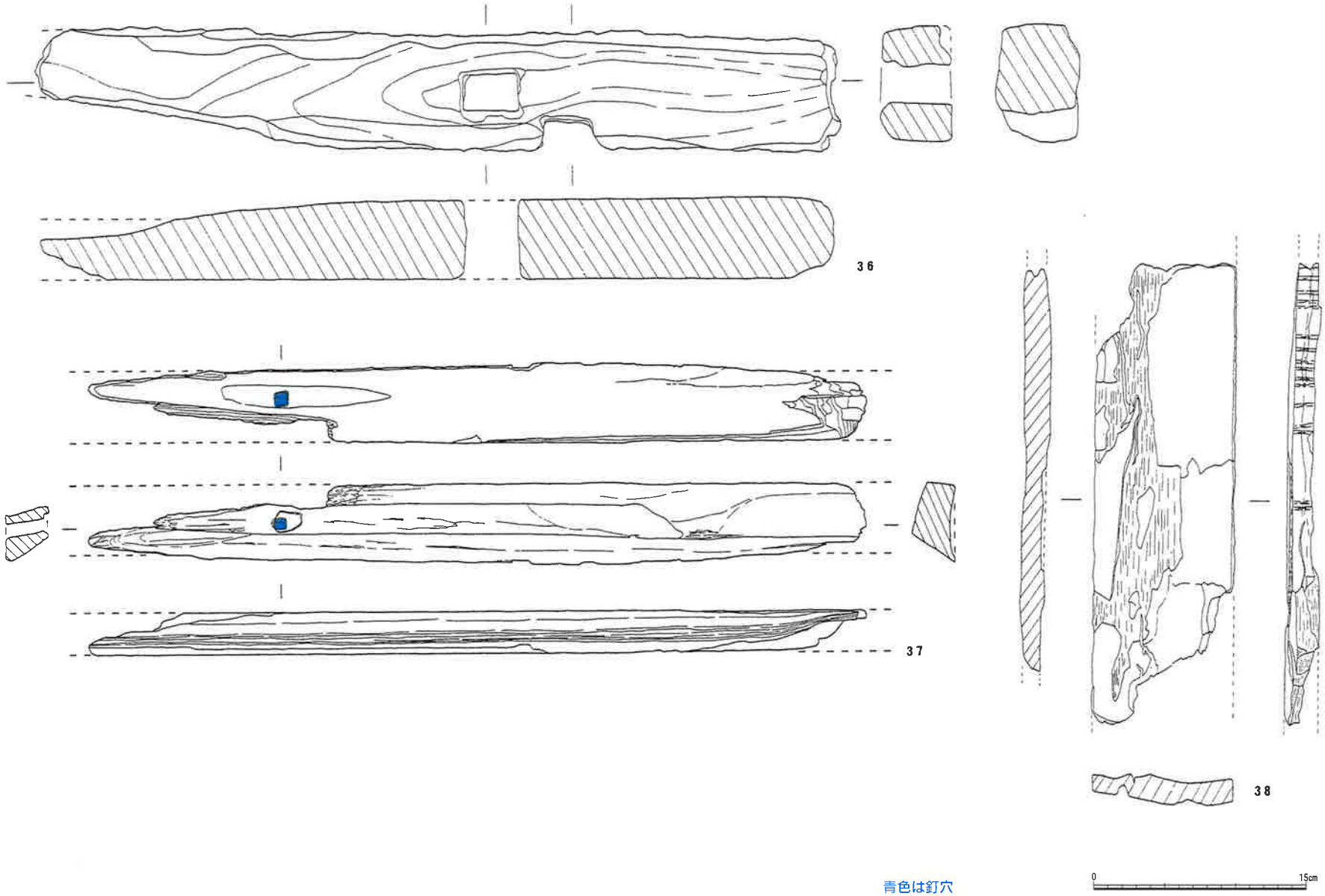

第75図　出土遺物木製品⑧（1/8）



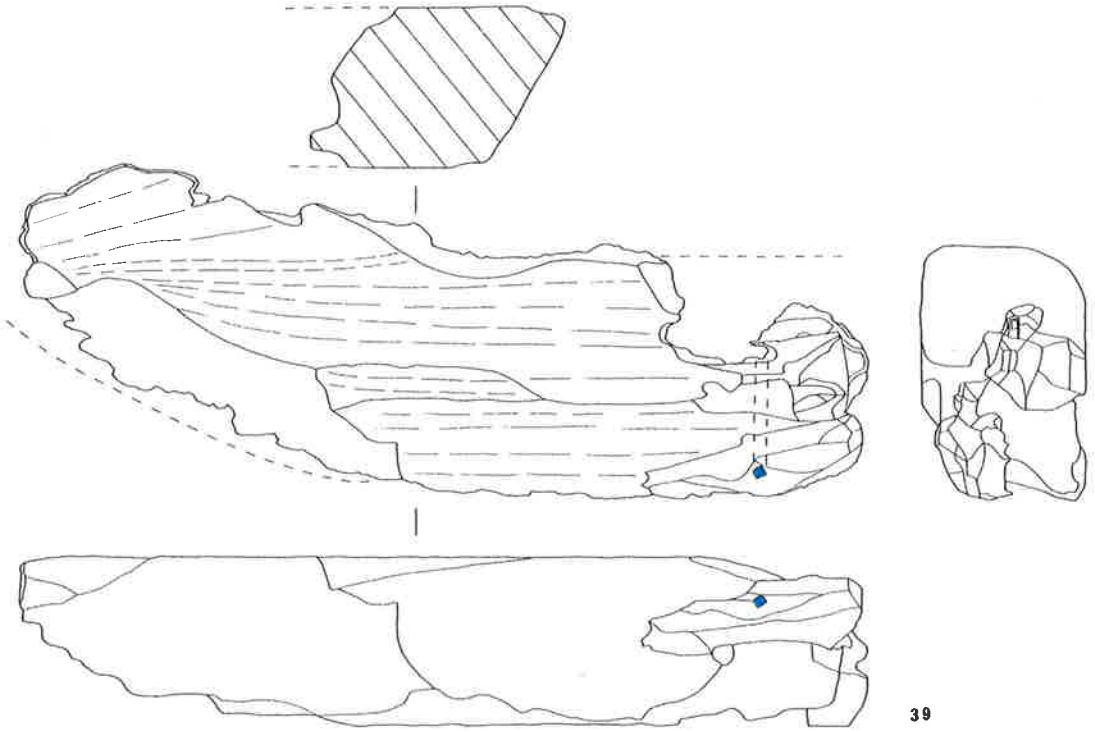

第76図　出土遺物木製品⑨（1/8）

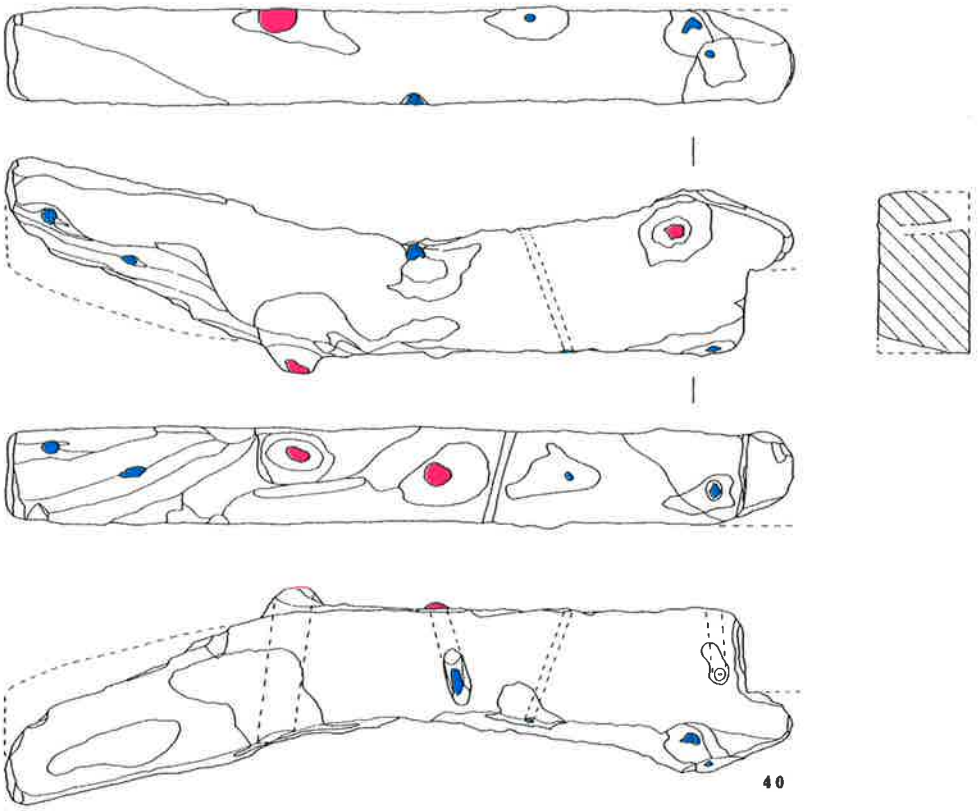



第77図　出土遺物木製品⑩（1/8）




第78図　出土遺物木製品⑪（1/4）

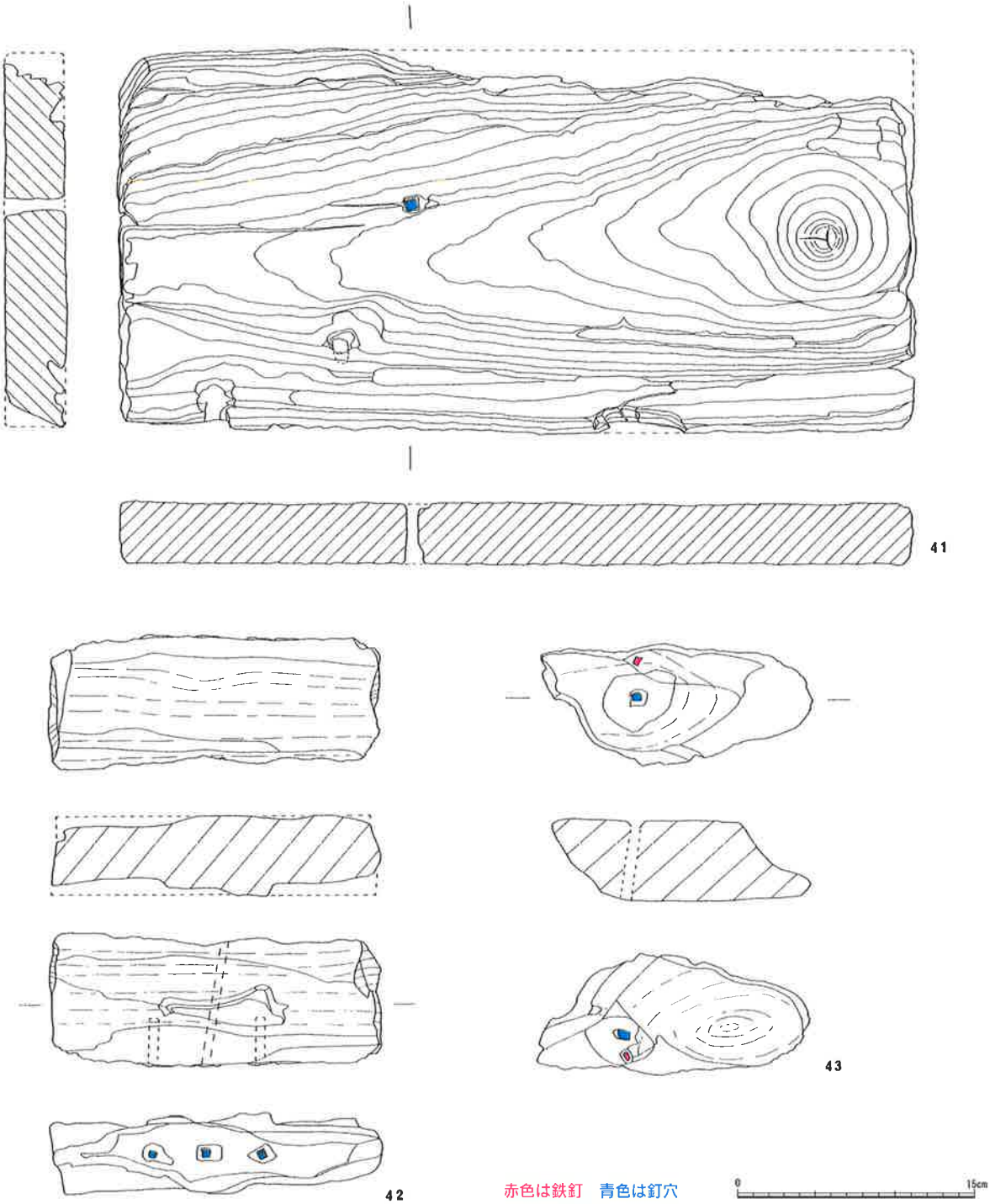


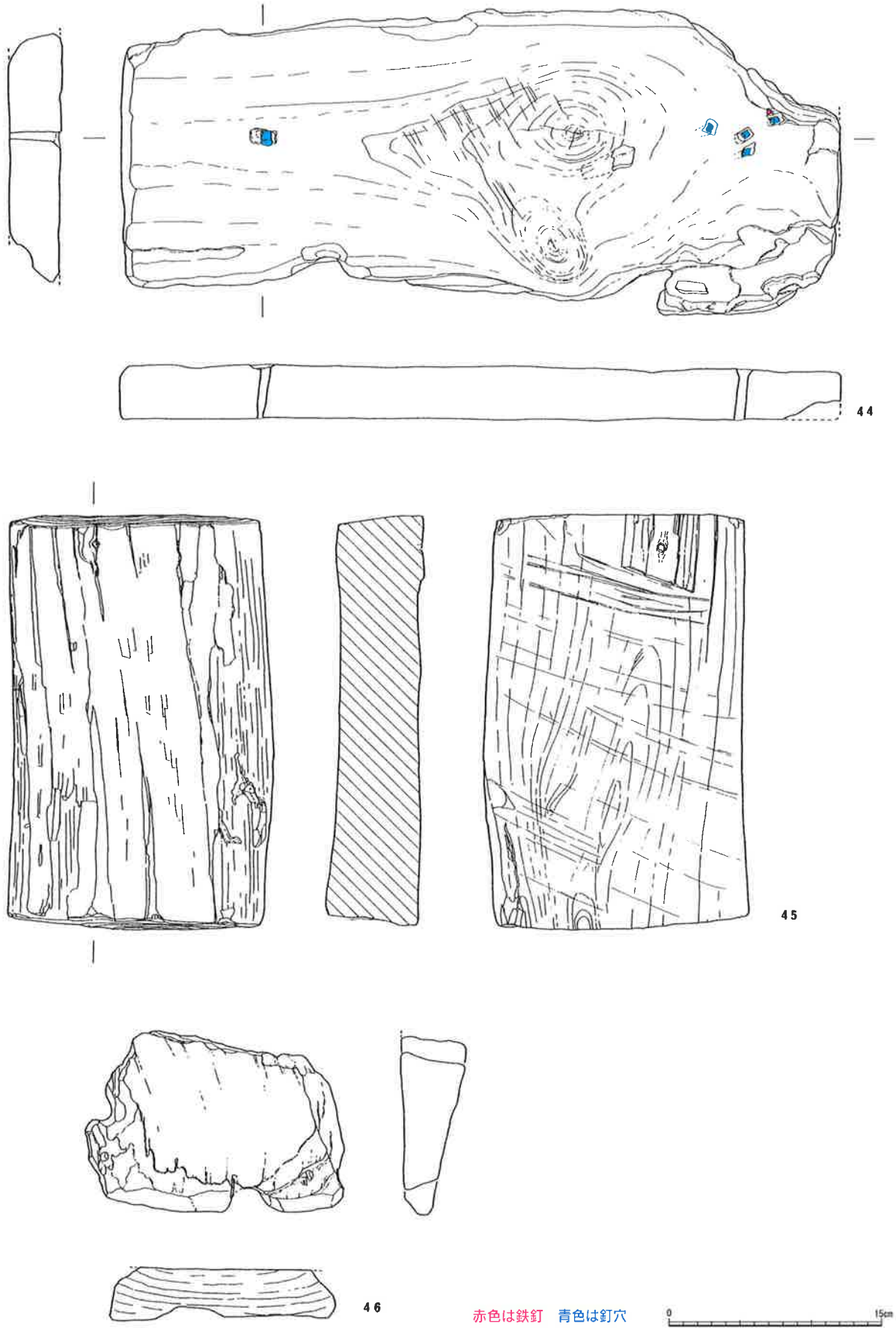

赤色は鉄釘　青色は釘穴

0　15cm

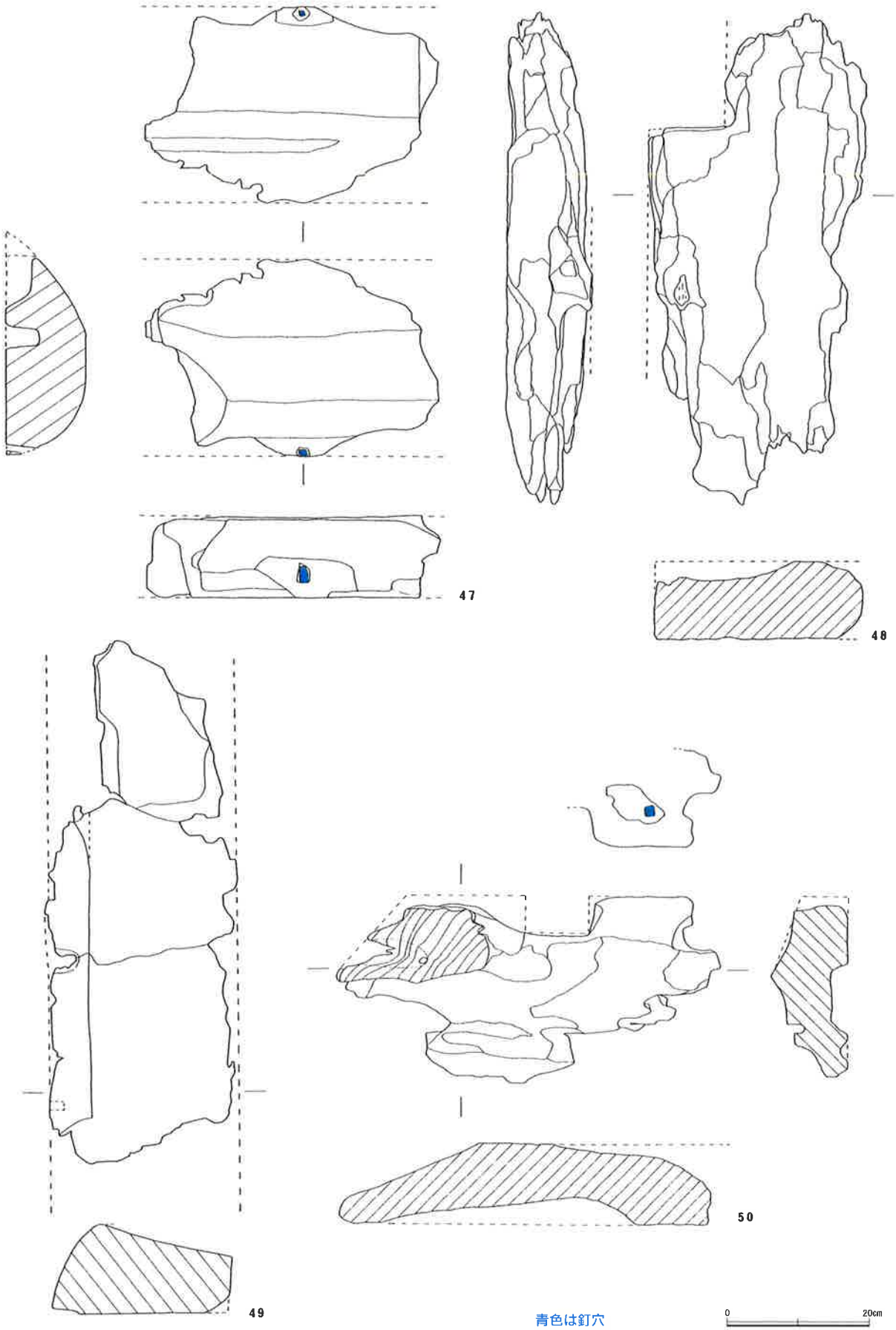
第79図　出土遺物木製品⑫（1/4）




第80図　出土遺物木製品⑬（1/4）




第81図　出土遺物木製品⑭（1/4）




第82図　出土遺物木製品⑮（1/8）

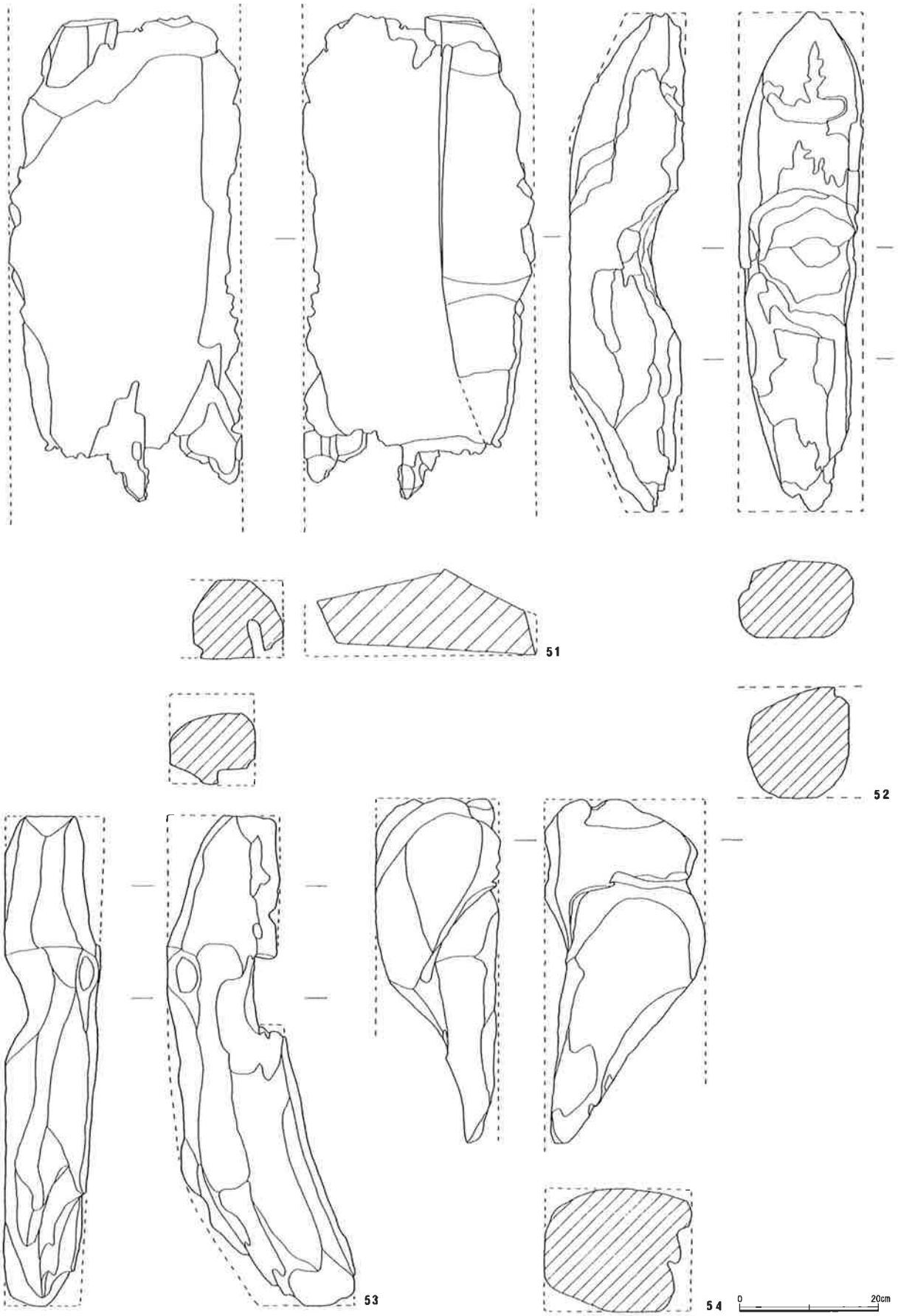
材の側面から船底に例えた下辺に達しており、下部に板材と接合の役割をもっていたと考えられる９個所と、側面を貫通して他の部材に打ち付けたと考えられる20個所がある。後者の20個所の釘穴は板材を横位置においた状態では３段に並んで残り、一番上の一段目の釘痕に沿って、板が割れている。同様に船を横からみたような形状を示す**（第74図22）**は現存長96cm、残存最大幅21cmを測る。現存部から上下へ釘を打った痕跡と、下からの釘が本材に達した釘痕が残っており、本板材の上下に他の部材を釘留めしていたことが知れる。同様の形状を持つ**（第74図21）**は、現存長95cm、縦幅16cmを測る。四周の加工面がほぼ残り、加工時の原形を留めている板材である。両端部を斜に切り落とし、カッターナイフの替刃のような形状を持つ。四周２cmの範囲に鉄錆が付着するが、錆の範囲はところどころ階段状の凹凸を持っており、本板材に打ち付けられていた他の部材の形状を示しているものと考えられる。横長の板材で、木口部と両側面の切断面の一部が観察される２例**（第70図11・第75図27）**では、前者（第70図11）現存長115cm、縦幅20cmを測る。一方の木口部分を直角に切断した状態が観察され、板の縁から５～６cmの位置に板を貫通する釘を打った痕跡が３個所残る。後者**（第75図27）**も両側に対して木口部分を直角に切断した状態が確認できる板材であり、現存長82cm、縦幅18cmほどを測る。木口に沿って３本、周縁部に沿って２本の釘痕が見られ、これらはいずれも板材を貫通している。残りの２例**（第81図44・第80図41）**は板材としてはやや短めの長方形をなすほぼ同じ大きさの板材である。前者**（第81図44）**は現存長51cm、縦幅21cmで、板の中央部分に横位置に並んで貫通する６個所の釘痕が残る。後者**（第80図41）**は現存長51cm、縦幅24cmで、前者より少し縦幅が大きい。板の中央部分から周辺部分にかけて、板を貫通する釘の痕が見られる。

この他、本来は板材であったと思われるが、腐蝕が激しく打ち込まれた釘の周辺だけが残った２例**（第85図62・第80図42）**がある。それぞれ現存長25cm、21cmを測る。前者には１本、後者には３本の釘痕が残る。

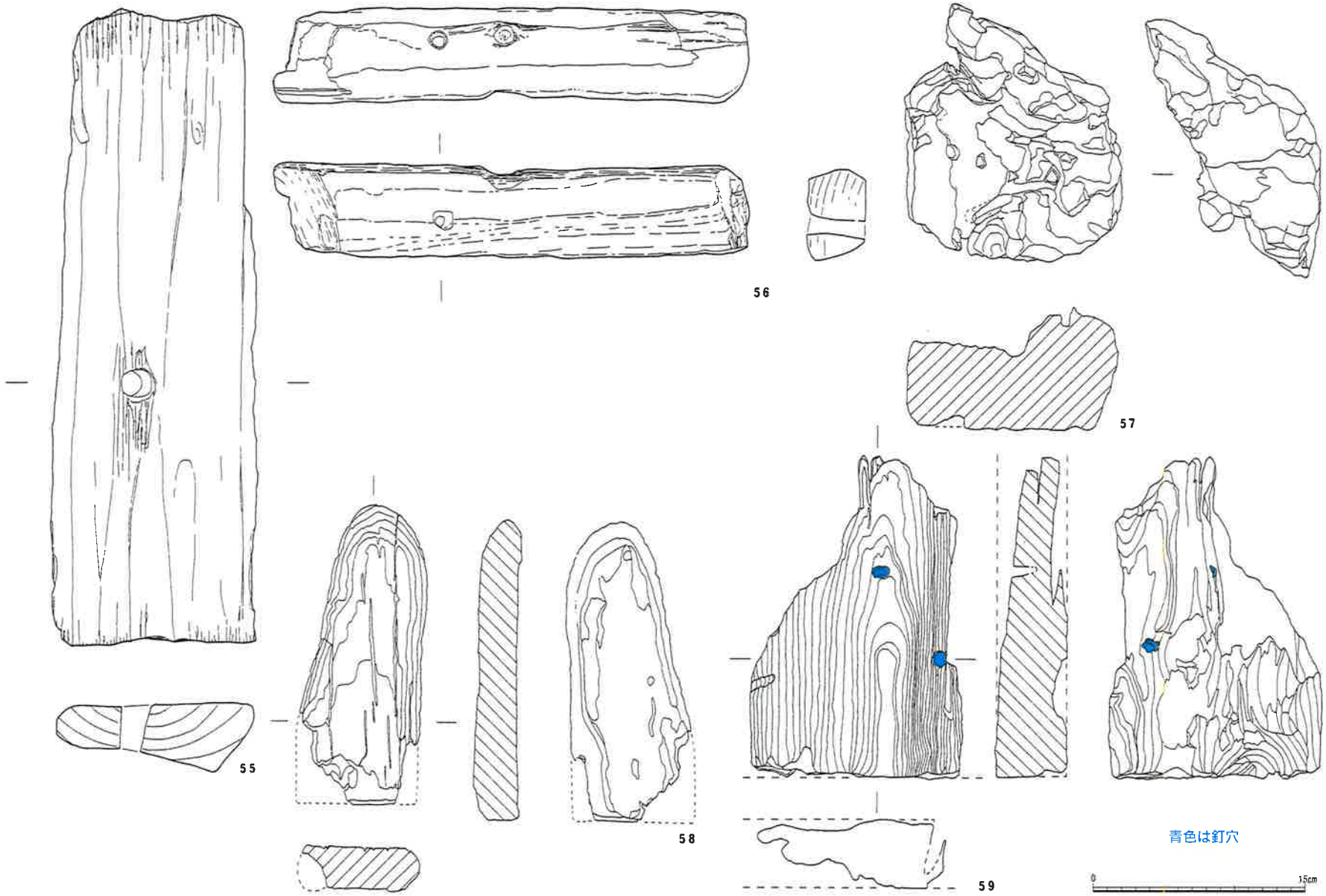
角材

検出された部材の中で、面取りがなされ、厚みと横幅がほぼ同じで柱状をなすものについては角材とした。しかし、四角部がしっかり残っているものは少なく、腐食して丸みをもっているものがほとんどである。そこで、角材の場合、横に寝かせた状態の長軸を長さ、横から見た高さを高さ、上から見た横幅を幅として採寸する。角材には大小様々なものが見られるが、比較的太く、船の構造材として用いられたことが推測される部材と、やや細長めで、船室上屋の構築に用いられたことが推測される部材がある。角材の中で、もっとも幅が大きい部材である**（第70図12）**は概報で「台座（マストステップ）」とされた部材である。現存長132cm、高さ18cm、最大幅30cmを測る。やや曲がりをもつ原材を裁断して、平たく加工した面を作り、両端を切断する。端部の一方はほぼ直角、もう一方は45度の角度を持って切り落とされる。また、45度に切り落とされた端部を上からみると、長軸に対して約75度の角度で斜に切られている。平らな面のほぼ中央近くに斜めに切り込まれた幅８～10cm、深さ５cmの溝が施され、漆喰が残っている。平らな面の背側には中央近くと直角に切り落とされた端部近くに直径約10cm、深さ５cmほどの略方形の角穴が設けられる。直角に切り落とされた端部近くの角穴には

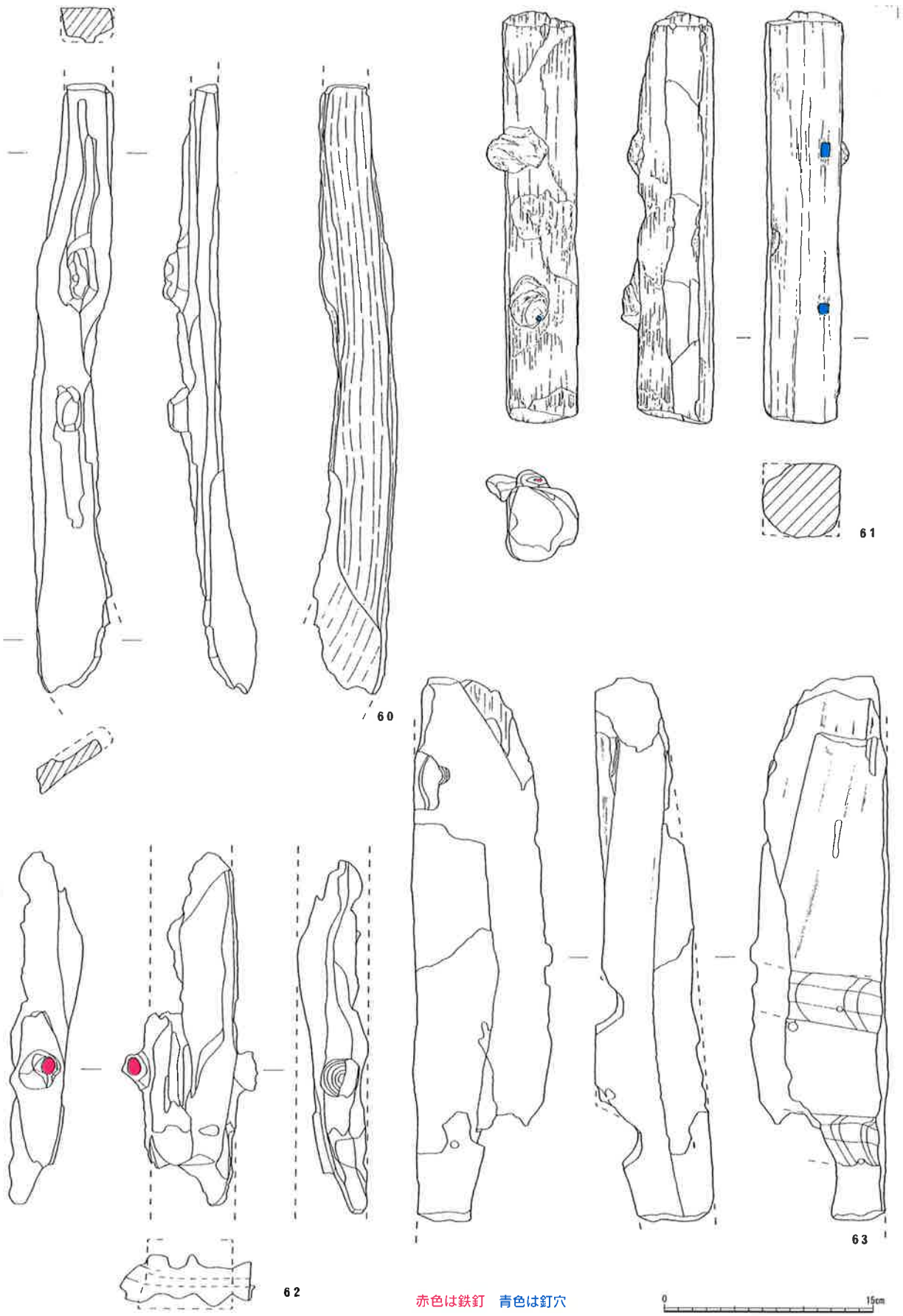
側面から貫通する別の角穴が施されている。概報では平面に見られる角穴をほぞ穴、側面から貫通する角穴を楔の穴と標記する。平面の二つの角穴の間は39cm離れており、その間に15cm×10cmの平行四辺形を呈した平坦面が見られる。概報ではここに帆柱を立て、両脇に位置する二つの角穴にこれを支えるための支柱が設けられていたと理解している。斜に切り落とされた端部に２個所、両側面に１個所ずつ下方に向けた釘痕が残る。**第83図52**も４周が腐蝕して、丸みを持つ。現存長72cm、高さ16cm、幅18cmを測る。平らに据えた上面の中央部が幅約20cmにわたって、弧状をなして凹んでいる。最深部までの深さは４cmである。下辺は両袖部分を約25度の角度で斜に削り上げている。その形状から船底に据えられた部材であると考えられる。**53**は一方の端部が反り上がる部材である。両端部は切り落とされており、現存長70cm、高さ16cmを測る。上面から見ると、反り上がった端部に向けて幅を減じており、太い方の端部で14cm、細い方で11cmほどであったと考えられる。上面の中ほどからやや片寄った位置に幅10cm、深さ３cmほどの溝が掘られる。この溝を側面から見ると、その周辺が２cmほど、掘り凹められている。やはり、その形状から船底に据えられた部材である可能性が高い。**第76図31**と**第82図47**は丸太を半裁した部材であり、年輪の表皮側が腐蝕して丸くなっている。**第76図31**には端部を切断した面が残る。現存長102cm、最大高17cm、最大幅24cmである。切断した端部から約20cmの位置に10cm×８cmほどの貫通する角穴が施される。**第82図47**は両端が折れており、現存長42cm、高さ12cm、最大幅28cmを測る。最大幅が残る部分に上辺から下辺に向けて打たれた釘の痕が残る。**第83図54**と**第77図33**は木口端部が一部観察できる。**第83図54**は現存長49cm、最大高22cm、幅18cm、**第77図33**は現存長60cm、最大高９cm、最大幅18cmである。後者は厚さ９cm、幅18cmの板材と考えた方が良いのかもしれない。**第86図68**はかなり腐蝕しているが、本来は角材であったものと考えられる。現存長44cmを測る。**第77図32**は二つに割れているが、反りを持つ原材を加工した角材である。現在、片側の側面と上端面の一部に平たく加工した面が残る。現存長104cm、高さ最大部で2.2cm、幅最大部で10cmを測る。平たく加工した側面の上端に真横から打ち込んだ釘の痕が約25cmおきに４個所残っている。**第78図36**は切断した木口部が残る角材であり、現存長56cm、高さ６cm、最大幅９cmを測る。切断した木口部から22cmの位置に、長軸方向に４cm、木口方向に３cmの角穴が設けられる。またその近くには幅４cm、奥行２cmで掘り抜いた側縁部の溝もある。角穴と溝はほぼ同じ方向に設けられている。**第79図40**と**第85図63**は下辺部に反りをもつ角材である。前者は現存長42cm、最大高９cm、幅５cmを測る。平らに加工された下辺を据えると、反りの角度は約20度となる。また、反りがないもう一方の端部には深さ４cmほどの溝が切られており、ここから折れている。上辺から下辺に向けて打たれた釘の痕跡が数個所残る。後者は現存長39cm、最大高10cmであり、幅は一方が太く８cmと４cmほどである。幅の太い側の側面の上辺から下辺に向けて、幅４cmほどの断面円形の溝が掘られている。**第75図28・第86図64・第75図26・第85図60・第75図25・第61図６・第74図24**は細長い角材とした資料である。この中で、**第75図26・第75図25・第75図24**には釘の痕が残る。**第75図26**は現存長83cm、高さ６cm、幅６cmであり、木口の一端に切断痕が残る。20cmおよび25cmの間隔を空けて、釘痕が３個所確認される。**第75図25**は現存長90cm、高さ、幅とも約４cmであり、やはり木口の一端が切断されている。ほぼ18cm間隔に釘痕が



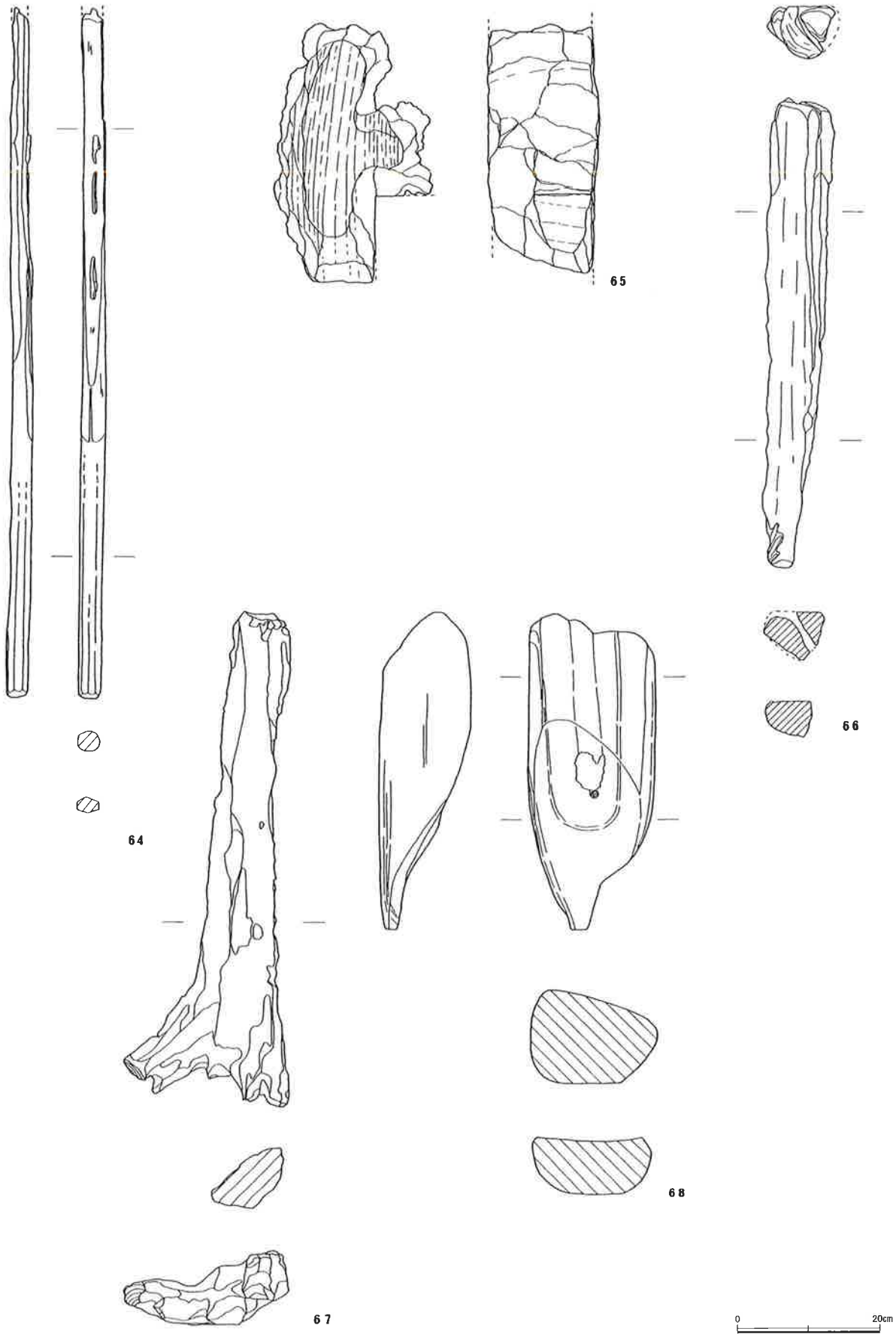

第83図　出土遺物木製品⑯（1/8）



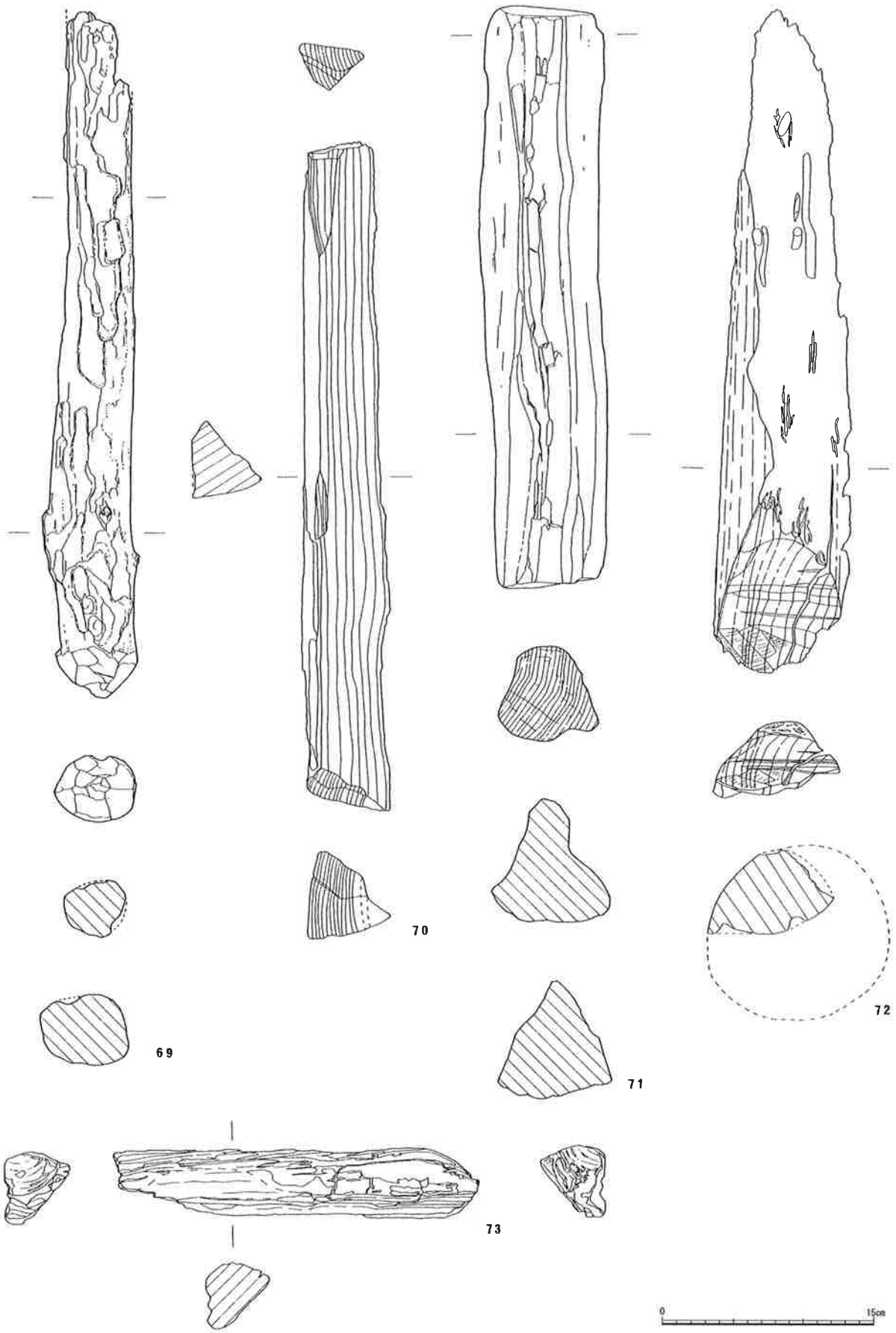

第84図　出土遺物木製品⑰（1/4）



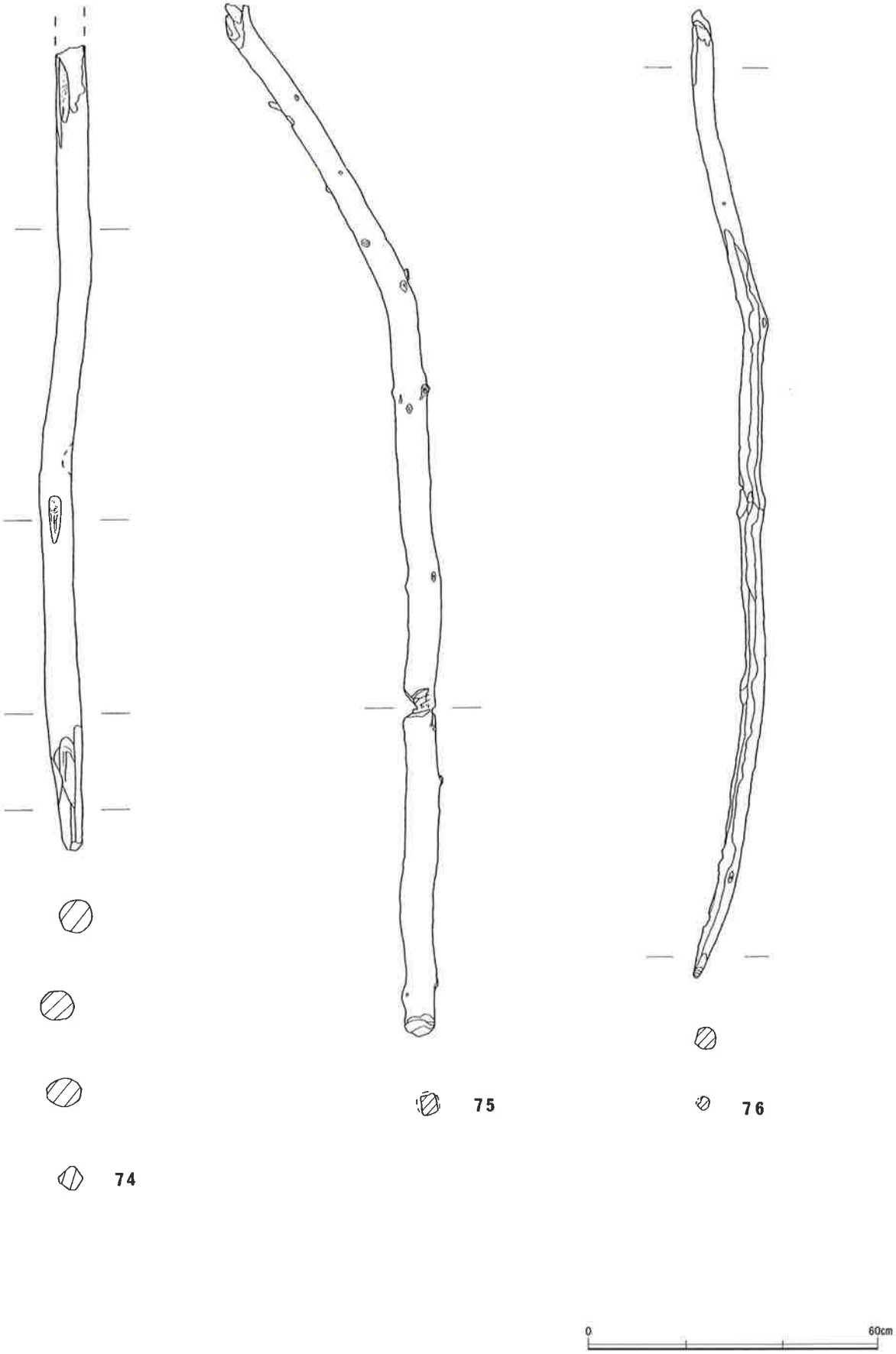

第85図　出土遺物木製品⑱（1/4）



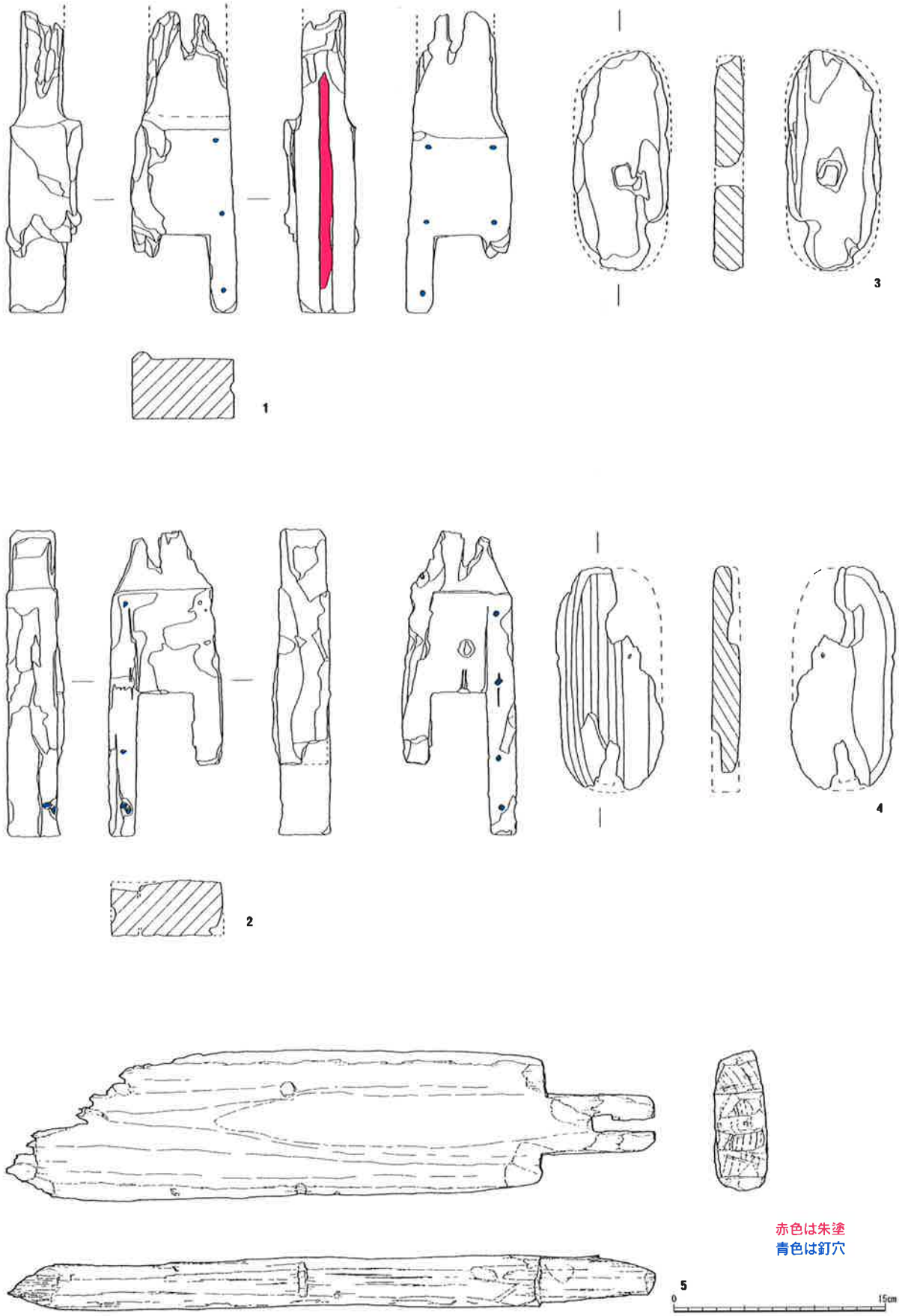

第86図　出土遺物木製品⑲（1/8）




第87図　出土遺物木製品⑳（1/4）




第88図　出土遺物木製品㉑（1/12）



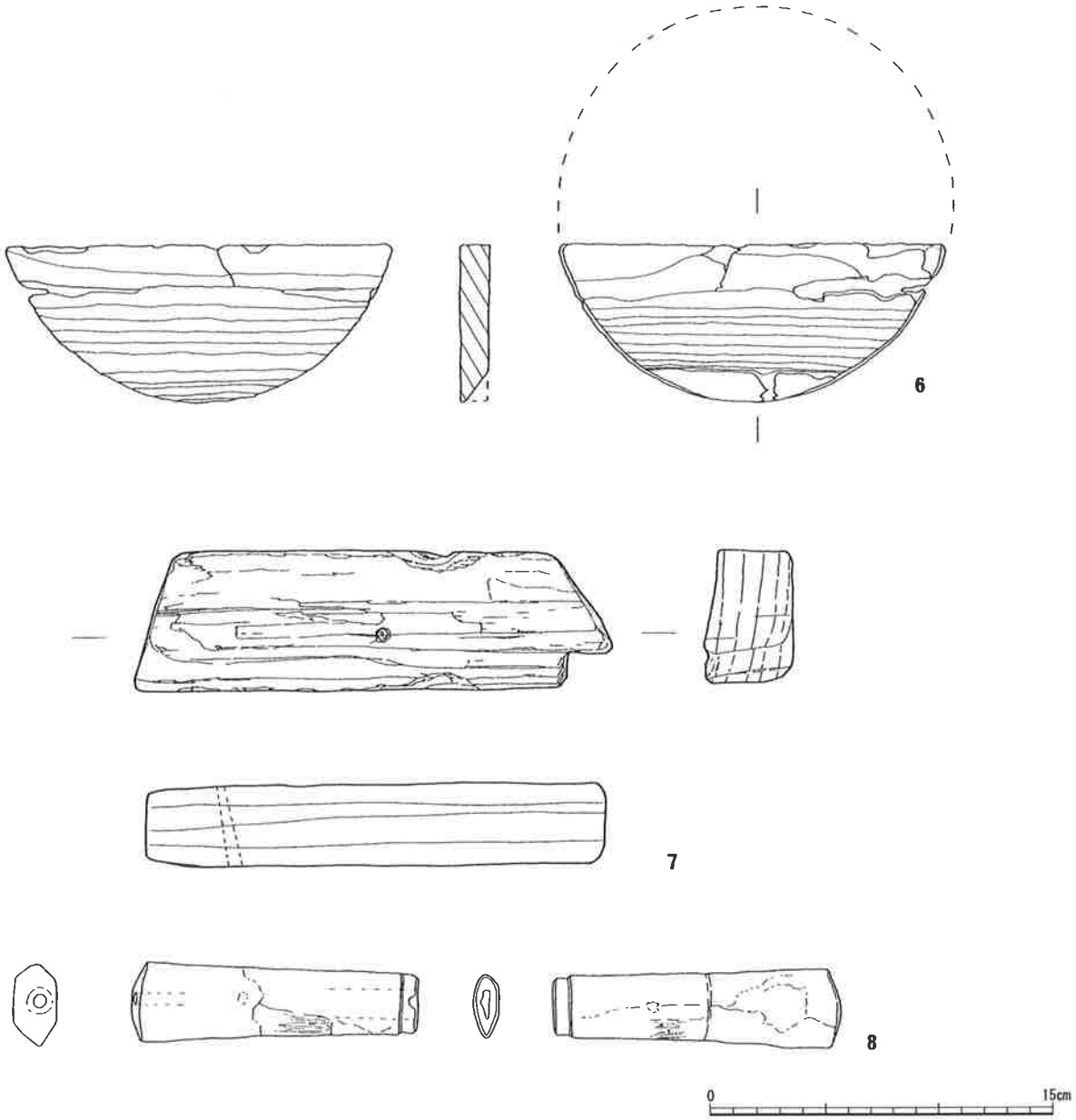

第89図　出土遺物木製品㉒（1/4）

残る。**第75図24**は二つに折れているが、現存長86cm、幅６cm、高さ４cmの角材である。長手の方向に６本の釘痕が見られる。その他の**第70図13・第61図６**は、それぞれ現存長96cm、74cmを測る。前者は３cm角、後者には矢束が付着する。**第75図28**と**第85図60**はそれぞれ64cm、43cmが現存する。前者は６cm×８cmほどの角材と考えられるが、後者は腐蝕が激しく、良くわからない。**第70図13**は現存長182cm、現存最大幅17cm、厚さ最大部13cmの角材である。両端には切断した痕が見られ、一方は四角に他方はやや角を丸めて作られる。また、長辺の一辺には四角く仕上げられた端部から、75cmの位置に段が付けられ、ここから幅を増した状況が確認される。この段は片方だけに施されていたものではなく、左右対象に施されていたものと考えられる。この想定に基づいて、復元すると、本資料は幅10cm、厚さ５cmの端部から次第に幅と厚さを増し、75cmのところで幅13cm、厚さ10cmとなり、ここで幅を左右に４cm広げて約20cm幅とするとともに、厚さも13cmまで増すように加工した部材となる。四角く仕上げられた端部から58cmの位置には長軸方向５cm、短軸方向４cmの角穴が穿たれ、幅約20cm、厚さ13cmで、角を丸めに仕上げられた端部から10cmの位置にも、長軸方向10cm、短軸方向８cmほどの隅丸方形の穴が穿たれていたと推測される。このような形状から見て、舵などに付属する部材の可能性が高い。

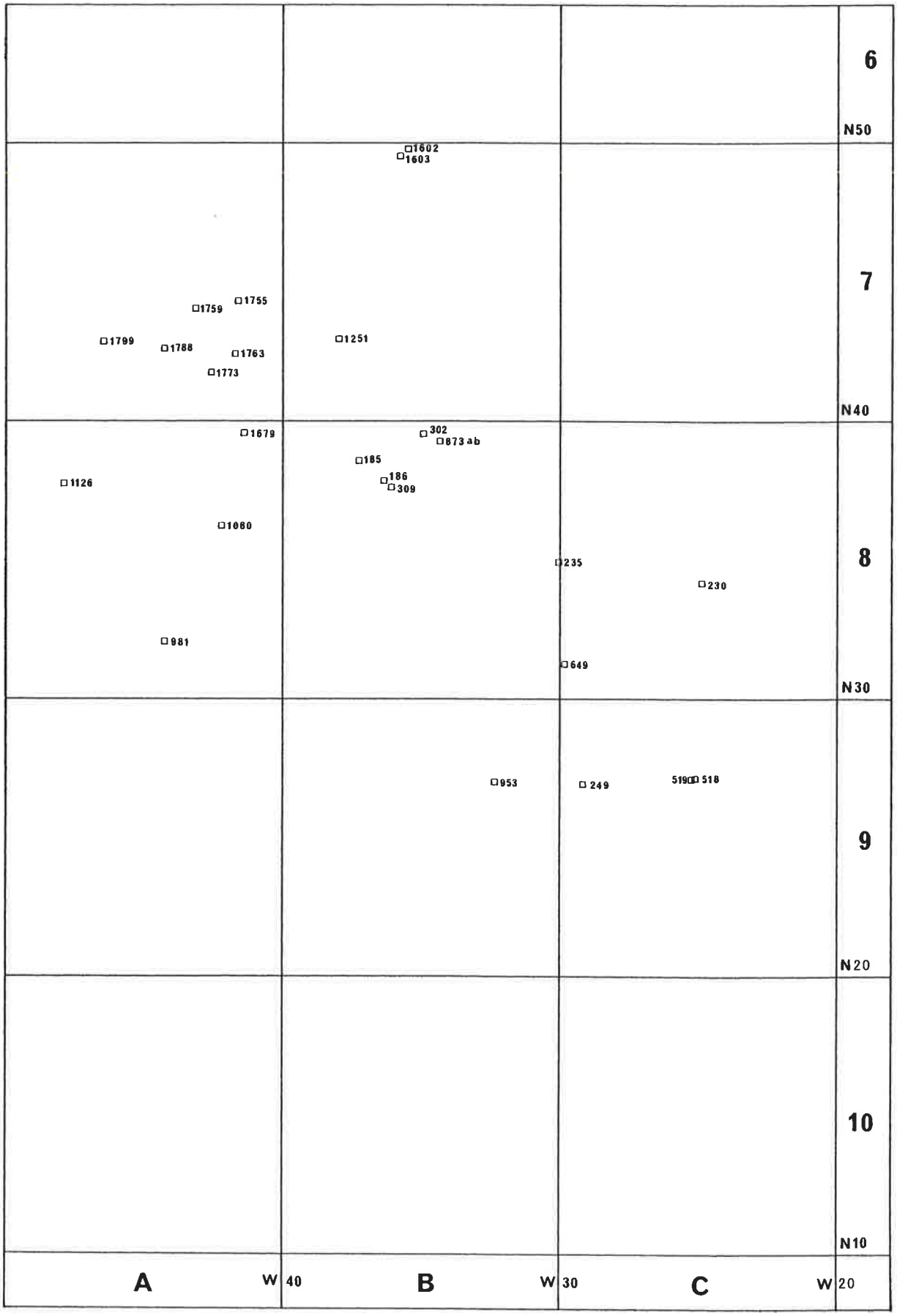
丸太材としたものは、**第73図15・第77図35・第69図４**の３点である。板材や角材に比べて、数が少ない。また、このことは原形が角材であったものが、年輪に添って腐蝕が進み、現況では丸太材に見えるようになった可能性も示すものと考えられる。**第69図４**は現存長284cmを測る。木口部の一方に切断した痕跡が残り、他方は欠損によって次第に細くなる。切断痕が残る木口部分の直径は18cm余りで、ここから28cmほどの位置に長軸方向10cm、短軸方向８cmの角穴が穿たれる。また、木口から130cmの位置にも長軸方向10cm、短軸方向５cmの角穴が施されている。角穴の穿たれた面は同一軸線上にあるが、穴の方向は前後左右に少しずつずれている。**第73図15**は現存長171cm、最大径16cmを測る。両端に加工の痕が見られず、ねじれがあり、断面径も楕円形を呈する。釘を打った痕跡はない。梁材として用いた可能性が高い。**第77図35**は現存長80cm、最大直径15cmを測る。やはり、両端に加工痕が認められず、ねじれている。釘を打った痕跡もない。本材も梁材として用いられていたものと考えられる。**第88図74・75**は自然木と思われるが、端部や途中に切断痕を持つ。**第88図75**は現存長220cmあまりで、最大径は６cmほどである。根元部分と根元から65cmほどの位置に切断痕がある。**第88図74**は現存長200cmあまりで、最大径は４cmほどである。根元に切断痕が残る。元船に関係するものか良くわからないが、石碇を固定するための木材や、薪材として使用された可能性があることから例示した。

以上、木材について、板材、角材、丸太材に分けて、例示してきたが、板材、角材に比べて、丸太材は少なかった。これは大量の出土木材の中から、加工痕のある部材を選択的に実測した結果、丸太材が少ない傾向を持ったことも考えられる。これについては、実測図の作成を終えていない部材を含めた検討によって、その数量が変化する可能性をもつ。また、板材については、厚さに規格が認められることが明らかとなった。すなわち、ほぼ３cmを目安とする単位にまとまりが見られる。このことは船材の調達と使用に関して、一定の尺度を用いていたことを示している。ただし、今回例示した部材は水中で保管されていることから、ミリ単位の尺度まで検討するには無理がある。ここでは３cm単

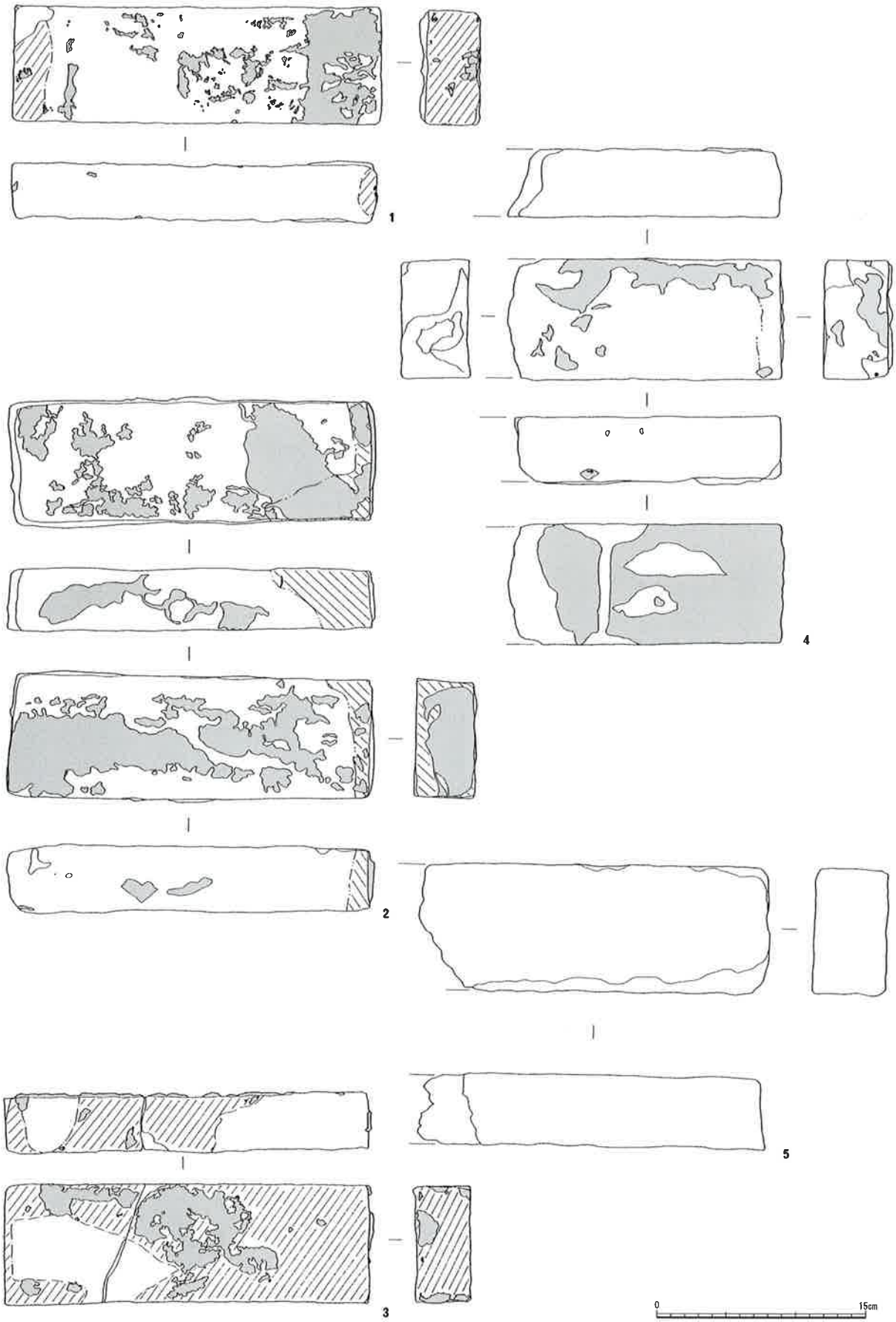
位の尺度が存在したことを指摘するに留めておきたい。なお、角材については、この尺度を前提とした記載を行なわなかった。しかし、角材でも同様の尺度が用いられていたことが推測され、これについては、今後の追加資料を待って検討を加えたい。次いで、各部材の使用部位については、概報での比定を含めて、ある程度の推定が可能であった。しかし、当時の船舶構造に関する情報が断片的であり、推定された部位を確定するにはいたっていない。これについても、本報告で掲載した部材に関する個別情報と、全体情報を踏まえながら、類例資料を求め、確定して行く作業を進めているところである。これらについては、あらためて報告の機会を持ちたい。



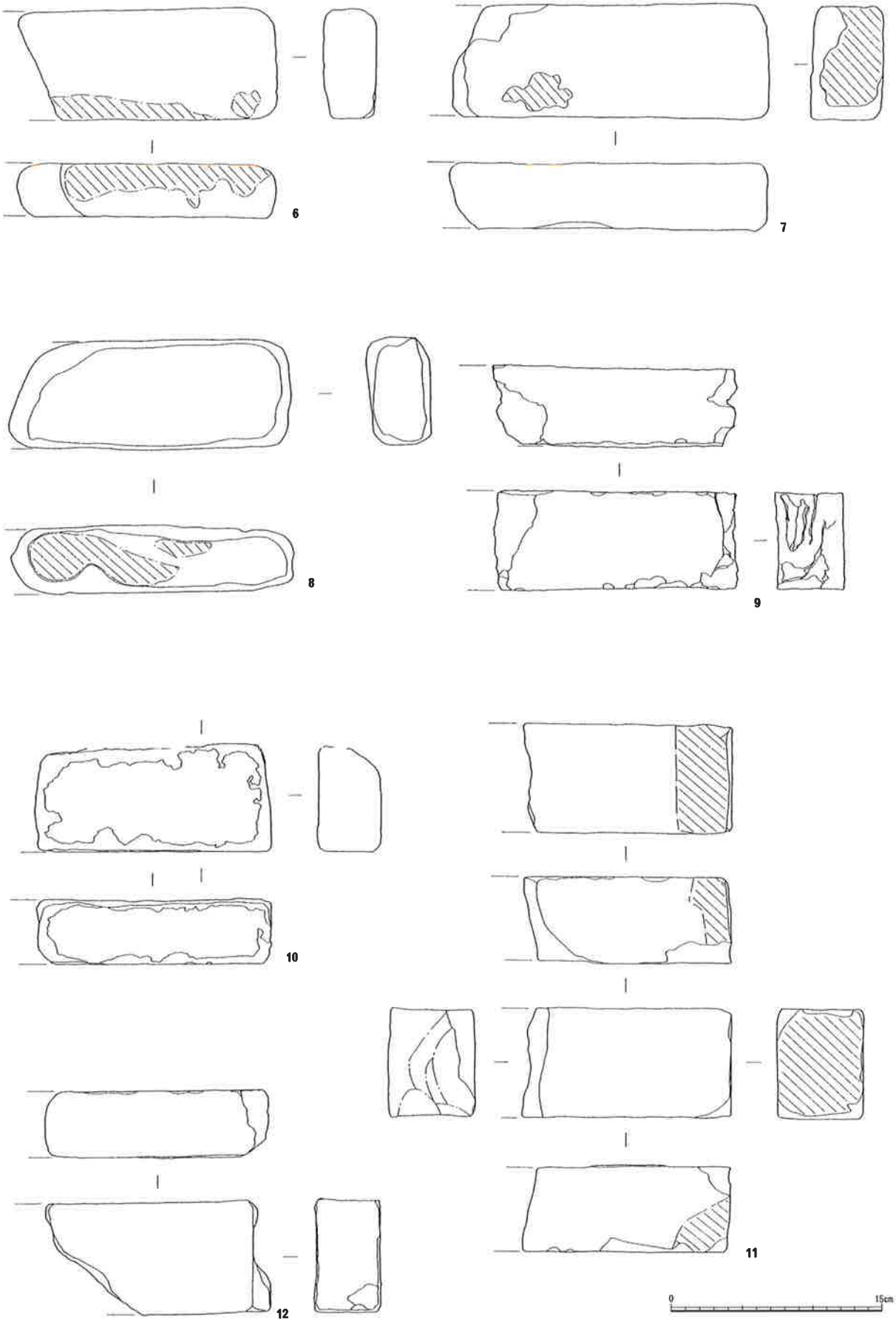

**第90図　出土遺物木製品㉓（1/3）**



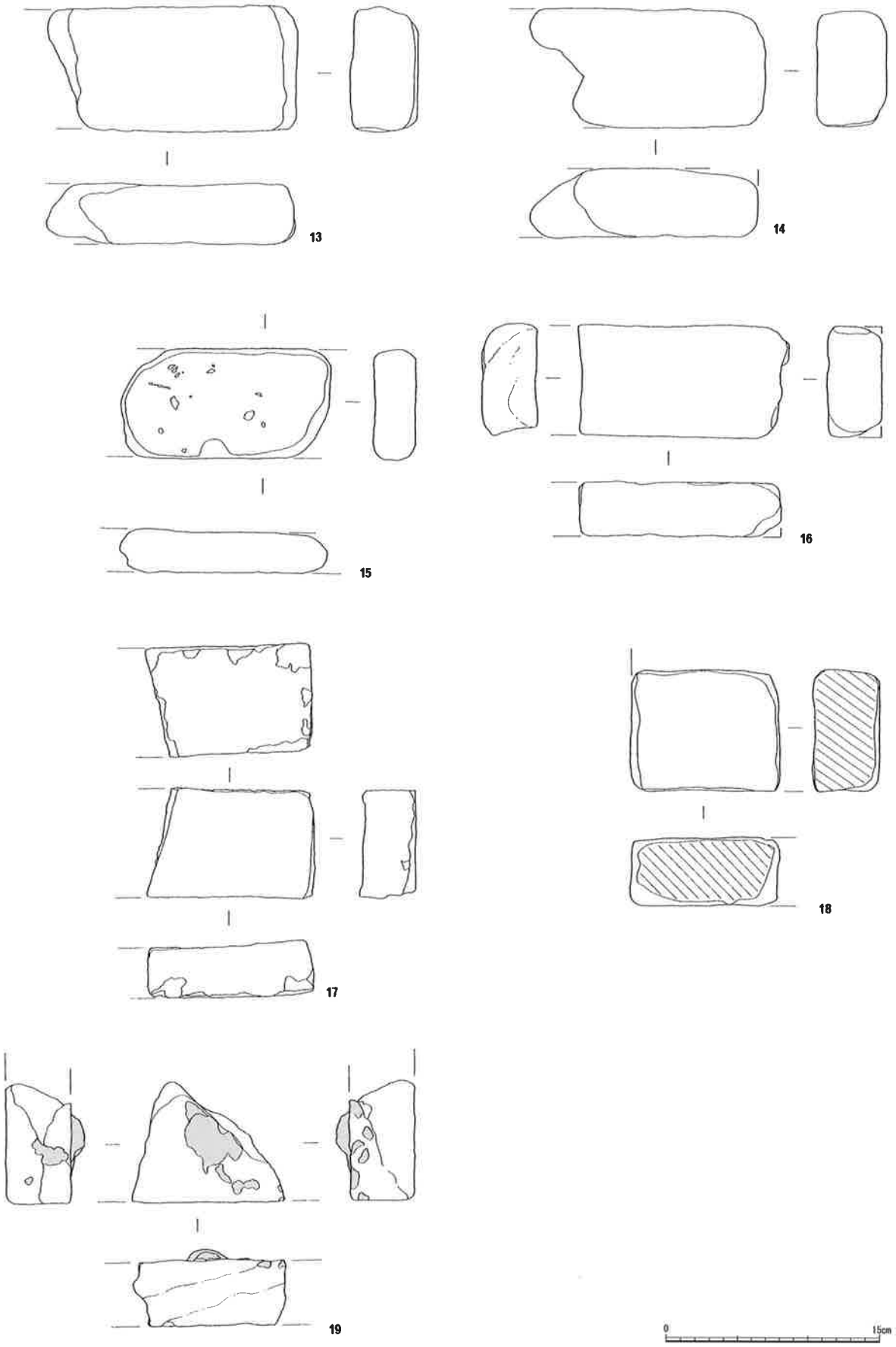

第91図　磚出土状況図（1/20）



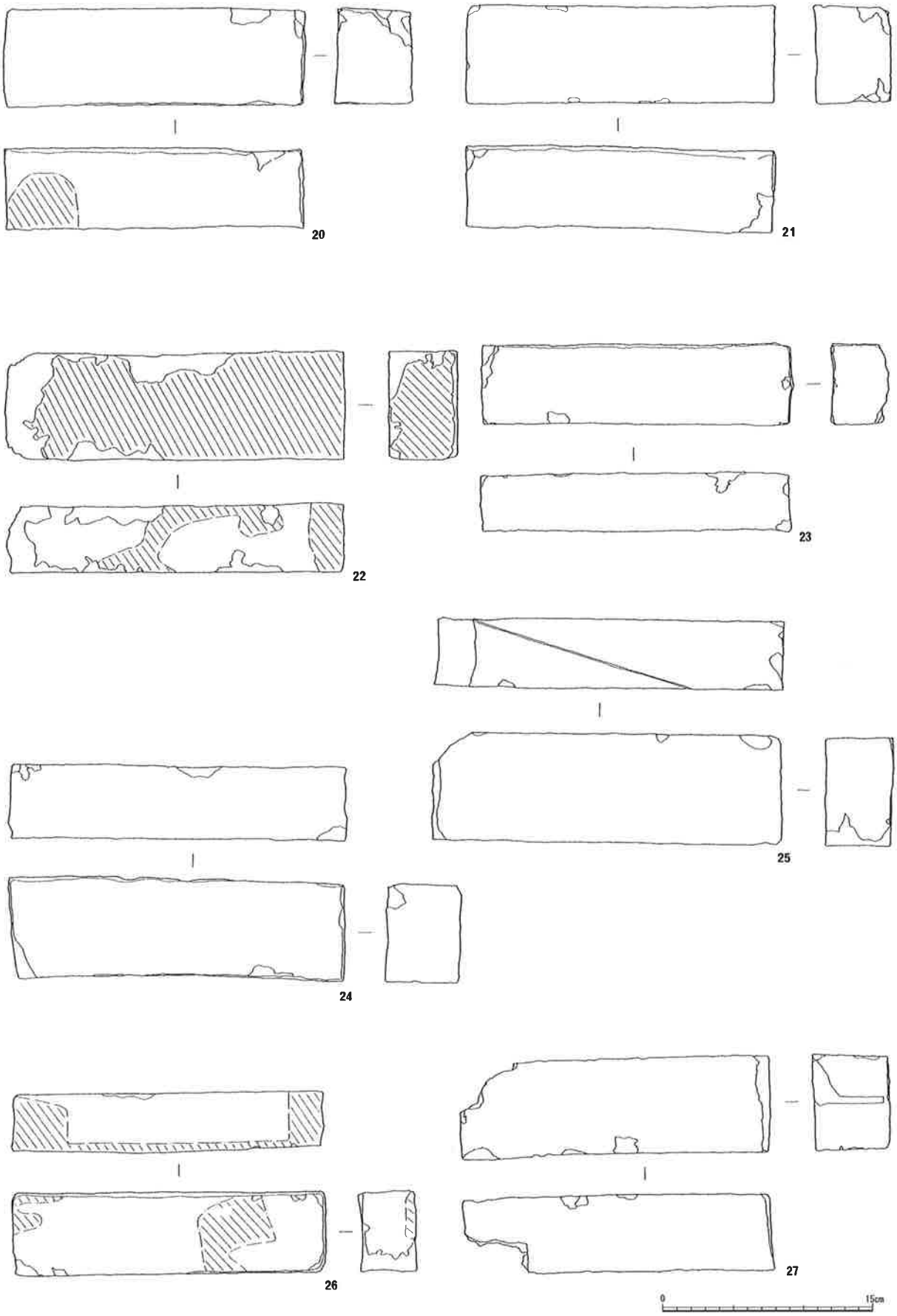

第92図　出土遺物磚①（1/4）



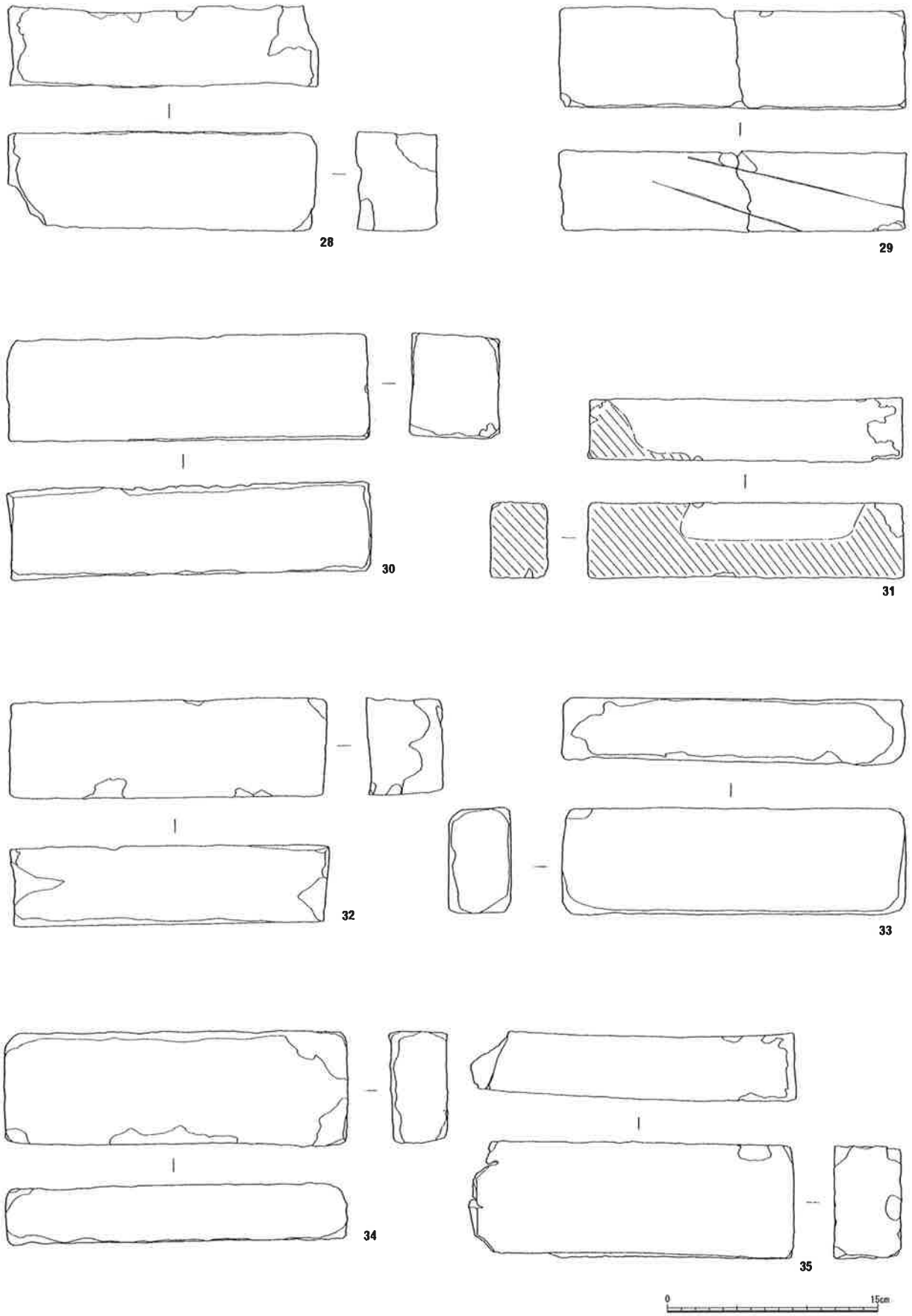

第93図　出土遺物磚②（1/4）



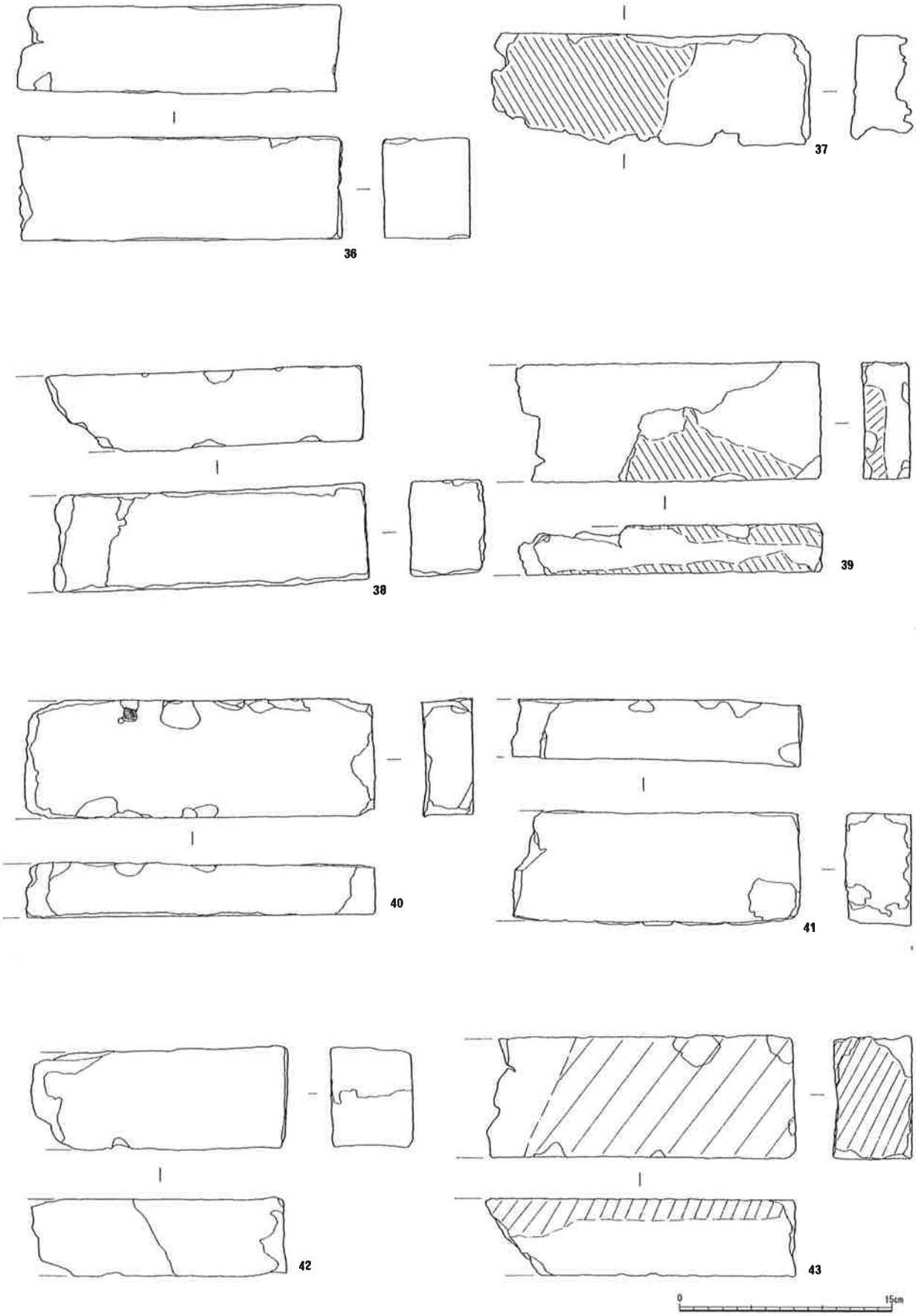

第94図　出土遺物磚③（1/4）



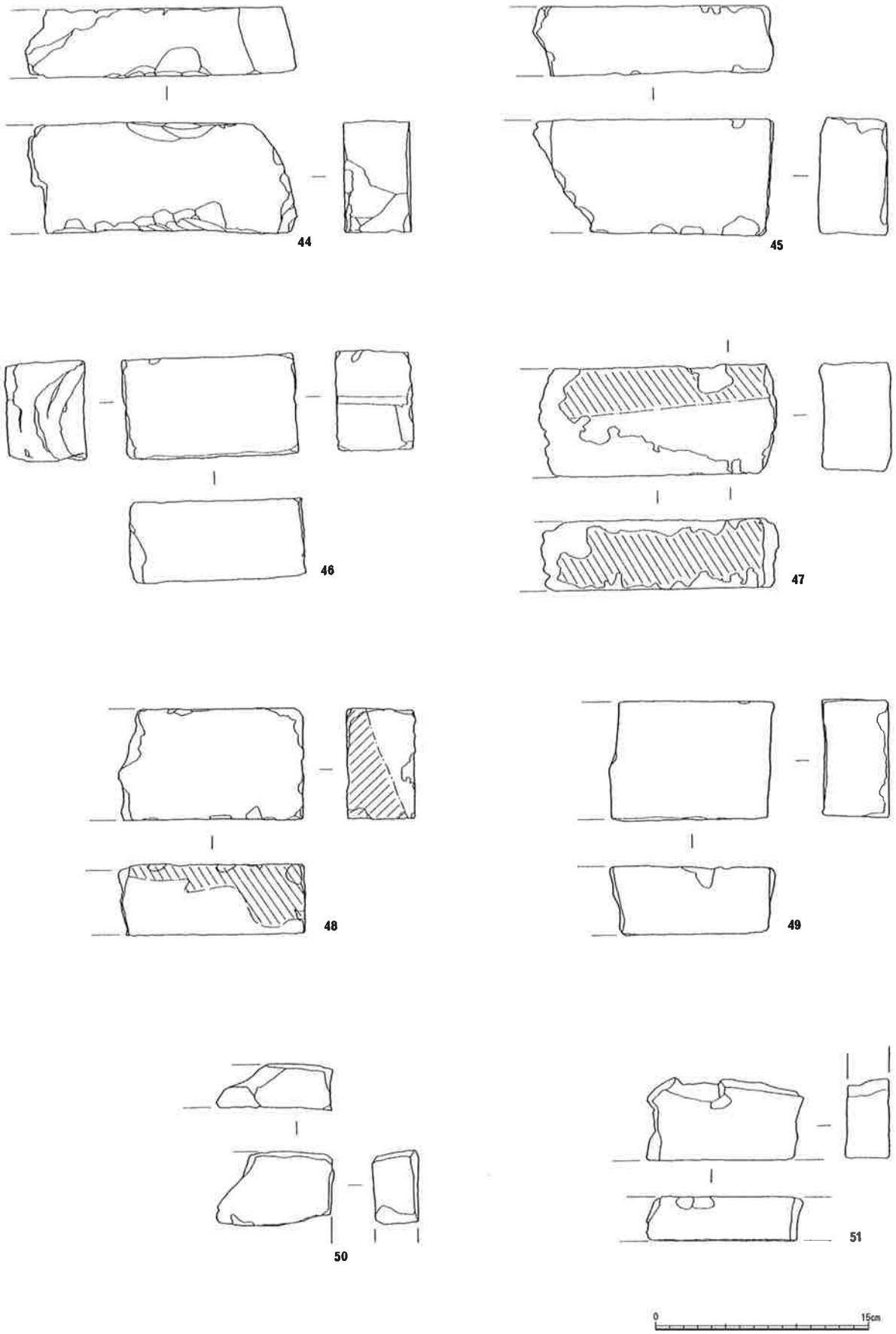

第95図　出土遺物磚④（1/4）



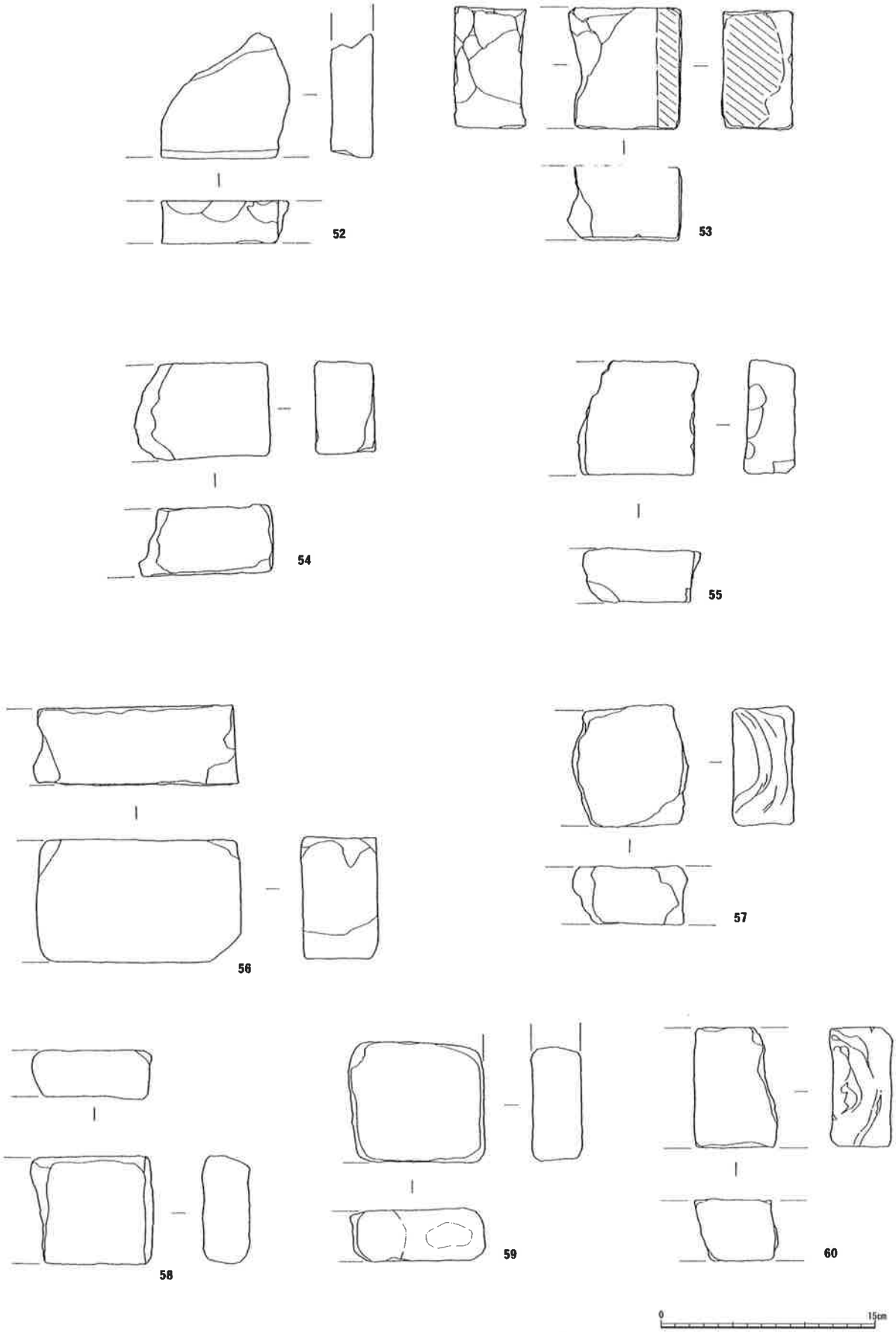

第96図　出土遺物磚⑤（1/4）



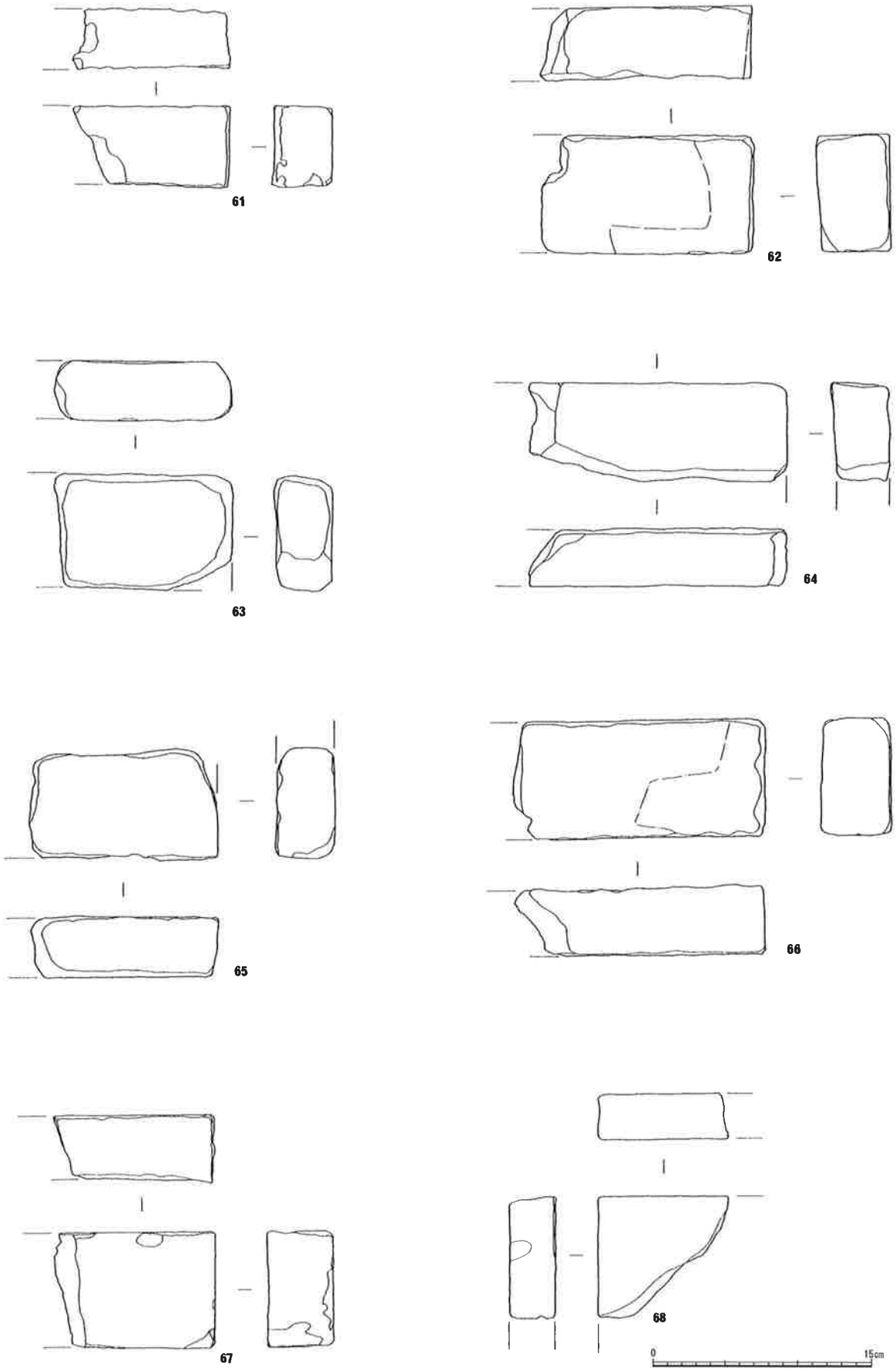

第97図　出土遺物磚⑥（1/4）




第98図　出土遺物磚⑦（1/4）




第99図　出土遺物磚⑧（1/4）

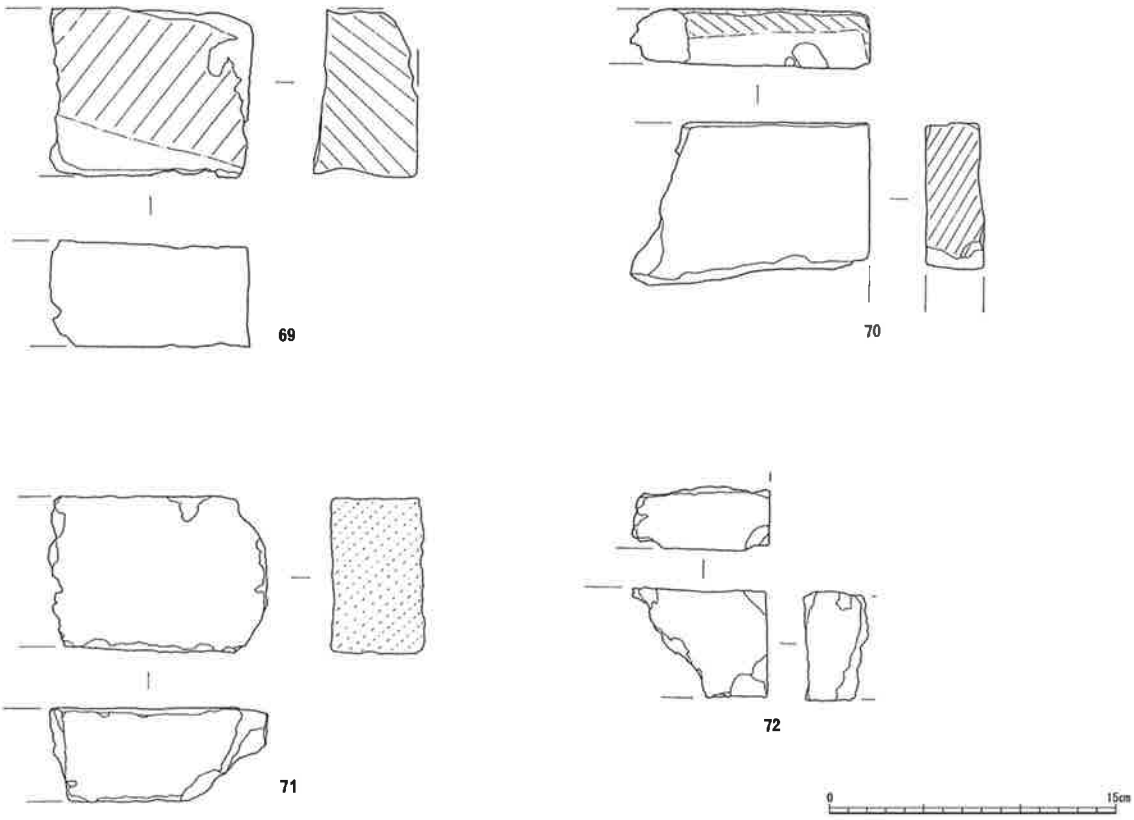



第100図　出土遺物磚⑨（1/4）

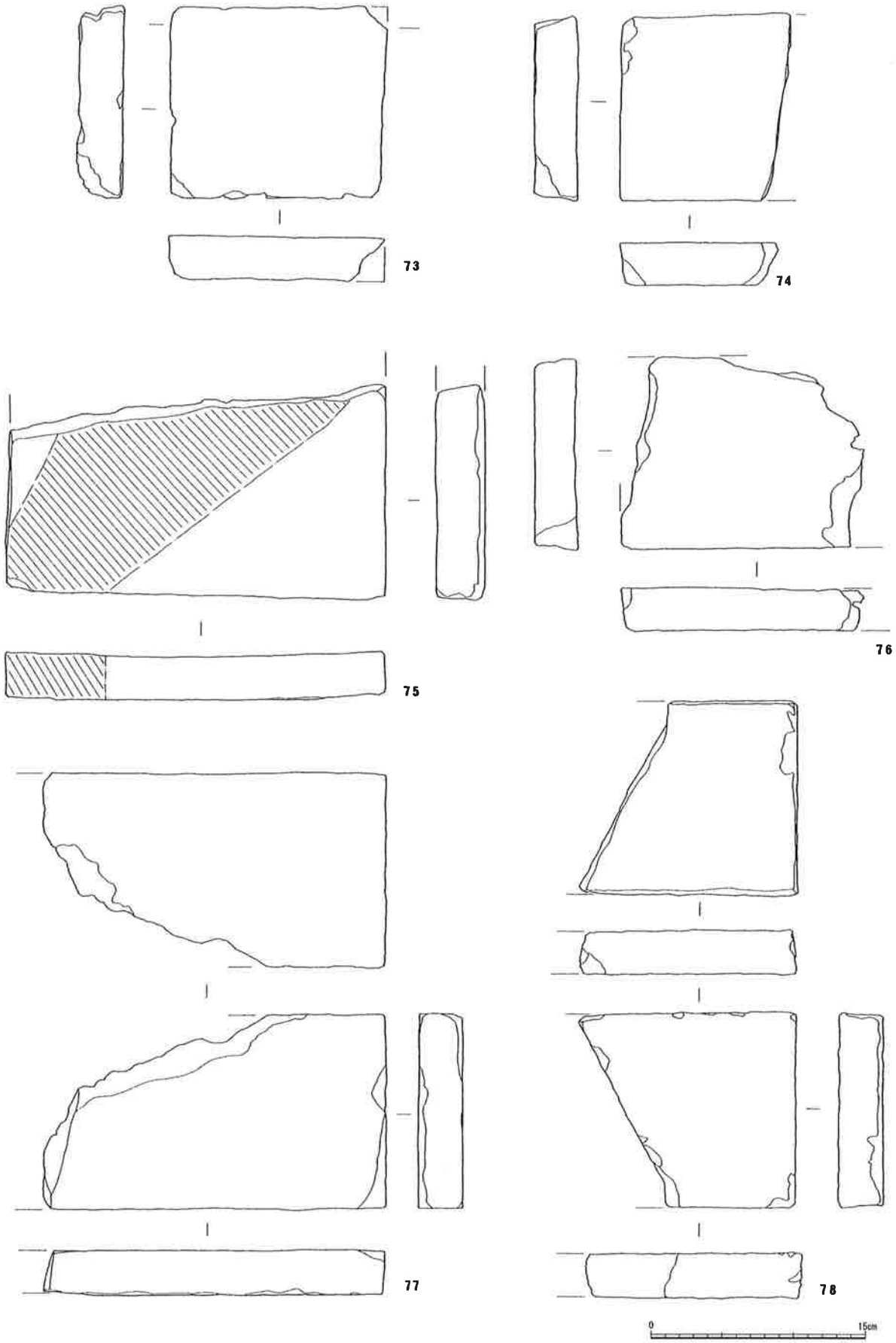
## ９．　磚・瓦（第91図～第106図）

### 磚

床浪地区の調査で出土した遺物に磚がある。磚は粘土を長方形の板枠に入れて整形し、窯で焼いたものである。製作にあたっては数種類の型枠があったものと思われる。高野晋司氏により、磚の幅と厚さからⅠ～Ⅲ類まで分類が試みられている。Ⅰ類は幅が８㎝前後と狭く、厚さが６㎝程と方形に近い厚みがあるもので、推定重量が１㎏。Ⅱ類は幅が15㎝以上で、厚さも５㎝から６㎝程のもので、推定重量が２㎏。Ⅲ類は幅が10㎝から15㎝の中間で厚みが３㎝から4.5㎝の厚みをもつもので、推定重量が2.5㎏である。鷹島海底遺跡において磚の出土に関しては、平成元年度の床浪地区の緊急調査で８点、神崎地区では平成９年度の目視調査で３点、平成10年度の目視調査で４点、平成11年度の目視調査でも４点、平成12年度の範囲確認調査で21点、平成12年度の緊急調査で１点、平成13・14年度の緊急調査で82点（本報告）、平成14年度の確認調査で１点、平成15年度の確認調査で３点、平成16年度の確認調査で１点、合計128点が現在まで出土している。この磚の用途としては、船底に大量に置いて船体のバランスを取るためのバラストとして使用されたと考えられていたが、磚の出土状況が集中しての発見ではなく、また、出土量も大量ではないため現在のところはバラストとして使用したことを証明することは難しいようである。今回の調査で出土した82点の磚を詳細に観察していくと、漆喰が表面に付着しているもの５点（▨で標記）及び炭化物が付着しているもの20点（斜線で標記）、そのうち漆喰と炭化物の両方が付着しているものは３点であった。これらを厚さと幅に関して観てみると大きく幅が６㎝以下で厚さが５㎝以下の第1グループ、幅が７㎝～9.5㎝で厚さが３㎝～6.5㎝の第




第101図　出土遺物磚⑩（1/4）

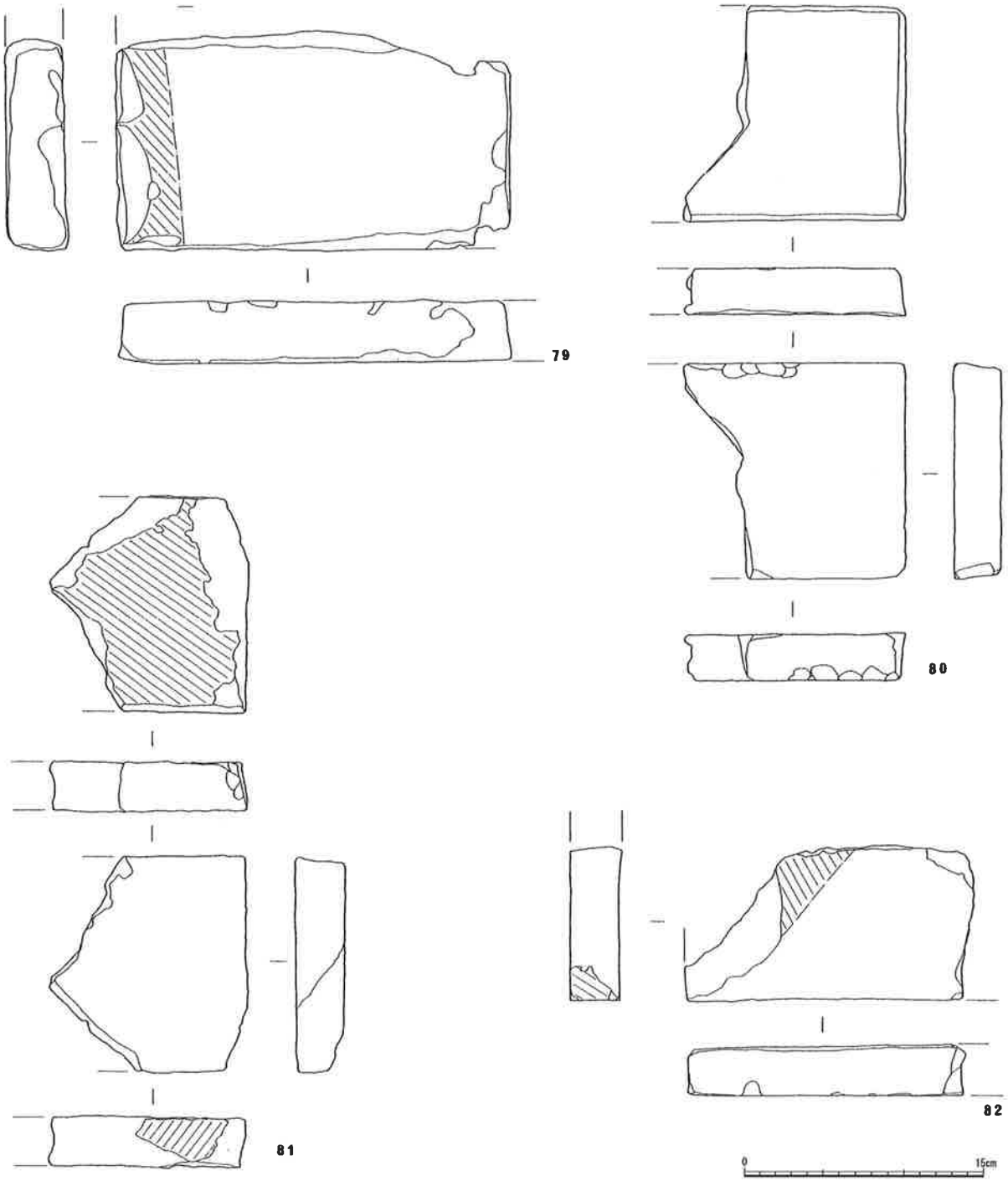



第102図　出土遺物磚⑪（1/4）

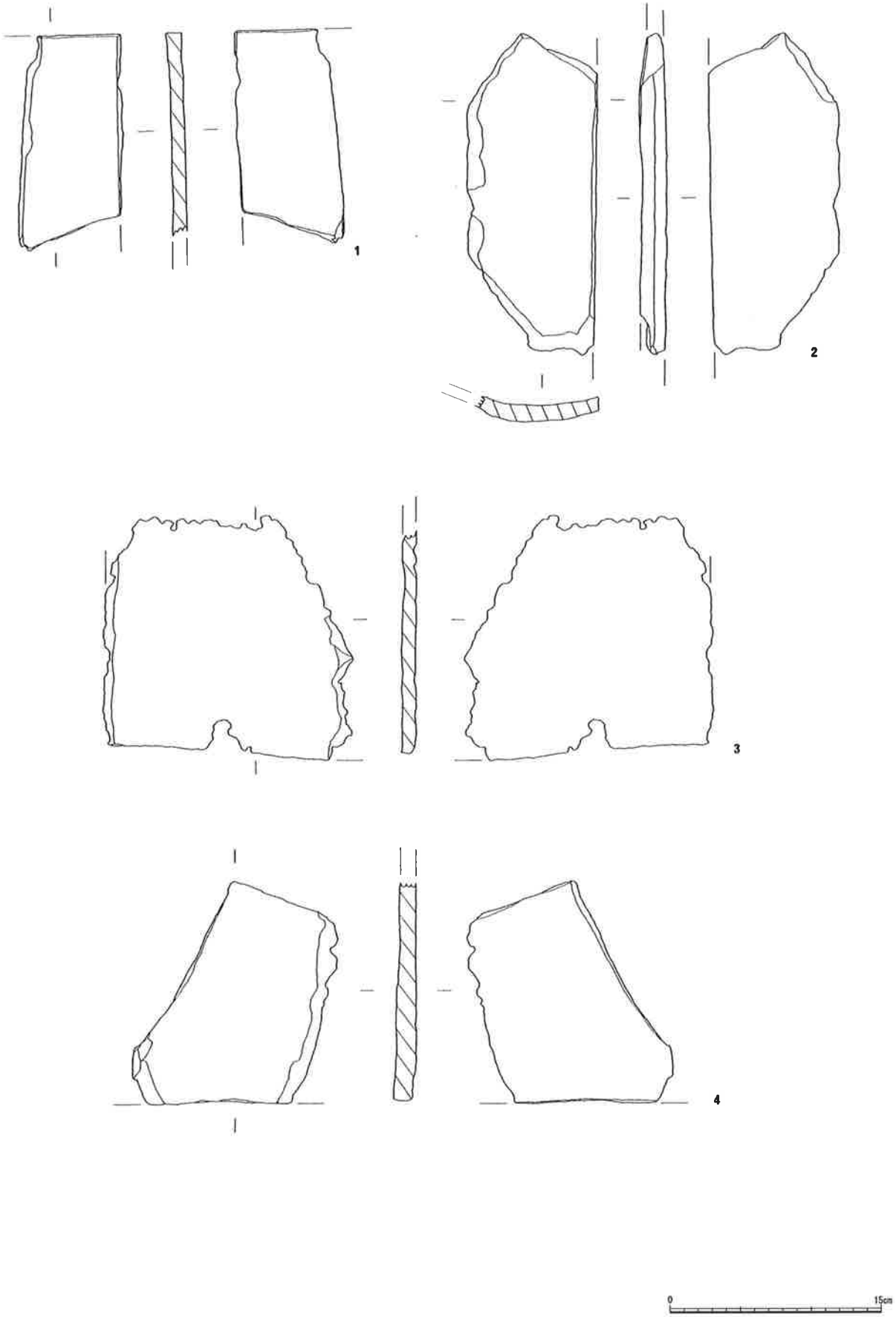
## 表２　出土磚計測表

| 挿図番号 | 遺物番号 | 残存率 | 長さ(cm) | 幅(cm) | 厚さ(cm) | 現存重量(g) | 備　　考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 第92図１ | 249 | 完形 | 26.3 | 8.5 | 4.4 | 1265 | 漆喰・炭化物付着 |
| 第92図２ | 873-a | 完形 | 26.2 | 9.4 | 4.8 | 1500 | 漆喰・炭化物付着 |
| 第92図３ | 518・519 | 完形 | 26.3 | 8.8 | 4.3 | 1289 | 漆喰・炭化物付着 |
| 第92図４ | 873-b | 3/4 | 19.7＋α | 8.5 | 4.9 | 1050 | 漆喰付着 |
| 第92図５ | 981 | 3/4 | 25.2＋α | 9.2 | 5.2 | 1600 | |
| 第93図６ | 1603 | 3/4 | 18.1＋α | 8.2 | 3.8 | 725 | 炭化物付着 |
| 第93図７ | 1251 | 3/4 | 22.7＋α | 8.4 | 5.3 | 1200 | 炭化物付着 |
| 第93図８ | 953 | 3/4 | 20.3＋α | 7.9 | 4.5 | 950 | 炭化物付着 |
| 第93図９ | 230 | 1/2 | 17.5＋α | 7.3 | 6.0 | 885 | |
| 第93図10 | 185 | 1/2 | 16.9＋α | 12.7 | 4.7 | 790 | |
| 第93図11 | 1602 | 1/2 | 15.0＋α | 7.9 | 6.2 | 1100 | 炭化物付着 |
| 第93図12 | 186 | 1/2 | 16.0＋α | 8.1 | 4.8 | 710 | |
| 第94図13 | 1759 | 1/2 | 17.6＋α | 9.0 | 4.7 | 855 | |
| 第94図14 | 1773 | 1/2 | 16.5＋α | 8.4 | 4.9 | 705 | 炭化物付着 |
| 第94図15 | 302 | 1/2 | 14.7＋α | 7.7 | 3.0 | 469 | |
| 第94図16 | 649 | 1/2 | 14.7＋α | 7.9 | 3.8 | 610 | |
| 第94図17 | 235 | 1/4 | 11.8＋α | 7.9 | 3.9 | 560 | |
| 第94図18 | 1788 | 1/2 | 10.5＋α | 8.5 | 4.7 | 525 | 炭化物付着 |
| 第94図19 | 1080 | 1/4 | 10.8＋α | 8.4＋α | 4.5 | 340 | 漆喰付着 |
| 第95図20 | Ｈ１－a | 完形 | 21.7 | 7.0 | 5.8 | 1320 | 炭化物付着 |
| 第95図21 | Ｈ２－a | 完形 | 22.1 | 7.1 | 6.3 | 1390 | |
| 第95図22 | Ｈ２－b | ほぼ完形 | 24.4 | 7.8 | 4.9 | 1183 | 炭化物付着 |
| 第95図23 | Ｈ３－a | ほぼ完形 | 22.3 | 6.0 | 4.3 | 810 | |
| 第95図24 | Ｈ３－b | 完形 | 24.2 | 7.5 | 5.5 | 1595 | |
| 第95図25 | H24-a | ほぼ完形 | 25.0 | 7.9 | 5.0 | 1430 | 沈線あり |
| 第95図26 | Ｈ５－d | 完形 | 22.6 | 6.0 | 4.2 | 740 | 炭化物付着 |
| 第95図27 | H17 | ほぼ完形 | 22.2 | 7.2 | 5.6 | 1160 | |
| 第96図28 | H18-a | ほぼ完形 | 21.9 | 7.1 | 5.8 | 1208 | |
| 第96図29 | Ｈ３－d | 完形 | 24.6 | 7.4 | 5.8 | 820＋775 | 接合資料 |
| 第96図30 | H25 | 完形 | 25.8 | 6.8 | 7.6 | 1750 | |
| 第96図31 | H29 | 完形 | 22.4 | 5.5 | 4.7 | 767 | 炭化物付着 |
| 第96図32 | H30 | 完形 | 22.5 | 7.1 | 5.7 | 1332 | |
| 第96図33 | 北トレ一括a | ほぼ完形 | 24.4 | 7.7 | 4.7 | 1170 | |
| 第96図34 | 北側浚渫② | ほぼ完形 | 24.3 | 8.4 | 4.2 | 1140 | |
| 第96図35 | Ｈ２－c | 3/4 | 23.1＋α | 8.3 | 4.9 | 1230 | |
| 第97図36 | Ｈ１－b | 3/4 | 23.1＋α | 7.5 | 6.2 | 1675 | |
| 第97図37 | Ｈ２－g | 3/4 | 22.6＋α | 8.0＋α | 4.5＋α | 750 | |
| 第97図38 | Ｈ３－c | 3/4 | 22.4＋α | 7.0 | 5.7 | 1225 | |
| 第97図39 | Ｈ５－f | 3/4 | 21.5＋α | 8.5 | 3.5 | 730 | 炭化物付着 |
| 第97図40 | H13 | 3/4 | 25.0＋α | 8.4 | 3.9 | 1080 | 胎土に磁器片混入 |
| 第97図41 | H19 | 3/4 | 20.5＋α | 8.2 | 4.7 | 1025 | |

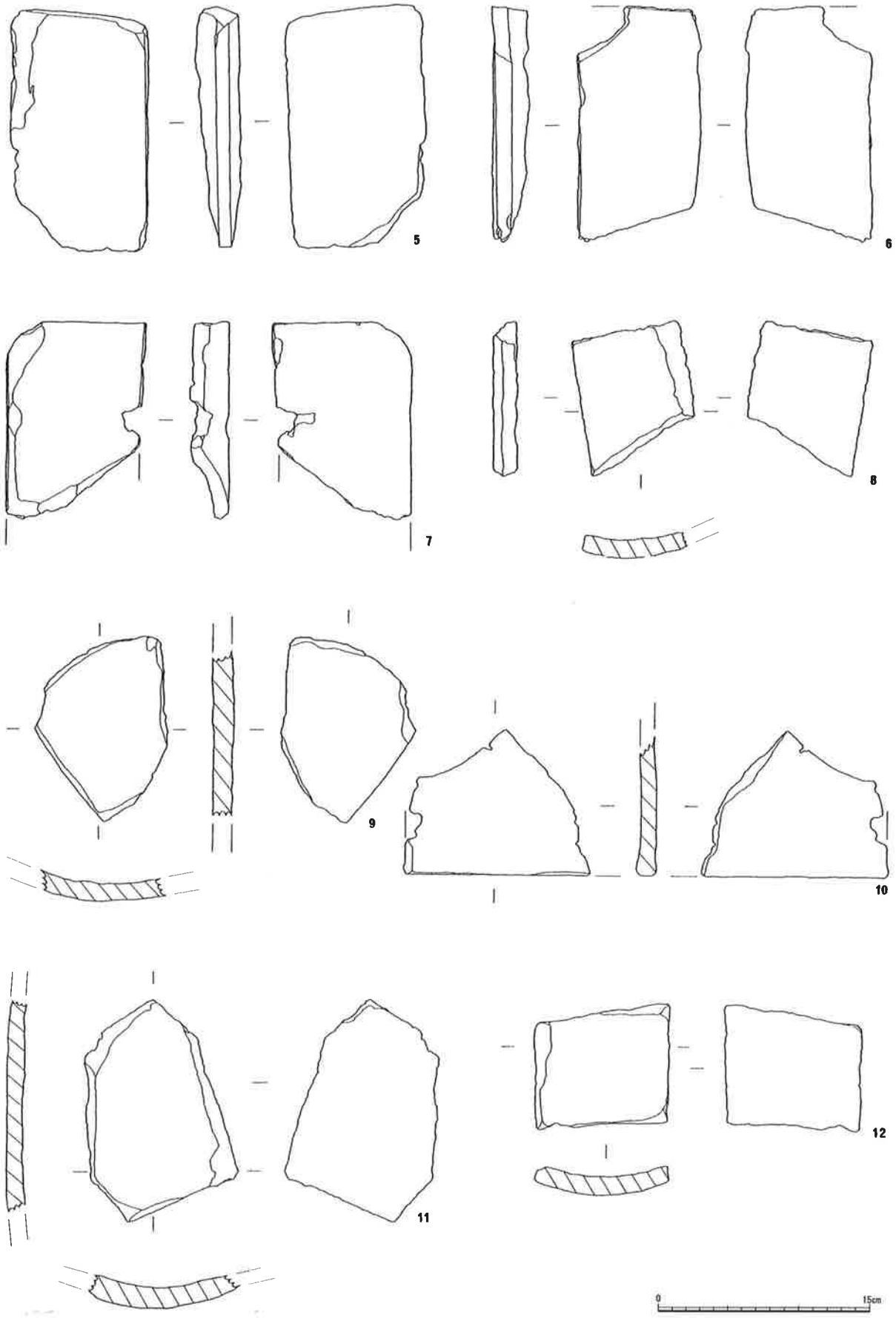
| 挿図番号 | 遺物番号 | 残存率 | 長さ(cm) | 幅(cm) | 厚さ(cm) | 現存重量(g) | 備　　考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 第97図42 | H20 | 3/4 | 18.3＋α | 7.4 | 5.7 | 930 | |
| 第97図43 | H23 | 3/4 | 21.9＋α | 8.8 | 5.7 | 1430 | 炭化物付着 |
| 第98図44 | H28 | 3/4 | 18.9＋α | 8.0 | 4.9 | 939 | |
| 第98図45 | H２－e | 1/2 | 16.9＋α | 8.4 | 5.0 | 901 | 赤みあり |
| 第98図46 | H３－e | 1/2 | 12.3＋α | 7.2 | 5.8 | 775 | |
| 第98図47 | H３－f | 1/2 | 16.7＋α | 7.7 | 4.9 | 680 | 炭化物付着 |
| 第98図48 | H４ | 1/2 | 13.0＋α | 7.8 | 5.0 | 730 | 炭化物付着 |
| 第98図49 | H７ | 1/2 | 11.7＋α | 8.3 | 4.8 | 629 | |
| 第98図50 | H５－g | 1/4 | 8.2＋α | 5.1＋α | 3.3 | 135 | |
| 第98図51 | H５－h | 1/4 | 11.1＋α | 5.8＋α | 3.1 | 232 | |
| 第99図52 | H５－i | 1/4 | 9.0＋α | 8.8＋α | 3.0 | 240 | |
| 第99図53 | H８－b | 1/4 | 8.2＋α | 8.6 | 5.4 | 430 | |
| 第99図54 | 北側浚渫① | 1/4 | 9.5＋α | 6.8 | 4.8 | 432 | |
| 第99図55 | 北側浚渫⑤ | 1/4 | 8.7＋α | 8.1 | 3.9 | 350 | |
| 第99図56 | 北トレ一括ｃ | 1/4 | 14.6＋α | 8.9 | 5.6 | 940 | |
| 第99図57 | 北トレ一括ｅ | 1/4 | 8.4＋α | 8.5 | 4.2 | 350 | |
| 第99図58 | 北トレ一括ｆ | 1/4 | 8.8＋α | 7.7 | 3.5 | 280 | |
| 第99図59 | 北トレ一括ｇ | 1/4 | 9.5＋α | 8.4 | 3.7 | 410 | 炭化物付着 |
| 第99図60 | 北トレ一括ｈ | 1/4 | 5.8＋α | 8.5 | 4.4 | 258 | |
| 第100図61 | H16 | 1/2 | 10.9＋α | 5.6 | 4.2 | 320 | |
| 第100図62 | 北側浚渫③ | 1/2 | 14.8＋α | 8.3 | 5.0 | 801 | 炭化物付着 |
| 第100図63 | 北側浚渫④ | 1/2 | 12.4＋α | 8.0 | 4.1 | 501 | |
| 第100図64 | 北トレ一括ｂ | 1/2 | 17.7＋α | 6.8＋α | 4.0 | 644 | |
| 第100図65 | 北トレ一括ｄ | 1/2 | 13.0＋α | 7.6＋α | 4.0 | 490 | |
| 第100図66 | トレンチ表採 | 1/2 | 17.4＋α | 8.3 | 4.9 | 941 | 炭化物付着 |
| 第100図67 | H１－d | 1/4 | 11.1＋α | 8.0 | 4.5 | 559 | |
| 第100図68 | H１－f | 1/4 | 9.0＋α | 8.4 | 3.2 | 251 | |
| 第101図69 | H１－h | 1/4 | 10.8＋α | 9.0 | 5.6 | 572 | |
| 第101図70 | H３－g | 1/4 | 12.7＋α | 8.6 | 3.1 | 379 | |
| 第101図71 | H３－r | 1/4 | 11.6＋α | 8.3 | 5.1 | 410 | |
| 第101図72 | H３－k | 1/4 | 7.2＋α | 5.8 | 3.4 | 122 | |
| 第102図73 | H18-b | ほぼ完形 | 15.2 | 13.7 | 3.3 | 875 | |
| 第102図74 | H２－f | ほぼ完形 | 12.1＋α | 13.3 | 3.0 | 700 | |
| 第102図75 | H１－e | 3/4 | 26.8 | 15.0＋α | 3.5 | 1713 | |
| 第102図76 | H１－g | 3/4 | 17.1＋α | 13.6 | 3.0 | 740 | |
| 第102図77 | H５－e | 3/4 | 24.1＋α | 13.7 | 3.1 | 1250 | |
| 第102図78 | H１－c | 1/2 | 18.1＋α | 13.7 | 3.3 | 771 | |
| 第103図79 | H２－d | 1/2 | 25.0 | 13.9 | 3.9 | 1762 | |
| 第103図80 | H２－h | 1/2 | 14.0 | 13.6 | 3.0 | 665 | |
| 第103図81 | H２－i | 1/2 | 13.7 | 12.6 | 3.2 | 550 | |
| 第102図82 | H２－j | 1/2 | 18.2 | 14.8 | 3.2 | 610 | |



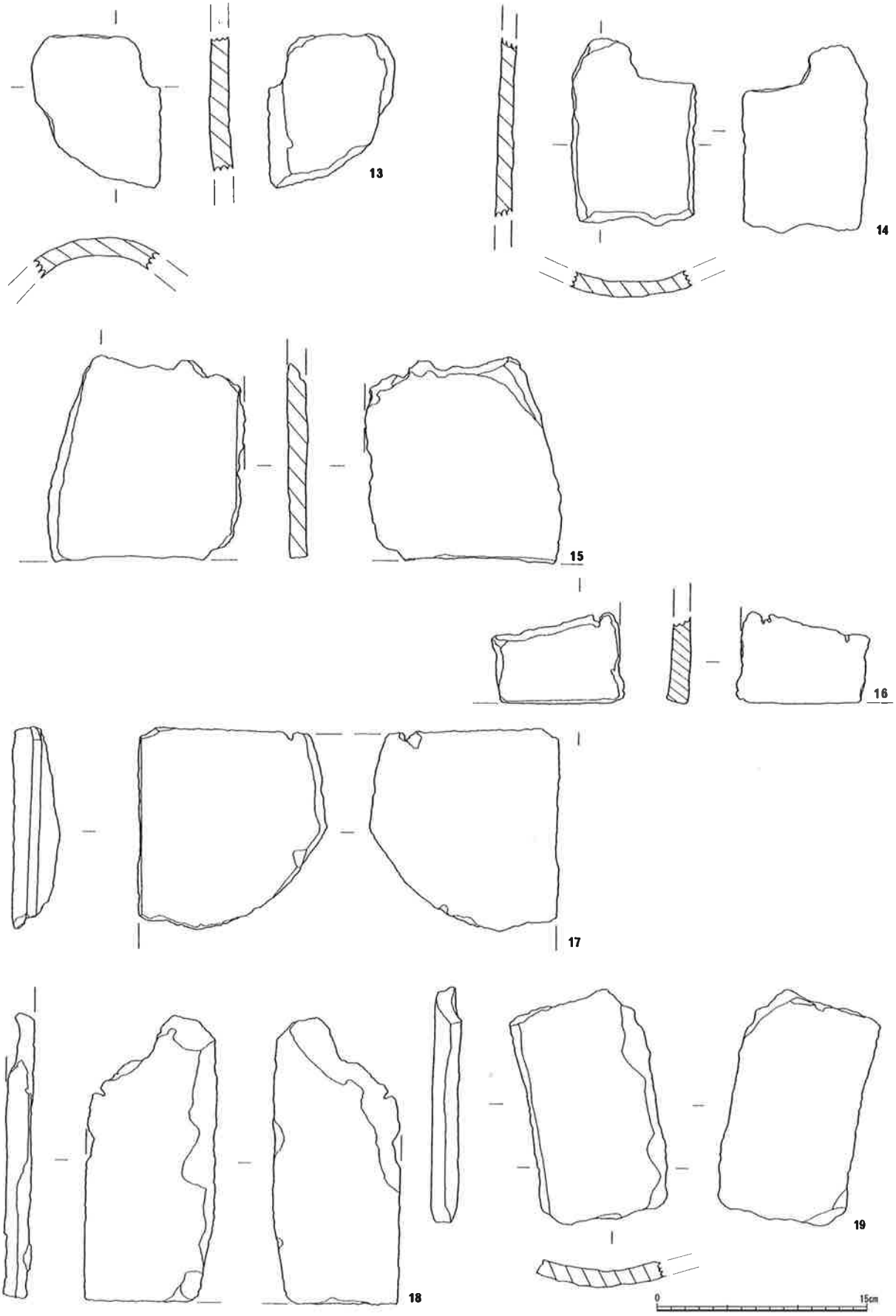

第103図　出土遺物磚⑫（1/4）




第104図　出土遺物瓦①（1/4）




第105図　出土遺物瓦②（1/4）




第106図　出土遺物瓦③（1/4）

２グループ、幅が12.5cm～14cmのグループの３グループに分かれる傾向がある。なお、**第102図73～第103図82**は方磚である。高野氏のⅠ類が第１・第２グループにあたり、Ⅲ類が第３グループにあたっている。高野氏の第２グループは１点のみであった。全体的には高野氏のⅠ類に集中する傾向がある。そのなかでも第２グループは４グループに細分が可能で、特に幅７cm～9.5cmで厚さが４cm～5.5cmのグループに集中している。このことは製作工程において規格に基づいて製作され、焼成段階での収縮の差によりグループ分けができたと考えられないだろうか。グループ分けは当然製作地の違いも考慮する必要がある。

現在のところこの磚は漆喰及び煤の付着状況及び出土状況等から竈の用材として用いられたものと考えられている。

瓦

瓦は、全て平成13年度の調査で出土している。その内19点を図示している。**第104図１～３**は出土地点を記録して取り上げた資料である。その他は海底面表採資料である。瓦全体に劣化（摩滅）が進んでいるため調整痕の確認は難しい。かろうじて凹面に布目等の痕跡が確認できる（**２・４・９・11・13**）もの、凸面は横方向のナデ調整が確認できる（**１・３・６・７・10・12・18**）もの、凸面に縦方向のナデ調整が確認できる（**13**）ものがある。**４**の凹面に布のとじ合わせ痕がある。**５**は熨斗瓦であろうか。**９**と**13**の凹面には紐圧痕が確認できる。**11**には模骨痕も確認できる。**13**は凹面に擦過状の沈線も認められる。胎土は全体的に灰色から灰白色を主体としている。

## 10. 綱・縄（第108図・第109図）

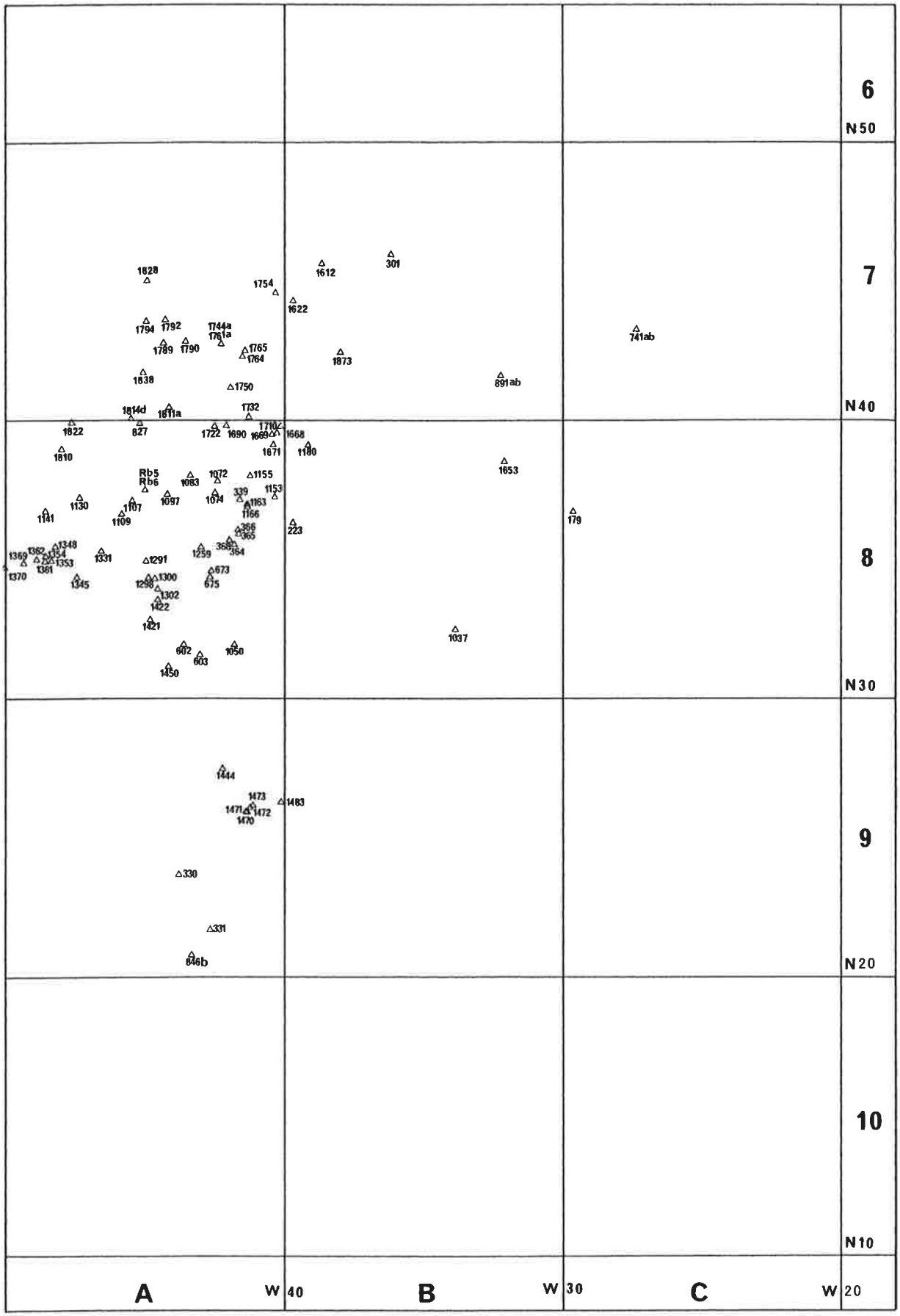
綱は、高級アルコール法により保存処理を終えた資料で、処理後の実測である。**１**は長さ84.7cm、幅3.4cm～4.1cmを測る。**２**は２個体で長さ64.0cm、幅3.6cm～4.0cmと、長さ26cm、幅４cm～５cmを測る。**３**は長さ60.1cm、幅3.5cm～4.5cmを測る。**４**は長さ51.5cm、幅2.9cm～5.5cmと、長さ34.1cm、幅3.2cm～3.9cmを測る。

縄の**５・６**は、シュロを束ねて時計回転に撚っている。高級アルコール法により保存処理を終えている。処理後の実測である。

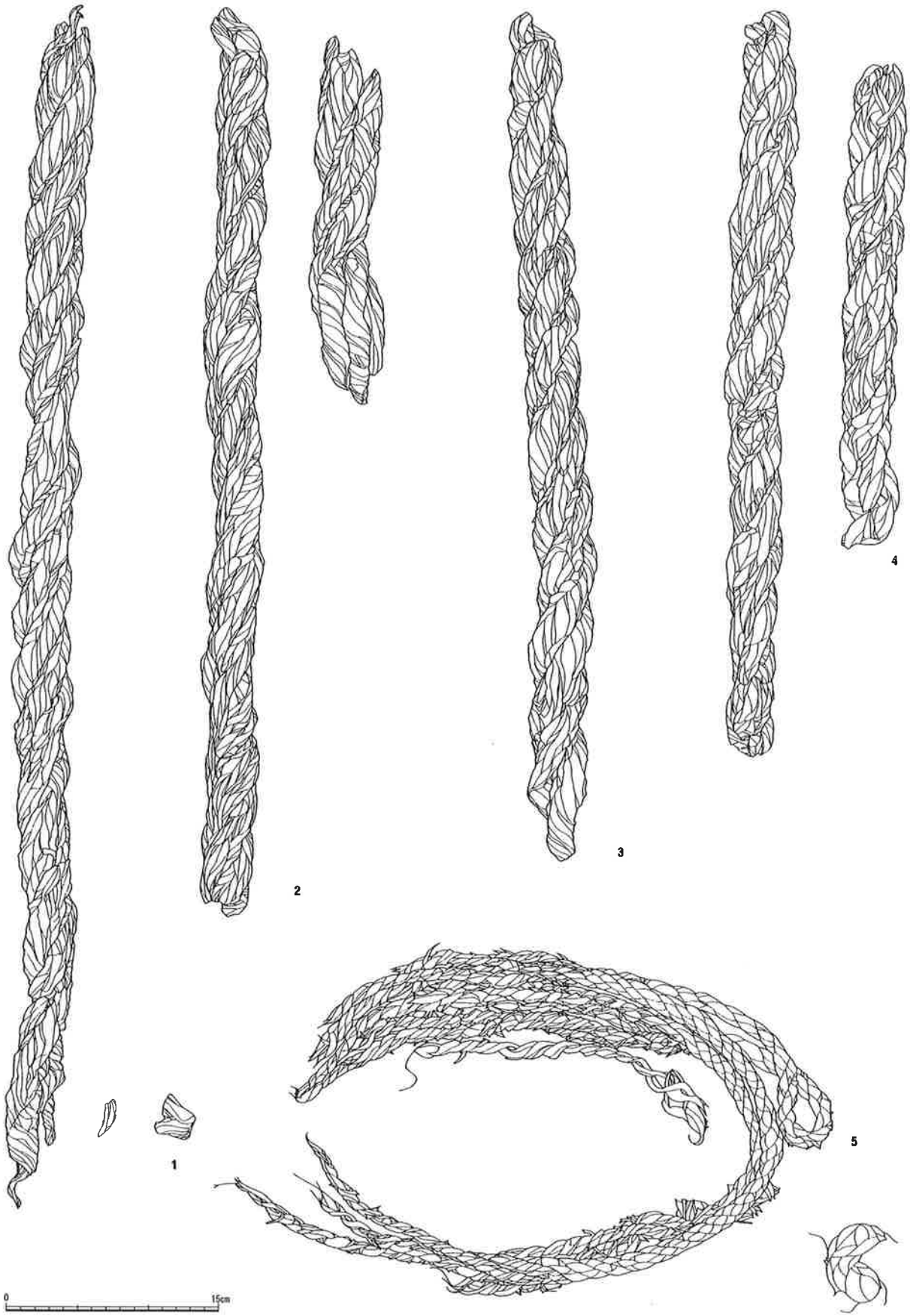
## 11. その他の遺物（第110図・第111図）

縄文土器・土師器・須恵器・瓦器

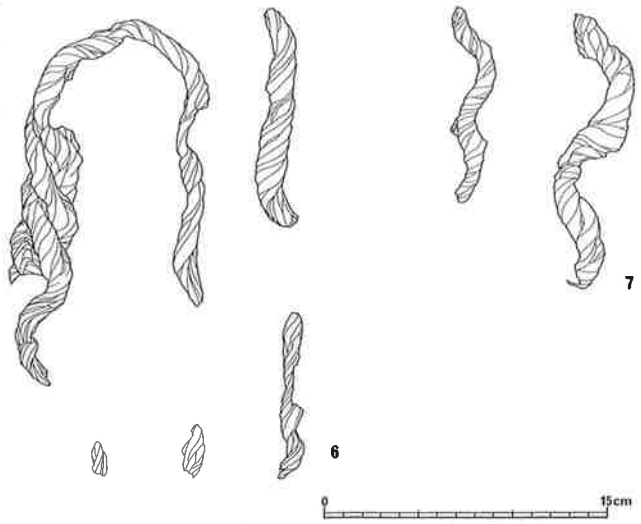
**第110図１**は縄文土器で後期初頭の阿高系の深鉢底部で胎土に雲母片を含んでいる。太い凹線で胴部から底部まで区画されている。底部には鯨底ではないかと思われるが破片のため断定はできない。**第110図２・５・６**は土師器である。**第110図６**は京都周辺のへそ皿に対応するもので、焼成はやや硬質である。橋本久和氏の意見では硬質な点で京都産とは言い難く、年代は14世紀前半頃が妥当であるとされる。口縁部内外に油煤が付着し、灯明皿として使用されたものである。**第110図５**は坏ａで口縁部が１/５ほど残存する。口径12.6cm、器高2.2cmに復元され、筑前の型式に照合すると大宰府ⅩⅦ



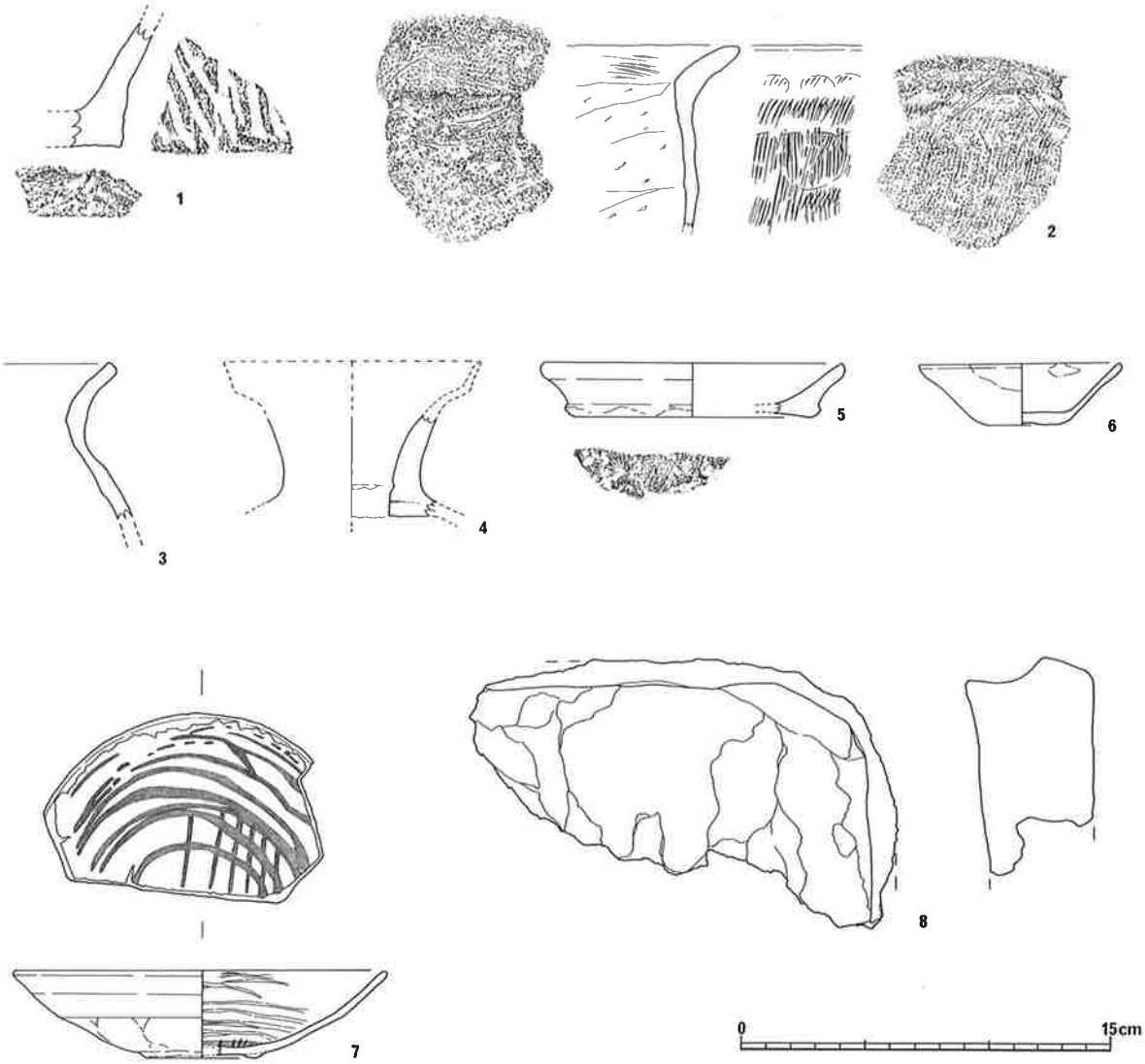

第107図　その他の遺物出土状況図（1/20）



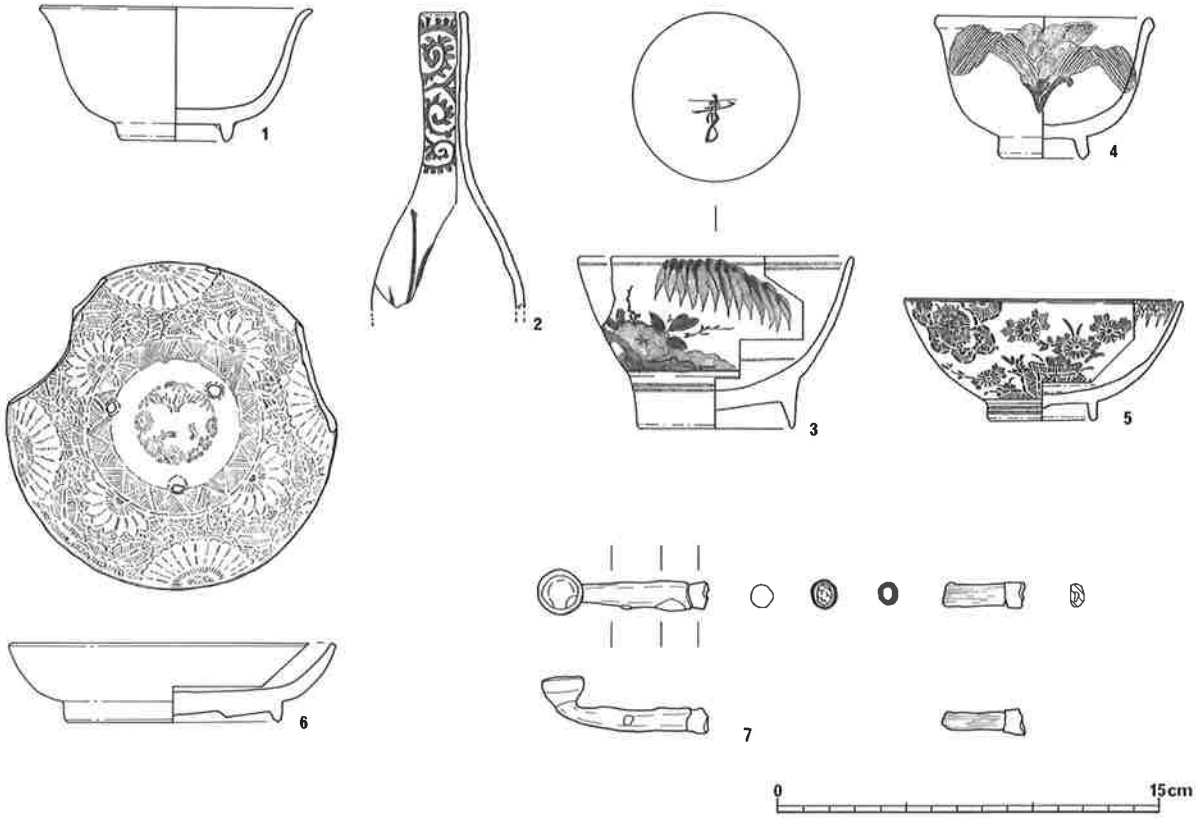

第108図　出土遺物縄①（1/4）




第109図　出土遺物縄②（1/4）




第110図　その他の遺物①（1/3）




**第111図　その他の遺物②（1/3）**

～XⅨ期（13世紀後半～14世紀初頭前後）の可能性がある。**第110図2**は8世紀後半～9世紀前半頃の甕aである。外面はハケ目、内面は手持ちヘラケズリ調整である。**第110図7**は和泉産の瓦器椀で、橋本久和氏によれば和泉Ⅳ-1型式に相当し、年代は13世紀中頃～後半が妥当とされる。口径15.2cm、器高3.6cm、底径5.0cmを測る。器面は燻しによる黒色で低平な貼付高台を有している。**第110図3**も土師器で、口縁部外面は横位のナデ調整、頸部内面から胴部にかけては削り痕が認められる。**第110図4**は須恵器壷の頸部で、壷dとして推定復元したが他の類の可能性も考えられる。下限は9世紀代と思われる。**第110図8**は漆喰であろうか。全体に貝が付着しており、縦10.8cm、横17.4cm、高さ5.3cm、重量425gを測る。**第111図1～6**は肥前系の磁器である。**1**は白磁碗で、口径10.9cm、器高5.25cm、底径4.2cmを測る。**2**は口径1.9cmの徳利で、蛸唐草文が描かれている。**3**は染付碗（広東碗）で口径11.0cm、器高6.8cm、底径6.1cmを測る。18世紀末から19世紀前葉の資料である。**4**は染付坏で口径8.8cm、器高5.6cm、底径3.4cmを測る。20世紀代の資料。**5**は染付型紙擂碗で、1920年代以降の資料である。**6**は染付皿で、口径13.2cm、器高3.1cm、底径8.4cmを測る。内面に菊文様が施されている。**7**は銅製の煙管である。雁首の火皿を受ける部分が細かくならず棒状を呈しているところから18世紀代の製品と思われる。

ＫＺＫ０１出土遺物一覧表

| 遺物番号 | 枝番 | 挿図番号 | 種別 | 遺物名 | 調査区 | 出土位置 N | 出土位置 W | 標高 | 保存処理方法 | 接合関係 | 樹種同定 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | | | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺 | 9－C | 23,90 | 27,10 | -10,15 | | No444 a | | |
| 2 | | | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺 | 9－C | 25,00 | 27,80 | -10,20 | | | | |
| 3 | | 33図67 | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺 | 9－C | 25,35 | 28,05 | -10,20 | | No30 a ＝83＝405 a ＝410＝トレンチ a | | |
| 4 | | | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺 | 9－C | 26,03 | 27,59 | -10,10 | | | | |
| 5 | | | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺 | 9－C | 26,05 | 26,49 | -9,80 | | | | |
| 6 | | | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺 | 9－C | 27,80 | 27,49 | -9,98 | | | | |
| 7 | a | | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺 | 9－C | 28,45 | 27,68 | -9,76 | | | | |
| 7 | b | | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺 | 9－C | 28,45 | 27,68 | -9,76 | | | | |
| 7 | c | | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺 | 9－C | 28,45 | 27,68 | -9,76 | | ＫＺＫ02,2,3-Ｄ区斜面一括 | | |
| 8 | a | | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺 | 9－C | 28,60 | 27,87 | -9,76 | | | | |
| 8 | b | | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺 | 9－C | 28,60 | 27,87 | -9,76 | | No58＝H22 a | | |
| 8 | c | | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺 | 9－C | 28,60 | 27,87 | -9,76 | | | | |
| 9 | | | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺 | 9－C | 29,15 | 27,02 | -9,70 | | | | |
| 10 | | 53図７ | 鉄製品 | 鉄刀 | 8－C | 30,43 | 27,37 | -9,85 | 最重要処理のため分析中 | | | |
| 11 | | | 鉄製品 | 釘 | 8－C | 30,87 | 27,34 | -9,77 | Ｘ線撮影予定 | | | |
| 12 | | 34図77 | 陶磁器 | 褐釉陶器短頸長胴小土瓶 | 8－C | 33,72 | 27,70 | -9,27 | | No166 a | | |
| 13 | | 22図24 | 陶磁器 | 青磁？碗 | 8－C | 33,67 | 27,60 | -9,27 | | | | |
| 14 | a | 35図88 | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳付鉢 | 8－C | 30,25 | 25,78 | -9,24 | | No51＝135 b ＝140 | | |
| 14 | b | 31図58 | 陶磁器 | 褐釉陶器壺 | 8－C | 30,25 | 25,78 | -9,24 | | No59＝ＫＺＫ00,No3＝42＝ＫＺＫ02-8-Ｃ区東壁表採 | | |
| 14 | c | | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺 | 8－C | 30,25 | 25,78 | -9,24 | | | | |
| 14 | d | | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺 | 8－C | 30,25 | 25,78 | -9,24 | | | | |
| 14 | e | | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺 | 8－C | 30,25 | 25,78 | -9,24 | | | | |
| 14 | f | | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺 | 8－C | 30,25 | 25,78 | -9,24 | | | | |
| 14 | g | | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺 | 8－C | 30,25 | 25,78 | -9,24 | | | | |
| 14 | h | | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺 | 8－C | 30,25 | 25,78 | -9,24 | | | | |
| 15 | a | 26図32 | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺 | 8－C | 30,92 | 24,60 | -8,86 | | | | |
| 15 | b | 25図10 | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺 | 8－C | 30,92 | 24,60 | -8,86 | | No164 | | |
| 15 | c | 28図31 | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺 | 8－C | 30,92 | 24,60 | -8,86 | | No26 a ＝31 a ＝55 b ＝60＝401 | | |
| 16 | | 38図９ | 土製品 | 土製炸裂弾（てつはう） | 9－C | 29,75 | 24,46 | -9,07 | | | | |
| 17 | a | | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺 | 9－C | 24,70 | 25,98 | -9,74 | | | | |
| 17 | b | 30図46 | 陶磁器 | 褐釉陶器小壺 | 9－C | 24,70 | 25,98 | -9,74 | | No34＝724 c ＝H14 a | | |
| 17 | c | | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺 | 9－C | 24,70 | 25,98 | -9,74 | | | | |
| 18 | | | 鉄製品 | 釘 | 9－C | 24,80 | 25,20 | -9,61 | Ｘ線撮影予定 | | | |
| 19 | a | | 鉄製品 | 釘 | 9－C | 25,38 | 25,29 | -9,60 | Ｘ線撮影予定 | | | |
| 19 | b | | 鉄製品 | 釘 | 9－C | 25,38 | 25,29 | -9,60 | Ｘ線撮影予定 | | | |
| 19 | c | | 鉄製品 | 板状製品 | 9－C | 25,38 | 25,29 | -9,60 | Ｘ線撮影予定 | | | |
| 19 | d | | 鉄製品 | 板状製品 | 9－C | 25,38 | 25,29 | -9,60 | Ｘ線撮影予定 | | | |
| 19 | e | | 鉄製品 | 板状製品 | 9－C | 25,38 | 25,29 | -9,60 | | | | |
| 19 | f | | 鉄製品 | 板状製品 | 9－C | 25,38 | 25,29 | -9,60 | | | | |
| 20 | a | | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺 | 9－C | 25,55 | 25,73 | -9,69 | | | | |
| 20 | b | | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺 | 9－C | 25,55 | 25,73 | -9,69 | | | | |
| 21 | a | | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺 | 9－C | 25,80 | 28,12 | -10,17 | | No797 | | |
| 21 | b | | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺 | 9－C | 25,80 | 28,12 | -10,17 | | No33 b | | |
| 22 | | | 鉄製品 | 角釘、その他 | 9－C | 22,43 | 23,60 | -9,51 | Ｘ線撮影予定 | | | |
| 23 | a | | 鉄製品 | 角釘 | 9－C | 23,75 | 23,42 | -9,35 | Ｘ線撮影予定 | | | |
| 23 | b | | 鉄製品 | 釘 | 9－C | 23,75 | 23,42 | -9,35 | Ｘ線撮影予定 | | | |
| 23 | c | | 鉄製品 | 釘 | 9－C | 23,75 | 23,42 | -9,35 | Ｘ線撮影予定 | | | |
| 23 | d | | 鉄製品 | 曲がり釘 | 9－C | 23,75 | 23,42 | -9,35 | Ｘ線撮影予定 | | | |
| 23 | e | 55図12 | 鉄製品 | 鉄刀 | 9－C | 23,75 | 23,42 | -9,35 | Ｘ線撮影予定 | | | |
| 23 | f | | 鉄製品 | 釘 | 9－C | 23,75 | 23,42 | -9,35 | Ｘ線撮影予定 | | | |
| 23 | g | | 鉄製品 | 釘片 | 9－C | 23,75 | 23,42 | -9,35 | Ｘ線撮影予定 | | | |
| 24 | a | | 陶磁器 | 褐釉陶器壺 | 9－C | 22,60 | 22,33 | -9,14 | | | | |
| 24 | b | | 鉄製品 | 釘 | 9－C | 22,60 | 22,33 | -9,14 | Ｘ線撮影予定 | | | |
| 24 | c | | 鉄製品 | 不明Ｖ字形 | 9－C | 22,60 | 22,33 | -9,14 | Ｘ線撮影予定 | | | |
| 25 | a | 27図23 | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺 | 9－C | 24,90 | 24,02 | -9,40 | | No42＝80＝243 b ＝H21 a | | |
| 25 | b | | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺 | 9－C | 24,90 | 24,02 | -9,40 | | | | |
| 26 | a | 28図31 | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺 | 9－C | 25,65 | 23,01 | -9,06 | | No15 c ＝31 a ＝55 b ＝60＝401 | | |
| 26 | b | | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺 | 9－C | 25,65 | 23,01 | -9,06 | | | | |
| 27 | a | 30図43 | 陶磁器 | 褐釉陶器壺 | 9－C | 26,08 | 24,58 | -9,34 | | | | |
| 27 | b | | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺 | 9－C | 26,08 | 24,58 | -9,34 | | No511 | | |
| 27 | c | | 鉄製品 | 釘 | 9－C | 26,08 | 24,58 | -9,34 | Ｘ線撮影予定 | | | |
| 27 | d | | 鉄製品 | 不明 | 9－C | 26,08 | 24,58 | -9,34 | Ｘ線撮影予定 | | | |
| 28 | a | 24図５ | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺 | 9－C | 26,35 | 25,90 | -9,64 | | No55a＝79 a ＝443 | | |
| 28 | b | | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺 | 9－C | 26,35 | 25,90 | -9,64 | | No498＝1335 | | |
| 29 | | 33図70 | 陶磁器 | 褐釉陶器壺 | 9－C | 28,10 | 25,46 | -9,29 | | No526 a ＝1658 | | |
| 30 | a | 33図67 | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺 | 9－C | 28,40 | 24,96 | -9,18 | | No３＝83＝405 a ＝410＝トレンチ a | | |
| 30 | b | | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺 | 9－C | 28,40 | 24,96 | -9,18 | | No61 b ＝ RC62 | | |
| 31 | a | 28図31 | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺 | 9－C | 28,05 | 21,90 | -9,08 | | No15 c ＝26 a ＝55 b ＝60＝401 | | |
| 31 | b | | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺 | 9－C | 28,05 | 21,90 | -9,08 | | | | |
| 32 | | | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺 | 9－C | 28,60 | 23,70 | -8,86 | | | | |
| 33 | a | 23図33 | 陶磁器 | 龍泉窯系青磁鎬蓮弁文碗 | 9－C | 28,75 | 23,95 | -8,86 | | No453＝737 | | |
| 33 | b | 22図22 | 陶磁器 | 青磁碗 | 9－C | 28,75 | 23,95 | -8,86 | | | | |
| 33 | c | 23図35 | 陶磁器 | 青磁碗 | 9－C | 28,75 | 23,95 | -8,86 | | | | |
| 33 | d | | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺 | 9－C | 28,75 | 23,95 | -8,86 | | No21 b | | |

| 遺物番号 | 枝番 | 挿図番号 | 種別 | 遺物名 | 調査区 | 出土位置 |  | 標高 | 保存処理方法 | 接合関係 | 樹種同定 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
|  |  |  |  |  |  | N | W |  |  |  |  |  |
| 33 | e | 27図22 | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺 | 9－C | 28.75 | 23.95 | -8.86 |  | No70・247 b・805 |  |  |
| 33 | f |  | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺 | 9－C | 28.75 | 23.95 | -8.86 |  | No237 b |  |  |
| 33 | g |  | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺 | 9－C | 28.75 | 23.95 | -8.86 |  |  |  |  |
| 34 |  | 30図46 | 陶磁器 | 褐釉陶器小壺 | 9－C | 29.00 | 24.50 | -9.03 |  | No17 b・724 c・H14 a |  |  |
| 35 | a |  | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺 | 9－C | 29.55 | 25.13 | -8.86 |  |  |  |  |
| 35 | b |  | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺 | 9－C | 29.55 | 25.13 | -8.86 |  |  |  |  |
| 36 | a |  | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺 | 9－C | 29.60 | 25.80 | -9.23 |  |  |  |  |
| 36 | b |  | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺 | 9－C | 29.60 | 25.80 | -9.23 |  |  |  |  |
| 37 | a |  | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺 | 9－C | 29.88 | 24.78 | -8.91 |  | No537 |  |  |
| 37 | b | 29図39 | 陶磁器 | 褐釉陶器壺 | 9－C | 29.88 | 24.78 | -8.91 |  | No158 c |  |  |
| 37 | c |  | 陶磁器 | 褐釉陶器 | 9－C | 29.88 | 24.78 | -8.91 |  | No37 d |  |  |
| 37 | d |  | 陶磁器 | 褐釉陶器 | 9－C | 29.88 | 24.78 | -8.91 |  | No37 c |  |  |
| 38 |  |  | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺 | 8－C | 30.55 | 22.88 | -8.27 |  | No139 b |  |  |
| 39 |  | 20図1 | 陶磁器 | 鈞窯擬青釉紫紅斑文碗 | 8－C | 32.35 | 23.08 | -8.08 |  | No257・259 |  |  |
| 40 |  |  | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺 | 8－C | 32.30 | 22.59 | -7.88 |  | No57 b |  |  |
| 41 |  | 27図26 | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺 | 9－C | 28.80 | 27.76 | -9.71 |  | No460 |  |  |
| 42 |  | 27図23 | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺 | 9－C | 28.70 | 27.40 | -9.76 |  | No25 a・80・243 b・H21 a |  |  |
| 43 | a |  | 陶磁器 | 褐釉陶器 | 9－C | 23.40 | 22.85 | -9.20 |  |  |  |  |
| 43 | b |  | 鉄製品 | 釘 | 9－C | 23.40 | 22.85 | -9.20 | X線撮影予定 |  |  |  |
| 44 |  | 36図98 | 陶磁器 | 韓国産褐釉陶器鉢 | 9－C | 22.80 | 20.80 | -8.70 |  |  |  |  |
| 45 |  |  | 鉄製品 | 不明 | 9－C | 24.10 | 21.55 | -8.80 | X線撮影予定 |  |  |  |
| 46 |  |  | 鉄製品 | 釘 | 9－C | 25.35 | 22.05 | -8.92 | X線撮影予定 |  |  |  |
| 47 |  |  | 鉄製品 | 槍？釘？ | 9－C | 25.70 | 22.13 | -8.82 | X線撮影予定 |  |  |  |
| 48 |  |  | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺 | 9－C | 26.70 | 23.47 | -9.00 |  |  |  |  |
| 49 |  |  | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺 | 9－C | 27.55 | 21.98 | -8.43 |  |  |  |  |
| 50 | a |  | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺 | 9－C | 28.30 | 22.60 | -8.51 |  |  |  |  |
| 50 | b |  | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺 | 9－C | 28.30 | 22.60 | -8.51 |  |  |  |  |
| 51 |  | 35図88 | 陶磁器 | 褐釉陶器耳付鉢 | 9－C | 28.40 | 21.65 | -8.14 |  | No14・135 b・140 |  |  |
| 52 |  |  | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺 | 9－C | 28.60 | 22.00 | -8.25 |  |  |  |  |
| 53 |  |  | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺 | 9－C | 29.15 | 22.02 | -8.23 |  | No520・RC224・H14 c |  |  |
| 54 | a |  | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺 | 9－C | 29.30 | 22.15 | -8.20 |  |  |  |  |
| 54 | b |  | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺 | 9－C | 29.30 | 22.15 | -8.20 |  | No721・727・536・158 i |  |  |
| 54 | c | 33図73 | 陶磁器 | 褐釉陶器壺 | 9－C | 29.30 | 22.15 | -8.20 |  | No105 b・415 a・RC71 |  |  |
| 55 | a | 24図5 | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺 | 9－C | 29.75 | 22.48 | -8.30 |  | No28 a・79 a・443 |  |  |
| 55 | b | 28図31 | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺 | 9－C | 29.75 | 22.48 | -8.30 |  | No15 c・26 a・31 a・60・401 |  |  |
| 55 | c |  | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺 | 9－C | 29.75 | 22.48 | -8.30 |  |  |  |  |
| 56 |  | 32図60 | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺 | 9－C | 29.75 | 22.88 | -8.38 |  | No169 a・243 c・462・526 b・RC68 |  |  |
| 57 | a |  | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺 | 8－C | 32.25 | 22.30 | -7.69 |  | No77・159 c・168 b・247 a・RC221 |  |  |
| 57 | b |  | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺 | 8－C | 32.25 | 22.30 | -7.69 |  | No40 |  |  |
| 58 |  |  | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺 | 8－C | 32.40 | 23.23 | -8.03 |  | No8 b・H22 a |  |  |
| 59 |  | 31図58 | 陶磁器 | 褐釉陶器壺 | 8－C | 33.15 | 23.97 | -8.33 |  | No14 b・KZK00No3・42・KZK02-8-C区裏側表採 |  |  |
| 60 |  | 28図31 | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺 | 8－C | 31.25 | 23.75 | -8.46 |  | No15 c・26 a・31 a・55 b・401 |  |  |
| 61 | a | 28図28 | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺 | 9－C | 29.25 | 23.13 | -8.41 |  | No73 a・243 d・1660 |  |  |
| 61 | b |  | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺 | 9－C | 29.25 | 23.13 | -8.41 |  | No30 b・RC62 |  |  |
| 61 | c |  | 陶磁器 | 褐釉陶器壺 | 9－C | 29.25 | 23.13 | -8.41 |  |  |  |  |
| 62 | a |  | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺 | 8－C | 30.85 | 23.63 | -8.47 |  |  |  |  |
| 62 | b |  | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺 | 8－C | 30.85 | 23.63 | -8.47 |  |  |  |  |
| 62 | c |  | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺 | 8－C | 30.85 | 23.63 | -8.47 |  |  |  |  |
| 63 |  |  | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺 | 8－C | 30.85 | 23.34 | -8.47 |  |  |  |  |
| 64 |  |  | 鉄製品 | 槍先？ | 8－C | 31.75 | 23.44 | -8.30 | X線撮影予定 |  |  |  |
| 65 |  |  | 陶磁器 | 肥前系磁器碗 | 8－C | 35.75 | 25.47 | -8.30 |  |  |  |  |
| 66 |  |  | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺 | 8－C | 35.95 | 26.10 | -8.46 |  |  |  |  |
| 67 |  | 104図1 | 瓦磚類 | 桶巻作り平瓦 | 8－C | 37.25 | 24.90 | -8.10 |  |  |  |  |
| 68 |  | 111図3 | 陶磁器 | 肥前系磁器染付碗 | 8－C | 37.25 | 20.64 | -6.72 |  |  |  |  |
| 69 |  |  | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺 | 8－C | 31.70 | 22.33 | -7.93 |  |  |  |  |
| 70 |  | 27図22 | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺 | 9－C | 29.10 | 24.14 | -8.90 |  | No33 e・247 b・805 |  |  |
| 71 |  | 24図8 | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺 | 8－C | 30.00 | 23.10 | -8.40 |  |  |  |  |
| 72 |  |  | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺 | 8－C | 30.10 | 23.30 | -8.49 |  |  |  |  |
| 73 | a | 28図28 | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺 | 8－C | 30.65 | 23.73 | -8.49 |  | No61 a・243 d・1660 |  |  |
| 73 | b | 26図19 | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺 | 8－C | 30.65 | 23.73 | -8.49 |  | No141 a・252・477 |  |  |
| 74 |  |  | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺 | 8－C | 30.55 | 23.03 | -8.40 |  |  |  |  |
| 75 |  | 21図13 | 陶磁器 | 白磁碗 | 8－C | 38.87 | 24.84 | -7.99 |  |  |  |  |
| 76 |  | 31図57 | 陶磁器 | 褐釉陶器壺 | 8－C | 37.20 | 25.32 | -8.27 |  | No172・819・1493・RC7 |  |  |
| 77 |  |  | 陶磁器 | 褐釉陶器壺 | 8－C | 33.05 | 23.96 | -8.35 |  | No57・159 c・168 b・247 a・RC221 |  |  |
| 78 |  | 49図47 | 銅製品 | 銅鍋 | 8－C | 33.15 | 23.81 | -8.30 | 要処理 |  |  |  |
| 79 | a | 24図5 | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺 | 8－C | 30.65 | 24.53 | -8.78 |  | No28 a・55 a・443 |  |  |
| 79 | b |  | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺 | 8－C | 30.65 | 24.53 | -8.78 |  | No167 c |  |  |
| 80 |  | 27図23 | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺 | 8－C | 30.70 | 25.46 | -9.03 |  | No25・42・243 b・H21 a |  |  |
| 81 |  | 24図6 | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺 | 8－C | 31.45 | 24.63 | -8.73 |  | No326 |  |  |
| 82 |  |  | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺 | 9－C | 29.00 | 24.20 | -8.96 |  |  |  |  |
| 83 |  | 33図67 | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺 | 9－C | 28.40 | 24.15 | -9.04 |  | No3・30 a・405 a・410・トレンチ a |  |  |
| 84 |  |  | 陶磁器 | 褐釉陶器壺 | 6－C | 50.30 | 25.35 | -7.03 |  | No711 b |  |  |
| 85 |  |  | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺 | 6－C | 50.67 | 27.00 | -7.00 |  |  |  |  |
| 86 |  | 23図32 | 陶磁器 | 龍泉窯系青磁鎬蓮弁文碗 | 6－C | 51.40 | 27.63 | -6.88 |  |  |  |  |
| 87 | a |  | 鉄製品 | 釘 | 7－C | 47.95 | 25.40 | -7.51 | X線撮影予定 |  |  |  |

| 遺物番号 | 枝番 | 挿図番号 | 種別 | 遺物名 | 調査区 | 出土位置 N | 出土位置 W | 標高 | 保存処理方法 | 接合関係 | 樹種同定 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 87 | b | | 鉄製品 | 不明 | 7－C | 47.95 | 25.40 | -7.51 | X線撮影予定 | | | |
| 88 | a | | 鉄製品 | 不明 | 7－C | 47.65 | 25.28 | -7.60 | X線撮影予定 | | | |
| 88 | b | | 鉄製品 | 不明 | 7－C | 47.65 | 25.28 | -7.60 | X線撮影予定 | | | |
| 88 | c | | 鉄製品 | 不明 | 7－C | 47.65 | 25.28 | -7.60 | X線撮影予定 | | | |
| 88 | d | | 鉄製品 | 不明 | 7－C | 47.65 | 25.28 | -7.60 | X線撮影予定 | | | |
| 89 | | 111図5 | 陶磁器 | 肥前系磁器染付型紙摺碗 | 7－C | 43.55 | 25.90 | -7.02 | | | | |
| 90 | | | 木製品 | | 8－C | 37.20 | 28.30 | -9.32 | | | ○光谷01-11 | ○光谷01-11 |
| 91 | | | 鉄製品 | 不明(釘？) | 9－C | 25.20 | 24.88 | -9.55 | X線撮影予定 | | | |
| 92 | | | 鉄製品 | 不明鉄片 | 9－C | 25.45 | 25.23 | -9.63 | X線撮影予定 | | | |
| 93 | | 52図5 | 鉄製品 | 面あて？鉄鍋？ | 9－C | 25.80 | 25.04 | -9.55 | X線撮影予定 | | | |
| 94 | | | 鉄製品 | 角釘 | 9－C | 25.50 | 24.82 | -9.53 | X線撮影予定 | | | |
| 95 | a | 21図5 | 陶磁器 | 白磁碗 | 9－C | 24.90 | 24.29 | -9.47 | | | | |
| 95 | b | | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺 | 9－C | 24.90 | 24.29 | -9.47 | | | | |
| 96 | a | | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺 | 9－C | 25.90 | 24.37 | -9.30 | | No442 b | | |
| 96 | b | | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺 | 9－C | 25.90 | 24.37 | -9.30 | | | | |
| 97 | | | 鉄製品 | 不明 | 9－C | 25.80 | 23.60 | -9.17 | X線撮影予定 | | | |
| 98 | a | | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺 | 9－C | 26.35 | 26.35 | -9.68 | | | | |
| 98 | b | | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺 | 9－C | 26.35 | 26.35 | -9.68 | | No435 | | |
| 98 | c | | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺 | 9－C | 26.35 | 26.35 | -9.68 | | No136 b | | |
| 98 | d | | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺 | 9－C | 26.35 | 26.35 | -9.68 | | | | |
| 98 | e | | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺 | 9－C | 26.35 | 26.35 | -9.68 | | | | |
| 98 | f | | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺 | 9－C | 26.35 | 26.35 | -9.68 | | | | |
| 98 | g | | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺 | 9－C | 26.35 | 26.35 | -9.68 | | No424 a | | |
| 98 | h | | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺 | 9－C | 26.35 | 26.35 | -9.68 | | | | |
| 99 | a | 30図44 | 陶磁器 | 褐釉陶器壺 | 9－C | 26.70 | 28.12 | -10.25 | | No248＝929 | | |
| 99 | b | | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺 | 9－C | 26.70 | 28.12 | -10.25 | | No474 a＝RC52 | | |
| 100 | | | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺 | 9－C | 25.30 | 28.17 | -10.31 | | | | |
| 101 | | | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺 | 9－C | 20.00 | 26.60 | -10.21 | | | | |
| 102 | | | 鉄製品 | 不明 | 9－C | 21.80 | 28.49 | -10.81 | | | | |
| 103 | | | 陶磁器 | 褐釉陶器 | 9－C | 22.55 | 28.43 | -10.74 | | | | |
| 104 | | | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺 | 9－C | 23.20 | 28.20 | -10.59 | | | | |
| 105 | a | | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺 | 9－C | 23.90 | 28.72 | -10.69 | | No137 a＝158 b＝RC83 | | |
| 105 | b | 33図73 | 陶磁器 | 褐釉陶器壺 | 9－C | 23.90 | 28.72 | -10.69 | | No54 c＝415 a＝RC71 | | |
| 106 | | | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺 | 9－C | 23.65 | 28.20 | -10.60 | | | | |
| 107 | | | 鉄製品 | 矢束 | 9－C | 24.10 | 27.98 | -10.48 | 要処理 | | | |
| 108 | | | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺 | 9－C | 24.30 | 27.87 | -10.40 | | | | |
| 109 | a | | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺 | 9－C | 24.75 | 28.17 | -10.42 | | | | |
| 109 | b | 33図72 | 陶磁器 | 褐釉陶器壺 | 9－C | 24.75 | 28.17 | -10.42 | | | | |
| 110 | | | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺 | 9－C | 23.55 | 26.57 | -9.95 | | | | |
| 111 | | 55図10 | 鉄製品 | 鉄剣？ | 9－C | 20.80 | 24.00 | -9.63 | 厳重要処理のため分析中 | | | |
| 112 | | 55図10 | 鉄製品 | 鉄剣？ | 9－C | 21.20 | 23.85 | -9.54 | 厳重要処理のため分析中 | | | |
| 113 | | 56図19 | 鉄製品 | 鉄製品 | 9－C | 20.40 | 24.05 | -9.69 | 要処理 | | | |
| 114 | | 57図25 | 鉄製品 | 鉄製品 | 9－C | 21.65 | 24.30 | -9.59 | 要処理 | | | |
| 115 | | 57図29 | 鉄製品 | 鉄製品 | 9－C | 21.37 | 25.12 | -9.93 | 要処理 | | | |
| 116 | | 57図24 | 鉄製品 | 鉄製品 | 9－C | 21.06 | 23.48 | -9.45 | 要処理 | | | |
| 117 | | 57図22 | 鉄製品 | 鉄製品 | 9－C | 21.10 | 23.72 | -9.46 | 要処理 | | | |
| 118 | | 57図20 | 鉄製品 | 鉄製品 | 9－C | 21.66 | 23.20 | -9.41 | 要処理 | No120 | | |
| 119 | | 57図21 | 鉄製品 | 鉄製品 | 9－C | 20.73 | 23.70 | -9.62 | 要処理 | | | |
| 120 | | 57図20 | 鉄製品 | 鉄製品 | 9－C | 21.85 | 22.84 | -9.36 | 要処理 | No118 | | |
| 121 | | | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺 | 9－C | 20.63 | 24.16 | -9.66 | | | | |
| 122 | | | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺 | 9－C | 20.67 | 24.25 | -9.66 | | | | |
| 123 | | | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺 | 9－C | 24.04 | 25.20 | -9.72 | | | | |
| 124 | | 56図15 | 鉄製品 | 鉄刀 | 9－C | 23.85 | 25.25 | -9.73 | 厳重要処理のため分析中 | No127 | | |
| 125 | | 57図23 | 鉄製品 | 鉄刀 | 9－C | 23.50 | 25.27 | -9.84 | 厳重要処理のため分析中 | | | |
| 126 | | 55図14 | 鉄製品 | 鉄製品 | 9－C | 23.00 | 25.33 | -9.84 | 厳重要処理のため分析中 | | | |
| 127 | | 56図15 | 鉄製品 | 鉄刀 | 9－C | 22.83 | 25.37 | -9.83 | 厳重要処理のため分析中 | No124 | | |
| 128 | | 21図8 | 陶磁器 | 白磁碗 | 9－C | 23.00 | 25.54 | -9.79 | | No153 a | | |
| 129 | | | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺 | 9－C | 22.99 | 25.59 | -9.79 | | | | |
| 130 | | | 鉄製品 | 釘 | 9－C | 22.90 | 26.17 | -9.86 | 可能 | | | |
| 131 | | | 陶磁器 | 白磁壺(波佐見？) | 9－C | 22.10 | 26.00 | -9.80 | | | | |
| 132 | | 41図3 | 石製品 | 砥石 | 9－C | 21.55 | 21.37 | -8.97 | | | | 1対2本(片方のみ実測) |
| 133 | a | | 鉄製品 | 釘 | 9－C | 20.70 | 21.26 | -8.97 | 可能 | | | |
| 133 | b | | 鉄製品 | 釘 | 9－C | 20.70 | 21.26 | -8.97 | 可能 | | | |
| 133 | c | | 鉄製品 | 釘 | 9－C | 20.70 | 21.26 | -8.97 | 可能 | | | |
| 134 | | | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺 | 10－C | 19.75 | 28.43 | -10.90 | | No264 b＝450 | | |
| 135 | a | | 陶磁器 | 褐釉陶器短頸長胴壺 | 9－C | 26.25 | 28.78 | -10.51 | | | | |
| 135 | b | 35図88 | 陶磁器 | 褐釉陶器耳付鉢 | 9－C | 26.25 | 28.78 | -10.51 | | No14＝51＝140 | | |
| 136 | a | | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺 | 9－C | 28.15 | 28.05 | -10.13 | | | | |
| 136 | b | | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺 | 9－C | 28.15 | 28.05 | -10.13 | | No98 c | | |
| 137 | a | | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺 | 9－C | 28.30 | 27.90 | -10.04 | | No105＝158 b＝RC83 | | |
| 137 | b | 31図55 | 陶磁器 | 褐釉陶器壺 | 9－C | 28.30 | 27.90 | -10.04 | | | | |
| 138 | | 21図14 | 陶磁器 | 白磁口禿皿 | 9－C | 28.60 | 28.46 | -10.21 | | | | |
| 139 | a | 20図2 | 陶磁器 | 鈞窯紫紅斑文碗 | 9－C | 29.75 | 25.87 | -9.45 | | No454＝499, RC234, H10 | | |
| 139 | b | | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺 | 9－C | 29.75 | 25.87 | -9.45 | | No38 | | |
| 140 | | 35図88 | 陶磁器 | 褐釉陶器耳付鉢 | 8－C | 30.45 | 26.67 | -9.59 | | No14＝51＝135 b | | |

| 遺物番号 | 枝番 | 挿図番号 | 種別 | 遺物名 | 調査区 | 出土位置 N | 出土位置 W | 標高 | 保存処理方法 | 接合関係 | 樹種同定 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 141 | a | 26図19 | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺 | 8－C | 30,70 | 26,53 | -9,53 | | No73 b ＝252＝477 | | |
| 141 | b | | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺 | 8－C | 30,70 | 26,53 | -9,53 | | No165 | | |
| 141 | c | | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺 | 8－C | 30,70 | 26,53 | -9,53 | | | | |
| 141 | d | | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺 | 8－C | 30,70 | 26,53 | -9,53 | | | | |
| 141 | e | | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺 | 8－C | 30,70 | 26,53 | -9,53 | | | | |
| 141 | f | | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺 | 8－C | 30,70 | 26,53 | -9,53 | | | | |
| 142 | a | 111図7 | 銅製品 | キセル雁首 | 8－C | 30,90 | 26,93 | -9,72 | | | | |
| 142 | b | 22図20 | 陶磁器 | 福建系青磁碗 | 8－C | 30,90 | 26,93 | -9,72 | | | | |
| 142 | c | | 鉄製品 | 釘 | 8－C | 30,90 | 26,93 | -9,72 | 可能 | | | |
| 142 | d | | 鉄製品 | 釘 | 8－C | 30,90 | 26,93 | -9,72 | 可能 | | | |
| 142 | e | | 鉄製品 | 釘 | 8－C | 30,90 | 26,93 | -9,72 | 可能 | | | |
| 142 | f | | 鉄製品 | 釘 | 8－C | 30,90 | 26,93 | -9,72 | 可能 | | | |
| 142 | g | | 鉄製品 | 釘 | 8－C | 30,90 | 26,93 | -9,72 | 可能 | | | |
| 142 | h | | 鉄製品 | 不明(刀？) | 8－C | 30,90 | 26,93 | -9,72 | 可能 | | | |
| 142 | i | | 鉄製品 | 不明 | 8－C | 30,90 | 26,93 | -9,72 | | | | |
| 143 | | 34図78 | 陶磁器 | 褐釉陶器短頸長胴瓶 | 8－C | 31,25 | 27,68 | -9,83 | | | | |
| 144 | a | | 鉄製品 | 不明 | 8－C | 32,20 | 27,15 | -9,56 | | | | |
| 144 | b | | 鉄製品 | 不明 | 8－C | 32,20 | 27,15 | -9,56 | | | | |
| 145 | | 31図53 | 陶磁器 | 褐釉陶器壺 | 8－C | 31,82 | 28,23 | -9,87 | | No820＝903 | | |
| 146 | a | | 鉄製品 | 不明(鉄板状製品) | 8－C | 32,02 | 28,13 | -9,82 | 可能 | | | |
| 146 | b | | 鉄製品 | 不明(鉄板状製品) | 8－C | 32,02 | 28,13 | -9,82 | 可能 | | | |
| 146 | c | | 鉄製品 | 不明(鉄板状製品) | 8－C | 32,02 | 28,13 | -9,82 | | | | |
| 147 | | | 鉄製品 | 鉄刀 | 8－C | 33,35 | 28,35 | -9,73 | | | | |
| 148 | | 28図30 | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺 | 8－C | 33,15 | 28,35 | -9,71 | | No164＝952 | | |
| 149 | | 57図26 | 鉄製品 | 鉄製品 | 8－C | 33,92 | 28,35 | -9,89 | 要処理 | | | |
| 150 | | 34図80 | 陶磁器 | 無釉陶器長胴壺 | 8－C | 33,45 | 27,44 | -9,50 | | | | |
| 151 | a | | 鉄製品 | 刀 | 10－C | 17,10 | 28,67 | -11,01 | X線撮影予定 | | | |
| 151 | b | 24図7 | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺 | 10－C | 17,10 | 28,67 | -11,01 | | No167 a | | |
| 152 | | 31図59 | 陶磁器 | 褐釉陶器甕 | 10－C | 16,85 | 26,85 | -10,51 | | No716＝809＝810 a ＝811＝154＝244＝705 c | | |
| 153 | a | 21図8 | 陶磁器 | 白磁碗 | 10－C | 17,03 | 24,32 | -10,10 | | No128 | | |
| 153 | b | | 陶磁器 | 褐釉陶器耳付壺 | 10－C | 17,03 | 24,32 | -10,10 | | No156-157 a -157 b -157 c -159 a -179 a -179 b -787 a -789 a -789 b - K Z K005-63 | | |
| 153 | c | | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺 | 10－C | 17,03 | 24,32 | -10,10 | | | | |
| 154 | | 31図59 | 陶磁器 | 褐釉陶器甕 | 10－C | 16,72 | 23,24 | -9,86 | | No716＝809＝810 a ＝811＝152＝244＝705 c | | |
| 155 | | | 鉄製品 | 不明 | 10－C | 18,77 | 21,40 | -9,31 | | | | |
| 156 | | | 陶磁器 | 褐釉陶器耳付壺 | 10－C | 19,58 | 27,10 | -11,58 | | No153 b -157 a -157 b -157 c -159 a -179 a -179 b -787 a -789 a -789 b - K Z K005-63 | | |
| 157 | a | | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺 | 9－C | 27,20 | 27,30 | -10,07 | | No451 | | |
| 157 | b | | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺 | 9－C | 27,20 | 27,30 | -10,07 | | | | |
| 157 | c | | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺 | 9－C | 27,20 | 27,30 | -10,07 | | No445＝723 a ＝725 b ＝1661 b | | |
| 157 | d | | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺 | 9－C | 27,20 | 27,30 | -10,07 | | | | |
| 157 | e | | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺 | 9－C | 27,20 | 27,30 | -10,07 | | | | |
| 158 | a | | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺 | 9－C | 27,50 | 26,33 | -9,60 | | | | |
| 158 | b | | 陶磁器 | 褐釉陶器長胴壺 | 9－C | 27,50 | 26,33 | -9,60 | | No105＝137 a ＝RC83 | | |
| 158 | c | 29図39 | 陶磁器 | 褐釉陶器壺 | 9－C | 27,50 | 26,33 | -9,60 | | No37 b | | |
| 158 | d | | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺 | 9－C | 27,50 | 26,33 | -9,60 | | | | |
| 158 | e | | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺 | 9－C | 27,50 | 26,33 | -9,60 | | | | |
| 158 | f | | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺 | 9－C | 27,50 | 26,33 | -9,60 | | | | |
| 158 | g | | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺 | 9－C | 27,50 | 26,33 | -9,60 | | | | |
| 158 | h | | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺 | 9－C | 27,50 | 26,33 | -9,60 | | | | |
| 158 | i | | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺 | 9－C | 27,50 | 26,33 | -9,60 | | No54 b ＝536＝721＝727 | | |
| 158 | j | | 陶磁器 | 褐釉陶器 | 9－C | 27,50 | 26,33 | -9,60 | | | | |
| 159 | a | | 陶磁器 | 褐釉陶器長胴壺 | 8－C | 32,10 | 25,90 | -9,07 | | | | |
| 159 | b | 26図17 | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺 | 8－C | 32,10 | 25,90 | -9,07 | | No438＝533＝940 | | |
| 159 | c | | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺 | 8－C | 32,10 | 25,90 | -9,07 | | No57＝77＝168 b ＝247 a ＝RC221 | | |
| 159 | d | | 陶磁器 | 褐釉陶器壺 | 8－C | 32,10 | 25,90 | -9,07 | | | | |
| 160 | | 23図42 | 陶磁器 | 高麗青磁碗 | 8－C | 32,45 | 27,17 | -9,41 | | | | |
| 161 | | 21図9 | 陶磁器 | 白磁口禿碗 | 8－C | 33,05 | 28,60 | -9,86 | | | | |
| 162 | a | | 鉄製品 | 不明 | 8－C | 34,40 | 26,90 | -9,24 | | | | |
| 162 | b | | 鉄製品 | 不明 | 8－C | 34,40 | 26,90 | -9,24 | | | | |
| 163 | a | 25図12 | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺 | 8－C | 34,20 | 25,99 | -8,95 | | No327 | | |
| 163 | b | | 鉄製品 | 不明 | 8－C | 34,20 | 25,99 | -8,95 | 可能 | | | |
| 164 | | 28図30 | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺 | 8－C | 35,30 | 27,20 | -9,21 | | No148＝952 | | |
| 165 | | | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺 | 8－C | 35,60 | 27,18 | -9,18 | | No141 | | |
| 166 | a | 34図77 | 陶磁器 | 褐釉陶器長胴小口瓶 | 8－C | 36,30 | 26,50 | -9,13 | | No12 | | |
| 166 | b | | 陶磁器 | 褐釉陶器長胴壺 | 8－C | 36,30 | 26,50 | -9,13 | | | | |
| 167 | a | 24図7 | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺 | 8－C | 31,30 | 26,10 | -9,30 | | No151 b | | |
| 167 | b | | 陶磁器 | 褐釉陶器壺 | 8－C | 31,30 | 26,10 | -9,30 | | | | |
| 167 | c | | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺 | 8－C | 31,30 | 26,10 | -9,30 | | No79 b | | |
| 168 | a | 22図26 | 陶磁器 | 福建系青磁碗 | 9－C | 29,35 | 27,54 | -9,88 | | | | |
| 168 | b | | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺 | 9－C | 29,35 | 27,54 | -9,88 | | No57＝77＝159 c ＝247 a ＝RC221 | | |
| 169 | a | 32図60 | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺 | 9－C | 27,05 | 28,15 | -10,25 | | No56＝243 c ＝462＝526 b ＝RC68 | | |
| 169 | b | | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺 | 9－C | 27,05 | 28,15 | -10,25 | | | | |
| 169 | c | | 鉄製品 | 釘 | 9－C | 27,05 | 28,15 | -10,25 | 可能 | | | |
| 170 | | | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺 | 9－C | 24,20 | 26,84 | -10,04 | | | | |
| 171 | | | 鉄製品 | 不明 | 8－C | 38,77 | 24,70 | -7,97 | | | | |
| 172 | | 31図57 | 陶磁器 | 褐釉陶器壺 | 8－C | 39,43 | 23,30 | -7,39 | | No76＝819＝1493＝RC 7 | | |

| 遺物番号 | 枝番 | 挿図番号 | 種別 | 遺物名 | 調査区 | 出土位置 N | 出土位置 W | 標高 | 保存処理方法 | 接合関係 | 樹種同定 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 173 | | | 鉄製品 | 矢束？ | 8－C | 33.05 | 27.70 | -9.65 | X線撮影予定 | | | |
| 174 | | | 花崗岩 | 花崗岩(自然石？)磨石 | 8－C | 33.65 | 28.18 | -9.75 | | | | |
| 175 | | | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺 | 8－C | 30.50 | 26.40 | -9.41 | | | | |
| 176 | | 50図14 | 銅製品 | 銅銭福禄壽昌 | 8－A | 35.67 | 40.30 | -10.18 | | | | |
| 177 | | 24図2 | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺 | 8－B | 36.50 | 39.73 | -10.01 | | | | |
| 178 | | 55図11 | 鉄製品 | 鉄剣 | 8－B | 36.32 | 39.70 | -9.94 | 錆重要処理のため分析中 | | | |
| 179 | | | 自然遺物 | 人骨 | 8－B | 36.70 | 39.62 | -9.95 | | | | |
| 180 | | | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺 | 8－B | 37.05 | 39.60 | -9.90 | | | | |
| 181 | | 39図13 | 土製品 | 土製炸裂弾（てつはう） | 8－B | 37.87 | 39.15 | -9.70 | | | | |
| 182 | | 39図10 | 土製品 | 土製炸裂弾（てつはう） | 8－B | 37.89 | 38.73 | -9.67 | | | | |
| 183 | | | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺 | 8－B | 37.42 | 38.02 | -9.70 | | | | |
| 184 | | | 花崗岩 | 花崗岩 | 8－B | 38.76 | 37.47 | -9.45 | | | | |
| 185 | | 93図10 | 瓦塼類 | 塼 | 8－B | 38.58 | 37.22 | -9.39 | | | | |
| 186 | | 93図12 | 瓦塼類 | 塼 | 8－B | 37.88 | 36.36 | -9.35 | | | | |
| 187 | | 49図43 | 銅製品 | 銅匙 | 8－A | 35.49 | 41.46 | -10.28 | アクリル樹脂含浸 | | | |
| 188 | | 23図39 | 陶磁器 | 龍泉窯系青磁小杯 | 10－B | 18.37 | 33.06 | -10.85 | | | | |
| 189 | | 73図15 | 木製品 | | 8－B | 36.70 | 30.06 | -9.77 | 可能 | | ○光谷01-2 | ○光谷01-2 |
| 190 | | | 木製品 | 丸太材 | 8－B | 36.88 | 33.46 | -9.46 | 可能 | | マツ属単維管束亜属 | ○試料326 |
| 191 | | | 木製品 | | 8－B | 37.30 | 39.00 | -9.78 | 可能 | | ○光谷01-5 | ○光谷01-5 |
| 192 | | | 木製品 | 丸太材 | 8－B | 36.17 | 39.68 | -9.96 | 可能 | | Dalbergia sp. | ○試料507 |
| 193 | | 70図12 | 木製品 | マストステップ | 8－A | － | － | － | 錆重要処理のため分析中 | | クスノキ | ○試料321 |
| 194 | | | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺 | 8－B | 36.00 | 39.79 | -10.09 | | | | |
| 195 | | 75図28 | 木製品 | | 8－B | 37.67 | 36.43 | -9.69 | 可能 | | ○光谷01-13 | ○光谷01-13 |
| 196 | | | 木製品 | 丸太材 | 8－B | 37.58 | 38.79 | -9.72 | 可能 | | ナツメ | ○試料508 |
| 197 | | | 木製品 | 角材片 | 8－B | 37.30 | 38.84 | -9.74 | 可能 | | ニレ属 | ○試料509 |
| 198 | | | 木製品 | 船材、板材片 | 8－B | 37.05 | 38.89 | -9.82 | 可能 | | クスノキ | ○試料510 |
| 199 | | | 木製品 | | 8－B | 36.70 | 38.88 | -9.91 | 可能 | | ○光谷01-7 | ○光谷01-7 |
| 200 | | | 木製品 | 丸太材？ | 8－B | 36.93 | 38.48 | -9.86 | 可能 | | Dalbergia sp. | ○試料511 |
| 201 | | 82図50 | 木製品 | | 8－B | 36.72 | 38.55 | -9.86 | 要処理 | | ○光谷01-4 | ○光谷01-4 |
| 202 | | | 木製品 | | 8－B | 36.77 | 39.20 | -9.89 | 可能 | | ○光谷01-12 | ○光谷01-12 |
| 203 | | | 木製品 | 丸太材？ | 8－B | 36.47 | 39.28 | -9.99 | 可能 | | ニレ属 | ○試料512 |
| 204 | | | 木製品 | 丸太材？ | 8－B | 37.48 | 39.40 | -9.80 | 可能 | | 針葉樹 | ○試料513 |
| 205 | | | 木製品 | 丸太材片 | 8－B | 37.28 | 39.51 | -9.84 | 可能 | | ツバキ属 | ○試料331 |
| 206 | | | 鉄製品 | 不明 | 8－B | 37.47 | 39.86 | -9.89 | | | | |
| 207 | | | 木製品 | 船材、板材 | 8－B | 37.28 | 39.70 | -9.88 | 可能 | | クスノキ | ○試料514 |
| 208 | | | 木製品 | 丸太材？ | 8－B | 36.87 | 39.65 | -9.91 | 可能 | | マツ属複維管束亜属 | ○試料515 |
| 209 | | | 木製品 | 丸太材 | 8－B | 36.85 | 39.53 | -9.91 | 可能 | | ニレ属 | ○試料516 |
| 210 | | | 鉄製品 | 不明 | 8－B | 36.48 | 39.81 | -9.92 | | | | |
| 211 | | | 鉄製品 | 不明(帯金具？) | 8－B | 36.32 | 39.84 | -9.99 | | | | |
| 212 | | | 鉄製品 | 釘 | 8－B | 36.05 | 39.70 | -10.13 | | | | |
| 213 | | | 木製品 | 船材、板材 | 8－B | 36.37 | 39.95 | -10.01 | 可能 | | クスノキ科 | ○試料332 |
| 214 | | | 木製品 | | 8－B | 38.00 | 37.45 | -9.49 | 可能 | | ○光谷01-8 | ○光谷01-8 |
| 215 | | | 竹材 | | 8－B | 37.73 | 37.73 | -9.56 | 可能 | | | |
| 216 | | | 竹材 | | 8－B | 37.56 | 37.62 | -9.60 | 可能 | | | |
| 217 | | | 鉄製品 | 不明 | 8－B | 36.88 | 37.77 | -9.67 | | | | |
| 218 | | | 鉄製品 | 不明 | 8－B | 37.20 | 36.79 | -9.65 | | | | |
| 219 | | | 鉄製品 | 釘 | 8－B | 37.10 | 36.74 | -9.65 | | | | |
| 220 | | | 鉄製品 | 釘 | 8－B | 39.18 | 37.02 | -9.25 | | | | |
| 221 | | 70図9 | 木製品 | | 8－B | 38.68 | 38.20 | -9.40 | 要処理 | | ○光谷01-10 | ○光谷01-10 |
| 222 | | | 木製品 | 板材 | 8－B | 39.19 | 36.96 | -9.28 | 可能 | | コウヨウザン | ○試料517 |
| 223 | | 67図21 | 骨角製品 | 鹿角加工品 | 8－B | 36.32 | 39.70 | -9.93 | | | | |
| 224 | | | 鉄製品 | 釘？ | 8－B | 36.07 | 39.55 | -9.96 | | | | |
| 225 | | | 鉄製品 | 釘 | 8－B | 36.02 | 39.54 | -9.99 | | | | |
| 226 | | | 鉄製品 | 釘 | 8－B | 35.92 | 39.51 | -10.03 | | | | |
| 227 | | | 鉄製品 | 不明 | 8－B | 36.49 | 39.82 | -9.92 | | | | |
| 228 | | | 鉄製品 | 不明 | 8－B | 36.44 | 39.85 | -9.95 | | | | |
| 229 | | | 鉄製品 | 釘 | 8－B | 36.47 | 39.69 | -9.99 | | | | |
| 230 | | 93図9 | 瓦塼類 | 塼 | 8－C | 34.20 | 24.90 | -8.54 | | | | |
| 231 | | | 陶磁器 | タコ壺(現代) | 8－C | 34.00 | 24.20 | -8.31 | | | | |
| 232 | | | 瓦塼類 | 桶巻作り平瓦？ | 8－C | 35.05 | 26.07 | -8.88 | | | | |
| 233 | a | 32図65 | 陶磁器 | 褐釉陶器壺 | 8－C | 35.45 | 26.67 | -9.04 | | | | |
| 233 | b | | 鉄製品 | 釘 | 8－C | 35.45 | 26.67 | -9.04 | | | | |
| 233 | c | 104図2 | 瓦塼類 | 桶巻作り平瓦 | 8－C | 35.45 | 26.67 | -9.04 | | | | |
| 233 | d | | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺 | 8－C | 35.45 | 26.67 | -9.04 | | | | |
| 234 | | | 陶磁器 | 褐釉陶器長胴壺 | 8－C | 37.90 | 27.57 | -9.24 | | | | |
| 235 | | 94図17 | 瓦塼類 | 塼 | 8－B | 34.95 | 30.05 | -10.02 | | | | |
| 236 | | | 木製品 | 船材、板材 | 8－C | 33.85 | 29.08 | -9.92 | 可能 | | コウヨウザン | ○試料518 |
| 237 | a | | 陶磁器 | 褐釉陶器壺 | 9－C | 27.20 | 28.03 | -10.15 | | | | |
| 237 | b | | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺 | 9－C | 27.20 | 28.03 | -10.15 | | No33f | | |
| 238 | | 104図3 | 瓦塼類 | 桶巻作り平瓦 | 7－C | 40.15 | 24.28 | -7.61 | | | | |
| 239 | | | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺 | 7－C | 41.95 | 26.86 | -8.70 | | | | |
| 240 | | 39図14 | 土製品 | 土製炸裂弾（てつはう） | 7－C | 42.24 | 26.62 | -8.71 | | | | |
| 241 | | | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺 | 7－C | 41.25 | 24.88 | -8.10 | | | | |
| 242 | | | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺 | 7－C | 42.78 | 23.82 | -7.42 | | | | |
| 243 | a | | 陶磁器 | 褐釉陶器壺 | 9－B | 23.05 | 30.53 | -11.24 | | | | |

| 遺物番号 | 枝番 | 挿図番号 | 種別 | 遺物名 | 調査区 | 出土位置 N | 出土位置 W | 標高 | 保存処理方法 | 接合関係 | 樹種同定 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 243 | b | 27図23 | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺 | 9－B | 23.05 | 30.53 | -11.24 | | No25＋42＋80＋H21 a | | |
| 243 | c | 32図60 | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺 | 9－B | 23.05 | 30.53 | -11.24 | | No56＋109 a＋462＋526 b＋RC68 | | |
| 243 | d | 28図28 | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺 | 9－B | 23.05 | 30.53 | -11.24 | | No61 a＋73 a＋1660 | | |
| 243 | e | | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺(タコ壺？) | 9－B | 23.05 | 30.53 | -11.24 | | | | |
| 244 | | 31図59 | 陶磁器 | 褐釉陶器甕 | 9－B | 22.42 | 30.20 | -11.17 | | No152 a＋154 a＋705 c＋716＋809＋810 a＋811 | | |
| 245 | | | 鉄製品 | 釘 | 9－B | 22.50 | 31.12 | -11.43 | | | | |
| 246 | | | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺 | 9－B | 22.66 | 31.92 | -11.49 | | | | |
| 247 | a | | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺 | 9－B | 23.20 | 32.00 | -11.52 | | No57＋77＋159 c＋168 b＋RC221 | | |
| 247 | b | 27図22 | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺 | 9－B | 23.20 | 32.00 | -11.52 | | No33 c＋70＋805 | | |
| 248 | | 30図44 | 陶磁器 | 褐釉陶器壺 | 9－C | 26.15 | 29.30 | -10.66 | | No99 a＋929 | | |
| 249 | | 92図1 | 瓦塼類 | 磚 | 9－C | 26.90 | 29.18 | -10.55 | | | | |
| 250 | | | 木製品 | 丸太材 | 9－C | 27.13 | 29.69 | -10.69 | 可能 | | ニレ属 | ○試料519 |
| 251 | | | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺 | 9－B | 21.42 | 32.84 | -11.38 | | | | |
| 252 | | 26図19 | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺 | 9－C | 23.25 | 28.67 | -10.75 | | No73 b＋141 a＋477 | | |
| 253 | | | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺 | 9－C | 26.90 | 27.18 | -10.14 | | | | |
| 254 | | | 鉄製品 | 不明 | 8－C | 32.53 | 28.40 | -9.97 | | | | |
| 255 | | | 木製品 | 丸太材片 | 8－C | 32.58 | 28.78 | -10.31 | 可能 | | マツ属複維管束亜属 | ○試料330 |
| 256 | | | 鉄製品 | 刀剣？ | 8－C | 34.20 | 29.76 | -10.06 | | | | |
| 257 | | 20図1 | 陶磁器 | 鈞窯澱青釉紫紅斑文碗 | 8－C | 30.46 | 25.83 | -9.27 | | No39＋259 | | |
| 258 | | 20図3 | 陶磁器 | 鈞窯紫紅斑文碗 | 8－C | 30.12 | 25.93 | -9.37 | | No500 | | |
| 259 | | 20図1 | 陶磁器 | 鈞窯澱青釉紫紅斑文碗 | 9－C | 27.40 | 25.65 | -9.56 | | No39＋257 | | |
| 260 | | 23図41 | 陶磁器 | 福建系青磁碗 | 9－B | 22.22 | 39.63 | -12.11 | | | | |
| 261 | | 28図33 | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺 | 8－C | 33.59 | 26.15 | -9.10 | | | | |
| 262 | a | | 鉄製品 | 釘 | 8－C | 33.47 | 26.10 | 9.14 | | | | |
| 262 | b | | 鉄製品 | 釘 | 8－C | 33.47 | 26.10 | 9.14 | | | | |
| 262 | c | | 鉄製品 | 釘 | 8－C | 33.47 | 26.10 | 9.14 | | | | |
| 262 | d | | 鉄製品 | 釘 | 8－C | 33.47 | 26.10 | 9.14 | | | | |
| 262 | e | | 鉄製品 | 釘 | 8－C | 33.47 | 26.10 | 9.14 | | | | |
| 263 | | | 陶磁器 | 褐釉陶器壺 | 8－C | 33.38 | 26.25 | -9.16 | | | | |
| 264 | a | 30図49 | 陶磁器 | 褐釉陶器壺 | 8－C | 32.78 | 26.78 | -9.39 | | | | |
| 264 | b | | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺 | 8－C | 32.78 | 26.78 | -9.39 | | No134＋450 | | |
| 265 | a | 27図27 | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺 | 8－C | 32.82 | 26.55 | -9.27 | | No790 | | |
| 265 | b | | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺 | 8－C | 32.82 | 26.55 | -9.27 | | No935 | | |
| 266 | | | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺 | 8－C | 32.54 | 26.32 | -9.23 | | | | |
| 267 | a | | 鉄製品 | 不明 | 8－C | 32.55 | 25.95 | -9.08 | | | | |
| 267 | b | | 鉄製品 | 不明 | 8－C | 32.55 | 25.95 | -9.08 | | | | |
| 267 | c | | 鉄製品 | 不明 | 8－C | 32.55 | 25.95 | -9.08 | | | | |
| 267 | d | | 鉄製品 | 不明 | 8－C | 32.55 | 25.95 | -9.08 | | | | |
| 267 | e | | 鉄製品 | 不明 | 8－C | 32.55 | 25.95 | -9.08 | | | | |
| 268 | | 48図42 | 銅製品 | 銅鏡？ | 8－C | 31.70 | 24.90 | -8.93 | 危険・要保存処理 | | | |
| 269 | a | | 鉄製品 | 釘 | 8－C | 31.79 | 26.98 | -9.58 | | | | |
| 269 | b | | 鉄製品 | 釘 | 8－C | 31.79 | 26.98 | -9.58 | | | | |
| 269 | c | | 鉄製品 | 不明 | 8－C | 31.79 | 26.98 | -9.58 | | | | |
| 270 | a | | 鉄製品 | 釘 | 8－C | 33.47 | 26.10 | -9.14 | | | | |
| 270 | b | | 鉄製品 | 釘 | 8－B | 38.12 | 35.23 | -9.47 | | | | |
| 271 | | | 鉄製品 | 不明 | 8－B | 37.52 | 35.48 | -9.59 | | | | |
| 272 | | | 鉄製品 | 釘 | 8－B | 37.43 | 35.39 | -9.60 | | | | |
| 273 | | | 鉄製品 | 釘 | 8－B | 37.43 | 35.31 | -9.61 | | | | |
| 274 | | | 鉄製品 | 釘 | 8－A | 36.97 | 41.73 | -10.02 | | | | |
| 275 | | | 鉄製品 | 釘 | 8－A | 36.88 | 41.78 | -10.15 | | | | |
| 276 | | | 鉄製品 | 釘 | 8－A | 36.60 | 41.84 | -10.19 | | | | |
| 277 | | | 鉄製品 | 不明 | 8－A | 36.94 | 41.97 | -10.10 | | | | |
| 278 | a | | 鉄製品 | 不明 | 8－A | 36.49 | 41.39 | -10.09 | | | | |
| 278 | b | | 鉄製品 | 不明 | 8－C | 30.34 | 26.67 | -9.62 | | | | |
| 279 | | | 鉄製品 | 釘 | 8－C | 30.66 | 26.82 | -9.61 | | | | |
| 280 | a | | 鉄製品 | 不明 | 8－C | 30.51 | 26.26 | -9.40 | | | | |
| 280 | b | | 鉄製品 | 釘 | 8－C | 30.69 | 25.94 | -9.29 | | | | |
| 281 | | | 鉄製品 | 不明 | 8－C | 30.59 | 25.71 | -9.21 | | | | |
| 300 まで欠番 | | | | | | | | | | | | |
| 301 | | | 紙製品 | 紙製品？ | 7－B | 45.95 | 36.17 | -7.76 | | | | |
| 302 | | 94図15 | 瓦塼類 | 磚 | 8－B | 39.51 | 34.96 | -9.23 | | | | |
| 303 | | | 木製品 | 丸太材？ | 8－B | 39.29 | 33.98 | -9.22 | 可能 | | ヤマモモ属 | ○試料520 |
| 304 | | 83図53 | 木製品 | | 8－B | 39.02 | 35.46 | -9.29 | 要処理 | | ○光谷01－6 | ○光谷01－6 |
| 305 | | | 木製品 | 板材 | 8－B | 38.95 | 35.53 | -9.38 | 可能 | | マツ属単維管束亜属 | ○試料324 |
| 306 | | | 木製品 | 丸太材 | 8－B | 38.56 | 34.85 | -9.36 | 可能 | | マツ属複維管束亜属 | ○試料329 |
| 307 | | 70図13 | 木製品 | 角材 | 8－B | 38.20 | 34.70 | -9.49 | 要処理 | | ○光谷01-9 | ○光谷01-9 |
| 308 | | | 鉄製品 | 釘 | 8－B | 38.12 | 35.23 | -9.47 | | | | |
| 309 | | | 瓦塼類 | 磚 | 8－B | 37.63 | 36.10 | -9.58 | | | | |
| 310 | | | 鉄製品 | 不明 | 8－B | 37.52 | 35.48 | -9.59 | | | | |
| 311 | | | 鉄製品 | 釘 | 8－B | 37.43 | 35.39 | -9.60 | | | | |
| 312 | | | 鉄製品 | 釘 | 8－B | 37.43 | 35.31 | -9.61 | | | | |
| 313 | | 29図38 | 陶磁器 | 褐釉陶器壺 | 8－B | 36.65 | 34.40 | -9.73 | | | | |
| 314 | | | 皮製品 | 皮製赤漆塗り小札 | 8－A | 35.61 | 40.18 | -10.25 | 要処理 | | | |
| 315 | | | 木製品 | | 6－C | 51.00 | 23.00 | -6.50 | 可能 | | ○光谷01-14、15 | ○光谷01-14、15 |
| 316 | | | 木製品 | | 6－C | 51.00 | 22.85 | -6.54 | 可能 | | ○光谷01-1 | ○光谷01-1 |

| 遺物番号 | 枝番 | 報告番号 | 種別 | 遺物名 | 調査区 | 出土位置 N | 出土位置 W | 標高 | 保存処理方法 | 接合関係 | 樹種同定 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 317 | | | 木製品 | | 6－C | 50.75 | 22.15 | -6.11 | 可能 | | ○光谷01-3 | ○光谷01-3 |
| 318 | | 38図4 | 土製品 | 土製炸裂弾（てつはう） | 8－A | 35.05 | 42.70 | -10.47 | | | | |
| 319 | | | 鉄製品 | 鉄剣 | 9－C | 27.80 | 29.93 | -10.62 | 要処理 | | | |
| 320 | | 45図10 | 銅製品 | 銅製帯金具（端部飾り） | 9－C | 27.92 | 29.84 | -10.73 | | | | |
| 321 | | 47図28 | 銅製品 | 銅製帯金具（フック） | 9－C | 27.81 | 29.88 | -10.73 | | | | |
| 322 | | 46図27 | 銅製品 | 銅製帯金具（飾り） | 9－C | 27.82 | 29.88 | -10.73 | | | | |
| 323 | | 46図26 | 銅製品 | 銅製帯金具（飾り） | 9－C | 27.77 | 29.87 | -10.75 | | | | |
| 324 | | 45図8 | 銅製品 | 銅製帯金具（飾り） | 9－C | 27.84 | 29.98 | -10.76 | | | | |
| 325 | | 45図6 | 銅製品 | 銅製帯金具（バックル） | 9－C | 27.79 | 29.98 | -10.79 | | | | |
| 326 | | 24図6 | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺 | 9－B | 27.75 | 30.40 | -10.96 | | No81 | | |
| 327 | | 25図12 | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺 | 9－B | 27.91 | 30.73 | -11.02 | | No163 a | | |
| 328 | | 25図11 | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺 | 9－B | 28.07 | 30.77 | -11.04 | | No845 | | |
| 329 | | 45図5 | 銅製品 | 銅製帯金具（バックル） | 9－C | 27.88 | 29.90 | -10.76 | | | | |
| 330 | | | 自然遺物 | 人骨（頭部） | 9－A | 23.66 | 43.77 | -12.63 | | | | |
| 331 | a | | 自然遺物 | 人骨（頭部） | 9－A | 21.66 | 42.68 | -12.30 | | | | |
| 331 | b | | 自然遺物 | 人骨（頭部） | 9－A | 21.66 | 42.68 | -12.30 | | | | |
| 331 | c | | 自然遺物 | 人骨（頭部） | 9－A | 21.66 | 42.68 | -12.30 | | | | |
| 331 | d | | 自然遺物 | 人骨（頭部） | 9－A | 21.66 | 42.68 | -12.30 | | | | |
| 331 | その他 | | 自然遺物 | 人骨（頭部） | 9－A | 21.66 | 42.68 | -12.30 | | | | |
| 332 | | 32図62 | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺 | 8－A | 37.30 | 40.84 | -9.96 | | | | |
| 333 | | | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺 | 8－A | 37.40 | 41.96 | -10.03 | | | | |
| 334 | | | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺 | 8－A | 35.86 | 40.91 | -10.22 | | | | |
| 335 | | 38図5 | 土製品 | 土製炸裂弾（てつはう） | 8－A | 36.20 | 41.41 | -10.18 | | | | |
| 336 | | 111図4 | 陶磁器 | 肥前系磁器染付碗 | 8－A | 35.67 | 41.54 | -10.22 | | | | |
| 337 | | 111図1 | 陶磁器 | 肥前系青磁碗 | 8－A | 35.59 | 41.47 | -10.26 | | | | |
| 338 | | | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺 | 8－A | 35.47 | 41.46 | -10.33 | | | | |
| 339 | | | 自然遺物 | 獣骨？ | 8－A | 37.13 | 41.65 | -9.99 | | | | |
| 340 | | | 自然遺物 | 獣骨 | 8－A | 36.32 | 40.90 | -10.08 | | | | |
| 341 | | | 鉄製品 | 釘 | 8－A | 36.97 | 41.73 | -10.02 | | | | |
| 342 | | | 鉄製品 | 釘 | 8－A | 36.88 | 41.78 | -10.15 | | | | |
| 343 | | | 鉄製品 | 釘 | 8－A | 36.60 | 41.84 | -10.19 | | | | |
| 344 | | | 鉄製品 | 不明 | 8－A | 36.94 | 41.97 | -10.10 | | | | |
| 345 | | | 木製品 | 丸太材 | 8－A | 37.60 | 40.28 | -9.85 | 可能 | | ニレ属 | ○試料521 |
| 346 | | | 木製品 | 板材？ | 8－A | 37.58 | 40.50 | -9.91 | 可能 | | スギ科 | ○試料522 |
| 347 | | | 木製品 | 板材？ | 8－A | 37.52 | 40.53 | -9.92 | 可能 | | スギ科 | ○試料523 |
| 348 | | | 木製品 | 丸太材 | 8－A | 37.41 | 40.46 | -9.92 | 可能 | | スギ属？ | ○試料524 |
| 349 | | | 木製品 | 板材 | 8－A | 37.18 | 41.07 | -9.98 | 可能 | | ニレ属 | ○試料325 |
| 350 | | | 木製品 | 丸太材小破片 | 8－A | 36.87 | 40.82 | -9.93 | 可能 | | ニレ属 | ○試料525 |
| 351 | | | 鉄製品 | 不明 | 8－A | 36.88 | 40.92 | -10.02 | 可能 | | | |
| 352 | | | 木製品 | 船材、板材 | 8－A | 36.62 | 41.25 | -10.08 | 可能 | | コウヨウザン | ○試料526 |
| 353 | | | 鉄製品 | 不明 | 8－A | 36.49 | 41.39 | -10.09 | | | | |
| 354 | | | 木製品 | 船材、板材 | 8－A | 36.42 | 40.95 | -10.06 | 可能 | | コウヨウザン | ○試料527 |
| 355 | | | 木製品 | 板材 | 8－A | 36.02 | 40.15 | -10.10 | 可能 | | Dalbergia sp. | ○試料323 |
| 356 | | 89図1 | 木製品 | 弩弓？ | 8－A | 35.78 | 40.09 | -10.16 | 最重要処理のため分析中 | | ニレ属 | ○試料166 |
| 357 | | | 木製品 | 船材、丸太材 | 8－A | 35.80 | 40.15 | -10.13 | 可能 | | マツ属複維管束亜属 | ○試料528 |
| 358 | | | 木製品 | 板材 | 8－A | 35.88 | 40.30 | -10.14 | 可能 | | ニレ属 | ○試料322 |
| 359 | | | 鉄製品 | 不明（一部釘） | 8－A | 35.71 | 41.37 | -10.28 | 可能 | | | |
| 360 | | | 鉄製品 | 釘？ | 8－A | 35.85 | 41.65 | -10.25 | X線撮影予定 | | | |
| 361 | | | 木製品 | 丸太材 | 8－A | 36.72 | 41.65 | -10.08 | 可能 | | マツ属複維管束亜属 | ○試料327 |
| 362 | | | 木製品 | 船材、板材 | 8－A | 36.68 | 41.73 | -10.08 | 可能 | | ニレ属 | ○試料328 |
| 363 | | | 鉄製品 | 矢束 | 8－A | 35.72 | 41.79 | -10.27 | 要処理 | | | |
| 364 | | | 縄 | 縄 | 8－A | 35.50 | 41.85 | -10.31 | 要処理 | | | |
| 365 | | | 縄 | 縄 | 8－A | 35.90 | 41.70 | -10.25 | 要処理 | | | |
| 366 | | | 縄 | 縄 | 8－A | 36.05 | 41.73 | -10.23 | 要処理 | | | |
| 367 | | | 木炭 | 木炭？ | 8－A | 36.05 | 42.04 | -10.26 | | | | |
| 368 | | | 縄 | 縄 | 8－A | 35.68 | 42.03 | -10.29 | | | | |
| 400 まで欠番 | | | | | | | | | | | | |
| 401 | | 28図31 | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺 | 8－C | 30.09 | 27.18 | 9.75 | | No15 c ＝26 a ＝31 a ＝55 b ＝60 | | |
| 402 | | | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺 | 8－C | 30.47 | 27.40 | 9.77 | | | | |
| 403 | | | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺 | 8－C | 30.54 | 27.23 | 9.73 | | | | |
| 404 | | | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺 | 8－C | 30.27 | 26.68 | 9.62 | | | | |
| 405 | a | 33図67 | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺 | 8－C | 30.20 | 26.86 | 9.60 | | No3 ＝30 a ＝83 ＝410 ＝トレンチa | | |
| 405 | b | | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺 | 8－C | 30.20 | 26.86 | 9.60 | | | | |
| 406 | a | | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺 | 8－C | 30.24 | 26.77 | 9.60 | | | | |
| 406 | b | | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺 | 8－C | 30.24 | 26.77 | 9.60 | | | | |
| 407 | | 32図66 | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺 | 8－C | 30.19 | 26.74 | 9.60 | | No432 a | | |
| 408 | | | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺 | 8－C | 30.11 | 26.71 | 9.58 | | | | |
| 409 | | | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺 | 8－C | 30.15 | 26.68 | 9.58 | | | | |
| 410 | | 33図67 | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺 | 8－C | 30.22 | 26.66 | 9.58 | | No3 ＝30 a ＝83 ＝405 a ＝トレンチa | | |
| 411 | a | | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺 | 8－C | 30.25 | 26.73 | 9.60 | | | | |
| 411 | b | | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺 | 8－C | 30.25 | 26.73 | 9.60 | | | | |
| 412 | | | 鉄製品 | 不明 | 8－C | 30.34 | 26.67 | 9.62 | | | | |
| 413 | | | 鉄製品 | 釘 | 8－C | 30.66 | 26.82 | 9.61 | | | | |
| 414 | | 39図16 | 土製品 | 土製炸裂弾（てつはう） | 8－C | 30.55 | 26.53 | 9.55 | | | | |
| 415 | a | 33図73 | 陶磁器 | 褐釉陶器壺 | 8－C | 30.70 | 26.52 | 9.53 | | No54 c ＝105 b ＝RC71 | | |

| 遺物番号 | 枝番 | 挿図番号 | 種別 | 遺物名 | 調査区 | 出土位置 | | 標高 | 保存処理方法 | 接合関係 | 樹種同定 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | | | N | W | | | | | |
| 415 | b | | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺 | 8－C | 30.70 | 26.52 | 9.53 | | | | |
| 416 | a | | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺 | 8－C | 30.76 | 26.63 | 9.59 | | №539 | | |
| 416 | b | | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺 | 8－C | 30.76 | 26.63 | 9.59 | | | | |
| 416 | c | | 陶磁器 | 褐釉陶器 | 8－C | 30.76 | 26.63 | 9.59 | | | | |
| 417 | | | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺 | 8－C | 30.91 | 26.64 | 9.57 | | | | |
| 418 | | | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺 | 8－C | 30.96 | 26.62 | 9.55 | | | | |
| 419 | | | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺 | 8－C | 30.97 | 26.71 | 9.59 | | | | |
| 420 | | | 鉄製品 | 不明 | 8－C | 30.51 | 26.26 | 9.40 | | | | |
| 421 | | | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺 | 8－C | 30.64 | 26.28 | -9.44 | | | | |
| 422 | | | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺 | 8－C | 30.68 | 26.26 | -9.44 | | | | |
| 423 | | | 陶磁器 | 褐釉陶器壺 | 8－C | 30.78 | 26.37 | -9.45 | | H22 b | | |
| 424 | a | | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺 | 8－C | 30.99 | 26.46 | -9.48 | | №98 g | | |
| 424 | b | | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺 | 8－C | 30.99 | 26.46 | -9.48 | | | | |
| 425 | | | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺 | 8－C | 30.25 | 26.37 | -9.48 | | | | |
| 426 | | | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺 | 8－C | 30.18 | 26.44 | -9.52 | | | | |
| 427 | | 31図56 | 陶磁器 | 褐釉陶器壺 | 8－C | 30.10 | 26.45 | -9.51 | | | | |
| 428 | | 33図69 | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺 | 8－C | 30.00 | 26.42 | -9.49 | | №521 | | |
| 429 | | | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺 | 8－C | 30.04 | 26.35 | -9.46 | | | | |
| 430 | a | | 陶磁器 | 褐釉陶器壺 | 8－C | 30.08 | 26.24 | -9.45 | | | | |
| 430 | b | | 陶磁器 | 褐釉陶器壺 | 8－C | 30.08 | 26.24 | -9.45 | | | | |
| 431 | | | 鉄製品 | 釘 | 8－C | 30.69 | 25.94 | -9.29 | | | | |
| 432 | a | 32図66 | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺 | 8－C | 30.63 | 25.88 | -9.28 | | №407 | | |
| 432 | b | | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺 | 8－C | 30.63 | 25.88 | -9.28 | | | | |
| 432 | c | | 鉄製品 | 鋼鏡？ | 8－C | 30.63 | 25.88 | -9.28 | | | | |
| 433 | | | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺 | 8－C | 30.71 | 25.89 | -9.28 | | | | |
| 434 | | | 陶磁器 | 褐釉陶器壺 | 8－C | 30.68 | 25.84 | -9.26 | | | | |
| 435 | | | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺 | 8－C | 30.62 | 25.81 | -9.26 | | №98 | | |
| 436 | | | 鉄製品 | 不明 | 8－C | 30.59 | 25.71 | -9.21 | | | | |
| 437 | | | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺 | 8－C | 30.64 | 25.73 | -9.20 | | | | |
| 438 | | 26図17 | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺 | 8－C | 30.72 | 25.76 | -9.19 | | №159 b ＊533＊940 | | |
| 439 | | | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺 | 8－C | 30.82 | 25.80 | -9.22 | | | | |
| 440 | | | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺 | 8－C | 30.87 | 25.79 | -9.24 | | | | |
| 441 | a | | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺 | 8－C | 30.87 | 25.94 | -9.22 | | №937 | | |
| 441 | b | | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺 | 8－C | 30.87 | 25.94 | -9.22 | | | | |
| 441 | c | | 鉄製品 | 不明 | 8－C | 30.87 | 25.94 | -9.22 | | | | |
| 442 | a | | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺 | 8－C | 30.97 | 25.63 | -9.15 | | | | |
| 442 | b | | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺 | 8－C | 30.97 | 25.63 | -9.15 | | №96 | | |
| 442 | c | | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺 | 8－C | 30.97 | 25.63 | -9.15 | | | | |
| 443 | | 24図5 | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺 | 8－C | 30.83 | 25.54 | -9.17 | | №28 a ＊55 a ＊79 a | | |
| 444 | a | | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺 | 8－C | 30.85 | 25.63 | -9.14 | | №1 | | |
| 444 | b | | 陶磁器 | 褐釉陶器 | 8－C | 30.85 | 25.63 | -9.14 | | | | |
| 445 | | | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺 | 8－C | 30.67 | 25.60 | -9.22 | | №157 c ＊723 a ＊725 b ＊1661 b | | |
| 446 | | | 鉄製品 | 不明 | 8－C | 30.49 | 25.64 | -9.22 | | | | |
| 447 | | | 鉄製品 | 不明 | 8－C | 30.35 | 25.64 | -9.24 | | | | |
| 448 | | | 鉄製品 | 釘 | 8－C | 30.20 | 25.65 | -9.25 | | | | |
| 449 | | | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺 | 8－C | 30.32 | 25.81 | -9.25 | | | | |
| 450 | | | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺 | 8－C | 30.25 | 25.98 | -9.32 | | №134＊264 b | | |
| 451 | | | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺 | 8－C | 30.26 | 26.04 | -9.32 | | №157 a | | |
| 452 | | 22図21 | 陶磁器 | 福建系青磁碗 | 8－C | 30.14 | 26.05 | -9.36 | | | | |
| 453 | | 23図33 | 陶磁器 | 龍泉窯系青磁鎬蓮弁文碗 | 8－C | 30.12 | 26.10 | -9.38 | | №33 a ＊737 | | |
| 454 | | 20図2 | 陶磁器 | 鈞窯紫紅斑文碗 | 8－C | 30.11 | 25.90 | -9.36 | | №139 a ＊499＊RC234＊H10 | | |
| 455 | | 20図4 | 陶磁器 | 鈞窯紫紅斑文碗 | 8－C | 30.02 | 25.90 | -9.37 | | | | |
| 456 | | | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺 | 8－C | 30.07 | 25.96 | -9.37 | | | | |
| 457 | | | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺 | 8－C | 30.00 | 26.00 | -9.38 | | | | |
| 458 | | | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺 | 8－C | 30.03 | 26.05 | -9.39 | | | | |
| 459 | a | | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺 | 9－C | 29.97 | 26.10 | -9.40 | | | | |
| 459 | b | | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺 | 9－C | 29.97 | 26.10 | -9.40 | | | | |
| 459 | c | | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺 | 9－C | 29.97 | 26.10 | -9.40 | | | | |
| 459 | d | | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺 | 9－C | 29.97 | 26.10 | -9.40 | | | | |
| 460 | | 27図26 | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺 | 9－C | 29.92 | 25.87 | -9.38 | | №41 | | |
| 461 | | | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺 | 9－C | 29.75 | 26.00 | -9.46 | | | | |
| 462 | | 32図60 | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺 | 9－C | 29.75 | 26.05 | -9.46 | | №56＊169 a＊243 c＊526 b＊RC68 | | |
| 463 | a | | 陶磁器 | 福建系青磁碗 | 9－C | 29.85 | 26.25 | -9.48 | | | | |
| 463 | b | | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺 | 9－C | 29.85 | 26.25 | -9.48 | | | | |
| 464 | | 25図10 | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺 | 9－C | 29.84 | 26.34 | -9.50 | | №15 b | | |
| 465 | | | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺 | 9－C | 29.71 | 26.40 | -9.53 | | | | |
| 466 | | | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺 | 9－C | 29.60 | 26.42 | -9.52 | | | | |
| 467 | | | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺 | 9－C | 29.56 | 26.30 | -9.52 | | №508 | | |
| 468 | | | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺 | 9－C | 29.48 | 26.12 | -9.50 | | | | |
| 469 | | | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺 | 9－C | 29.50 | 26.86 | -9.61 | | №524 | | |
| 470 | | | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺 | 9－C | 29.02 | 26.80 | -9.60 | | | | |
| 471 | | | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺 | 9－C | 29.25 | 26.29 | -9.59 | | №485 | | |
| 472 | | | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺 | 9－C | 29.05 | 26.18 | -9.57 | | | | |
| 473 | | | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺 | 9－C | 29.13 | 26.32 | -9.58 | | | | |
| 474 | a | | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺 | 9－C | 28.96 | 26.36 | -9.58 | | №99 b＊RC52 | | |

| 遺物番号 | 枝番 | 挿図番号 | 種別 | 遺物名 | 調査区 | 測土座標 N | 測土座標 W | 標高 | 保存処理方法 | 接合関係 | 出土位置 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 474 | b | | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺 | 9－C | 28.96 | 26.36 | -9.58 | | | | |
| 475 | a | | 陶磁器 | 褐釉陶器 | 9－C | 29.02 | 26.42 | -9.58 | | | | |
| 475 | b | | 陶磁器 | 褐釉陶器 | 9－C | 29.02 | 26.42 | -9.58 | | | | |
| 476 | | | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺 | 9－C | 28.96 | 26.56 | -9.62 | | | | |
| 477 | | 26図19 | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺 | 9－C | 28.82 | 26.29 | -9.57 | | No73 b ＊141 a ＊252 | | |
| 478 | a | | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺 | 9－C | 28.70 | 26.36 | -9.57 | | | | |
| 478 | b | | 陶磁器 | 褐釉陶器 | 9－C | 28.70 | 26.36 | -9.57 | | No483＊503 b | | |
| 479 | | | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺 | 9－C | 28.62 | 26.47 | -9.53 | | No924＊RC60 | | |
| 480 | | | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺 | 9－C | 28.55 | 26.46 | -9.52 | | | | |
| 481 | a | | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺 | 9－C | 28.65 | 26.91 | -9.64 | | | | |
| 481 | b | | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺 | 9－C | 28.65 | 26.91 | -9.64 | | | | |
| 482 | | | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺 | 9－C | 28.16 | 27.27 | -9.85 | | | | |
| 483 | | | 陶磁器 | 褐釉陶器 | 9－C | 28.00 | 27.21 | -9.85 | | No478＊503 b | | |
| 484 | | | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺 | 9－C | 27.87 | 26.59 | -9.66 | | No719 b ＊736 | | |
| 485 | | | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺 | 9－C | 27.58 | 26.62 | -9.68 | | No471 | | |
| 486 | | | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺 | 9－C | 27.66 | 26.45 | -9.67 | | | | |
| 487 | | | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺 | 9－C | 27.64 | 26.30 | -9.61 | | | | |
| 488 | | | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺 | 9－C | 28.00 | 26.08 | -9.58 | | | | |
| 489 | | | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺 | 9－C | 27.96 | 26.08 | -9.58 | | | | |
| 490 | | | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺 | 9－C | 27.88 | 26.07 | -9.58 | | | | |
| 491 | | | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺 | 9－C | 28.52 | 25.96 | -9.53 | | | | |
| 492 | | | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺 | 9－C | 28.45 | 25.72 | -9.50 | | | | |
| 493 | | | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺 | 9－C | 28.41 | 25.17 | -9.31 | | | | |
| 494 | a | | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺 | 9－C | 28.18 | 25.38 | -9.41 | | | | |
| 494 | b | | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺 | 9－C | 28.18 | 25.38 | -9.41 | | | | |
| 495 | a | | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺 | 9－C | 27.83 | 25.86 | -9.51 | | | | |
| 495 | b | | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺 | 9－C | 27.83 | 25.86 | -9.51 | | No588 | | |
| 496 | | | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺 | 9－C | 27.68 | 25.78 | -9.51 | | | | |
| 497 | | | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺 | 9－C | 27.99 | 25.59 | -9.49 | | | | |
| 498 | | | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺 | 9－C | 27.94 | 25.52 | -9.47 | | No28 b ＊1335 | | |
| 499 | | 20図2 | 陶磁器 | 鉄釉紫紅底文碗 | 9－C | 27.87 | 25.46 | -9.47 | | No139 a ＊454＊RC231＊H10 | | |
| 500 | | 20図3 | 陶磁器 | 鉄釉紫紅底文碗 | 9－C | 27.94 | 25.44 | -9.47 | | No258 | | |
| 501 | | | 陶磁器 | 褐釉陶器 | 9－C | 27.94 | 25.13 | -9.38 | | | | |
| 502 | | | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺 | 9－C | 27.91 | 25.15 | -9.38 | | | | |
| 503 | a | | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺 | 9－C | 27.94 | 25.20 | -9.39 | | | | |
| 503 | b | | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺 | 9－C | 27.94 | 25.20 | -9.39 | | No478＊483 | | |
| 504 | | | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺 | 9－C | 27.95 | 25.30 | -9.40 | | | | |
| 505 | a | | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺 | 9－C | 27.83 | 25.28 | -9.35 | | | | |
| 505 | b | | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺 | 9－C | 27.83 | 25.28 | -9.35 | | | | |
| 506 | | | 鉄製品 | 不明 | 9－C | 27.78 | 25.51 | -9.46 | | | | |
| 507 | | | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺 | 9－C | 27.72 | 25.45 | -9.42 | | | | |
| 508 | | | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺 | 9－C | 27.66 | 25.43 | -9.42 | | No467 | | |
| 509 | | | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺 | 9－C | 27.56 | 25.43 | -9.40 | | | | |
| 510 | | | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺 | 9－C | 27.85 | 25.10 | -9.38 | | | | |
| 511 | | | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺 | 9－C | 27.69 | 25.09 | -9.38 | | No27 b | | |
| 512 | | | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺 | 9－C | 27.45 | 24.88 | -9.36 | | | | |
| 513 | a | | 鉄製品 | 釘 | 9－C | 27.22 | 24.78 | -9.35 | | | | |
| 513 | b | | 鉄製品 | 不明 | 9－C | 27.22 | 24.78 | -9.35 | | | | |
| 514 | | | 鉄製品 | 釘 | 9－C | 27.07 | 24.94 | -9.35 | | | | |
| 515 | | | 鉄製品 | 釘 | 9－C | 26.95 | 25.00 | -9.35 | | | | |
| 516 | | | 鉄製品 | 不明 | 9－C | 26.85 | 25.05 | -9.41 | | | | |
| 517 | | | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺 | 9－C | 26.83 | 24.91 | -9.41 | | | | |
| 518 | | 92図3 | 瓦塼類 | 磚 | 9－C | 27.17 | 25.14 | -9.41 | | No519 | | |
| 519 | | 92図3 | 瓦塼類 | 磚 | 9－C | 27.12 | 25.27 | -9.45 | | No518 | | |
| 520 | | | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺 | 9－C | 27.23 | 25.38 | -9.43 | | No53＊RC224＊H14 c | | |
| 521 | | 33図69 | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺 | 9－C | 27.07 | 25.37 | -9.49 | | No128 | | |
| 522 | | | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺 | 9－C | 27.24 | 25.52 | -9.51 | | | | |
| 523 | | | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺 | 9－C | 27.01 | 25.55 | -9.53 | | | | |
| 524 | | | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺 | 9－C | 26.90 | 25.43 | -9.51 | | No469 | | |
| 525 | | 39図12 | 土製品 | 土製弁製弾（てつはう） | 9－C | 26.96 | 25.21 | -9.42 | | | | |
| 526 | a | 33図70 | 陶磁器 | 褐釉陶器壺 | 9－C | 26.63 | 24.67 | -9.36 | | No29＊1658 | | |
| 526 | b | 32図60 | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺 | 9－C | 26.63 | 24.67 | -9.36 | | No56＊169 a ＊243 c ＊462＊RC68 | | |
| 527 | a | | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺 | 9－C | 26.35 | 25.06 | -9.46 | | | | |
| 527 | b | | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺 | 9－C | 26.35 | 25.05 | -9.46 | | | | |
| 528 | | | 鉄製品 | 釘 | 9－C | 26.20 | 25.04 | -9.44 | | | | |
| 529 | | | 鉄製品 | 釘 | 9－C | 26.25 | 24.90 | -9.42 | | | | |
| 530 | | | 鉄製品 | 不明 | 9－C | 26.18 | 24.76 | -9.39 | | | | |
| 531 | | | 鉄製品 | 不明 | 9－C | 26.28 | 24.71 | -9.39 | | | | |
| 532 | | | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺 | 9－C | 25.90 | 24.62 | -9.41 | | | | |
| 533 | | 26図17 | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺 | 9－C | 26.10 | 24.46 | -9.35 | | No159 b ＊438＊940 | | |
| 534 | | | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺 | 9－C | 27.71 | 25.05 | -9.58 | | | | |
| 535 | | | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺 | 9－C | 27.34 | 25.77 | -9.54 | | | | |
| 536 | | | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺 | 9－C | 27.34 | 26.01 | -9.59 | | | | |
| 537 | | | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺 | 9－C | 27.20 | 26.20 | -9.64 | | No37 | | |
| 538 | | | 鉄製品 | 不明 | 9－C | 27.28 | 26.31 | -9.64 | | | | |

| 遺物番号 | 枝番 | 掲図番号 | 種別 | 遺物名 | 調査区 | 出土位置 N | 出土位置 W | 標高 | 保存処理方法 | 接合関係 | 樹種同定 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 539 | | | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺 | 9－C | 27.33 | 26.48 | -9.62 | | №416 | | |
| 540 | | | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺 | 9－C | 26.87 | 26.56 | -9.75 | | | | |
| 541 | | | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺 | 9－C | 26.84 | 26.70 | -9.77 | | | | |
| 542 | | | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺 | 9－C | 26.59 | 26.62 | -9.77 | | | | |

ＫＺＫ０２出土遺物一覧表

| 遺物番号 | 枝番 | 掲図番号 | 種別 | 遺物名 | 調査区 | 出土位置 N | 出土位置 W | 標高 | 保存処理方法 | 接合関係 | 樹種同定 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 601 | | 69図６ | 木製品 | 船板材 | 7－B | 47.88 | 32.05 | -7.37 | 要処理 | | クスノキ | ○試料61 |
| 602 | | | 炭化物 | 炭化米 | 8－A | 31.91 | 43.69 | -10.92 | アルコール脱水による自然乾燥 | | | |
| 603 | | | 漆液 | 粘土塊？ | 8－A | 31.57 | 43.08 | -10.97 | 自然乾燥 | | | |
| 604 | | 66図14 | 漆製品 | 朱塗椀 | 9－A | 29.11 | 44.25 | -11.43 | 真空凍結乾燥法 | | シイ属 | ○試料146 |
| 605 | | | 漆製品 | 朱塗椀 | 8－B | 30.22 | 36.84 | -11.82 | 糖アルコール含浸 | | スギ科 | ○試料148 |
| 606 | | | 漆製品 | 朱塗甲葉（小札一括） | 8－A | 36.63 | 42.10 | -10.11 | 要処理 | | | |
| 607 | | | 漆製品 | 朱塗椀小破片 | 8－A | 36.49 | 42.05 | -10.17 | 最重要処理 | | コウヨウザン | ○試料155 |
| 608 | | | 骨角製品 | 角または鹿甲製櫛 | 8－A | 36.35 | 42.13 | -10.21 | | | | |
| 609 | | | 木製品 | 木製品 | 8－A | 35.94 | 40.06 | -10.11 | 可能 | | コウヨウザン？ | ○試料56 |
| 610 | | 82図48 | 木製品 | 木製品 | 8－A | 35.55 | 40.75 | -10.18 | 要処理 | | クスノキ | ○試料314、２分割 |
| 611 | | | 木製品 | 木製品 | 8－A | 35.72 | 40.52 | -10.15 | 可能 | | クスノキ | ○試料57 |
| 612 | | | 木製品 | 木製品 | 8－A | 35.50 | 40.50 | -10.21 | 可能 | | ニレ属 | ○試料278 |
| 613 | | 39図11 | 土製品 | 球状土製品（てつはう） | 8－A | 35.33 | 40.55 | -10.24 | | | | |
| 614 | | | 木製品 | 木製品 | 8－A | 35.41 | 40.20 | -10.175 | 可能 | | マツ属複維管束亜属 | ○試料475 |
| 615 | | | 木炭 | 木炭 | 8－A | 35.41 | 41.06 | 10.265 | | | | |
| 616 | | | 木製品 | 木製品 | 8－A | 35.11 | 41.27 | -10.255 | 可能 | | バラ科A | ○試料399 |
| 617 | | | 木製品 | 木製品 | 8－A | 35.19 | 41.34 | -10.385 | 可能 | | コウヨウザン | ○試料392 |
| 618 | | | 木製品 | 木製品 | 8－A | 35.13 | 41.37 | -10.39 | 可能 | | バラ科B | ○試料406 |
| 619 | | | 木製品 | 木製品 | 8－A | 35.06 | 41.47 | -10.375 | 可能 | | マツ属複維管束亜属 | ○試料281 |
| 620 | | 24図１ | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺 | 8－A | 34.98 | 41.36 | -10.40 | | №1503 | | |
| 621 | | | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺 | 8－A | 34.96 | 41.23 | -10.38 | | | | |
| 622 | | | 鉄製品 | 鉄釘 | 8－A | 34.82 | 41.37 | -10.40 | | | | |
| 623 | | | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺 | 8－A | 34.84 | 41.47 | -10.43 | | | | |
| 624 | | | 鉄製品 | 鉄釘 | 8－A | 34.82 | 41.57 | -10.41 | | | | |
| 625 | | | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺 | 8－A | 34.97 | 41.78 | -10.42 | | | | |
| 626 | | | 木炭 | 木炭 | 8－A | 34.94 | 41.33 | -10.37 | | | | |
| 627 | | | 木製品 | 木製品 | 8－A | 35.23 | 42.03 | -10.35 | 可能 | | Erythrophloeum sp. | ○試料12 |
| 628 | | | 木炭 | 木炭 | 8－A | 35.31 | 42.05 | -10.30 | | | | |
| 629 | | | 木製品 | 木製品 | 8－A | 35.28 | 42.18 | -10.35 | 要処理 | | クスギ節 | ○試料18 |
| 630 | | 57図28 | 鉄製品 | 鉄製金具 | 8－A | 34.44 | 41.55 | -10.36 | 要処理 | | | Ｖ字状の鉄加工製品 |
| 631 | | | 木製品 | 木製品 | 8－A | 34.35 | 41.33 | -10.53 | | | クスノキ | ○試料490 |
| 632 | | | 木製品 | 木製品 | 8－A | 34.69 | 41.33 | -10.40 | 可能 | | マツ属単維管束亜属 | ○試料98 |
| 633 | | | 鉄製品 | 鉄釘 | 8－A | 34.37 | 40.35 | -10.52 | | | | |
| 634 | | | 鉄製品 | 腐食鉄 | 8－A | 34.36 | 40.38 | 10.52 | | | | |
| 635 | | 78図38 | 木製品 | 木製品 | 8－A | 34.16 | 40.65 | -10.57 | 可能 | | マツ属複維管束亜属 | ○試料105＊276 |
| 636 | | | 木製品 | 木製品 | 8－A | 34.00 | 40.80 | -10.605 | 可能 | | シイ属 | ○試料280 |
| 637 | | | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺 | 8－A | 33.69 | 40.64 | -10.70 | | | | |
| 638 | | | 漆製品 | 朱塗棒状木製品 | 8－B | 31.72 | 38.79 | -11.79 | 糖アルコール含浸 | | シイ属 | ○試料192 |
| 639 | | 75図26 | 木製品 | 木製品 | 8－B | 30.22 | 38.04 | -11.79 | 要処理 | | スギ科 | ○試料312 |
| 640 | | | 鉄製品 | 鉄釘 | 8－B | 30.60 | 37.86 | -11.80 | | | | |
| 641 | | | 鉄製品 | 鉄釘 | 8－B | 30.53 | 37.77 | -11.80 | 可能 | | | ２点 |
| 642 | | | 木製品 | 木製品 | 9－B | 29.20 | 37.33 | -11.92 | 要処理 | | クスノキ | ○試料318 |
| 643 | | | 木製品 | 木製品 | 8－B | 30.97 | 37.42 | -11.71 | | | マツ属複維管束亜属 | ○試料503 |
| 644 | | | 木製品 | 木製品 | 8－B | 30.95 | 37.10 | -11.68 | 可能 | | マツ属複維管束亜属 | ○試料309 |
| 645 | | | 木製品 | 木製品 | 9－B | 29.88 | 37.55 | -11.97 | 可能 | | マツ属複維管束亜属 | ○試料128 |
| 646 | | 23図40 | 陶磁器 | 「王百戸」命銘青磁碗 | 8－B | 31.63 | 30.39 | -10.57 | | №792 | | 福建省産青磁碗 |
| 647 | | 33図75 | 陶磁器 | 褐釉陶器壺 | 8－B | 32.05 | 30.23 | -10.46 | | | | |
| 648 | | | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺 | 8－C | 31.79 | 29.90 | -10.40 | | | | |
| 649 | | 94図16 | 瓦礫類 | 長方礫 | 8－C | 31.28 | 29.84 | -10.50 | | | | |
| 650 | | | 鉄製品 | 鉄釘 | 8－B | 31.67 | 30.10 | -10.45 | | | | |
| 651 | | | 鉄製品 | 鉄製品 | 8－B | 30.72 | 30.13 | -10.57 | | | | |
| 652 | | | 鉄製品 | 鉄釘 | 8－B | 31.10 | 31.13 | -10.70 | 可能 | | | |
| 653 | | | 木製品 | 木製品 | 8－B | 30.58 | 31.13 | -10.69 | 可能 | | スギ科 | ○試料235 |
| 654 | | | 鉄製品 | 鉄釘 | 8－B | 30.62 | 31.26 | -10.70 | | | | |
| 655 | | | 鉄製品 | 鉄釘 | 8－B | 30.70 | 31.20 | -10.65 | | | | |
| 656 | | | 鉄製品 | 鉄釘 | 8－B | 30.61 | 31.07 | -10.67 | | | | |
| 657 | | 22図19 | 陶磁器 | 福建系青磁碗 | 8－B | 30.14 | 30.26 | -10.62 | | | | |
| 658 | a | | 鉄製品 | 鉄釘 | 9－B | 29.77 | 30.61 | -10.715 | | | | |
| 658 | b | | 木製品 | 木製品 | 9－B | 29.77 | 30.61 | -10.715 | 可能 | | マツ属 | ○試料305 |
| 659 | | | 鉄製品 | 鉄釘 | 9－B | 29.91 | 30.80 | -10.74 | | | | |
| 660 | | | 鉄製品 | 箭（矢）束 | 9－B | 29.82 | 30.92 | -10.80 | 要処理 | | | 20本 |
| 661 | | | 陶磁器 | 褐釉陶器耳付壺 | 8－C | 30.41 | 29.54 | -10.47 | | | | |
| 662 | | | 鉄製品 | 鉄製品 | 9－B | 29.65 | 30.40 | -10.71 | | | | |
| 663 | | | 鉄製品 | 鉄釘 | 9－B | 29.60 | 30.54 | -10.75 | | | | |
| 664 | | | 鉄製品 | 鉄釘 | 9－B | 29.43 | 30.53 | -10.80 | | | | |
| 665 | | | 鉄製品 | 鉤状鉄製品 | 8－B | 31.68 | 37.57 | -11.61 | | | | 銹釘か？ |
| 666 | | | 木製品 | 木製品 | 8－B | 30.12 | 37.20 | -11.91 | 可能 | | サンプリング無し（松の皮） | |

| 遺物番号 | 枝番 | 挿図番号 | 種別 | 遺物名 | 調査区 | 出土位置 | | 標高 | 保存処理方法 | 接合関係 | 樹種同定 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | | | N | W | | | | | |
| 667 | | | 木製品 | 木製品 | 9－B | 29.93 | 37.15 | -11.92 | 可能 | | マツ属 | ○試料385 |
| 668 | | | 木製品 | 木製品 | 9－B | 29.50 | 37.30 | -11.90 | 可能 | | クスノキ | ○試料296 |
| 669 | | | 木製品 | 木製品 | 8－A | 34.58 | 42.20 | -10.52 | | | クスノキ | ○試料217 |
| 670 | | | 木製品 | 木製品 | 8－A | 34.76 | 42.70 | -10.55 | 可能 | | イスノキ属 | ○試料404 |
| 671 | | | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺 | 8－A | 34.67 | 42.74 | -10.56 | | | | 松ぼっくりか内容物(長さ5cm) |
| 672 | | | 木製品 | 木製品 | 8－A | 34.55 | 42.70 | -10.54 | 要処理 | | シイ属 | ○試料5 |
| 673 | | | 自然遺物 | 獣骨 | 8－A | 34.59 | 42.64 | -10.54 | | | | 椎骨 |
| 674 | | | 木製品 | 木製品 | 8－A | 34.53 | 42.66 | -10.575 | | | クヌギ節 | ○試料488 |
| 675 | | | 縄 | 縄 | 8－A | 34.38 | 42.73 | -10.59 | 要処理 | | | 3本撚り |
| 676 | | | 鉄製品 | 鉄釘 | 8－A | 34.38 | 42.76 | -10.59 | | | | |
| 677 | | | 木製品 | 木製品 | 8－A | 34.12 | 42.86 | -10.65 | 可能 | | サクラ属 | ○試料270 |
| 678 | | | 木製品 | 木製品 | 8－A | 33.78 | 43.07 | -10.645 | 可能 | | マツ属単維管束亜属 | ○試料315 |
| 679 | | | 木製品 | 木製品 | 8－A | 34.22 | 43.13 | -10.61 | 可能 | | マツ属複維管束亜属 | ○試料264？、301、313 |
| 680 | | | 木製品 | 木製品 | 8－A | 34.17 | 43.39 | -10.62 | 可能 | | ヒノキ科 | ○試料24 |
| 681 | | | 木製品 | 木製品 | 8－A | 34.21 | 43.45 | -10.565 | 可能 | | マツ属複維管束亜属 | ○試料114 |
| 682 | | 59図1 | 鉄製品 | 箭〔矢〕束 | 8－A | 33.51 | 43.31 | -10.735 | 要処理 | | | 35本 |
| 683 | | | 木製品 | 木製品 | 8－A | 33.70 | 42.96 | -10.72 | 可能 | | マツ属複維管束亜属 | ○試料378 |
| 684 | | | 木製品 | 木製品 | 8－A | 33.59 | 42.81 | -10.74 | 可能 | | マツ属複維管束亜属 | ○試料395 |
| 685 | | | 木製品 | 木製品 | 8－A | 33.44 | 42.94 | -10.75 | 可能 | | マキ属 | ○試料421 |
| 686 | | | 木製品 | 木製品 | 8－A | 33.32 | 42.98 | -10.755 | 可能 | | ニレ属 | ○試料303 |
| 687 | | | 花崗岩 | 花崗岩？ | 8－A | 33.09 | 43.10 | -10.79 | | | | |
| 688 | | 30図45 | 陶磁器 | 褐釉陶器壺 | 9－B | 21.13 | 30.32 | -11.36 | | No495 b | | |
| 689 | | | 鉄製品 | 箭〔矢〕束 | 9－B | 20.86 | 30.15 | -11.38 | 要処理 | | | 60本 |
| 690 | | | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺 | 9－C | 21.05 | 29.99 | -11.30 | | | | |
| 691 | | | 自然石 | 自然石砂岩？ | 9－B | 20.58 | 31.48 | -11.57 | | | | |
| 692 | | | 鉄製品 | 板状鉄製品 | 9－B | 20.18 | 31.32 | -11.57 | | | | 漆製品含む |
| 693 | | | 鉄製品 | 鉄製品 | 9－B | 20.19 | 31.23 | -11.53 | | | | 漆製品含む |
| 694 | | | 鉄製品 | 鉄製品 | 10－B | 19.90 | 31.48 | -11.63 | 要処理 | | | 兜破片10数点 |
| 695 | | | 鉄製品 | 板状鉄製品 | 10－B | 19.67 | 31.44 | -11.58 | | | | |
| 696 | | | 鉄製品 | 板状鉄製品 | 10－B | 19.78 | 31.30 | -11.57 | | | | 漆製品含む |
| 697 | | | 鉄製品 | 鉄製品 | 10－B | 19.90 | 31.23 | -11.57 | | | | 小札含む |
| 698 | | | 鉄製品 | 鉄釘 | 10－B | 19.95 | 31.36 | -11.56 | | | | |
| 699 | | | 陶磁器 | 陶器鉢 | 9－B | 20.54 | 30.21 | -11.27 | | | | KZK01No44と同型式か？ |
| 700 | | | 鉄製品 | 鉄製品 | 9－C | 20.20 | 29.58 | -11.11 | 要処理 | | | 内部に木質・鞘が残る |
| 701 | | | 鉄製品 | 鉄釘 | 9－C | 20.96 | 22.05 | -9.20 | | | | 5点 |
| 702 | | 43図9 | 石製品 | 石硯 | 9－C | 21.20 | 22.30 | -9.26 | | | | |
| 703 | a | | 陶磁器 | 褐釉陶器壺 | 9－C | 20.90 | 22.70 | -9.40 | | | | |
| 703 | b | | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺 | 9－C | 20.90 | 22.70 | -9.40 | | | | |
| 703 | c | | 陶磁器 | 陶器 | 9－C | 20.90 | 22.70 | -9.40 | | | | |
| 703 | d | | 鉄製品 | 鉄釘 | 9－C | 20.90 | 22.70 | -9.40 | | | | |
| 703 | e | | 鉄製品 | 鉄釘 | 9－C | 20.90 | 22.70 | -9.40 | | | | |
| 703 | f | | 鉄製品 | 鉄釘 | 9－C | 20.90 | 22.70 | -9.40 | | | | |
| 704 | a | | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺 | 9－C | 21.35 | 22.80 | -9.39 | | | | |
| 704 | b | | 陶磁器 | 陶器壺？ | 9－C | 21.35 | 22.80 | -9.39 | | | | |
| 705 | a | | 陶磁器 | 長胴小口瓶 | 9－C | 21.30 | 23.10 | -9.48 | | | | |
| 705 | b | | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺 | 9－C | 21.30 | 23.10 | -9.48 | | | | |
| 705 | c | 31図59 | 陶磁器 | 褐釉陶器甕 | 9－C | 21.30 | 23.10 | -9.48 | | No152＝154＝244＝716＝809＝810 a ＝811 | | |
| 705 | d | | 陶磁器 | 褐釉陶器 | 9－C | 21.30 | 23.10 | -9.48 | | | | |
| 705 | e | | 銅製品 | 銅銭 | 9－C | 21.30 | 23.10 | -9.48 | | | | 塊 |
| 706 | a | | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺 | 9－C | 22.40 | 22.50 | -9.20 | | | | |
| 706 | b | | 鉄製品 | 鉄釘 | 9－C | 22.40 | 22.50 | -9.20 | | | | 4点 |
| 707 | a | | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺 | 9－C | 23.80 | 25.30 | -9.75 | | | | |
| 707 | b | | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺 | 9－C | 23.80 | 25.30 | -9.75 | | | | |
| 707 | c | | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺 | 9－C | 23.80 | 25.30 | -9.75 | | | | |
| 707 | d | | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺 | 9－C | 23.80 | 25.30 | -9.75 | | | | |
| 707 | e | | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺 | 9－C | 23.80 | 25.30 | -9.75 | | | | |
| 707 | f | | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺 | 9－C | 23.80 | 25.30 | -9.75 | | | | |
| 707 | g | | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺 | 9－C | 23.80 | 25.30 | -9.75 | | | | |
| 707 | h | 34図81 | 陶磁器 | 褐釉陶器小壺 | 9－C | 23.80 | 25.30 | -9.75 | | | | |
| 707 | i | 110図1 | 陶磁器 | 縄文後期土器 | 9－C | 23.80 | 25.30 | -9.75 | | | | |
| 707 | j | | 鉄製品 | 鉄釘 | 9－C | 23.80 | 25.30 | -9.75 | | | | |
| 708 | | | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺 | 9－C | 20.70 | 25.55 | -9.98 | | | | |
| 709 | | | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺 | 9－C | 22.90 | 25.55 | -9.86 | | | | |
| 710 | | | 鉄製品 | 鉄製柄？ | 9－C | 23.05 | 25.30 | -9.85 | 要処理 | | | 鞘？ |
| 711 | a | | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺 | 9－C | 23.80 | 25.30 | -9.75 | | | | |
| 711 | b | | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺 | 9－C | 23.80 | 25.30 | -9.75 | | No84 | | |
| 711 | c | | 鉄製品 | 鉄釘 | 9－C | 23.80 | 25.30 | -9.75 | | | | |
| 711 | d | | 鉄製品 | 鉄釘 | 9－C | 23.80 | 25.30 | -9.75 | | | | |
| 712 | a | | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺 | 9－C | 23.75 | 25.95 | -9.86 | | | | |
| 712 | b | | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺 | 9－C | 23.75 | 25.95 | -9.86 | | | | |
| 712 | c | | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺 | 9－C | 23.75 | 25.95 | -9.86 | | | | |
| 712 | d | | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺 | 9－C | 23.75 | 25.95 | -9.86 | | | | |
| 712 | e | | 鉄製品 | 鉄釘 | 9－C | 23.75 | 25.95 | -9.86 | | | | |
| 713 | | 21図6 | 陶磁器 | 白磁口禿碗 | 9－C | 23.50 | 26.15 | -9.93 | | | | |
| 714 | | | 鉄製品 | 鉄釘 | 9－C | 22.50 | 26.80 | -10.08 | | | | |

| 遺物番号 | 枝番 | 挿図番号 | 種別 | 遺物名 | 調査区 | 出土位置 N | 出土位置 W | 標高 | 保存処理方法 | 接合関係 | 樹種同定 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 715 | | 110図6 | 陶磁器 | 土師器小杯b | 9－C | 21.60 | 27.35 | -10.39 | | | | 完形 |
| 716 | | 31図59 | 陶磁器 | 褐釉陶器甕 | 9－C | 21.55 | 26.75 | -10.46 | | No152＝154＝244＝705 c ＝809＝810 a ＝811 | | |
| 717 | | | 鉄製品 | 鉄製品 | 9－C | 25.55 | 23.95 | -9.24 | | | | 鉄釘か？ |
| 718 | | | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺 | 9－C | 25.55 | 23.40 | -9.08 | | | | |
| 719 | a | | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺 | 9－C | 26.40 | 26.70 | -9.83 | | | | |
| 719 | b | | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺 | 9－C | 26.40 | 26.70 | -9.83 | | No484＝736 | | |
| 720 | | | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺 | 9－C | 27.50 | 27.10 | -9.96 | | | | |
| 721 | | | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺 | 9－C | 20.95 | 26.35 | -9.60 | | No54 b ＝158 i ＝536＝727 | | |
| 722 | a | 39図18 | 土製品 | 球状土製品（てつはう） | 9－C | 28.70 | 25.95 | -9.53 | | | | |
| 722 | b | | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺 | 9－C | 28.70 | 25.95 | -9.53 | | | | |
| 723 | a | | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺 | 9－C | 29.15 | 27.25 | -9.76 | | No157 c ＝445＝725 b ＝1661 b | | |
| 723 | b | | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺 | 9－C | 29.15 | 27.25 | -9.76 | | | | |
| 723 | c | | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺 | 9－C | 29.15 | 27.25 | -9.76 | | | | |
| 723 | d | | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺 | 9－C | 29.15 | 27.25 | -9.76 | | | | |
| 724 | a | | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺 | 9－C | 29.35 | 25.70 | -9.41 | | | | |
| 724 | b | | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺 | 9－C | 29.35 | 25.70 | -9.41 | | | | |
| 724 | c | | 陶磁器 | 褐釉陶器小壺 | 9－C | 29.35 | 25.70 | -9.41 | | No17 b ＝34＝1114 a | | |
| 725 | a | | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺 | 9－C | 29.75 | 25.75 | -9.38 | | | | |
| 725 | b | | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺 | 9－C | 29.75 | 25.75 | -9.38 | | No157 c ＝445＝723 a ＝1661 b | | |
| 726 | a | | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺 | 9－C | 29.45 | 24.65 | -9.01 | | | | |
| 726 | b | | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺 | 9－C | 29.45 | 24.65 | -9.01 | | | | |
| 727 | | | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺 | 9－C | 29.05 | 23.55 | -8.75 | | No54 b ＝158 i ＝536＝721 | | |
| 728 | | | 鉄製品 | 鉄製品 | 8－C | 30.75 | 25.90 | -9.30 | | | | 3点 |
| 729 | a | | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺 | 9－C | 29.65 | 25.55 | -9.28 | | No808＝KZK00RC32 | | |
| 729 | b | | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺 | 9－C | 29.65 | 25.55 | -9.28 | | | | |
| 729 | c | | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺 | 9－C | 29.65 | 25.55 | -9.28 | | | | |
| 729 | d | | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺 | 9－C | 29.65 | 25.55 | -9.28 | | | | |
| 730 | | | 陶磁器 | 陶器鉢 | 8－C | 39.50 | 24.80 | -7.90 | | KZK01RC6 | | |
| 731 | | | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺 | 8－B | 32.65 | 33.55 | -10.44 | | | | |
| 732 | | 111図2 | 陶磁器 | 染付蜻蛉草文長胴瓶 | 8－B | 32.35 | 36.55 | -10.36 | | | | |
| 733 | | 30図50 | 陶磁器 | 褐釉陶器耳付壺 | 8－B | 30.75 | 38.45 | -10.47 | | | | |
| 734 | | 110図7 | 陶磁器 | 瓦器椀（和泉型）Ⅲ3 | 8－B | 32.30 | 32.40 | -10.47 | | | | |
| 735 | | 66図12 | 漆製品 | 「張（花押）」銘刻書朱塗椀 | 8－B | 33.00 | 32.80 | -10.41 | 焙アルコール含浸 | | 不詳 | ○試料149、断片未処理あり |
| 736 | | | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺 | 9－C | 27.40 | 27.90 | -10.12 | | No484＝719 b | | |
| 737 | | 23図33 | 陶磁器 | 龍泉窯系青磁鍋蓮弁文碗 | 9－C | 27.65 | 26.50 | -9.69 | | No33 a ＝453 | | |
| 738 | | | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺 | 9－C | 29.05 | 27.70 | -9.95 | | | | |
| 739 | | | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺 | 9－C | 29.90 | 26.90 | -9.63 | | | | |
| 740 | a | | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺 | 9－C | 29.65 | 25.55 | -9.28 | | | | |
| 740 | b | | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺 | 9－C | 29.65 | 25.55 | -9.28 | | | | |
| 741 | a | | 自然遺物 | 獣骨 | 7－C | 43.30 | 27.35 | -8.42 | | | | 顎の骨（牛？豚？） |
| 741 | b | | 自然遺物 | 獣骨 | 7－C | 43.30 | 27.35 | -8.42 | | | | 顎の骨（牛？豚？） |
| 741 | c | | 炭製品 | 炭灰 | 7－C | 43.30 | 27.35 | -8.42 | | | | |
| 742 | | | 木製品 | 木製品 | 7－C | 43.30 | 27.90 | -8.43 | 可能 | | クスノキ | ○試料11 |
| 743 | | | 鉄製品 | 鉄製品 | 7－C | 43.60 | 27.45 | -8.34 | | | | |
| 744 | | | 鉄製品 | 鉄製品 | 7－C | 43.80 | 27.90 | -8.43 | | | | 3点。カブトか？ |
| 745 | | | 鉄製品 | 鉄製胃破片 | 7－C | 44.20 | 27.29 | -8.35 | | | | 破片一括 |
| 746 | | | 陶磁器 | 渡辺見焼徳利 | 7－C | 43.95 | 29.85 | -7.67 | | | | |
| 747 | | | 木製品 | 木製品 | 7－C | 49.10 | 28.35 | -7.23 | 可能 | | マツ科 | ○試料27 |
| 748 | | | 木製品 | 木製品 | 6－C | 50.45 | 27.65 | -7.09 | 可能 | | ニレ属 | ○試料310 |
| 749 | | | 木製品 | 木製品 | 6－C | 51.25 | 26.70 | -6.99 | 可能 | | ハイノキ属 | ○試料427 |
| 750 | | | 木製品 | 木製品 | 6－C | 51.80 | 26.25 | -6.88 | 可能 | | マツ属複維管束亜属 | ○試料431 |
| 751 | | | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺 | 10－C | 19.70 | 20.60 | -8.96 | | | | |
| 752 | | | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺 | 10－C | 19.30 | 20.40 | -9.03 | | | | |
| 753 | | | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺 | 10－C | 19.60 | 21.65 | -9.26 | | | | |
| 754 | | | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺 | 10－C | 18.65 | 21.15 | -9.28 | | | | |
| 755 | | | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺 | 10－C | 18.30 | 22.35 | -9.67 | | | | |
| 756 | | | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺 | 10－C | 16.35 | 21.40 | -9.42 | | | | |
| 757 | a | | 陶磁器 | 褐釉陶器壺 | 10－C | 17.20 | 22.95 | -9.76 | | No153 b・156・757 b・757 c・759 a・779 a・779 b・787 a・789 a・789 b・KZK005x63 | | |
| 757 | b | | 陶磁器 | 褐釉陶器壺 | 10－C | 17.20 | 22.95 | -9.76 | | No153 b・156・757 a・757 c・759 a・779 a・779 b・787 a・789 a・789 b・KZK005x63 | | |
| 757 | c | | 陶磁器 | 褐釉陶器壺 | 10－C | 17.20 | 22.95 | -9.76 | | No153 b・156・757 a・757 b・759 a・779 a・779 b・787 a・789 a・789 b・KZK005x63 | | |
| 757 | d | | 鉄製品 | 鉄製鏑？ | 10－C | 17.20 | 22.95 | -9.76 | 要処理 | | | |
| 757 | e | | 鉄製品 | 鉄釘 | 10－C | 17.20 | 22.95 | -9.76 | | | | |
| 758 | | | 鉄製品 | 鉄製鏑または胃 | 10－C | 16.45 | 23.00 | -9.96 | | | | |
| 759 | a | | 陶磁器 | 褐釉陶器壺 | 10－C | 16.75 | 23.95 | -10.40 | | No153 b・156・757 a・757 b・757 c・779 a・779 b・787 a・789 a・789 b・KZK005x63 | | |
| 759 | b | | 鉄製品 | 鉄釘 | 10－C | 16.75 | 23.95 | -10.40 | | | | |
| 760 | | | 鉄製品 | 棒状鉄製品 | 10－C | 18.05 | 24.80 | -10.25 | | | | |
| 761 | | | 鉄製品 | 鉄釘 | 10－C | 15.85 | 24.70 | -10.47 | | | | |
| 762 | | | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺 | 10－C | 15.85 | 22.75 | -9.88 | | | | |
| 763 | | | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺 | 10－C | 15.80 | 23.05 | -9.86 | | | | |
| 764 | | | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺 | 10－C | 13.35 | 21.40 | -9.66 | | No784 | | |
| 765 | | | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺 | 10－C | 13.30 | 21.40 | -9.67 | | | | |
| 766 | | | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺 | 10－C | 13.10 | 21.60 | -9.69 | | | | |
| 767 | | 30図51 | 陶磁器 | 褐釉陶器耳付壺 | 10－C | 14.15 | 22.25 | -9.83 | | | | |
| 768 | a | 34図83 | 陶磁器 | 陶器皿 | 10－C | 14.60 | 22.75 | -9.94 | | | | |
| 768 | b | | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺 | 10－C | 14.60 | 22.75 | -9.94 | | | | |

| 遺物番号 | 枝番 | 挿図番号 | 種別 | 遺物名 | 調査区 | 出土位置 N | 出土位置 W | 標高 | 保存処理方法 | 接合関係 | 樹種同定 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 769 | | | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺 | 10－C | 12.85 | 22.65 | -9.91 | | | | |
| 770 | | | 陶磁器 | 福建系青磁碗？ | 10－C | 14.90 | 20.70 | -9.43 | | | | |
| 771 | | 43図8 | 石製品 | 石臼 | 10－C | 18.75 | 22.90 | -9.63 | | | | |
| 772 | a | | 鉄製品 | 鉄製鏃または宵 | 10－C | 16.35 | 23.05 | -9.89 | | | | |
| 772 | b | | 鉄製品 | 鉄釘 | 10－C | 16.35 | 23.05 | -9.89 | | | | |
| 772 | c | | 鉄製品 | 鉄製品 | 10－C | 16.35 | 23.05 | -9.89 | | | | |
| 773 | a | | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺 | 10－C | 17.60 | 27.25 | -10.75 | | | | |
| 773 | b | | 鉄製品 | 鉄釘 | 10－C | 17.60 | 27.25 | -10.75 | | | | |
| 774 | | | 鉄製品 | 箭（矢）束 | 10－C | 16.50 | 27.00 | -10.64 | | | | 10本 |
| 775 | | | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺 | 10－C | 19.85 | 27.35 | -10.65 | | | | |
| 776 | | 35図87 | 陶磁器 | 褐釉陶器鉢 | 10－C | 19.65 | 27.65 | -10.75 | | | | |
| 777 | | 28図29 | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺 | 10－C | 20.20 | 28.80 | -11.05 | | №813＝901 | | |
| 778 | | | 鉄製品 | 鉄釘 | 10－C | 18.90 | 27.40 | -10.78 | | | | 3点 |
| 779 | a | | 陶磁器 | 褐釉陶器壺 | 10－C | 17.60 | 27.25 | -10.75 | | №153 b＝156＝757 a＝757 b＝757 c＝759 a＝779 b＝787 a＝789 a＝789 b＝ＫＺＫ00№63 | | |
| 779 | b | | 陶磁器 | 褐釉陶器壺 | 10－C | 17.60 | 27.25 | -10.75 | | №153 b＝156＝757 a＝757 b＝757 c＝759 a＝779 a＝787 a＝789 a＝789 b＝ＫＺＫ00№63 | | |
| 779 | c | | 鉄製品 | 鉄釘 | 10－C | 17.60 | 27.25 | -10.75 | | | | |
| 780 | | | 鉄製品 | 鉄釘 | 10－C | 17.10 | 27.90 | -10.98 | 可能 | | | 3点＝芯鉄見えず |
| 781 | | 32図63 | 陶磁器 | 褐釉陶器壺 | 10－C | 16.10 | 27.95 | -10.96 | | | | |
| 782 | a | | 陶磁器 | 褐釉陶器壺 | 10－C | 16.75 | 27.35 | -10.72 | | | | |
| 782 | b | | 陶磁器 | 褐釉陶器壺 | 10－C | 16.75 | 27.35 | -10.72 | | | | |
| 783 | | | 鉄製品 | 鉄製宵 | 10－C | 16.25 | 27.05 | -10.68 | 要処理 | | | 一部小札遺存＝数片に破損 |
| 784 | | | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺 | 10－C | 16.10 | 25.50 | -10.37 | | №764 | | |
| 785 | | | 鉄製品 | 板状鉄製品 | 10－C | 16.40 | 25.75 | -10.47 | 要処理 | | | 兜破片4片に分解 |
| 786 | | | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺 | 10－C | 16.95 | 25.70 | -10.51 | | | | |
| 787 | a | | 陶磁器 | 褐釉陶器壺 | 10－C | 17.55 | 25.35 | -10.38 | | №153 b＝156＝757 a＝757 b＝757 c＝759 a＝779 a＝779 b＝789 a＝789 b＝ＫＺＫ00№63 | | |
| 787 | b | | 鉄製品 | 鉄製品 | 10－C | 17.55 | 25.35 | -10.38 | 最重要処理 | | | 乳頭状製品 |
| 788 | | | 鉄製品 | 鉄釘 | 10－C | 17.73 | 25.30 | -10.26 | | | | 2点 |
| 789 | a | | 陶磁器 | 陶器壺 | 10－C | 18.30 | 25.70 | -10.37 | | №153 b＝156＝757 a＝757 b＝757 c 759 a＝779 a＝779 b＝787 a＝789 b＝ＫＺＫ00№63 | | |
| 789 | b | | 陶磁器 | 陶器壺 | 10－C | 18.30 | 25.70 | -10.37 | | №153 b＝156＝757 a＝757 b＝757 c＝759 a＝779 a＝779 b＝787 a＝789 a＝ＫＺＫ00№63 | | |
| 790 | | 27図27 | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺 | 9－B | 20.45 | 33.95 | -11.80 | | №265 a | | |
| 791 | | | 鉄製品 | 鉄釘 | 9－B | 21.10 | 37.55 | -12.17 | | | | |
| 792 | | 23図40 | 陶磁器 | 福建系青磁碗 | 9－B | 20.60 | 37.65 | -12.28 | | №646 | | |
| 793 | | | 鉄製品 | 鉄釘 | 9－B | 20.70 | 38.55 | -12.29 | 可能 | | | 3点 |
| 794 | | 48図41 | 銅製品 | 青銅製擬宝珠 | 9－B | 20.25 | 38.55 | -12.29 | | | | |
| 795 | | | 木製品 | 木製品 | 9－B | 20.03 | 38.35 | -12.32 | 可能 | | モチノキ属 | ○試料23 |
| 796 | | 41図5 | 石製品 | 石製錘 | 10－B | 19.80 | 38.50 | -12.33 | | | | 42.7kg |
| 797 | | | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺 | 10－B | 19.20 | 38.50 | -12.48 | | №21 a | | |
| 798 | | 29図37 | 陶磁器 | 陶器耳付壺 | 10－B | 18.40 | 39.15 | -12.58 | | | | |
| 799 | | 27図24 | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺 | 10－B | 16.65 | 34.30 | -12.10 | | | | |
| 800 | | | 銅製品 | 銅製鈴 | 10－B | 17.30 | 34.75 | -12.34 | 脆弱、取扱い注意 | | | |
| 801 | | | 陶磁器 | 褐釉陶器壺？ | 10－B | 17.60 | 34.40 | -12.30 | | | | |
| 802 | | | 鉄製品 | 鉄製品 | 10－B | 18.55 | 34.00 | -12.15 | 要処理 | | | №804と関連あるか？鉄の塊 |
| 803 | | | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺 | 10－B | 19.70 | 34.00 | -12.00 | | | | |
| 804 | | | 鉄製品 | 鉄製品 | 10－B | 19.30 | 33.50 | -11.95 | 要処理 | | | №802と関連あるか？鉄の塊 |
| 805 | | 27図22 | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺 | 10－B | 19.85 | 33.25 | -11.80 | | №33 e＝70＝247 b | | |
| 806 | | | 鉄製品 | 鉄釘 | 9－B | 20.08 | 32.85 | -11.80 | | | | |
| 807 | | | 鉄製品 | 鉄製宵片 | 9－B | 21.95 | 35.35 | -11.95 | 要処理 | | | a～g、その他 |
| 808 | | | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺 | 9－B | 22.30 | 32.30 | -11.65 | | №729 a＝ＫＺＫ00RC32 | | |
| 809 | | 31図59 | 陶磁器 | 褐釉陶器壺 | 10－B | 17.30 | 30.95 | -11.35 | | №716＝810 a＝811＝152＝154＝705 c | | |
| 810 | a | 31図59 | 陶磁器 | 褐釉陶器壺 | 10－C | 17.15 | 29.65 | -11.20 | | №716＝809＝811＝152＝154＝705 c | | |
| 810 | b | | 陶磁器 | 陶器？ | 10－C | 17.15 | 29.65 | -11.20 | | | | |
| 811 | | 31図59 | 陶磁器 | 褐釉陶器壺 | 10－C | 17.00 | 28.25 | -11.20 | | №716＝809＝810 a＝152＝154＝705 c | | |
| 812 | | | 鉄製品 | 鉄刀？ | 10－C | 17.05 | 29.05 | -11.00 | 要処理 | | | 鞘あり |
| 813 | | 28図29 | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺 | 10－C | 20.00 | 29.14 | -11.17 | | №777＝901 | | |
| 814 欠番 | | | | | | | | | | | | |
| 815 | | | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺 | 9－B | 21.87 | 30.50 | -11.24 | | | | |
| 816 | | 41図4 | 石製品 | 砂岩製石硯 | 9－B | 21.80 | 30.80 | -11.29 | | | | |
| 817 | | 23図31 | 陶磁器 | 龍泉窯系青磁無文碗 | 8－B | 30.44 | 32.68 | -10.76 | | | | |
| 818 | | | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺 | 9－B | 29.10 | 31.73 | -10.89 | | | | |
| 819 | | 31図57 | 陶磁器 | 褐釉陶器壺 | 9－B | 28.88 | 31.60 | -10.99 | | №76＝172＝1493＝ＫＺＫ01RC7 | | |
| 820 | | 31図53 | 陶磁器 | 褐釉陶器壺 | 9－B | 25.20 | 33.75 | -11.48 | | №145＝903 | | |
| 821 | | | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺 | 9－B | 25.90 | 34.25 | -11.40 | | | | |
| 822 欠番 | | | | | | | | | | | | |
| 823 | a | 38図8 | 土製品 | 球状土製品（てつはう） | 9－B | 27.00 | 35.10 | -11.35 | | | | |
| 823 | b | 39図21 | 土製品 | 球状土製品（てつはう） | 9－B | 27.00 | 35.10 | -11.35 | | | | |
| 825 まで欠番 | | | | | | | | | | | | |
| 826 | | 111図6 | 陶磁器 | 肥前系？磁器染付型紙摺皿 | 8－A | 39.65 | 40.25 | -8.85 | | | | |
| 827 | | | 縄 | 縄 | 8－A | 39.90 | 45.20 | -9.31 | 高級アルコール含浸 | | | |
| 828 | | 89図4 | 木製品 | 小判状木製品 | 8－A | 39.75 | 45.10 | -9.41 | 要処理 | | マツ属複維管束亜属 | ○試料266 |
| 829 | | 22図16 | 陶磁器 | 福建系墨書青磁碗 | 9－B | 21.26 | 31.32 | -11.40 | | | | 外面露胎部の墨書不詳 |
| 830 | | 24図3 | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺 | 9－B | 23.95 | 32.81 | -11.48 | | №832 b＝RC27＝RC28 | | |
| 831 | | 29図41 | 陶磁器 | 褐釉陶器壺 | 9－B | 23.66 | 32.98 | -11.57 | | №832 a＝833＝RC26 | | |
| 832 | a | 29図41 | 陶磁器 | 褐釉陶器壺 | 9－B | 23.51 | 34.04 | -11.68 | | №831＝833＝RC26 | | |
| 832 | b | 24図3 | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺 | 9－B | 23.51 | 34.04 | -11.68 | | №830＝RC27＝RC28 | | |
| 833 | | 29図41 | 陶磁器 | 褐釉陶器壺 | 9－B | 23.88 | 34.67 | -11.70 | | №831＝832 a＝RC26 | | |

| 遺物番号 | 枝番 | 挿図番号 | 種別 | 遺物名 | 調査区 | 出土位置 N | 出土位置 W | 標高 | 保存処理方法 | 接合関係 | 樹種同定 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 834 | | | 陶磁器 | 施釉陶器壺？ | 9－B | 21.63 | 37.53 | -12.14 | | No835＊946 | | |
| 835 | | | 陶磁器 | 施釉陶器壺？ | 9－B | 22.06 | 37.74 | -12.19 | | No834＊946 | | |
| 836 | | | 木製品 | 木製品 | 9－B | 23.87 | 37.44 | -11.83 | 可能 | | コウヨウザン | ○試料134 |
| 837 | | | 鉄製品 | 棒状鉄製品 | 9－B | 24.15 | 37.83 | -11.82 | 要処理 | | | 管？ |
| 838 | a | | 鉄製品 | 鉄釘 | 9－B | 25.85 | 36.64 | -11.60 | | | | |
| 838 | b | | 木製品 | 木製品 | 9－B | 25.85 | 36.64 | -11.60 | 可能 | | マツ属複維管束亜属 | ○試料464 |
| 839 | | | 木製品 | 木製品 | 9－B | 27.52 | 38.06 | -11.13 | | | ニレ属 | ○試料505 |
| 840 | | | 陶磁器 | 施釉陶器四耳壺 | 9－B | 29.05 | 35.90 | -11.01 | | | | |
| 841 | | | 鉄製品 | 鉄釘 | 9－B | 28.35 | 35.01 | -11.10 | 可能 | | | 3点No.909附属の釘か？錆ふくれ |
| 842 | | 83図54 | 木製品 | 木製品 | 9－B | 24.66 | 32.00 | -11.08 | 要処理 | | 散孔材 | ○試料117 |
| 843 | a | | 鉄製品 | 鉄釘 | 9－A | 20.37 | 41.50 | -12.28 | 可能 | | | |
| 843 | b | | 木製品 | 木製品 | 9－A | 20.37 | 41.50 | -12.28 | 可能 | | | |
| 843 | | 83図51 | 木製品 | 船板材 | 9－A | 20.37 | 41.50 | -12.28 | 要処理 | No843 a と接合 | クスノキ | ○試料198＊釘付き |
| 844 | a | | 木製品 | 木製品 | 9－A | 21.14 | 42.27 | -12.21 | 可能 | | コウヨウザン | ○試料468 |
| 844 | b | | 木製品 | 木製品 | 9－A | 21.14 | 42.27 | -12.21 | 可能 | | ニレ属 | ○試料469 |
| 845 | | 25図11 | 陶磁器 | 施釉陶器四耳壺 | 9－A | 21.91 | 41.72 | -12.36 | | No328 | | |
| 846 | a | | 鉄製品 | 鉄釘一括 | 9－A | 20.83 | 43.37 | -12.36 | 可能 | | | 13点 |
| 846 | b | | 自然遺物 | 獣骨 | 9－A | 20.83 | 43.37 | -12.36 | | | | 椎骨 |
| 847 | | | 鉄製品 | 鉄釘 | 9－A | 23.45 | 43.39 | -12.19 | 可能 | | | 3点 |
| 848 | a | | 鉄製品 | 鉄釘 | 9－A | 23.68 | 43.96 | -12.18 | | | | |
| 848 | b | | 木製品 | 船材？ | 9－A | 23.68 | 43.96 | -12.18 | 要処理 | | ニレ属 | ○試料13 |
| 849 | | | 鉄製品 | 鉄釘 | 9－A | 24.39 | 43.86 | -12.05 | | | | 7点 |
| 850 | | | 木製品 | 木製品 | 9－A | 24.37 | 43.57 | -12.01 | | | マツ属複維管束亜属 | ○試料505 |
| 851 | | 81図45 | 木製品 | 木製品 | 9－A | 24.92 | 43.33 | -11.97 | 要処理 | | ヒノキ科 | ○試料84 |
| 852 | | | 漆製品 | 漆製品 | 9－A | 24.83 | 42.37 | -11.93 | 要処理 | | 不詳 | ○試料346 |
| 853 | | | 木製品 | 把手 | 9－A | 24.18 | 41.92 | -11.91 | 要処理 | | マツ属複維管束亜属 | ○試料173 |
| 854 | | 86図67 | 木製品 | 木製品 | 9－A | 24.49 | 41.64 | -11.88 | 可能 | | Dalbergia sp. | ○試料94 |
| 855 | | | 鉄製品 | 鉄釘 | 9－A | 24.37 | 45.93 | -11.65 | 可能 | | | 2点＊真ん中に木質＊鉄は見えない |
| 856 | | | 木製品 | 木製品 | 8－B | 32.18 | 33.60 | -10.44 | 可能 | | ニレ属 | ○試料141 |
| 857 | | | 陶磁器 | 施釉陶器壺 | 8－B | 34.34 | 32.70 | -10.29 | | | | |
| 858 | | 23図34 | 陶磁器 | 施釉陶器四耳壺 | 8－B | 34.55 | 33.06 | -10.29 | | No1780 | | |
| 859 | | | 木製品 | 木製品 | 8－B | 33.56 | 35.50 | -10.19 | 可能 | | クスノキ | ○試料480 |
| 860 | | | 木製品 | 木製品 | 8－B | 34.28 | 35.92 | -10.03 | 可能 | | クスノキ | ○試料471 |
| 861 | | | 木製品 | 木製品 | 8－B | 35.01 | 36.32 | -10.01 | 可能 | | クスノキ | ○試料474 |
| 862 | | | 木製品 | 木製品 | 8－B | 35.86 | 36.48 | -10.02 | 可能 | | マツ属複維管束亜属 | ○試料369 |
| 863 | | | 鉄製品 | 鏃（矢）束 | 8－B | 33.99 | 37.57 | -10.23 | 最重要処理 | | | 楕円形の単位＝70本（基本単位か） |
| 864 | a | | 鉄製品 | 棒状鉄製品 | 8－B | 32.09 | 35.36 | -10.45 | 要処理 | 杭状の木製品864 a とつながる | | 鉄さびの塊 |
| 864 | b | | 木製品 | 木材？ | 8－B | 32.09 | 35.36 | -10.45 | 可能 | | エンジュ属 | ○試料302 |
| 865 | a | | 木製品 | 木製品 | 8－B | 32.56 | 37.67 | -10.39 | 可能 | | ニレ属 | ○試料472 |
| 865 | b | | 木製品 | 木製品 | 8－B | 32.56 | 37.67 | -10.39 | 可能 | | コウヨウザン？ | ○試料473 |
| 866 | | | 木製品 | 木製品 | 8－B | 33.25 | 37.95 | -10.50 | 要処理 | | コウヨウザン？ | ○試料181 |
| 867 | | 58図31 | 鉄製品 | 鉄製品 | 8－B | 32.46 | 38.44 | -10.49 | 可能 | | | スコップ状製品？4片に分解 |
| 868 | | | 陶磁器 | 施釉陶器四耳壺 | 8－B | 33.30 | 38.47 | -10.39 | | | | |
| 869 | | | 木製品 | 木製品 | 8－B | 32.74 | 38.82 | -10.60 | 可能 | | マツ属複維管束亜属 | ○試料232 |
| 870 | | | 陶磁器 | 施釉陶器四耳壺 | 8－B | 35.74 | 39.65 | -10.16 | | | | |
| 871 | | 63図5 | 漆製品 | 棒状漆塗木製品 | 8－B | 30.23 | 36.16 | -10.79 | 真空凍結乾燥法 | | 不詳 | ○試料159 |
| 872 | | | 木製品 | 木製品 | 8－B | 33.02 | 36.31 | -10.25 | | | サンプル不可（皮） | |
| 873 | a | 92図2 | 瓦磚類 | 長方磚 | 8－B | 39.24 | 34.36 | -9.24 | | | | |
| 873 | b | 92図4 | 瓦磚類 | 長方磚 | 8－B | 39.24 | 34.36 | -9.24 | | | | |
| 874 | | | 木製品 | 木製品 | 8－B | 38.66 | 34.05 | -9.31 | 可能 | | クスノキ | ○試料91 |
| 875 | | 77図33 | 木製品 | 木製品 | 8－B | 39.38 | 33.76 | -9.19 | 要処理 | | クスノキ | ○試料192 |
| 876 | | 77図35 | 木製品 | 木製品 | 8－B | 38.82 | 32.74 | -9.31 | 要処理 | | マツ属複維管束亜属 | ○試料138 |
| 877 | | | 陶磁器 | 施釉陶器壺 | 7－C | 41.78 | 26.98 | -8.78 | | No1449＊KZK01RC143 | | |
| 878 | | 54図9, 55図13 | 鉄製品 | 鉄刀 | 7－C | 43.04 | 29.07 | -8.55 | 最重要処理 | | | 4つ折れ |
| 879 | | | 陶磁器 | 施釉陶器四耳壺 | 7－C | 42.71 | 29.60 | -8.71 | | | | |
| 880 | | | 木製品 | 木製品 | 7－C | 42.31 | 29.87 | -8.69 | 可能 | | マツ属複維管束亜属 | ○試料199 |
| 881 | | 22図27 | 陶磁器 | 福建系青磁碗 | 7－C | 42.17 | 29.88 | -8.73 | | | | |
| 882 | | | 陶磁器 | 施釉陶器壺 | 7－B | 40.29 | 33.53 | -9.00 | | | | |
| 883 | | 84図55 | 木製品 | 有孔板材片 | 7－B | 40.23 | 33.80 | -8.99 | 可能 | | コウヨウザン | ○試料214 |
| 884 | | | 木製品 | 木製品 | 7－B | 41.58 | 33.20 | -8.84 | 可能 | | ニレ属 | ○試料465 |
| 885 | a | | 木製品 | 木製品 | 7－B | 41.75 | 33.42 | -8.77 | 可能 | | アカガシ亜属 | ○試料66 |
| 885 | b | | 木製品 | 木製品 | 7－B | 41.75 | 33.42 | -8.77 | 可能 | | アカガシ亜属 | ○試料445 |
| 885 | c | | 木製品 | 木製品 | 7－B | 41.75 | 33.42 | -8.77 | 可能 | | アカガシ亜属 | ○試料446 |
| 886 | a | | 木製品 | 木製品 | 7－B | 41.92 | 34.22 | -8.68 | 可能 | | スギ属 | ○試料457 |
| 886 | b | | 木製品 | 木製品 | 7－B | 41.92 | 34.22 | -8.68 | 可能 | | Dalbergia sp. | ○試料458 |
| 886 | c | | 木製品 | 木製品 | 7－B | 41.92 | 34.22 | -8.68 | 可能 | | ニレ属 | ○試料459 |
| 886 | d | | 木製品 | 木製品 | 7－B | 41.92 | 34.22 | -8.68 | 可能 | | コウヨウザン | ○試料460 |
| 887 | a 付着 | | 鉄製品 | 鉄製品 | 7－B | 42.64 | 34.38 | -8.56 | 要処理 | | | 887 a 付着釘頭 |
| 887 | a | | 木製品 | 木製品 | 7－B | 42.64 | 34.38 | -8.56 | 可能 | | クスノキ | ○試料450 |
| 887 | b | | 木製品 | 木製品 | 7－B | 42.64 | 34.38 | -8.56 | 可能 | | ニレ属 | ○試料451 |
| 888 | a | | 木製品 | 木製品 | 7－B | 43.13 | 33.95 | -8.49 | 可能 | | ニレ属 | ○試料481 |
| 888 | b | | 木製品 | 木製品 | 7－B | 43.13 | 33.95 | | 可能 | | ニレ属 | ○試料482 |
| 888 | c | | 木製品 | 木製品 | 7－B | 43.13 | 33.95 | | 可能 | | スギ属 | ○試料483 |
| 888 | d | | 木製品 | 木製品 | 7－B | 43.13 | 33.95 | | 可能 | | マツ属単維管束亜属？ | ○試料484 |
| 889 | | | 木製品 | 木製品 | 7－B | 43.68 | 32.27 | -8.47 | 可能 | | ヒノキ科 | ○試料461 |

| 遺物番号 | 枝番 | 挿図番号 | 種別 | 遺物名 | 調査区 | 出土位置 N | 出土位置 W | 標高 | 保存処理方法 | 接合関係 | 樹種同定 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 890 | | | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺 | 7－B | 45.38 | 31.20 | -8.01 | | | | |
| 891 | a | | 自然遺物 | 獣骨 | 7－B | 41.64 | 32.29 | -8.73 | | | | 四肢骨(手足の骨) |
| 891 | b | | 自然遺物 | 獣骨 | 7－B | 41.64 | 32.29 | -8.73 | | | | 部位不明 |
| 892 | a | 29図35 | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺 | 7－B | 40.21 | 35.99 | -8.94 | | | | |
| 892 | b | | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺 | 7－B | 40.21 | 35.99 | -8.94 | | | | |
| 893 | a | | 漆製品 | 漆椀底部 | 7－B | 45.17 | 35.40 | -8.11 | 要処理 | | スギ属 | ○試料193 |
| 893 | b | | 木製品 | 木栓？ | 7－B | 45.17 | 35.40 | -8.11 | 要処理 | | マツ属複維管束亜属 | ○試料177 |
| 894 | | | 陶磁器 | 褐釉陶器壺 | 7－B | 45.53 | 36.08 | -7.95 | | | | |
| 895 | | | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺 | 7－B | 47.52 | 35.51 | -7.68 | | | | |
| 896 | | | 銅製品 | 銅製鈸 | 7－B | 47.05 | 35.91 | -7.81 | 要処理 | | スギ属 | ○試料317・銅状(漆塗本体の木質遺存) |
| 897 | | 47図34 | 銅製品 | 銅製鈴 | 7－B | 47.98 | 35.70 | -7.61 | | | | |
| 898 | | 22図28 | 陶磁器 | 福建系青磁片切彫蓮弁文碗 | 7－B | 48.11 | 34.98 | -7.63 | | No900 | | |
| 899 | | | 木製品 | 木栓 | 7－B | 48.40 | 34.85 | -7.57 | 要処理 | | マツ属複維管束亜属 | ○試料348 |
| 900 | | 22図28 | 陶磁器 | 福建系青磁片切彫蓮弁文碗 | 7－B | 48.98 | 34.98 | -7.41 | | No898 | | |
| 901 | | 28図29 | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺 | 10－C | 19.80 | 29.51 | -11.075 | | No777・813 | | |
| 902 | | | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺 | 10－C | 19.70 | 29.99 | -11.12 | | | | |
| 903 | | 31図53 | 陶磁器 | 「九」字銘刻褐釉陶器壺 | 10－B | 19.30 | 30.44 | -11.33 | | No820・145 | | |
| 904 | | | 鉄製品 | 鉄釘 | 10－C | 18.33 | 29.71 | -11.86 | | | | |
| 905 | | | 鉄製品 | 鉄釘 | 10－C | 18.19 | 29.76 | -11.18 | | | | |
| 906 | | 22図17 | 陶磁器 | 福建系青磁碗 | 10－C | 18.06 | 29.40 | -11.17 | | | | |
| 907 | | | 鉄製品 | 鉄釘 | 10－C | 17.79 | 29.95 | -11.31 | | | | |
| 908 | | | 鉄製品 | 鉄釘 | 10－C | 17.67 | 29.95 | -11.29 | | | | |
| 909 | | 69図7 | 木製品 | 船材（外版） | 9－B | 27.80 | 33.43 | -11.01 | 要処理 | | クスノキ | ○試料58b |
| 910 | | | 鉄製品 | 鉄釘 | 9－B | 27.91 | 34.95 | -11.05 | 可能 | | | 909の関連品 |
| 911 | | | 鉄製品 | 鉄釘 | 9－B | 27.77 | 31.60 | -11.07 | 可能 | | | 909の関連品 |
| 912 | | | 鉄製品 | 鉄釘 | 9－B | 27.81 | 34.48 | -11.09 | 可能 | | | 909の関連品 |
| 913 | | | 鉄製品 | 鉄釘 | 9－B | 27.78 | 34.30 | -11.07 | 可能 | | | 909の関連品 |
| 914 | | | 鉄製品 | 鉄釘 | 9－B | 27.57 | 33.72 | -11.06 | 可能 | | | 909の関連品 |
| 915 | | | 鉄製品 | 鉄釘 | 9－B | 27.38 | 32.86 | -11.05 | 可能 | | | 909の関連品 |
| 916 | | | 鉄製品 | 鉄釘 | 9－B | 27.33 | 32.73 | -11.04 | 可能 | | | 909の関連品 |
| 917 | | | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺 | 9－B | 27.14 | 32.13 | -11.05 | | | | |
| 918 | | 86図65 | 木製品 | 外板(No.909)の一部 | 9－B | 27.02 | 31.67 | -11.03 | 要処理 | | クスノキ | ○試料62 |
| 919 | | | 鉄製品 | 鉄製品 | 9－B | 27.46 | 31.70 | -10.88 | | | | |
| 920 | | | 鉄製品 | 鉄釘 | 9－B | 27.79 | 32.36 | -10.97 | 可能 | | | 909の関連品 |
| 921 | | | 木製品 | 木製品 | 9－B | 27.95 | 31.81 | -11.03 | 可能 | | | 909の関連品 |
| 922 | | | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺 | 9－C | 26.17 | 29.75 | -10.715 | | | | |
| 923 | | | 鉄製品 | 鉄釘 | 9－C | 25.95 | 29.59 | -10.65 | | | | |
| 924 | | 32図61 | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺 | 9－C | 25.51 | 29.73 | -10.76 | | No179・KZK01RC60 | | |
| 925 | | | 木製品 | 木製品 | 9－B | 25.53 | 30.63 | -11.005 | | | マツ属単維管束亜属 | ○試料489 |
| 926 | | 49図46 | 銅製品 | 銅碗？ | 9－B | 25.11 | 30.33 | -10.99 | | | | |
| 927 | | 36図96 | 陶磁器 | 褐釉陶器水注 | 9－B | 25.06 | 30.07 | -10.97 | | KZK00No1・KZK00No38 | | |
| 928 | | | 鉄製品 | 鉄釘 | 9－B | 24.97 | 30.63 | -11.05 | | | | |
| 929 | | 30図44 | 陶磁器 | 褐釉陶器壺 | 9－B | 24.85 | 30.76 | -11.12 | | No99a・248 | | |
| 930 | | | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺 | 9－B | 24.79 | 30.55 | -11.07 | | No936・1659 | | |
| 931 | | | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺 | 9－B | 24.82 | 30.31 | -10.94 | | II31c | | |
| 932 | | | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺 | 4－C | 24.88 | 29.65 | -10.79 | | | | |
| 933 | | 23図36 | 陶磁器 | 龍泉窯系青磁小盤 | 9－B | 24.32 | 30.18 | -11.00 | | RC59 | | |
| 934 | a | | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺 | 9－C | 24.18 | 29.59 | -10.83 | | | | |
| 934 | b | | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺 | 9－C | 24.18 | 29.59 | -10.83 | | | | |
| 935 | | | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺 | 9－B | 24.10 | 30.18 | -11.02 | | No265b | | |
| 936 | | | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺 | 9－B | 23.93 | 30.15 | -11.00 | | No930・1659 | | |
| 937 | | | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺 | 9－C | 23.73 | 29.98 | -10.965 | | No441a | | |
| 938 | | 22図29 | 陶磁器 | 福建省産青磁碗 | 9－B | 23.89 | 30.78 | -11.20 | | | | |
| 939 | | | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺 | 9－B | 23.88 | 30.95 | -11.23 | | | | |
| 940 | | 26図17 | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺 | 9－B | 23.54 | 30.93 | -11.325 | | No159b・438・533 | | |
| 941 | | | 鉄製品 | 鉄製品 | 9－B | 23.56 | 31.28 | -11.35 | | | | |
| 942 | | 25図9 | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺 | 9－B | 23.68 | 38.90 | -11.98 | | | | 完形・内部土サンプル有 |
| 943 | | | 木炭 | 木炭 | 9－B | 23.74 | 38.70 | -11.91 | | | | |
| 944 | | | 木製品 | 木製品 | 9－B | 23.64 | 38.52 | -11.92 | | | マツ属単維管束亜属 | ○試料497 |
| 945 | | | 自然石 | 自然石玄武岩 | 9－B | 22.60 | 38.15 | -11.98 | | | | |
| 946 | | | 陶磁器 | 褐釉陶器壺 | 9－B | 22.42 | 38.66 | -12.16 | | No834・835・946 | | |
| 947 | | | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺 | 9－B | 24.04 | 35.22 | -11.70 | | | | |
| 948 | a | | 鉄製品 | 鉄製品 | 9－B | 23.17 | 35.85 | -11.775 | | | | a～m一括 |
| 948 | b | | 鉄製品 | 鉄製品 | 9－B | 23.17 | 35.85 | -11.775 | | | | |
| 948 | c | | 鉄製品 | 鉄製品 | 9－B | 23.17 | 35.85 | -11.775 | | | | |
| 948 | d | | 鉄製品 | 鉄製品 | 9－B | 23.17 | 35.85 | -11.775 | | | | |
| 948 | e | | 鉄製品 | 鉄製品 | 9－B | 23.17 | 35.85 | -11.775 | | | | |
| 948 | f | | 鉄製品 | 鉄製品 | 9－B | 23.17 | 35.85 | -11.775 | | | | |
| 948 | g | | 鉄製品 | 鉄製品 | 9－B | 23.17 | 35.85 | -11.775 | | | | |
| 948 | h | | 鉄製品 | 鉄製品 | 9－B | 23.17 | 35.85 | -11.775 | | | | |
| 948 | i | | 鉄製品 | 鉄製品 | 9－B | 23.17 | 35.85 | -11.775 | | | | |
| 948 | j | | 鉄製品 | 鉄製品 | 9－B | 23.17 | 35.85 | -11.775 | | | | |
| 948 | k | | 鉄製品 | 鉄製品 | 9－B | 23.17 | 35.85 | -11.775 | | | | |
| 948 | l | | 鉄製品 | 鉄製品 | 9－B | 23.17 | 35.85 | -11.775 | | | | |
| 948 | m | | 鉄製品 | 鉄製品 | 9－B | 23.17 | 35.85 | -11.775 | | | | |

| 遺物番号 | 枝番 | 挿図番号 | 種別 | 遺物名 | 調査区 | 出土位置 N | 出土位置 W | 標高 | 保存処理方法 | 接合関係 | 樹種同定 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 948 | a | | 鉄製品 | 鉄製品 | 9－B | 23.17 | 35.85 | -11.775 | | | | |
| 948 | その他 | | 鉄製品 | 鉄製品 | 9－B | 23.17 | 35.85 | -11.775 | | | | |
| 949 | | 69図8 | 木製品 | 船材（外版） | 9－B | 23.35 | 37.05 | -11.645 | 要処理 | | クスノキ | ○試料60 |
| 949 | 一部 | | 鉄製品 | 外版の金属部分 | 9－B | 23.35 | 37.05 | -11.645 | | | | |
| 950 | | | 木製品 | 木製品 | 9－B | 24.40 | 37.97 | -11.69 | 可能 | | ニレ属 | ○試料415 |
| 951 | | | 木製品 | 木製品 | 9－B | 24.24 | 38.33 | -11.90 | 可能 | No1762と接合 | マツ属複維管束亜属 | ○試料20 |
| 952 | | 26図30 | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺 | 9－B | 22.51 | 37.04 | -11.95 | | No148＝164 | | |
| 953 | | 93図8 | 瓦磚類 | 長方磚 | 9－B | 27.01 | 32.38 | -11.14 | | | | |
| 954 | | | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺 | 9－B | 26.78 | 31.81 | -11.45 | | | | |
| 955 | a | 33図71 | 陶磁器 | 陶器耳壺 | 9－B | 26.62 | 32.30 | -11.25 | | | | |
| 955 | b | | 鉄製品 | 鉄釘 | 9－B | 26.62 | 32.30 | -11.25 | 可能 | | | 909の関連品 |
| 956 | | | 鉄製品 | 釘痕 | 9－B | 27.02 | 32.80 | -11.20 | 可能 | | | 909の関連品 |
| 957 | | | 鉄製品 | 鉄釘 | 9－B | 27.70 | 32.20 | -10.97 | 可能 | | | 2点錆ふくれ |
| 958 | | | 鉄製品 | 鉄釘 | 9－B | 27.98 | 33.32 | -11.07 | | | | 3点＊909の関連品 |
| 959 | | | 木製品 | 木製品 | 9－B | 29.16 | 33.01 | -11.03 | 可能 | | ニレ属 | ○試料311 |
| 960 | | 34図79 | 陶磁器 | 長頸小口瓶 | 9－B | 27.30 | 34.31 | -11.295 | | | | |
| 961 | | | 鉄製品 | 鉄釘 | 9－B | 27.74 | 34.57 | -11.17 | 可能 | | | 鉄釘もしくは鉄板 |
| 962 | | | 鉄製品 | 箭（矢）束 | 9－B | 27.43 | 34.29 | -11.275 | 要処理 | | | 矢の束＊2つに破損 |
| 963 | | | 鉄製品 | 鉄製品 | 9－B | 27.56 | 34.24 | -11.26 | 可能 | | | 909の関連品 |
| 964 | | | 木製品 | 木製品 | 8－A | 32.67 | 42.30 | -10.785 | 可能 | | ニレ属 | ○試料69 |
| 965 | | | 鉄製品 | 箭（矢）束 | 8－A | 32.85 | 42.63 | -10.80 | 要処理 | | | 25本 |
| 966 | | | 木製品 | 木製品 | 8－A | 32.63 | 42.84 | -10.84 | | | マツ属複維管束亜属 | ○試料499 |
| 967 | | | 木製品 | 炭化木 | 8－A | 32.75 | 43.04 | -10.83 | 要処理 | | | |
| 968 | | | 木製品 | 木製品 | 8－A | 32.75 | 43.21 | -10.85 | | | ニレ属 | ○試料502 |
| 969 | | | 木製品 | 木製品 | 8－A | 32.46 | 43.07 | -10.865 | 可能 | | クヌギ節 | ○試料412 |
| 970 | | | 木炭 | 木炭 | 8－A | 32.33 | 43.22 | -10.90 | | | | 炭 |
| 971 | | | 木製品 | 木製品 | 8－A | 32.07 | 42.99 | -10.875 | 可能 | | マツ属複維管束亜属 | ○試料265 |
| 972 | | | 木製品 | 木製品 | 8－A | 31.60 | 43.26 | -11.02 | 可能 | | ニレ属 | ○試料383 |
| 973 | | | 木製品 | 木製品 | 8－A | 31.75 | 43.47 | -11.05 | 可能 | | ニレ属 | ○試料376 |
| 974 | | | 鉄製品 | 鉄製釘 | 8－A | 31.82 | 43.71 | -11.01 | 最重要処理 | | | 目釘明瞭 |
| 975 | | | 木製品 | 曲物？ | 8－A | 31.95 | 43.79 | -10.99 | 要処理 | | 不詳 | ○試料172＊クガの部分2枚重ね |
| 976 | | | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺 | 8－A | 31.96 | 43.90 | -10.97 | | | | |
| 977 | | | 木製品 | 木製品 | 8－A | 31.73 | 43.97 | -11.11 | | | ニレ属 | ○試料498 |
| 978 | | | 鉄製品 | 鉄釘 | 8－A | 31.85 | 44.01 | -11.05 | | | | |
| 979 | | | 鉄製品 | 鉄釘 | 8－A | 31.92 | 44.04 | -11.05 | | | | |
| 980 | | 89図2 | 木製品 | 弩弓？ | 8－A | 32.00 | 44.12 | -11.01 | 要処理 | | ニレ属 | ○試料190＊漆膜あり |
| 981 | | 92図5 | 瓦磚類 | 長方磚 | 8－A | 32.09 | 44.29 | -11.01 | | | | |
| 982 | | | 木炭 | 木炭 | 8－A | 32.20 | 44.26 | -10.98 | | | | |
| 983 | | | 木製品 | 楔？ | 8－A | 32.13 | 43.60 | -11.00 | 要処理 | | コウヨウザン | ○試料179 |
| 984 | | | 鉄製品 | 鉄釘 | 8－A | 32.49 | 43.66 | -11.05 | | | | |
| 985 | | | 木製品 | 木製品 | 8－A | 32.77 | 43.88 | -10.895 | 可能 | | マツ属複維管束亜属 | ○試料408 |
| 986 | | 85図60 | 木製品 | 木製品 | 8－A | 32.30 | 42.10 | -10.835 | 要処理 | | シイ属 | ○試料257 |
| 987 | | | 鉄製品 | 鉄釘 | 8－A | 31.93 | 42.41 | -10.90 | | | | |
| 988 | | 70図11 | 木製品 | 船板材 | 8－A | 31.89 | 42.23 | -10.865 | 要処理 | | スギ属 | ○試料68 |
| 989 | | | 鉄製品 | 鉄釘 | 8－A | 31.75 | 42.10 | -10.89 | | | | |
| 990 | | | 木製品 | 木製品 | 8－A | 31.03 | 42.40 | -11.015 | 可能 | | マツ属複維管束亜属 | ○試料121 |
| 991 | | | 木製品 | 木製品 | 8－A | 30.96 | 44.24 | -11.20 | 可能 | | マツ属複維管束亜属？ | ○試料79 |
| 992 | | 23図34 | 陶磁器 | 龍泉窯系青磁輪花碗 | 8－A | 30.92 | 44.35 | -11.25 | | | | 完形 |
| 993 | | | 木製品 | 木製品 | 8－A | 30.90 | 44.42 | -11.21 | 可能 | | コウヨウザン | ○試料452 |
| 994 | | | 木炭 | 木炭 | 8－A | 30.57 | 43.18 | -11.20 | | | | |
| 995 | | 59図2 | 鉄製品 | 箭（矢）束 | 8－A | 30.38 | 43.32 | -11.225 | 要処理 | | | 60本前後 |
| 996 | | | 木製品 | 木製品 | 8－A | 30.00 | 43.03 | -11.27 | 可能 | | マツ属複維管束亜属 | ○試料73 |
| 997 | | | 木製品 | 木製品 | 8－A | 30.29 | 44.16 | -11.31 | 可能 | | スギ科 | ○試料269 |
| 998 | | | 木製品 | 木製品 | 9－A | 29.82 | 44.51 | -11.405 | 可能 | | コウヨウザン？ | ○試料75 |
| 999 | | | 木製品 | 木製品 | 9－A | 29.79 | 43.99 | -11.345 | 可能 | | ニレ属 | ○試料319 |
| 1000 | | 38図2 | 漆製品 | 球状上製品（てつはう） | 9－A | 29.50 | 43.61 | -11.39 | | | | 内容物（木片など20数点）あり |
| 1001 | | | 鉄製品 | 箭（矢）？ | 9－A | 29.60 | 43.53 | -11.34 | 要X線 | | | 矢柄？ |
| 1002 | | | 木製品 | 木製品 | 9－A | 29.54 | 44.00 | -11.325 | 可能 | | クヌギ節 | ○試料424 |
| 1003 | | | 鉄製品 | 鉄製品 | 9－A | 29.39 | 44.10 | -11.33 | 最重要処理 | | | 馬蹄？ |
| 1004 | | | 木製品 | 木製品 | 9－A | 29.11 | 44.05 | -11.39 | 可能 | | マツ属複維管束亜属 | ○試料426 |
| 1005 | | 73図18 | 木製品 | 木製品 | 9－A | 29.83 | 41.81 | -11.14 | 要処理 | | クスノキ | ○試料202 |
| 1006 | | | 木製品 | 木製品 | 9－A | 29.45 | 42.29 | -11.36 | 可能 | | ニレ属 | ○試料247 |
| 1007 | | | 木製品 | 木製品 | 9－A | 29.15 | 42.26 | -11.305 | 可能 | | クスノキ | ○試料140 |
| 1008 | | | 木製品 | 木製品 | 9－A | 28.58 | 42.26 | -11.385 | 可能 | | スギ属 | ○試料136 |
| 1009 | | | 木炭 | 木炭 | 9－A | 28.49 | 42.16 | -11.38 | | | | |
| 1010 | | | 鉄製品 | 鉄製品 | 9－A | 28.72 | 42.32 | -11.39 | | | | |
| 1011 | | | 木製品 | 木製品 | 9－B | 29.57 | 35.60 | -10.805 | 可能 | | ニレ属 | ○試料304 |
| 1012 | | 86図66 | 木製品 | 木製品 | 9－B | 29.67 | 35.12 | -10.89 | 可能 | | ニレ属 | ○試料78 |
| 1013 | | 73図19 | 木製品 | 木製品 | 9－B | 29.32 | 34.97 | -10.96 | 要処理 | | クスノキ | ○試料100 |
| 1014 | | | 木製品 | 木製品 | 9－A | 28.57 | 42.63 | -11.385 | | | クスノキ？ | ○試料494 |
| 1015 | | | 鉄製品 | 鉄釘 | 9－A | 28.31 | 42.75 | -11.42 | | | | |
| 1016 | | | 木製品 | 木製品 | 9－A | 27.95 | 43.40 | -11.48 | 可能 | | 1451と同一 | 1451と同一 |
| 1017 | | 80図43 | 木製品 | 木製品 | 9－A | 28.77 | 43.29 | -11.49 | 要処理 | | マツ属複維管束亜属 | ○試料285 |
| 1018 | | | 漆製品 | 漆製品 | 9－A | 28.15 | 43.63 | -11.57 | 要処理 | | クヌギ節 | ○試料165 |
| 1019 | | | 木製品 | 木製品 | 9－A | 27.99 | 43.79 | -11.585 | | | クスノキ | ○試料493 |

| 遺物番号 | 枝番 | 挿図番号 | 種別 | 遺物名 | 調査区 | 出土位置 N | 出土位置 W | 標高 | 保存処理方法 | 接合関係 | 樹種同定 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1020 | | | 木炭 | 木炭 | 9－A | 28.95 | 43.68 | -11.45 | | | | |
| 1021 | | | 木製品 | 曲物底部？ | 9－A | 28.90 | 43.76 | -11.45 | 可能 | | スギ属 | ○試料237 |
| 1022 | | | 木炭 | 木炭 | 9－A | 29.18 | 44.01 | -11.44 | | | | |
| 1023 | | | 木製品 | 木製品 | 9－A | 29.01 | 44.38 | -11.46 | 可能 | | マツ属複維管束亜属 | ○試料49 |
| 1024 | | | 木製品 | 木製品 | 9－A | 28.94 | 44.73 | -11.53 | 可能 | | ニレ属 | ○試料274 |
| 1025 | | | 木炭 | 木炭 | 9－A | 28.85 | 44.55 | -11.54 | | | | |
| 1026 | | | 木炭 | 木炭 | 9－A | 28.82 | 44.46 | -11.55 | | | | |
| 1027 | | | 木製品 | 木製品(船材) | 9－A | 28.68 | 44.27 | -11.525 | 要処理 | | スギ属 | ○試料189 |
| 1028 | | | 木製品 | 木製品 | 9－A | 28.46 | 44.49 | -11.55 | 可能 | | スギ科 | ○試料267 |
| 1029 | | | 木製品 | 木製品 | 9－A | 28.20 | 44.64 | -11.625 | 可能 | | ニレ属 | ○試料307 |
| 1030 | a | | 木炭 | 木炭 | 9－A | 27.55 | 44.32 | -11.71 | | | | |
| 1030 | b | 79図40 | 木製品 | 木製品 | 9－A | 27.55 | 44.32 | -11.71 | 要処理 | | シイ属 | ○試料449 |
| 1031 | | | 木炭 | 木炭 | 3－A | 30.26 | 43.25 | -11.28 | | | | |
| 1032 | | 83図52 | 木製品 | 木製品 | 7－B | 44.05 | 33.27 | -7.88 | 要処理 | | マツ属単維管束亜属 | ○試料128 |
| 1033 | | 41図2 | 石製品 | 石錘 | 7－B | 43.39 | 34.93 | -7.98 | | | | 漁船用？ |
| 1034 | | | 鉄製品 | 鉄製品 | 7－B | 43.24 | 34.64 | -8.01 | 要処理 | | | 鉄材が付着 |
| 1035 | a | 71図22 | 木製品 | 木製品 | 7－B | 42.42 | 35.17 | -8.285 | 要処理 | | ツガ属 | ○試料82 |
| 1035 | b | | 木製品 | 木製品 | 7－B | 42.42 | 35.17 | -8.285 | | | 1035ａと同一 | 1035ａと同一 |
| 1035 | c | | 木製品 | 木製品 | 7－B | 42.42 | 35.17 | -8.285 | 可能 | | 1035ａと同一 | 1035ａと同一 |
| 1035 | d | | 木製品 | 木製品 | 7－B | 42.42 | 35.17 | -8.285 | 可能 | | コウヨウザン？ | ○試料52 |
| 1036 | | 42図6 | 石製品 | 自然製獅子像 | 3－B | 32.68 | 39.99 | -10.77 | | | | |
| 1037 | | | 漆喰 | 漆喰？ | 8－A | 32.50 | 33.90 | -10.69 | | | | |
| 1038 | | | 鉄製品 | 鏃（矢）束 | 8－A | 32.36 | 40.83 | -10.72 | 要処理 | | | 20数本 |
| 1039 | | | 鉄製品 | 鉄製釐 | 8－A | 32.24 | 40.40 | -10.65 | 可能 | | | |
| 1040 | | | 木製品 | 木製品 | 8－A | 31.89 | 40.75 | -10.80 | 可能 | | Diplorgia sp. | ○試料462 |
| 1041 | | | 漆製品 | 漆塗金木製品 | 8－A | 31.87 | 40.61 | -10.81 | 要処理 | | 散孔材Ｂ | ○試料347＊未法量 |
| 1042 | | | 鉄製品 | 板状鉄製品 | 8－A | 31.72 | 40.50 | -10.80 | | | | 兜の一部か？ |
| 1043 | | | 鉄製品 | 不明腐食鉄（釘？） | 8－A | 31.27 | 40.47 | -10.78 | 要Ｘ線 | | | 植物質混入？ |
| 1044 | | | 木製品 | 木製品 | 8－A | 31.24 | 40.60 | -10.85 | | | マツ属複維管束亜属？ | ○試料504 |
| 1045 | | | 木製品 | 木製品 | 8－A | 31.37 | 41.00 | -10.87 | 可能 | | ニレ属 | ○試料246 |
| 1046 | | | 木製品 | 木製品 | 8－A | 31.62 | 41.15 | -10.83 | 可能 | | ムクロジ | ○試料43 |
| 1047 | a～d | 73図16 | 木製品 | 木製品 | 8－A | 31.61 | 41.51 | -10.86 | 要処理 | | クスノキ | ○試料110＊298＊同一個体ａ～ｄに分割 |
| 1048 | | | 木製品 | 木製品 | 8－A | 31.58 | 41.24 | -10.815 | 要処理 | | クスノキ | ○試料294 |
| 1049 | | | 鉄製品 | 鉄製品 | 8－A | 31.46 | 41.08 | -10.83 | | | | |
| 1050 | | | 漆喰 | 漆喰？ | 8－A | 31.98 | 41.82 | -10.84 | | | | |
| 1051 | | | 鉄製品 | 鉄刀？ | 8－A | 31.92 | 41.84 | -10.815 | 要処理 | | | ５片に分解 |
| 1052 | | | 鉄製品 | 鉄釘 | 8－A | 31.33 | 41.90 | -10.91 | 可能 | | | |
| 1053 | | | 鉄製品 | 鉄釘 | 8－A | 31.08 | 41.45 | -10.90 | | | | |
| 1054 | | | 鉄製品 | 鉄釘 | 8－A | 30.90 | 41.39 | -10.95 | | | | |
| 1055 | | | 木製品 | 木製品 | 8－A | 30.85 | 41.40 | -10.95 | 可能 | | クスノキ | ○試料46 |
| 1056 | | | 木製品 | 木製品 | 8－A | 29.91 | 41.26 | -11.11 | 可能 | | シイ属 | ○試料206 |
| 1057 | | | 木製品 | 木製品 | 8－A | 29.47 | 41.64 | -11.23 | 可能 | | クスノキ | ○試料225 |
| 1058 | | | 木炭 | 木炭 | 8－A | 31.98 | 41.89 | -10.84 | | | | |
| 1059 | | 87図69 | 木製品 | 端部加工丸太材 | 8－A | 33.50 | 41.28 | -10.755 | 要処理 | | マツ属複維管束亜属 | ○試料99 |
| 1060 | | | 木製品 | 木製品 | 8－A | 30.44 | 44.55 | -11.285 | 可能 | | スギ科 | ○試料111 |
| 1061 | | | 木炭 | 木炭 | 8－A | 31.74 | 41.34 | -10.81 | | | | |
| 1062 | | | 木製品 | 木製品 | 8－A | 31.10 | 42.83 | -11.03 | 可能 | | クスノキ | ○試料300 |
| 1063 | | | 木製品 | 木製品 | 8－A | 30.84 | 42.74 | -11.085 | 可能 | | ニレ属 | ○試料363 |
| 1064 | | | 木炭 | 木炭 | 8－A | 30.97 | 42.13 | -10.99 | | | | |
| 1065 | | | 鉄製品 | 鉄釘 | 8－A | 30.70 | 42.37 | -11.05 | 要処理 | | | 船釘？ |
| 1066 | | | 木製品 | 弓先？ | 8－A | 30.60 | 42.31 | -11.08 | 要処理 | | スギ科 | ○試料178 |
| 1067 | | | 木製品 | 木製品 | 8－A | 30.43 | 42.45 | -11.095 | 可能 | | コウヨウザン | ○試料362 |
| 1068 | | | 鉄製品 | 鉄製品（鉄釘？） | 8－A | 37.72 | 41.71 | -9.92 | 可能 | | | ２本あり |
| 1069 | | 88図75 | 木製品 | 木製品 | 8－A | 36.88 | 41.85 | -10.15 | 要処理 | | マツ属複維管束亜属 | ○試料63 |
| 1070 | | 88図74 | 木製品 | 木製品 | 8－A | 36.88 | 42.83 | -9.99 | 要処理 | | マツ属複維管束亜属 | ○試料127 |
| 1071 | | | 木製品 | 木製品 | 8－A | 37.73 | 42.30 | -10.01 | 可能 | | ニレ属 | ○試料411 |
| 1072 | | | 漆喰 | 漆喰？ | 8－A | 37.81 | 42.46 | -9.975 | | | | |
| 1073 | | | 木製品 | 木製品 | 8－A | 37.53 | 42.43 | -10.00 | 可能 | | 散孔材Ｄ | ○試料394 |
| 1074 | | | 自然遺物 | 獣骨 | 8－A | 37.42 | 42.53 | -9.995 | | | | 四肢骨 |
| 1075 | | | 木製品 | 板状木製品 | 8－A | 37.39 | 42.68 | -10.015 | 要処理 | | スギ科 | ○試料184 |
| 1076 | | | 陶磁器 | 黒釉陶器四耳壺 | 8－A | 37.17 | 42.74 | -10.10 | | | | 付着具、内容物（漆器模等10数点）あり |
| 1077 | | | 自然石 | 自然石砂岩 | 8－A | 37.35 | 42.96 | -10.08 | | | | |
| 1078 | | 75図25 | 木製品 | 船角材 | 8－A | 36.52 | 42.62 | -10.20 | 要処理 | | スギ科 | ○試料308 |
| 1079 | | | 木製品 | 木製品 | 8－A | 36.39 | 42.37 | -10.21 | 可能 | | ヒノキ科 | ○試料262 |
| 1080 | | 94図19 | 瓦塼類 | 長方磚 | 8－A | 36.22 | 42.22 | -10.25 | | | | |
| 1081 | | | 木製品 | 木製品 | 8－A | 36.05 | 43.30 | -10.30 | 可能 | | クスノキ | ○試料76 |
| 1082 | | 52図6 | 鉄製品 | 鉄製青 | 8－A | 38.18 | 43.26 | -10.01 | 要処理 | | | 一部破損 |
| 1083 | | | 自然遺物 | 人骨 | 8－A | 38.06 | 43.40 | -10.03 | | | | 頭頂骨から後頭骨にかけて（若い男性） |
| 1084 | | 58図32 | 鉄製品 | 鉄片？ | 8－A | 38.02 | 43.56 | -9.93 | | | | |
| 1085 | | | 漆製品 | 朱塗碗小片 | 8－A | 37.85 | 43.61 | -9.95 | 最重要処理 | | コウヨウザン | ○試料337 |
| 1086 | | | 鉄製品 | 鉄製釐 | 8－A | 37.89 | 43.05 | -10.04 | 要処理 | | | |
| 1087 | | | 鉄製品 | 斧？ | 8－A | 37.81 | 43.18 | -10.03 | 最重要処理 | | | 刃先＊木質残る（長さ18cm） |
| 1088 | a | 50図7 | 銅製品 | 銅銭元豊通寶 | 8－A | 37.73 | 42.98 | -10.01 | | | | 銅銭４枚が重なっていた |
| 1088 | b | 50図3 | 銅製品 | 銅銭景德元寶 | 8－A | 37.73 | 42.98 | -10.01 | | | | 銅銭４枚が重なっていた |
| 1088 | c | 50図1 | 銅製品 | 銅銭淳元通寶 | 8－A | 37.73 | 42.98 | -10.01 | | | | 銅銭４枚が重なっていた |

| 遺物番号 | 枝番 | 挿図番号 | 種別 | 遺物名 | 調査区 | 出土位置 | | 標高 | 保存処理方法 | 接合関係 | 樹種同定 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | | | N | W | | | | | |
| 1088 | d | 50図4 | 銅製品 | 銅銭祥符元寶 | 8－A | 37.73 | 42.98 | -10.01 | | | | 銅銭4枚が重なっていた |
| 1089 | | | 木製品 | 短剣？ | 8－A | 37.66 | 42.98 | -10.01 | 要処理 | | | 短剣？鞘入り(鞘の金具のみ) |
| 1090 | | 46図20 | 銅製品 | 銅製帯金具 | 8－A | 37.60 | 43.05 | -9.98 | | | | |
| 1091 | | 45図7 | 銅製品 | 銅製帯金具(鉸具) | 8－A | 37.42 | 43.12 | -10.04 | | No1100と同一個体 | | |
| 1092 | | 84図56 | 木製品 | 木製品 | 8－A | 37.26 | 43.29 | -10.10 | 可能 | | コウヨウザン | ○試料230 |
| 1093 | | 51図1 | 鉄製品 | 鉄製冑 | 8－A | 36.86 | 43.41 | -10.20 | 要処理 | | | |
| 1094 | | | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺 | 8－A | 36.56 | 43.78 | -10.24 | | No1100と同一個体 | | |
| 1095 | | | 木製品 | 木製品 | 8－A | 36.40 | 43.50 | -10.22 | 可能 | | ニレ属 | ○試料467 |
| 1096 | | | 木炭 | 木炭 | 8－A | 36.38 | 43.39 | -10.235 | | | | |
| 1097 | | | 縄 | 縄 | 8－A | 37.36 | 44.22 | -10.15 | 要処理 | No1094と同一個体 | | |
| 1098 | | 49図45 | 銅製品 | 銅匙 | 8－A | 37.47 | 44.53 | -10.21 | | | | |
| 1099 | | | 木製品 | 木製品 | 8－A | 36.92 | 44.45 | -10.28 | 可能 | | マツ属複維管束亜属 | ○試料277 |
| 1100 | | | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺 | 8－A | 36.78 | 44.22 | -10.24 | | No1094と同一個体 | | |
| 1101 | | | 木製品 | 木製品 | 8－A | 36.80 | 44.60 | -10.28 | 可能 | | マキ属 | ○試料258 |
| 1102 | | 39図15 | 土製品 | 球状土製品（てつはう） | 8－A | 36.51 | 44.17 | -10.275 | | | | |
| 1103 | | | 自然石 | 礫 | 8－A | 36.22 | 44.60 | -10.185 | | | | |
| 1104 | | 25図13 | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺 | 8－A | 36.60 | 44.77 | -10.29 | | | | 付着貝・内容物(木片等20数点)有 |
| 1105 | | | 木製品 | 木栓 | 8－A | 36.54 | 44.93 | -10.35 | 要処理 | | マツ属複維管束亜属 | ○試料180 |
| 1106 | | | 木製品 | 木製品 | 8－A | 36.93 | 44.98 | -10.265 | 可能 | | マツ属複維管束亜属 | ○試料101 |
| 1107 | | | 自然遺物 | 獣骨 | 8－A | 37.16 | 45.49 | -10.26 | | | | 四肢骨 |
| 1108 | | | 木製品 | 木製品 | 8－A | 37.35 | 45.98 | -10.265 | 可能 | | クスノキ | ○試料236 |
| 1109 | | | 縄 | 縄 | 8－A | 36.65 | 45.82 | -10.34 | 要処理 | | | |
| 1110 | | | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺 | 8－A | 36.36 | 45.63 | -10.40 | | | | 内容物木の実有（椎の実？） |
| 1111 | | | 木製品 | 木製品 | 8－A | 36.14 | 45.83 | -10.415 | 可能 | | クスノキ | ○試料289 |
| 1112 | | | 木製品 | 木製品 | 8－A | 36.11 | 46.03 | -10.435 | 可能 | | コウヨウザン | ○試料245 |
| 1113 | | 47図31 | 銅製品 | 銅製飾金具 | 8－A | 36.08 | 46.42 | -10.51 | | | | |
| 1114 | | | 漆製品 | 朱塗碗体部破片 | 8－A | 38.39 | 45.94 | -10.08 | 要処理 | | スギ属 | ○試料336 |
| 1115 | | | 木炭 | 木炭 | 8－A | 37.92 | 46.21 | -10.155 | | | | |
| 1116 | | | 木製品 | 木製品 | 8－A | 37.78 | 46.30 | -10.18 | 可能 | | マツ属単維管束亜属 | ○試料259 |
| 1117 | | 84図58 | 木製品 | 木製品 | 8－A | 37.69 | 46.64 | -10.275 | 要処理 | | マツ属複維管束亜属 | ○試料248 |
| 1118 | | | 木製品 | 木製品 | 8－A | 37.41 | 46.69 | -10.32 | 可能 | | マツ属複維管束亜属 | ○試料104 |
| 1119 | | | 木製品 | 木製品 | 8－A | 37.09 | 46.62 | -10.365 | 可能 | | マツ属複維管束亜属 | ○試料25 |
| 1120 | | 81図44 | 木製品 | 木製品 | 8－A | 36.80 | 46.74 | -10.41 | 要処理 | | マツ属単維管束亜属 | ○試料479 |
| 1121 | | 90図6 | 木製品 | 木製品 | 8－A | 32.92 | 42.20 | -10.75 | 要処理 | | スギ科 | ○試料191 |
| 1122 | | | 木製品 | 木製品 | 8－A | 36.80 | 46.74 | -10.41 | 可能 | | 不詳 | ○試料273 |
| 1123 | | | 鉄製品 | 鉄製品 | 8－A | 36.87 | 45.09 | -10.27 | 要処理 | | | 環状取手付金具 |
| 1124 | | | 木製品 | 木製品 | 8－A | 37.97 | 47.59 | -10.275 | | | クヌギ節 | ○試料496 |
| 1125 | | 47図30 | 銅製品 | 銅製帯金具 | 8－A | 37.88 | 47.24 | -10.265 | | | | |
| 1126 | | | 瓦磚類 | 長方磚 | 8－A | 37.74 | 47.86 | -10.43 | | | | |
| 1127 | | | 木製品 | 木製品 | 8－A | 37.59 | 47.43 | -10.30 | 可能 | | マツ属複維管束亜属 | ○試料470 |
| 1128 | | | 木製品 | 木製品 | 8－A | 37.56 | 47.28 | -10.36 | 可能 | | マツ属複維管束亜属 | ○試料260 |
| 1129 | | | 木製品 | 木製品 | 8－A | 37.45 | 47.06 | -10.35 | 可能 | | コウヨウザン | ○試料368 |
| 1130 | | | 椰子製品 | ヤシ殻容器 | 8－A | 37.22 | 47.32 | -10.40 | 最重要処理 | | 椰子の実 | |
| 1131 | | | 木製品 | 木製品 | 8－A | 37.08 | 47.27 | -10.43 | 可能 | | マツ属単維管束亜属 | ○試料255 |
| 1132 | | | 木製品 | 木製品 | 8－A | 36.84 | 47.55 | -10.58 | 可能 | | スギ属 | ○試料226 |
| 1133 | | 47図32 | 銅製品 | 銅製飾金具 | 8－A | 38.10 | 48.36 | -10.335 | | | | |
| 1134 | | | 木製品 | 木製品 | 8－A | 37.88 | 48.53 | -10.36 | 可能 | | 不詳 | ○試料275 |
| 1135 | | | 鉄製品 | 鉄釘 | 8－A | 37.71 | 48.27 | -10.46 | | | | |
| 1136 | | | 鉄製品 | 鉄釘 | 8－A | 37.64 | 48.64 | -10.40 | | | | |
| 1137 | | | 木製品 | 木栓 | 8－A | 37.62 | 48.59 | -10.15 | 要処理 | | マツ属複維管束亜属 | ○試料175 |
| 1138 | | | 鉄製品 | 鉄釘 | 8－A | 37.37 | 48.51 | -10.435 | | | | |
| 1139 | | | 自然石 | 自然礫 | 8－A | 37.18 | 48.79 | -10.49 | | | | |
| 1140 | | | 木製品 | 木製品 | 8－A | 36.98 | 48.94 | -10.495 | 可能 | | チーク | ○試料299 |
| 1141 | | | 縄 | 縄 | 8－A | 36.76 | 48.54 | -10.53 | 可能 | | | 3つ切れ |
| 1142 | a | 76図29 | 木製品 | 船材（隔壁梁材） | 8－A | 36.15 | 48.41 | -10.65 | 可能 | | クスノキ | ○試料213 |
| 1142 | b | | 木製品 | 船材（隔壁梁材） | | | | | | 1142aに接ぐ | | |
| 1142 | c | | 鉄製品 | 鉄製品 | | | | | | | | |
| 1142 | d | | 木製品 | 木製品 | | | | | | 1142aに接ぐ | | 釘あり |
| 1142 | e | | 鉄製品 | 鉄製品 | | | | | | | | |
| 1142 | f | | 木製品 | 木製品 | | | | | | 1142aの上部分 | | |
| 1142 | g | | 木製品 | 船材（隔壁梁材） | | | | | | 1142bを分割(1142b本体か？) 1142aにつぐ | クスノキ科 | ○試料212 |
| 1143 | | 85図62 | 木製品 | 木製品 | 8－A | 37.82 | 48.88 | -10.38 | 可能 | | クスノキ | ○試料288 |
| 1143 | | | 木製品 | 木製品 | 8－A | 37.82 | 48.88 | -10.38 | 要処理 | | | 青銅製の金具付着 |
| 1144 | | | 木製品 | 木製品 | 8－A | 38.18 | 48.60 | -10.27 | 可能 | 杭状の木製品864aとつながる | クスノキ科 | ○試料407 |
| 1145 | | | 木製品 | 木製品 | 8－A | 37.94 | 48.94 | -10.30 | | | クスノキ科 | ○試料500 |
| 1146 | | | 木製品 | 木製品 | 8－A | 37.72 | 49.02 | -10.33 | 可能 | | クスノキ | ○試料295 |
| 1147 | | | 鉄製品 | 箭（矢）束 | 8－A | 38.33 | 48.89 | -10.26 | 最重要処理 | | | 70本前後 |
| 1148 | a | 50図12 | 銅製品 | 銅銭福禄寿昌 | 8－A | 35.88 | 40.16 | -10.12 | | | | 2枚重なっていた |
| 1148 | b | 50図13 | 銅製品 | 銅銭福禄寿昌 | 8－A | 35.88 | 40.16 | -10.12 | | | | 2枚重なっていた |
| 1149 | | | 漆製品 | 朱塗甲葉（小札）一括 | 8－A | 35.87 | 40.16 | -10.62 | 要処理 | | | |
| 1150 | | 42図7 | 石製品 | 青玉製雌雄豚像 | 8－A | 37.49 | 40.57 | -9.90 | | | | |
| 1151 | | | 鉄製品 | 鉄釘 | 8－A | 37.76 | 48.83 | -10.30 | | | | |
| 1152 | | | 木製品 | 木製品 | 8－A | 37.80 | 40.00 | -9.815 | | | スギ科 | ○試料244 |
| 1153 | | | 自然遺物 | 人骨 | 8－A | 37.20 | 40.37 | -9.91 | | | | 右腕頭骨の一部　性別：不明 |
| 1154 | | | 木製品 | 木製品 | 8－A | 37.11 | 40.46 | -9.95 | 可能 | | クスノキ | ○試料33 |

| 遺物番号 | 枝番 | 挿図番号 | 種別 | 遺物名 | 調査区 | 出土位置 N | 出土位置 W | 標高 | 保存処理方法 | 接合関係 | 樹種同定 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1155 | | | 自然遺物 | 獣骨 | 8－A | 38.03 | 41.25 | -9.80 | | | | 椎骨 |
| 1156 | | | 木製品 | 木製品 | 8－A | 37.78 | 41.44 | -9.885 | 可能 | | マツ属複維管束亜属？ | ○試料250 |
| 1157 | | | 鉄製品 | 鉄製品 | 8－A | 37.85 | 41.59 | -9.86 | | | | |
| 1158 | | | 木炭 | 木炭 | 8－A | 37.90 | 41.68 | -9.85 | | | | |
| 1159 | | | 木製品 | 木製品 | 8－A | 37.76 | 41.53 | -9.85 | 可能 | | クスノキ | ○試料356 |
| 1160 | | | 木製品 | 木製品 | 8－A | 37.62 | 41.51 | -9.85 | 可能 | | クスノキ | ○試料286 |
| 1161 | | | 木製品 | 木製品 | 8－A | 37.37 | 41.22 | -9.945 | 可能 | | マツ属単維管束亜属 | ○試料263 |
| 1162 | | 39図17 | 土製品 | 球状土製品（てつはう） | 8－A | 37.09 | 41.07 | -9.99 | | | | |
| 1163 | | | 自然遺物 | 獣骨 | 8－A | 37.00 | 41.38 | -10.03 | | | | 四肢骨 |
| 1164 | | | 木製品 | 木製品 | 8－A | 36.98 | 41.33 | -10.02 | 可能 | | サクラ属 | ○試料389 |
| 1165 | | | 木製品 | 木製品 | 8－A | 36.90 | 41.33 | -10.03 | 可能 | | サビのため不明 | ○試料58 a |
| 1166 | | | 自然遺物 | 獣骨 | 8－A | 36.93 | 41.39 | -10.02 | | | | 椎骨 |
| 1167 | | | 鉄製品 | 鉄釘 | 7－B | 41.80 | 37.94 | -8.87 | 可能 | | | 角釘 |
| 1168 | | 56図17 | 鉄製品 | 棒状鉄製品 | 7－B | 40.71 | 38.36 | -9.14 | 要処理 | | | |
| 1169 | | 66図15 | 木製品 | 木製櫛 | 7－B | 40.13 | 38.39 | -9.215 | アルコール・キシレン・樹脂法 | | ナツメ | ○試料145 |
| 1170 | | 63図2 | 木製品 | 棒状漆塗木製品 | 7－B | 40.07 | 38.47 | -9.24 | 真空凍結乾燥法 | | Dalbergia sp. | ○試料163 |
| 1171 | | | 木製品 | 木製品 | 8－B | 39.50 | 38.88 | -9.34 | 可能 | | コウヨウザン | ○試料240 |
| 1172 | | 38図3 | 土製品 | 球状土製品（てつはう） | 8－B | 39.33 | 38.74 | -9.42 | | | | |
| 1173 | | 39図20 | 土製品 | 球状土製品（てつはう） | 8－B | 39.19 | 38.73 | -9.45 | | | | |
| 1174 | | | 木製品 | 木製品 | 8－B | 39.14 | 38.63 | -9.435 | 可能 | | マツ属単維管束亜属 | ○試料287 |
| 1175 | | | 鉄製品 | 不明 | 8－B | 39.64 | 39.18 | -9.39 | 要処理 | | | 漆喰の一部？ |
| 1176 | | | 鉄製品 | 鉄釘 | 8－B | 39.48 | 39.16 | -9.44 | 可能 | | | 芯鉄見えず |
| 1177 | | | 鉄製品 | 鉄製品 | 8－B | 39.41 | 39.25 | -9.45 | 可能 | | | 釘穴２つ |
| 1178 | | | 鉄製品 | 鉄釘？ | 8－B | 39.25 | 39.09 | -9.47 | 可能 | | | U字型の釘 |
| 1179 | | | 鉄製品 | 鉄釘 | 8－B | 39.26 | 39.26 | -9.45 | 可能 | | | 芯鉄見えず |
| 1180 | | | 漆喰 | 漆喰？ | 8－B | 39.13 | 39.11 | -9.47 | | | | 粘土塊？漆喰？ |
| 1181 | | | 木炭 | 木炭 | 8－B | 39.16 | 39.24 | -9.45 | | | | |
| 1182 | | | 鉄製品 | 鉄釘 | 8－B | 39.03 | 39.30 | -9.46 | 可能 | | | 芯鉄見えず |
| 1183 | | | 木炭 | 木炭 | 8－B | 39.36 | 38.23 | -9.36 | | | | |
| 1184 | | 89図5 | 木製品 | 柄付板状木製品 | 8－B | 39.30 | 37.88 | -9.345 | 要処理 | | コウヨウザン | ○試料130 |
| 1185 | | | 鉄製品 | 鉄釘 | 8－B | 39.57 | 37.92 | -9.32 | 可能 | | | |
| 1186 | | 110図5 | 陶磁器 | 土師器坏a | 8－B | 38.27 | 37.99 | -9.64 | | | | |
| 1187 | | | 鉄製品 | 鉄釘 | 8－B | 39.83 | 37.70 | -9.18 | 可能 | | | 角釘 |
| 1188 | | 38図7 | 土製品 | 球状土製品（てつはう） | 8－B | 39.60 | 37.52 | -9.23 | | | | |
| 1189 | | | 鉄製品 | 鉄釘 | 8－B | 39.50 | 37.47 | -9.22 | 可能 | | | 角釘 |
| 1190 | | | 鉄製品 | 鉄釘 | 8－B | 39.45 | 37.42 | -9.23 | 可能 | | | 芯鉄見えず |
| 1191 | | | 陶磁器 | 褐釉陶器水注 | 8－B | 39.38 | 37.41 | -9.25 | | | | |
| 1192 | | | 鉄製品 | 鉄釘 | 8－B | 39.34 | 37.30 | -9.26 | 可能 | | | 角釘 |
| 1193 | | | 鉄製品 | 鉄釘 | 8－B | 39.39 | 37.22 | -9.26 | 可能 | | | 芯鉄見えず |
| 1194 | | 66図13 | 漆製品 | 朱塗櫛 | 8－B | 39.45 | 37.32 | -9.24 | 糖アルコール含浸 | | | |
| 1195 | | | 鉄製品 | 鉄釘 | 8－B | 39.60 | 37.41 | -9.19 | 可能 | | | 角釘 |
| 1196 | | | 鉄製品 | 鉄製品 | 8－B | 39.68 | 37.43 | -9.22 | 要処理 | | | 輪状製品 |
| 1197 | | | 鉄製品 | 鉄釘 | 8－B | 39.73 | 37.40 | -9.23 | 可能 | | | 先端部残る |
| 1198 | | | 鉄製品 | 鉄釘 | 8－B | 39.73 | 37.47 | -9.23 | 可能 | | | 丸釘 |
| 1199 | | 56図18 | 鉄製品 | 鉄鏃？ | 8－B | 39.74 | 37.24 | -9.195 | 要処理 | | | 一部漆残存＝２片に分解 |
| 1200 | | 29図36 | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺 | 8－B | 39.69 | 37.13 | -9.23 | | No1201と同一個体 | | |
| 1201 | | | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺 | 8－B | 39.79 | 37.14 | -9.20 | | No1200と同一個体 | | |
| 1202 | | | 鉄製品 | 鉄製品 | 8－B | 39.80 | 37.07 | -9.18 | 可能 | | サンプリング不能 | サンプリング不能 |
| 1203 | | | 鉄製品 | 釘痕 | 8－B | 39.96 | 37.42 | -9.185 | 可能 | | | 木質残る |
| 1204 | | | 鉄製品 | 鉄釘 | 7－B | 40.05 | 37.57 | -9.12 | 可能 | | | 芯鉄見えず |
| 1205 | | 35図94 | 陶磁器 | 褐釉陶器壺 | 7－B | 40.29 | 37.33 | -9.12 | | | | |
| 1206 | | | 鉄製品 | 鉄釘 | 7－B | 40.29 | 37.44 | -9.09 | 可能 | | | 角釘 |
| 1207 | | | 鉄製品 | 鉄釘 | 7－B | 40.33 | 37.47 | -9.055 | 可能 | | | 釘らしい複数本あり |
| 1208 | | | 鉄製品 | 鉄釘 | 7－B | 40.55 | 37.35 | -9.03 | 可能 | | | 角釘 |
| 1209 | | | 鉄製品 | 鉄釘 | 7－B | 40.69 | 37.30 | -9.03 | 可能 | | | 角釘 |
| 1210 | | | 鉄製品 | 鉄釘 | 7－B | 40.79 | 37.23 | -9.00 | 可能 | | | 木材付着の鉄釘 |
| 1211 | | | 鉄製品 | 鉄釘 | 7－B | 40.94 | 37.18 | -8.94 | 可能 | | | 角釘 |
| 1212 | | | 鉄製品 | 鉄釘 | 7－B | 41.14 | 37.09 | -8.93 | 可能 | | | 角釘 |
| 1213 | | | 鉄製品 | 鉄製品 | 7－B | 41.12 | 37.06 | -8.94 | 可能 | | | |
| 1214 | | | 鉄製品 | 鉄製品 | 7－B | 41.10 | 37.05 | -8.96 | 可能 | | | |
| 1215 | | | 鉄製品 | 鉄釘 | 7－B | 41.28 | 36.75 | -9.02 | 可能 | | | |
| 1216 | | | 木製品 | 木製品 | 7－B | 40.61 | 37.17 | -9.04 | 可能 | | クスノキ | ○試料290 |
| 1217 | | | 木製品 | 木製品 | 7－B | 40.59 | 37.12 | -9.055 | 可能 | | マツ属複維管束亜属 | ○試料38 |
| 1218 | | | 木製品 | 木製品 | 7－B | 40.43 | 37.22 | -9.09 | 可能 | | スギ科 | ○試料292 |
| 1219 | | 87図70 | 木製品 | 木製品 | 7－B | 40.15 | 37.17 | -9.145 | 可能 | | マツ属複維管束亜属 | ○試料119 |
| 1220 | | | 木製品 | 木製品 | 7－B | 41.48 | 36.67 | -8.925 | 可能 | | マツ属単維管束亜属？ | ○試料233 |
| 1221 | | | 鉄製品 | 鉄釘 | 7－B | 41.57 | 36.65 | -8.91 | 可能 | | | 角釘 |
| 1222 | | | 鉄製品 | 鉄釘 | 7－B | 41.83 | 36.67 | -8.76 | 可能 | | | 角釘 |
| 1223 | | | 鉄製品 | 鉄釘 | 7－B | 41.95 | 36.57 | -8.70 | 可能 | | | 角釘 |
| 1224 | | | 鉄製品 | 鉄釘 | 7－B | 42.04 | 36.52 | -8.68 | 可能 | | | 角釘 |
| 1225 | | | 鉄製品 | 鉄釘 | 7－B | 42.27 | 36.39 | -8.63 | 可能 | | | 板材付きの釘 |
| 1226 | | | 鉄製品 | 鉄釘 | 7－B | 42.41 | 36.30 | -8.61 | 可能 | | | |
| 1227 | | | 鉄製品 | 鉄釘 | 7－B | 42.36 | 36.24 | -8.65 | 可能 | | | |
| 1228 | | | 鉄製品 | 鉄釘 | 7－B | 42.49 | 36.24 | -8.595 | 可能 | | | |
| 1229 | | | 鉄製品 | 鉄釘 | 7－B | 42.61 | 36.16 | -8.57 | 可能 | | | |

| 遺物番号 | 枝番 | 挿図番号 | 種別 | 遺物名 | 調査区 | 出土位置 | | 標高 | 保存処理方法 | 接合関係 | 樹種同定 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | | | N | W | | | | | |
| 1230 | | | 鉄製品 | 鉄釘 | 7－B | 42.86 | 35.98 | -8.52 | 可能 | | | |
| 1231 | | 27図25 | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺 | 7－B | 43.11 | 36.01 | -8.50 | | | | 耳の一部を除き完形・壺内部土サンプルあり |
| 1232 | | | 木製品 | 棒状木製品 | 7－B | 43.32 | 36.06 | -8.42 | 要処理 | | ヒノキ科 | ○試料176 |
| 1233 | | | 鉄製品 | 鉄釘 | 7－B | 43.52 | 36.07 | -8.38 | 可能 | | | |
| 1234 | | | 鉄製品 | 箭（矢）？ | 7－B | 43.64 | 36.02 | -8.39 | | | | ２本束 |
| 1235 | | | 木製品 | 木製品 | 7－B | 44.11 | 36.03 | -8.31 | 可能 | | マツ属単維管束亜属 | ○試料281 |
| 1236 | | | 木製品 | 船材（隔壁材）？ | 7－B | 43.59 | 35.87 | -8.39 | 要処理 | | クスノキ | ○試料203 |
| 1237 | | | 木製品 | 木製品 | 7－B | 43.79 | 35.13 | -8.35 | 可能 | | マツ属単維管束亜属 | ○試料297 |
| 1238 | | | 銅製品 | 銅製金具 | 7－B | 43.74 | 35.17 | -8.34 | 最重要処理 | | | 漆皮膜付き銅製金具 |
| 1239 | | | 木製品 | 木製品 | 7－B | 43.70 | 35.12 | -8.35 | 可能 | | サンプリング不能 | サンプリング不能 |
| 1240 | | | 鉄製品 | 鉄釘 | 7－B | 44.46 | 36.47 | -8.12 | 可能 | | | 角釘 |
| 1241 | | | 鉄製品 | 鉄釘 | 7－B | 43.76 | 37.00 | -8.46 | 可能 | | | 角釘 |
| 1242 | | | 鉄製品 | 鉄釘 | 7－B | 43.50 | 37.03 | -8.43 | 可能 | | | 釘があるらしい？ |
| 1243 | | | 鉄製品 | 箭（矢）束 | 7－B | 43.13 | 37.31 | -8.55 | | | | 錆の塊・木質を含む |
| 1244 | | | 鉄製品 | 鉄釘 | 7－B | 42.96 | 37.33 | -8.575 | 可能 | | | 角釘 |
| 1245 | | | 鉄製品 | 鉄釘 | 7－B | 42.82 | 37.46 | -8.59 | 可能 | | | |
| 1246 | | | 鉄製品 | 鉄製冑 | 7－B | 43.86 | 37.48 | -8.45 | 可能 | | | |
| 1247 | | | 鉄製品 | 鉄製冑破片？ | 7－B | 43.79 | 37.39 | -8.45 | 可能 | | | |
| 1248 | | | 鉄製品 | 鉄釘 | 7－B | 43.69 | 37.41 | -8.495 | 可能 | | | ３つ折れ、芯鉄見えず |
| 1249 | | | 陶磁器 | 土器？ | 7－B | 43.68 | 37.52 | -8.51 | | | | |
| 1250 | | | 鉄製品 | 箭（矢）束 | 7－B | 43.32 | 37.39 | -8.555 | 要処理 | | | 70本前後 |
| 1251 | | 93図７ | 瓦磚類 | 長方磚 | 7－B | 42.91 | 37.96 | -8.58 | | | | |
| 1252 | | | 木製品 | 木製品 | 7－B | 42.51 | 37.66 | -8.70 | 可能 | | マツ属複維管束亜属 | ○試料320 |
| 1253 | | | 木製品 | 木栓？ | 7－B | 42.54 | 37.60 | -8.70 | 要処理 | | コウヨウザン | ○試料349 |
| 1254 | | | 鉄製品 | 鉄釘 | 7－B | 40.10 | 37.54 | -9.16 | 可能 | | | 角釘 |
| 1255 | | 50図２ | 銅製品 | 銅銭 | 8－A | 38.36 | 45.02 | -10.10 | | | | |
| 1256 | | | 木製品 | 木製品 | 8－A | 35.76 | 42.24 | -10.255 | | | | |
| 1257 | | | 木製品 | 木製品 | 8－A | 35.51 | 42.59 | -10.395 | 可能 | | マツ属複維管束亜属 | ○試料360 |
| 1258 | | | 木製品 | 木製品 | 8－A | 35.69 | 42.93 | -10.39 | 可能 | | ニレ属 | ○試料416 |
| 1259 | | | 縄 | 縄 | 8－A | 35.47 | 43.02 | -10.44 | 要処理 | | | |
| 1260 | | | 木製品 | 木製品 | 8－A | 35.20 | 43.42 | -10.525 | 可能 | | マツ属複維管束亜属 | ○試料361 |
| 1261 | | | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺 | 8－A | 35.79 | 43.23 | -10.34 | | | | |
| 1262 | | | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺 | 8－A | 35.86 | 43.41 | -10.38 | | | | 別個体混在 |
| 1263 | | | 木炭 | 木炭 | 8－A | 35.95 | 43.72 | -10.335 | | | | |
| 1264 | | | 鉄製品 | 鉄製品 | 8－A | 35.39 | 43.52 | -10.50 | | | | |
| 1265 | | | 木製品 | 木製品 | 8－A | 35.23 | 42.94 | -10.46 | 可能 | | コウヨウザン | ○試料366 |
| 1266 | | | 木製品 | 木製品 | 8－A | 35.77 | 44.54 | -10.48 | | | クスノキ | ○試料492 |
| 1267 | | | 木製品 | 木製品 | 8－A | 35.92 | 44.57 | -10.435 | | | マツ属単維管束亜属 | ○試料491 |
| 1268 | | | 木製品 | 木製品 | 8－A | 35.98 | 44.62 | -10.42 | 可能 | | マツ属複維管束亜属 | ○試料425 |
| 1269 | | | 木製品 | 木製品 | 8－A | 35.79 | 44.83 | -10.48 | 可能 | | マツ属単維管束亜属 | ○試料283 |
| 1270 | | | 木製品 | 木製品 | 8－A | 35.99 | 44.85 | -10.45 | 可能 | | マツ属複維管束亜属 | ○試料21 |
| 1271 | | | 木製品 | 木製品 | 8－A | 35.73 | 44.97 | -10.535 | 可能 | | マツ属複維管束亜属 | ○試料397 |
| 1272 | | | 鉄製品 | 鉄釘 | 8－A | 35.96 | 45.51 | -10.53 | | | | |
| 1273 | | | 木製品 | 木製品 | 8－A | 35.94 | 45.58 | -10.51 | 可能 | | クスノキ | ○試料45 |
| 1274 | | | 木製品 | 木製品 | 8－A | 35.88 | 40.60 | -10.54 | | | マツ属複維管束亜属 | ○試料495 |
| 1275 | | 58図33 | 鉄製品 | 鉄製金具 | 8－A | 35.82 | 45.50 | -10.53 | 可能 | | | |
| 1276 | | | 木製品 | 木製品 | 8－A | 35.75 | 45.60 | -10.55 | 可能 | | コウヨウザン | ○試料410 |
| 1277 | | | 自然遺物 | 獣骨 | 8－A | 35.66 | 45.77 | -10.62 | | | | 四肢骨 |
| 1278 | | | 木製品 | 船材小破片 | 8－A | 35.72 | 45.88 | -10.635 | 可能 | | クスノキ | ○試料367 |
| 1279 | | 22図18 | 陶磁器 | 福建系青磁碗 | 8－A | 35.50 | 45.34 | -10.60 | | | | 完形 |
| 1280 | | | 木製品 | 木製品 | 8－A | 35.54 | 45.54 | -10.57 | | | | |
| 1281 | | | 木製品 | 木製品 | 8－A | 35.53 | 45.57 | -10.60 | 可能 | | クスノキ科 | ○試料403 |
| 1282 | | | 木製品 | 木製品 | 8－A | 35.48 | 45.48 | -10.585 | 可能 | | マツ属単維管束亜属 | ○試料42 |
| 1283 | | | 木製品 | 木製品 | 8－A | 35.43 | 45.91 | -10.66 | 可能 | | マツ属複維管束亜属 | ○試料430 |
| 1284 | | | 木製品 | 木製品 | 8－A | 35.12 | 45.96 | -10.70 | 可能 | | Terminalia catappa | ○試料17 |
| 1285 | | | 鉄製品 | 鉄製冑片 | 8－A | 35.17 | 45.39 | -10.66 | 要処理 | | | 破損品 |
| 1286 | | | 鉄製品 | 鉄製冑破片 | 8－A | 35.20 | 45.48 | -10.72 | 可能 | | | |
| 1287 | | | 鉄製品 | 鉄製冑 | 8－A | 34.63 | 45.86 | -10.796 | 要処理 | | | ひび割れ |
| 1288 | | | 鉄製品 | 矢束 | 8－A | 35.05 | 45.05 | -10.66 | 要処理 | No1290(矢束=25本前後)付着 | マツ属複維管束亜属 | ○試料135 |
| 1289 | | | 木製品 | 木製品 | 8－A | 35.12 | 44.86 | -10.58 | 可能 | | コウヨウザン | ○試料357 |
| 1290 | | 61図６ | 鉄製品 | 矢束 | 8－A | 34.96 | 45.02 | -10.67 | 要処理 | No1288に付着 | サンプル不可 | サンプル不可 |
| 1291 | | 109図６ | 縄 | 縄 | 8－A | 34.94 | 44.98 | -10.65 | 高級アルコール含浸 | | | ３つに切れる |
| 1292 | | | 木製品 | 木製品 | 8－A | 34.70 | 45.06 | -10.71 | 可能 | | マツ属複維管束亜属 | ○試料393 |
| 1293 | | | 木製品 | 木製品 | 8－A | 34.57 | 45.15 | -10.70 | 可能 | | ニレ属 | ○試料271 |
| 1294 | a、b | | 木製品 | 木製品 | 8－A | 34.12 | 40.10 | -10.74 | 可能 | | コウヨウザン | ○試料444、木材片 2分割 |
| 1294 | c | | 木製品 | 木製品 | 8－A | 34.12 | 40.10 | -10.74 | 可能 | | | |
| 1295 | | | 木製品 | 木製品 | 8－A | 34.83 | 44.83 | -10.635 | 可能 | | マツ属複維管束亜属 | ○試料47 |
| 1296 | | | 木製品 | 木製品 | 8－A | 34.89 | 44.76 | -10.62 | 可能 | | マツ属複維管束亜属 | ○試料32 |
| 1297 | | | 木製品 | 木製品 | 8－A | 34.65 | 44.73 | -10.675 | 要処理 | | マツ属複維管束亜属 | ○試料293・鉄釘あり |
| 1298 | | | 縄 | 縄 | 8－A | 34.35 | 44.90 | -10.70 | 要処理 | | | |
| 1299 | | | 木製品 | 木製品 | 8－A | 34.19 | 44.83 | -10.71 | 可能 | | マツ属複維管束亜属 | ○試料432 |
| 1300 | | 109図７ | 縄 | 縄 | 8－A | 34.32 | 44.69 | -10.70 | 高級アルコール含浸 | | | ３つに切れる |
| 1301 | | | 木製品 | 木製品 | 8－A | 34.00 | 44.76 | -10.80 | 可能 | | マツ属複維管束亜属 | ○試料39 |
| 1302 | | | 縄 | 縄 | 8－A | 33.94 | 44.59 | -10.735 | 要処理 | | | ２つに切れる |
| 1303 | | | 木製品 | 木製品 | 8－A | 35.20 | 44.23 | -10.62 | 可能 | | 環孔材Ａ | ○試料80 |

| 遺物番号 | 枝番 | 挿図番号 | 種別 | 遺物名 | 調査区 | 出土位置 N | 出土位置 W | 標高 | 保存処理方法 | 接合関係 | 樹種同定 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1304 | | | 木製品 | 木製品 | 8－A | 34.84 | 44.21 | -10.62 | 可能 | | コウヨウザン | ○試料414 |
| 1305 | | | 木製品 | 木製品 | 8－A | 34.81 | 44.33 | -10.625 | 可能 | | ニレ属 | ○試料26 |
| 1306 | | | 木製品 | 木製品 | 8－A | 34.46 | 44.44 | -10.66 | | | ニレ属 | ○試料501 |
| 1307 | | | 木製品 | 木製品 | 8－A | 34.50 | 44.57 | -10.65 | 可能 | | マツ属複維管束亜属 | ○試料401 |
| 1308 | | | 木製品 | 木製品 | 8－A | 34.24 | 44.51 | -10.66 | 可能 | | 樹皮 | ○試料40 |
| 1309 | | | 木製品 | 木製品 | 8－A | 34.19 | 44.31 | -10.70 | 可能 | | 不詳 | ○試料272 |
| 1310 | | | 木製品 | 木製品 | 8－A | 34.23 | 44.18 | -10.67 | 可能 | | シイ属 | ○試料476 |
| 1311 | | | 木製品 | 木製品 | 8－A | 34.39 | 43.66 | -10.61 | 可能 | | マツ属複維管束亜属 | ○試料423 |
| 1312 | | | 木製品 | 木製品 | 8－A | 34.10 | 43.63 | -10.635 | 可能 | | マツ属複維管束亜属 | ○試料382 |
| 1313 | | | 木製品 | 木製品 | 8－A | 33.79 | 43.67 | -10.68 | 可能 | | マツ属複維管束亜属 | ○試料374 |
| 1314 | | | 木製品 | 木製品 | 8－A | 33.70 | 44.21 | -10.705 | 可能 | | マツ属単維管束亜属 | ○試料69 |
| 1315 | | | 木製品 | 木製品 | 8－A | 33.55 | 44.42 | -10.80 | 可能 | | マツ属複維管束亜属 | ○試料67 |
| 1316 | | | 木製品 | 木製品 | 8－A | 33.98 | 45.32 | -10.79 | 可能 | | マツ属複維管束亜属 | ○試料442 |
| 1317 | a | | 木製品 | 木製品 | 8－A | 33.76 | 45.45 | -10.83 | 可能 | | クスノキ科 | ○試料443 |
| 1317 | b～d | | 木製品 | 木製品 | 8－A | 33.76 | 45.45 | -10.83 | 可能 | | 1317 a と同一 | 1317 a と同一 |
| 1318 | | | 木製品 | 木製品 | 8－A | 34.10 | 45.86 | -10.88 | 可能 | | クスノキ科 | ○試料31 |
| 1319 | a | | 木製品 | 銅製金具付棒状木製品 | 8－A | 33.88 | 45.86 | -10.95 | 要処理 | | 1319-b と同一 | 1319-b と同一 |
| 1319 | b | | 木製品 | 銅製金具付棒状木製品 | 8－A | 33.88 | 45.86 | -10.95 | 要処理 | | ツゲ属 | ○試料186 |
| 1319 | c | | 木製品 | 銅製金具付棒状木製品 | 8－A | 33.88 | 45.86 | -10.95 | 要処理 | | 1319-b と同一 | 1319-b と同一 |
| 1320 | | 36図95 | 陶磁器 | 褐釉陶器水注 | 8－A | 33.59 | 46.01 | -11.01 | | | | |
| 1321 | | | 鉄製品 | 鉄釘 | 8－A | 35.57 | 45.99 | -10.65 | | | | |
| 1322 | | | 木製品 | 木製品 | 8－A | 35.51 | 46.04 | -10.69 | 可能 | | クスノキ | ○試料381 |
| 1323 | | | 鉄製品 | 鉄釘 | 8－A | 35.63 | 46.15 | -10.67 | | | | |
| 1324 | | | 鉄製品 | 鉄釘 | 8－A | 35.32 | 46.22 | -10.69 | 要X線 | | | |
| 1325 | | | 木製品 | 木製品 | 8－A | 35.13 | 46.32 | -10.69 | 可能 | | マツ属複維管束亜属 | ○試料7 |
| 1326 | | | 木製品 | 木製品 | 8－A | 34.93 | 46.24 | -10.75 | 可能 | | ニレ属 | ○試料388 |
| 1327 | | | 木製品 | 木製品 | 8－A | 34.82 | 46.21 | -10.76 | 可能 | | ニレ属 | ○試料54 |
| 1328 | | | 木製品 | 木製品 | 8－A | 34.68 | 46.26 | -10.80 | 可能 | | ニレ属 | ○試料41 |
| 1329 | | | 木製品 | 木製品 | 8－A | 34.67 | 46.39 | -10.82 | 可能 | | マツ属複維管束亜属 | ○試料387 |
| 1330 | a | | 木製品 | 木製品 | 8－A | 34.34 | 46.16 | -10.865 | 可能 | | アカガシ亜属？ | ○試料106 |
| 1330 | b | | 縄 | 縄 | 8－A | 34.34 | 46.16 | -10.865 | 高級アルコール含浸 | | | |
| 1331 | | | 自然遺物 | 獣骨 | 8－A | 35.32 | 46.57 | -10.74 | | №28 b＝498 | | 四肢骨 |
| 1332 | | | 鉄製品 | 箭（矢）束 | 8－A | 35.19 | 46.66 | -10.78 | 要処理 | | | 60本前後 |
| 1333 | | | 木製品 | 木製品 | 8－A | 35.16 | 46.83 | -10.78 | 可能 | | マツ科 | ○試料37 |
| 1334 | | | 木製品 | 木製品 | 8－A | 34.84 | 46.71 | -10.81 | 可能 | | マンサク科 | ○試料358 |
| 1335 | | 26図18 | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺 | 8－A | 34.59 | 46.87 | -10.70 | | | | |
| 1336 | | | 木製品 | 木製品 | 8－A | 34.62 | 46.95 | -10.68 | 可能 | | 樹皮 | ○試料386 |
| 1337 | a | | 木製品 | 木製品 | 8－A | 34.52 | 46.69 | -10.71 | 可能 | | ニレ属 | ○試料428 |
| 1337 | b | | 木製品 | 木製品 | 8－A | 34.52 | 46.69 | -10.71 | 可能 | | 散孔材F | ○試料429 |
| 1338 | | | 木製品 | 木製品 | 8－A | 34.48 | 46.91 | -10.73 | 可能 | | Terminalia catappa | ○試料70 |
| 1339 | | | 木製品 | 木製品 | 8－A | 34.42 | 46.98 | -10.715 | 可能 | | Terminalia catappa | ○試料72 |
| 1340 | | | 鉄製品 | 箭（矢）束 | 8－A | 35.20 | 47.09 | -10.68 | 要処理 | | | 金具付き＝30本 |
| 1341 | | | 木製品 | 木製品 | 8－A | 35.00 | 47.40 | -10.67 | 可能 | | マツ属単維管束亜属？ | ○試料486 |
| 1342 | | | 木製品 | 木製品 | 8－A | 34.97 | 47.74 | -10.67 | 可能 | | マツ属単維管束亜属 | ○試料251 |
| 1343 | | | 鉄製品 | 鉄製品 | 8－A | 34.79 | 47.82 | -10.73 | 要処理 | | | 棒状加工品で輪状になる |
| 1344 | | | 木製品 | 木製品 | 8－A | 34.50 | 47.86 | -10.775 | 可能 | | シイ属 | ○試料144 |
| 1345 | | 108図1 | 縄 | 縄 | 8－A | 34.39 | 47.44 | -10.77 | 高級アルコール含浸 | | | |
| 1346 | | 84図59 | 木製品 | 木製品 | 8－A | 34.62 | 47.80 | -10.735 | 可能 | | コウヨウザン | ○試料71 |
| 1347 | | 86図64 | 木製品 | 木製品 | 8－A | 35.48 | 48.08 | -10.67 | 要処理 | | Cryptomeria sp. | ○試料118 |
| 1348 | | | 縄 | 縄 | 8－A | 35.47 | 48.20 | -10.63 | 要処理 | | | 2つ折れ |
| 1349 | | | 木製品 | 木製品 | 8－A | 35.32 | 48.37 | -10.65 | 可能 | | コウヨウザン | ○試料291 |
| 1350 | | | 木製品 | 木製品 | 8－A | 35.14 | 48.41 | -10.65 | 可能 | | 散孔材E | ○試料398 |
| 1351 | | | 木製品 | 木製品 | 8－A | 35.05 | 48.25 | -10.66 | 可能 | | サンプリング不能 | サンプリング不能＝樹皮 |
| 1352 | | 57図27 | 鉄製品 | 鉄製金具 | 8－A | 35.02 | 48.16 | -10.68 | 可能 | | | 輪状 |
| 1353 | | 108図2 | 縄 | 縄 | 8－A | 34.98 | 48.33 | -10.685 | 高級アルコール含浸 | | | 3つ折れ |
| 1354 | a | | 縄 | 縄 | 8－A | 35.13 | 48.55 | -10.665 | 高級アルコール含浸 | | | |
| 1354 | b | | 縄 | 縄 | 8－A | 35.13 | 48.55 | -10.665 | | | | |
| 1355 | | | 木製品 | 木製品 | 8－A | 35.12 | 48.88 | -10.705 | 可能 | | クスノキ | ○試料137 |
| 1356 | | 80図42 | 木製品 | 木製品 | 8－A | 34.53 | 48.91 | -10.82 | 要処理 | | クスノキ科 | ○試料249 |
| 1357 | | | 漆製品 | 木製品 | 8－A | 34.36 | 48.92 | -10.845 | | | | 漆皮膜あり |
| 1358 | | | 鉄製品 | 鉄釘 | 8－A | 34.44 | 48.84 | -10.83 | | | | |
| 1359 | | | 木製品 | 木製品 | 8－A | 34.41 | 48.76 | -10.81 | 可能 | | マツ属複維管束亜属 | ○試料36 |
| 1360 | | | 鉄製品 | 鉄釘 | 8－A | 34.30 | 48.79 | -10.86 | | | | |
| 1361 | | | 縄 | 縄 | 8－A | 34.97 | 48.58 | -10.705 | 要処理 | | | |
| 1362 | | | 縄 | 縄 | 8－A | 35.05 | 48.82 | -10.665 | 要処理 | | | 3つ切れる |
| 1363 | | | 木製品 | 木製品 | 8－A | 34.99 | 49.10 | -10.785 | 可能 | | マツ属複維管束亜属 | ○試料279 |
| 1364 | | | 木製品 | 木製品 | 8－A | 35.17 | 49.38 | -10.91 | 可能 | | コウヨウザン？ | ○試料205 |
| 1365 | | | 木製品 | 木製品 | 8－A | 34.97 | 49.76 | -10.955 | 可能 | | サンプリング無し（松の皮） | サンプリング無し（松の皮） |
| 1366 | | | 木製品 | 木製品 | 8－A | 34.94 | 49.70 | -10.95 | 可能 | | マツ属複維管束亜属？ | ○試料402 |
| 1367 | | | 木製品 | 木製品 | 8－A | 34.95 | 49.52 | -10.955 | 可能 | | クスノキ | ○試料44 |
| 1368 | | | 木製品 | 木製品 | 8－A | 34.86 | 49.60 | -10.98 | 可能 | | マツ属複維管束亜属 | ○試料120 |
| 1369 | | 108図3 | 縄 | 縄 | 8－A | 34.87 | 49.33 | -10.84 | 高級アルコール含浸 | | | 太綱 |
| 1370 | a | 108図4 | 縄 | 縄 | 8－A | 34.73 | 50.04 | -11.06 | 高級アルコール含浸 | | | |
| 1370 | b | 108図5 | 縄 | 縄 | 8－A | 34.73 | 50.04 | -11.06 | 高級アルコール含浸 | | | |
| 1371 | | | 木製品 | 木製品 | 8－A | 34.93 | 50.02 | -10.975 | 可能 | | コウヨウザン | ○試料231 |

| 遺物番号 | 枝番 | 挿図番号 | 種別 | 遺物名 | 調査区 | 出土位置 | | 標高 | 保存処理方法 | 接合関係 | 樹種同定 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | | | N | W | | | | | |
| 1372 | | | 木製品 | 木製品 | 8－A | 34.75 | 50.17 | -11.01 | 可能 | | Dalbergia sp. | ○試料413 |
| 1373 | | | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺 | 8－A | 34.06 | 50.14 | -11.23 | | | | |
| 1374 | | | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺 | 8－A | 33.82 | 49.45 | -11.455 | | | | |
| 1375 | | | 鉄製品 | 鉄製品 | 8－A | 33.04 | 44.55 | -10.89 | 要処理 | | | 環状取手付金具 |
| 1376 | | | 木製品 | 木製品 | 8－A | 32.93 | 44.39 | -10.88 | 可能 | | ニレ属 | ○試料390 |
| 1377 | | | 木製品 | 銅製金具付棒状木製品 | 8－A | 32.95 | 45.15 | -10.945 | 階アルコール含浸 | | ツゲ属 | ○試料185 |
| 1378 | | | 木製品 | 木製品 | 8－A | 32.91 | 45.37 | -11.00 | 可能 | | 1317と同一 | 1317と同一 |
| 1379 | | | 鉄製品 | 鉄釘 | 8－A | 32.71 | 45.27 | -10.925 | 可能 | | | 角釘 |
| 1380 | | | 鉄製品 | 鉄釘 | 8－A | 32.60 | 45.17 | -11.03 | 可能 | | | 角釘 |
| 1381 | | 60図4 | 鉄製品 | 箭（矢）束 | 8－A | 32.54 | 44.88 | -11.03 | 最重要処理 | | | 漆製胡籙付着 |
| 1382 | | 46図19 | 銅製品 | 銅製飾金具 | 8－A | 32.70 | 44.94 | -11.01 | | | | No1381周辺出土 |
| 1383 | | 45図1 | 銅製品 | 銅製飾金具 | 8－A | 32.56 | 45.00 | -11.05 | | | | No1381周辺出土 |
| 1384 | ① | 46図15 | 銅製品 | 銅製飾金具 | 8－A | 32.45 | 44.99 | -11.04 | | | | No1381周辺出土 |
| 1384 | ② | 46図16 | 銅製品 | 銅製飾金具 | 8－A | 32.45 | 44.99 | -11.04 | | | | No1381周辺出土 |
| 1385 | | 45図4 | 銅製品 | 銅製飾金具 | 8－A | 32.38 | 44.81 | -11.03 | | | | No1381周辺出土 |
| 1386 | | 46図21 | 銅製品 | 銅製飾金具 | 8－A | 32.19 | 44.89 | -11.03 | | | | No1381周辺出土 |
| 1387 | | 47図29 | 銅製品 | 銅製飾金具 | 8－A | 32.46 | 44.67 | -10.97 | | | | No1381周辺出土 |
| 1388 | | 45図2 | 銅製品 | 銅製飾金具 | 8－A | 32.39 | 44.64 | -10.98 | | | | No1381周辺出土 |
| 1389 | | 46図22 | 銅製品 | 銅製飾金具 | 8－A | 32.44 | 44.58 | -10.97 | | | | No1381周辺出土 |
| 1390 | | | 漆製品 | 朱塗甲冑（小札）一括 | 8－A | 32.47 | 44.44 | -10.94 | 要処理 | | | 多数 |
| 1391 | | | 自然石 | 礫 | 8－A | 32.62 | 44.61 | -10.935 | | | | |
| 1392 | | 87図71 | 木製品 | 木製品 | 8－A | 32.14 | 44.38 | -10.98 | 可能 | | シイ属 | ○試料123 |
| 1393 | | | 鉄製品 | 鉄製品 | 8－A | 31.81 | 44.61 | -11.08 | 可能 | | | |
| 1394 | | | 木製品 | 木製品 | 8－A | 31.95 | 44.80 | -11.01 | 要処理 | | マツ複維管束亜属 | ○試料77 |
| 1395 | | | 鉄製品 | 鉄釘 | 8－A | 31.83 | 45.08 | -11.10 | 可能 | | | 釘2本付着 |
| 1396 | | | 木製品 | 木製品 | 8－A | 43.02 | 45.49 | -11.11 | 可能 | | マツ属単維管束亜属 | ○試料97 |
| 1397 | | | 木製品 | 木製品 | 8－A | 31.80 | 46.03 | -11.265 | 可能 | | マツ属単維管束亜属 | ○試料93 |
| 1398 | | | 木製品 | 木製品 | 8－A | 31.68 | 45.32 | -11.155 | 可能 | | マツ属複維管束亜属 | ○試料391 |
| 1399 | | | 木製品 | 木製品 | 8－A | 31.51 | 45.39 | -11.205 | 可能 | | クスノキ | ○試料74 |
| 1400 | | | 木製品 | 木製品 | 8－A | 31.27 | 45.54 | -11.32 | 可能 | | クスノキ | ○試料48 |
| 1401 | | | 木製品 | 木製品 | 8－A | 31.02 | 45.82 | -11.44 | 可能 | | クスノキ | ○試料95 |
| 1402 | | | 木製品 | 木製品 | 8－A | 31.15 | 46.08 | -11.485 | 可能 | | マツ属複維管束亜属 | ○試料268 |
| 1403 | | | 鉄製品 | 鉄製品 | 8－A | 31.20 | 44.24 | -11.25 | 最重要処理 | | | 環状金具 |
| 1404 | | | 鉄製品 | 鉄釘 | 8－A | 31.22 | 44.15 | -11.22 | 可能 | No1676 | | 角釘 |
| 1405 | | | 自然遺物 | 獣骨 | 8－A | 31.15 | 44.19 | -11.24 | | | | 椎骨 |
| 1406 | | | 鉄製品 | 鉄釘 | 8－A | 31.11 | 44.22 | -11.25 | 可能 | | | 角釘 |
| 1407 | | | 漆製品 | 「元年」銘朱書漆塗木製品 | 7－A | 42.00 | 43.15 | -9.38 | 最重要処理 | | Pistachia sp. | ○試料167 |
| 1408 | | 67図19 | 木製品 | 木像 | 8－A | 39.90 | 41.20 | -9.49 | 要処理 | | Altingia sp. | ○資料0 |
| 1409 | | | 漆製品 | 朱塗甲冑（小札）一括 | 7－A | 41.70 | 40.70 | -9.18 | 要処理 | | | 数十枚／個別取上げ |
| 1410 | | 49図44 | 銅製品 | 銅匙 | 8－A | 38.35 | 42.30 | -9.87 | | | | |
| 1411 | | | 漆製品 | 銘入漆膜小破片 | 7－A | 41.80 | 43.98 | -9.47 | 最重要処理 | | サンプル不可 | サンプル不可・文字有・漆膜のみ |
| 1412 | | 45図9 | 銅製品 | 銅製飾金具 | 8－A | 32.74 | 44.77 | -10.94 | | | | No1381周辺出土 |
| 1413 | | 45図13 | 銅製品 | 銅製飾金具 | 8－A | 32.71 | 44.85 | -11.01 | | | | No1381周辺出土 |
| 1414 | | 46図18 | 銅製品 | 銅製飾金具 | 8－A | 32.49 | 44.75 | -10.90 | | | | No1381周辺出土 |
| 1415 | | 46図17 | 銅製品 | 銅製飾金具 | 8－A | 32.38 | 44.77 | -11.02 | | | | No1381周辺出土 |
| 1416 | | 45図11 | 銅製品 | 銅製飾金具 | 8－A | 32.57 | 44.96 | -11.04 | | | | No1381周辺出土 |
| 1417 | | 45図12 | 銅製品 | 銅製飾金具 | 8－A | 32.43 | 44.82 | -11.04 | | | | No1381周辺出土 |
| 1418 | | | 鉄製品 | 鉄釘 | 8－A | 32.49 | 44.60 | -10.98 | 可能 | | | 丸釘？ |
| 1419 | | 46図14 | 銅製品 | 銅製飾金具 | 8－A | 32.62 | 45.23 | -11.08 | | | | No1381周辺出土 |
| 1420 | | 45図3 | 銅製品 | 銅製飾金具 | 8－A | 32.63 | 44.95 | -11.05 | | | | No1381周辺出土 |
| 1421 | | 67図20 | 骨角製品 | 鹿角装製品 | 8－A | 32.87 | 44.83 | -10.87 | | | | |
| 1422 | | | 自然遺物 | 獣骨 | 8－A | 33.57 | 44.56 | -10.76 | | | | 四肢骨 |
| 1423 | | | 木炭 | 木炭 | 8－A | 33.06 | 45.15 | -11.00 | | | | |
| 1424 | | | 鉄製品 | 鉄釘 | 8－A | 32.99 | 46.26 | -10.86 | 可能 | | | 鉄釘L字型 |
| 1425 | | | 鉄製品 | 板状鉄製品 | 8－A | 33.10 | 43.81 | -10.81 | 要処理 | | | 10片ほど・鎧か？ |
| 1426 | | | 鉄製品 | 鉄製品 | 8－A | 33.21 | 46.21 | -10.74 | | | | 3破片 |
| 1427 | | 90図8 | 木製品 | 木製柄部 | 8－A | 32.17 | 45.75 | -11.18 | 要処理 | | ナツメ | ○試料182 |
| 1428 | a | | 木製品 | 木製品 | 7－B | 43.36 | 35.23 | -8.34 | 可能 | | クスノキ | ○試料129 |
| 1428 | b | 79図39 | 木製品 | 船底板材 | 7－B | 43.36 | 35.23 | -8.34 | 要処理 | | クスノキ | ○試料142 |
| 1429 | | | 木製品 | 木製品 | 7－B | 43.11 | 35.05 | -8.44 | 可能 | | マツ属単維管束亜属 | ○試料371 |
| 1430 | | | 鉄製品 | 鉄釘 | 7－B | 43.01 | 35.04 | -8.47 | | | | |
| 1431 | | | 鉄製品 | 鉄釘 | 7－B | 42.96 | 35.14 | -8.46 | | | | |
| 1432 | | | 木製品 | 木製品 | 7－B | 42.85 | 35.22 | -8.51 | 可能 | | Dalbergia sp. | ○試料453 |
| 1433 | | 90図7 | 木製品 | 木製品 | 7－B | 42.90 | 35.30 | -8.515 | 要処理 | | コウヨウザン | ○試料228 |
| 1434 | | 76図31 | 木製品 | 丸太材片 | 7－B | 42.22 | 35.53 | -8.665 | 要処理 | | マツ属単維管束亜属？ | ○試料218 |
| 1435 | | | 木製品 | 木製品 | 7－B | 44.58 | 36.74 | -8.285 | 可能 | | スギ属 | ○試料253 |
| 1436 | | | 木製品 | 木製品 | 7－B | 43.21 | 37.43 | -8.565 | 可能 | | スギ科 | ○試料261 |
| 1437 | | | 漆製品 | 漆製品底部？ | 7－B | 40.32 | 37.32 | -9.14 | 最重要処理 | | ヒノキ科 | ○試料156 |
| 1438 | | | 鉄製品 | 鉄釘 | 7－B | 43.53 | 36.34 | -8.31 | | | | |
| 1439 | | 69図2 | 木製品 | 船材（隔壁梁材） | 7－B | 41.55 | 37.10 | -8.84 | 最重要処理 | | クスノキ | ○試料208 |
| 1440 | | 69図1 | 木製品 | 船材（隔壁梁材） | 7－B | 41.95 | 37.45 | -8.79 | 最重要処理 | | クスノキ | ○試料196 |
| 1441 | | | 鉄製品 | 鉄製品 | 9－A | 28.30 | 42.16 | -11.40 | 要X線 | | | 矢柄？ |
| 1442 | | | 木製品 | 刀柄 | 9－A | 28.16 | 42.18 | -11.405 | 最重要処理 | | ナツメ | ○試料350 |
| 1443 | | | 木製品 | 木製品 | 9－A | 27.70 | 42.47 | -11.49 | 可能 | | コウヨウザン？ | ○試料65 |
| 1444 | | | 自然遺物 | 獣骨 | 9－A | 27.50 | 42.28 | -11.515 | | | | 牛？四肢骨 |

| 遺物番号 | 枝番 | 挿図番号 | 種別 | 遺物名 | 調査区 | 出土位置 | | 標高 | 保存処理方法 | 接合関係 | 樹種同定 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | | | N | W | | | | | |
| 1445 | | 78図36 | 木製品 | 角材 | 9－A | 28.15 | 41.85 | -11.39 | 要処理 | | ニレ属 | ○試料215 |
| 1446 | | | 木製品 | 木製品 | 9－A | 27.80 | 41.94 | -11.43 | 可能 | | Dalbergia sp. | ○試料466 |
| 1447 | | | 木製品 | 木製品 | 9－A | 26.96 | 42.56 | -11.51 | 要処理 | | スギ科 | ○試料201 |
| 1448 | | | 木製品 | 木製品 | 9－A | 26.42 | 42.16 | -11.735 | 可能 | | マツ属複維管束亜属 | ○試料231 |
| 1449 | | 31図54 | 陶磁器 | 褐釉陶器壺 | 9－A | 26.72 | 43.24 | -11.55 | | No877・KZK01RC143 | | |
| 1450 | | 63図1 | 漆製品 | 棒状漆塗木製品 | 9－A | 27.54 | 43.01 | -11.56 | 真空凍結乾燥法 | | Dalbergia sp. | ○試料162 |
| 1451 | | 82図47 | 木製品 | 木製品 | 9－A | 27.38 | 43.55 | -11.565 | 要処理 | | クスノキ | ○試料216 |
| 1452 | | 82図49 | 木製品 | 木製品 | 9－A | 27.14 | 43.68 | -11.46 | 要処理 | | 1451と同一 | 1451と同一 |
| 1453 | | 82図49 | 木製品 | 木製品 | 9－A | 26.95 | 43.80 | -11.63 | 要処理 | | 1451と同一 | 1451と同一 |
| 1454 | | 82図49 | 木製品 | 木製品 | 9－A | 26.75 | 43.91 | -11.765 | 要処理 | | 1451と同一 | 1451と同一 |
| 1455 | | 87図73 | 木製品 | 木製品 | 9－A | 27.88 | 44.47 | -12.02 | 可能 | | マツ属 | ○試料448 |
| 1456 | | 77図34 | 木製品 | 船板材 | 9－A | 26.15 | 43.05 | -11.76 | 要処理 | | クスノキ | ○試料112 |
| 1457 | | 81図46 | 木製品 | 木製品 | 9－A | 26.03 | 42.84 | -11.72 | 要処理 | | クスノキ | ○試料90 |
| 1458 | | | 木製品 | 木製品 | 9－A | 25.98 | 42.72 | -11.76 | 可能 | | Dalbergia sp. | ○試料125 |
| 1459 | | | 鉄製品 | 鉄釘 | 9－A | 25.74 | 42.55 | -11.77 | | | | |
| 1460 | | | 鉄製品 | 鉄釘 | 9－A | 25.61 | 42.97 | -11.88 | | | | |
| 1461 | | | 木炭 | 木炭 | 9－A | 25.63 | 43.01 | -11.83 | | | | |
| 1462 | | | 鉄製品 | 鉄釘 | 9－A | 25.51 | 42.64 | -11.835 | | | | 縫い釘 |
| 1463 | | | 鉄製品 | 鉄釘 | 9－A | 25.51 | 42.57 | -11.88 | 要X線 | | | |
| 1464 | | | 鉄製品 | 鉄釘 | 9－A | 25.25 | 42.49 | -11.865 | | | | |
| 1465 | | | 鉄製品 | 鉄釘 | 9－A | 25.07 | 42.67 | -11.91 | | | | |
| 1466 | | 85図63 | 木製品 | 角材 | 9－A | 25.15 | 42.90 | -11.88 | 要処理 | | クスノキ | ○試料122 |
| 1467 | | | 鉄製品 | 鉄製品 | 9－A | 25.15 | 43.73 | -12.00 | | | | |
| 1468 | | | 花崗岩 | 花崗岩 | 9－A | 26.12 | 44.92 | -12.10 | | | | 未欠損 |
| 1469 | a，b | 77図32 | 木製品 | 木製品 | 9－A | 25.37 | 41.82 | -11.765 | 要処理 | | クスノキ | ○試料200 |
| 1470 | | | 縄 | 縄 | 9－A | 25.94 | 41.40 | -11.63 | 要処理 | | | |
| 1471 | | | 縄 | 縄 | 9－A | 25.98 | 41.41 | -11.65 | 要処理 | | | バラバラになっている |
| 1472 | | | 縄 | 縄 | 9－A | 26.09 | 41.25 | -11.63 | | | | バラバラになっている |
| 1473 | | | 縄 | 縄 | 9－A | 26.17 | 41.19 | -11.60 | 要処理 | | | バラバラになっている |
| 1474 | | | 鉄製品 | 鉄製品 | 9－A | 26.73 | 41.29 | -11.66 | | | | |
| 1475 | | | 鉄製品 | 鉄製品 | 9－A | 26.60 | 41.11 | -11.66 | | | | |
| 1476 | | 69図3 | 木製品 | 船板材 | 9－A | 26.85 | 40.40 | -11.425 | 要処理 | | シイ属 | ○試料223 |
| 1477 | | | 木製品 | 木製品 | 9－A | 25.88 | 40.68 | -11.64 | | | クスノキ | ○試料9 |
| 1478 | | | 鉄製品 | 鉄釘 | 9－A | 26.18 | 40.44 | -11.59 | | | | |
| 1479 | | | 木製品 | 木製品 | 9－A | 26.25 | 40.40 | -11.58 | 可能 | | Dalbergia sp. | ○試料105 |
| 1480 | | | 鉄製品 | 鉄釘 | 9－A | 26.29 | 40.35 | -11.38 | | | | |
| 1481 | | | 鉄製品 | 鉄釘 | 9－A | 26.16 | 40.37 | -11.40 | | | | |
| 1482 | | | 鉄製品 | 箭（矢）束 | 9－A | 26.17 | 40.24 | -11.59 | 要処理 | | | 2つに分解・約30本 |
| 1483 | | | 不明 | 不明（アスファルト？） | 9－A | 26.30 | 40.14 | -11.55 | 要処理 | | | No1472関連品・胡録の一部か？ |
| 1484 | | | 鉄製品 | 鉄製品 | 9－A | 26.36 | 40.12 | -11.56 | | | | |
| 1485 | | | 鉄製品 | 鉄製品 | 9－A | 26.31 | 40.19 | -11.55 | | | | |
| 1486 | | | 鉄製品 | 鉄製品 | 9－A | 26.44 | 40.21 | -11.595 | 要処理 | | | 鉄の棒 |
| 1487 | | 60図3 | 鉄製品 | 箭（矢）束 | 9－A | 28.14 | 41.25 | -11.305 | 要処理 | | サンプル不可 | 20本・1488が付着 |
| 1488 | ※ | | 鉄製品 | 矢柄 | 9－A | 28.23 | 41.16 | -11.30 | 要X線・要処理 | No1487に付着 | タケ亜科 | ○試料351・小札付着・漆・2つ折れ |
| 1489 | | | 自然遺物 | 木皮（桜？） | 9－A | 28.83 | 40.48 | -11.235 | 要処理 | | サンプル不可 | サンプル不可 |
| 1490 | | | 木製品 | 木栓 | 9－A | 28.42 | 40.59 | -11.255 | 要処理 | | ヒノキ科 | ○試料174 |
| 1491 | | | 木製品 | 木製品 | 9－A | 28.29 | 40.06 | -11.23 | 可能 | | 広葉樹 | ○試料8 |
| 1492 | a | | 鉄製品 | 鉄釘 | 9－A | 28.53 | 40.12 | -11.20 | | | | |
| 1492 | b | | 鉄製品 | 棒状鉄製品 | 9－A | 28.53 | 40.12 | -11.20 | 要X線 | | | 矢柄？ |
| 1493 | | 31図57 | 陶磁器 | 褐釉陶器壺 | 9－A | 28.71 | 40.01 | -11.18 | | No76・172・819・KZK01RC7 | | |
| 1494 | | | 鉄製品 | 鉄製品 | 9－B | 26.68 | 39.30 | -11.465 | | | | |
| 1495 | | 65図8 | 漆製品 | 板状漆製品 | 9－B | 26.63 | 39.63 | -11.495 | 真空凍結乾燥法 | | ヒノキ科 | ○試料169 |
| 1496 | | 65図9 | 漆製品 | 板状漆製品 | 9－B | 26.51 | 39.51 | -11.505 | 真空凍結乾燥法 | | ヒノキ科 | ○試料600 |
| 1497 | a，b | | 木製品 | 木製品 | 9－B | 26.14 | 39.89 | -11.63 | 可能 | | マツ属複維管束亜属 | ○試料131 |
| 1498 | | | 木製品 | 木製品 | 9－B | 25.22 | 39.70 | -11.705 | 可能 | | スギ属 | ○試料454 |
| 1499 | | | 木製品 | 木製品 | 9－B | 24.92 | 39.84 | -11.735 | 可能 | | ニレ属 | ○試料85 |
| 1500 | | 24図4 | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺 | 9－B | 21.83 | 39.65 | -11.82 | | | | |
| 1501 | | | 木製品 | 木製品 | 9－B | 24.86 | 39.10 | -11.69 | 可能 | | Pometia sp. | ○試料209 |
| 1502 | a | | 木製品 | 木製品 | 9－B | 23.77 | 39.60 | -11.89 | 可能 | | 1501と同一 | 1501と同一 |
| 1502 | b | | 木製品 | 木製品 | 9－B | 23.77 | 39.60 | -11.89 | 可能 | | Pometia sp. | ○試料197 |
| 1503 | | 24図1 | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺 | 9－B | 24.52 | 38.81 | -11.78 | | No620 | | |
| 1504 | | | 鉄製品 | 不明腐食鉄 | 9－B | 22.82 | 39.10 | -12.19 | 要X線 | | | 植物片混入 |
| 1505 | | | 木製品 | 木製品 | 9－B | 22.72 | 39.31 | -12.195 | 可能 | | ニレ属 | ○試料224 |
| 1506 | | | 鉄製品 | 鉄製品 | 9－B | 23.06 | 39.94 | -12.07 | 要処理 | | | 銅？断面菱形・内部空洞 |
| 1600まで欠番 | | | | | | | | | | | | |
| 1601 | | | 自然石 | 自然石？ | 7－B | 49.31 | 33.92 | -7.25 | | | | |
| 1602 | | 93図11 | 瓦磚類 | 長方磚 | 7－B | 49.77 | 35.48 | -7.08 | | | | |
| 1603 | | 93図6 | 瓦磚類 | 長方磚 | 7－B | 49.50 | 35.77 | -7.22 | | | | |
| 1604 | | | 鉄製品 | 棒状鉄製品 | 7－B | 49.20 | 35.65 | -7.35 | 最重要処理 | | | 柄部か？1605と同一か？ |
| 1605 | | | 鉄製品 | 棒状鉄製品 | 7－B | 48.76 | 35.85 | -7.44 | 最重要処理 | | | 1604と同一か？ |
| 1606 | | 84図57 | 木製品 | 木製品 | 7－B | 48.24 | 35.77 | -7.54 | 要処理 | | 散孔材A | ○試料88 |
| 1607 | | 74図21 | 木製品 | 船板材（隔壁板） | 7－B | 47.36 | 37.88 | -7.36 | 要処理 | | マツ属複維管束亜属 | ○試料210 |
| 1608 | | | 鉄製品 | 鉄製品 | 7－B | 45.92 | 37.41 | -7.98 | 要処理 | | | 銅製金具付着・棒状製品2本付着 |
| 1609 | | | 木製品 | 木製品 | 7－B | 45.47 | 37.49 | -8.00 | 可能 | | マツ属複維管束亜属 | ○試料477 |
| 1610 | | | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺 | 7－B | 45.92 | 38.17 | -7.98 | | | | |

| 遺物番号 | 枝番 | 挿図番号 | 種別 | 遺物名 | 調査区 | 出土位置 N | 出土位置 W | 標高 | 保存処理方法 | 接合関係 | 樹種同定 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1611 | | | 鉄製品 | 鉄製品 | 7－B | 45.53 | 38.48 | -8.09 | 可能 | | | 2点銷ふくれ |
| 1612 | | | 自然遺物 | 獣骨 | 7－B | 45.66 | 38.60 | -8.01 | | | | 鳥？切断痕あり部位不明 |
| 1613 | | 25図16 | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺 | 7－B | 45.43 | 38.71 | -8.03 | | | | |
| 1614 | | 73図20 | 木製品 | 船角材 | 7－B | 45.42 | 36.63 | -8.10 | 要処理 | | マツ属複維管束亜属 | ○試料220 |
| 1615 | | 57図30 | 鉄製品 | 鉄製金具 | 7－B | 45.06 | 38.00 | -8.18 | 要処理 | | | |
| 1616 | | | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺 | 7－B | 45.24 | 38.10 | -8.19 | | | | |
| 1617 | | | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺 | 7－B | 44.02 | 37.70 | -8.44 | | | | |
| 1618 | | 41図1 | 石製品 | 分銅型錘石？ | 7－B | 43.35 | 38.13 | -8.62 | | | | 一部欠損か？ |
| 1619 | | 51図2 | 鉄製品 | 鉄製釘 | 7－B | 43.72 | 38.27 | -8.56 | 要処理 | | | |
| 1620 | | | 木製品 | 木製品 | 7－B | 44.45 | 38.98 | -8.51 | 可能 | | クスノキ | ○試料87 |
| 1621 | | 26図20 | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺 | 7－B | 44.58 | 39.33 | -8.51 | | | | |
| 1622 | | | 自然遺物 | 人骨 | 7－B | 44.34 | 39.65 | -8.54 | | | | 左ケイ骨(腓の骨)　性別：男性 |
| 1623 | | | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺 | 7－B | 49.50 | 35.17 | -7.33 | | | | |
| 1624 | | | 陶磁器 | 褐釉陶器壺 | 7－B | 49.50 | 34.23 | -7.33 | | | | |
| 1625 | a | | 鉄製品 | 鉄製品 | 7－B | 49.80 | 34.58 | -7.28 | 要X線 | | | 環頭状鉄製品 |
| 1625 | b | | 木製品 | 加工木材 | 7－B | 49.80 | 34.58 | -7.28 | 可能 | | チーク | ○試料107 |
| 1626 | | | 鉄製品 | 鉄製品 | 7－B | 48.53 | 33.90 | -7.52 | | | | |
| 1627 | | | 木製品 | 木製品 | 7－B | 48.40 | 34.44 | -7.54 | | | マツ属複維管束亜属 | ○試料242 |
| 1628 | | | 鉄製品 | 鉄製品 | 7－B | 48.18 | 35.30 | -7.60 | | | | |
| 1629 | | | 木製品 | 木製品 | 7－B | 47.82 | 33.90 | -7.68 | 可能 | | サクラ属 | ○試料126 |
| 1630 | | | 木製品 | 木製品 | 7－B | 47.42 | 34.95 | -7.87 | 可能 | | マツ属複維管束亜属 | ○試料463 |
| 1631 | | | 木製品 | 木製品 | 7－B | 46.36 | 35.54 | -7.86 | 可能 | | Dalbergia sp. | ○試料478 |
| 1632 | | 25図14 | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺 | 7－B | 46.90 | 35.49 | -7.80 | | | | |
| 1633 | | | 木炭 | 木炭 | 7－B | 46.84 | 35.25 | -7.77 | | | | |
| 1634 | | | 木製品 | 木製品 | 7－B | 46.56 | 35.00 | -7.79 | | | マツ属複維管束亜属 | ○試料241 |
| 1635 | | | 鉄製品 | 棒状鉄製品 | 7－B | 46.85 | 34.82 | -7.77 | 要X線 | | | 矢柄？ |
| 1636 | | 78図37 | 木製品 | 木製品 | 7－B | 46.52 | 34.77 | -7.80 | 可能 | | スギ科 | ○試料239 |
| 1637 | | | 木製品 | 木製品 | 7－B | 46.67 | 34.53 | -7.73 | 可能 | | スギ科 | ○試料254 |
| 1638 | | 75図27 | 木製品 | 木製品 | 7－B | 46.31 | 34.44 | -7.82 | 要処理 | | マツ属単維管束亜属 | ○試料113 |
| 1639 | | | 鉄製品 | 鉄製品 | 7－B | 46.66 | 33.92 | -7.80 | 要処理 | | | |
| 1640 | | | 木製品 | 木札 | 7－B | 47.15 | 33.60 | -7.71 | 要処理 | | ヒノキ科 | ○試料170 |
| 1641 | | | 木製品 | 木製品 | 7－B | 45.37 | 35.60 | -8.14 | 可能 | | マツ属複維管束亜属 | ○試料115 |
| 1642 | | 50図6 | 銅製品 | 銅銭元豊通寶 | 7－B | 45.34 | 35.80 | -8.08 | | | | |
| 1643 | | | 木製品 | 木製品 | 7－B | 45.28 | 35.92 | -8.06 | 可能 | | ニレ属 | ○試料485 |
| 1644 | | | 木製品 | 木製品 | 7－B | 44.96 | 35.95 | -8.05 | 可能 | | マツ属単維管束亜属 | ○試料252 |
| 1645 | | | 木製品 | 木製品 | 7－B | 44.89 | 36.17 | -8.05 | 可能 | | マツ属複維管束亜属 | ○試料282 |
| 1646 | | | 木炭 | 木炭 | 7－B | 45.06 | 36.34 | -8.06 | | | | |
| 1647 | | | 鉄製品 | 不明腐食鉄(鋲？) | 7－B | 45.18 | 36.39 | -8.06 | 要X線 | | | 塊 |
| 1648 | | 85図61 | 木製品 | 木片 | 7－B | 44.20 | 36.55 | -8.02 | 可能 | | コウヨウザン | ○試料229 |
| 1649 | | | 木製品 | 木製品 | 7－B | 44.60 | 37.41 | -8.03 | 可能 | | ニレ属 | ○試料306 |
| 1650 | | | 木製品 | 木製品 | 7－B | 44.53 | 37.55 | -8.01 | 可能 | | マツ属複維管束亜属 | ○試料456 |
| 1651 | | 54図8 | 鉄製品 | 鉄刀 | 7－B | 47.54 | 36.74 | -7.81 | 最重要処理 | | | 3つ折れ |
| 1652 | | 110図2 | 陶磁器 | 土師器甕 | 7－B | 40.15 | 33.73 | -9.14 | | | | |
| 1653 | | 110図8 | 漆喰 | 漆喰塊 | 8－B | 38.56 | 32.12 | -9.43 | | | | |
| 1654 | | | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺 | 8－B | 38.63 | 31.50 | -9.47 | | №29＋526 a | | |
| 1655 | | 110図3 | 陶磁器 | 土師器甕？ | 9－C | 28.02 | 29.63 | -10.63 | | | | |
| 1656 | | | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺 | 9－C | 28.05 | 29.93 | -10.77 | | №61 a＋73 a＋243 d | | |
| 1657 | | | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺 | 8－A | 27.81 | 30.30 | -10.95 | | | | |
| 1658 | | 33図70 | 陶磁器 | 褐釉陶器壺 | 8－A | 26.27 | 30.58 | -11.06 | | №29＋526 a | | |
| 1659 | | | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺 | 8－A | 24.20 | 30.27 | -11.25 | | №930＋936 | | |
| 1660 | | 28図28 | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺 | 8－A | 22.00 | 30.15 | -11.19 | | №61 a＋73 a＋243 d | | |
| 1661 | a | | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺 | 8－A | 20.15 | 30.20 | -11.27 | | №1665 | | |
| 1661 | b | | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺 | 8－A | 20.15 | 30.20 | -11.27 | | №1654 | | |
| 1662 | | | 鉄製品 | 鏃（矢）束 | 8－A | 27.35 | 29.42 | -10.61 | 要処理 | | | 30本 |
| 1663 | | | 陶磁器 | 長胴小口瓶 | 8－A | 29.75 | 29.81 | -10.50 | | | | |
| 1664 | | | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺 | 8－A | 38.70 | 39.95 | -9.58 | | | | |
| 1665 | | | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺 | 8－A | 38.35 | 40.15 | -9.70 | | | | |
| 1666 | | 33図68 | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺 | 8－A | 39.65 | 40.05 | -9.47 | | | | |
| 1667 | | | 鉄製品 | 鉄製品 | 8－A | 39.55 | 40.20 | -9.45 | | | | 4点 |
| 1668 | | | 自然遺物 | 獣骨 | 8－A | 39.60 | 40.27 | -9.46 | | | | 四肢骨(足首、手首？) |
| 1669 | | | 漆喰 | 漆喰？ | 8－A | 39.55 | 40.45 | -9.50 | | | | |
| 1670 | | | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺 | 8－A | 39.50 | 40.58 | -9.53 | | | | |
| 1671 | | | 自然遺物 | 獣骨 | 8－A | 39.17 | 40.40 | -9.55 | | | | 尾てい骨？ |
| 1672 | | | 木製品 | 木製品 | 8－A | 39.20 | 40.50 | -9.54 | 可能 | | コウヨウザン | ○試料379 |
| 1673 | | | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺 | 8－A | 39.07 | 40.70 | -9.58 | | | | |
| 1674 | | 39図19 | 土製品 | 球状土製品（てつはう） | 8－A | 39.15 | 40.77 | -9.54 | | | | |
| 1675 | | | 木炭 | 木炭 | 8－A | 39.94 | 40.89 | -9.46 | | | | |
| 1676 欠　番 | | | | | | | | | | | | |
| 1677 | | 89図3 | 木製品 | 木製品 | 8－A | 39.50 | 41.20 | -9.57 | 要処理 | | クスノキ | ○試料6 |
| 1678 | | | 木製品 | 木製品 | 8－A | 39.52 | 41.28 | -9.57 | 可能 | | コウヨウザン？ | ○試料15 |
| 1679 | | | 瓦磚類 | 長方磚 | 8－A | 39.55 | 41.40 | -9.57 | | | | |
| 1680 | | | 陶磁器 | 褐釉陶器壺 | 8－A | 39.40 | 41.30 | -9.56 | | | | |
| 1681 | | | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺 | 8－A | 39.35 | 41.37 | -9.58 | | | | |
| 1682 | | | 木製品 | 木製品 | 8－A | 39.40 | 41.45 | -9.59 | 可能 | | マツ属 | ○試料417 |
| 1683 | | | 木製品 | 木製品 | 8－A | 39.15 | 41.80 | -9.69 | 可能 | | マツ属複維管束亜属 | ○試料420 |

| 遺物番号 | 枝番 | 挿図番号 | 種別 | 遺物名 | 調査区 | 出土位置 | | 標高 | 保存処理方法 | 接合関係 | 樹種同定 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | | | N | W | | | | | |
| 1684 | | | 木製品 | 木製品 | 8－A | 39.50 | 41.70 | -9.61 | 可能 | | マツ属単維管束亜属 | ○試料317 |
| 1685 | | | 木炭 | 木炭 | 8－A | 38.95 | 41.30 | -9.67 | | | | |
| 1686 | | | 木製品 | 木製品 | 8－A | 38.75 | 41.45 | -9.73 | 可能 | | コウヨウザン | ○試料4 |
| 1687 | | 38図1 | 土製品 | 球状土製品（てつはう） | 8－A | 38.42 | 41.40 | -9.78 | | | | ほぼ完形・内部土サンプルあり |
| 1688 | | | 鉄製品 | 鉄製冑 | 8－A | 39.75 | 41.95 | -9.60 | 可能 | | | 小破片10数点 |
| 1689 | | | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺 | 8－A | 39.75 | 41.90 | -9.59 | | No1747 | | |
| 1690 | | | 漆喰 | 漆喰？ | 8－A | 39.67 | 42.15 | -9.61 | | | | |
| 1691 | | | 木製品 | 木製品 | 8－A | 40.10 | 42.00 | -9.54 | 可能 | | マツ属複維管束亜属 | ○試料419 |
| 1692 | | 29図42 | 陶磁器 | 褐釉陶器壺 | 8－A | 39.60 | 42.50 | -9.70 | | | | 完形・内部土サンプルあり |
| 1693 | | | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺 | 8－A | 39.80 | 42.62 | -9.67 | | | | 内容物（木片数点あり） |
| 1694 | | | 木製品 | 木製品 | 8－A | 39.75 | 42.77 | -9.63 | 可能 | | ヒノキ科 | ○試料2 |
| 1695 | | | 鉄製品 | 鉄製冑 | 8－A | 39.20 | 42.25 | -9.72 | 要処理 | | | 2つに分解 |
| 1696 | | | 木製品 | 木製品 | 8－A | 38.77 | 42.02 | -9.78 | 可能 | | コウヨウザン？ | ○試料238 |
| 1697 | | | 木製品 | 木製品 | 8－A | 38.45 | 42.01 | -9.85 | 可能 | | コウヨウザン | ○試料3 |
| 1698 | | 66図11 | 漆製品 | 干支銘文漆椀底部 | 8－A | 38.85 | 42.65 | -9.85 | 真空凍結乾燥法 | | サンプル不可 | サンプル不可 |
| 1699 欠　番 | | | | | | | | | | | | |
| 1700 | | | 木製品 | 木製品 | 8－A | 38.25 | 42.68 | -9.91 | 可能 | | コウヨウザン | ○試料359 |
| 1701 | | | 木炭 | 木炭 | 8－A | 38.75 | 42.95 | -9.89 | | | | |
| 1702 | | | 鉄製品 | 鉄釘 | 8－A | 38.50 | 42.90 | -9.90 | | | | |
| 1703 | | | 木製品 | 木製品 | 8－A | 38.60 | 42.95 | -9.90 | 可能 | | 針葉樹 | ○試料227 |
| 1704 | | | 木炭 | 木炭 | 8－A | 39.00 | 43.10 | -9.91 | | | | |
| 1705 | | | 鉄製品 | 鉄製冑 | 8－A | 39.20 | 43.40 | -9.86 | 要処理 | | | 3片に分解 |
| 1706 | | 38図6 | 土製品 | 球状土製品（てつはう） | 8－A | 39.20 | 43.85 | -9.70 | | | | |
| 1707 | | | 木製品 | 木製品 | 8－A | 38.65 | 43.40 | -9.98 | 可能 | | マツ属複維管束亜属 | ○試料108 |
| 1708 | | | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺 | 8－A | 38.40 | 43.50 | -10.01 | | | | |
| 1709 | | | 木製品 | 棒状木製品 | 8－A | 39.85 | 40.10 | -9.13 | 要処理 | | スギ科 | ○試料352 |
| 1710 | | | 自然遺物 | 獣骨 | 8－A | 39.80 | 40.18 | -9.44 | | | | 部位不明 |
| 1711 | | | 鉄製品 | 板状鉄製品 | 8－A | 39.93 | 40.30 | -9.14 | 可能 | | | 貝付着の鉄片 |
| 1712 | | | 鉄製品 | 鏃（矢）束 | 8－A | 39.85 | 40.25 | -9.44 | 要処理 | | | 17本 |
| 1713 | | | 鉄製品 | 鉄製品 | 8－A | 39.60 | 40.07 | -9.46 | | | | |
| 1714 | | | 漆製品 | 漆椀 | 8－A | 39.55 | 40.12 | -9.46 | 要処理 | | コウヨウザン | ○試料151 |
| 1715 | | | 木炭 | 木炭 | 8－A | 39.25 | 40.15 | -9.53 | | | | |
| 1716 | | | 木炭 | 木炭 | 8－A | 39.30 | 40.50 | -9.56 | | | | |
| 1717 | | | 鉄製品 | 鉄釘 | 8－A | 38.90 | 40.00 | -9.59 | | | | |
| 1718 | | | 木製品 | 木製品 | 8－A | 39.25 | 41.30 | -9.63 | 可能 | | コウヨウザン | ○試料377 |
| 1719 | | | 木製品 | 木製品 | 8－A | 39.18 | 41.50 | -9.63 | 可能 | | 炭化のため不明 | ○試料34再採取は炭化のため不可能 |
| 1720 | | | 木製品 | 木製品 | 8－A | 39.45 | 41.55 | -9.59 | | | | |
| 1721 | | | 漆製品 | 朱塗甲葉（小札）一括 | 8－A | 39.85 | 42.15 | -9.63 | 要処理 | | | シルトごと取上げ・4箱あり |
| 1722 | | | 布 | 布 | 8－A | 39.80 | 42.55 | -9.63 | 要処理 | | | |
| 1723 | | 64図7 | 漆製品 | 弩弓？ | 7－A | 40.25 | 41.75 | -9.49 | 最重要処理 | | ニレ属 | ○試料168 |
| 1724 | | | 漆製品 | 鋲入漆皮小片 | 7－A | 40.40 | 42.60 | -9.52 | 最重要処理 | | サンプル不可 | サンプル不可 |
| 1725 | | | 木製品 | 木製品 | 7－A | 40.40 | 40.15 | -9.36 | 可能 | | コウヨウザン | ○試料16 |
| 1726 | | | 木製品 | 木製品 | 7－A | 40.25 | 40.30 | -9.38 | 可能 | | ニレ属 | ○試料409 |
| 1727 | | | 木炭 | 木炭 | 7－A | 40.65 | 40.20 | -9.33 | | | | |
| 1728 欠　番 | | | | | | | | | | | | |
| 1729 | | | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺 | 7－A | 42.00 | 40.18 | -9.07 | | | | |
| 1730 | | 22図23 | 陶磁器 | 福建系青磁碗 | 7－A | 41.87 | 40.55 | -9.10 | | | | |
| 1731 | | 110図4 | 陶磁器 | [illegible] | 7－A | 42.10 | 40.90 | -9.09 | | | | |
| 1732 | | | 自然遺物 | 獣骨 | 7－A | 40.15 | 41.30 | -9.43 | | | | 海獣か？椎骨 |
| 1733 | | 52図4 | 鉄製品 | 鉄製冑 | 7－A | 40.65 | 41.40 | -9.42 | 要処理 | | | |
| 1734 | | | 木製品 | 木製品 | 7－A | 40.90 | 41.30 | -9.34 | 可能 | | マツ属複維管束亜属 | ○試料418 |
| 1735 | | 63図3 | 漆製品 | 棒状漆製品 | 7－A | 40.60 | 41.53 | -9.43 | 真空凍結乾燥法 | | Dalbergia sp. | ○試料195 |
| 1736 | | | 木製品 | 木栓 | 7－A | 40.65 | 41.50 | -9.40 | 要処理 | | コウヨウザン | ○試料183 |
| 1737 | | 63図6 | 木製品 | 弓？ | 7－A | 40.63 | 41.60 | -9.41 | 要処理 | | サンプル不可 | サンプル不可 |
| 1738 | | 48図10 | 鉄製品 | 鉄製金具 | 7－A | 40.70 | 41.63 | -9.40 | 要処理 | | | ラッパ先状 |
| 1739 | | | 木製品 | 木製品 | 7－A | 40.18 | 41.55 | -9.44 | 可能 | | マツ属複維管束亜属 | ○試料55 |
| 1740 | | | 鉄製品 | 鉄製品 | 7－A | 40.05 | 41.58 | -9.45 | 可能 | | | 3片に分解・釘頭の錆 |
| 1741 | | | 木製品 | 木製品 | 7－A | 40.30 | 42.05 | -9.49 | 可能 | | マツ属複維管束亜属 | ○試料375 |
| 1742 | | | 鉄製品 | 棒状漆塗木製品 | 7－A | 40.23 | 42.20 | -9.53 | 真空凍結乾燥法 | | サンプル不可 | サンプル不可 |
| 1743 | | | 木製品 | 木製品 | 7－A | 40.40 | 42.40 | -9.54 | 可能 | | マツ属複維管束亜属 | ○試料22 |
| 1744 | a | | 自然遺物 | 獣骨 | 7－A | 42.75 | 42.30 | -9.10 | | | | 椎骨 |
| 1744 | b | | 木炭 | 木炭 | 7－A | 42.75 | 42.30 | -9.10 | | | | |
| 1744 | c | | 木製品 | 加工木材 | 7－A | 42.75 | 42.30 | -9.10 | 可能 | No1693 | ニレ属 | ○試料29 |
| 1744 | d | | 木製品 | 加工木材 | 7－A | 42.75 | 42.30 | -9.10 | 可能 | | ニレ属 | ○試料30 |
| 1745 | | | 木製品 | 木製品 | 7－A | 40.57 | 42.40 | -9.53 | 可能 | | マツ属複維管束亜属 | ○試料396 |
| 1746 | | | 木炭 | 木炭 | 7－A | 40.45 | 42.48 | -9.54 | | | | |
| 1747 | | | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺 | 7－A | 40.53 | 42.50 | -9.58 | | | | |
| 1748 | | | 木製品 | 木製品 | 7－A | 40.60 | 42.65 | -9.51 | 可能 | | コウヨウザン | ○試料201 |
| 1749 | | | 木炭 | 木炭 | 7－A | 41.20 | 41.80 | -9.32 | | | | |
| 1750 | | | 自然遺物 | 人骨 | 7－A | 41.20 | 41.95 | -9.34 | | | | 右頭頂骨の一部　性別：男性 |
| 1751 | | | 漆製品 | 漆製品 | 8－A | 38.45 | 42.45 | -9.87 | 要処理 | | 散孔材C | ○試料335 |
| 1752 | a | | 鉄製品 | 鉄製金具 | 7－A | 40.47 | 41.13 | -9.43 | | | | 漆小札付着・3点 |
| 1752 | b | | 木製品 | 木製品 | 7－A | 40.47 | 41.13 | -9.43 | 可能 | | ニレ属 | ○試料384 |
| 1753 | | 30図48 | 陶磁器 | 褐釉陶器壺 | 7－A | 41.60 | 41.88 | -9.30 | | | | |
| 1754 | | | 自然遺物 | 獣骨 | 7－A | 44.60 | 40.30 | -8.60 | | | | 部位不明 |

| 遺物番号 | 枝番 | 挿図番号 | 種別 | 遺物名 | 調査区 | 出土位置 N | 出土位置 W | 標高 | 保存処理方法 | 接合関係 | 樹種同定 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1755 | | | 瓦磚類 | 長方磚 | 7－A | 44.30 | 41.60 | -8.72 | | | | |
| 1756 | | | 漆製品 | 漆椀 | 7－A | 43.77 | 41.70 | -8.87 | 要処理 | | コウヨウザン？ | ○試料154 |
| 1757 | | | 漆製品 | 朱漆甲葉（小札）一括 | 7－A | 43.90 | 41.90 | -8.85 | | | | |
| 1758 | | | 陶磁器 | 褐釉陶器耳付壺 | 7－A | 43.83 | 42.27 | -8.85 | | | | |
| 1759 | | 94図13 | 瓦磚類 | 長方磚 | 7－A | 44.05 | 43.15 | -8.97 | | | | |
| 1760 | | 34図84 | 陶磁器 | 褐釉陶器坏 | 7－A | 42.85 | 42.35 | -9.08 | | | | 完形 |
| 1761 | a | | 自然遺物 | 人骨 | 7－A | 42.75 | 42.30 | -9.10 | | | | 前頭骨の一部＊左右頭頂骨＊後頭骨(男性) |
| 1761 | b | 63図4 | 漆製品 | 棒状漆塗木製品 | 7－A | 42.75 | 42.30 | -9.10 | 真空凍結乾燥法 | | Dalbergia sp. | ○試料345 |
| 1762 | | | 木製品 | 木製品 | 7－A | 42.45 | 42.67 | -9.16 | 可能 | | ニレ属 | ○試料19 |
| 1763 | | | 瓦磚類 | 磚 | 7－A | 42.40 | 41.75 | -9.14 | | | | |
| 1764 | | | 自然遺物 | 獣骨 | 7－A | 42.35 | 41.50 | -9.13 | | | | |
| 1765 | | | 自然遺物 | 獣骨 | 7－A | 42.53 | 41.40 | -9.08 | | | | |
| 1766 | | | 鉄製品 | 鉄釘 | 7－A | 42.95 | 40.65 | -8.94 | | | | 2点 |
| 1767 | | | 瓦磚類 | 磚 | 7－A | 43.20 | 40.57 | -8.87 | | | | |
| 1768 | | | 木製品 | 木製品 | 7－A | 43.40 | 40.78 | -8.85 | 可能 | | クスノキ科 | ○試料50 |
| 1769 | | | 木製品 | 木製品 | 7－A | 43.28 | 40.50 | -8.85 | 可能 | | マツ属複維管束亜属 | ○試料422 |
| 1770 | | | 木製品 | 木製品 | 7－A | 43.25 | 40.43 | -8.88 | 可能 | | マツ属複維管束亜属？ | ○試料51 |
| 1771 | | | 木製品 | 木製品 | 7－A | 43.52 | 40.05 | -8.79 | 可能 | | コウヨウザン | ○試料35 |
| 1772 | | 87図72 | 木製品 | 木製品 | 7－A | 44.10 | 43.55 | -8.78 | 可能 | | マツ属複維管束亜属 | ○試料116 |
| 1773 | | 94図14 | 瓦磚類 | 長方磚 | 7－A | 41.75 | 42.60 | -9.26 | | | | |
| 1774 欠番 | | | | | | | | | | | | |
| 1775 | | | 木製品 | 木製品 | 7－A | 41.55 | 43.15 | -9.39 | 可能 | | クスノキ | ○試料316 |
| 1776 | | | 木製品 | 木製品 | 7－A | 41.10 | 43.00 | -9.46 | 可能 | | マツ属複維管束亜属 | ○試料86 |
| 1777 | | | 鉄製品 | 金属製品 | 7－A | 40.90 | 43.28 | -9.56 | | | | |
| 1778 | | | 陶磁器 | 陶器壺 | 7－A | 41.25 | 43.60 | -9.50 | | | | |
| 1779 | | | 鉄製品 | 鉄釘 | 7－A | 41.10 | 43.62 | -9.52 | | | | |
| 1780 | | 29図34 | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺 | 7－A | 41.17 | 43.90 | -9.55 | | No858 | | |
| 1781 | | | 木炭 | 木炭 | 7－A | 40.65 | 43.90 | -9.67 | | | | |
| 1782 | | | 漆製品 | 漆製品 | 7－A | 40.50 | 43.97 | -9.70 | 要処理 | | サンプル不可 | サンプル不可 |
| 1783 | | | 木炭 | 木炭 | 7－A | 40.25 | 44.30 | -9.76 | | | | |
| 1784 | | | 木製品 | 木製品 | 7－A | 41.60 | 43.70 | -9.45 | 可能 | | クスノキ | ○試料380 |
| 1785 欠番 | | | | | | | | | | | | |
| 1786 | | | 陶磁器 | 褐釉陶器壺 | 7－A | 42.00 | 43.47 | -9.36 | | | | |
| 1787 | a | | 木製品 | 棒状木製品 | 7－A | 42.45 | 44.00 | -9.32 | 要処理 | | スギ属 | ○試料188 |
| 1787 | b | | 木製品 | 自然木？ | 7－A | 42.45 | 44.00 | -9.32 | 要処理 | | マツ属複維管束亜属 | ○試料187 |
| 1788 | | 94図18 | 瓦磚類 | 長方磚 | 7－A | 42.60 | 44.30 | -9.32 | | | | |
| 1789 | | | 自然遺物 | 獣骨 | 7－A | 42.80 | 44.35 | -9.28 | | | | 椎骨 |
| 1790 | | | 自然遺物 | 獣骨 | 7－A | 42.88 | 43.57 | -9.17 | | | | 椎骨 |
| 1791 | | | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺 | 7－A | 43.40 | 43.43 | -9.07 | | | | |
| 1792 | | | 自然遺物 | 獣骨 | 7－A | 43.63 | 44.28 | -9.10 | | | | 椎骨 |
| 1793 | | 33図76 | 陶磁器 | 褐釉陶器壺 | 7－A | 43.90 | 44.25 | -9.04 | | | | |
| 1794 | | | 自然遺物 | 獣骨 | 7－A | 43.60 | 44.95 | -9.14 | | | | 部位不明 |
| 1795 | | | 陶磁器 | 長頸小口瓶 | 7－A | 42.95 | 45.25 | -9.21 | | | | |
| 1796 | | 60図5 | 鉄製品 | 箭（矢）束 | 7－A | 43.00 | 44.95 | -9.20 | 最重要処理 | | | 30本以上 |
| 1797 | | | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺 | 7－A | 43.90 | 45.50 | -9.17 | | | | |
| 1798 | | | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺 | 7－A | 43.75 | 45.97 | -9.13 | | | | |
| 1799 | | | 瓦磚類 | 長方磚 | 7－A | 42.85 | 46.45 | -9.43 | | | | |
| 1800 | | 67図17 | 木製品 | 木製櫛 | 7－A | 44.20 | 46.15 | -9.45 | アルコール・キシレン・樹脂法 | | Dalbergia sp. | ○試料157 |
| 1801 | | | 鉄製品 | 鉄釘 | 8－A | 38.75 | 44.75 | -10.19 | | | | |
| 1802 | | | 木製品 | 木栓？ | 8－A | 38.35 | 45.00 | -10.21 | 要処理 | | コウヨウザン | ○試料353 |
| 1803 | | | 鉄製品 | 鉄製品 | 8－A | 38.28 | 44.80 | -10.25 | | | | |
| 1804 | | | 木製品 | 木栓？ | 8－A | 37.75 | 45.13 | -10.30 | 要処理 | | コウヨウザン | ○試料354 |
| 1805 | | | 木製品 | 木製品 | 8－A | 37.70 | 45.45 | -10.35 | 可能 | | マツ属複維管束亜属 | ○試料132 |
| 1806 | | | 鉄製品 | 鉄製品(メタル有？) | 8－A | 38.60 | 45.50 | -10.23 | | | | |
| 1807 | a | 46図23 | 銅製品 | 銅製金具 | 8－A | 38.70 | 45.75 | -10.14 | | | | 完形 |
| 1807 | b① | 46図24 | 銅製品 | 銅製金具 | 8－A | 38.70 | 45.75 | -10.14 | | | | 破損 |
| 1807 | b② | 46図25 | 銅製品 | 銅製金具 | 8－A | 38.70 | 45.75 | -10.14 | | | | 破損 |
| 1807 | c | 66図16 | 木製品 | 木製櫛 | 8－A | 38.70 | 45.75 | -10.14 | アルコール＊キシレン＊樹脂法 | | ツゲ属 | ○試料158 |
| 1808 | | | 鉄製品 | 箭（矢）束 | 8－A | 38.50 | 46.72 | -10.40 | 要処理 | | | 60本 |
| 1809 | | 35図89 | 陶磁器 | 褐釉陶器甕 | 8－A | 38.70 | 46.90 | -10.30 | | | | |
| 1810 | | | 縄 | 縄 | 8－A | 39.00 | 47.95 | -10.23 | 要処理 | | | |
| 1811 | a | | 炭化物 | 炭化物 | 7－A | 40.50 | 44.15 | -9.78 | | | | 炭化穀物 |
| 1811 | b | | 木製品 | 柏材？ | 7－A | 40.50 | 44.15 | -9.78 | 可能 | | クスノキ | ○試料370 |
| 1811 | c | | 木製品 | 加工木材 | 7－A | 40.50 | 44.15 | -9.78 | 可能 | | マツ属複維管束亜属 | ○試料364 |
| 1812 | | 88図76 | 木製品 | 木製品 | 8－A | 39.55 | 44.05 | -9.75 | 要処理 | | マツ属複維管束亜属 | ○試料133 |
| 1813 | | | 木製品 | 木製品 | 8－A | 39.60 | 44.15 | -9.88 | 可能 | | シイ属 | ○試料243 |
| 1814 | a | | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺 | 7－A | 40.10 | 45.50 | -9.84 | | | | |
| 1814 | b | | 漆製品 | 朱漆椀 | 7－A | 40.10 | 45.50 | -9.84 | 要処理 | | コウヨウザン | ○試料153 |
| 1814 | c | | 漆製品 | 朱塗椀 | 7－A | 40.10 | 45.50 | -9.84 | 最重要処理 | | コウヨウザン？ | ○試料601 |
| 1814 | d | | 自然遺物 | 人骨 | 7－A | 40.10 | 45.50 | -9.84 | | | | 右肩甲骨の一部　性別：不明 |
| 1815 | | | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺 | 3－A | 39.80 | 45.50 | -9.90 | | | | |
| 1816 | | | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺 | 8－A | 39.30 | 45.80 | -10.08 | | | | |
| 1817 | | | 鉄製品 | 鉄釘 | 7－A | 40.23 | 45.80 | -9.85 | | | | |
| 1818 | | | 鉄製品 | 鉄製品 | 7－A | 40.05 | 46.03 | -9.98 | 可能 | | | 矢状の鉄製品が10片 |
| 1819 | | | 鉄製品 | 箭（矢）束 | 7－A | 40.40 | 46.40 | -9.90 | 要処理 | | | 20本 |

| 遺物番号 | 枝番 | 挿図番号 | 種別 | 遺物名 | 調査区 | 出土位置 N | 出土位置 W | 標高 | 保存処理方法 | 接合関係 | 樹種同定 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1820 | a | | 鉄製品 | 鉄製剪片 | 8－A | 39.00 | 46.90 | -10.23 | 要処理 | | | |
| 1820 | b | | 鉄製品 | 鉄製品 | | 39.00 | 46.90 | -10.23 | | | | |
| 1820 | c | | 鉄製品 | 鉄製品 | | 39.00 | 46.90 | -10.23 | | | | 不明 |
| 1821 | | | 木製品 | 木製品 | 7－A | 40.10 | 47.45 | -9.95 | 可能 | | コウヨウザン | ○試料400 |
| 1822 | | | 自然遺物 | 獣骨 | 8－A | 39.95 | 47.60 | -9.97 | | | | 四肢骨 |
| 1823 | | 50図9 | 銅製品 | 銅銭「景寧重寶」 | 8－A | 39.65 | 48.70 | -10.19 | | | | |
| 1824 | | 48図38 | 銅製品 | 銅製金具 | 7－A | 40.05 | 48.55 | -10.08 | | | | 清水島要 |
| 1825 | | 25図15 | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺 | 7－A | 40.25 | 47.95 | -9.96 | | | | |
| 1826 | | | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺 | 7－A | 44.03 | 44.05 | -9.79 | | No1848 | | |
| 1827 | | | 木製品 | 木製品 | 7－A | 44.95 | 44.50 | -9.76 | 要処理 | | マツ属複維管束亜属 | ○試料14 |
| 1828 | | | 自然遺物 | 獣骨 | 7－A | 45.05 | 44.90 | -9.57 | | | | 亀の甲 |
| 1829 | | | 木炭 | 木炭 | 7－A | 44.00 | 44.47 | -9.72 | | | | |
| 1830 | a | | 木製品 | 木製品 | 7－A | 43.35 | 43.80 | -9.82 | 可能 | | コウヨウザン | ○試料372 |
| 1830 | b | | 木製品 | 木製品 | | | | | | | ニレ属 | ○試料373 |
| 1831 | | | 木製品 | 木栓？ | 7－A | 40.80 | 46.35 | -9.81 | 要処理 | | シイ属 | ○試料355 |
| 1832 | | | 木炭 | 木炭 | 7－A | 40.75 | 45.95 | -9.78 | | | | 炭化 |
| 1833 | | | 鉄製品 | 鉄製品 | 7－A | 40.50 | 45.70 | -9.77 | | | | 2点 |
| 1834 | | 32図64 | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺 | 7－A | 41.40 | 46.20 | -9.63 | | | | |
| 1835 | a | | 漆製品 | 朱塗椀 | 7－A | 41.35 | 45.20 | -9.60 | 要処理 | | コウヨウザン | ○試料152,334 |
| 1835 | b | | 漆製品 | 朱塗椀 | 7－A | 41.35 | 45.20 | -9.60 | 要処理 | | コウヨウザン？ | ○試料152,333 |
| 1836 | | | 鉄製品 | 鉄釘 | 7－A | 41.45 | 45.10 | -9.64 | | | | 5点 |
| 1837 | | 56図16 | 鉄製品 | 鉄剣？ | 7－A | 41.60 | 45.20 | -9.61 | 要処理 | | | |
| 1838 | | | 自然遺物 | 人骨 | 7－A | 41.78 | 45.10 | -9.58 | | | | 椎骨＊尾てい骨 |
| 1839 | | | 鉄製品 | 鉄釘 | 7－A | 41.70 | 44.85 | -9.60 | | | | |
| 1840 | a | | 鉄製品 | 鉄製金具 | 7－A | 41.85 | 44.95 | -9.56 | 要処理 | | | U字型の金具＊棒状鉄を曲げる |
| 1840 | b | | 鉄製品 | 鉄釘 | 7－A | 41.85 | 44.95 | -9.56 | 要処理 | | | 10点 |
| 1841 | | 66図10 | 漆製品 | 銘入り漆碗底部 | 7－A | 42.10 | 48.60 | -9.52 | 無アルコール含浸 | | | |
| 1842 | | | 鉄製品 | 鉄釘 | 7－A | 43.45 | 48.70 | -9.49 | | | | |
| 1843 | | | 木製品 | 木製品 | 7－A | 42.75 | 48.45 | -9.51 | 可能 | | コウヨウザン？ | ○試料153 |
| 1844 | | | 鉄製品 | 箭（矢）束 | 7－A | 42.00 | 46.90 | -9.57 | 要処理 | | | 50から60本 |
| 1845 | | | 木製品 | 木製品 | 7－A | 41.85 | 46.25 | -9.55 | 可能 | | クスノキ科 | ○試料365 |
| 1846 | | 36図97 | 陶磁器 | 褐釉陶器甕 | 7－A | 42.05 | 45.75 | -9.51 | | | | |
| 1847 | | | 陶磁器 | 褐釉陶器水注 | 7－A | 41.60 | 45.80 | -9.48 | | | | |
| 1848 | | | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺 | 7－A | 41.65 | 45.70 | -9.48 | | No1826 | | |
| 1849 | | | 鉄製品 | 鉄釘 | 7－A | 42.05 | 45.30 | -9.47 | | | | |
| 1850 | | | 木炭 | 木炭 | 7－A | 41.05 | 45.30 | -9.72 | | | | |
| 1851 | | 73図17 | 木製品 | 木製品 | 7－B | 43.64 | 38.92 | -8.635 | 要処理 | | クスノキ科 | ○試料96 |
| 1852 | | 74図23 | 木製品 | 木製品 | 7－B | 43.30 | 38.60 | -8.665 | 要処理 | | ヒノキ科 | ○試料487 |
| 1853 | | 72図14 | 木製品 | 木製品 | 7－B | 42.02 | 38.40 | -8.895 | 要処理 | | クスノキ | ○試料221 |
| 1854 | | | 木製品 | 木製品 | 7－B | 41.94 | 39.00 | -8.895 | 可能 | | クスノキ | ○試料159 |
| 1855 | | 76図30 | 木製品 | 木製品 | 7－B | 40.52 | 39.70 | -9.18 | 可能 | | クスノキ | ○試料222 |
| 1856 | | | 木製品 | 木製品 | 7－B | 41.01 | 39.50 | -9.115 | 可能 | | ニレ属 | ○試料455 |
| 1857 | | | 木製品 | 木製品 | 7－B | 40.47 | 39.48 | -9.21 | 可能 | | スギ科 | ○試料256 |
| 1858 | | | 木製品 | 木製品 | 7－B | 40.01 | 39.24 | -9.31 | 可能 | | マツ属複維管束亜属 | ○試料109 |
| 1859 | | 80図41 | 木製品 | 木製品 | 7－A | 41.00 | 40.20 | -9.325 | 要処理 | | マツ属複維管束亜属 | ○試料83 |
| 1860 | | | 木製品 | 木製品 | 7－A | 41.05 | 40.54 | -9.225 | 可能 | | コウヨウザン？ | ○試料61 |
| 1861 | | 69図4 | 木製品 | 船角材 | 7－A | 40.67 | 44.56 | -9.685 | 要処理 | | Ormosia sp. | ○試料207 |
| 1862 | | | 木製品 | 木製品 | 7－A | 39.92 | 44.65 | -9.835 | 可能 | | マツ属複維管束亜属 | ○試料124 |
| 1863 | | 69図5 | 木製品 | 木製品 | 7－A | 40.42 | 48.62 | -9.955 | | | シイ属 | ○試料211 |
| 1864 | a | | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺 | 7－A | 40.60 | 48.76 | -9.96 | | | | |
| 1864 | b | 74図24 | 木製品 | 木製品 | 7－A | 40.60 | 48.76 | -9.96 | 要処理 | | コウヨウザン | ○試料447 |
| 1865 | | 86図68 | 木製品 | 木製品 | 不明 | 不明 | 不明 | 不明 | 要処理 | | ニレ属 | ○試料102 |
| 1866 | | 70図10 | 木製品 | 木製品 | 7－A | 43.19 | 44.31 | -9.175 | 要処理 | | マツ属単維管束亜属 | ○試料219 |
| 1867 | | | 木製品 | 木製品 | 7－A | 43.47 | 43.59 | -9.085 | 可能 | | アカガシ亜属 | ○試料139 |
| 1868 | | | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺 | 7－A | 41.55 | 44.50 | -9.55 | | | | |
| 1869 | | | 陶磁器 | 褐釉陶器壺 | 7－A | 41.70 | 44.65 | -9.54 | | | | |
| 1870 | | | 木製品 | 輪状木製品 | 7－B | 41.65 | 38.75 | -8.91 | 要処理 | | Erythrophloeum sp. | ○試料171 |
| 1871 | | | 木製品 | 木製品 | 7－B | 42.45 | 38.20 | -8.81 | 要処理 | | マツ属複維管束亜属 | ○試料1 |
| 1872 | | | 木炭 | 木炭 | 7－B | 42.36 | 37.99 | -8.77 | | | | |
| 1873 | | | 自然遺物 | 人骨 | 7－B | 42.49 | 37.96 | -8.79 | | | | 肋骨 |
| 1874 | | | 鉄製品 | 鉄釘 | 7－B | 41.83 | 39.90 | -9.03 | | | | |
| 1875 | | | 木製品 | 木製品 | 7－B | 42.37 | 39.54 | -8.92 | 可能 | | マツ属複維管束亜属 | ○試料10 |
| 1876 | | 30図52 | 陶磁器 | 褐釉陶器壺 | 7－B | 43.06 | 39.31 | -8.80 | | | | |
| 1877 | | | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺 | 7－A | 42.95 | 42.05 | -9.10 | | | | |
| 1878 | | 51図3 | 鉄製品 | 鉄製剪 | 7－A | 42.90 | 41.90 | -9.10 | 要処理 | | | 頭頂部有孔2つ |
| 1879 | | | 木製品 | 木製品 | 8－A | 38.32 | 40.52 | -9.665 | 可能 | | マツ属複維管束亜属 | ○試料103 |
| 1880 | | | 木製品 | 木製品 | 8－A | 38.10 | 40.59 | -9.71 | 可能 | | スギ科 | ○試料143 |
| 1881 | | | 木製品 | 木製品 | 8－A | 38.09 | 40.65 | -9.69 | | | | |
| 1898 まで欠番 | | | | | | | | | | | | |
| 1899 | | | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺 | | | | | | | | |
| 1900 | | | 木製品 | 木製品 | | | | | | | マツ属複維管束亜属 | ○試料181 |

KZK2001ウォーターリフト出土遺物一覧表

| 遺物番号 | 挿図番号 | 種別 | 遺物名 | 調査区 | 出土位置 NS軸 | 出土位置 WE軸 | 標高 | 保存処理方法 | 接合関係 | 樹種同定 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| RC1 | | 陶磁器 | 施釉陶器体部下位 | 8－C | N38 | W26 | — | | | | |
| RC2 | | 陶磁器 | 施釉陶器四耳壺胴部 | 8－C | N38 | W26 | — | | | | |
| RC3 | | 陶磁器 | 施釉陶器体部 | 8－C | N38 | W25 | — | | | | |
| RC4 | | 陶磁器 | 施釉陶器四耳壺体部下位 | 8－B | N38 | W33 | -9.90 | | | | |
| RC5 | | 陶磁器 | 施釉陶器四耳壺肩部 | 8－B | N37 | W38 | -9.90 | | | | |
| RC6 | | 陶磁器 | 陶器鉢？口縁部 | 8－B | N37 | W38 | -9.90 | | No730 | | |
| RC7 | 31図57 | 陶磁器 | 施釉陶器壺体部 | 8－C | N38 | W24 | -8.20 | | No76＋172＋819＋1493 | | |
| RC8 | | 陶磁器 | 施釉陶器頸部 | 8－C | N36 | W25 | -8.15 | | | | |
| RC9 | | 陶磁器 | 施釉陶器体部 | 8－C | N36 | W25 | -8.15 | | | | |
| RC10 | | 陶磁器 | 施釉陶器体部 | 8－C | N36 | W25 | -8.13 | | | | |
| RC11 | | 陶磁器 | 施釉陶器四耳壺肩部 | 9－C | N22 | W27 | -10.21 | | | | |
| RC12 | | 陶磁器 | 施釉陶器四耳壺胴部 | 9－C | N22 | W27 | -10.21 | | | | |
| RC13 | | 陶磁器 | 施釉陶器四耳壺肩部 | 9－C | N23 | W27 | -10.25 | | | | |
| RC14 | | 陶磁器 | 施釉陶器壺口縁部 | 8－C | N30 | W27 | -9.07 | | | | |
| RC15 | | 陶磁器 | 施釉陶器壺体部 | 8－C | N30 | W27 | -9.07 | | | | |
| RC16 | | 陶磁器 | 施釉陶器胴部 | 8－C | N30 | W27 | -9.07 | | | | |
| RC17 | | 陶磁器 | 陶器体部 | 8－C | N30.5 | W27 | -9.05 | | | | |
| RC18 | | 陶磁器 | 施釉陶器四耳壺胴部 | 8－C | N30 | W26 | -9.20 | | | | |
| RC19 | | 陶磁器 | 施釉陶器四耳壺体部 | 8－C | N30 | W28 | -9.20 | | | | |
| RC20 | | 陶磁器 | 施釉陶器四耳壺胴部 | 9－C | N29 | W28 | -9.26 | | | | |
| RC21 | | 陶磁器 | 施釉陶器四耳壺口縁部 | 9－C | N29 | W28 | -9.65 | | | | |
| RC22 | | 陶磁器 | 施釉陶器四耳壺口縁部 | 9－C | N29 | W28 | -9.65 | | | | |
| RC23 | | 陶磁器 | 施釉陶器四耳壺胴部 | 9－C | N29 | W28 | -9.65 | | | | |
| RC24 | | 陶磁器 | 施釉陶器四耳壺体部 | 9－C | N29 | W28 | -9.65 | | | | |
| RC25 | | 土器 | 土製「てつぽう」体部 | 9－C | N29 | W28 | -9.68 | | | | |
| RC26 | | 陶磁器 | 施釉陶器四耳壺胴部下位 | 9－C | N29 | W28 | -9.68 | | | | |
| RC27 | | 陶磁器 | 施釉陶器四耳壺体部 | 9－C | N29 | W28 | -9.68 | | | | |
| RC28 | | 陶磁器 | 施釉陶器四耳壺肩部 | 9－C | N29 | W28 | -9.70 | | | | |
| RC29 | | 陶磁器 | 施釉陶器体部 | 9－C | N29 | W28 | -9.80 | | | | |
| RC30 | 22図30 | 陶磁器 | 青磁蓮弁文碗口縁部 | 9－C | N29 | W28 | -9.82 | | | | |
| RC31 | | 陶磁器 | 施釉陶器四耳壺胴部 | 9－C | N27 | W28 | -9.70 | | | | |
| RC32 | | 陶磁器 | 施釉陶器四耳壺胴部 | 9－C | N27 | W28 | -9.68 | | | | |
| RC33 | | 陶磁器 | 青磁碗体部 | | — | — | | | | | |
| RC34 | | 陶磁器 | 施釉陶器四耳壺胴部 | | — | — | | | | | |
| RC35 | | 陶磁器 | 陶器体部 | 9－C | N25 | W27 | -9.82 | | | | |
| RC36 | | 陶磁器 | 施釉陶器四耳壺胴部下位 | 9－C | N25 | W27 | -9.82 | | | | |
| RC37 | | 陶磁器 | 施釉陶器四耳壺肩部 | 9－C | N25 | W27 | -9.82 | | | | |
| RC38 | | 陶磁器 | 施釉陶器四耳壺体部 | 9－C | N27 | W27 | -10.00 | | | | |
| RC39 | | 陶磁器 | 施釉陶器四耳壺肩部 | 9－C | N27 | W27 | -10.00 | | | | |
| RC41 | | 陶磁器 | 施釉陶器体部 | 9－C | N27.5 | W27.5 | -9.96 | | | | |
| RC42 | | 陶磁器 | 施釉陶器四耳壺胴部下位 | 9－C | N27.5 | W27.5 | -9.96 | | | | |
| RC43 | | 陶磁器 | 施釉陶器四耳壺肩部 | 9－C | N27.5 | W27.5 | -9.96 | | | | |
| RC44 | | 陶磁器 | 施釉陶器体部 | 9－C | N28 | W28 | -9.45 | | | | |
| RC45 | | 陶磁器 | 施釉陶器壺口縁部 | 9－C | N29 | W28 | -9.68 | | | | |
| RC46 | 34図85 | 陶磁器 | 施釉陶器壺口縁部 | 8－C | N31 | W27 | | | | | |
| RC47 | | 陶磁器 | 施釉陶器四耳壺胴部 | 8－C | N32 | W28 | | | | | |
| RC48 | | 陶磁器 | 施釉陶器四耳壺胴部 | 8－C | N33 | W28 | | | | | |
| RC49 | | 陶磁器 | 施釉陶器壺口縁部 | 8－C | N33 | W28 | | | | | |
| RC50 | | 陶磁器 | 施釉陶器体部 | 8－C | N33 | W28 | | | | | |
| RC51 | | 陶磁器 | 陶器壺肩部 | 8－C | N34 | W25 | -8.42 | | | | |
| RC52 | | 陶磁器 | 施釉陶器四耳壺胴部下位 | 9－C | N26 | W25.5 | -9.58 | | No99＋474-a＋RC52 | | |
| RC53 | | 陶磁器 | 施釉陶器体部 | 9－C | N26 | W25.5 | -9.55 | | | | |
| RC54 | | 陶磁器 | 施釉陶器体部 | 9－C | N26 | W25.5 | -9.55 | | | | |
| RC55 | | 陶磁器 | 施釉陶器四耳壺胴部下位 | 9－C | N27 | W25 | -9.45 | | | | |
| RC56 | | 陶磁器 | 施釉陶器壺体部 | 8－C | N30 | W26 | -8.70 | | | | |
| RC57 | | 陶磁器 | 施釉陶器体部 | 8－C | N31 | W26 | -8.95 | | | | |
| RC58 | | 陶磁器 | 施釉陶器体部 | 8－C | N31 | W26 | -8.95 | | | | |
| RC59 | 23図36 | 陶磁器 | 龍泉窯系青磁小盤 | 9－C | N28 | W26 | -9.00 | | No933(十数点の破片になっている) | | |
| RC60 | 32図61 | 陶磁器 | 施釉陶器四耳壺胴部下位 | 9－C | N26 | W28 | -9.10 | | No479-a＋924 | | |

| 遺物番号 | 挿図番号 | 種別 | 遺物名 | 調査区 | 出土位置 NS軸 | 出土位置 WE軸 | 標高 | 保存処理方法 | 接合関係 | 樹種同定 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| RC61 | | 陶磁器 | 褐釉陶器肩部 | 9－C | N26 | W28 | -9.10 | | 2個体 | | |
| RC62 | | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺胴部 | 9－C | N26 | W28 | -9.10 | | No30-b＋61-b | | |
| RC63 | | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺胴部下位 | 9－C | N26 | W28 | -9.10 | | | | |
| RC64 | | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺胴部 | 9－C | N26 | W26 | -9.10 | | | | |
| RC65 | | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺体部 | 9－C | N25 | W27 | -9.14 | | | | |
| RC66 | | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺肩部 | 9－C | N25 | W27 | -9.14 | | | | |
| RC67 | | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺肩部 | 9－C | N25 | W27 | -9.14 | | | | |
| RC68 | 32図60 | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺胴部下位 | | N | W25 | -8.68 | | No56＋169-a＋243-c＋462＋526-b | | |
| RC69 | | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺体部 | 9－C | N28 | W24 | -8.47 | | | | |
| RC70 | | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺胴部下位 | 9－C | N28 | W24 | -8.47 | | | | |
| RC71 | 33図73 | 陶磁器 | 褐釉陶器壺胴部 | 9－C | N28 | W25 | -8.97 | | No54-c＋105-b＋415-a | | |
| RC72 | | 土器 | 土師「てつほう」体部 | 9－C | N28 | W25 | -8.95 | | | | |
| RC73 | | 陶磁器 | 褐釉陶器体部 | 9－C | N28 | W25 | -8.95 | | | | |
| RC74 | | 陶磁器 | 青磁碗口縁部 | 8－C | N30 | W24 | -8.64 | | | | |
| RC75 | | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺体部 | 8－C | N30 | W24 | -8.64 | | RC76 | | |
| RC76 | | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺体部 | 8－C | N30 | W24 | -8.74 | | RC75 | | |
| RC77 | | 土器 | 土師「てつほう」体部下位 | 8－C | N31 | W24 | -8.44 | | | | |
| RC78 | | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺体部 | 8－C | N31 | W24 | -8.44 | | | | |
| RC79 | | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺体部 | 8－C | N31 | W24 | -8.44 | | | | |
| RC80 | | 陶磁器 | 褐釉陶器壺肩部 | 8－C | N31 | W24 | -8.44 | | | | |
| RC81 | | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺体部 | 8－C | N31 | W24 | -8.53 | | | | |
| RC82 | | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺 | 8－B | N30.5 | W30.5 | -8.76 | | | | |
| RC83 | | 陶磁器 | 褐釉陶器胴部 | 9－C | N27 | W26 | -8.91 | | No105＋137-a＋158-b | | |
| RC84 | | 陶磁器 | 褐釉陶器胴部 | 9－C | N27 | W26 | -8.91 | | | | |
| RC85 | | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺胴部 | 9－C | N27 | W26 | -8.91 | | | | |
| RC86 | | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺胴部 | 9－C | N27 | W26 | -8.91 | | | | |
| RC87 | | 陶磁器 | 褐釉陶器胴部 | 9－C | N27 | W26 | -8.91 | | | | |
| RC88 | | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺胴部 | 9－C | N25 | W25 | -9.07 | | | | |
| RC89 | | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺胴部 | 9－C | N24.5 | W25 | -9.09 | | | | |
| RC90 | | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺胴部 | 9－C | N24.5 | W25 | -9.09 | | | | |
| RC91 | | 土器 | 土器小片 | 9－C | N24 | W24 | -9.15 | | | | |
| RC92 | 21図12 | 陶磁器 | 白磁碗底部 | | N26－30 | W30トレ | | | | | |
| RC93 | | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺胴部 | 9－C | N22 | W25 | -9.55 | | | | |
| RC94 | | 陶磁器 | 褐釉陶器壺体部 | 9－C | N22 | W25 | -9.38 | | | | |
| RC95 | | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺体部 | 9－C | N22 | W25 | -9.38 | | | | |
| RC96 | | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺口縁部 | 9－C | N25 | W24 | -9.37 | | | | |
| RC97 | | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺肩部 | 9－C | N25 | W24 | -9.37 | | | | |
| RC98 | | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺胴部 | 9－C | N25 | W25.5 | -9.32 | | | | |
| RC99 | | 陶磁器 | 褐釉陶器胴部 | 9－C | N22 | W24 | -9.18 | | | | |
| RC100 | | 陶磁器 | 陶器体部 | 9－C | N23 | W24 | -9.22 | | | | |
| RC101 | | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺胴部 | 9－C | N23 | W24 | -9.22 | | | | |
| RC102 | | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺胴部 | 9－C | N23 | W22 | -9.06 | | | | |
| RC103 | 21図7 | 陶磁器 | 白磁口禿碗？ | 9－C | N23 | W22 | -9.05 | | | | |
| RC104 | | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺肩部 | 9－C | N25 | W21 | -8.80 | | | | |
| RC105 | | 陶磁器 | 褐釉陶器クコ壺？ | 9－C | N27 | W21 | -8.17 | | | | |
| RC106 | | 陶磁器 | 褐釉陶器体部 | 9－C | N29 | W23 | -8.50 | | | | |
| RC107 | | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺胴部 | 9－C | N29 | W23 | -8.50 | | | | |
| RC108 | | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺肩部 | 9－C | N29 | W23 | -8.50 | | | | |
| RC109 | | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺胴部 | 9－C | N29 | W23 | -8.50 | | | | |
| RC110 | | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺胴部 | 9－C | N29 | W23 | -8.50 | | | | |
| RC111 | | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺肩部 | 9－C | N29 | W23 | -8.50 | | | | |
| RC112 | | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺肩部 | 9－C | N29 | W23 | -8.50 | | | | |
| RC113 | | 陶磁器 | 褐釉陶器体部 | 9－C | N29 | W23 | -8.50 | | | | |
| RC114 | | 陶磁器 | 褐釉陶器体部 | 9－C | N29 | W23 | -8.50 | | | | |
| RC115 | | 陶磁器 | 褐釉陶器体部 | 9－C | N29 | W23 | -8.50 | | | | |
| RC116 | | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺肩部 | 8－C | N30 | W23 | -8.27 | | | | |
| RC117 | | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺胴部 | 8－C | N30 | W24 | -8.40 | | | | |
| RC118 | | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺胴部 | 8－C | N30 | W24 | -8.40 | | | | |
| RC119 | | 陶磁器 | 褐釉陶器体部 | 8－C | N30 | W24 | -8.40 | | | | |
| RC120 | | 陶磁器 | 褐釉陶器体部 | 8－C | N30 | W24 | -8.40 | | | | |

| 遺物番号 | 挿図番号 | 種別 | 遺物名 | 調査区 | 出土位置 | | 標高 | 保存処理方法 | 接合関係 | 樹種同定 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | | NS軸 | WE軸 | | | | | |
| RC121 | | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺胴部下位 | 8－C | N30 | W24 | -8.40 | | | | |
| RC122 | | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺胴部 | 8－C | N31 | W23 | -8.32 | | | | |
| RC123 | | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺胴部 | 8－C | N31 | W24 | -7.95 | | | | |
| RC124 | | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺胴部 | 8－C | N30 | W24 | -8.10 | | | | |
| RC125 | | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺胴部 | 8－C | N30 | W24 | -8.10 | | | | |
| RC126 | | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺口縁部 | 8－C | N30 | W24.5 | -7.90 | | | | |
| RC127 | | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺胴部 | 8－C | N30 | W24 | -8.12 | | | | |
| RC128 | | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺胴部 | 8－C | N32 | W21.5 | -7.35 | | | | |
| RC129 | | 陶磁器 | 肥前系？染付皿 | 8－C | N33.5 | W23 | -7.92 | | | | |
| RC130 | | 土器 | 土錘 | 8－C | N33.5 | W23 | -7.92 | | | | |
| RC131 | | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺肩部 | 8－C | N30 | W25 | -7.76 | | | | |
| RC132 | | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺胴部 | 8－C | N37.5 | W25 | -8.10 | | | | |
| RC133 | | 陶磁器 | 褐釉陶器体部 | 8－C | N37.5 | W25 | -8.10 | | | | |
| RC134 | | 陶磁器 | 陶器体部 | 8－C | N39 | W25 | -8.00 | | | | |
| RC135 | | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺体部 | 8－C | N38.5 | W25 | -7.82 | | | | |
| RC136 | | 陶磁器 | 褐釉陶器壺肩部 | 8－C | N38 | W24 | -7.68 | | | | |
| RC137 | | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺胴部 | 8－C | N36 | W23 | -7.45 | | | | |
| RC138 | | 陶磁器 | 褐釉陶器壺肩部 | 8－C | N35 | W21 | -7.19 | | | | |
| RC139 | 29図40 | 陶磁器 | 褐釉陶器壺口縁～肩部 | 8－C | N37 | W22 | -6.60 | | | | |
| RC140 | | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺胴部 | 6－C | N50 | W29 | -6.25 | | | | |
| RC141 | | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺胴部 | 7－C | N48 | W29 | -6.79 | | | | |
| RC142 | | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺胴部下位 | 7－C | N42 | W22.5 | -7.40 | | | | |
| RC143 | | 陶磁器 | 褐釉陶器体部 | 7－C | N49 | W21.5 | -5.60 | | KZK02№877・1449 | | |
| RC144 | | 陶磁器 | 陶器体部 | 6－C | N52 | W23 | -6.02 | | | | |
| RC145 | | 陶磁器 | 褐釉陶器体部 | 6－C | N50 | W25 | -5.47 | | | | |
| RC146 | | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺胴部 | 6－C | N54 | W21.5 | -5.24 | | | | |
| RC147 | | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺肩部 | 6－C | N54 | W21.5 | -5.24 | | | | |
| RC148 | | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺胴部 | 9－C | N21 | W27 | -10.40 | | | | |
| RC149 | | 陶磁器 | 褐釉陶器壺体部 | 9－C | N21 | W27 | -10.40 | | | | |
| RC150 | | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺胴部 | 9－C | N21 | W26 | -9.95 | | | | |
| RC151 | | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺胴部 | 9－C | N21 | W26 | -9.95 | | | | |
| RC152 | | 陶磁器 | 褐釉陶器体部 | 9－C | N21 | W26 | -9.95 | | | | |
| RC153 | | 陶磁器 | 青磁？袋物？ | 9－C | N21 | W26 | -9.95 | | | | |
| RC154 | | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺胴部 | 9－C | N20 | W23 | -9.70 | | | | |
| RC155 | | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺胴部 | 9－C | N20 | W23 | -9.70 | | | | |
| RC156 | | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺胴部 | 9－C | N20 | W23 | -9.70 | | | | |
| RC157 | | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺肩部 | 9－C | N22 | W25 | -10.10 | | | | 2点 |
| RC158 | | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺肩部 | 9－C | N22 | W25 | -10.10 | | | | |
| RC159 | | 陶磁器 | 褐釉陶器壺体部 | 9－C | N22.5 | W25 | -10.10 | | | | |
| RC160 | | 陶磁器 | 褐釉陶器壺肩部 | 10－C | N17 | W27 | -10.82 | | | | |
| RC161 | | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺胴部 | 10－C | N17 | W26 | -10.52 | | | | |
| RC162 | 30図47 | 陶磁器 | 褐釉陶器壺口縁部 | 10－C | N17 | W26 | -10.52 | | | | |
| RC163 | | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺肩部 | 10－C | N17.5 | W25.5 | -10.30 | | | | |
| RC164 | | 陶磁器 | 褐釉陶器体部 | 10－C | N17.5 | W25 | -10.30 | | | | |
| RC165 | | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺胴部 | 10－C | N17.5 | W25 | -10.40 | | | | |
| RC166 | | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺胴部 | 10－C | N17 | W25 | -10.60 | | | | |
| RC167 | | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺胴部 | 10－C | N17 | W25 | -10.48 | | | | |
| RC168 | | 陶磁器 | 白磁？碗体部 | 10－C | N17 | W25 | -10.48 | | | | |
| RC169 | | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺胴部 | 10－C | N17 | W25 | -10.48 | | | | |
| RC170 | | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺胴部 | 10－C | N18 | W25 | -10.30 | | | | |
| RC171 | | 陶磁器 | 福建系青磁碗体部 | 10－C | N18 | W25 | -10.30 | | | | |
| RC172 | | 陶磁器 | ？ | 10－C | N18 | W25 | -10.30 | | | | |
| RC173 | | 陶磁器 | 陶器壺体部 | 10－C | N18 | W25 | -10.30 | | | | |
| RC174 | | 陶磁器 | 陶器体部 | 10－C | N17 | W25 | -10.29 | | | | |
| RC175 | | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺体部 | 10－C | N17 | W25 | -10.29 | | | | |
| RC176 | | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺胴部 | 10－C | N18 | W24 | -10.27 | | | | |
| RC177 | | 陶磁器 | 陶器体部 | 10－C | N18 | W24 | -10.27 | | RC182 | | |
| RC178 | | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺肩部 | 10－C | N17 | W23 | -9.75 | | | | |
| RC179 | | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺胴部 | 10－C | N17 | W23 | -9.75 | | | | |
| RC180 | | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺胴部 | 10－C | N17 | W23 | -9.90 | | | | |

| 遺物番号 | 挿図番号 | 種別 | 遺物名 | 調査区 | 出土位置 | | 標高 | 保存処理方法 | 接合関係 | 樹種同定 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | | NS軸 | WE軸 | | | | | |
| RC181 | | 陶磁器 | 褐釉陶器壺胴部下位 | 10－C | N17 | W23 | -9.90 | | | | |
| RC182 | | 陶磁器 | 陶器体部 | 10－C | N17 | W23 | -9.90 | | RC177 | | |
| RC183 | | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺耳部 | 10－C | N17 | W24 | -9.98 | | | | |
| RC184 | | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺胴部 | 10－C | N17 | W24 | -9.98 | | | | |
| RC185 | | 陶磁器 | 褐釉陶器体部 | 10－C | N17 | W24 | -9.98 | | | | |
| RC186 | | 陶磁器 | 褐釉陶器壺胴部 | 10－C | N17 | W24 | -9.98 | | | | |
| RC187 | | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺胴部下位 | 10－C | N17 | W24 | -9.78 | | | | |
| RC188 | 21図10 | 陶磁器 | 白磁口禿碗口縁部 | 10－C | N17 | W22 | -9.24 | | | | |
| RC189 | | 陶磁器 | 褐釉陶器壺肩部 | 10－C | N17 | W22 | -9.24 | | | | |
| RC190 | | 陶磁器 | 褐釉陶器体部 | 10－C | N17 | W22 | -9.24 | | | | |
| RC191 | | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺胴部 | 10－C | N17 | W22 | -9.24 | | | | |
| RC192 | 21図11 | 陶磁器 | 白磁口禿碗口縁部 | 10－C | N16 | W23 | -10.02 | | | | |
| RC193 | | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺胴部下位 | 10－C | N16 | W23 | -10.02 | | | | |
| RC194 | 23図38 | 陶磁器 | 龍泉窯系青磁内面蓮弁文皿 | 10－C | N16 | W23 | -9.78 | | | | |
| RC195 | 21図15 | 陶磁器 | 白磁口禿皿 | 10－C | N16 | W23 | -9.78 | | | | |
| RC196 | | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺胴部下位 | 10－C | N16 | W23 | -9.78 | | | | |
| RC197 | | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺肩部 | 10－C | N16 | W23 | -9.78 | | | | |
| RC198 | | 陶磁器 | 褐釉陶器壺胴部 | 9－C | N20 | W29 | -10.65 | | | | |
| RC199 | | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺胴部 | 9－C | N20 | W29 | -10.65 | | | | |
| RC200 | | 陶磁器 | 褐釉陶器壺肩部 | 9－C | N25 | W25 | -9.62 | | | | |
| RC201 | | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺胴部 | 9－C | N25.5 | W25.5 | -9.39 | | | | |
| RC202 | | 陶磁器 | 肥前系染付碗 | 9－C | N25 | W29 | -10.50 | | | | |
| RC203 | | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺胴部下位 | 9－C | N25 | W25 | -9.95 | | | | |
| RC204 | | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺胴部 | 9－C | N25 | W25 | -9.95 | | | | |
| RC205 | | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺胴部 | 9－C | N25 | W25 | -9.95 | | | | |
| RC206 | | 陶磁器 | 福建系青磁碗体部 | 8－C | N30 | W27 | -10.04 | | | | |
| RC207 | | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺口縁部 | 8－C | N30 | W27 | -10.04 | | | | |
| RC208 | | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺胴部 | 8－C | N30 | W27 | -10.04 | | | | |
| RC209 | | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺胴部下位 | 9－C | N28 | W27 | -9.54 | | | | |
| RC210 | | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺胴部 | 9－C | N28 | W27 | -9.54 | | | | |
| RC211 | | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺胴部 | 9－C | N28 | W27 | -9.54 | | | | |
| RC212 | | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺胴部 | 9－C | N28 | W27 | -9.54 | | | | |
| RC213 | | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺胴部 | 9－C | N28 | W27 | -9.54 | | 2個体接合せず | | |
| RC214 | | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺胴部下位 | 9－C | N28 | W27.5 | -9.75 | | | | |
| RC215 | | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺肩部 | 9－C | N28 | W27.5 | -9.75 | | | | |
| RC216 | | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺胴部下位 | 9－C | N28 | W27.5 | -9.75 | | H21-b | | |
| RC217 | | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺肩部 | 9－C | N28 | W27.5 | -9.75 | | | | |
| RC218 | | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺胴部 | 9－C | N28 | W27.5 | -9.75 | | | | |
| RC219 | | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺肩部 | 9－C | N27 | W27 | -9.86 | | | | |
| RC220 | | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺胴部下位 | 9－C | N27 | W27 | -9.86 | | | | |
| RC221 | | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺胴部下位 | 9－C | N29 | W30 | -9.95 | | No57＝77＊159-c＊168-b＊247-a | | |
| RC222 | | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺胴部下位 | 8－C | N31 | W26.5 | -9.15 | | | | |
| RC223 | | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺胴部 | 8－C | N31 | W26.5 | -9.15 | | | | 3片 |
| RC224 | | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺胴部 | 8－C | N39 | W25 | -7.67 | | No53＝520＊H14-c | | |
| RC225 | | 陶磁器 | 瓶？体部上位 | 8－C | N39 | W25 | -7.67 | | | | |
| RC226 | | 陶磁器 | 陶器壺体部 | 8－C | N39 | W25 | -7.67 | | | | |
| RC227 | | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺胴部 | 8－A | N36 | W40 | -10.05 | | | | |
| RC228 | | 陶磁器 | 染付重紙皿 | 8－A | N39 | W41 | -9.80 | | | | |
| RC229 | | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺胴部 | 8－A | N32.5 | W36 | -10.18 | | | | |
| RC230 | | 陶磁器 | 近代？ | 9－A | N23 | W43 | -11.80 | | | | |
| RC231 | | 陶磁器 | 褐釉陶器体部 | 7－C | N42 | W28 | -7.80 | | | | |
| RC232 | | 陶磁器 | 白磁碗体部下位 | 8－C | N33 | W26.5 | | | | | |
| RC233 | 34図82 | 陶磁器 | 褐釉合子蓋 | 9－C | N29 | W26 | | | 2個体接合せず | | |
| RC234 | 20図2 | 陶磁器 | 瓶？鉢口縁部 | 9－C | N28 | W25.5 | | | No139-a＊454＝499＊H10 | | |
| RC235 | | 陶磁器 | 褐釉陶器長胴壺肩部～胴部 | 7－C | N40 | W25 | -7.84 | | | | |
| RB1 | | 自然遺物 | | 8－A | N39 | W42.5 | -9.14 | | | | |
| RB2 | | 自然遺物 | | 9－A | N23 | W42 | -12.62 | | | | |

KZK2002ウォーターリフト出土遺物一覧表

| 遺物番号 | 挿図番号 | 種別 | 遺物名 | 調査区 | 出土位置 NS軸 | 出土位置 WE軸 | 標高 | 保存処理方法 | 接合関係 | 樹種同定 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| RC1 | | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺 | 8－C | N38.0 | W23.0 | -8.14 | | | | |
| RC2 | | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺 | 8－C | N38.0 | W23.0 | -8.14 | | | | |
| RC3 | | 陶磁器 | 褐釉陶器碗？ | 8－C | N38.0 | W23.0 | -8.14 | | | | |
| RC4 | | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺 | 8－C | N34.0 | W24.0 | -9.24 | | | | |
| RC5 | | 陶磁器 | 褐釉陶器壺 | 8－C | N35.0 | W24.0 | -9.30 | | | | |
| RC6 | | 陶磁器 | 長胴小口瓶 | 8－C | N35.0 | W25.0 | -9.05 | | | | |
| RC7 | | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺 | 8－C | N34.0 | W25.0 | -9.06 | | | | |
| RC8 | | 陶磁器 | 福建系青磁碗 | 8－C | N34.5 | W35.0 | -9.88 | | | | |
| RC9 | | 陶磁器 | 鉄釉碗 | 10－C | N17.0 | W20.0 | -8.89 | | | | |
| RC10 | | 陶磁器 | 白磁口禿碗 | 10－C | N17.0 | W21.0 | -9.00 | | | | |
| RC11 | 23図37 | 陶磁器 | 龍泉窯系青磁口折皿 | 10－C | N18.0 | W23.0 | -9.25 | | | | |
| RC12 | | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺 | 10－C | N17.5 | W22.5 | -9.43 | | | | |
| RC13 | | 陶磁器 | 褐釉陶器壺 | 10－C | N17.5 | W22.5 | -9.43 | | | | |
| RC14 | | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺 | 10－C | N17.5 | W22.5 | -9.43 | | | | |
| RC15 | | 陶磁器 | 褐釉陶器壺 | 10－C | N17.0 | W24.0 | -9.74 | | | | |
| RC16 | | 陶磁器 | 龍泉窯系青磁鎬蓮弁文碗 | 10－C | N17.0 | W24.0 | -9.74 | | | | |
| RC17 | | 陶磁器 | 褐釉陶器壺 | 10－C | N18.0 | W24.0 | -9.75 | | | | |
| RC18 | | 陶磁器 | 褐釉陶器壺 | 10－C | N18.0 | W24.0 | -9.75 | | | | |
| RC19 | | 陶磁器 | 褐釉陶器壺 | 10－C | N18.0 | W24.0 | -9.75 | | | | |
| RC20 | | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺 | 10－C | N18.5 | W24.5 | -9.77 | | | | |
| RC21 | | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺 | 10－C | N18.5 | W24.5 | -9.77 | | | | |
| RC22 | | 陶磁器 | 褐釉陶器壺 | 10－C | N18.5 | W24.5 | -9.77 | | | | |
| RC23 | | 陶磁器 | 龍泉窯系？青磁碗 | 10－C | N15.0 | W23.0 | -9.48 | | | | |
| RC24 | | 陶磁器 | 龍泉窯系青磁貼付文椀 | 10－C | N13.5 | W22.0 | -9.45 | | | | |
| RC25 | | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺 | 10－C | N11.0 | W23.0 | -9.77 | | | | |
| RC26 | 29図41 | 陶磁器 | 褐釉陶器壺 | 9－B | N24.0 | W32.5 | -11.35 | | No831＝832-a＝833 | | |
| RC27 | 24図3 | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺 | 9－B | N23.0 | W33.0 | -11.52 | | No830＝832-b＝RC28 | | |
| RC28 | 24図3 | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺 | 9－B | N23.0 | W34.5 | -11.51 | | No830＝832-b＝RC27 | | |
| RC29 | | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺 | 8－A | N38.0 | W45.0 | -9.12 | | | | |
| RC30 | | 陶磁器 | 褐釉陶器壺 | 8－A | N38.0 | W47.0 | -10.05 | | | | |
| RL1 | | 漆製品 | 半塗椀 | 9－A | N25.0 | W46.0 | 12.35 | 精アルコール含浸処理 | | マツ属複維管束亜属 | ○試料104 |
| RL2 | | 漆製品 | 棒状塗製品 | 8－A | N37.4 | W45.7 | -9.92 | 精アルコール含浸処理 | No871＝1170＝1450＝1735＝1742と同製品 | Dalbergia sp. | ○試料161 |
| RW1 | 67図18 | 木製品 | 木製印 | 8－A | N38.9 | W43.3 | -9.64 | 精アルコール含浸処理 | | ツゲ属 | ○試料160 |
| RM1 | 47図36 | 銅製品 | 銅製匙 | 9－B | N28.5 | W31.0 | -10.54 | | | | |
| RM2 | 47図37 | 銅製品 | 銅製鏡 | 10－B | N18.5 | W36.5 | -12.55 | | | | |
| RM3 | 47図35 | 銅製品 | 銅製鈴 | 10－B | N17.0 | W35.0 | -12.23 | | | | |
| RM4 | 47図33 | 銅製品 | 銅製帯金具 | 8－A | N36.0 | W45.5 | -10.42 | | | | |
| RM5 | 48図39 | 銅製品 | 銅製金具 | 8－A | N36.0 | W45.5 | -10.42 | | | | |
| RM6 | 50図5 | 銅製品 | 銅銭 | 8－A | N36.5 | W46.0 | -10.12 | | | | |
| RM7 | 50図11 | 銅製品 | 銅銭 | 8－A | N37.0 | W47.0 | -10.50 | | | | |
| RM8 | 50図10 | 銅製品 | 銅銭 | 7－A | N44.0 | W47.4 | -9.17 | | | | |
| RM9 | 50図8 | 銅製品 | 銅銭「崇寧通寶」 | 8－A | N38.5 | W46.0 | -9.75 | | | | |
| RB1 | | 自然遺物 | 人骨(頭蓋) | 7－B | N43.0 | W37.0 | -7.28 | | | | |
| RB2 | | 自然遺物 | 人骨 | 7－B | N44.0 | W39.0 | -8.20 | | | | |
| RB3 | | 自然遺物 | 獣骨(人？) | 8－A | N37.5 | W43.0 | -10.05 | | | | |
| RB4 | | 自然遺物 | 獣骨 | 8－A | N35.0 | W49.0 | -11.30 | | | | |
| RB5 | | 自然遺物 | 獣骨(腕？) | 8－A | N37.5 | W45.0 | -10.00 | | | | |
| RB6 | | 自然遺物 | 獣骨(鳥？) | 8－A | N37.5 | W45.0 | -10.00 | | | | |
| RB7 | | 自然遺物 | 獣骨(鳥？) | 8－A | N37.4 | W45.7 | -9.92 | | | | |
| RB8 | | 自然遺物 | 獣骨(人？) | 8－A | N32.0 | W40.0 | -10.17 | | | | |
| RB9 | | 自然遺物 | 魚骨 | 8－B | N33.0 | W39.5 | -10.40 | | | | |
| RB10 | | 自然遺物 | 獣骨 | 8－A | N39.0 | W42.5 | -9.22 | | | | |
| RB11 | | 自然遺物 | 獣骨(人？) | 7－B | N42.5 | W35.0 | -8.40 | | | | |

KZK2001海底面表採遺物一覧表

| 遺物番号 | 枝番 | 挿図番号 | 種別 | 遺物名称 | 接合関係 | 出土位置 | | | | | | | | | | | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | | | 角度 | 距離 | レベル | BM | 機械高 | NS軸 | WE軸 | EL | スタッフ修正 | 修正値 | 標高 | |
| H1 | a | 95図20 | 瓦磚類 | 磚 | | 106° 19 '20 " | 35.370 | -4.408 | 5.020 | 1.037 | | | 6.057 | -4.11 | -8.518 | -2.461 | |
| H1 | b | 97図36 | 瓦磚類 | 磚 | | 106° 19 '20 " | 35.370 | -4.408 | 5.020 | 1.037 | | | 6.057 | -4.11 | -8.518 | -2.461 | |
| H1 | c | 102図78 | 瓦磚類 | 磚（1/2方磚） | | 106° 19 '20 " | 35.370 | -4.408 | 5.020 | 1.037 | | | 6.057 | -4.11 | -8.518 | -2.461 | |
| H1 | d | 100図67 | 瓦磚類 | 磚 | | 106° 19 '20 " | 35.370 | -4.408 | 5.020 | 1.037 | | | 6.057 | -4.11 | -8.518 | -2.461 | |
| H1 | e | 102図75 | 瓦磚類 | 方磚 | | 106° 19 '20 " | 35.370 | -4.408 | 5.020 | 1.037 | | | 6.057 | -4.11 | -8.518 | -2.461 | |
| H1 | f | 100図68 | 瓦磚類 | 磚（方磚） | | 106° 19 '20 " | 35.370 | -4.408 | 5.020 | 1.037 | | | 6.057 | -4.11 | -8.518 | -2.461 | |
| H1 | g | 102図76 | 瓦磚類 | 方磚 | | 106° 19 '20 " | 35.370 | -4.408 | 5.020 | 1.037 | | | 6.057 | -4.11 | -8.518 | -2.461 | |
| H1 | h | 101図69 | 瓦磚類 | 磚 | | 106° 19 '20 " | 35.370 | -4.408 | 5.020 | 1.037 | | | 6.057 | -4.11 | -8.518 | -2.461 | |
| H1 | i | 101図4 | 瓦磚類 | 瓦 | | 106° 19 '20 " | 35.370 | -4.408 | 5.020 | 1.037 | | | 6.057 | -4.11 | -8.518 | -2.461 | |
| H1 | j | 105図5 | 瓦磚類 | 瓦 | | 106° 19 '20 " | 35.370 | -4.408 | 5.020 | 1.037 | | | 6.057 | -4.11 | -8.518 | -2.461 | |
| H1 | k | 105図6 | 瓦磚類 | 瓦 | | 106° 19 '20 " | 35.370 | -4.408 | 5.020 | 1.037 | | | 6.057 | -4.11 | -8.518 | -2.461 | |
| H1 | l | 105図7 | 瓦磚類 | 瓦 | | 106° 19 '20 " | 35.370 | -4.408 | 5.020 | 1.037 | | | 6.057 | -4.11 | -8.518 | -2.461 | |
| H1 | m | 105図8 | 瓦磚類 | 瓦 | | 106° 19 '20 " | 35.370 | -4.408 | 5.020 | 1.037 | | | 6.057 | -4.11 | -8.518 | -2.461 | |
| H1 | n | 105図11 | 瓦磚類 | 瓦 | | 106° 19 '20 " | 35.370 | -4.408 | 5.020 | 1.037 | | | 6.057 | -4.11 | -8.518 | -2.461 | |
| H1 | o | | 瓦磚類 | 瓦？ | | 106° 19 '20 " | 35.370 | -4.408 | 5.020 | 1.037 | | | 6.057 | -4.11 | -8.518 | -2.461 | |
| H1 | p | | 瓦磚類 | 瓦？ | | 106° 19 '20 " | 35.370 | -4.408 | 5.020 | 1.037 | | | 6.057 | -4.11 | -8.518 | -2.461 | |
| H2 | a | 95図21 | 瓦磚類 | 磚 | | 106° 15 '50 " | 37.201 | -4.608 | 5.020 | 1.037 | | | 6.057 | -4.11 | -8.718 | -2.661 | |
| H2 | b | 95図22 | 瓦磚類 | 磚 | | 106° 15 '50 " | 37.204 | -4.608 | 5.020 | 1.037 | | | 6.057 | -4.11 | -8.718 | -2.661 | |
| H2 | c | 96図35 | 瓦磚類 | 磚 | | 106° 15 '50 " | 37.201 | -4.608 | 5.020 | 1.037 | | | 6.057 | -4.11 | -8.718 | -2.661 | |
| H2 | d | 103図79 | 瓦磚類 | 磚（方磚） | | 106° 15 '50 " | 37.204 | -4.608 | 5.020 | 1.037 | | | 6.057 | -4.11 | -8.718 | -2.661 | |
| H2 | e | 98図45 | 瓦磚類 | 磚 | | 106° 15 '50 " | 37.201 | -4.608 | 5.020 | 1.037 | | | 6.057 | -4.11 | -8.718 | -2.661 | |
| H2 | f | 102図71 | 瓦磚類 | 磚（方磚） | | 106° 15 '50 " | 37.201 | -4.608 | 5.020 | 1.037 | | | 6.057 | -4.11 | -8.718 | -2.661 | |
| H2 | g | 97図37 | 瓦磚類 | 磚 | | 106° 15 '50 " | 37.201 | -4.608 | 5.020 | 1.037 | | | 6.057 | -4.11 | -8.718 | -2.661 | |
| H2 | h | 105図12 | 瓦磚類 | 瓦 | | 106° 15 '50 " | 37.201 | -4.608 | 5.020 | 1.037 | | | 6.057 | -4.11 | -8.718 | -2.661 | |
| H2 | i | 105図10 | 瓦磚類 | 瓦 | | 106° 15 '50 " | 37.201 | -4.608 | 5.020 | 1.037 | | | 6.057 | -4.11 | -8.718 | -2.661 | |
| H2 | j | 105図9 | 瓦磚類 | 瓦 | | 106° 15 '50 " | 37.201 | -4.608 | 5.020 | 1.037 | | | 6.057 | -4.11 | -8.718 | -2.661 | |
| H3 | a | 95図23 | 瓦磚類 | 磚 | | 106° 07 '20 " | 37.386 | -4.751 | 5.020 | 1.037 | | | 6.057 | -4.11 | -8.861 | -2.801 | |
| H3 | b | 95図24 | 瓦磚類 | 磚 | | 106° 07 '20 " | 37.386 | -4.751 | 5.020 | 1.037 | | | 6.057 | -4.11 | -8.861 | -2.801 | |
| H3 | c | 97図38 | 瓦磚類 | 磚 | | 106° 07 '20 " | 37.386 | -4.751 | 5.020 | 1.037 | | | 6.057 | -4.11 | -8.861 | -2.801 | |
| H3 | d | 96図29 | 瓦磚類 | 磚 | H3・e | 106° 07 '20 " | 37.386 | -4.751 | 5.020 | 1.037 | | | 6.057 | -4.11 | -8.861 | -2.801 | |
| H3 | e | 98図46 | 瓦磚類 | 磚 | H3・d | 106° 07 '20 " | 37.386 | -4.751 | 5.020 | 1.037 | | | 6.057 | -4.11 | -8.861 | -2.801 | |
| H3 | f | 98図47 | 瓦磚類 | 磚 | | 106° 07 '20 " | 37.386 | -4.751 | 5.020 | 1.037 | | | 6.057 | -4.11 | -8.861 | -2.804 | |
| H3 | g | 101図70 | 瓦磚類 | 磚（方磚）、瓦〈丸瓦〉 | | 106° 07 '20 " | 37.386 | -4.751 | 5.020 | 1.037 | | | 6.057 | -4.11 | -8.861 | -2.801 | |
| H3 | h | 103図80 | 瓦磚類 | 磚（1/2方磚） | | 106° 07 '20 " | 37.386 | -4.751 | 5.020 | 1.037 | | | 6.057 | -4.11 | -8.861 | -2.801 | |
| H3 | i | 103図81 | 瓦磚類 | 磚（方磚） | | 106° 07 '20 " | 37.386 | -4.751 | 5.020 | 1.037 | | | 6.057 | -4.11 | -8.861 | -2.801 | |
| H3 | j | 103図82 | 瓦磚類 | 磚（方磚） | | 106° 07 '20 " | 37.386 | -4.751 | 5.020 | 1.037 | | | 6.057 | -4.11 | -8.861 | -2.801 | |
| H3 | k | 101図72 | 瓦磚類 | 磚 | | 106° 07 '20 " | 37.386 | -4.751 | 5.020 | 1.037 | | | 6.057 | -4.11 | -8.861 | -2.801 | |
| H3 | l | 106図13 | 瓦磚類 | 瓦 | | 106° 07 '20 " | 37.386 | -4.751 | 5.020 | 1.037 | | | 6.057 | -4.11 | -8.861 | -2.804 | |
| H3 | m | | 陶磁器 | 陶器片 | | 106° 07 '20 " | 37.386 | -4.751 | 5.020 | 1.037 | | | 6.057 | -4.11 | -8.861 | -2.804 | |
| H3 | n | 106図15 | 瓦磚類 | 瓦 | | 106° 07 '20 " | 37.386 | -4.751 | 5.020 | 1.037 | | | 6.057 | -4.11 | -8.861 | -2.804 | |
| H3 | o | 106図14 | 瓦磚類 | 瓦 | | 106° 07 '20 " | 37.386 | -4.751 | 5.020 | 1.037 | | | 6.057 | -4.11 | -8.861 | -2.804 | |
| H3 | p | | 瓦磚類 | 瓦？ | | 106° 07 '20 " | 37.386 | -4.751 | 5.020 | 1.037 | | | 6.057 | -4.11 | -8.861 | -2.804 | |
| H3 | q | 106図16 | 瓦磚類 | 瓦 | | 106° 07 '20 " | 37.386 | -4.751 | 5.020 | 1.037 | | | 6.057 | -4.11 | -8.861 | -2.804 | |
| H3 | r | 101図73 | 瓦磚類 | 磚 | | 106° 07 '20 " | 37.386 | -4.751 | 5.020 | 1.037 | | | 6.057 | -4.11 | -8.861 | -2.804 | |
| H4 | | 98図48 | 瓦磚類 | 磚 | | 105° 01 '40 " | 37.207 | -4.532 | 5.020 | 1.037 | | | 6.057 | -4.11 | -8.612 | -2.585 | |
| H5 | a | 35図91 | 陶磁器 | 壺口縁 | | 105° 03 '00 " | 38.151 | -5.043 | 5.020 | 1.037 | | | 6.057 | -4.11 | -9.153 | -3.096 | |
| H5 | b | | 陶磁器 | 陶器長胴壺底部 | | 105° 03 '00 " | 38.151 | -5.013 | 5.020 | 1.037 | | | 6.057 | -4.11 | -9.153 | -3.096 | |
| H5 | c | | 陶磁器 | 陶器長胴壺肩部 | | 105° 03 '00 " | 38.151 | -5.013 | 5.020 | 1.037 | | | 6.057 | -4.11 | -9.153 | -3.096 | |
| H5 | d | 95図26 | 瓦磚類 | 磚 | | 105° 03 '00 " | 38.151 | -5.013 | 5.020 | 1.037 | | | 6.057 | -4.11 | -9.153 | -3.096 | |
| H5 | e | 102図77 | 瓦磚類 | 磚（方磚） | | 105° 03 '00 " | 38.151 | -5.013 | 5.020 | 1.037 | | | 6.057 | -4.11 | -9.153 | -3.096 | |
| H5 | f | 97図39 | 瓦磚類 | 磚 | | 105° 03 '00 " | 38.151 | -5.013 | 5.020 | 1.037 | | | 6.057 | -4.11 | -9.153 | -3.096 | |
| H5 | g | 98図50 | 瓦磚類 | 磚 | | 105° 03 '00 " | 38.151 | -5.043 | 5.020 | 1.037 | | | 6.057 | -4.11 | -9.153 | -3.096 | |
| H5 | h | 98図51 | 瓦磚類 | 磚（方磚） | | 105° 03 '00 " | 38.151 | -5.043 | 5.020 | 1.037 | | | 6.057 | -4.11 | -9.153 | -3.096 | |
| H5 | i | 99図52 | 瓦磚類 | 磚（方磚） | | 105° 03 '00 " | 38.151 | -5.013 | 5.020 | 1.037 | | | 6.057 | -4.11 | -9.153 | -3.096 | |
| H5 | j | | 瓦磚類 | 磚 | | 105° 03 '00 " | 38.151 | -5.043 | 5.020 | 1.037 | | | 6.057 | -4.11 | -9.153 | -3.096 | |
| H5 | k | | 瓦磚類 | 磚 | | 105° 03 '00 " | 38.151 | -5.043 | 5.020 | 1.037 | | | 6.057 | -4.11 | -9.153 | -3.096 | |
| H5 | l | 106図17 | 瓦磚類 | 瓦 | | 105° 03 '00 " | 38.151 | -5.013 | 5.020 | 1.037 | | | 6.057 | -4.11 | -9.153 | -3.096 | |
| H5 | m | 106図19 | 瓦磚類 | 瓦 | | 105° 03 '00 " | 38.151 | -5.043 | 5.020 | 1.037 | | | 6.057 | -4.11 | -9.153 | -3.096 | |
| H5 | n | 106図18 | 瓦磚類 | 瓦 | | 105° 03 '00 " | 38.151 | -5.043 | 5.020 | 1.037 | | | 6.057 | -4.11 | -9.153 | -3.096 | |
| H5 | o | | 瓦磚類 | 瓦 | | 105° 03 '00 " | 38.151 | -5.043 | 5.020 | 1.037 | | | 6.057 | -4.11 | -9.153 | -3.096 | |
| H5 | p | | 瓦磚類 | 瓦 | | 105° 03 '00 " | 38.151 | -5.043 | 5.020 | 1.037 | | | 6.057 | -4.11 | -9.153 | -3.096 | |
| H5 | q | | 瓦磚類 | 瓦？ | | 105° 03 '00 " | 38.151 | -5.043 | 5.020 | 1.037 | | | 6.057 | -4.11 | -9.153 | -3.096 | |
| H5 | r | | 瓦磚類 | 瓦 | | 105° 03 '00 " | 38.151 | -5.043 | 5.020 | 1.037 | | | 6.057 | -4.11 | -9.153 | -3.096 | |
| H5 | s | | 瓦磚類 | 瓦 | | 105° 03 '00 " | 38.151 | -5.013 | 5.020 | 1.037 | | | 6.057 | -4.11 | -9.153 | -3.096 | |
| H6 | | | 陶磁器 | 壺底部 | | 103° 25 '10 " | 38.192 | -5.014 | 5.020 | 1.037 | | | 6.057 | -4.11 | -9.124 | -3.067 | |
| H7 | | 98図49 | 瓦磚類 | 磚 | | 101° 03 '50 " | 37.597 | -4.433 | 5.020 | 1.037 | | | 6.057 | -4.11 | -8.543 | -2.486 | |
| H8 | a | | 陶磁器 | 壺口縁 | | 100° 55 '30 " | 37.683 | -4.432 | 5.020 | 1.037 | | | 6.057 | -4.11 | -8.542 | -2.485 | |

| 遺物番号 | 枝番 | 挿図番号 | 種別 | 遺物名称 | 接合関係 | 出土位置 | | | | | | | | | | | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | | | 角度 | 距離 | レベル | BM | 機械高 | NS軸 | WE軸 | EL | スタッフ修正 | 修正値 | 標高 | |
| H 8 | b | 99図53 | 瓦磚類 | 磚 | | 100° 55 '30 " | 37,683 | -4,432 | 5,020 | 1,037 | | | 6,057 | -4.11 | -8,542 | -2,485 | |
| H 9 | | | 陶磁器 | 壺底部 | | 99° 21 '30 " | 39,131 | -4,958 | 5,020 | 1,037 | | | 6,057 | -4.11 | -9,068 | -3,011 | |
| H10 | | 20図2 | 陶磁器 | 鈞窯鉢底部 | No430-a ＊454＊499＝RC234 | 99° 02 '30 " | 39,433 | -4,823 | 5,020 | 1,037 | | | 6,057 | -5.00 | -9,823 | -3,766 | |
| H11 | | | 陶磁器 | 壺底部 | | 100° 00 '40 " | 41,662 | -5,394 | 5,020 | 1,037 | | | 6,057 | -5.00 | -10,394 | -4,337 | |
| H12 | | 26図21 | 陶磁器 | 壺底部 | | | | | | | N33,47 | W15,91 | | | -4,780 | | |
| H13 | | 97図40 | 瓦磚類 | 磚 | | | | | | | N32,44 | W15,61 | | | -4,980 | | |
| H14 | a | 30図46 | 陶磁器 | 褐釉陶器小壺 | No724-c ＊17-b ＊34 | | | | | | N32,74 | W16,20 | | | -5,230 | | |
| H14 | b | | 陶磁器 | 壺底部 | | | | | | | N32,74 | W16,20 | | | -5,230 | | |
| H14 | c | | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺 | No53＊520＊RC224 | | | | | | N32,74 | W16,20 | | | -5,230 | | |
| H14 | d | | 陶磁器 | 陶器壺底部 | | | | | | | N32,74 | W16,20 | | | -5,230 | | |
| H14 | e | | 陶磁器 | 陶器壺底部 | | | | | | | N32,74 | W16,20 | | | -5,230 | | |
| H14 | f | | 陶磁器 | 陶器壺底部 | | | | | | | N32,74 | W16,20 | | | -5,230 | | |
| H14 | g | | 陶磁器 | 陶器壺片 | | | | | | | N32,74 | W16,20 | | | -5,230 | | |
| H15 | | | 陶磁器 | 壺底部 | | 98° 06 '40 " | 39,070 | -3,931 | 5,020 | 1,037 | | | 6,057 | -5.00 | -8,931 | -2,874 | |
| H16 | | 100図61 | 瓦磚類 | 磚 | | 108° 54 '46 " | 36,809 | -3,592 | 5,020 | 1,001 | | | 6,021 | -5.00 | -8,592 | -2,571 | |
| H17 | | 95図27 | 瓦磚類 | 磚 | | 107° 42 '20 " | 37,149 | -3,806 | 5,020 | 1,001 | | | 6,021 | -5.00 | -8,806 | -2,785 | |
| H18 | a | 96図28 | 瓦磚類 | 磚 | | 107° 54 '30 " | 38,095 | -4,266 | 5,020 | 1,001 | | | 6,021 | -5.00 | -9,266 | -3,245 | |
| H18 | b | 102図73 | 瓦磚類 | 磚（方磚） | | 107° 54 '30 " | 38,095 | -4,266 | 5,020 | 1,001 | | | 6,021 | -5.00 | -9,266 | -3,245 | |
| H19 | | 97図41 | 瓦磚類 | 磚 | | 108° 47 '30 " | 39,213 | -4,533 | 5,020 | 1,001 | | | 6,021 | -5.00 | -9,533 | -3,512 | |
| H20 | | 97図42 | 瓦磚類 | 磚 | | | | | | | N40,40 | W16,24 | | | -4,270 | | |
| H21 | a | 27図23 | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺 | No25 a ＊42＊80＝243-b | | | | | | N32,48 | W20,96 | | | -7,220 | | |
| H21 | b | | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺胴部下位 | RC216 | | | | | | N32,48 | W20,96 | | | -7,220 | | |
| H21 | c | | 陶磁器 | 壺底部 | | | | | | | N32,48 | W20,96 | | | -7,220 | | |
| H22 | a | | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺 | No 8 - b ＊58 | | | | | | N32,10 | W21,37 | | | -7,460 | | |
| H22 | b | | 陶磁器 | 褐釉陶器壺 | No423 | | | | | | N32,10 | W21,37 | | | -7,460 | | |
| H23 | | 97図43 | 瓦磚類 | 磚 | | | | | | | N38,46 | W15,55 | | | -4,100 | | |
| H24 | a | 95図25 | 瓦磚類 | 磚 | | | | | | | N37,85 | W15,50 | | | -4,230 | | |
| H24 | b | | 陶磁器 | 陶器片 | | | | | | | N37,85 | W15,50 | | | -4,230 | | |
| H25 | | 96図30 | 瓦磚類 | 磚 | | | | | | | N40,80 | W12,55 | | | -2,400 | | |
| H26 | | | 陶磁器 | 染付皿 | | 109° 35 '40 " | 38,208 | -4,457 | 5,020 | 1,001 | | | 6,021 | -5.00 | -9,457 | -3,436 | |
| H27 | | | | | | | | | | | N35,22 | W18,00 | | | -5,590 | | |
| H28 | | 98図44 | 瓦磚類 | 磚 | | | | | | | N36,86 | W17,94 | | | -5,390 | | |
| H29 | | 96図31 | 瓦磚類 | 磚 | | | | | | | N38,82 | W16,94 | | | -4,810 | | |
| H30 | | 96図32 | 瓦磚類 | 磚 | | | | | | | N36,22 | W15,32 | | | -4,240 | | |
| H31 | a | | | | | | | | | | N33,50 | W17,94 | | | -5,790 | | |
| H31 | b | | 陶磁器 | 陶器壺底部 | | | | | | | N33,50 | W17,94 | | | -5,790 | | |
| H31 | c | | | | | | | | | | N33,50 | W17,94 | | | -5,790 | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 調査区外 | ① | 35図93 | 陶磁器 | 大形鉢 | | | | | | | | | | | | | |
| 調査区外 | ② | 22図25 | 陶磁器 | 福建省産青磁碗口縁部 | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| トレンチ表採 | ① | 100図66 | 瓦磚類 | 磚 | | | | | | | | | | | | | |
| トレンチ表採 | ② | | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺 | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| トレンチ | a | 33図67 | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺 | No30-a ＊83＊405-a ＊410 | | | | | | | | | | | | |
| トレンチ | b | | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺 | | | | | | | | | | | | | |
| トレンチ | c | | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺 | | | | | | | | | | | | | |
| トレンチ | d | | 陶磁器 | 褐釉陶器四耳壺 | | | | | | | | | | | | | |
| トレンチ | e | | 陶磁器 | | | | | | | | | | | | | | |
| トレンチ | f | | 陶磁器 | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 北側トレンチ一括 | a | 96図33 | 瓦磚類 | 磚 | | | | | | | | | | | | | |
| 北側トレンチ一括 | b | 100図64 | 瓦磚類 | 磚 | | | | | | | | | | | | | |
| 北側トレンチ一括 | c | 99図56 | 瓦磚類 | 磚 | | | | | | | | | | | | | |
| 北側トレンチ一括 | d | 100図65 | 瓦磚類 | 磚 | | | | | | | | | | | | | |
| 北側トレンチ一括 | e | 99図57 | 瓦磚類 | 磚 | | | | | | | | | | | | | |
| 北側トレンチ一括 | f | 99図58 | 瓦磚類 | 磚 | | | | | | | | | | | | | |
| 北側トレンチ一括 | g | 99図59 | 瓦磚類 | 磚 | | | | | | | | | | | | | |
| 北側トレンチ一括 | h | 99図60 | 瓦磚類 | 磚 | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 北側溝渠 | | 35図92 | 陶磁器 | 褐釉陶器甕 | | | | | | | | | | | | | |
| 北側溝渠 | | 35図90 | 陶磁器 | 褐釉陶器甕 | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 北側溝渠 | ① | 99図54 | 瓦磚類 | 磚 | | | | | | | | | | | | | |
| 北側溝渠 | ② | 96図34 | 瓦磚類 | 磚 | | | | | | | | | | | | | |
| 北側溝渠 | ③ | 100図62 | 瓦磚類 | 磚 | | | | | | | | | | | | | |
| 北側溝渠 | ④ | 100図63 | 瓦磚類 | 磚 | | | | | | | | | | | | | |
| 北側溝渠 | ⑤ | 99図55 | 瓦磚類 | 磚 | | | | | | | | | | | | | |

# 第Ⅳ章　出土遺物の理化学的分析について

## 1．出土金属製遺物の保存処理（平成17年度実施）

株式会社 京都科学　今西寿光　越野恵子

### Ⅰ．破損などの状態

鉄製品

鉄製冑１点のみ。海底から引き揚げられたのち脱塩処理が実施されていた都合上、水漬けの状態が保たれていた（写真１）。長期間海底に埋没していたため表面が厚い錆や土砂で覆われているが、冑であることは窺い知ることができる。X線による構造調査では、本体が腐食して内部の空洞化が進んでおり、形状は表面の錆で形状が維持されていると推測されること。および頂部の突起の表面と側面の帯状部分（ベルトか）には非常に薄い厚みでX線の吸収の大きい領域が存在することが確認された。また、内外面ともに錆を介して水分を過剰に含んだ小さい木片が付着していた。

非鉄製品

総点数34点。遺物はすでに乾燥状態にあった。鉄製品同様、長期間海底に埋没していたため腐食によって表面がカサブタ状の錆や土砂、貝類などで覆われている。また、本体が錆化し表層の錆と同化して本来の形状が認識し難い遺物もみられる。しかしながら、表面のカサブタ状の錆が剥落した個所には原表面と推定される平滑な面の露出も一部に認められる（写真２）。処理番号25（飾金具）は折損が見られた（写真３）。処理番号33・34の匙では表層の錆の剥落が目立ち、取り扱いが困難な状態にあった。なお非鉄製品は蛍光X線分析による事前の材質確認の結果などから

Ａ：亜鉛、銅が主要元素とみられる遺物

Ｂ：錫、鉛、銅が主要元素とみられる遺物

Ｃ：銅と銀が主要元素とみられる遺物

Ｄ：錫、鉛が主要元素とみられる遺物

に分類した。

鉄製品、非鉄製品とも保存処理中は保存処理検討会より提供を受けた遺物リストを利用して各遺物に処理番号をつけて管理することとした（リスト別添）。

### Ⅱ．保存処理方針

学識経験者および鷹島町教育委員会からなる鷹島海底遺物保存処理検討会からの指導に基づき、特定非営利法人文化財保存支援機構（NPO JCP）の指示ならびに協議により保存処理方針を決定した。今回の保存処理においては遺物が海底遺跡からの出土品であることを考慮し保存処理方針を検討した。

①クリーニングの程度について

遺物はすべて海底遺跡よりの引き揚げ品であり表面の付着物（土砂や貝類など）や錆はいわば「海底から出土した証し」であると言える。そのため付着物も遺物が持つ情報と捉えることができる。また、Ｉで述べたとおり鉄製品については本体の大部分がすでに失われていると推測されること、非鉄製品においては本体と余分な錆の識別が容易ではない遺物もみられる。以上のことから、積極的なクリーニングは行わない方針を採ることとした。

②脱塩処理について

海底からの出土遺物であることから鉄製品、非鉄製品ともその内部に腐食促進物質を多量に含んでいると推測された。そのため、保存上の配慮から鉄製品のみならず比鉄製品に対しても脱塩処理を実施することとした。

## Ⅲ．保存処理工程

①第一次クリーニング

鉄製品

空洞化した遺物の状況と外観の保存のため、遺物表面をルーペで拡大観察し、凹みに溜まっていたヘドロ状の土を筆や竹串で除去、洗浄にとどめた（写真３）。なお内外面に付着する小さい木片は協議の結果、脱塩終了後本体より分離し別に水漬けで保存することとした。

非鉄製品

基本的には外観の変化を生じる程度のクリーニングは実施せず、毛足の短い筆で除去可能な錆や土を除去するにとどめた。保存処理検討会の指導を受け、形状の把握が困難な程度に土砂や錆が付着している遺物については、本体を損傷させない範囲でクリーニングを実施した（写真５）。

②資料の洗浄

状況変化の監視への便宜を図るためテトロンネットを貼りつけた金属製網籠に非鉄製品を収納し、エタノール：キシレン：酢酸エチルの混合溶剤中に浸漬し洗浄した。鉄製品は水漬けであったため洗浄は行っていない。

③脱塩処理

鉄製品

海底よりの引き揚げ後、現地にて水道水のみを使用した脱塩処理が継続されていた。鉄製品の脱塩を実施する場合、防食の目的からpH10程度に調整した処理液を使用することが一般的である。しかしながら本遺物の場合、水道水を使用した脱塩処理の最中にあきらかに腐食の進行を伺わせる事象（新しい錆の発生、発達やそれに伴う処理液の着色）は認められない様子であった。また有機質材料断片の付着が認められたこともあり、pHの調整は行わず水道水をイオン交換水に換え、そのまま脱塩処理を継続した。脱塩処理の進捗状況は塩化物イオン濃度をイオンメータで計測することで監視した。脱塩処理終了の時期判定は処理液への塩化物イオンの溶出量が２㎎

／Ｌを下回った時点とした。なお、遺物の形状によっては遺物と処理液の比率が変動する。そのため、今回は処理液の標準量を遺物重量の10倍とし、この比率から外れているものは塩化物イオンの数値を補正することとしている。

以下に述べる非鉄製品においても同様の方法と基準で脱塩処理の進捗状況の監視と終了判定を行った。

非鉄製品

グループＡ

アルカリ性の処理液を使用した場合、脱塩処理中に亜鉛の溶出が想定されたため、ベンゾトリアゾール（以下、ＢＴＡと記す）0.1％水溶液に遺物を浸漬し脱塩処理を行った。イオンメータによる塩化物イオン濃度の測定の際にＢＴＡが妨害因子となるため、ＢＴＡ水溶液中の塩化物イオン濃度はイオンクロマトグラフィーにて測定した。材質確認の結果では匙２点はグループＡに分類されるが、遺存状態が極めて悪く脱塩処理中の破損が懸念されたため匙２点に対しては脱塩処理を省略した。

グループＢ・Ｃ

セスキ炭酸ナトリウム１％水溶液中に遺物を浸漬し脱塩処理を行った。なお、平成18年10月16日からの九州国立博物館の展示の都合上、遺物番号29の最終の塩化物イオン濃度が規定値を下回っていない。

グループＤ

グループＡと同様にアルカリ性の処理液を使用した場合、脱塩処理中に主要成分の溶出の恐れが想定されたため、亜鉛が主要元素であると認められた遺物群とともにＢＴＡ１％水溶液に遺物を浸漬し脱塩処理を行った。

なお、材質の確認を実施していない資料もあるが、それらは基本的にグループＡに分類し脱塩処理を実施した。

＊非鉄金属の分類は別添参照。

④ＢＴＡ処理

非鉄製品に対してベンゾトリアゾール３％エタノール溶液の減圧含浸を行った。薬液には24時間浸漬した後取り上げてエタノールで洗浄した。処理番号33・34は処理中の破損が予想されたため常圧下で含浸処理を行った。また短時間の含浸を繰り返し、合計の浸漬時間が24時間となるようにした。

⑤樹脂含浸

遺物の補強ならびに防錆の目的から、アクリル樹脂の減圧含浸を実施した。鉄製品に対してはエマルジョンタイプのアクリル樹脂（パラロイドＮＡＤ－10／Rohm and hass社製）ソルベントナフサ30％懸濁液を使用した。

非鉄製品に対しては防錆剤（ＢＴＡ）を含むアクリル樹脂（インクララック／㈱トウペ製）をキ

シレンとトルエンの同重量で混合した溶剤で樹脂濃度15％に調整したものを使用することを基本とした。ただし、表層の錆の浮き上がりが目立つ資料（処理番号29・33・34）に対しては補強効果を考慮し、鉄製品と同様の樹脂を使用した。なお、匙２点については常圧下での含浸にとどめた（写真６）。

鉄製品に対しては３回、非鉄製品については２回樹脂含浸および乾燥を繰り返した。

⑥整形・接合・樹脂補填

折損が認められた遺物はエポキシ系接着剤（クイック５／コニシ株式会社製）で接合した。匙先端に生じた隙間にはアクリル樹脂（パラロイドＢ－72）にフェノールマイクロバルーンを混入しパテ状に調整したものを充填し、外観を整えた。また、破損部分の補強の目的から典具貼紙をアクリル樹脂（パラロイドＢ－72、40％キシレン溶液）で貼り付けた（写真７）。

非鉄製品の表層に形成される緑青錆の層で今後剥落の恐れが高い個所にはパラロイドＢ－72 40％キシレン溶液10に対して増粘材（エロジール／日本アエロジル㈱製）を0.6の重量比で混合し増粘させたものを面相筆で注入し固定を図った。

⑦樹脂塗布

資料の表面にアクリル樹脂（パラロイドＮＡＤ－10　樹脂濃度20％）を３回塗布した。非鉄製品の表面には削り痕など有用な情報が認められたため、アクリル樹脂（インクララック）を樹脂濃度５％に調整したものを１回塗布するにとどめた。

⑧補彩・樹脂光沢の調整

保存処理工程⑥で補填した樹脂にはアクリル塗料（アクリラ／ホルベイン工業株式会社）にて補彩した。鉄製品に対しては保存処理工程⑦で使用したものと同様のアクリル樹脂にポリエチレン製微粉末を混入したものを吹き付けて樹脂光沢を調整した。

⑨展示台製作

展示活用への便宜を図るため遺物の状況に応じて展示台を製作した。

冑には遺物自身を展示面より若干浮かせた状態で展示できる支持具を設けたアクリル製展示台を製作した（写真８）。

擬宝珠には転倒防止の演示具を備えた透明アクリル製展示台を製作した。

匙には展示用の透明アクリル製展示板を用意した。転倒防止のためシリコーン樹脂製演示具も製作した（写真９）。

非鉄製品（処理番号1・17・18・19・20・27）裏面に突起がみられた。そのため突起の高さよりも若干厚く成型したシリコーン樹脂製の演示具を製作し突起への負荷を避けた（写真10）。

鈴には転がり防止のためにドーナツ型のシリコーン製演示具を製作した。また、その他の遺物で展示の際に下敷きが必要と判断され、指示のあったものには、0.5㎜厚のシリコーン樹脂製シートを遺物の形状に加工して下敷きを製作した（写真11）。

写真 1

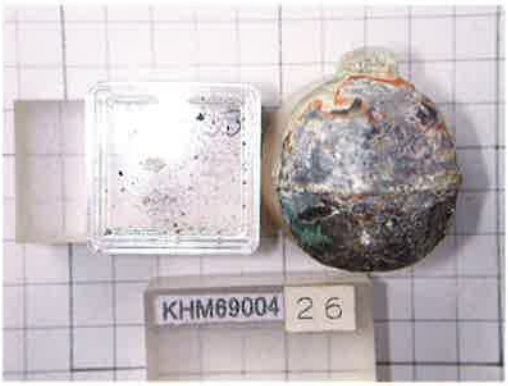



写真 2

写真 3

写真 4

写真 5

写真 6

写真 7

写真 8

写真 9

写真10

写真11

## 鷹島海底遺跡出土遺物リストおよび材質確認表

| 処理番号 | 資　料　名 | 遺物番号 | 員　数 | 蛍光X線分析 | 分類 |
|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 帯金具 | KZK00-RM2 | 1点 | Cu高、Zn、Fe | A |
| 2 | 帯金具 | KZK00-RM3 | 1点 | Cu高、Zn高、Fe | A |
| 3 | 帯金具 | KZK00-RM4 | 1点 | Cu高、Zn高、Fe | A |
| 4 | 帯金具 | KZK00-RM5 | 1点 | Cu高、Zn高、Fe　Cu、Zn | A |
| 5 | 帯金具 | KZK00-RM28 | 1点 | Cu高、Zn高、Fe | A |
| 6 | 帯金具 | KZK00-RM29 | 1点 | Cu高、Zn高、Fe | A |
| 7 | 帯金具 | KZK00-RM30 | 1点 | Cu高、Zn高、Fe | A |
| 8 | 銅製飾金具（胡録の金具） | KZK02-1382 | 1点 | Cu、Zn、Pb、Sn | A |
| 9 | 銅製飾金具（胡録の金具） | KZK02-1387 | 1点 | （Cu高、Fe、Pb、Zn） | A |
| 10 | 銅製飾金具（胡録の金具） | KZK02-1415 | 1点 | Cu高、Zn | A |
| 11 | 銅製飾金具（胡録の金具） | KZK02-1386 | 1点 | （Cu高） | B？ |
| 12 | 銅製飾金具（胡録の金具） | KZK02-1389 | 1点 | — | A |
| 13 | 銅製飾金具（胡録の金具） | KZK02-1383 | 1点 | Cu高、Zn、Fe | A |
| 14 | 銅製飾金具（胡録の金具） | KZK02-1385 | 1点 | Cu、Pb、Sn（今回はZn検出されず） | B？ |
| 15 | 銅製飾金具（胡録の金具） | KZK02-1388 | 1点 | Cu、Sn、Pb（Zn微少） | B |
| 16 | 銅製飾金具（胡録の金具） | KZK02-1420 | 1点 | Cu、Pb、Sn（Zn少ない） | B |
| 17 | 銅製飾金具（胡録の金具） | KZK02-1384 | 1組（2点） | 1点のみ測定。Cu多い。Zn、Pb、Sn少ない。 | B？ |
| 18 | 銅製飾金具（胡録の金具） | KZK02-1419 | 1点 | — | |
| 19 | 銅製飾金具（胡録の金具） | KZK02-1412 | 1点 | Cu高、Zn　Cu、Zn、Pb、Sn | A |
| 20 | 銅製飾金具（胡録の金具） | KZK02-1416 | 1点 | Cu、Zn、Pb、Sn | A |
| 21 | 銅製飾金具（胡録の金具） | KZK02-1413 | 1点 | — | A |
| 22 | 銅製飾金具（胡録の金具） | KZK02-1417 | 1点 | — | A |
| 23 | 銅製飾金具（胡録の金具） | KZK02-1414 | 1点 | — | A |
| 24 | 飾金具 | KZK02-RM4 | 1点 | Cu高、Zn | A |
| 25 | 飾金具 | KZK02-1113 | 1点 | （Cu高、Ag、Fe） | C |
| 26 | 鈴 | KZK02-897 | 1点 | Cu高、Pb　Cu、Pb、Sn | B |
| 27 | 飾金具（龍のマーク） | KZK02-1125 | 1点 | （Cu高、Zn、Fe） | A |
| 28 | 金具（冑の部品？） | KZK02-1824 | 1点 | （Sn高、Pb高、Cu高、Fe）Sn、Pb | D |
| 29 | 擬宝珠 | KZK02-794 | 1点 | （Cu高、Au、Pb）　金箔 | B |
| 30 | 銅銭（1件88枚「太平通宝」） | TKS12-1 | 1件88枚 | — | B |
| 31 | 銅銭（大型銭「崇寧重宝」） | KZK02-1823 | 1枚 | — | A |
| 32 | 銅銭（大型銭「崇寧重宝」） | KZK02-RM9 | 1枚 | — | A |
| 33 | 匙 | KZK02-1410 | 1点 | （Cu高、Zn） | A |
| 34 | 匙 | KZK02-187 | 1点 | （Cu高、Zn） | A |
| 35 | 鉄製冑 | KZK02-974 | 1点 | — | |

A：亜鉛、銅が主要元素
B：錫、鉛、銅が主要元素
C：銅と銀の合金（？）
D：錫と鉛の合金（？）

九州国立博物館での分析結果を改変（赤文字が追加分析分）

＊—は未測定を示す
※（　）は錆を測定

## ＢＴＡ水溶液を使用した脱塩処理液に溶出した陰イオン濃度

| 日付 | サンプルNo. | $Cl^-$濃度（ppm） | $Cl^-$濃度（ppm）<br>－ブランク<br>（実値） | $SO_4^{2-}$濃度（ppm） | $SO_4^{2-}$濃度（ppm）<br>－ブランク<br>（実値） |
|---|---|---|---|---|---|
| ブランク | | 0.308 | | 0.340 | |
| 8／1 | 12-1 | 2.710 | 2.402 | 3.200 | 2.860 |
| 8／2 | 12-2 | 0.306 | 0.000 | 0.574 | 0.234 |
| 8／3 | 12-3 | 0.316 | 0.008 | 0.473 | 0.133 |
| 8／4 | 12-4 | 0.236 | 0.000 | 0.436 | 0.096 |
| 8／5 | | 0.286 | 0.000 | 0.674 | 0.334 |
| 8／8 | | 1.210 | 0.902 | 0.959 | 0.619 |
| 8／9 | | 0.362 | 0.054 | 0.554 | 0.214 |
| 8／10 | | 0.228 | 0.000 | 0.637 | 0.297 |
| 8／11 | | 0.207 | 0.000 | 0.431 | 0.091 |
| 8／12 | | 0.180 | 0.000 | 0.418 | 0.078 |
| 8／13 | | 0.248 | 0.000 | 0.422 | 0.082 |
| 8／14 | | 0.181 | 0.000 | 0.408 | 0.068 |
| 8／15 | | 0.175 | 0.000 | 0.402 | 0.062 |
| 8／16 | | 0.166 | 0.000 | 0.517 | 0.177 |
| 8／17 | | 0.223 | 0.000 | 0.508 | 0.168 |
| 8／18 | | 0.213 | 0.000 | 0.471 | 0.131 |
| 8／19 | | 0.206 | 0.000 | 0.534 | 0.194 |
| 8／22 | 12-18 | 0.287 | 0.000 | 0.423 | 0.083 |
| 8／23 | 12-19 | 0.198 | 0.000 | 0.366 | 0.026 |
| 8／24 | 12-20 | 0.302 | 0.000 | 11.600 | 11.260 |
| 8／25 | | 0.273 | 0.000 | 0.541 | 0.201 |
| 8／26 | | 0.176 | 0.000 | 0.462 | 0.122 |
| 8／29 | | 0.358 | 0.050 | 1.270 | 0.930 |
| 8／30 | | 0.178 | 0.000 | 0.530 | 0.190 |
| 8／31 | | 0.167 | 0.000 | 0.540 | 0.200 |
| 9／1 | | 0.148 | 0.000 | 0.397 | 0.057 |
| 9／2 | | 0.140 | 0.000 | 0.524 | 0.184 |
| 9／5 | 28 | 0.303 | 0.000 | 0.471 | 0.131 |
| 9／6 | | 0.168 | 0.000 | 0.609 | 0.269 |
| 9／14 | | 0.311 | 0.003 | 0.781 | 0.441 |
| 9／15 | | 0.161 | 0.000 | 0.670 | 0.330 |
| 9／16 | | 0.193 | 0.000 | 0.693 | 0.353 |
| 9／20 | | 0.282 | 0.000 | 0.900 | 0.560 |

## セスキカーボネイトを使用した脱塩処理液に溶出した塩化物イオン濃度

単位mg

| 日付 | 処理番号30 | 処理番号14・25・26 | 処理番号29 |
|---|---|---|---|
| 7／28 | 6 | | |
| 7／29 | 66.3 | | |
| 8／1 | 48.4 | 149.9 | 13.5 |
| 8／2 | 49 | 67 | 29.1 |
| 8／3 | 3.5 | 17.1 | 10 |
| 8／4 | 1.1 | 5.9 | 9.8 |
| 8／5 | 0.2 | 0.2 | 0.5 |
| 8／8 | 2 | 24.8 | 7.4 |
| 8／9 | 5.2 | 20.8 | 17.7 |
| 8／10 | 10.2 | 38.4 | 30.7 |
| 8／11 | 1.5 | 2.2 | 3.6 |
| 8／12 | 7.6 | 6 | 12.8 |
| 8／13 | 1 | 6.1 | 6.2 |
| 8／14 | 1.2 | 8.8 | 9.8 |
| 8／15 | 2 | 8.3 | 8.8 |
| 8／16 | 1.6 | 10.9 | 9.4 |
| 8／17 | 0.4 | 1.2 | 7.6 |
| 8／18 | | | 3.5 |
| 8／19 | | | 6.1 |

## イオン交換水を使用した脱塩処理液に溶出した塩化物イオン濃度

単位mg

| 日付 | 処理番号35 |
|---|---|
| 7／7 | 10.1 |
| 7／12 | 0.9 |
| 7／13 | 0.6 |
| 7／15 | 1.1 |
| 7／19 | 4.3 |
| 7／20 | 0.9 |
| 7／22 | 0.7 |
| 7／25 | 0.4 |
| 7／28 | 1.4 |

## ２．出土有機質遺物の保存処理（平成17年度実施）

株式会社 京都科学　西口裕泰　平井孝憲

### Ⅰ．破損などの状態

処理番号１胡録＋矢束【KZK02-1381】

長期間海底に埋没していたため表面が厚い錆や土砂で覆われていた。矢が一部分折損している、胡録の漆膜が部分的に脱落している等、残存率は高くないが、それぞれの遺物の雰囲気は窺い知ることができる。Ｘ線による構造調査では、止め金具の存在は確認されたが、矢の向きや本数などは判然としない。奈良文化財研究所でのＸ線ＣＴ透過撮影により、その構造などは大まかに確認することができた。

①鏃は腐食して内部の空洞化が進んでおり、形状は表面の錆で形状が維持されていると推測されること

②矢柄は部分的に錆の浸入が認められる

処理番号２漆塗木製品【TKS02-10】

口縁部、底部に淡灰色の金属膜が残存しており、装飾が施されていたことが窺がわれた。しかしながら、内部には本体より剥落した金属膜が堆積、その量からほとんどの金属膜が本体から剥落していることが予見された。また、口縁部が一箇所破断、外側へ大きく脹らんでいた。

処理番号３漆塗木製品【KZK02-1407】

木胎はほとんど残存せず、ほぼ漆膜のみとなっていた。また、本体と大小多数の膜片および金属の部材から構成されていた。漆膜のみとなった遺物は水浸保管中に形状変形をきたし易く、本遺物も発掘時に比べると形状変形をきたしていることが予見された。

処理番号４漆塗木製品【KZK02-1841】

本体と小片１片より構成される漆塗木製品。形状と大きさからおそらく椀底部と推測される。「辛酉四明諸二郎造」と銘があるが、その銘の中心部の漆膜が大きく剥離していた。

処理番号５朱漆塗櫛【KZK02-1194】

一箇所大きく破損し、木胎が露出しており、縁部もところどころ漆膜が欠失しているが、概ね良好な遺存状態にある。歯の部分の加工が特徴的なものと思われた。

処理番号６漆塗木製品【KZK02-735】

漆塗の椀と推測される。底部と口縁部が残存し、底部に「張」と銘が刻まれている。一部に腐朽度の高い箇所があるが、概ね良好な状態であった。

処理番号７木製彫刻（人物）【KZK02-1408】

節の多い、堅木を用いて作られている。表面は依存しているが、その下層が失われている箇所が散見された。使用されている木材の物性から、処理の困難さが予想された。

保存処理中は保存処理検討会より提供を受けた遺物リストを利用して各遺物に処理番号をつけて

管理することとした（リスト別添）。

## II．保存処理方針

保存処理検討会からの指導に基づき、特定非営利法人文化財保存支援機構（NPO JCP）の指示ならびに協議により保存処理方針を決定した。今回の保存処理においては遺物が海底遺跡からの出土品であることを考慮し保存処理方針を検討した。

①クリーニングの程度について

遺物はすべて海底遺跡よりの引き揚げ品であり表面の付着物（土砂や貝類など）や錆はいわば「海底から出土した証し」であると言える。そのため付着物も遺物が持つ情報と捉えることができる。また、Ｉで述べたとおり「胡録＋矢束」については矢本体の大部分がすでに失われていると推測されることから、積極的なクリーニングは行わない方針を採ることとした。

②脱塩処理について

海底からの出土遺物であることからその内部に腐食促進物質、乾燥時に遺物を破損させるおそれのある物質を多量に含んでいると推測された。そのため、保存上の配慮から脱塩処理を実施することとした。

## III．保存処理工程

①クリーニング

外観の保存を優先させるため、軟らかい筆などで、表面をなでる程度の作業に止めおいた（写真１）。

②脱塩処理

海底よりの引き揚げ後、現地にて水道水のみを使用した脱塩処理が継続されていた。すべて有機質製あるいは有機質が付着している遺物のため、pHの調整は行わず水道水をイオン交換水に換え、そのまま脱塩処理を継続した。脱塩処理の進捗状況は塩化物イオン濃度をイオンメータで計測することで監視した。脱塩処理終了の時期判定は処理液への塩化物イオンの溶出量が設定した基準値（処理番号１・２は２mg/L、その他の者は10mg/Lとした。）を下回った時点とした。なお、遺物の形状によっては遺物と処理液の比率が変動する。そのため、今回は処理液の標準量をそれぞれの遺物重量に対して設定し処理を行った（写真２）。

③脱色処理

EDTA・２Naの1％水溶液に24時間浸漬し、処理を行った（「処理番号７木製彫刻」についてのみ実施）。その後、換水を繰り返し、遺物中に残存している薬剤を除去した。

④糖アルコール含浸処理

処理薬剤として糖アルコール（ラクチトール（ミルヘン／東和化成工業製）とトレハロース（トレハ／林原製）、混合比10：１）を使用した。糖度20％より開始し、少しずつ濃度を上昇させ

て、含浸処理を終了した。終了時最終糖度は75％とした（写真３）。

⑤結晶化処理

遺物表面にラクチトールの微粉末を散布し（写真４）、室温にて結晶化処理を行う。一定期間経過後、温水にて洗浄（写真５）、短時間50℃で加温し水分を乾燥させた。

⑥整形・接合・樹脂補填

接合が必要な箇所はエポキシ系接着剤（クイック５／コニシ株式会社製）で接合した。

⑦展示台製作

展示活用への便宜を図るため遺物の状況に応じて展示台を製作した。

処理番号６・７には支持具を設けたアクリル製展示台を製作した（写真６）。

また、その他の遺物で展示の際に下敷きが必要と判断され、指示のあったものには、0.5㎜厚のシリコーン樹脂製シートを遺物の形状に加工して下敷きを製作した。

写真１

写真２

写真３

写真４

写真５

写真６

## 鷹島海底遺跡出土遺物（有機質遺物）リスト

| 処理番号 | 資　料　名 | 遺物番号 | 員数 | 処理の緊急性 | 蛍光X線分析 | 透過X線撮影 | 目視・顕微鏡観察 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 胡録＋矢束 | KZK02-1381 | 1件 | B | ― | 内部に止め金具あり | |
| 2 | 漆塗木製品（みこみ、口縁部、底部に金属製飾り） | TKS12-10 | 1点 | A | (Sn高、Pb高、Fe) | | 曲げ物 |
| 3 | 漆塗木製品（「元年殿司修、検視訖官」銘） | KZK02-1407 | 1点 | A | ― | | |
| 4 | 漆塗木製品（「辛酉四明諸二郎造」銘） | KZK02-1841 | 1点 | A | Hg高、Fe高、Ca | | 曲げ物 |
| 5 | 朱漆塗櫛 | KZK02-1194 | 1点 | B | Hg高 | | |
| 6 | 漆塗木製品（「張■」銘） | KZK02-735 | 1点 | A | Hg高、Fe、Ca | | 曲げ物、布着せ |
| 7 | 木製彫刻（人物） | KZK02-1408 | 1点 | B | ― | | |

## イオン交換水を使用した脱塩処理液に溶出した塩化物イオン濃度

単位mg／L

| 日付 | 処理番号1 | 処理番号2 | 処理番号3 | 処理番号4 | 処理番号5 | 処理番号6 | 処理番号7 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 7／8 | | | | 0.8 | 0.9 | 0.4 | 0.5 |
| 7／11 | | | | 3 | 1.5 | 0.9 | 0.8 |
| 7／12 | 0.6 | 1.5 | 0.4 | 4.8 | 2.2 | 0.6 | 0.7 |
| 7／13 | 0.9 | 1.4 | 0.4 | 3 | 1.5 | 0.8 | 0.6 |
| 7／14 | 1.3 | 2.2 | 1.2 | 1.6 | 1 | 0.6 | 0.6 |
| 7／15 | 3.2 | 3.6 | 3.7 | 1.4 | 0.9 | 0.5 | 0.5 |
| 7／19 | 11.9 | 0.5 | 6.9 | 0.5 | 0.4 | 0.3 | 0.4 |
| 7／20 | 1.8 | 1.2 | 0.8 | | | | |
| 7／21 | 6.3 | | 3.7 | | | | |
| 7／22 | 5.8 | | 6.4 | | | | |
| 7／25 | 13.6 | | 14.7 | | | | |
| 7／26 | 4.6 | | 2.9 | | | | |
| 8／1 | 7.3 | | 8.1 | | | | |
| 8／2 | 11.6 | | | | | | |
| 8／3 | 393 | | | | | | |
| 8／5 | 55.9 | | | | | | |
| 8／8 | 112 | | | | | | |
| 8／12 | 1.3 | | | | | | |
| 8／17 | 0.9 | | | | | | |
| 8／18 | 0.6 | | | | | | |

## ３．出土遺物の保存処理（平成18年度実施）

株式会社 京都科学　西口裕泰　平井孝憲

### Ⅰ．破損などの状態

処理番号１椰子の実【KZK02-1130】

椀のような形状をしており、小片１点が付随する。材質が木ではないため、指触による腐朽度の判定は難しい。

処理番号２漆椀【KZK02-605】

３つの部材からなる。内面、外面ともに赤漆の塗膜が遺存している。漆の膜厚は比較的厚く、木胎の腐朽度は低い。底部に赤漆を用いて銘が施されるも、判読はできない。平成17年度処理品漆塗木製品【KZK02-735】に類似の資料。

処理番号３木印【KZK02-RW1】

堅く比重の大きな材を用いている。印面には黒色物質が付着している。

処理番号４つるべ【KZK02-896】

材質は付着している錆の色から、恐らく銅を含む合金と考えられ、端部に木部が遺存している。木部は針葉樹と推察され、黒漆の塗膜が遺存している。

処理番号５弩【KZK02-1723】

平成17年度処理品「漆塗木製品【KZK02-1407】」に類似資料。大きく３つの部材からなる。黒漆の塗膜がほぼ全体に遺存しており、側面には赤漆も認められる。端部は炭化している。平成17年度分との大きな違いは木胎が残存していることであるが、虫蝕孔が散見されるなど、一部木胎は欠失している。また、銘は認められない。

処理番号６飾金具付木製品【KZK02-1319】

５点の部材からなり、内３点には端部に臍と思われる加工が施されている。飾金具が数箇所遺存しており、材質は付着している錆の色から、恐らく銅を含む合金と考えられる。木胎が遺存しているが、その腐朽度は中程度。

処理番号７漆塗木製品【TKS15-03】

木胎は堅牢で、腐朽度が小さい。黒色の漆膜が遺存している。端部には金具が遺存しており、錆の色から、恐らく銅を含む合金と考えられる。

### Ⅱ．保存処理方針

保存処理検討会からの指導に基づき、特定非営利法人文化財保存支援機構（NPO JCP）の指示ならびに協議により保存処理方針を決定した。今回の保存処理においては遺物が海底遺跡からの出土品であることを考慮し保存処理方針を検討した。

①クリーニングの程度について

遺物はすべて海底遺跡よりの引き揚げ品であり表面の付着物（土砂や貝類など）や錆はいわば海底から出土した証しであると言える。そのため付着物も遺物が持つ情報と捉えることができる。

②脱塩処理について

海底からの出土遺物であることからその内部に腐食促進物質、乾燥時に遺物を破損させるおそれのある物質を多量に含んでいると推測された。そのため、保存上の配慮から脱塩処理を実施することとした。

## Ⅲ．保存処理工程

①クリーニング

外観の保存を優先させるため、軟らかい筆などで、表面をなでる程度の作業に止めおいた（写真１）。

②脱塩処理

海底よりの引き揚げ後、現地にて水道水のみを使用した脱塩処理が継続されていた。すべて有機質製あるいは有機質が付着している遺物のため、pHの調整は行わず水道水をイオン交換水に換え、そのまま脱塩処理を継続した。脱塩処理の進捗状況は塩化物イオン濃度をイオンメータで計測することで監視した。脱塩処理終了の時期判定は処理液への塩化物イオンの溶出量が設定した基準値（処理番号４・６・７は２㎎／L、その他のものは10㎎／Lとした）を下回った時点とした。なお、遺物の形状によっては遺物と処理液の比率が変動する。そのため、今回は処理液の標準量をそれぞれの遺物重量に対して設定し処理を行った（写真２）。

③脱色処理

EDTA・２Naの1％水溶液に24時間浸漬し、処理を行った（「処理番号１椰子の実」についてのみ実施）。その後、換水を繰り返し、遺物中に残存している薬剤を除去した。

④糖アルコール含浸処理

処理薬剤として糖アルコール（ラクチトール（ミルヘン／東和化成工業製）とトレハロース（トレハ／林原製）、混合比10：１）を使用した。糖度20％より開始し、少しずつ濃度を上昇させて、含浸処理を終了した。終了時最終糖度は75％とした（写真３）。

⑤結晶化処理

遺物表面にラクチトールの微粉末を散布し（写真４）、室温にて結晶化処理を行う。一定期間経過後、温水にて洗浄（写真５）、短時間50℃で加温し水分を乾燥させた。

⑥整形・接合・樹脂補填

接合が必要な箇所はエポキシ系接着剤（ハイスピードエポ／コニシ株式会社製）で接合した。保存処理番号６のみ、飾金具の木胎の空隙部分にアクリル樹脂（パラロイドB-72／ロームアンドハス社製）にガラスマイクロバルーンを混合したものを充填した。（写真６）充填部はアクリル

絵の具（アクリラ／ホルベイン工業株式会社製）で補彩を施した（写真７）。

⑦樹脂コート

保存処理番号４・６・７の金属部分にのみ、補強と防錆の目的から、防錆剤入アクリル樹脂（インクララック／㈱トウペ製）を塗布した。

⑧展示台製作

展示活用への便宜を図るため遺物の状況に応じて展示台を製作した。

保存処理番号１・２・３にはシリコーン樹脂の支持具を設けたアクリル製展示台を製作した。また、全てのアクリル製展示台には、滑り止めとクッション材として、0.5㎜厚のシリコーン樹脂製シートを敷いた（写真８）。

写真１

写真２

写真３

写真４

写真５

写真６

写真７

写真８

## イオン交換水を使用した脱塩処理液に溶出した塩化物イオン濃度

単位mg／L

| 日付 | 処理番号１ | 処理番号２ | 処理番号３ | 処理番号４ | 処理番号５ | 処理番号６ | 処理番号７ |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| ７／11 | 0.3 | 0.5 | 0.4 | 0.5 | 1 | 0.9 | 0.5 |
| ７／12 | 0.5 | 0.8 | 0.7 | 0.7 | 1.3 | 1.5 | 0.9 |
| ７／13 | 0.9 | 1.1 | 1 | 0.8 | 1.7 | 2.6 | 1.2 |
| ７／14 | 1.5 | 1.6 | 1.2 | 1.1 | 2.4 | 3.8 | 1.7 |
| ７／18 | 3.8 | 4 | 2.6 | 1.8 | 12.1 | 9.6 | 3.1 |
| ７／19 | 0.5 | 0.6 | 0.5 | 0.5 | 1.2 | 1.2 | 0.4 |
| ７／20 | 0.8 | 1 | 0.8 | 0.8 | 6.3 | 3.3 | 0.7 |
| ７／21 | 1.1 | 1.8 | 1.4 | 1.2 | 7.8 | 4.5 | 0.9 |
| ７／24 | 2 | 3.5 | 1.8 | 1.7 | 9.8 | 6.1 | 1.9 |
| ７／25 | 0.3 | 0.4 | 0.5 | 0.4 | 2.2 | 0.8 | 0.3 |
| ７／26 | 0.5 | 0.9 | 0.8 | 0.5 | 4.5 | 1.2 | 0.4 |
| ７／27 | 0.6 | 1.1 | 0.9 | 0.7 | 6.4 | 1.6 | 0.6 |
| ７／28 | 0.9 | 1.5 | 1.1 | 0.8 | 6.9 | 2.5 | 0.9 |
| ７／31 | 1.5 | 2.5 | 1.3 | 1.1 | 8.2 | 3.8 | 1.5 |
| ８／１ | | 0.4 | | | 1.8 | 0.8 | |
| ８／２ | | 0.8 | | | 3.1 | 1.3 | |
| ８／３ | | 0.9 | | | 4.2 | 1.6 | |
| ８／４ | | 1.3 | | | 5.5 | 2.1 | |
| ８／７ | | 2.3 | | | 6.8 | 3.6 | |
| ８／８ | | | | | | 0.5 | |
| ８／９ | | | | | | 0.7 | |
| ８／10 | | | | | | 1.3 | |
| ８／11 | | | | | | 1.8 | |
| ８／17 | | | | | | 2.5 | |
| ８／18 | | | | | | 0.3 | |
| ８／21 | | | | | | 1.9 | |
| ８／22 | | | | | | 0.3 | |
| ８／23 | | | | | | 0.6 | |
| ８／24 | | | | | | 0.8 | |
| ８／25 | | | | | | 1.1 | |
| ８／28 | | | | | | 1.5 | |
| ８／29 | | | | | | 0.3 | |
| ８／30 | | | | | | 0.5 | |

## ４．出土木製品の樹種同定

京都大学名誉教授　伊　東　隆　夫
南京林業大学　Mechtild　Mertz
南京林業大学　Pan Biao
南京林業大学　Luo Jiayan

長崎県松浦市鷹島町の南側に隣接する海底にある鷹島海底遺跡から蒙古襲来（最初の侵攻は1274年、二度目の侵攻は1281年）で知られる、元軍の木造船（いわゆる元寇船）のものと思われる部材が多数引き上げられている。松浦市教育委員会の依頼により、これら木材試料のうち、606点につき樹種の同定をおこなったので、その結果を報告する。

### Ⅰ．研究の背景

そもそもの始まりは独立行政法人国立文化財機構奈良文化財研究所からの依頼による。2004年の秋だったかと思うが、わからない樹種があるので見てくれないかとの依頼であった。詳しく聞いてみると沈没した元寇船の部材で、中国産あるいは韓国産の樹種の可能性があるとのことであった。同時に、その時点で、すでに、『鷹島海底遺跡Ⅲ』[1]と『鷹島海底遺跡Ⅴ』[2]に元寇船にかかわる樹種同定の結果が予報的に報告されているのを知った。それによれば、元寇船のものと思われる大小の碇およびその他の木製品の一部の樹種が同定されており、大型碇がアカガシ亜属、その他の木製品にはクスノキやその他の樹種が利用されているとのことであった。鷹島周辺の海上から引き上げられた元寇船であるならば、弘安の役において鷹島周辺で“神風”によって沈没したとされる江南軍や東路軍の主力艦船である可能性[3, 4]が高いので、中国や韓国に生育する樹種が検出されることが予想された。蒙古襲来は日本の歴史上大変重要な事件であるので、その史実の一端に関わる発見ができればという思いで、さらに多くの残された元寇船の木片試料の樹種同定をおこなう必要性を感じた。

早速、翌年（2005年）の３月８日から10日まで鷹島町を訪問し、元寇船の試料の採取をおこなった。同年７月20日から22日まで、再度、鷹島町を訪れ、２回目の試料の採取をおこなった。2006年に入って、２月１日から３日と３月28日から30日の２度にわたって鷹島町を訪問し、残りの試料の採取に努めた。2007年１月19日から21日まで試料の採取および確認作業をおこなった。

これらの訪問により、これまでに鷹島町海底遺跡調査で引き上げられた木質遺物のほとんどから木片試料の提供を受けることができたと考えている。

### ２．樹種同定法

定法にしたがい、安全カミソリで木口面、柾目面、板目面の三断面の薄い切片を作り、これらをスライドガラスに並べ、ガムクロラール（封入剤）を用いてマウントし、カバーガラスをかけて顕微鏡用プレパラートを作製した。樹種の解剖学的特徴を光学顕微鏡（オリンパス社製、BH-2型）で観察

し、以下の識別拠点にしたがって樹種を同定した。その後、顕微鏡用デジタル写真撮影装置（オリンパス社製、DP-70型）により、写真撮影をおこない記録した。

## ３．検出樹種の識別拠点

樹種同定には日本産の木材については、林昭三氏の書籍[5]および筆者の報告書[6~10]を用い、中国産の木材については『中国木材志』[11]および筆者のコレクションである中国産木材プレパラートを用いた。日本ではみかけないような一部のプレパラートについては共同研究者である南京林業大学のPan Biao氏およびLuo Jiayan 氏の協力の下に樹種を同定した。

**マツ属単維管束亜属（*Pinus* sp. Haploxylon）**：垂直および水平樹脂道が存在する。樹脂細胞を欠く。放射仮道管が存在するが水平壁に鋸歯状突起は見られず平滑。分野壁孔は窓状。

**マツ属複維管束亜属（*Pinus* sp. Diploxylon）**：垂直および水平樹脂道が存在する。樹脂細胞を欠く。放射仮道管が存在し、水平壁に顕著な鋸歯状突起が見られる。分野壁孔は窓状。

**ツガ属（*Tsuga* sp.）**：作製したプレパラートには樹脂道は存在しなかった。早材から晩材への移行はきわめて急である。放射仮道管が存在し、分野壁孔は小型。

**コウヨウザン（*Cunninghamia lanceolata* Hook）**：垂直および水平樹脂道を欠く。晩材幅は広い。樹脂細胞が存在する。分野壁孔はスギ型で、孔口は上下方向からやや斜めに傾斜して開く傾向がある。放射組織は単列。中国の特産種であり中国にのみ分布する。

**スギ属（*Cryptomeria* sp.）**：樹脂道を欠く。樹脂細胞は晩材部にまばらにかつ接線状にならぶ。分野壁孔は典型的なスギ型。日本産の樹種であればスギと断定できるが、中国にも解剖学的にスギとほとんど区別がつかない柳杉と呼ばれる種が分布するので、いずれか判定できず、スギ属とした。中国と日本にそれぞれ１種ずつ分布する。

**スギ科（Taxodiaceae）**：樹脂道が無く、樹脂細胞が存在する。晩材幅が広く、分野壁孔の型が不鮮明でスギ型に近いものをすべてスギ科とした。

**ヒノキ科（Cuppresaceae）**：樹脂道が無く、樹脂細胞が存在する。晩材幅が狭く、分野壁孔の型がヒノキ型に近いものをすべてヒノキ科とした。

**マキ属（*Podocarpus* sp.）**：樹脂道を欠くが、樹脂細胞が年輪内に一様に分布する。

**針葉樹（conifer）**：仮道管からなる組織を有するが、試料の状態がきわめて悪いために詳細が不明なものを針葉樹と分類した。

**ヤマモモ属（*Myrica* sp.）**：散孔材。直径50μm以下の道管が多数分布する。階段穿孔。階段の間隔は広く、階段数は少ない。軸方向柔組織は散在状から短接線状。放射組織は異性Ⅰないし Ⅱ型で１－３列。

**クヌギ節（*Quercus* L. Sect *Cerris*）**：環孔材。孔圏道管は大きく、単穿孔。孔圏外道管は小さく、壁が厚く、単独で放射状に並ぶ。単列放射組織と広放射組織が存在する。

**アカガシ亜属（*Quercus* L. *Cyclobalanopsis*）**：放射孔材。やや大型の道管がほぼ単独で放射状に配

列する。単穿孔。単列放射組織と広放射組織がみられる。

**シイ属（*Castanopsis* sp.）**：環孔材。孔圏道管は大きく、接線方向に不連続となる。孔圏外道管は小さく放射方向に分布する。単穿孔。放射組織は単列。

**ニレ属（*Ulmus* sp.）**：環孔材。きわめて大きい道管が孔圏を１－３列で並ぶ。孔圏外道管は多数が集合し、帯状にやや蛇行しながら接線方向に並ぶ。道管にらせん肥厚がみられる。単穿孔。放射組織は同性で、１－８細胞幅となる。木口面における道管の配列から２種類は含まれると考えられた。

**クスノキ（*Cinnamomum camphora* Presl）**：散孔材。大きさが中庸の道管がほぼ均一に分布するが早材部の道管はやや大きい。単穿孔。油細胞が多数分布する。道管放射組織間壁孔の大きさ・形が不規則となる。放射組織は異性Ⅱ、Ⅲ型で１－３列。

**クスノキ科（Lauraceae）**：散孔材。大きさが中庸の道管が均一に分布。単穿孔。油細胞。道管放射組織間壁孔の大きさ・形が不鮮明。放射組織は異性Ⅱ、Ⅲ型で１－３列。

**イスノキ属（*Distylium* sp.）**：散孔材。直径50μm以下の道管が均一に分布する。階段穿孔。段数は少なく、バーは太い。道管にらせん肥厚を欠く。道管内腔に樹脂性物質が詰まる。厚壁のチロースが発達。軸方向柔組織に多室結晶細胞がみられる。道管放射組織間に階段壁孔。放射組織は異性Ⅱ型で１－２列。試料（No.564、 TKS-14 40f）は道管径が50μmよりもやや大きく穿孔版が確認できなかったのでイスノキ属？とした。

**マンサク科（Hamamelidaceae）**：散孔材。きわめて小さい道管が均一にならぶ。道管相互壁孔に階段壁孔。道管にチロースが詰まる。階段穿孔。放射組織は異性Ⅱ型で１－２列。

**サクラ属（*Prunus* sp.）**：散孔材。やや小さい道管が斜線状にならぶ傾向がある。単穿孔。道管にらせん肥厚がみられ、着色物質が詰まる。放射組織は同性ないし異性で１－５列。№270には傷害垂直細胞間道がみられるのでウメ（*P. mume*）と判定される。

**バラ科A（Rosaceae A）**：散孔材。道管はほぼ単独。直径のきわめて小さい道管が均一に分布する。単穿孔。放射組織は異性で、１－３細胞幅。

**バラ科B（Rosaceae B）**：環孔材。孔圏道管は直径120μm前後で一層に並ぶ。孔圏外道管は直径50μm以下でほぼ単独で散在する。単穿孔。放射組織は同性ないし異性Ⅲ型で１－６列となる。傷害細胞間道が出現する。

**ツバキ属（*Camellia* sp.）**：散孔材。小さい道管が一年輪内に多数散在する。道管は階段穿孔。階段数は少ない。放射組織は異性で、１－２列で直立細胞が異常に大きくなって内部に大形の結晶を含む。

**エンジュ属（*Sophora* sp.）**：孔圏道管は大きく200μmに達し、３層となる。孔圏外道管は漸次小さくなる。単穿孔。軸方向柔組織は周囲状、翼状から連合翼状となる。隔壁木繊維がみられる。放射組織は同性ないし異性Ⅲ型で、１－４列となる。

***Dalbergia* sp.**：散孔材。単穿孔。軸方向柔細胞は２－３列の帯状となる。放射組織は同性で、２－３列となり、層階状構造を示す。中国を含め東南アジアに広く分布する。

***Pometia* sp.**：散孔材。放射径が150μmを超える道管がほぼ単独ないし、２－４個主に放射方向に複

合して分布。道管の壁はやや厚い。道管は単穿孔。道管壁孔は流れてピッチの狭いらせん肥厚のように見える。軸方向柔細胞の分布は柔細胞内腔に着色物質が密に詰まるために識別不能。隔壁木繊維が多くみられる。放射組織はほぼ同性で単列、ときに2列となる。放射組織に結晶がみられる。中国および東南アジアに分布する。

**ムクロジ（*Sapindus mukorossi* Gaertn.）**：環孔材。孔圏道管は中庸からやや大形。単穿孔。道管にゴム質が詰まる。小道管にらせん肥厚。軸方向柔組織は帯状ないし連合翼状。放射組織は同性。多室結晶細胞および隔壁木繊維が存在する。

**ツゲ属（*Buxus* sp.）**：散孔材。極めて小さい道管が一様に分布する。階段穿孔。階段数は少ない。木繊維の壁は厚く、隔壁がみられる。放射組織は異性で、1－2列。

**モチノキ属（*Ilex* sp.）**：散孔材。極めて小さい道管が単独ないし2－5個複合して分布する。道管にらせん肥厚。階段穿孔。放射組織は異性で1－7列。

**ナツメ（*Zizyphus jujuba* Mill.）**：散孔材。直径50－70μmの道管がほぼ単独ないし2個複合する。道管の壁は厚く、多くの道管内腔に着色物質が詰まる。単穿孔。放射組織はほぼ同性で1－2列。

**ハイノキ属（*Symplocos* sp.）**：散孔材。直径50μm以下の道管が単独ないし2個複合して均一に分布する。階段穿孔。階段数は多い。放射組織はおおむね異性Ⅱ、ときにⅠで、1－2列。（№117 KZK02-842）は本種に近似するが道管の大きさおよび分布が少し異なるので散孔材とした。

**チーク（*Tectona grandis* Linn.）**：半環孔材。年輪界に沿って、孔圏部に300μmを超える大きくかつ厚壁の道管がほぼ単独で、疎に並ぶ。孔圏外道管は壁が厚く、単独ないし2－4個が不規則に複合して分布する。単穿孔。チロースが存在する。孔圏道管を軸方向柔細胞が幅広く囲み、帯状となって年輪界に沿って広がる。周囲柔組織がみられる。隔壁木繊維が多数みられる。放射組織は同性で、1－3細胞幅となる。インド、マレーシア、タイ、ミャンマー、フィリピンに分布する。

***Terminalia* sp.**：散孔材。大きさが中庸の道管が単独ないし放射方向に2個複合して均一に分布する。道管壁は厚い。単穿孔。軸方向柔組織は連合翼状となる。放射組織は異性で1－7列。このグループの樹木は中国、フィリピン、マレーシア、インドネシア、インドに分布する。

***Cotylelobium* sp.**：散孔材。直径150μm以下の道管がほぼ単独で分布する。道管の壁は厚く、内部にチロースが詰まる。単穿孔。軸方向細胞間道が散在する。軸方向柔組織は散在状ないし短接線状となる。放射組織は異性Ⅲ型で1－5列。マレーシア、インドネシア、タイ、スリランカに分布するが中国には分布しない。

***Erythrophloeum* sp.**：散孔材。道管は中庸からやや大型で、単独ないし2－3個複合し、壁は厚い。単穿孔。軸方向柔組織は周囲状から翼状ないし連合翼状となる。放射組織はほぼ同性で1－2列。中国、フィリピン、ボルネオ、南アフリカに分布する。

中国には*Erythrophloeum fordii* Oliv. 1種が生育するのみであり、本種の可能性が高い。

***Ormosia* sp.**：散孔材。道管は中庸からやや大型で、単独ないし2－3個複合し、壁は厚い。単穿孔。軸方向柔組織は翼状ないし連合翼状となる。放射組織はほぼ同性ないし異性Ⅲ型で1－5列。このグ

ループは中国、インド、インドネシア、マレーシア、フィリピン、ボルネオ、南アメリカに分布する。

***Pistachia*** sp.：環孔材。孔圏外道管は２－10個、しばしば10個以上が不規則に複合する。単穿孔。道管内壁にらせん肥厚。放射組織は異性Ⅲ型で１－５列。放射組織の縁辺細胞にしばしば大型の結晶がみられる。放射組織に水平細胞間道が存在する。中国およびアジア、アメリカに分布する。

***Altingia*** sp.：散孔材。直径50μm以下の道管が均一に分布する。階段穿孔。階段数は少ない。道管にらせん肥厚。道管内腔に樹脂様物質が密に詰まる。軸方向柔組織に多室結晶細胞がみられる。軸方向柔細胞および放射柔細胞にも樹脂様物質が密に詰まる。放射組織は異性Ⅱ型で１－３列。中国、インド、インドネシア、マレーシアに分布する。

***Alstonia*** sp.：道管は単独ないし複数個放射方向に複合する。軸方向柔組織は１－２列の帯状に分布する。放射組織は異性で、１－３列となり、多数結晶を含む。水平細胞間道がみられる。

**広葉樹**：道管を有する組織であることのみ確認できた。

**環孔材Ａ**（No.80、KZK02-1303）：孔圏道管は大きく200μmに達し、1層となる。孔圏外道管は極めて小さく単独ないし数個が複合する。単穿孔。軸方向柔組織は多数であるが木口面での分布は不明。放射組織は同性で１－５列。

**環孔材Ｂ**（No.434、TKS12-3）：孔圏道管は200μm以上となる。周囲状柔組織。単穿孔。直立細胞に結晶が多数。放射組織は異性Ⅱ型で１－６列。

**散孔材Ａ**（No.88, KZK02-1606）：直径80μm前後の道管が単独ないし２、３個複合して一様に分布する。単穿孔。放射組織は同性で１－４列となる。

**散孔材Ｂ**（No.147、KZK02-1041）：直径60－80μmの道管が単独ないし、２－３個放射方向に複合する。道管の壁はやや厚い。軸方向柔組織は帯状となってみられる。単穿孔。隔壁木繊維。放射組織は異性Ⅱ型で、１－５列。さや細胞あり。結晶を含む放射柔細胞が多数みられる。

**散孔材Ｃ**（No.335、KZK02-1751）：極めて小さい道管がほぼ単独ないし、放射方向に２－３個複合して分布する。単穿孔。放射組織は単列異性。ヤナギ属に近似するが道管の直径が小さすぎる。

**散孔材Ｄ**（No.394、KZK02-1073）：直径80μm前後の道管が単独ないし２－３個複合して一様に分布する。単穿孔。放射組織は同性で、８－10列あるいはそれ以上。

**散孔材Ｅ**（No.398、KZK02-1350）：道管はほぼ単独、ないし２－３個複合する。単穿孔。道管にチロースおよびらせん肥厚。周囲柔組織。放射組織は異性で１－６列。放射組織は高い。

**散孔材Ｆ**（No.429、KZK02-1337-b）：道管は単独ないし１－数個放射方向および接線方向に複合する。単穿孔。道管にチロース。軸方向柔組織は周囲状および翼状となる。放射組織は異性で１－４列。

**タケ亜科**：タケ特有の形状の繊維の塊りが柔組織の間に散在する。

**シュロ属（*Trachycarpus* sp.）**：単子葉類。直径10μmほどの繊維が多数密に集合して、大きさ0.1～0.5㎜の繊維束となり、これが他の細胞群を介して独立して多数分布する。

## 4．樹種同定の結果

樹種同定の結果は表１に示す通りである。同表から樹種ごとに集計し、件数の多い順に以下にまとめた。括弧内の数字は、例えば、コウヨウザン全体（71点）に占めるコウヨウザン？と断定できていない種類の数18を表す。

マツ属複維管束亜属：134(５) 点
クスノキ：79(４)点
コウヨウザン：71(18)点
ニレ属：67(１)点
マツ属単維管束亜属：33(６)点
スギ科：28点
*Dalbergia* sp.：22点
クスノキ科：19点
スギ属：18(１)点
シイ属：15点
ヒノキ科：15点
マツ属：９点
樹皮：８点
アカガシ亜属：７(１)点
散孔材：７点
クヌギ節：６(１)点
ツゲ属：４点
ナツメ：４点
針葉樹：４点
*Terminalia catappa*：３点
*Altingia* sp.：２点
サクラ属：３点
環孔材：２点
マキ属：２点
タケ亜科：２点
チーク：２点
イスノキ属：２(１)点
マツ科：２点
バラ科：２点
*Pometia* sp.：２点
*Erythrophloeum* sp.：２点
シュロ属：１点
ハイノキ属：１点
ムクロジ：１点
*Cotylelobium* sp.：１点
*Ormosia* sp.：１点
ヤマモモ属：１点
*Pistachia* sp.：１点
ツガ属：１点
コナラ属：１点
ツバキ属：１点
キリ属　：１点
モチノキ属：１点
マンサク科：１点
イネ科：１点
*Alstonia* sp.：１点
エンジュ属：１点

製品別の樹種傾向

表１につき、製品別に樹種の利用頻度を検索してみると以下のような結果であった。ここでも括弧内の数字は同定樹種全体のうち？がついたものの数を表す。

・船材（外板）：クスノキ２点
・船材（隔壁梁材）：クスノキ３点、クスノキ科１点、ニレ属(１)点
・船材（隔壁材）：クスノキ、ツガ属、マツ属単維管束亜属各１点
・船材（板材）(164点)：クスノキ48(４)点、コウヨウザン26(９)点、マツ属複維管束亜属24(１)点、クスノキ科12点、マツ属単維管束亜属10(１)点、ニレ属11点、スギ科９点、スギ属５点、ヒノキ科、*Terminalia catappa*、マツ属各３点、シイ属２点、*Dalbergia* sp.、*Pometia* sp.、クヌギ節、マツ科、針葉樹、広葉樹、散孔材各１点。
・船材（板材）？（８点）：クスノキ４点、スギ科２点、クスノキ科、コウヨウザン？各１点。
・船材（角材）(20点)：コウヨウザン９点、スギ科５点、マツ属複維管束亜属３点、ニレ属２点、スギ属１点。

・船材（角材）？（３点）：マツ属複維管束亜属、マツ属単維管束亜属、コウヨウザン各１点。
・船材（柱材）（４点）：*Ormosia* sp.、*Pometia* sp.、シイ属、マツ属複維管束亜属各１点。
・船材（船の飾り？）（１点）：シイ属１点。
・船材（丸太材）（12点）：マツ属複維管束亜属３点、コウヨウザン２（１）点、クスノキ２点、シイ属、ニレ属、スギ科、モチノキ属、マツ属単維管束亜属各１点。
・船材（丸太材？）（３点）：マツ属複維管束亜属、コウヨウザン、アカガシ亜属各１点。
・船材（９点）：ニレ属２点、マツ属複維管束亜属、コウヨウザン、クスノキ、ムクロジ、シイ属、マンサク科、散孔材各１点。
・マストステップ：クスノキ１点
・板状漆製品：ヒノキ科１点
・板状木製品（２点）：スギ科、マツ属複維管束亜属各１点
・漆製品（２点）：クヌギ節、散孔材各１点。
・漆塗板状木製品：ヒノキ科１点。
・漆塗棒状木製品（２点）：*Dalbergia* sp. １点、散孔材１点。
・八角柱状漆塗棒状木製品：シイ属１点。
・棒状漆製品柄：スギ科１点。
・棒状木製品（２点）：ヒノキ科、スギ属各１点。
・漆塗弓：*Dalbergia* sp. 6点。
・漆塗弓の先：ヒノキ科１点。
・弩弓？：ニレ属３点。
・弓？（２点）：スギ科、環孔材Ｂ　各１点。
・矢柄：タケ亜科１点。
・刀の鞘：コウヨウザン２点。
・漆椀底部（２点）：スギ属、ヒノキ科各１点
・朱塗椀（16点）：コウヨウザン９（３）点、スギ属３点、スギ科３点、クスノキ１点。
・朱塗椀底部（２点）：キリ属、スギ属各１点。
・朱塗椀胴部：マツ属複維管束亜属１点。
・朱塗櫛：シイ属１点
・容器底部：スギ科１点。
・椀底部：スギ属１点。
・刀の柄：ナツメ２点。
・元年・・銘の漆塗木製品：*Pistachia* sp. １点。
・木栓（10点）：コウヨウザン４点、マツ属複維管束亜属４点、シイ属、ヒノキ科各１点。
・木彫像：*Altingia* sp. １点。

・木札：ヒノキ科１点。
・楔？：コウヨウザン１点
・櫛（３点）：ツゲ属、ナツメ、*Dalbergia* sp.各１点
・銅製金具付棒状木製品：ツゲ属２点。
・銅製つる：スギ属１点。
・縄：シュロ属１点。
・把手：マツ属複維管束亜属１点。
・木製印：ツゲ属１点
・輪状木製品：*Erythrophloeum* sp.１点。
・丸太材（139点）：マツ属複維管束亜属66（３）点、ニレ属24（１）点、マツ属単維管束亜属12（２）点、*Dalbergia* sp.８点、コウヨウザン４（１）点、スギ属２（１）点、アカガシ亜属、針葉樹各２点、スギ科、ヒノキ科、マキ属、マツ科、マツ属、*Cotylelobium* sp.、クスノキ、クスノキ科、クヌギ節、ツバキ属、チーク、サクラ属、シイ属、ナツメ、バラ科、ハイノキ属、エンジュ属、広葉樹、環孔材、樹皮各１点。
・丸太材？(22点)：マツ属複維管束亜属７点、ニレ属５点、コウヨウザン２点、マツ属、ヤマモモ属、イスノキ属, *Dalbergia* sp.、クスノキ科、ニレ属、針葉樹、散孔材各１点。
・まき材（６点）：クヌギ節？、シイ属、マツ属複維管束亜属、マツ属、サクラ属、ニレ属各１点。
・板材（59点）：クスノキ10点、ニレ属８点、マツ属複維管束亜属７点、マツ属単維管束亜属５点、コウヨウザン５（１）点、シイ属３点、アカガシ亜属３（１）点、*Dalbergia* sp.、マツ属、スギ科、ヒノキ科各２点、*Altingia* sp.、イスノキ属？、クスノキ科、コナラ属、サクラ属、スギ属、チーク、バラ科、スギ属、*Alstonia* sp.各１点。
・板材？(21点)：マツ属複維管束亜属６点、ニレ属５点、クスノキ３点、クスノキ科２点、*Erythrophloeum* sp.、アカガシ亜属、クヌギ節、スギ科、ヒノキ科各１点。
・角材（10点）：コウヨウザン３（２）点、マツ属複維管束亜属３点、ニレ属２点、シイ属、ヒノキ科各１点。
・自然木：ニレ属１点。
・自然木？（５点）：マツ属複維管束亜属３点、ニレ属、マツ属単維管束亜属各１点
・木皮：樹皮４点。

## ５．考察

検出された樹種のうち、特に多いものを列挙すると、マツ属複維管束亜属：134点、クスノキ：79点、コウヨウザン：71点、ニレ属：67点、マツ属単維管束亜属：33点となる。マツ属複維管束亜属および単維管束亜属、ニレ属はいずれも中国、韓国、日本に分布が見られ、クスノキは韓半島には分布しないが済洲島、中国、日本にみられるので、これらの検出結果から産地を特定することはできない。

これに対して、コウヨウザンが船の構造材その他に多用されていることは、この樹種が中国にのみ分布がみられることから、中国で造船されたことを窺わせる。さらに、検出量は少ないものの、*Terminalia*属、*Pometia*属、*Ormosia*属、*Dalbergia*属が検出されたが、これらはすべて日本に分布せず、中国ならびに東南アジア諸国に分布する種類であるので、これらが船の部材として用いられていたことは、やはり元寇船が中国で製造されたことの可能性を示すものである。

以下に詳細に検討する。船の部材のうち大型の木材を拾いだすと、試料番号58b, 60－62、96、121、196、201－203、207、208、211－213、218－220、222、223、318、580の23点であった。そのうち、柱材、角材、丸太材、マストステップを除く外板、隔壁梁材、隔壁材、船材としての板材はすべてクスノキあるいはクスノキ科の樹種であった。したがって船材の主要部材はクスノキ製であったといえる。船の板材全体ではクスノキ48(４)点、クスノキ科12点、コウヨウザン26(９)点、マツ属複維管束亜属24(１)点、ニレ属11点、マツ属単維管束亜属10(１)点、スギ科９点、その他であり、やはりクスノキが特に多用されている傾向がみられる。しかしながら、同時にコウヨウザンを中心とするスギ科や二葉マツや五葉マツなどのマツ類も多量に検出されており、船の用材として使用されたことを窺わせる結果も得られた。以上から、元寇船の主要な構造材にはクスノキが用いられていたことが判明した。これと同時に船の構造材やその他にコウヨウザンおよびマツ属の樹種が利用されたと考えられる。わが国では古来船の用材にはクスノキやスギが用いられてきた[12, 13]。クスノキは中国にも豊富に生育しており、実際に船の用材として過去に利用されてきている。スギが豊富に生育しない中国ではスギに代わってコウヨウザンが船の用材として多用されてきたことが知られている[14]。さらに、マツ属の樹種も古来中国では木造船に用いられている。韓国の木浦沖で引き上げられたいわゆる「新安沈船」の調査報告書によれば、船体には*Pinus massoniana*とコウヨウザンが主に用いられ、クスノキやイスノキも使用されたとされる[15]。同時に引き上げられた木質遺物には*Dalbergia*属や*Castanopsis*属も同定されている。同報告書によれば、*P. massoniana* がもっぱら中国でのみ分布がみられることや船のデザインおよび構造が中国の船に類似することから1300年初頭に活躍したと考えられる「新安沈船」は福建省付近で造船されたと推定している。一方、15世紀初頭に活躍した鄭和船の造船跡が近年に中国南京市の長江近くで発見されている。その報告書によれば、樹種同定総数234点のうちコウヨウザン186点、チーク26点、*Erythrophloeum fordii* 13点、シイ属４点、マツ属２点、*Cotylelobium*属１点、*Shorea*属１点、カキ属１点であった[14]。これら２例の報告内容を元寇船の樹種同定結果と比較すると、同定された樹種が極めてよく一致していることがわかる。特に鄭和船との関係で言えば、偶然の一致として片付けるよりも、何か船の用材としての共通性が伺われるように思われる。元寇船は最初の侵攻が1274年で、二度目の侵攻が1281年であり、鄭和船は1400－1410年頃であるので、時代的にも近接しており、造船所も中国南部であれば、船の用材として共通していても不思議ではない。本研究では*Terminalia*属、*Pometia*属、*Ormosia*属、*Dalbergia*属などの船用材のみならず、日本には生育せず、中国および東南アジアに分布が見られる*Erythrophloeum*属、*Altingia*属、*Cotylelobium*属、それにチークなどの数多くの樹種が検出されており、しかもこれらの種はすべて潜在的に船用材として貴重な材料

を提供することが知られている[11, 16]。以上の考察から、これほど多様な用材を用いて造船する立地的環境は中国の南部地域であったであろうと推察される。

その他の木製品の用材傾向について述べる。朱塗椀が22点引き上げられているが、内訳はコウヨウザン９（３）点、スギ属５点、スギ科３点、キリ属、シイ属、クスノキ各１点であった。弓では漆塗弓７点が*Dalbergia* sp.、弩弓３点がニレ属、漆塗弓先？にヒノキ科が１点、弓先にスギ科が１点、弓に環孔材１点が検出された。櫛では朱塗櫛にはシイ属１点、その他の櫛にはツゲ属、*Dalbergia* sp.、ナツメが各1点みられた。刀の柄にナツメ２点、刀の漆塗鞘にコウヨウザン２点、木製印にツゲ属１点、元年・・銘漆塗木製品には*Pistachia* sp. が用いられた。わが国の遺跡出土木製品の用材傾向[13]と比べるとツゲの櫛のように一部では同一樹種が用いられているが椀や弓の用材などにかなりの違いがみられる。

ニレ属がマツ属やクスノキについで３番目に検出量が多いのは興味深い。わが国の遺跡出土木製品ではニレ属はあまり多く検出されていない。ニレ属に代わって圧倒的にケヤキが幅広く利用されてきていることが遺跡出土木製品に関するデータベースで明らかである[13]。鷹島海底遺跡から引き上げられた木材の中で、ケヤキの利用例がまったく無く、ニレ属の利用が非常に多いという傾向は元寇船の用材利用のもうひとつの特徴といえよう。

## ６．結論

本研究において、19世紀以降に開発されたと考えられるベニア板（試料番号433）の破片が検出されるなど、必ずしも元寇船に関わる木片ばかりとは考えられないが、以下の諸点により引き上げられた船は日本や韓国ではなく、中国南部で造船された可能性が高いと判断される。

１．日本や韓国には分布せず、中国に多量に分布がみられるコウヨウザンが多く検出された。

２．日本には分布せず、中国および南方の国に分布がみられる*Terminalia*属、*Pometia* sp.、*Ormosia*属、*Dalbergia*属、*Erythrophloeum*属、*Altingia*属、*Cotylelobium*属それにチークが検出された。

３．マソニア松（マツ属複維管束亜属の一種）、クスノキ、コウヨウザンが中国南部で造船されたとされる新安沈船に用いられた。

４．コウヨウザン、マツ属、*Erythrophloeum*属、チークは鄭和の宝船にも用いられた。

５．わが国の遺跡から多くは検出されないニレ属が多く検出された。これに反して、ケヤキの利用例がみられなかった。

日本国外の樹種が多く含まれている関係で、筆者の経験を超えて樹種の不明なものも数多く残されている。今後、さらに調査をすすめ、元寇船と鄭和船その他同時代の船との間で船の用材に関し、より具体的な共通性が見出せることを期待したい。

## 参考文献


1）光谷拓実　鷹島海底遺跡（神崎港）出土木材の樹種　73-80　『鷹島海底遺跡Ⅲ』―長崎県北松浦郡鷹島町神崎港改修工事に伴う緊急発掘調査報告書―　鷹島町文化財調査報告書　第２集　長崎県鷹島町教育委員会　1996

2）光谷拓実　鷹島海底遺跡（神崎港）出土木材の樹種　52-53　『鷹島海底遺跡Ⅴ』―長崎県北松浦郡鷹島町神崎港改修工事に伴う緊急発掘調査報告書②―　鷹島町文化財調査報告書　第４集　長崎県鷹島町教育委員会　2001

3）佐伯弘次　モンゴル襲来の衝撃　「日本の中世９」　中央公論新社　2003

4）筧　雅博　蒙古襲来と徳政令　「日本の歴史10」　講談社　2001

5）林　昭三　日本産木材顕微鏡写真集　京都大学木質科学研究所　1-147　1991

6）伊東隆夫　日本産広葉樹材の解剖学的記載Ⅰ　木材研究　資料№31　81-181（1995）

7）伊東隆夫　日本産広葉樹材の解剖学的記載Ⅱ　木材研究　資料№32　66-176（1996）

8）伊東隆夫　日本産広葉樹材の解剖学的記載Ⅲ　木材研究　資料№33　83-201（1997）

9）伊東隆夫　日本産広葉樹材の解剖学的記載Ⅳ　木材研究　資料№34　30-166（1998）

10）伊東隆夫　日本産広葉樹材の解剖学的記載Ⅴ　木材研究　資料№35　47-216（1999）

11）成　俊卿・杨　家駒・刘　鵬　『中国木材志』　中国林業出版社　1-820　図版1-196,　1992

12）坂本太郎・家永三郎・井甘光貞・大野　晋　“日本書紀上”日本古典文学大系　岩波書店 1967

13）島地　謙・伊東隆夫　『日本の遺跡出土木製品総覧』　雄山閣出版　1988

14）潘　彪・徐　永吉　南京宝船歴遺址出土木材的樹種鑑定和用材分析　230-251　『宝船歴遺址』南京市博物館編　文物出版社出版発行　2006

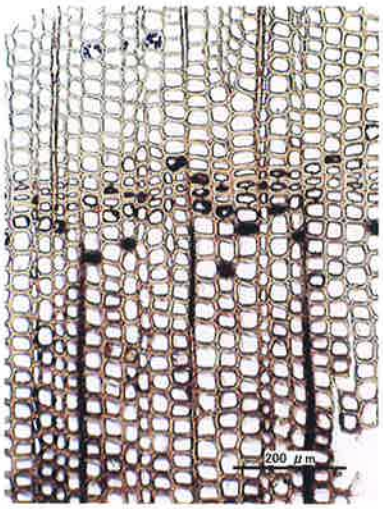
15）新安船　韓国国立海洋博物館　2006　（韓国語）

16）刘　鵬・杨　家駒・卢　鴻俊　東南亜熱帯木材　中国林業出版社　1993

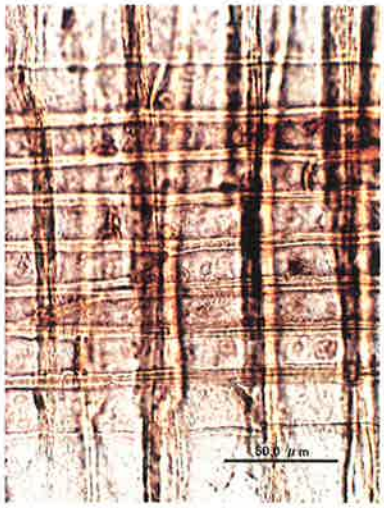

## 謝辞


本研究をはじめるにあたり、同研究を紹介いただき、激励いただいた独立行政法人国立文化財機構奈良文化財研究所の光谷拓実博士にお礼申し上げる。さらに、本研究を遂行するにあたり、鷹島海底遺跡から引き上げられた元寇船と思われる沈船に関わる木材試料の提供ならびに試料採取にご協力いただいた松浦市教育委員会の中田敦之氏および松尾昭子氏に感謝申し上げる。最後に、炭化したり、鉄さびを含んでいたり、あるいは脆弱になった多くの木片試料から辛抱強く顕微鏡用の標本（プレパラート）を作製いただいた兵庫県在住の川上　緑さんにもお礼申し上げたい。

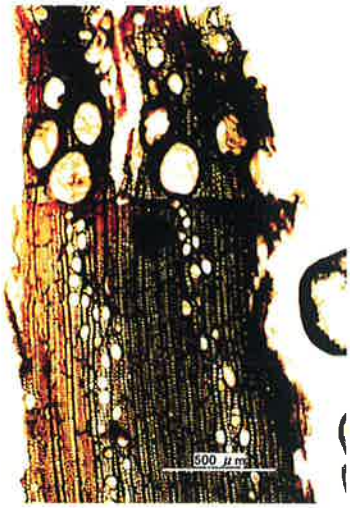
1．木彫像（No.0 KZK02-1408）
*Altingia* sp.




2．船（板）材（No.2 KZK02-1694）
ヒノキ科

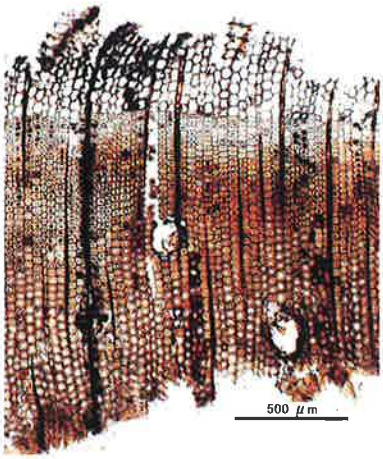



3．船（板）材（No.4 KZK02-1686）
コウヨウザン

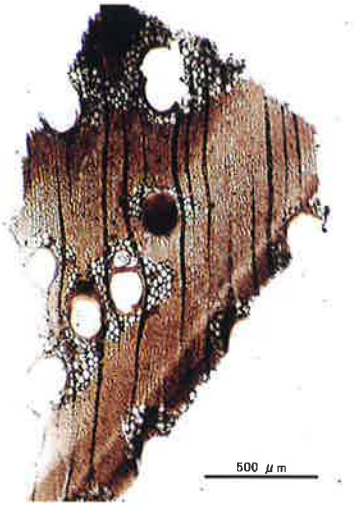



4．船材（船の飾り？）（No.5 KZK02-672）シイ属

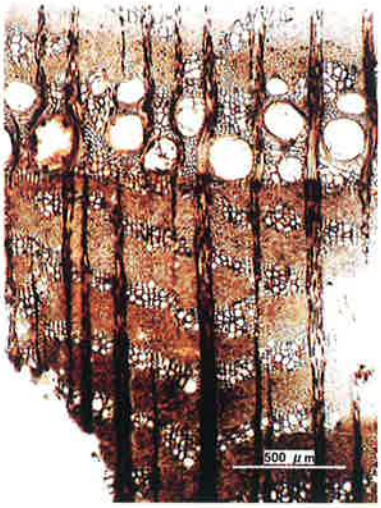
5．船（板）材（No.9 KZK02-1477）
クスノキ



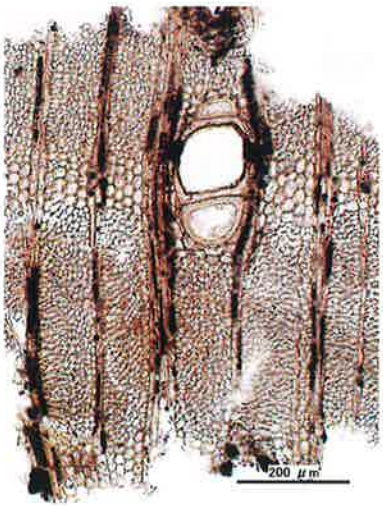

6．船（板）材（No.10 KZK02-1875）
マツ属複維管束亜属




7．板材？（No.12 KZK02-627）
*Erythrophloeum* sp.

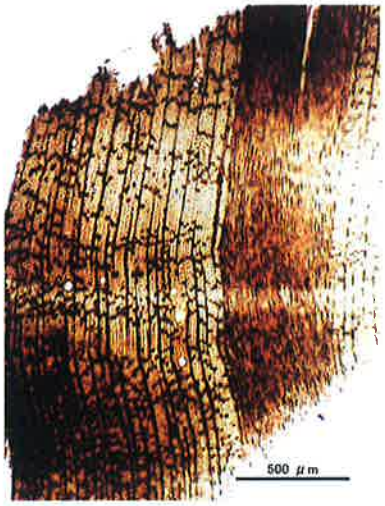



8．船（板）材（No.13 KZK02-848-b）
ニレ属



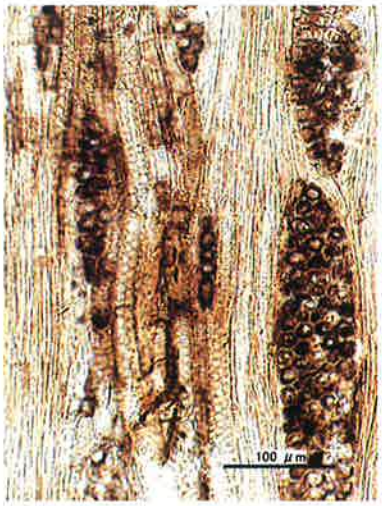

9．船（板）材（No.17 KZK02-1284）
*Terminalia catappa*

**図版１　鷹島海底遺跡出土木材の顕微鏡写真１－９**

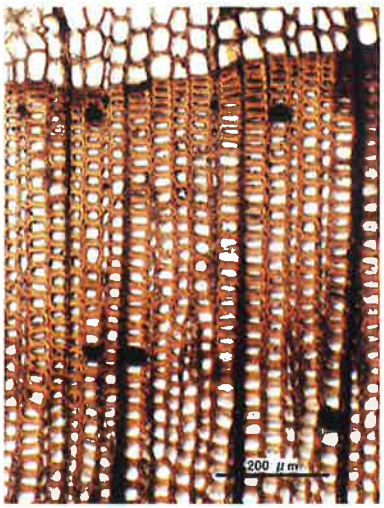



10. 船(板)材？(No.18 KZK02-629)
クヌギ節

11. 丸太材 (No.25 KZK02-1119)
マツ属複維管束亜属

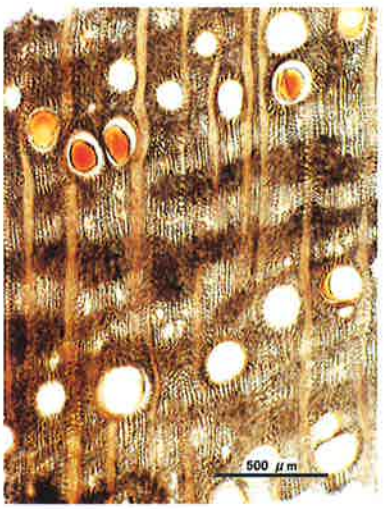



12. 船材 (No.29 KZK02-1744-c)
ニレ属

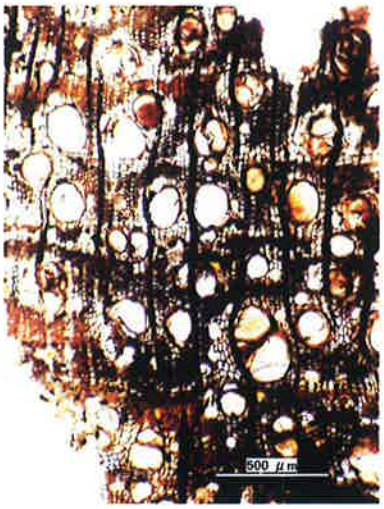



13. 船(角)材(No.35 KZK02-1771)
コウヨウザン

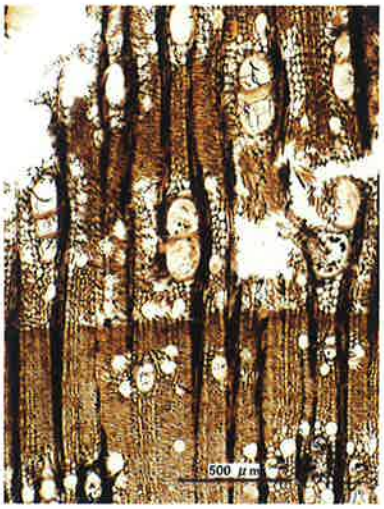
14. 角材片 (No.38 KZK02-1217)
マツ属複維管束亜属



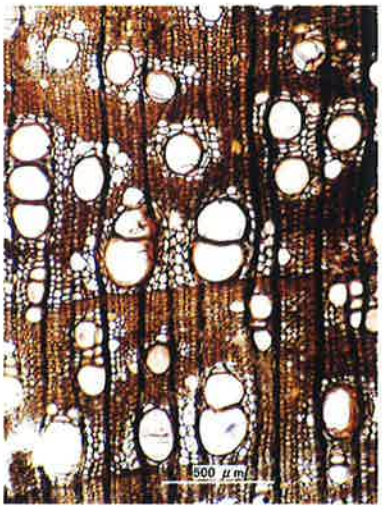

15. 船材 (No.43 KZK02-1046)
ムクロジ




16. 船(板)材(No.45 KZK02-1273)
クスノキ




17. 船材(外板)(No.60 KZK02-949)
クスノキ

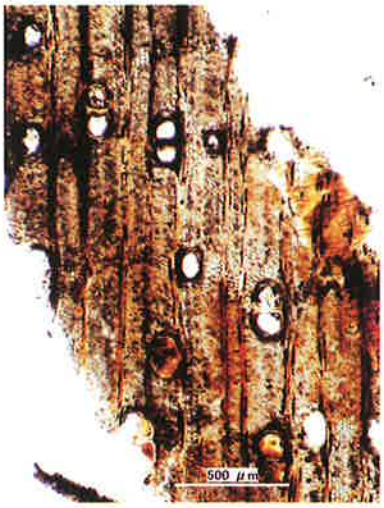



18. 船(板)材(No.61 KZK02-601)
クスノキ

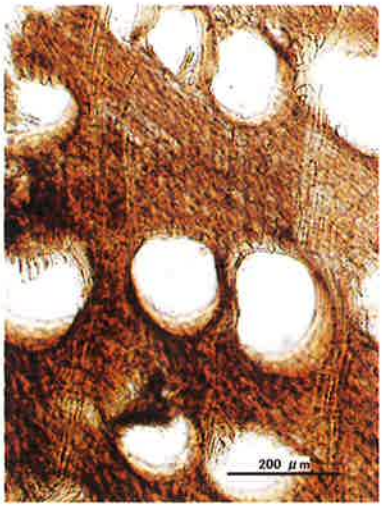
**図版２　鷹島海底遺跡出土木材の顕微鏡写真10－18**

19. 船（丸太）材？（No.66 KZK02-885-a）アカガシ亜属

20. 船（板）材（No.68 KZK02-988）スギ属



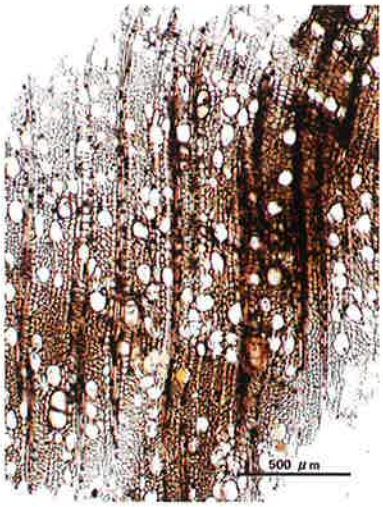

21. 船（板）材（No.70 KZK02-1338）*Terminalia catappa*




22. 丸太材（No.80 KZK02-1303）環孔材A

23. 船（隔壁）材（No.82 KZK02-1035-a）ツガ属

24. 丸太材（No.85 KZK02-1499）ニレ属




25. 船（板）材（No.88 KZK02-1606）散孔材A

26. 板材（No.91 KZK02-874）クスノキ

27. 丸太材（No.94 KZK02-854）*Dalbergia* sp.

**図版３　鷹島海底遺跡出土木材の顕微鏡写真19－27**

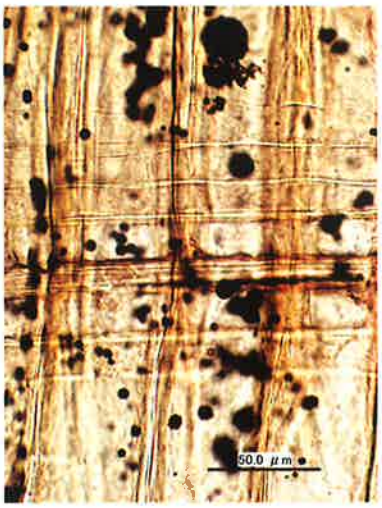
28. 船(板)材(No96 KZK02-1851)
クスノキ科

29. 船（丸太）材（No102
KZK02-1865）ニレ属

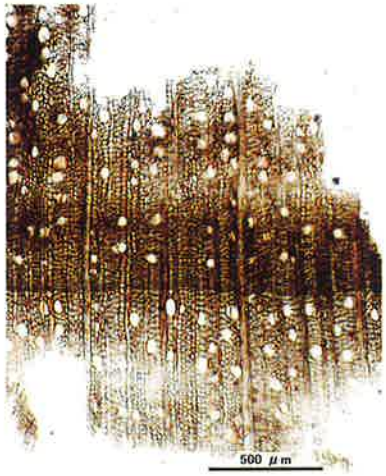
30. 丸太材（No103 KZK02-1879）
マツ属複維管束亜属

31. 丸太材（No105 KZK02-635）
マツ属複維管束亜属

32. 丸太材（No107 KZK02-1625-b）
チーク




33. 船(板)材(No113 KZK02-1638)
マツ属単維管束亜属



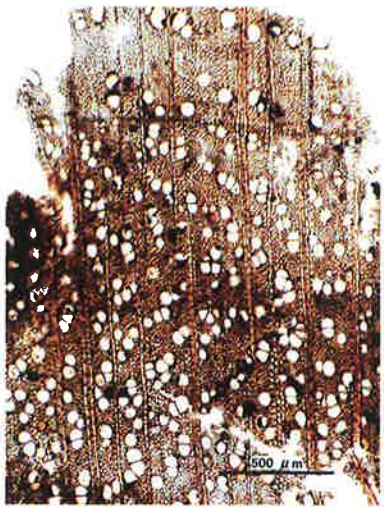

34. 丸太材（No117 KZK02-842）
散孔材

35. 丸太材（No118 KZK02-1347）
*Cotylelobium* sp.

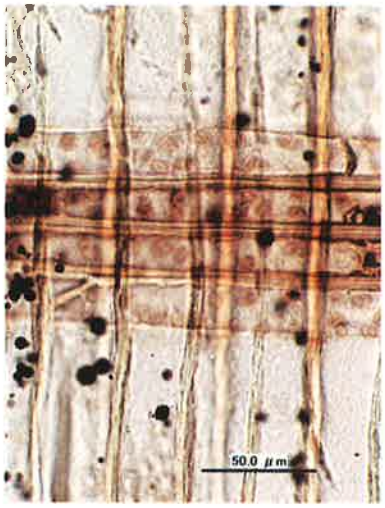
36. 船(板)材(No121 KZK02-990)
マツ属複維管束亜属

**図版４　鷹島海底遺跡出土木材の顕微鏡写真28-36**

37. 船(板)材(No125 KZK02-1458) *Dalbergia* sp.



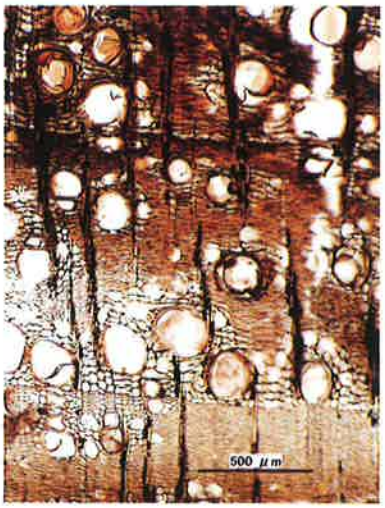

38. 丸太材 (No126 KZK02-1629) サクラ属



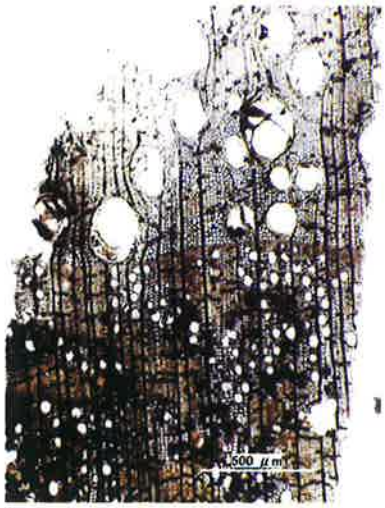

39. 船(角)材(No130 KZK02-1184) コウヨウザン

40. 船(角)材(No134 KZK02-836) コウヨウザン

41. 板材 (No139 KZK02-1867) アカガシ亜属

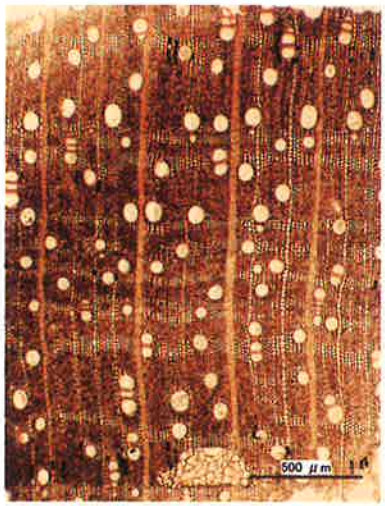



42. 船(板)材(No142 KZK02-1428-b) クスノキ



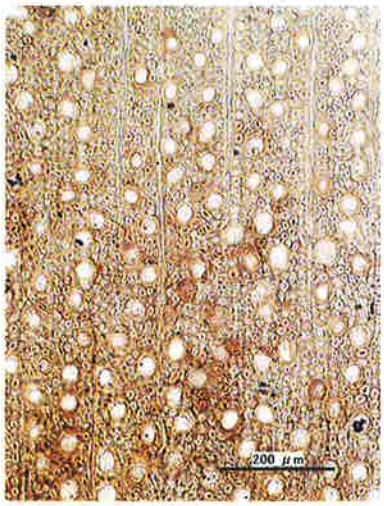

43. 船 (丸太) 材 (No144 KZK02-1344) シイ属

44. 櫛 (No145 KZK02-1169) ナツメ

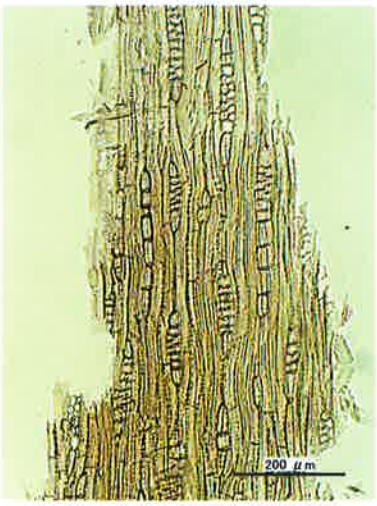



45. 棒状漆塗木製品 (No147 KZK02-1041) 散孔材B

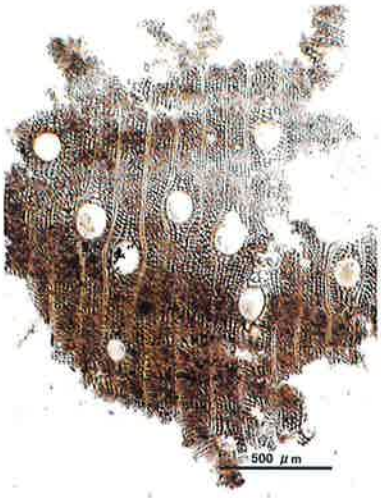
**図版5　鷹島海底遺跡出土木材の顕微鏡写真37－45**




46. 櫛（No.158 KZK02-1807-c）
ツゲ属




47. 木製印（No.160 KZK02-RW-1）
ツゲ属



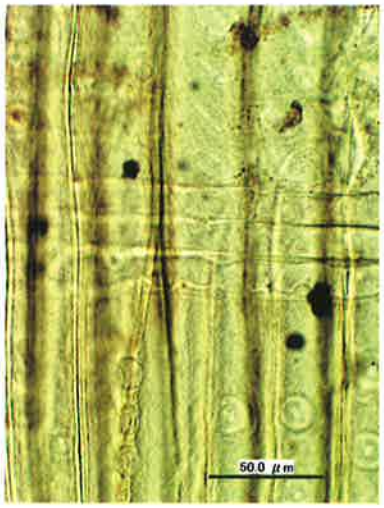

48. 漆塗弓（No.162 KZK02-1450）
*Dalbergia* sp.

49. 漆塗弓（No.163 KZK02-1170）
*Dalbergia* sp.

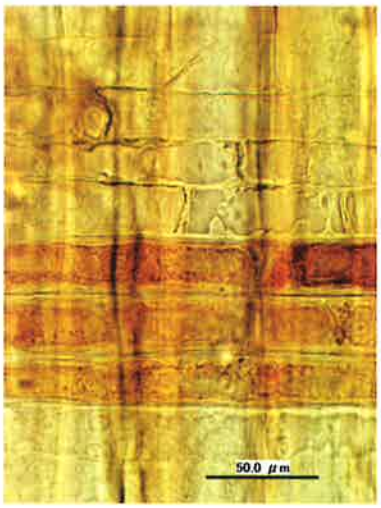
50. 漆製品（No.165 KZK02-1018）
クヌギ節

51. 元年銘漆塗木製品（No.167
KZK02-1407）*Pistachia* sp.

52. 輪状木製品(No.171 KZK02-1870)
*Erythrophloeum* sp.

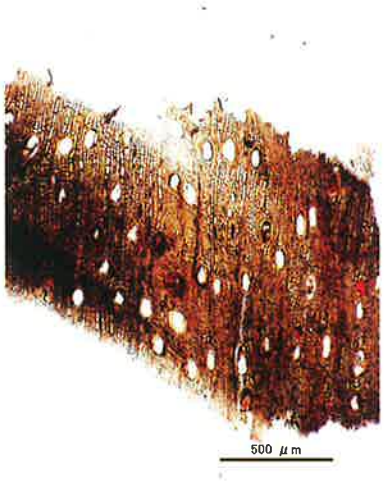



53. 把手（No.173 KZK02-853）
マツ属複維管束亜属



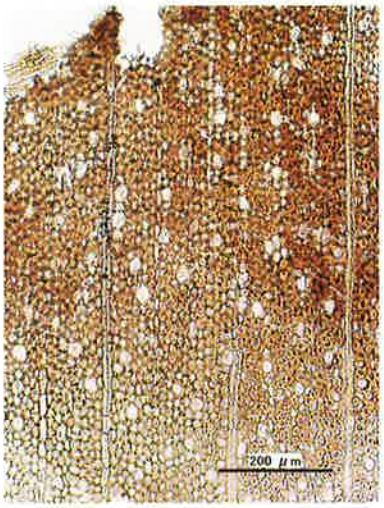

54. 木栓？（No.175 KZK02-1137）
マツ属複維管束亜属

**図版６　鷹島海底遺跡出土木材の顕微鏡写真46－54**




55. 柄（No.182 KZK02-1427）
ナツメ

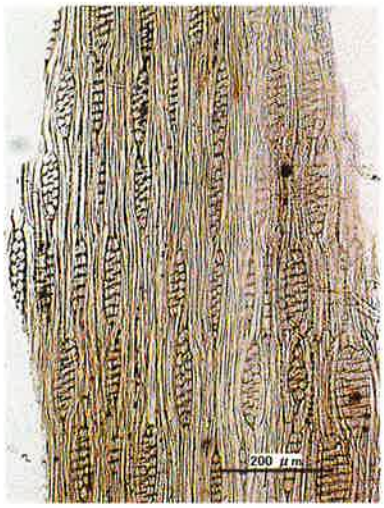
56. 銅製金具付棒状木製品（No.185
KZK02-1377）ツゲ属




57. 銅製金具付棒状木製品（No.186
KZK02-1319-b）ツゲ属

58. 八角柱状漆塗棒状製品
（No.192 KZK02-638）シイ属

59. 朱漆椀胴部破片（No.194
KZK02-RL-1）マツ属複維管束亜属



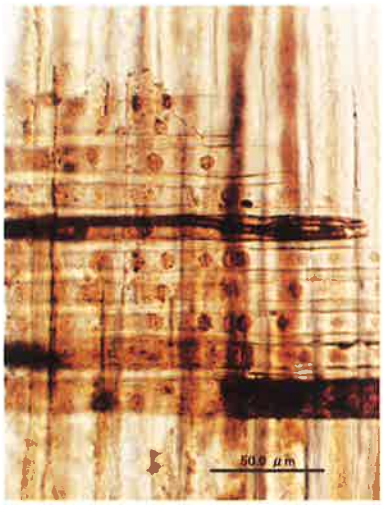

60. 黒漆塗弓の一部（No.195
KZK02-1735）*Dalbergia* sp.

61. 船（板）材（No.197
KZK02-1502-b）*Pometia* sp.

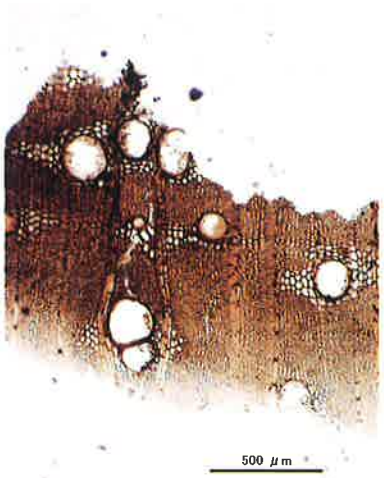
62. 船材（No.198 KZK02-843）
クスノキ

63. 板材（No.199 KZK02-880）
マツ属複維管束亜属

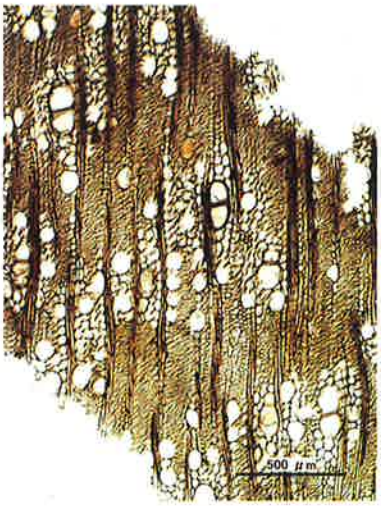
**図版７　鷹島海底遺跡出土木材の顕微鏡写真55－63**




64. 船(板)材(No204 KZK02-1748) コウヨウザン

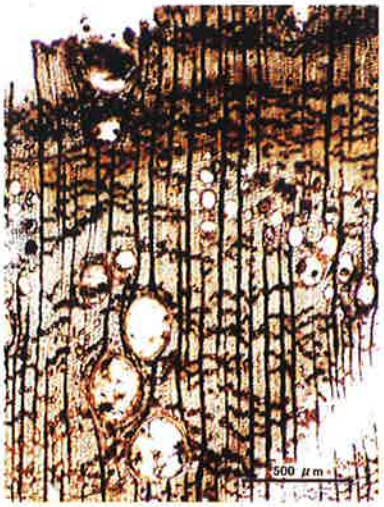



65. 船(柱)材(No207 KZK02-1861) *Ormosia* sp.

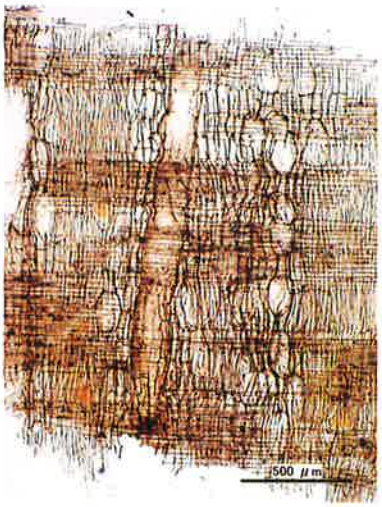



66. 船（隔壁梁）材（No208 KZK02-1439）クスノキ

67. 船(柱)材(No209 KZK02-1501) *Pometia* sp.




68. 船(柱)材(No211 KZK02-1863) シイ属



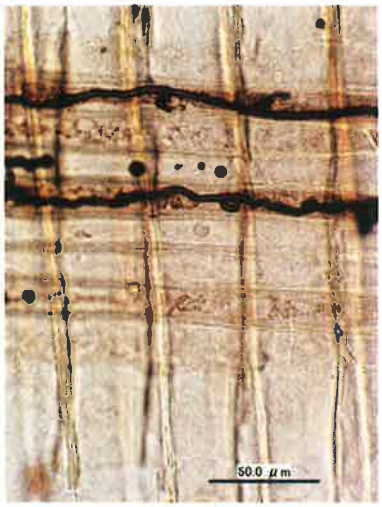

69. 船（隔壁梁）材（No213 KZK02-1142）クスノキ

70. 船(板)材(No214 KZK02-883) コウヨウザン

71. 船（隔壁）材？（No219 KZK02-1866）マツ属単維管束亜属

72. 船(板)材(No223 KZK02-1476) シイ属

**図版８　鷹島海底遺跡出土木材の顕微鏡写真64－72**




73. 船(板)材(No230 KZK02-1092)
コウヨウザン

74. 船(板)材(No237 KZK02-1021)
スギ属

75. 船(板)材(No240 KZK02-1171)
コウヨウザン

76. 板材 (No248 KZK02-1117)
マツ属複維管束亜属

77. 船(板)材(No253 KZK02-1435)
スギ属

78. 船(板)材(No255 KZK02-1131)
マツ属単維管束亜属

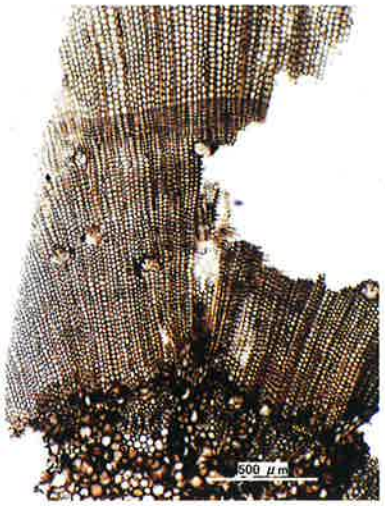
79. 船材 (No257 KZK02-986)
シイ属

80. 板材 (No258 KZK02-1101)
マキ属

81. 板材 (No260 KZK02-1128)
マツ属複維管束亜属

**図版９　鷹島海底遺跡出土木材の顕微鏡写真73－81**

82. 丸太材（No.265 KZK02-971）
マツ属複維管束亜属




83. 丸太（薪）材？（No.268
KZK02-1402）マツ属複維管束亜属

84. 板材（No.270 KZK02-677）
サクラ属

85. 板材？（No.271 KZK02-1293）
ニレ属

86. 丸太材（No.277 KZK02-1099）
マツ属複維管束亜属

87. 丸太材（No.282 KZK02-1645）
マツ属複維管束亜属

88. 船(板)材(No.287 KZK02-1174)
マツ属単維管束亜属

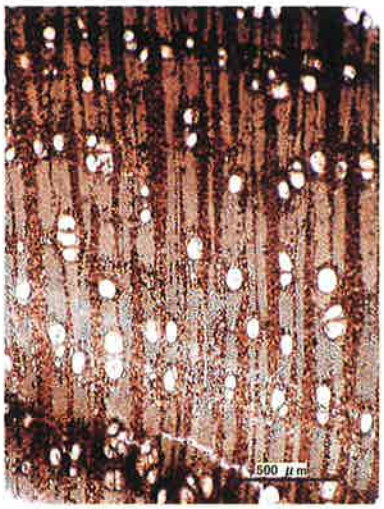
89. 船(板)材(No.290 KZK02-1216)
クスノキ

90. 板材（No.299 KZK02-1140）
チーク

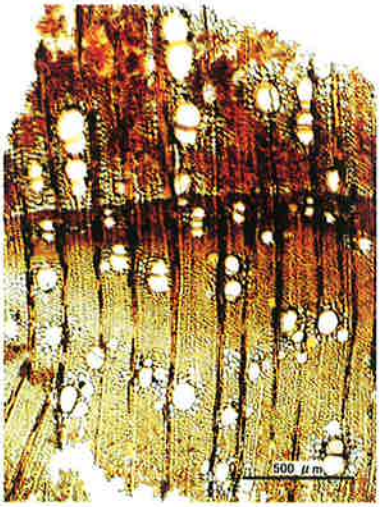
**図版10　鷹島海底遺跡出土木材の顕微鏡写真82－90**

91. 丸太材（No.302 KZK02-864-b）
エンジュ属

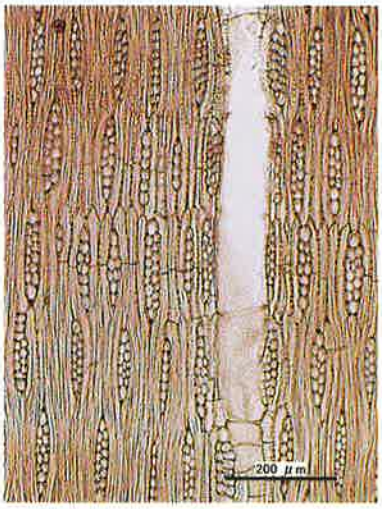
92. 板材（No.303 KZK02-686）
ニレ属




93. 丸太材（No.319 KZK02-999）
ニレ属



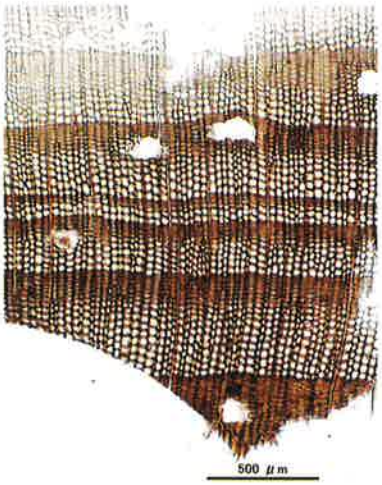

94. マストステップ（No.321
KZK01-193）クスノキ



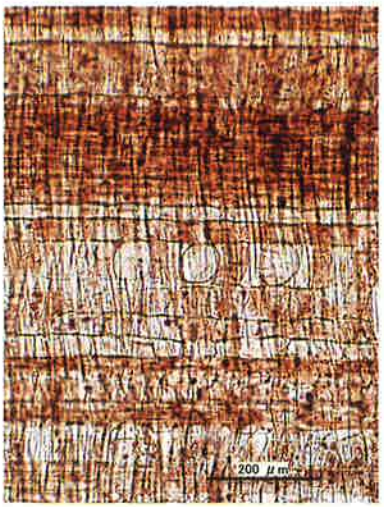

95. 板材（No.323 KZK01-355）
*Dalbergia* sp.

96. 丸太材（No.326 KZK01-190）
マツ属単維管束亜属

97. 船（板）材（No.328 KZK01-362）
ニレ属




98. 丸太材（No.329 KZK01-306）
マツ属複維管束亜属

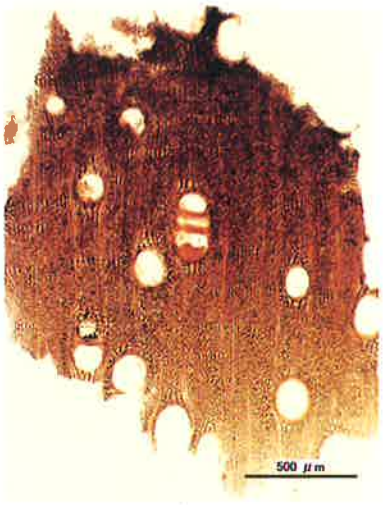



99. 丸太材片（No.331 KZK01-205）
ツバキ属

**図版11　鷹島海底遺跡出土木材の顕微鏡写真91－99**

100. 朱塗椀体部破片（No.336 KZK02-1114）スギ属

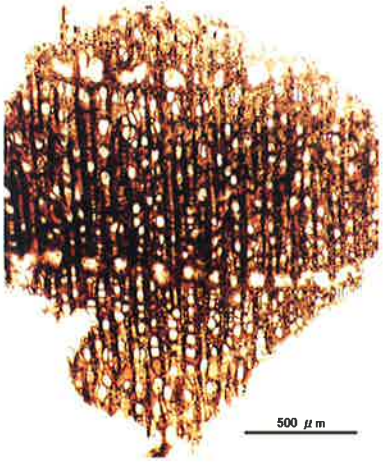
101. 朱漆椀小片（No.343 KZK02-2A～3A一括⑥-f）スギ属




102. 黒漆塗弓（No.345 KZK02-1761-b）*Dalbergia* sp.

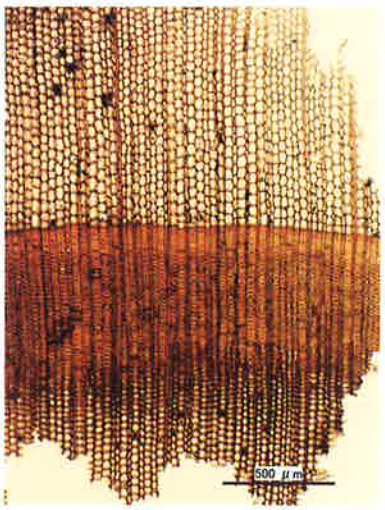
103. 柄（No.350 KZK02-1442）ナツメ

104. 矢柄（No.351 KZK02-1488）タケ亜科

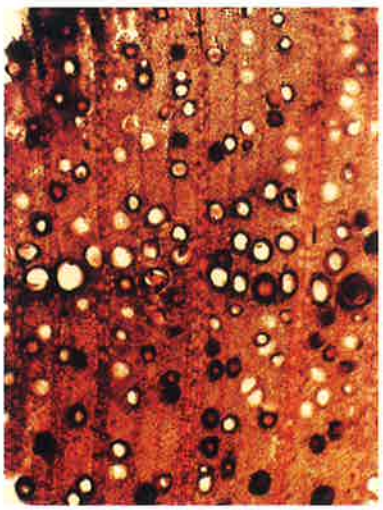



105. 船材（No.358 KZK02-1334）マンサク科

106. 丸太材（No.363 KZK02-1063）ニレ属

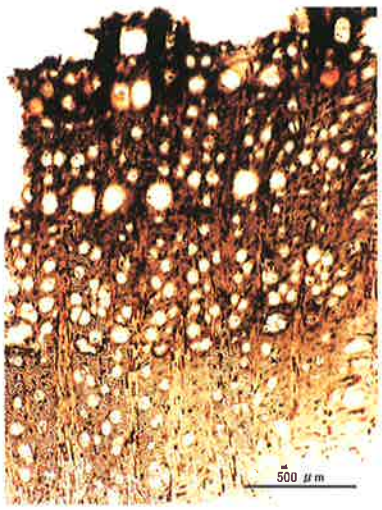



107. 船材（No.377 KZK02-1718）コウヨウザン



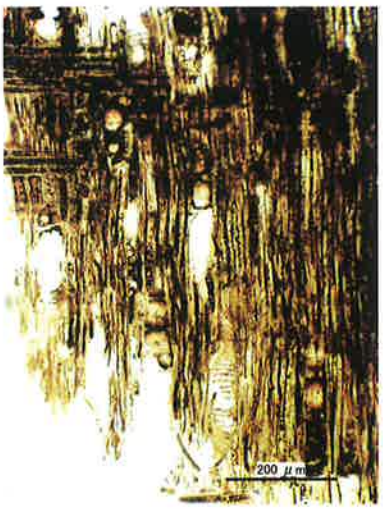
108. 薪材？自然木？（No.389 KZK02-1164）サクラ属

**図版12　鷹島海底遺跡出土木材の顕微鏡写真100－108**



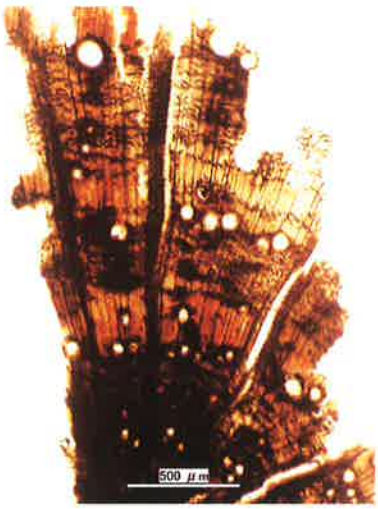

109. 板材（No399 KZK02-616）
バラ科A

110. 板材？（No403 KZK02-1281）
クスノキ科



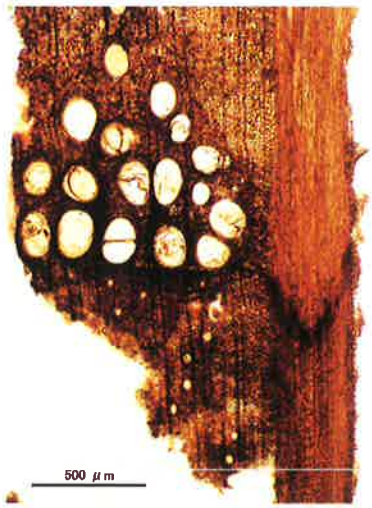

111. 丸太材？（No.404 KZK02-670）
イスノキ属

112. 丸太材（No405 KZK02-1479）
*Dalbergia* sp.




113. 丸太材（No412 KZK02-969）
クヌギ節

114. 丸太材（No.421 KZK02-685）
マキ属

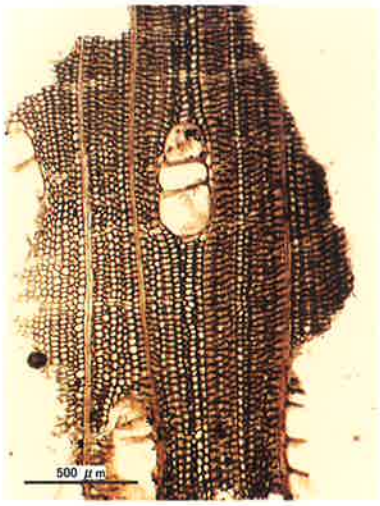



115. 船（板）材（No424
KZK02-1002）クヌギ節

116. 丸太材（No427 KZK02-749）
ハイノキ属

117. 丸太材？（No429
KZK02-1337-b）散孔材F

**図版13　鷹島海底遺跡出土木材の顕微鏡写真109-117**




118. ベニヤ板（No433 TKS12-7）
*Alstonia* sp.

119. 弓？（No434 TKS12-3）
環孔材B

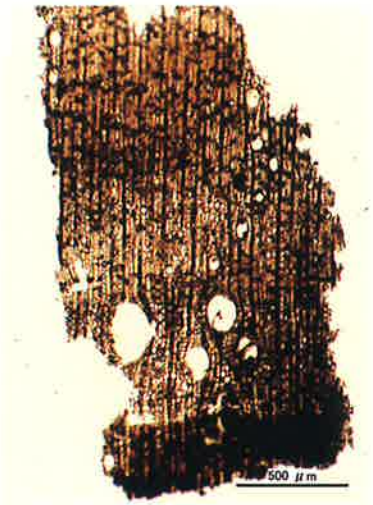
120. 刀の漆塗鞘（No435
TKS12-14）コウヨウザン

121. 黒漆塗弓（No437 TKS12-6）
*Dalbergia* sp.

122. 朱塗椀底部（No438 TKS12-5）
キリ属

123. 漆塗弓の先？（No440 TKS15-3）
ヒノキ科

124. 椀底部（No441 TKS14-14）
スギ属

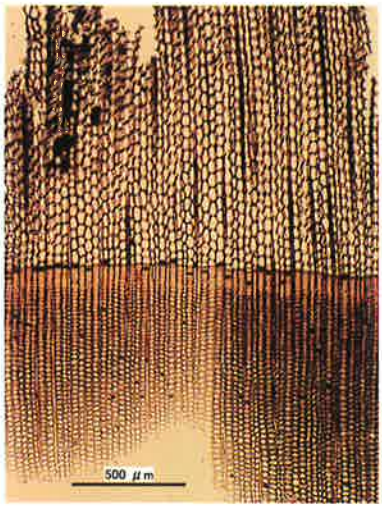



125. 丸太材（No449
KZK02-1030-b）シイ属

126. 丸太材（No466 KZK02-1446）
*Dalbergia* sp.

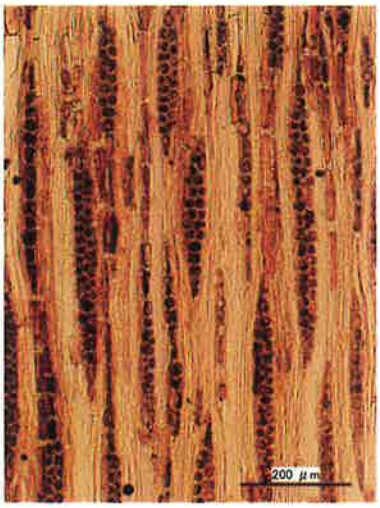
**図版14　鷹島海底遺跡出土木材の顕微鏡写真118－126**

127. 船(板)材(No480 KZK02-859)
クスノキ

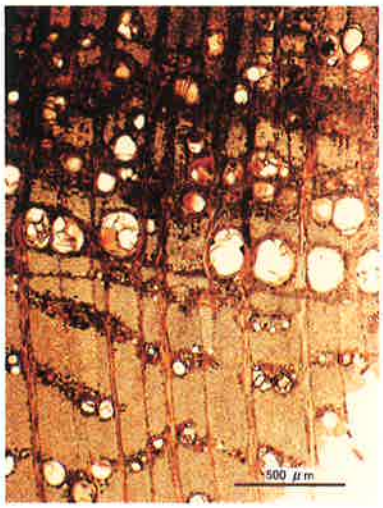



128. 板材 (No483 KZK02-888-c)
スギ属

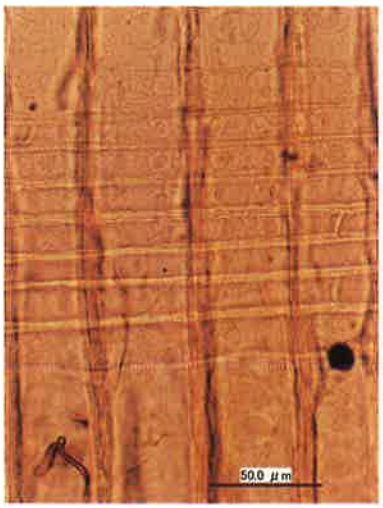
129. 丸太材 (No508 KZK01-196)
ナツメ




130. 丸太材？(No520 KZK01-303)
ヤマモモ属

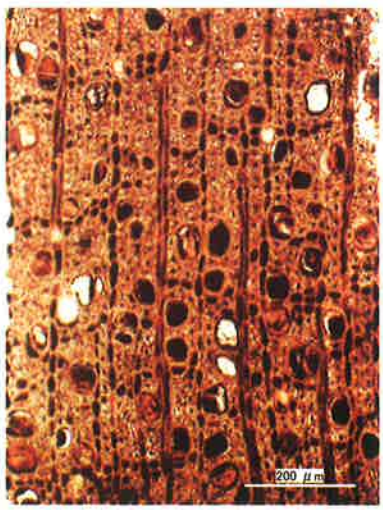



131. 丸太材 (No521 KZK01-345)
ニレ属

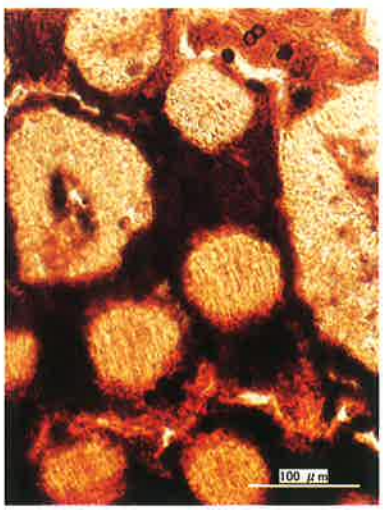



132. 船(板)材(No527 KZK01-354)
コウヨウザン

133. 板材 (No.553 TKS13-38)
アカガシ亜属




134. 板材 (No597 TKS12-17-b)
*Altingia* sp.




135. 縄 (No599 TKS14-31)
シュロ属

**図版15　鷹島海底遺跡出土木材の顕微鏡写真127－135**

## 表１　鷹島海底遺跡出土木材の樹種同定一覧*

| 試料番号 | 調査年 | 遺物番号 | 保管場所 | 種　　別 | 樹　　種 | 備　　考 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 0 | KZK02 | 1408 | 九国博貸出 | 木彫像（神像？） | *Altingia* sp. | |
| 1 | KZK02 | 1871 | 水槽６ | 船材、板材 | マツ属複維管束亜属 | ほぞ穴有、釘穴、釘痕 |
| 2 | KZK02 | 1694 | 水槽６ | 船材、板材 | ヒノキ科 | 釘穴４ |
| 3 | KZK02 | 1697 | 水槽６ | 船材、角材 | コウヨウザン | 釘穴１ |
| 4 | KZK02 | 1686 | 水槽６ | 船材、板材 | コウヨウザン | 釘穴２ |
| 5 | KZK02 | 672 | 水槽６ | 船材、船の飾り？ | シイ属 | 板材、表面が炭化　長さ29.8cm、幅10cm |
| 6 | KZK02 | 1677 | 水槽６ | 船材、板材 | クスノキ | 釘穴１、長さ16cm、幅７cm |
| 7 | KZK02 | 1325 | 水槽６ | 船材、板材 | マツ属複維管束亜属 | 釘穴２ |
| 8 | KZK02 | 1491 | 水槽６ | 船材、板材 | 広葉樹 | 釘穴２ |
| 9 | KZK02 | 1477 | 水槽６ | 船材、板材 | クスノキ | 釘穴３、釘痕あり |
| 10 | KZK02 | 1875 | 水槽６ | 船材、板材 | マツ属複維管束亜属 | 釘穴２ |
| 11 | KZK02 | 742 | 水槽６ | 船材、板材 | クスノキ | 釘穴有 |
| 12 | KZK02 | 627 | 水槽６ | 板材？ | *Erythrophloeum* sp. | 表面一部炭化　長さ27cm、幅11.5cm |
| 13 | KZK02 | 848-b | 水槽６ | 船材、板材 | ニレ属 | くり込み有、釘穴５ |
| 14 | KZK02 | 1827 | 水槽６ | 船材、板材 | マツ属複維管束亜属 | 表面炭化、釘痕あり |
| 15 | KZK02 | 1678 | 水槽６ | 船材、板材 | コウヨウザン？ | 抉り有、釘穴有、長さ13.3cm、幅6.7cm |
| 16 | KZK02 | 1725 | 水槽６ | 船材、板材 | コウヨウザン | 釘穴２ |
| 17 | KZK02 | 1284 | 水槽６ | 船材、板材 | *Terminalia catappa* | 釘穴３、一部加工した表面部分が残る　長さ24cm、幅８cm |
| 18 | KZK02 | 629 | 水槽６ | 船材？板材 | クヌギ節 | 表面炭化、中は刳り貫いたような虫害　長さ40cm、幅９cm |
| 19 | KZK02 | 1762 | 水槽６ | 船材、板材 | ニレ属 | 板材片、釘穴３ |
| 20 | KZK02 | 951 | 水槽６ | 船材、板材 | マツ属複維管束亜属 | 板材、釘穴有２ |
| 21 | KZK02 | 1270 | 水槽７ | 船材、角材 | マツ属複維管束亜属 | 釘痕有 |
| 22 | KZK02 | 1743 | 水槽７ | 船材、角材 | マツ属複維管束亜属 | 加工痕、コンクリーション有 |
| 23 | KZK02 | 795 | 水槽７ | 船材、丸太材 | モチノキ属 | 釘穴有　長さ26.5cm、幅6.5cm |
| 24 | KZK02 | 680 | 水槽７ | 角材片 | ヒノキ科 | 角材片 |
| 25 | KZK02 | 1119 | 水槽７ | 丸太材 | マツ属複維管束亜属 | 丸太材 |
| 26 | KZK02 | 1305 | 水槽７ | 船材、板材 | ニレ属 | 板材、釘穴有 |
| 27 | KZK02 | 747 | 水槽７ | 丸太材 | マツ科 | 丸太材片 |
| 28 | KZK02 | 645 | 水槽７ | 丸太材片 | マツ属複維管束亜属 | 丸太材、両端に切断痕 |
| 29 | KZK02 | 1744-c | 水槽７ | 船材 | ニレ属 | 釘付着（釘の錆により、釘の周囲の材が残る） |
| 30 | KZK02 | 1744-d | 水槽７ | 船材 | ニレ属 | 釘付着（釘の錆により、釘の周囲の材が残る） |
| 31 | KZK02 | 1318 | 水槽７ | 船材、板材 | クスノキ科 | 釘付着 |
| 32 | KZK02 | 1296 | 水槽７ | 板材？ | マツ属複維管束亜属 | 焼け板、組合せ |
| 33 | KZK02 | 1154 | 水槽７ | 船材、板材 | クスノキ | 焼け板 |
| 34 | KZK02 | 1719 | 水槽７ | 炭化材 | ― | 炭化 |
| 35 | KZK02 | 1771 | 水槽７ | 船材、角材 | コウヨウザン | 釘穴有 |
| 36 | KZK02 | 1359 | 水槽７ | 船材、丸太材 | マツ属複維管束亜属 | 釘痕有 |
| 37 | KZK02 | 1333 | 水槽７ | 船材、板材 | マツ科 | 釘痕あり、一部炭化 |
| 38 | KZK02 | 1217 | 水槽７ | 角材片 | マツ属複維管束亜属 | 木材片 |
| 39 | KZK02 | 1301 | 水槽７ | 板材？ | マツ属複維管束亜属 | 焼け痕あり |
| 40 | KZK02 | 1308 | 水槽７ | 木皮 | 樹皮 | |
| 41 | KZK02 | 1328 | 水槽７ | 丸太材？ | ニレ属 | |
| 42 | KZK02 | 1282 | 水槽７ | 丸太材？ | マツ属単維管束亜属 | 一部炭化 |
| 43 | KZK02 | 1046 | 水槽７ | 船材 | ムクロジ | 釘痕あり、幅９cm |
| 44 | KZK02 | 1367 | 水槽７ | 船材？ | クスノキ | 木材片 |
| 45 | KZK02 | 1273 | 水槽７ | 船材、板材 | クスノキ | 釘あり |
| 46 | KZK02 | 1055 | 水槽７ | 船材、板材？ | クスノキ | 釘穴１ |
| 47 | KZK02 | 1295 | 水槽７ | 板材？ | マツ属複維管束亜属 | 焼け板、組合せ |
| 48 | KZK02 | 1400 | 水槽７ | 板材？ | クスノキ | 長さ20.5cm、幅10.5cm |
| 49 | KZK02 | 1023 | 水槽７ | 船材、板材 | マツ属複維管束亜属 | 板材片、中央に釘穴有、表面炭化 |
| 50 | KZK02 | 1768 | 水槽７ | 船材、板材 | クスノキ科 | 釘痕あり |

| 試料番号 | 調査年 | 遺物番号 | 保管場所 | 種　　別 | 樹　　種 | 備　　考 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 51 | KZK02 | 1770 | 水槽７ | 船材、板材 | マツ属複維管束亜属？ | 一部加工痕、コンクリーションあり |
| 52 | KZK02 | 1035-d | 水槽７ | 船材、板材？ | コウヨウザン？ | 釘穴有、一部炭化　長さ8.2cm　幅3.4cm |
| 53 | KZK02 | 1843 | 水槽７ | 船材、板材 | コウヨウザン？ | 加工痕、コンクリーション有 |
| 54 | KZK02 | 1327 | 水槽７ | 丸太材？ | ニレ属 | 中央に穴有 |
| 55 | KZK02 | 1739 | 水槽７ | 船材、板材 | マツ属複維管束亜属 | 釘穴有、コンクリーション有 |
| 56 | KZK02 | 609 | 水槽７ | 船材、板材 | コウヨウザン？ | 釘痕あり |
| 57 | KZK02 | 611 | 水槽７ | 船材、板材 | クスノキ | 釘痕あり |
| 58a | KZK02 | 1165 | 水槽７ | 船材、板材 | ― | 釘付着 |
| 58b | KZK02 | 909 | 水槽２ | 船材（外板） | クスノキ | 板材船の外板？釘、釘穴多数、コンクリーション有 |
| 59 | KZK02 | 1854 | 水槽２ | 船材、板材 | クスノキ | 板材片 |
| 60 | KZK02 | 949 | 水槽２ | 船材（外板） | クスノキ | 外板、小口端部を斜めに加工、釘痕多数、コンクリーション有 |
| 61 | KZK02 | 601 | 水槽２ | 船材、板材 | クスノキ | 板材、端部に20×20cmのくり込みあり |
| 62 | KZK02 | 918 | 水槽２ | 船材、外板(909)の一部 | クスノキ | 角穴あり、外板 |
| 63 | KZK02 | 1069 | 水槽２ | 丸太材、まき材？ | マツ属複維管束亜属 | 丸太材、端部に切り込みあり |
| 64 | KZK02 | 1860 | 水槽２ | 船材、板材 | コウヨウザン？ | 板材片、端部に鉄 |
| 65 | KZK02 | 1443 | 水槽２ | 船材、丸太材 | コウヨウザン？ | 釘痕２つ |
| 66 | KZK02 | 885-a | 水槽２ | 船材？、丸太材？ | アカガシ亜属 | 板材 |
| 67 | KZK02 | 1315 | 水槽２ | 丸太材 | マツ属複維管束亜属 | 丸太材、一部皮残存 |
| 68 | KZK02 | 988 | 水槽２ | 船材、板材 | スギ属 | 板材、釘穴２つ |
| 69 | KZK02 | 1314 | 水槽２ | 丸太材 | マツ属単維管束亜属 | 丸太材、二股に分かれている |
| 70 | KZK02 | 1338 | 水槽２ | 船材、板材 | *Terminalia catappa* | 板材片、釘痕１つ、№1339と同一か？ |
| 71 | KZK02 | 1346 | 水槽２ | 船材、板材 | コウヨウザン | 板材片、釘穴３つ |
| 72 | KZK02 | 1339 | 水槽２ | 船材、板材 | *Terminalia catappa* | 板材片、釘痕２つ、№1338と同一か？コンクリーション有 |
| 73 | KZK02 | 996 | 水槽２ | 船材、板材 | マツ属複維管束亜属 | 釘穴１つ |
| 74 | KZK02 | 1399 | 水槽２ | 船材、板材 | クスノキ | 板材片、釘１本あり |
| 75 | KZK02 | 998 | 水槽２ | 船材、板材 | コウヨウザン？ | 板材片、釘痕有 |
| 76 | KZK02 | 1081 | 水槽２ | 板材 | クスノキ | 板材 |
| 77 | KZK02 | 1394 | 水槽２ | 加工材、角材 | マツ属複維管束亜属 | 加工材、片方が反り鋭利に削ぎ落とされる |
| 78 | KZK02 | 1012 | 水槽２ | 船材、角材 | ニレ属 | 板材 |
| 79 | KZK02 | 991 | 水槽２ | 丸太材 | マツ属複維管束亜属？ | 抉り有 |
| 80 | KZK02 | 1303 | 水槽２ | 丸太材 | 環孔材Ａ | 丸太材、太さがほぼ均等でカーブしている |
| 81 | KZK02 | 1900 | 水槽２ | 丸太材 | マツ属複維管束亜属 | 台形状板材、釘穴２つ |
| 82 | KZK02 | 1035-a | 水槽２ | 船材（隔壁材） | ツガ属 | 隔壁、２つの板材の組合せ |
| 83 | KZK02 | 1859 | 水槽２ | 船材、板材 | マツ属複維管束亜属 | 板材片、釘穴１つ |
| 84 | KZK02 | 851 | 水槽２ | 板材 | ヒノキ科 | 丸太加工の板材 |
| 85 | KZK02 | 1499 | 水槽２ | 丸太材 | ニレ属 | 丸太片 |
| 86 | KZK02 | 1776 | 水槽２ | 丸太材 | マツ属複維管束亜属 | 丸太片 |
| 87 | KZK02 | 1620 | 水槽２ | 板材 | クスノキ | 板材片 |
| 88 | KZK02 | 1606 | 水槽２ | 船材、板材 | 散孔材Ａ | 角材片、釘１本 |
| 89 | KZK02 | 964 | 水槽２ | 丸太材、板材 | ニレ属 | 丸太材 |
| 90 | KZK02 | 1457 | 水槽２ | 船材、板材 | クスノキ | 板材、２ヶ所にほぞ穴、加工痕 |
| 91 | KZK02 | 874 | 水槽２ | 板材 | クスノキ | 板材片 |
| 92 | KZK02 | 875 | 水槽２ | 船材、板材 | クスノキ | 板材片、釘穴１つ |
| 93 | KZK02 | 1397 | 水槽２ | 丸太材 | マツ属単維管束亜属 | 柱片か？ |
| 94 | KZK02 | 854 | 水槽２ | 丸太材 | *Dalbergia* sp. | 丸太材、枝部有、二股になっている |
| 95 | KZK02 | 1401 | 水槽２ | 船材、板材 | クスノキ | 板材片 |
| 96 | KZK02 | 1851 | 水槽２ | 船材、板材 | クスノキ科 | 台形状板材、釘痕２つ、船底部横板？ |
| 97 | KZK02 | 1396 | 水槽２ | 丸太材 | マツ属単維管束亜属 | 丸太材片 |
| 98 | KZK02 | 632 | 水槽２ | 丸太材 | マツ属単維管束亜属 | 丸太材 |
| 99 | KZK02 | 1059 | 水槽２ | 丸太材 | マツ属複維管束亜属 | 丸太材、根元に加工あり、わずかに反る |
| 100 | KZK02 | 1013 | 水槽２ | 船材、板材 | クスノキ | 板材片、釘穴複数あり |
| 101 | KZK02 | 1106 | 水槽２ | 丸太材 | マツ属複維管束亜属 | 丸太材片 |

| 試料番号 | 調査年 | 遺物番号 | 保管場所 | 種　　別 | 樹　　種 | 備　　考 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 102 | KZK02 | 1865 | 水槽２ | 船材、丸太材 | ニレ属 | 表面炭化 |
| 103 | KZK02 | 1879 | 水槽２ | 丸太材 | マツ属複維管束亜属 | 丸太材 |
| 104 | KZK02 | 1118 | 水槽２ | 丸太材 | マツ属複維管束亜属 | 丸太材、根元加工痕 |
| 105 | KZK02 | 635 | 水槽２ | 丸太材 | マツ属複維管束亜属 | 丸太材片 |
| 106 | KZK02 | 1330-a | 水槽２ | 板材 | アカガシ亜属？ | 表面炭化、長さ65cm、幅15cm |
| 107 | KZK02 | 1625-b | 水槽２ | 丸太材 | チーク | 丸太材、ほぼ太さが均一、反っている |
| 108 | KZK02 | 1707 | 水槽２ | 丸太材 | マツ属複維管束亜属 | 丸太材片 |
| 109 | KZK02 | 1858 | 水槽２ | 丸太材 | マツ属複維管束亜属 | 丸太材片 |
| 110 | KZK02 | 1047-a | 水槽２ | 船材、板材 | クスノキ | 板材片、釘付着、コンクリーション有 |
| 111 | KZK02 | 1060 | 水槽２ | 船材、板材 | スギ科 | 板材片 |
| 112 | KZK02 | 1456 | 水槽２ | 船材、板材 | クスノキ | 板材 |
| 113 | KZK02 | 1638 | 水槽２ | 船材、板材 | マツ属単維管束亜属 | 板材、釘痕あり、棚板？ |
| 114 | KZK02 | 681 | 水槽２ | 丸太材 | マツ属複維管束亜属 | 丸太材 |
| 115 | KZK02 | 1641 | 水槽２ | 丸太材 | マツ属複維管束亜属 | 丸太材片 |
| 116 | KZK02 | 1772 | 水槽２ | 丸太材 | マツ属複維管束亜属 | 丸太材片、小口切断痕あり |
| 117 | KZK02 | 842 | 水槽２ | 丸太材 | 散孔材 | 木材片、加工痕あり |
| 118 | KZK02 | 1347 | 水槽２ | 丸太材 | *Cotylelobium* sp. | 丸太材 |
| 119 | KZK02 | 1219 | 水槽２ | 丸太材 | マツ属複維管束亜属 | 丸太片 |
| 120 | KZK02 | 1368 | 水槽２ | 丸太材 | マツ属複維管束亜属 | 丸太片 |
| 121 | KZK02 | 990 | 水槽２ | 船材、板材 | マツ属複維管束亜属 | 丸太材片 |
| 122 | KZK02 | 1466 | 水槽２ | 船材、板材 | クスノキ | 板材片、３ヶ所の抉り、加工痕 |
| 123 | KZK02 | 1392 | 水槽２ | 角材 | シイ属 | 丸太材片 |
| 124 | KZK02 | 1862 | 水槽２ | 丸太材 | マツ属複維管束亜属 | 丸太材片、両端に切断痕あり |
| 125 | KZK02 | 1458 | 水槽２ | 船材、板材 | *Dalbergia* sp. | 木材片 |
| 126 | KZK02 | 1629 | 水槽２ | 丸太材 | サクラ属 | 木材片 |
| 127 | KZK02 | 1070 | 水槽２ | 船材、丸太材 | マツ属複維管束亜属 | 丸太材、基部に切り込みあり |
| 128 | KZK02 | 1032 | 水槽２ | 丸太材 | マツ属単維管束亜属 | 丸太加工品、側面が半月状 |
| 129 | KZK02 | 1428-a | 水槽２ | 船材、板材 | クスノキ | 板材、釘痕あり |
| 130 | KZK02 | 1184 | 水槽２ | 船材、角材 | コウヨウザン | ほぞ穴あり |
| 131 | KZK02 | 1497-a | 水槽２ | 丸太材 | マツ属複維管束亜属 | 丸太材 |
| 132 | KZK02 | 1805 | 水槽２ | 丸太材 | マツ属複維管束亜属 | 丸太材、基部に切断痕あり |
| 133 | KZK02 | 1812 | 水槽２ | 丸太材 | マツ属複維管束亜属 | 丸太材、基部に切断痕あり |
| 134 | KZK02 | 836 | 水槽２ | 船材、角材 | コウヨウザン | 釘穴１つ |
| 135 | KZK02 | 1288 | 水槽２ | 丸太材 | マツ属複維管束亜属 | №1290(矢束25本前後)付着丸太材 |
| 136 | KZK02 | 1008 | 水槽２ | 船材、角材 | スギ属 | 角材 |
| 137 | KZK02 | 1355 | 水槽２ | 船材、丸太材 | クスノキ | 板材、釘痕あり |
| 138 | KZK02 | 876 | 水槽２ | 丸太材 | マツ属複維管束亜属 | 丸太加工材 |
| 139 | KZK02 | 1867 | 水槽２ | 板材 | アカガシ亜属 | 焼け痕あり |
| 140 | KZK02 | 1007 | 水槽２ | 船材、板材 | クスノキ | 釘穴２つ |
| 141 | KZK02 | 856 | 水槽２ | 角材 | ニレ属 | 柱材？ |
| 142 | KZK02 | 1428-b | 水槽２ | 船材、板材 | クスノキ | ６cm角ほぞあり |
| 143 | KZK02 | 1880 | 水槽２ | 船材、角材 | スギ科 | 板材、釘穴９つ |
| 144 | KZK02 | 1344 | 水槽２ | 船材、丸太材 | シイ属 | 板材、釘穴数ヶ所あり |
| 145 | KZK02 | 1169 | 資料館展示 | 櫛 | ナツメ | |
| 146 | KZK02 | 604 | 資料館展示 | 朱塗櫛 | シイ属 | |
| 147 | KZK02 | 1041 | 元興寺処理中 | 漆塗棒状木製品 | 散孔材Ｂ | 朱塗 |
| 148 | KZK02 | 605 | 資料館展示 | 朱塗椀 | スギ科 | |
| 149 | KZK02 | 735 | 資料館展示 | 「張(花押)」銘刻書朱塗椀 | ― | 断片未処理あり |
| 150 | KZK02 | 2A～3B一括 | 整理室 | 朱漆椀片 | ― | |
| 151 | KZK02 | 1714 | 元興寺処理中 | 朱漆椀片 | コウヨウザン | |
| 152 | KZK02 | 1835-aかb | 元興寺処理中 | 朱漆椀片 | ― | |
| 153 | KZK02 | 1814-b | 元興寺処理中 | 朱漆椀片 | コウヨウザン | |

| 試料番号 | 調査年 | 遺物番号 | 保管場所 | 種　　別 | 樹　　種 | 備　　考 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 154 | KZK02 | 1756 | 元興寺処理中 | 朱漆椀 | コウヨウザン？ | |
| 155 | KZK02 | 607 | 元興寺処理中 | 朱塗椀小片 | コウヨウザン | |
| 156 | KZK02 | 1437 | 元興寺処理中 | 漆椀底部 | ヒノキ科 | |
| 157 | KZK02 | 1800 | 資料館展示 | 櫛 | *Dalbergia* sp. | |
| 158 | KZK02 | 1807-c | 資料館展示 | 櫛 | ツゲ属 | |
| 159 | KZK02 | 871 | 元興寺処理 | 漆塗弓 | ― | |
| 160 | KZK02 | RW-1 | 資料館展示 | 木製印 | ツゲ属 | |
| 161 | KZK02 | RL-2 | 元興寺処理中 | 漆塗弓 | *Dalbergia* sp. | |
| 162 | KZK02 | 1450 | 元興寺処理 | 漆塗弓 | *Dalbergia* sp. | |
| 163 | KZK02 | 1170 | 元興寺処理 | 漆塗弓 | *Dalbergia* sp. | |
| 164 | KZK02 | No不明 | 整理室 | 朱漆椀片 | ― | |
| 165 | KZK02 | 1018 | 元興寺処理中 | 漆製品 | クヌギ節 | |
| 166 | KZK02 | 356 | 元興寺処理中 | 弩弓？ | ニレ属 | |
| 167 | KZK02 | 1407 | 京都科学処理 | 元年…銘漆塗木製品 | *Pistachia* sp. | |
| 168 | KZK02 | 1723 | 京都科学処理 | 弩弓？ | ニレ属 | 漆塗の加工品 |
| 169 | KZK02 | 1495 | 元興寺処理 | 漆塗板状木製品 | ヒノキ科 | 経典折本の板表紙 |
| 170 | KZK02 | 1640 | 整理室 | 木札 | ヒノキ科 | 紐通し穴、十刻字 |
| 171 | KZK02 | 1870 | 整理室 | 輪状木製品 | *Erythrophloeum* sp. | 1/2残存 |
| 172 | KZK02 | 975 | 整理室 | 曲物？ | ― | タガの部分、２枚重ね |
| 173 | KZK02 | 853 | 整理室 | 把手 | マツ属複維管束亜属 | ほぞ穴あり |
| 174 | KZK02 | 1490 | 整理室 | 木栓 | ヒノキ科 | 釘穴２、長さ14cm、幅5.5cm |
| 175 | KZK02 | 1137 | 整理室 | 木栓？ | マツ属複維管束亜属 | 長さ24.5cm、幅３cm |
| 176 | KZK02 | 1232 | 整理室 | 棒状木製品 | ヒノキ科 | 柄先？槍先？円錐形の薄い金属の板がはめられる |
| 177 | KZK02 | 893-b | 整理室 | 木栓？ | マツ属複維管束亜属 | 釘穴２ |
| 178 | KZK02 | 1066 | 整理室 | 弓先？ | スギ科 | 一方にほぞのような加工有 |
| 179 | KZK02 | 983 | 整理室 | 楔？板材 | コウヨウザン | 楔状の形 |
| 180 | KZK02 | 1105 | 整理室 | 木栓 | マツ属複維管束亜属 | 釘穴 |
| 181 | KZK02 | 866 | 整理室 | 板材 | コウヨウザン？ | 約10cm四方の四角い板、コンクリーション、釘痕あり |
| 182 | KZK02 | 1427 | 整理室 | 柄 | ナツメ | 刀の柄か？ |
| 183 | KZK02 | 1736 | 整理室 | 木栓 | コウヨウザン | 釘穴２ |
| 184 | KZK02 | 1075 | 整理室 | 船材？板材 | スギ科 | 釘穴２ |
| 185 | KZK02 | 1377 | 資料館展示 | 銅製金具付棒状木製品 | ツゲ属 | 槍の柄か？一部漆が残存 |
| 186 | KZK02 | 1319-b | 資料館展示 | 銅製金具付棒状木製品 | ツゲ属 | 槍の柄か？ほぞあり、漆が残る |
| 187 | KZK02 | 1787-b破片 | 整理室 | 自然木？丸太材 | マツ属複維管束亜属 | 枝がなくわずかに反っている |
| 188 | KZK02 | 1787-a | 整理室 | 棒状木製品 | スギ属 | 柄先？、槍先？一方が円錐状に加工 |
| 189 | KZK02 | 1027 | 整理室 | 船材、板材 | スギ属 | 釘２本、コンクリーション有 |
| 190 | KZK02 | 980 | 元興寺処理中 | 弩弓？ | ニレ属 | 漆膜あり |
| 191 | KZK02 | 1121 | 整理室 | 容器底部 | スギ科 | 曲物の底板か？ |
| 192 | KZK02 | 638 | 京都科学処理 | 八角柱状漆塗棒状製品 | シイ属 | 一方に金属が残る、両端が細く中ほどが太い |
| 193 | KZK02 | 893-a | 元興寺処理中 | 朱漆椀底部 | スギ属 | |
| 194 | KZK02 | RL-1 | 元興寺処理中 | 朱漆椀胴部破片 | マツ属複維管束亜属 | |
| 195 | KZK02 | 1735 | 元興寺処理 | 黒漆塗弓の一部 | *Dalbergia* sp. | 漆塗弓部分 |
| 196 | KZK02 | 1440 | 水槽１ | 船材(隔壁板) | クスノキ | |
| 197 | KZK02 | 1502-b | 水槽１ | 船材、板材 | *Pometia* sp. | 1501の同一体 |
| 198 | KZK02 | 843 | 水槽１ | 船材 | クスノキ | 釘付着、843a,bと接合 |
| 199 | KZK02 | 880 | 水槽１ | 板材 | マツ属複維管束亜属 | 釘痕あり |
| 200 | KZK02 | 1469-a | 水槽１ | 船材、丸太材 | クスノキ | 釘穴複数あり |
| 201 | KZK02 | 1447 | 水槽１ | 船材、丸太材 | スギ科 | 柱材、20前後の釘穴有、コンクリーション有 |
| 202 | KZK02 | 1005 | 水槽１ | 船材？、板材 | クスノキ | 板材 |
| 203 | KZK02 | 1236 | 水槽１ | 船材(隔壁梁材) | クスノキ | 隔壁の船底部分 |
| 204 | KZK02 | 1748 | 水槽１ | 船材、板材 | コウヨウザン | 釘穴５つ |
| 205 | KZK02 | 1364 | 水槽１ | 船材、板材 | コウヨウザン？ | 板材片、釘穴あり |

| 試料番号 | 調査年 | 遺物番号 | 保管場所 | 種　　別 | 樹　　種 | 備　　考 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 206 | KZK02 | 1056 | 水槽１ | 船材、板材 | シイ属 | 板材片、釘穴あり、コンクリーションあり |
| 207 | KZK02 | 1861 | 水槽１ | 船材、柱材 | *Ormosia* sp. | 柱材、９㎝角及び９×4.5㎝ほぞ穴あり、皮？炭化？ |
| 208 | KZK02 | 1439 | 水槽１ | 船材(隔壁梁材) | クスノキ | 釘多数 |
| 209 | KZK02 | 1501 | 水槽１ | 船材、柱材 | *Pometia* sp. | 板材 |
| 210 | KZK02 | 1607 | 水槽１ | 船材、柱材 | マツ属複維管束亜属 | 釘穴多数、コンクリーション有 |
| 211 | KZK02 | 1863 | 水槽１ | 船材、柱材 | シイ属 | 釘痕あり、コンクリーション有 |
| 212 | KZK02 | 1142-x | 水槽１ | 船材(隔壁梁材) | クスノキ科 | 釘痕あり、コンクリーション有 |
| 213 | KZK02 | 1142 | 水槽１ | 船材(隔壁梁材) | クスノキ | 釘痕あり、コンクリーション有 |
| 214 | KZK02 | 883 | 水槽１ | 船材、板材 | コウヨウザン | 板材、釘穴１つ、コンクリーション有 |
| 215 | KZK02 | 1445 | 水槽１ | 船材(隔壁梁材？) | ニレ属 | 梁材？ほぞあり、抉りあり |
| 216 | KZK02 | 1451 | 水槽１ | 船材、板材 | クスノキ | 1016と同一、釘穴２つ、隔壁材 |
| 217 | KZK02 | 669 | 水槽１ | 船材、板材 | クスノキ | 板材片 |
| 218 | KZK02 | 1434 | 水槽１ | 船材、角材？ | マツ属単維管束亜属？ | ９㎝の角穴あり |
| 219 | KZK02 | 1866 | 水槽１ | 船材（隔壁材？） | マツ属単維管束亜属 | 小口部斜めにカット |
| 220 | KZK02 | 1614 | 水槽１ | 船材 | マツ属複維管束亜属 | 板材、船尾？隔壁？片面に斜めの切断痕、マストステップ？ |
| 221 | KZK02 | 1853 | 水槽１ | 丸太材 | クスノキ | 板材、端部が大きく反る |
| 222 | KZK02 | 1855 | 水槽１ | 船材？、板材 | クスノキ | 一部炭化 |
| 223 | KZK02 | 1476 | 水槽１ | 船材、板材 | シイ属 | 隔壁船底？釘痕多数、コンクリーション有、２m62㎝、幅35㎝ |
| 224 | KZK02 | 1505 | 水槽１ | 船材、板材 | ニレ属 | 釘穴４、コンクリーション有 |
| 225 | KZK02 | 1057 | 水槽１ | 船材、板材 | クスノキ | 釘穴４つ |
| 226 | KZK02 | 1132 | 水槽１ | 船材、板材 | スギ属 | 釘穴２つ |
| 227 | KZK02 | 1703 | 水槽１ | 船材、板材 | 針葉樹 | 釘穴５つ |
| 228 | KZK02 | 1433 | 水槽１ | 船材、板材 | コウヨウザン | 隔壁？ |
| 229 | KZK02 | 1648 | 水槽１ | 船材、角材 | コウヨウザン | 角材片、釘穴２つ |
| 230 | KZK02 | 1092 | 水槽１ | 船材、板材 | コウヨウザン | 板材片、釘穴２つ |
| 231 | KZK02 | 1371 | 水槽１ | 船材、板材 | コウヨウザン | 板材片、釘穴１つ |
| 232 | KZK02 | 869 | 水槽１ | 船材、板材 | マツ属複維管束亜属 | 外板？釘穴２つ |
| 233 | KZK02 | 1220 | 水槽１ | 船材、板材 | マツ属単維管束亜属？ | 釘穴あり |
| 234 | KZK02 | 1448 | 水槽１ | 船材、板材 | マツ属複維管束亜属 | 板材片、横方向に打った釘穴あり |
| 235 | KZK02 | 653 | 水槽１ | 船材、板材 | スギ科 | 釘穴５つ |
| 236 | KZK02 | 1108 | 水槽１ | 船材、板材 | クスノキ | 釘穴、釘痕あり |
| 237 | KZK02 | 1021 | 水槽１ | 船材、板材 | スギ属 | 釘穴２、コンクリーションあり |
| 238 | KZK02 | 1696 | 水槽１ | 船材、板材 | コウヨウザン？ | 板材片、ほぞ穴２つ、斜めにカットされている |
| 239 | KZK02 | 1636 | 水槽１ | 船材、角材 | スギ科 | 釘痕、コンクリーション有 |
| 240 | KZK02 | 1171 | 水槽１ | 船材、板材 | コウヨウザン | 釘痕あり |
| 241 | KZK02 | 1634 | 水槽１ | 丸太材 | マツ属複維管束亜属 | ややカーブしている |
| 242 | KZK02 | 1627 | 水槽１ | 板材 | マツ属複維管束亜属 | 抉り有 |
| 243 | KZK02 | 1813 | 水槽２８ | 板材 | シイ属 | 板材片 |
| 244 | KZK02 | 1152 | 水槽２８ | 板材 | スギ科 | 板材片 |
| 245 | KZK02 | 1112 | 水槽２８ | 船材、角材 | コウヨウザン | 一部加工痕、釘痕あり |
| 246 | KZK02 | 1045 | 水槽２８ | 板材？ | ニレ属 | |
| 247 | KZK02 | 1006 | 水槽２８ | 板材 | ニレ属 | 板材 |
| 248 | KZK02 | 1117 | 水槽２８ | 板材 | マツ属複維管束亜属 | 板状製品、表面炭化 |
| 249 | KZK02 | 1356 | 水槽２８ | 船材、板材 | クスノキ科 | 丸太削りだし板材、№1355に接合、釘痕有 |
| 250 | KZK02 | 1156 | 水槽２８ | 丸太材 | マツ属複維管束亜属？ | 丸太材、片端部に切断痕 |
| 251 | KZK02 | 1342 | 水槽２８ | 板材 | マツ属単維管束亜属 | |
| 252 | KZK02 | 1644 | 水槽２８ | 船材、板材 | マツ属単維管束亜属 | 板材片、釘穴２つ |
| 253 | KZK02 | 1435 | 水槽２８ | 船材、板材 | スギ属 | 釘痕１つ |
| 254 | KZK02 | 1637 | 水槽２８ | 船材、板材 | スギ科 | 釘痕２つ |
| 255 | KZK02 | 1131 | 水槽２８ | 船材、板材 | マツ属単維管束亜属 | 板材片、釘穴１つ |
| 256 | KZK02 | 1857 | 水槽２８ | 船材、板材 | スギ科 | 一端に切断痕、釘痕あり |
| 257 | KZK02 | 986 | 水槽２８ | 船材 | シイ属 | 加工痕、釘痕あり |

| 試料番号 | 調査年 | 遺物番号 | 保管場所 | 種　　別 | 樹　　種 | 備　　考 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 258 | KZK02 | 1101 | 水槽２８ | 板材 | マキ属 | 木材片 |
| 259 | KZK02 | 1116 | 水槽２８ | 丸太材 | マツ属単維管束亜属 | 丸太材片 |
| 260 | KZK02 | 1128 | 水槽２８ | 板材 | マツ属複維管束亜属 | 板材片 |
| 261 | KZK02 | 1436 | 水槽２８ | 角材 | スギ科 | 針葉樹、角材片 |
| 262 | KZK02 | 1079 | 水槽２８ | 丸太材 | ヒノキ科 | 丸太材 |
| 263 | KZK02 | 1161 | 水槽２８ | 丸太材 | マツ属単維管束亜属 | 丸太材、端部に加工痕 |
| 264 | KZK02 | 679？ | 水槽２７ | 板材 | マツ属 | 図と遺物が違う？樹種同定の結果でNo.679の一部である可能性あり |
| 265 | KZK02 | 971 | 水槽２８ | 丸太材 | マツ属複維管束亜属 | 丸太材片 |
| 266 | KZK02 | 828 | 水槽２８ | 板材 | マツ属複維管束亜属 | |
| 267 | KZK02 | 1028 | 水槽２８ | 丸太材 | スギ科 | 丸太材、一端に切断痕 |
| 268 | KZK02 | 1402 | 水槽２８ | 丸太材？まき材？ | マツ属複維管束亜属 | 丸太材片 |
| 269 | KZK02 | 997 | 水槽２８ | 船材、板材 | スギ科 | 釘痕２つ |
| 270 | KZK02 | 677 | 水槽２８ | 板材 | サクラ属 | 表面焼け痕 |
| 271 | KZK02 | 1293 | 水槽２８ | 板材？ | ニレ属 | 表面が焼けている |
| 272 | KZK02 | 1309 | 水槽２８ | 板材？ | ― | 表面に焼けあと |
| 273 | KZK02 | 1122 | 水槽２８ | 丸太材？ | ― | 表面焼けあと |
| 274 | KZK02 | 1024 | 水槽２８ | 板材 | ニレ属 | 表面焼けあと |
| 275 | KZK02 | 1134 | 水槽２８ | 丸太材？ | ― | 焼け残り木材 |
| 276 | KZK02 | 635 | 水槽２ | 板材？、木皮？ | マツ属複維管束亜属 | 樹皮(松か？)、板材 |
| 277 | KZK02 | 1099 | 水槽２８ | 丸太材 | マツ属複維管束亜属 | 焼けあとあり |
| 278 | KZK02 | 612 | 水槽２８ | 丸太材 | ニレ属 | 釘穴１つ、表面炭化 |
| 279 | KZK02 | 1363 | 水槽２８ | 丸太材、まき材？ | マツ属複維管束亜属 | 丸太材、両端に切断痕 |
| 280 | KZK02 | 636 | 水槽２８ | まき材？ | シイ属 | 自然木片 |
| 281 | KZK02 | 619 | 水槽２８ | 船材、角材？ | マツ属複維管束亜属 | 釘痕あり |
| 282 | KZK02 | 1645 | 水槽２８ | 丸太材 | マツ属複維管束亜属 | 丸太材、一端に切断痕 |
| 283 | KZK02 | 1269 | 水槽２８ | 船材、板材 | マツ属単維管束亜属 | 釘痕あり |
| 284 | KZK02 | 1235 | 水槽２８ | 船材、板材 | マツ属単維管束亜属 | 切断痕、釘痕あり |
| 285 | KZK02 | 1017 | 水槽２８ | 船材、板材 | マツ属複維管束亜属 | 釘穴あり |
| 286 | KZK02 | 1160 | 水槽２８ | 船材、板材 | クスノキ | 釘穴１つ |
| 287 | KZK02 | 1174 | 水槽２８ | 船材、板材 | マツ属単維管束亜属 | 釘痕３つ |
| 288 | KZK02 | 1143 | 水槽２８ | 船材、板材 | クスノキ | 破片、釘痕あり |
| 289 | KZK02 | 1111 | 水槽２８ | 船材、板材 | クスノキ | 破片、釘穴１つ |
| 290 | KZK02 | 1216 | 水槽２８ | 船材、板材 | クスノキ | 破片、釘穴１つ |
| 291 | KZK02 | 1349 | 水槽２８ | 船材、板材 | コウヨウザン | 一端に切断痕 |
| 292 | KZK02 | 1218 | 水槽２７ | 船材、板材 | スギ科 | 釘穴１つ、コンクリーションあり |
| 293 | KZK02 | 1297 | 水槽２８ | 船材、丸太材？ | マツ属複維管束亜属 | 破片サンプル、釘あり |
| 294 | KZK02 | 1048 | 水槽２８ | 船材、板材 | クスノキ | 破片サンプル、板材、釘付着 |
| 295 | KZK02 | 1146 | 水槽２８ | 板材 | クスノキ | 板材片 |
| 296 | KZK02 | 668 | 水槽２８ | 船材、板材 | クスノキ | 板材、釘痕あり |
| 297 | KZK02 | 1237 | 水槽２８ | 船材、板材 | マツ属単維管束亜属 | 釘穴１つ |
| 298 | KZK02 | 1047-c | 水槽２８ | 船材、板材 | クスノキ | 釘痕あり |
| 299 | KZK02 | 1140 | 水槽２７ | 板材 | チーク | 破片サンプル、板材、長さ52cm、幅13.5cm |
| 300 | KZK02 | 1062 | 水槽２８ | 板材 | クスノキ | 破片サンプル、板材 |
| 301 | KZK02 | 679破片 | 水槽２７ | 船材、板材 | マツ属複維管束亜属 | 板材片 |
| 302 | KZK02 | 864-b | 水槽２７ | 丸太材 | エンジュ属 | 破片サンプル、丸太材、両端に切断痕 |
| 303 | KZK02 | 686 | 水槽２７ | 板材 | ニレ属 | 両端に切断痕 |
| 304 | KZK02 | 1011 | 水槽２７ | 丸太材 | ニレ属 | 板材 |
| 305 | KZK02 | 658-b | 水槽２７ | 船材、板材 | マツ属 | 針葉樹、釘痕有、海底状況写真と違っている？<br>遺物が入れ替っている可能性があるが判別不可 |
| 306 | KZK02 | 1649 | 水槽２７ | 丸太材 | ニレ属 | 丸太材、両端に切断痕 |
| 307 | KZK02 | 1029 | 水槽２７ | 船材、板材 | ニレ属 | 破片サンプル、板材片、釘穴１つ |
| 308 | KZK02 | 1078 | 水槽２７ | 船材、角材 | スギ科 | 棒状、釘痕あり |
| 309 | KZK02 | 644 | 水槽２７ | 丸太材 | マツ属複維管束亜属 | 丸太材、両端に切断痕 |

| 試料番号 | 調査年 | 遺物番号 | 保管場所 | 種　　別 | 樹　　種 | 備　　考 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 310 | KZK02 | 748 | 水槽２７ | 船材、丸太材 | マツ属複維管束亜属 | 表面炭化 |
| 311 | KZK02 | 959 | 水槽２７ | 船材、角材 | ニレ属 | 釘痕あり |
| 312 | KZK02 | 639 | 水槽２７ | 船材、角材 | スギ科 | 針葉樹、角材、釘穴３、コンクリーション有 |
| 313 | KZK02 | 679 | 水槽２７ | 船材、板材 | マツ属 | 板状、釘痕、隔壁？ |
| 314 | KZK02 | 610 | 水槽２７ | 船材、板材 | クスノキ | 端部に切り込み、釘痕４つ |
| 315 | KZK02 | 678 | 水槽２７ | 丸太材 | マツ属単維管束亜属 | 丸太材 |
| 316 | KZK02 | 1775 | 水槽２７ | 船材、板材 | クスノキ | 板材、釘付着 |
| 317 | KZK02 | 1684 | 水槽２７ | 板材 | マツ属単維管束亜属 | 板材片 |
| 318 | KZK02 | 642 | 水槽２７ | 船材、板材 | クスノキ | 中央に9×12cmのほぞ穴、両端に４つずつ釘 |
| 319 | KZK02 | 999 | 水槽２７ | 丸太材 | ニレ属 | 丸太材 |
| 320 | KZK02 | 1252 | 水槽２７ | 丸太材 | マツ属複維管束亜属 | 破片サンプル、丸太材片 |
| 321 | KZK01 | 193 | 水槽４ | マストステップ | クスノキ | |
| 322 | KZK01 | 358 | 水槽４ | 板材 | ニレ属 | 破片サンプル、丸太材 |
| 323 | KZK01 | 355 | 水槽４ | 板材 | *Dalbergia* sp. | 板材、長さ57cm、幅10cm |
| 324 | KZK01 | 305 | 水槽４ | 板材 | マツ属単維管束亜属 | 破片サンプル、板材片 |
| 325 | KZK01 | 349 | 水槽４ | 板材 | ニレ属 | 破片サンプル |
| 326 | KZK01 | 190 | 水槽４ | 丸太材 | マツ属単維管束亜属 | 丸太材 |
| 327 | KZK01 | 361 | 水槽４ | 丸太材 | マツ属複維管束亜属 | 丸太材、両端に切断痕 |
| 328 | KZK01 | 362 | 水槽４ | 船材、板材 | ニレ属 | 板材、釘痕４つ |
| 329 | KZK01 | 306 | 水槽４ | 丸太材 | マツ属複維管束亜属 | 丸太材片 |
| 330 | KZK01 | 255 | 水槽５ | 丸太材片 | マツ属複維管束亜属 | 丸太材片 |
| 331 | KZK01 | 205 | 水槽５ | 丸太材片 | ツバキ属 | 丸太材片　長さ32.5cm、幅9.5cm |
| 332 | KZK01 | 213 | 水槽５ | 船材、板材 | クスノキ科 | 板材片、釘痕１つ |
| 333 | KZK02 | 1835-b | 元興寺処理中 | 朱塗椀片（橙色） | コウヨウザン？ | |
| 334 | KZK02 | 1835-a | 元興寺処理中 | 朱塗椀片（赤色） | コウヨウザン | |
| 335 | KZK02 | 1751 | 元興寺処理中 | 漆製品 | 散孔材Ｃ | 中央に鋲の痕あり |
| 336 | KZK02 | 1114 | 元興寺処理中 | 朱塗椀体部破片 | スギ属 | |
| 337 | KZK02 | 1085 | 元興寺処理中 | 朱塗椀小片 | コウヨウザン | |
| 338 | KZK02 | 2A~3A一括⑥-a | 元興寺処理中 | 朱塗椀小片 | コウヨウザン | |
| 339 | KZK02 | 2A~3A一括⑥-b | 元興寺処理中 | 朱塗椀小片 | スギ科 | |
| 340 | KZK02 | 2A~3A一括⑥-c | 元興寺処理中 | 朱塗椀小片 | ― | |
| 341 | KZK02 | 2A~3A一括⑥-d | 元興寺処理中 | 朱塗椀小片 | スギ科 | |
| 342 | KZK02 | 2A~3A一括⑥-e | 元興寺処理中 | 朱塗椀小片 | スギ属 | |
| 343 | KZK02 | 2A~3A一括⑥-f | 元興寺処理中 | 朱塗椀小片 | スギ属 | |
| 344 | 1994 | 1994神崎 | 資料館展示 | 漆塗弓 | *Dalbergia* sp. | |
| 345 | KZK02 | 1761-b | 元興寺処理 | 黒漆塗弓 | *Dalbergia* sp. | |
| 346 | KZK02 | 852 | 整理室 | 矢柄 | ― | 葦？竹？漆塗 |
| 347 | KZK02 | 896 | 資料館展示 | 銅製つる | スギ属 | 漆塗本体の一部を採取 |
| 348 | KZK02 | 899 | 整理室 | 木栓 | マツ属複維管束亜属 | 釘穴２ |
| 349 | KZK02 | 1253 | 整理室 | 木栓 | コウヨウザン | 釘穴２ |
| 350 | KZK02 | 1442 | 整理室 | 柄 | ナツメ | 刀の柄か？ |
| 351 | KZK02 | 1488 | 整理室 | 矢柄 | タケ亜科 | 漆塗 |
| 352 | KZK02 | 1709 | 整理室 | 棒状漆製品　柄先？ | スギ科 | 槍先？ |
| 353 | KZK02 | 1802 | 整理室 | 木栓 | コウヨウザン | 釘穴２ |
| 354 | KZK02 | 1804 | 整理室 | 木栓 | コウヨウザン | 釘穴２ |
| 355 | KZK02 | 1831 | 整理室 | 木栓 | シイ属 | 釘穴２、部分 |
| 356 | KZK02 | 1159 | 水槽８ | 船材、板材？ | クスノキ | 釘穴１つ |
| 357 | KZK02 | 1289 | 水槽８ | 船材、丸太材？ | コウヨウザン | 釘穴あり |
| 358 | KZK02 | 1334 | 水槽８ | 船材 | マンサク科 | 長さ9.8cm、幅6.8cm、釘付着（釘の周りにわずかに木質が残る） |
| 359 | KZK02 | 1700 | 水槽８ | 船材、板材 | コウヨウザン | 針葉樹、釘穴平行に２つ |
| 360 | KZK02 | 1257 | 水槽８ | 丸太材？ | マツ属複維管束亜属 | 一部炭化 |
| 361 | KZK02 | 1260 | 水槽８ | 船材、板材 | マツ属複維管束亜属 | 釘穴あり |

| 試料番号 | 調査年 | 遺物番号 | 保管場所 | 種　　別 | 樹　　種 | 備　　考 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 362 | KZK02 | 1067 | 水槽８ | 角材 | コウヨウザン | 釘穴あり |
| 363 | KZK02 | 1063 | 水槽８ | 丸太材 | ニレ属 | |
| 364 | KZK02 | 1811-c | 水槽８ | まき材？ | マツ属複維管束亜属 | 両端部に切断痕あり |
| 365 | KZK02 | 1845 | 水槽８ | 船材、板材？ | クスノキ科 | 釘穴、釘痕複数あり |
| 366 | KZK02 | 1265 | 水槽８ | 船材、板材 | コウヨウザン | 釘穴あり |
| 367 | KZK02 | 1278 | 水槽８ | 船材、板材 | クスノキ | 釘２本付着 |
| 368 | KZK02 | 1129 | 水槽８ | 板材 | コウヨウザン | 一部炭化 |
| 369 | KZK02 | 862 | 水槽８ | 船材、板材 | マツ属複維管束亜属 | 釘付着、釘穴あり |
| 370 | KZK02 | 1811-b | 水槽８ | 船材、板材 | クスノキ | 釘付着 |
| 371 | KZK02 | 1429 | 水槽８ | 船材、板材 | マツ属単維管束亜属 | 二つの材が釘によって合わさっている |
| 372 | KZK02 | 1830-a | 水槽８ | 船材、角材 | コウヨウザン | 角材、釘穴あり |
| 373 | KZK02 | 1830-b | 水槽８ | 板材？ | ニレ属 | 炭化 |
| 374 | KZK02 | 1313 | 水槽８ | 船材、板材 | マツ属複維管束亜属 | 釘穴２つ |
| 375 | KZK02 | 1741 | 水槽８ | 船材、板材 | マツ属複維管束亜属 | 釘痕、釘穴有り |
| 376 | KZK02 | 973 | 水槽８ | 丸太材、自然木 | ニレ属 | 節目あり |
| 377 | KZK02 | 1718 | 水槽８ | 船材 | コウヨウザン | 釘付着 |
| 378 | KZK02 | 683 | 水槽８ | 板材？ | マツ属複維管束亜属 | 一部炭化 |
| 379 | KZK02 | 1672 | 水槽８ | 船材、角材？ | コウヨウザン | 釘穴４つ |
| 380 | KZK02 | 1784 | 水槽８ | 船材、板材片 | クスノキ | 釘痕あり（釘付着） |
| 381 | KZK02 | 1322 | 水槽８ | 船材、板材片 | クスノキ | 板材、釘穴あり |
| 382 | KZK02 | 1312 | 水槽８ | 丸太材 | マツ属複維管束亜属 | 丸太材片、片端に切断痕あり |
| 383 | KZK02 | 972 | 水槽８ | 船材、板材 | ニレ属 | 板材、釘穴あり |
| 384 | KZK02 | 1752-b | 水槽８ | 船材、板材 | ニレ属 | 針葉樹、釘穴、釘痕あり |
| 385 | KZK02 | 667 | 水槽９ | まき材？自然木？ | マツ属 | 小枝、一方の端部切断面あり |
| 386 | KZK02 | 1336 | 水槽９ | 木皮 | 樹皮 | 木皮 |
| 387 | KZK02 | 1329 | 水槽９ | 丸太材 | マツ属複維管束亜属 | 節部有、切断面有（枝を切った跡か？） |
| 388 | KZK02 | 1326 | 水槽９ | まき材？自然木？ | ニレ属 | 枝部あり、切断面あり |
| 389 | KZK02 | 1164 | 水槽９ | まき材？自然木？ | サクラ属 | 燃料か？皮付き |
| 390 | KZK02 | 1376 | 水槽９ | 板材？ | ニレ属 | 虫害が著しく形状がわかりにくい、板材か？ |
| 391 | KZK02 | 1398 | 水槽９ | 丸太材 | マツ属複維管束亜属 | 丸太材　長さ28.5cm、幅６cm |
| 392 | KZK02 | 617 | 水槽９ | 船材、角材 | コウヨウザン | 角材、釘痕、横方向に溝あり |
| 393 | KZK02 | 1292 | 水槽９ | 丸太材 | マツ属複維管束亜属 | 木材片 |
| 394 | KZK02 | 1073 | 水槽９ | 板材 | 散孔材Ｄ | 虫害が著しく形状がわかりにくい、丸太材か？ |
| 395 | KZK02 | 684 | 水槽９ | 丸太材？ | マツ属複維管束亜属 | 木材の節目部分 |
| 396 | KZK02 | 1745 | 水槽９ | 丸太材 | マツ属複維管束亜属 | 一部表面炭化、木の節目部分 |
| 397 | KZK02 | 1271 | 水槽９ | 板材 | マツ属複維管束亜属 | 板材 |
| 398 | KZK02 | 1350 | 水槽９ | 船材 | 散孔材Ｅ | ほぞ穴の一部　長さ10cm幅，８cm |
| 399 | KZK02 | 616 | 水槽９ | 板材 | バラ科Ａ | 皮付き　長さ18.5cm、幅5.5cm |
| 400 | KZK02 | 1821 | 水槽９ | 丸太材 | コウヨウザン | 丸太材片　長さ18.5cm、幅5.5cm |
| 401 | KZK02 | 1307 | 水槽９ | 丸太材？ | マツ属複維管束亜属 | 木の股の部分、虫害が激しく脆く崩れ易い |
| 402 | KZK02 | 1366 | 水槽９ | 丸太材 | マツ属複維管束亜属？ | 丸太材片、釘痕あり、縦に半切　長さ32.5cm、幅5.5cm |
| 403 | KZK02 | 1281 | 水槽９ | 板材？ | クスノキ科 | 虫害が著しく形状がわかりにくい、板材か？ |
| 404 | KZK02 | 670 | 水槽９ | 丸太材？ | イスノキ属 | 焼け材　長さ14.8cm、幅7.5cm |
| 405 | KZK02 | 1479 | 水槽９ | 丸太材 | *Dalbergia* sp. | 丸太材片、長さ42cm、幅5.5cm |
| 406 | KZK02 | 618 | 水槽９ | 丸太材 | バラ科Ｂ | 丸太材片　長さ19.5cm、幅5.5cm |
| 407 | KZK02 | 1144 | 水槽９ | 丸太材？ | クスノキ科 | No.1142-x隔壁板の直上から出土 |
| 408 | KZK02 | 985 | 水槽９ | 板材？ | マツ属複維管束亜属 | 表面炭化 |
| 409 | KZK02 | 1726 | 水槽９ | 丸太材？ | ニレ属 | 船材ではなく、燃料用か？ |
| 410 | KZK02 | 1276 | 水槽９ | 丸太材 | コウヨウザン | 丸太材 |
| 411 | KZK02 | 1071 | 水槽９ | 板材 | ニレ属 | 板材片、虫害が著しく脆い |
| 412 | KZK02 | 969 | 水槽９ | 丸太材 | クヌギ節 | 一部炭化、皮付き |
| 413 | KZK02 | 1372 | 水槽９ | 丸太材 | *Dalbergia* sp. | 丸太材片、長さ35cm、幅7.5cm |

| 試料番号 | 調査年 | 遺物番号 | 保管場所 | 種　　別 | 樹　　種 | 備　　考 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 414 | KZK02 | 1304 | 水槽９ | 丸太材？ | コウヨウザン | 傷みが激しく脆く壊れやすい、丸太材か？ |
| 415 | KZK02 | 950 | 水槽１０ | 丸太材 | ニレ属 | 両端に切断痕有、燃料材か？長さ50cm、幅10cm |
| 416 | KZK02 | 1258 | 水槽１０ | 丸太材 | ニレ属 | 長さ19.5cm、幅5.5cm両端に切断痕有、燃料材か？ |
| 417 | KZK02 | 1682 | 水槽１０ | 丸太材？ | マツ属 | 表面炭化、杭状、燃料か？長さ32.5cm、幅６cm |
| 418 | KZK02 | 1734 | 水槽１０ | 丸太材 | マツ属複維管束亜属 | 丸太材片、長さ57cm、幅５cm |
| 419 | KZK02 | 1691 | 水槽１０ | 丸太材 | マツ属複維管束亜属 | 一方に切断痕有、長さ54.5cm、幅3.5cm |
| 420 | KZK02 | 1683 | 水槽１０ | 丸太材 | マツ属複維管束亜属 | 一方に切断痕有、長さ55cm、幅4.5cm |
| 421 | KZK02 | 685 | 水槽１０ | 丸太材 | マキ属 | 片方に切断痕有、長さ41.5cm、幅4.5cm |
| 422 | KZK02 | 1769 | 水槽１０ | 丸太材 | マツ属複維管束亜属 | 節あり、長さ36cm、幅５cm |
| 423 | KZK02 | 1311 | 水槽１０ | 丸太材 | マツ属複維管束亜属 | 両端に切断痕有、燃料材か？長さ43cm、幅4.5cm節が数箇所有 |
| 424 | KZK02 | 1002 | 水槽１０ | 船材、板材 | クヌギ節 | 表面が炭化、釘痕あり、長さ18.5cm、幅10cm |
| 425 | KZK02 | 1268 | 水槽１０ | 丸太材 | マツ属複維管束亜属 | 長さ33cm、幅5.5cm　わずかにカーブしている |
| 426 | KZK02 | 1004 | 水槽１０ | 丸太材 | マツ属複維管束亜属 | 長さ62cm、幅４cm |
| 427 | KZK02 | 749 | 水槽１０ | 丸太材 | ハイノキ属 | 虫害が著しく脆弱、長さ46.5cm、幅14cm |
| 428 | KZK02 | 1337-a | 水槽１０ | 丸太材？ | ニレ属 | 大きく曲がっている、燃料材か？ |
| 429 | KZK02 | 1337-b | 水槽１０ | 丸太材？ | 散孔材Ｆ | 表面の虫害がひどく元形不明、長さ14cm、幅3.3cm |
| 430 | KZK02 | 1283 | 水槽１０ | 丸太材 | マツ属複維管束亜属 | 枝・節あり燃料の可能性あり、一方に切断痕あり、長さ40cm、幅7cm |
| 431 | KZK02 | 750 | 水槽１０ | 丸太材 | マツ属複維管束亜属 | 長さ49cm、幅10cm　少しカーブしている |
| 432 | KZK02 | 1299 | 水槽１０ | 丸太材 | マツ属複維管束亜属 | 長さ58cm、幅５cm傷みが激しく脆い、節が数箇所有 |
| 433 | TKS12 | 7 | 整理室 | ベニヤ板 | *Alstonia* sp. | 現代のものか？ |
| 434 | TKS12 | 3 | 整理室 | 弓？ | 環孔材Ｂ | |
| 435 | TKS12 | 14 | 資料館展示 | 刀の漆塗鞘 | コウヨウザン | |
| 436 | TKS12 | 18 | 資料館展示 | 刀の漆塗鞘 | コウヨウザン | |
| 437 | TKS12 | 6 | 元興寺処理 | 黒漆塗弓 | *Dalbergia* sp. | 弓の一部 |
| 438 | TKS12 | 5 | 整理室 | 朱漆椀底部 | キリ属 | |
| 439 | TKS15 | 6 | 整理室 | 角材 | コウヨウザン？ | |
| 440 | TKS15 | 3 | 資料館展示 | 漆塗弓の先？ | ヒノキ科 | |
| 441 | TKS14 | 14 | 元興寺処理中 | 椀底部 | スギ属 | 針葉樹？杉？ |
| 442 | KZK02 | 1316 | 水槽２ | 丸太材 | マツ属複維管束亜属 | 板材 |
| 443 | KZK02 | 1317-a | 水槽２ | 船材、板材 | クスノキ科 | 板材片、a～d同一、釘痕、コンクリーション有 |
| 444 | KZK02 | 1294-a | 水槽２ | 船材、板材 | コウヨウザン | 木材片 |
| 445 | KZK02 | 885-b | 水槽２ | 丸太材 | アカガシ亜属 | 板材 |
| 446 | KZK02 | 885-c | 水槽２ | 丸太材 | アカガシ亜属 | 板材片 |
| 447 | KZK02 | 1864-b | 水槽２ | 船材、丸太材 | コウヨウザン | 丸太材、釘痕数ヶ所 |
| 448 | KZK02 | 1455 | 水槽２ | 船材、板材 | マツ属 | 丸太材 |
| 449 | KZK02 | 1030-b | 水槽２ | 丸太材 | シイ属 | 板材片、銃のかたち　少し粘りのある木 |
| 450 | KZK02 | 887-a | 水槽２ | 板材 | クスノキ | 木材片 |
| 451 | KZK02 | 887-b | 水槽２ | 板材 | ニレ属 | 丸太材 |
| 452 | KZK02 | 993 | 水槽２ | 船材、角材 | コウヨウザン | 釘穴１つ |
| 453 | KZK02 | 1432 | 水槽２ | 丸太材 | *Dalbergia* sp. | 丸太材 |
| 454 | KZK02 | 1498 | 水槽２ | 角材？ | スギ属 | 板材片 |
| 455 | KZK02 | 1856 | 水槽２ | 丸太材 | ニレ属 | 板材片 |
| 456 | KZK02 | 1650 | 水槽２ | 船材、板材 | マツ属複維管束亜属 | 丸太材片 |
| 457 | KZK02 | 886-a | 水槽２ | 丸太材 | スギ属 | 丸太材片a～eと破片に分ける。うちa～dをサンプリング |
| 458 | KZK02 | 886-b | 水槽２ | 丸太材 | *Dalbergia* sp. | 丸太材片 |
| 459 | KZK02 | 886-c | 水槽２ | 丸太材 | ニレ属 | 丸太材片 |
| 460 | KZK02 | 886-d | 水槽２ | 丸太材 | コウヨウザン | 丸太材片 |
| 461 | KZK02 | 889 | 水槽２ | 船材、板材 | ヒノキ科 | 角材、ほぞ穴１つ |
| 462 | KZK02 | 1040 | 水槽２ | 板材 | *Dalbergia* sp. | 板材片 |
| 463 | KZK02 | 1630 | 水槽２ | 板材 | マツ属複維管束亜属 | 板材片 |
| 464 | KZK02 | 838-b | 水槽２ | 船材、板材 | マツ属複維管束亜属 | 板材片 |
| 465 | KZK02 | 884 | 水槽２ | 丸太材 | ニレ属 | 丸太材 |

| 試料番号 | 調査年 | 遺物番号 | 保管場所 | 種　　別 | 樹　　種 | 備　　考 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 466 | KZK02 | 1446 | 水槽２ | 丸太材 | *Dalbergia* sp. | 丸太材片 |
| 467 | KZK02 | 1095 | 水槽２ | 丸太材 | ニレ属 | 丸太材 |
| 468 | KZK02 | 844-a | 水槽２ | 板材 | コウヨウザン | 板材片 |
| 469 | KZK02 | 844-b | 水槽２ | 板材 | ニレ属 | 丸太材 |
| 470 | KZK02 | 1127 | 水槽２ | 丸太材 | マツ属複維管束亜属 | 丸太材 |
| 471 | KZK02 | 860 | 水槽２ | 板材 | クスノキ | 丸太材 |
| 472 | KZK02 | 865-a | 水槽２ | 丸太材 | ニレ属 | 丸太材、a，bに分けた |
| 473 | KZK02 | 865-b | 水槽２ | 丸太材 | コウヨウザン？ | 丸太材、a，bに分けた |
| 474 | KZK02 | 861 | 水槽２ | 船材、板材 | クスノキ | 角材、17点に分割 |
| 475 | KZK02 | 614 | 水槽２７ | 丸太材 | マツ属複維管束亜属 | 板材 |
| 476 | KZK02 | 1310 | 水槽２ | 板材 | シイ属 | 丸太材片 |
| 477 | KZK02 | 1609 | 水槽２ | 丸太材 | マツ属複維管束亜属 | 丸太材片 |
| 478 | KZK02 | 1631 | 水槽２ | 丸太材 | *Dalbergia* sp. | 加工材 |
| 479 | KZK02 | 1120 | 水槽２ | 船材、板材 | マツ属単維管束亜属 | 板材片、釘穴数ヶ所 |
| 480 | KZK02 | 859 | 水槽２ | 船材、板材 | クスノキ | 金属１点，加工材２点 |
| 481 | KZK02 | 888-a | 水槽２ | 自然木 | ニレ属 | でこぼこした木 |
| 482 | KZK02 | 888-b | 水槽２ | 丸太材 | ニレ属 | |
| 483 | KZK02 | 888-c | 水槽２ | 板材 | スギ属 | |
| 484 | KZK02 | 888-d | 水槽２ | 板材 | マツ属単維管束亜属？ | |
| 485 | KZK02 | 1643 | 水槽２ | 丸太材 | ニレ属 | 板材片 |
| 486 | KZK02 | 1341 | 水槽２ | 板材 | マツ属単維管束亜属？ | 板材片 |
| 487 | KZK02 | 1852 | 水槽２ | 船材、板材 | ヒノキ科 | 板材片、釘穴多数 |
| 488 | KZK02 | 674 | 水槽１１ | 板材？ | クヌギ節 | 表面炭化、長さ25cm，幅15cm |
| 489 | KZK02 | 925 | 水槽１１ | 自然木？丸太材？ | マツ属単維管束亜属 | 非常に脆弱 |
| 490 | KZK02 | 631 | 水槽１１ | 板材 | クスノキ | 長さ25cm，幅12.5cm虫害が著しく小さく割れている |
| 491 | KZK02 | 1267 | 水槽１１ | 丸太材 | マツ属単維管束亜属 | |
| 492 | KZK02 | 1266 | 水槽１１ | 板材？ | クスノキ | |
| 493 | KZK02 | 1019 | 水槽１１ | 板材？ | クスノキ | |
| 494 | KZK02 | 1014 | 水槽１１ | 船材、板材 | クスノキ？ | 釘穴有、他の板材との接合面あり |
| 495 | KZK02 | 1274 | 水槽１１ | 板材？ | マツ属複維管束亜属 | 虫害が著しく形状がわかりにくい |
| 496 | KZK02 | 1124 | 水槽１１ | まき材？ | クヌギ節？ | 小枝、長さ65cm、幅７cm虫害がひどく皮と中心部が残存 |
| 497 | KZK02 | 944 | 水槽１１ | 自然木？板材？ | マツ属単維管束亜属 | 枝あり |
| 498 | KZK02 | 977 | 水槽１１ | 自然木？ | ニレ属 | 枝の股部分あり |
| 499 | KZK02 | 966 | 水槽１１ | 丸太材？燃料材？ | マツ属複維管束亜属 | 表面炭化 |
| 500 | KZK02 | 1145 | 水槽１１ | 船材、板材 | クスノキ科 | №1142-x隔壁板の直上から出土 |
| 501 | KZK02 | 1306 | 水槽１１ | 板材？ | ニレ属 | 虫害が著しく形状がわかりにくい |
| 502 | KZK02 | 968 | 水槽１１ | 船材、板材 | ニレ属 | 釘穴、釘痕あり |
| 503 | KZK02 | 643 | 水槽１１ | 自然木？ | マツ属複維管束亜属 | 枝付き、切断面に線状痕あり |
| 504 | KZK02 | 1044 | 水槽１１ | 丸太材？ | マツ属複維管束亜属？ | |
| 505 | KZK02 | 850 | 水槽１１ | 船材、板材 | マツ属複維管束亜属 | 杉木(シャンムー)？年輪幅が広い、釘痕有、一部炭化 |
| 506 | KZK02 | 839 | 水槽１１ | 船材、板材 | ニレ属 | 釘穴有、釘痕有 |
| 507 | KZK01 | 192 | 水槽５ | 丸太材 | *Dalbergia* sp. | 丸太材片、長さ31cm、幅８cm |
| 508 | KZK01 | 196 | 水槽５ | 丸太材 | ナツメ | 丸太材片、長さ33cm、幅７cm |
| 509 | KZK01 | 197 | 水槽５ | 角材片 | ニレ属 | 破片、長さ16.5cm、幅3.5cm |
| 510 | KZK01 | 198 | 水槽５ | 船材、板材片 | クスノキ | 釘穴あり |
| 511 | KZK01 | 200 | 水槽５ | 丸太材？ | *Dalbergia* sp. | 長さ16.5cm、幅4.5cm |
| 512 | KZK01 | 203 | 水槽５ | 丸太材？ | ニレ属 | 丸太材片 |
| 513 | KZK01 | 204 | 水槽５ | 丸太材？ | 針葉樹 | |
| 514 | KZK01 | 207 | 水槽５ | 船材、板材 | クスノキ | 釘痕、コンクリーション有 |
| 515 | KZK01 | 208 | 水槽５ | 丸太材？ | マツ属複維管束亜属 | 一部炭化 |
| 516 | KZK01 | 209 | 水槽５ | 丸太材 | ニレ属 | |
| 517 | KZK01 | 222 | 水槽５ | 板材 | コウヨウザン | |

| 試料番号 | 調査年 | 遺物番号 | 保管場所 | 種　　別 | 樹　　種 | 備　　考 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 518 | KZK01 | 236 | 水槽５ | 船材、板材 | コウヨウザン | 破片採取、釘痕あり |
| 519 | KZK01 | 250 | 水槽５ | 丸太材 | ニレ属 | |
| 520 | KZK01 | 303 | 水槽５ | 丸太材？ | ヤマモモ属 | 長さ49cm、幅15cm、虫害が著しい |
| 521 | KZK01 | 345 | 水槽５ | 丸太材 | ニレ属 | 一部炭化、長さ37.5cm、幅10.5cm |
| 522 | KZK01 | 346 | 水槽５ | 板材？ | スギ科 | |
| 523 | KZK01 | 347 | 水槽５ | 船材、板材？ | スギ科 | 釘痕あり |
| 524 | KZK01 | 348 | 水槽５ | 丸太材 | スギ属？ | |
| 525 | KZK01 | 350 | 水槽５ | 丸太材 | ニレ属 | |
| 526 | KZK01 | 352 | 水槽５ | 船材、板材 | コウヨウザン | 釘痕、コンクリーション有 |
| 527 | KZK01 | 354 | 水槽５ | 船材、板材 | コウヨウザン | 丸太半裁、釘穴６、コンクリーションあり |
| 528 | KZK01 | 357 | 水槽５ | 船材、丸太材 | マツ属複維管束亜属 | |
| 529 | TKS13 | 1 | TKS水槽① | 船材、角材 | マツ属複維管束亜属 | 角材、かんぬきか？ |
| 530 | TKS13 | 3 | TKS水槽① | 船材、板材 | マツ属複維管束亜属 | 釘痕、コンクリーション有 |
| 531 | TKS13 | 41 | TKS水槽② | 丸太材 | マツ属複維管束亜属 | |
| 532 | TKS13 | 18 | TKS水槽② | 松の皮 | 樹皮 | |
| 533 | TKS13 | 19 | TKS水槽② | 丸太材 | マツ属複維管束亜属 | |
| 534 | TKS13 | 21 | TKS水槽② | 板材 | スギ科 | |
| 535 | TKS13 | 20 | TKS水槽② | 角材 | マツ属複維管束亜属 | |
| 536 | TKS13 | 44 | TKS水槽② | 板材？ | アカガシ亜属 | 表面炭化 |
| 537 | TKS13 | 49 | TKS水槽③ | 丸太材 | マツ属 | |
| 538 | TKS13 | 27 | TKS水槽③ | 丸太材 | ニレ属？ | 丸太材片 |
| 539 | TKS13 | 35 | TKS水槽③ | 丸太材 | マツ属複維管束亜属 | 丸太材片 |
| 540 | TKS13 | 46 | TKS水槽③ | 丸太材 | マツ属複維管束亜属 | 丸太材片 |
| 541 | TKS13 | 6 | TKS水槽③ | 板材？ | ヒノキ科 | |
| 542 | TKS13 | 39 | TKS水槽③ | 木皮 | 樹皮 | |
| 543 | TKS13 | 47 | TKS水槽③ | 船材、板材 | スギ科 | 板材片、釘痕、コンクリーション有 |
| 544 | TKS13 | 40 | TKS水槽④ | 船材、板材 | コウヨウザン？ | 板材片、釘痕あり |
| 545 | TKS13 | 4 | TKS水槽④ | 板材 | ヒノキ科 | 板材片 |
| 546 | TKS13 | 45 | TKS水槽④ | 丸太材 | クスノキ科 | |
| 547 | TKS13 | 22 | TKS水槽④ | 船材、板材 | スギ科 | 板材片、コンクリーション、釘痕あり |
| 548 | TKS13 | 30 | TKS水槽④ | 板材 | コナラ属 | 表面炭化 |
| 549 | TKS13 | 23 | TKS水槽④ | 船材、板材 | ニレ属 | 釘痕あり |
| 550 | TKS13 | 29 | TKS水槽④ | 丸太材 | マツ属複維管束亜属 | 丸太材片 |
| 551 | TKS13 | 7 | TKS水槽⑤ | 丸太材 | マツ属単維管束亜属？ | 丸太材片 |
| 552 | TKS13 | 12 | TKS水槽⑤ | 丸太材 | *Dalbergia* sp. | 丸太材片、表面炭化 |
| 553 | TKS13 | 38 | TKS水槽⑤ | 板材 | アカガシ亜属 | 板材片 |
| 554 | TKS13 | 16 | TKS水槽⑥ | 船材、板材 | スギ科 | 釘痕あり、針葉樹松？ |
| 555 | TKS13 | 17 | TKS水槽⑥ | 船材、板材 | マツ属複維管束亜属 | 板材片、釘痕あり |
| 556 | TKS14 | 27 | TKS水槽⑦ | 船材、板材 | クスノキ科 | 板材片、釘付着 |
| 557 | TKS14 | 34-a | TKS水槽⑦ | 角材片 | コウヨウザン？ | 針葉樹 |
| 558 | TKS14 | 34-b | TKS水槽⑦ | 木皮 | 樹皮 | |
| 559 | TKS14 | 30 | TKS水槽⑧ | 船材、板材 | クスノキ | 板材片、釘痕あり |
| 560 | TKS14 | 22 | TKS水槽⑨ | 丸太材 | 樹皮 | |
| 561 | TKS14 | 40-b | TKS水槽⑨ | 丸太材 | 針葉樹 | 直径４～５cm、長さ35cm |
| 562 | TKS14 | 40-c | TKS水槽⑨ | 竹 | タケ亜科 | 直径約２cm |
| 563 | TKS14 | 40-e | TKS水槽⑨ | 板材 | クスノキ | 板材片 |
| 564 | TKS14 | 40-f | TKS水槽⑨ | 板材 | イスノキ属？ | 板材片 |
| 565 | TKS14 | 40-g | TKS水槽⑨ | 丸太材 | マツ属複維管束亜属 | わずかに反っている |
| 566 | TKS14 | 40-h | TKS水槽⑨ | 丸太材 | マツ属単維管束亜属？ | |
| 567 | TKS14 | 40-i | TKS水槽⑨ | 丸太材 | マツ属複維管束亜属 | 丸太材片 |
| 568 | TKS14 | 10-b | TKS水槽⑨ | 板材 | クスノキ科 | 板材片 |
| 569 | TKS14 | 38-a | TKS水槽⑨ | 船材、板材 | クスノキ？ | 板材片、釘痕あり |

| 試料番号 | 調査年 | 遺物番号 | 保管場所 | 種　　別 | 樹　　種 | 備　　考 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 570 | TKS14 | 38-b | TKS水槽⑨ | 丸太材 | 広葉樹 | 丸太材片 |
| 571 | TKS14 | 38-c | TKS水槽⑨ | 丸太材 | マツ属 | 丸太材片 |
| 572 | TKS14 | 38-d | TKS水槽⑨ | 松の皮 | 樹皮 | |
| 573 | TKS14 | 6 | TKS水槽⑨ | 板材 | コウヨウザン | 針葉樹 |
| 574 | TKS14 | 24-a | TKS水槽⑨ | 板材 | マツ属 | 焼け残り材、松の木か？ |
| 575 | TKS14 | 24-b | TKS水槽⑨ | 船材、板材 | クスノキ科 | 板材片、釘痕あり |
| 576 | TKS14 | 24-c | TKS水槽⑨ | 板材 | クスノキ | 板材片 |
| 577 | TKS14 | 19 | TKS水槽⑨ | 丸太材 | マツ属複維管束亜属 | |
| 578 | TKS14 | 13-b | TKS水槽⑨ | 板材 | シイ属 | 板材片、一方を斜めに切断 |
| 579 | TKS14 | 41 | TKS水槽⑨ | 松の皮か？ | 樹皮 | |
| 580 | TKS14 | 26 | 水槽２ | 船材、板材 | クスノキ科 | 板材、釘痕あり、隔壁板か？ |
| 581 | TKS14 | 25 | 水槽２ | 丸太材？柱材？ | コウヨウザン | 柱材か？ |
| 582 | TKS15 | 1 | 水槽３ | 船材、板材 | クスノキ科 | 釘痕有 |
| 583 | TKS15 | 2 | 水槽３ | 丸太材 | マツ属複維管束亜属 | 表面炭化 |
| 584 | TKS15 | 4 | 水槽３ | 船材、板材 | クスノキ？ | 板材片、釘痕あり |
| 585 | TKS15 | 5 | 水槽３ | 船材、板材 | クスノキ科 | 板材片、釘痕あり |
| 586 | TKS15 | 8 | 水槽３ | 船材、板材 | クスノキ | 板材片、コンクリーション、釘痕あり |
| 587 | TKS15 | 7 | 水槽３ | 船材、板材 | クスノキ？ | 板材片、釘痕あり |
| 588 | TKS15 | 9 | 水槽３ | 船材、角材 | スギ科 | 釘痕有 |
| 589 | TKS13 | 34 | 水槽３ | 船材、丸太材 | マツ属単維管束亜属 | 均等な幅で枝が出ている |
| 590 | TKS13 | 8 | 水槽３ | 船材、板材 | クスノキ | 抉り込みあり |
| 591 | TKS13 | 14 | 水槽３ | 板材？、丸太材？ | クスノキ科 | 虫害が著しい |
| 592 | TKS13 | 2 | 水槽３ | 丸太材 | マツ属複維管束亜属 | 丸太材 |
| 593 | TKS13 | 43 | TKS水槽⑥ | 丸太材 | 針葉樹 | 丸太材片 |
| 594 | TKS12 | 13 | 整理室 | 丸太材 | ニレ属 | 半裁丸太材片 |
| 595 | TKS12 | 9 | TKS水槽⑩ | 丸太材 | ニレ属 | 丸太材片 |
| 596 | TKS12 | 17-a | TKS水槽⑩ | 船材、板材 | コウコウザン | 板材片、釘穴２つ |
| 597 | TKS12 | 17-b | TKS水槽⑩ | 板材 | *Altingia* sp. | 板材片 |
| 598 | TKS12 | 12 | TKS水槽⑩ | 船材、板材 | コウヨウザン？ | 針葉樹、釘痕あり、ほぞあり |
| 599 | TKS14 | 31 | 水槽３ | 縄 | シュロ属 | シュロ縄 |
| 600 | KZK02 | 1496 | 元興寺処理 | 漆塗板状木製品 | ヒノキ科 | |
| 601 | KZK02 | 1814-c | 元興寺処理中 | 朱塗椀破片 | コウヨウザン？ | |
| 602 | KZK02 | RL1 | 元興寺処理中 | 朱塗椀小破片 | クスノキ | |
| 603 | KZK02 | RL2 | 元興寺処理中 | 漆塗棒状木製品 | *Dalbergia* sp. | |
| 604 | TKS14 | 14 | 元興寺処理中 | 漆椀底部 | スギ属 | |

試料番号529～599と604は確認調査で出土した遺物である。

TKS12は神崎地区第12次調査
TKS13は神崎地区第13次調査
TKS14は神崎地区第14次調査
TKS15は神崎地区第15次調査

＊表１の中の、試料番号0、338－343、433－441、529－599、602－604を除くすべての試料の樹種同定の結果は出土遺物一覧表（143－176頁）にも掲載した。

## ５．遺物のＸ線撮影

松浦市教育委員会では、鷹島海底遺跡から出土した遺物の保存処理の方法を検討する機関として「松浦市鷹島海底遺跡調査指導委員会保存処理専門部会」を設置して専門家から指導助言を得ている。その中で九州国立博物館・奈良文化財研究所・元興寺文化財研究所等のご協力により遺物の保存処理方法を検討していく一つの手法として、Ｘ線撮影をお願いしている。**第65図８**の漆塗木板は元興寺文化財研究所にて赤外線撮影した際、漆膜の下より「大乗妙法蓮華経」の文字が銘記されていることが確認できたとの報告を受けている。鉄製冑（**図版30－６**）は、九州国立博物館にて展示公開している。通常のＸ線透過画像では得られない詳細な情報がＸ線ＣＴ撮影によって得られることができた。三次元立体断面画像では冑本来の鉄は銹化が進んでおり、金属は残っていないが、突起部分には４箇所に鋲留めにしている状況が、また、庇の部分にはベルトと有機質の顎あてがあることも確認された。**第60図４**は現在、九州国立博物館にて展示公開中の矢束の資料である。奈良文化財研究所にてＸ線ＣＴ撮影を行っていただき次のページにその撮影画像を掲載している。撮影は矢束を５面にスライスしている状況で、**１～３**は遺物を平置して右側と中央と左側の３箇所で切った断面画像である。これを見ると矢は約60本あり、木製を使用しているのが確認されている。**４**は矢束の中央部を切ったところの画像である。この画像からは鏃の長さは６㎝程度あり、日本の鏃より長い傾向を示している。**５**は矢束を横の方向からカットした断面画像である。また、この矢束に関してはあらためて九州国立博物館でもＸ線ＣＴ撮影を行っていただいている。**６**は漆皮袋（胡禄）に付随する金具である。九州国立博物館では「てつはう」のＸ線ＣＴ撮影も行っている。分析した「てつはう」は表採資料であるが、陶製の球体で孔を含む上半分が残存しており、破断面まで内容物が遺存しているものである。分析の結果、火薬充填孔を上とすると、内部に短冊状に割った鉄片と陶器片様のものが詰められていた。鉄片には気泡と思われる小さな丸い穴がいくつも見られることから「てつはう」に入れられた鉄は鋳鉄を使用していることが確認される。火薬充填孔付近には繊維質の痕跡が見られ、導火線あるいは有機物の内蓋があったと考えられる。鋳鉄片や陶器片は脆いことから火薬の爆裂とともに破砕して強い殺傷能力を発揮したと思われる。

鉄製品では、研究代表者元興寺文化財研究所の植田直見氏の平成19年度科学研究費補助金基盤研究（Ｂ）「海底遺跡出土遺物の調査・研究・保存に関する基礎的研究―鷹島海底遺跡出土武具類を中心として―」の分析がある。**第53図７**と**第55図10**をＸ線ラジオグラフィ及びＸ線ＣＴ画像で構造の復元を行い、その結果、**第53図７**は刀身が外側に反りかえり柄部が刃側に湾曲し、全体として緩やかなＳ字を呈する刀であった。また、**第55図10**は反りをほとんどもたない素環頭太刀であることが確認され

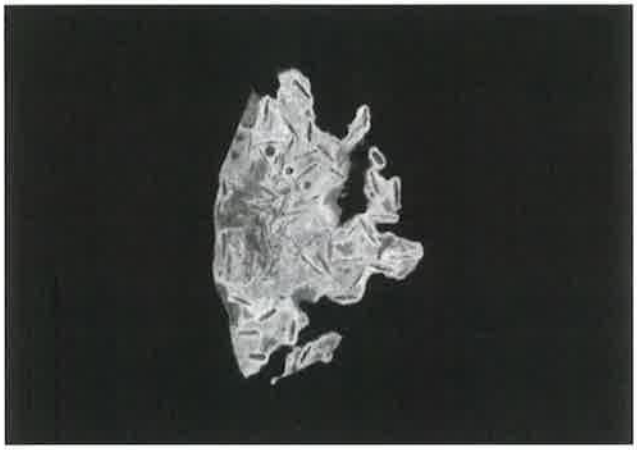
矢　束

ている。**第53図７**に類似する資料は中国内蒙古自治区・モンゴル共和国内をはじめとするモンゴル帝国期における中心的な地域で確認されている。**第55図10**に類似する資料は南宋領域から出土している事例に類例が認められる。いずれの資料についても、同時代の日本の刀剣とは異なる特徴をそなえているという研究結果をいただいている。

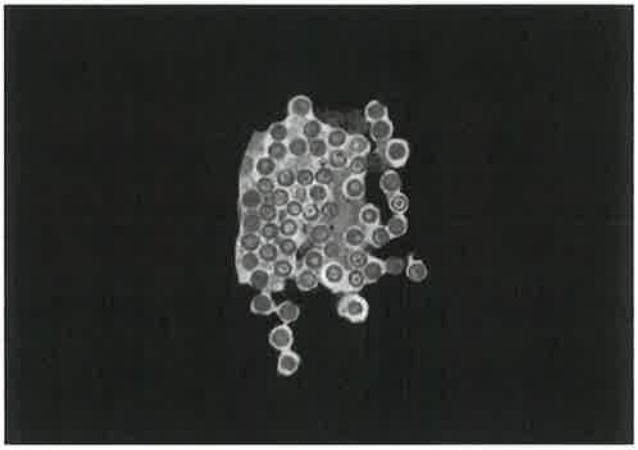
## 参考・引用文献


鳥越俊行・今津節生　『東風西声』　九州国立博物館紀要第２号　文化財の健康診断装置

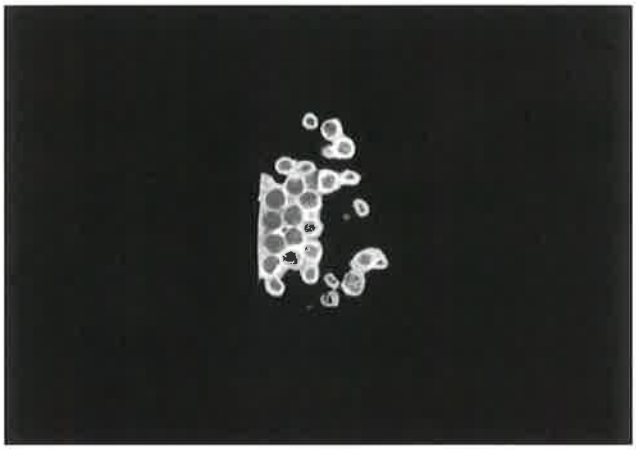
植田直見・橋本英将他　鷹島海底遺跡出土大刀の構造復元―「蒙古襲来」の考古学的検討へむけて－

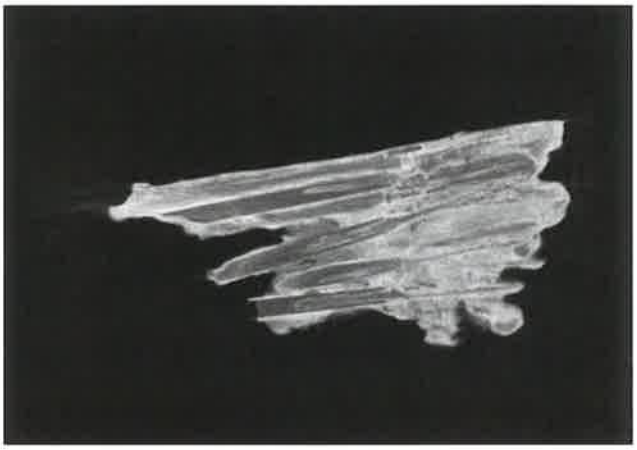
Ｘ線ＣＴ画像１



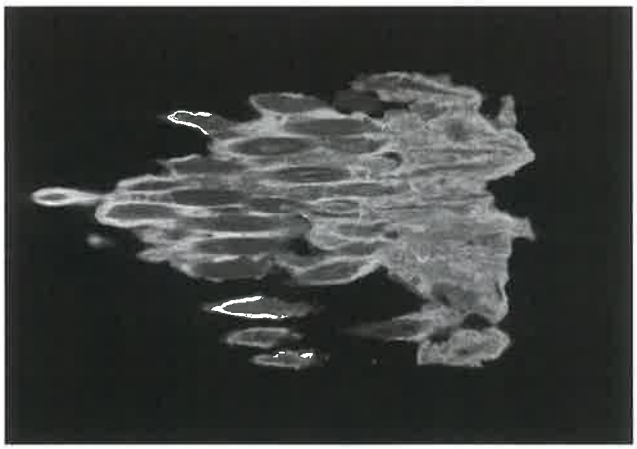
Ｘ線ＣＴ画像２



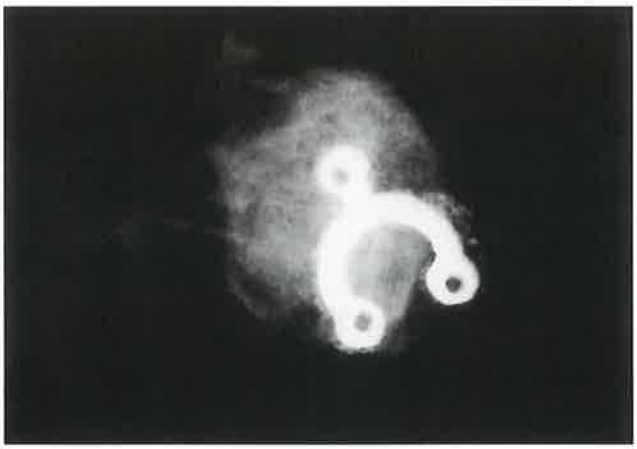
Ｘ線ＣＴ画像３



Ｘ線ＣＴ画像４



Ｘ線ＣＴ画像５



Ｘ線ＣＴ画像６

# 第Ⅴ章　出土陶磁器について

今回の引き揚げ資料は元の沈没船が１艘分なのか複数なのかという点も残るが、１艘分の積載品と仮定してみた場合には以下の点が把握される。

陶磁器内容については、まず青磁・白磁などの碗・皿類食器が少数であり、大多数は陶器の壺類で占められる事が注意されよう。さらに壺は耳壺ＸⅢ類が最多で、大小の壺が次に多く、少数の大型甕、鉢、水注などがあり、全体から見ても各種の貯蔵容器が中心となっている点は容易に把握される。

耳壺ＸⅢ類はこの特定器種に数量集中がある点でかなり偏向的であり、二、三の仮説も可能であろう。その形やサイズからみて個々人の携帯水筒など運搬容器の用途としても手ごろな器種かもしれない。長期海上遠征に際して保存食、水などを上の貯蔵器が担っていた点は確かであろう。

軍事船としても平時ではなく日本側との交戦を目的とした船舶機材の投入が明確であるから、武器以外の軍事用備品内容を見るにも実に興味深い点があろう。

青磁・白磁などの一般食器については一部鈞窯系碗などの日本出土例で稀少なものを除き、当時の中国・軍人使用品のランクを知る格好の資料となる。この点では積載陶磁の一部の良質青磁を除き、日本国内に大量に流通している一般質中国食器との落差は少ない事が判る。

現在すべての器種分類と数量さらに性質といった点について分析中で、かつ他の沈船についても検討中であり、後日別稿で正確な集計を行うことにしたい。

上記したように鷹島沖元船積載品の性格の一点は貯蔵具が中心であり、ここに商船とは異なる軍用船の現実的性格も表れているとみてよいだろう。

## 出土陶磁器などからみた年代推定

図示した陶磁器・土器の年代は歴史時代に限るものであるが、８～９世紀の須恵器・土師器、12世紀中頃～後半（陶磁編年Ｄ期）に上限のある龍泉窯青磁碗Ⅰ－１類、陶器甕Ⅳ類、下って14世紀初頭前後～前半（陶磁編年Ｇ期）に位置する龍泉窯系青磁坏Ⅳ類、白磁森田碗Ｃ類、Ｂ'系皿、陶器壺Ⅴ'類、さらにこれ以降の朝鮮系陶器、近世の肥前系陶磁など幅広い時期に及ぶものである。しかしこれらの点数はきわめて限られており、残る青磁碗・皿・坏・盤や白磁碗の大半は13世紀中頃～後半（陶磁編年Ｅ～Ｆ期のうちＦ期中心）、陶器の大多数の資料はほぼ13世紀に位置するもので「弘安の役」1281年に推定されうる元船の時代に一致するものである。とくに陶器の年代幅は青磁・白磁と同レベルに短縮する事は内外の出土傾向からして難しい。しかし各器種の特徴からみると12世紀中頃・後半～前半に出土する同種の陶器に比べて多少鈍化する傾向が見え、14世紀中頃以降には消滅する器種が殆どである。また時代的に後出の韓国新安沖元代沈没船（1323年）に積載された青磁、白磁、陶器のごく一部には鷹島出土と同型のものが含まれている点も注意される。総じて今回の陶磁器の多くは13世紀中頃～後半に位置し、13世紀前半（Ｅ期）と14世紀初頭前後～前半（Ｇ期古段階）の中間的位置を示すことが明らかで、貴重な成果と把握されよう。

# 第Ⅵ章　調査の成果と今後の課題

平成13・14年度の２年間にわたった鷹島海底遺跡の緊急発掘調査では、各種の遺物が多量に出土している。まず船体の部材と思われる大型の木製品が挙げられ、長さ３ｍを越える船の外板や隔壁材、マストの台座や他にも加工痕を有する木製品もあるが、船体そのものの検出はできていない。しかし、海外での沈船との比較により、鷹島出土の木製品から「弘安の役」における元軍使用の船の復元には重要な資料となるものである。陶磁器では、破片点数で500点を越え、破片単位の大きなものが多く、分布範囲がほぼ10m以内と限定されることから接合及び復元が可能なものが多かった。陶器では中国江蘇省宜興窯の褐釉陶器壺が多く、口縁部・底部・胴部の圧痕と溶着痕より、窯の中で隙間無く詰込まれた状態で焼成されたものか口縁部が楕円形に変形したものまで見受けられる。陶器ではこの他にも各種の壺や鉢があるが、日本国内の消費地遺跡では、宋人が居住していた博多遺跡群を除いて、出土例は少ない。この点、鷹島海底遺跡出土の陶器の器種と型式は、今後の編年の基準となると思われる。供膳具では碗が圧倒的に多いのが特徴で、製品の質としては大きく精粗に分けられる。比較的質の良いものでは、河南省鈞窯の碗をはじめ、浙江省龍泉窯系青磁碗等が数点あるのに対して、当時の日本国内においては、商品として多く輸入された形跡が無く、製品の質的には劣る福建省産と思われる青磁碗や、焼成不良により胎土が磁化していない不良品と思われる碗が大半を占め、龍泉窯系の鎬蓮弁文碗でも、蓮弁の削出しは丁寧であるが、釉の発色が非常に悪いものなどが見受けられる。これは船団を構成する指揮官や将校クラスと兵卒との使用供膳具の違いが反映されているものと思われるが、窯の特定と中国国内での流通圏を検討すれば、船員の徴用地や出港地に結び付く手掛かりとなるものと思われる。高麗青磁等朝鮮半島産は東路軍に関する遺物であるが、これは極端に少ない。

次に「軍」の存在を裏付ける遺物として武具類の鉄製冑・刀剣類・帯金具・矢束・「てつはう」・弩等の出土がある。球状土製品は直径14～15cm前後で、理化学的分析の結果からこれは『蒙古襲来絵詞』に見られる所謂「てつはう」であると結論をだしている。また、「管軍総把印」同様「王百戸」銘の墨書青磁碗もあり、軍隊の編成を知る大きな手がかりとなっている。

その他の遺物では日常生活品である漆椀・漆塗櫛・銅鍋・銅匙・銅銭・磚等の各種の遺物が出土している。これらの遺物を含めて２ヶ年の調査で約1,500点が出土しているが、一番遅れているのが保存処理作業である。遺物自体が海底からの出土品であるため脱塩処理を兼ねて仮保存中の木製品もあり、ＰＥＧ処理中のものもある。今後も国庫補助事業の一環として保存処理を行っていくが、問題点として自前による保存処理が進んでいない点である。保存処理専門部会の指導を得て早急に進めて行かなければならない。

これらの出土遺物は「元寇」という世界史上重要な出来事を解明していく上で大きな手がかりを与えている。鷹島海底遺跡は、考古学のみならず、東アジア史・美術史・造船史・軍事史といった多方面の研究としても様々な情報を提供できる日本国内の遺跡としては稀有な存在であり、貴重な遺跡である。そのため国の史跡指定及び出土遺物の重要文化財の指定に向けて進んでいくことが重要である。

# 図　　版

## 図版１　鷹島海底遺跡・遠景調査風景①

神崎地区調査海域遠景（西より）

調査海域遠景（西より）

調査区設定状況風景

調査用筏の設置風景

調査風景

砂層の調査状況

## 図版２　調査風景②

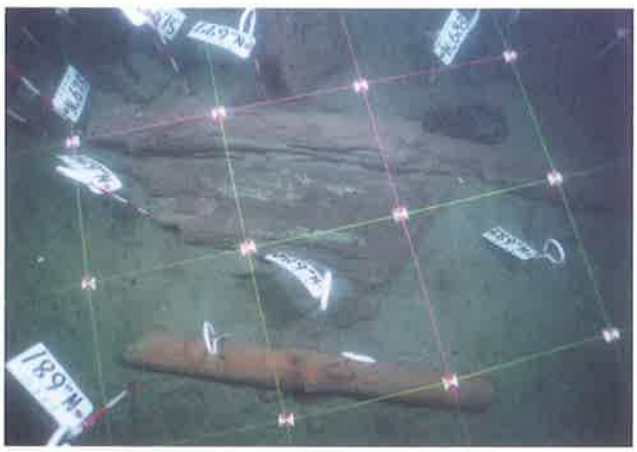
調査風景

砂層（右側）と砂質シルト層（左側）の状況

遺物の検出状況

実測用調査枠の組立て風景

遺物へのナンバーリング風景

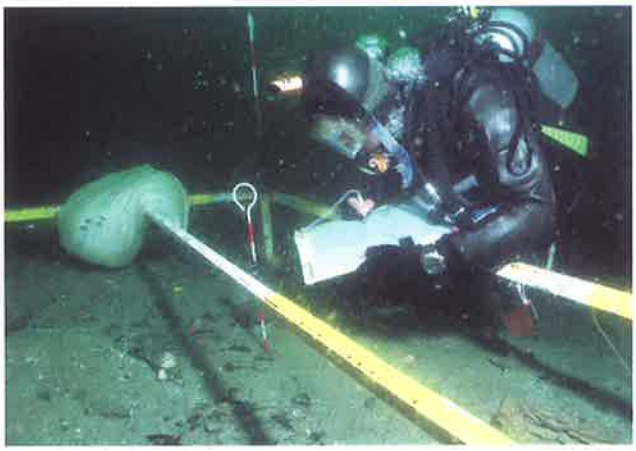


調査枠と遺物出土状況

遺物出土状況の写真撮影風景

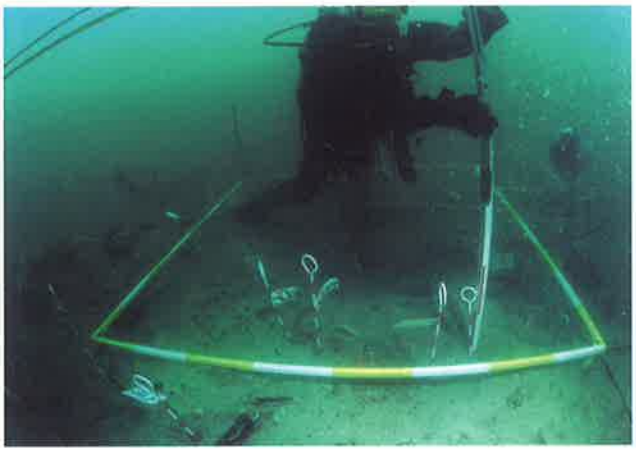
遺物出土状況のビデオ撮影風景

遺物出土状況の実測風景



遺物出土状況の実測風景

出土遺物の標高測定風景



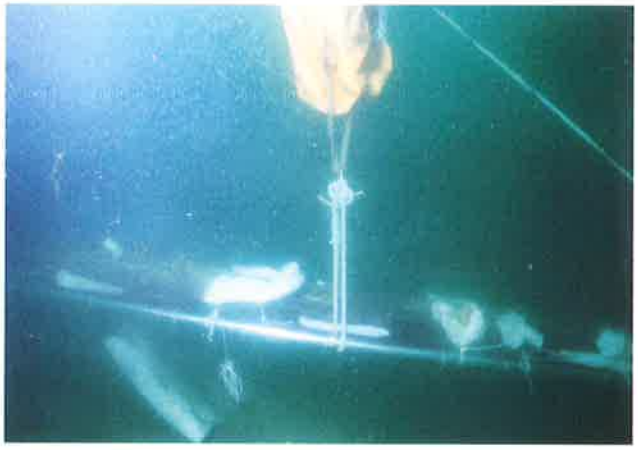
出土遺物の標高測定風景

## 図版４　調査風景④

遺物の取り上げ風景

遺物の取り上げ風景

遺物の取り上げ風景



遺物の取り上げ風景

遺物の取り上げ風景

遺物の陸揚げ風景

第20図１　陶磁碗　(No.39内面)

第20図１　陶磁碗　(No.39外面)

第20図１　陶磁碗　(No.257内面)

第20図１　陶磁碗　(No.257外面)

第20図２　陶磁碗　(No.139a)

第20図３　陶磁碗　(No.500内面)

## 図版６　出土遺物 陶磁器②

第20図３　陶磁碗　(No.500外面)

第20図４　陶磁碗　(No.455内面)

第20図４　陶磁碗　(No.455外面)

第21図６　白磁碗　(No.713)

第21図８　白磁碗　(No.153a)

第21図９　白磁碗　(No.161)

第22図16　青磁碗　(No.829)

第22図16　青磁碗　(No.829)

第22図17　青磁碗　(No.906)

第22図18　青磁碗　(No.1279)

第22図19　青磁碗　(No.657)

第22図20　青磁碗　(No.142b)

## 図版８　出土遺物 陶磁器④

第22図21　青磁碗　(No.452)

第22図23　青磁碗　(No.1730)

第22図27　青磁碗　(No.881)

第22図28　青磁碗　(No.898・900)

第22図28　青磁碗　(No.898・900)

第22図29　青磁碗　(No.938)

第23図31　青磁碗　(No.817)

第23図32　青磁碗　(No.86)

第23図33　青磁碗　(No.33a・453・737)

第23図33　青磁碗　(No.737)

第23図34　青磁碗　(No.992)

第23図36　青磁盤　(No.933・02-RC59)

## 図版10　出土遺物 陶磁器⑥

第23図36　青磁盤　(02-RC59)

第23図37　青磁坏　(02-RC11)

第23図40　青磁碗 (No.646・792)

第23図40 「王百戸」銘墨書青磁碗 (No.646・792)

第23図41　青磁碗 (No.260)

第23図42　青磁碗　(No.160)

第24図１　陶器耳壷　(No.620)

第24図２　陶器耳壷　(No.177)

第24図３　陶器耳壷　(No.830)

第24図４　陶器耳壷　(No.1500)

第25図９　陶器耳壷　(No.942)

第25図10　陶器耳壷　(No.15b)

## 図版12　出土遺物 陶磁器⑧

第25図13　陶器耳壺　(No.1104)

第25図14　陶器耳壺　(No.1632)

第25図15　陶器耳壺　(No.1825)

第25図16　陶器耳壺　(No.1613)

第26図17　陶器耳壺　(No.438a)

第26図18　陶器耳壺　(No.1335)

第27図22　陶器耳壷　(No.805)

第27図25　陶器耳壷　(No.1231)

第28図29　陶器耳壷　(No.813)

第28図30　陶器耳壷　(No.952)

第28図32　陶器耳壷　(No.15a)

第29図34　陶器耳壷　(No.1780)

## 図版14　出土遺物 陶磁器⑩

第29図35　陶器耳壷　(No.892a)

第29図36　陶器壷　(No.1200)

第29図37　陶器壺　(No.798)

第29図38　陶器壺　(No.313)

第29図41　陶器壺　(No.831)

第29図42　陶器壺　(No.1692)

第30図45　陶器壷　(No.688)

第30図46　陶器壷　(No.34)

第30図49　陶器耳壷　(No.264a)

第30図50　陶器耳壷　(No.733)

第30図51　陶器耳壷　(No.767)

第31図53　陶器壷　(No.903)

## 図版16　出土遺物 陶磁器⑫

第31図54　陶器壷　(No.1449)

第31図55　陶器壷　(No.137b)

第31図56　陶器水注　(No.427)

第31図57　陶器壷　(No.819)

第31図58　陶器壷　(No.59)

第32図63　陶器壷　(No.781)

第32図65　陶器壷　(No.233a)

第33図69　陶器耳壷　(No.521)

第33図71　陶器耳壷　(No.955a)

第33図72　陶器壷　(No.109b)

第33図73　陶器壷　(No.415a)

第33図75　陶器壷　(No.647)

## 図版18　出土遺物 陶磁器⑭

第33図76　陶器壷　(No.1793)

第34図79　陶器壷　(No.960)

第34図82　陶器壷　(01-RC233)

第34図83　陶器皿　(No.768a)

第34図84　陶器坏　(No.1760)

第34図85　陶器鉢　(01-RC46)

第34図86　陶器鉢　(01-調査区外表採)

第35図87　陶器鉢　(No.776)

第35図88　陶器鉢　(No.140)

第35図89　陶器甕　(No.1809)

第35図90　陶器甕　(01-北側浚渫)

第35図92　陶器甕　(01-北側浚渫)

## 図版20　出土遺物 陶磁器⑯・「てつはう」①

第35図94　陶器耳壷　(No.1205)

第36図95　陶器水注　(No.1320)

第36図96　陶器水注　(No.927・No.1)

第36図98　陶器甕　(No.44)

「てつはう」

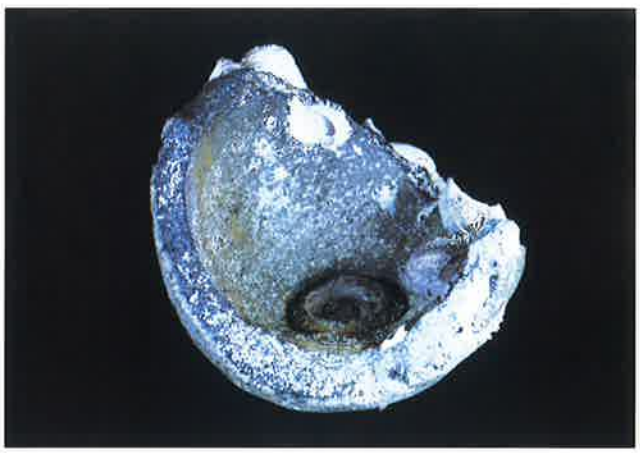
第38図1　「てつはう」　(No.1687)

第38図４　「てつはう」　(No.318a)

第38図５　「てつはう」　(No.335)

第38図９　「てつはう」　(No.16a)

第39図10　「てつはう」　(No.182a)



第39図11　「てつはう」　(No.613)

第39図12　「てつはう」　(No.525a)

## 図版22　出土遺物　「てつはう」③・石製品①

第39図13　「てつはう」　(No.181a)

第39図15　「てつはう」　(No.1102)

第39図16　「てつはう」　(No.414a)

第39図21　「てつはう」　(No.823b)

第41図１　碇石　(No.1618)

第41図２　碇石　(No.1033)

第41図３　碇石　(No.132)

第41図５　石製錘　(No.796)

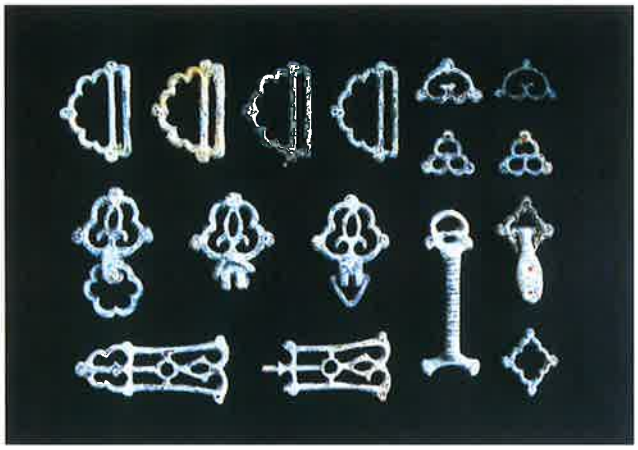
第42図６　白玉製獅子像　(No.1036)

第42図７　青玉製雌雄鹿像　(No.1150)

第42図７　青玉製雌雄鹿像　(No.1150)

第43図９・８　石硯　(No.702・771)

## 図版24　出土遺物 青銅製品①



青銅製飾金具

第45図１　青銅製飾金具　(No.1383)

第45図２　青銅製飾金具　(No.1388)

第45図３　青銅製飾金具　(No.1420)

第45図４　青銅製飾金具　(No.1385)

第45図６　青銅製帯金具　(No.325)

第45図７　青銅製帯金具　(No.1091)

第45図８　青銅製帯金具　(No.324)

第45図９　青銅製飾金具　(No.1412)

第45図10　青銅製飾金具　(No.329)

第45図11　青銅製飾金具　(No.1416)

第45図12　青銅製飾金具　(No.1417)

## 図版26　出土遺物 青銅製品③

第45図13　青銅製飾金具　(No.1413)

第46図14　青銅製飾金具　(No.1419)

第46図15・16　青銅製飾金具　(No.1384①、1384②)

第46図17　青銅製飾金具　(No.1415)

第46図18　青銅製飾金具　(No.1414)

第46図19　青銅製飾金具　(No.1382)

第46図20　青銅製帯金具　(No.1090)

第46図21　青銅製飾金具　(No.1386)

第46図22　青銅製飾金具　(No.1389)

第46図27　青銅製帯金具　(No.322)

第47図28　青銅製帯金具　(No.321)

第47図29　青銅製飾金具　(No.1387)

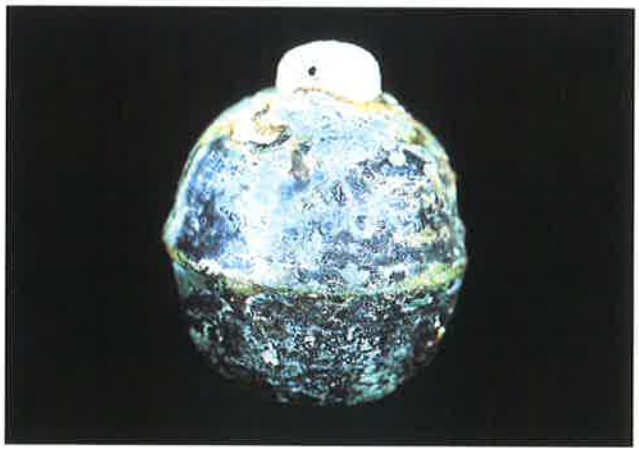
## 図版28　出土遺物 青銅製品⑤

第47図30　青銅製飾金具　(No.1125)

第47図31　青銅製飾金具　(No.1113)

第47図32　青銅製飾金具　(No.1133)

第47図33　青銅製飾金具　(02-RM4)



第47図34　銅製鈴　(No.897)

第48図38　青銅製金具　(No.1824)

第48図11　青銅製擬宝珠　(No.794)

第48図42　銅製鍋　(No.268)

第49図43　銅製匙　(No.187)

第49図44　銅製匙　(No.1410)

第50図１～７、10～14　銅銭

第50図８・９　銅銭

## 図版30　出土遺物 鉄製品①

第54図９　鉄刀　(No.878)

第55図10　鉄刀　(No.111)

第55図12　鉄刀　(No.23e)

第56図15　鉄刀　(No.124)

第57図26　鉄器　(No.149)

鉄製胄　(No.974)

第59図１　矢束　(No.682)

第60図３　矢束　(No.1487)

第60図４　矢束　(No.1381)

矢束（No.107）

矢束（No.107）

矢束（No.107）

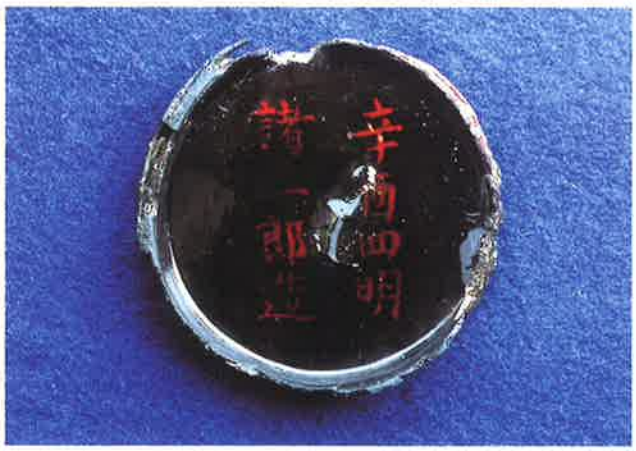
## 図版32　出土遺物 漆製品①

第63図１　漆塗棒状木製品　(No.1450)

第63図２　漆塗棒状木製品　(No.1170)

第64図７　漆塗木製品　(No.1723)

第65図８・９　漆塗板状木製品　(No.1495・1496)



第66図10　漆椀底部　(No.1841)

第66図11　漆椀底部　(No.1698)

第66図12　朱塗椀底部　(No.735)

第66図12　朱塗椀　(No.735)

第66図13　朱漆櫛　(No.1194)

第66図14　朱漆櫛　(No.604)

漆塗木製品 (No.1407)

朱塗椀底部 (No.605)

## 図版34　出土遺物 漆製品③・木製品①

朱塗小札（No.1721）

漆膜（No.1724）

漆膜（No.1411）

第66図15　木製櫛　（No.1169）

第66図16　木製櫛　（No.1807c）

第67図17　木製櫛　（No.1800）

第67図18　木製印　(02-RW1)

第67図19　木像　(No.1408)

第67図19　木像　(No.1408)

第67図19　木像　(No.1408)

第67図20　角製品　(No.1421)

第67図21　角製品　(No.223)

## 図版36　出土遺物 木製品③

第69図１　船板材［隔壁板］　(No.1440)

第69図２　船板材［隔壁板］　(No.1439)

第69図３　船板材　(No.1476)

第69図４　船角材　(No.1861)

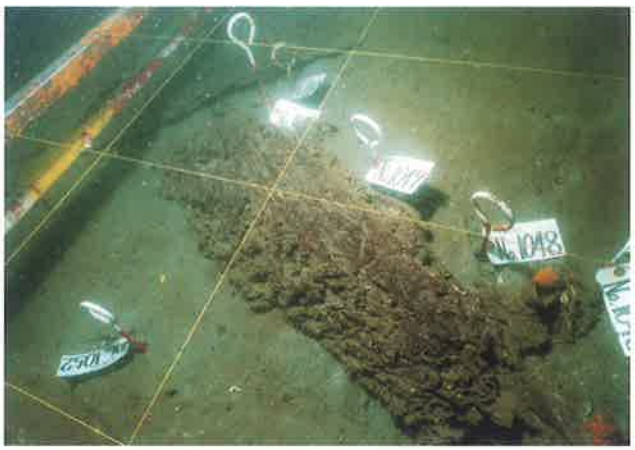
第69図５　船板材　(No.601)

第70図９　船板材　(No.221)

第70図11　船板材　(No.988)

第70図12　船角材　(No.193)

第70図13　船角材　(No.307)



第73図16　船板材［隔壁板］　(No.1047a)

第73図20　船角材　(No.1614)

第74図21　船板材［隔壁板］　(No.1607)

## 図版38　出土遺物 木製品⑤

第75図25　船角材　(No.1078)

第76図29　船板材　(No.1142)

第76図31　丸太材片　(No.1434)

第77図34　船板材　(No.1456)

第78図36　角材　(No.1445)

第78図38　船板材　(No.635)

第79図39　船底板材　(No.1428b)

第81図44　板材片　(No.1120)

第83図51　船板材　(No.843)

第84図55　有孔木材片　(No.883)

第85図61　木片　(No.1648)

第85図63　角材　(No.1466)

## 図版40　出土遺物 木製品⑦

第87図69　端部加工丸太材　(No.1059)

第89図２　Ｙ字型木製品　(No.980)

第89図４　小判状木製品　(No.828)

第89図５　柄付板状木製品　(No.1184)

第90図６　桶底　(No.1121)

第90図８　木製柄部　(No.1427)

第92図１　磚　(No.249)

第92図４・２　磚　(No.873b・873a)

第92図３　磚　(No.519・518)

第92図５　磚　(No.981)

第93図６　磚　(No.1603)

第93図７　磚　(No.1251)

## 図版42　出土遺物 磚②

第93図８　磚　(No.953)

第93図11　磚　(No.1602)

第94図13　磚　(No.1759)

第94図16　磚　(No.649)

第94図18　磚　(No.1788)

第94図19　磚　(No.1080)

第104図１　瓦　(No.67)

第104図２　瓦　(No.233c)

第104図３　瓦　(No.238)

第108図１　縄　(No.1345)

第108図２　縄　(No.1353)

第108図３　縄　(No.1370a)

## 図版44　出土遺物 その他の遺物①

第110図１　縄文土器　(No.707i)

第110図２　土師器甕　(No.1652)

第110図４　須恵器壺　(No.1731)

第110図５　土師器坏　(No.1186)

第110図６　土師器小坏　(No.715)

第110図７　瓦器椀　(No.734)

第110図７　瓦器椀　(No.734内面)

第110図８　漆喰塊　(No.1653)

第111図１　白磁碗 (No.337)

第111図２　染付長頸瓶　(No.732)

第111図４　染付碗　(No.336)

第111図６　染付皿　(No.826)

# 報　告　書　抄　録

| | |
|---|---|
| ふりがな | まつうらしたかしまかいていいせき |
| 書名 | 松浦市鷹島海底遺跡 |
| 副書名 | 平成13・14年度鷹島町神崎港改修工事に伴う緊急調査報告書 |
| 巻次 | |
| シリーズ名 | 松浦市文化財調査報告書 |
| シリーズ番号 | 第２集 |
| 編集者名 | 池田榮史・山本信夫・中田敦之・松尾昭子 |
| 編集機関 | 松浦市教育委員会 |
| 所在地 | 長崎県松浦市志佐町里免365番地　TEL. 0956-72-1111 |
| 発行年月日 | 西暦　2008年３月31日 |

| ふりがな<br>所収遺跡名 | ふりがな<br>所在地 | コード<br>市町村 | コード<br>遺跡番号 | 北緯<br>° ′ ″ | 東経<br>° ′ ″ | 調査期間 | 調査面積<br>m² | 調査原因 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| たかしまかいていいせき<br>鷹島海底遺跡 | まつうらしたかしまちょう<br>松浦市鷹島町<br>こうざきめん<br>神崎免<br>ちさきこうゆうすいめん<br>地先公有水面 | 42208 | 49020 | 33°<br>25′<br>30″ | 129°<br>46′<br>36″ | 2001. 8.17<br>～<br>2001.10.25<br><br>2002. 7.11<br>～<br>2002.12. 7 | 487.5<br><br>950 | 船着場・防波堤建設工事<br><br>防波堤建設工事 |

| 所収遺跡名 | 種別 | 主な時代 | 主な遺構 | 主な遺物 | 特記事項 |
|---|---|---|---|---|---|
| 鷹島海底遺跡 | 包蔵地 | 中世 | | ・船材<br>・てつはう<br>・鉄刀<br>・箭<br>・銅銭<br>・碇石<br>・陶磁器<br>・木製品<br>・磚<br>・青銅製品<br>・縄<br>・鉄製品 | 標高－５ｍ～－14ｍ<br>発掘調査 |

松浦市文化財調査報告書　第２集

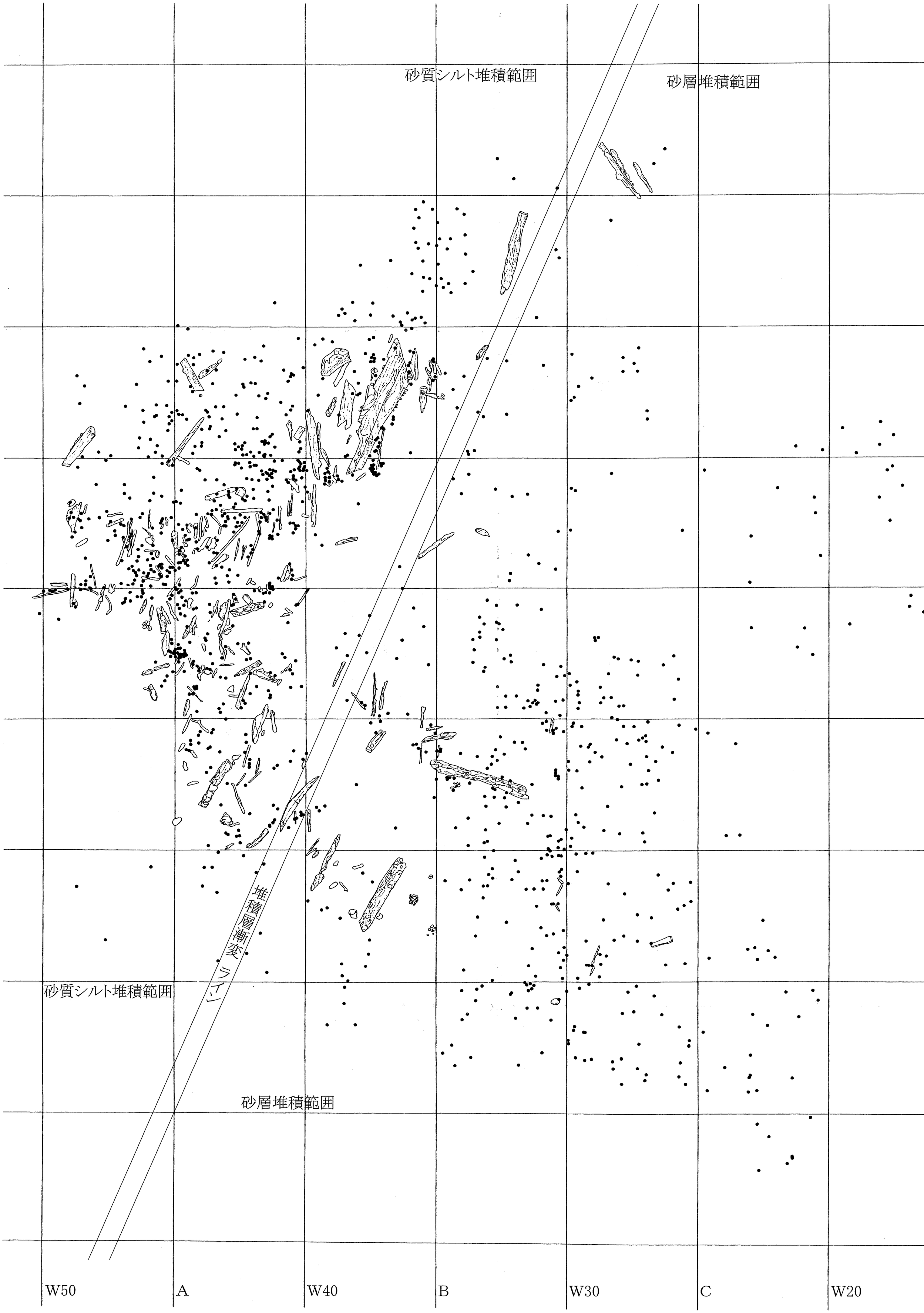
**松浦市鷹島海底遺跡**

平成13・14年度
鷹島町神崎港改修工事に伴う緊急調査報告書

平成20年３月31日

発　　行　　長崎県松浦市教育委員会
長崎県松浦市志佐町里免365番地

印　　刷　　山口印刷株式会社
佐賀県伊万里市二里町大里乙3617-5




付図　鷹島海底遺跡遺物出土状況図（1/100）